

文部科学省委託調査

令和4年度「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」

障害者の生涯学習活動に関する実態調査

～地方公共団体及び障害者本人を
対象とした実態調査～

【報告書】

令和5（2023）年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目次

第1章 本調査研究の実施概要.....	1
1. 背景・目的.....	1
2. 本事業の全体像.....	1
3. 各調査の実施概要.....	2
第2章 地方公共団体を対象とする調査結果.....	9
【アンケート調査結果】.....	9
1. 都道府県調査.....	9
2. 市区町村調査.....	52
【ヒアリング調査結果】.....	139
第3章 障害者本人を対象とする調査結果.....	155
第4章 まとめ.....	303
1. 結果の整理.....	303
2. 今後に向けて.....	311

参考資料：調査票

第1章 本調査研究の実施概要

1. 背景・目的

平成26年の「障害者の権利に関する条約」批准、平成28年の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」施行等を経て、学校卒業後の障害者が生涯を通じて学びを継続し、共に学び共に生きる「共生社会」の実現に向けた取組が推進されている。

文部科学省においては、平成29年に文部科学大臣より「特別支援教育の生涯学習化に向けて」と題するメッセージで、卒業後も含めた切れ目のない学習支援に取り組むことが表明された。また、平成31年には有識者会議により、障害者の生涯学習推進に関する考え方や方策を取りまとめた報告書が作成され、令和元年には、地方公共団体に対して期待される取組内容を記載した通知（障害者の生涯学習の推進方策について）が発出されている。現在は、通知に基づき、都道府県、市区町村それぞれが、生涯学習プログラムの開発、地域における支援体制構築の基盤づくり等に取り組んでいるところである。

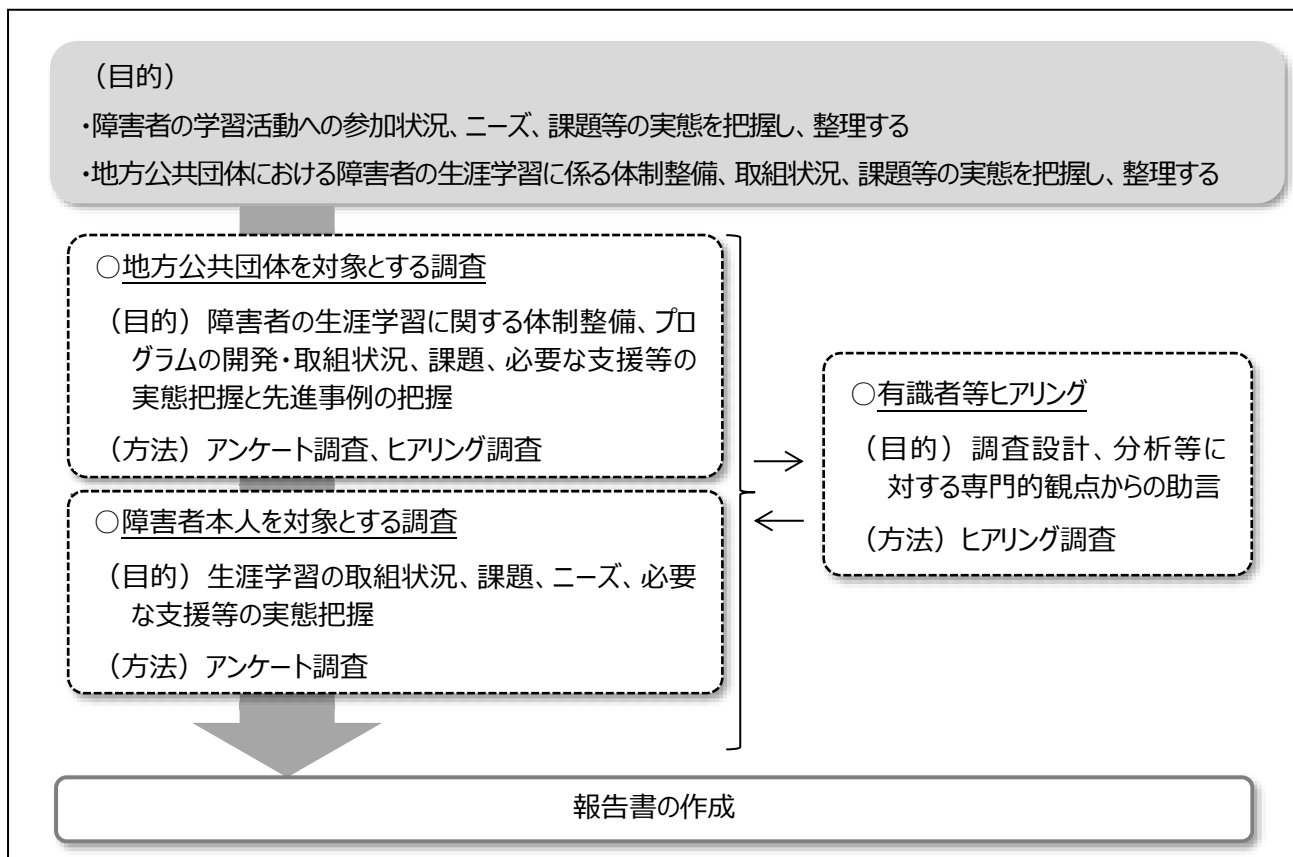
本調査研究では、学校卒業後の障害者について、学校から社会への移行期や人生の各ライフステージにおける効果的な学習に係る支援の推進に向けて、障害者の学習活動への参加状況、阻害要因・促進要因等の実態把握と、地方公共団体における障害者の生涯学習に係る体制整備、プログラムの開発・提供、課題等の実態把握を行い、学校卒業後の障害者の学習状況、ニーズと支援の進捗状況を整理、分析することを目的として実施した。

2. 本事業の全体像

本調査研究事業の全体構成は、以下の通りである。

「有識者等ヒアリング」での情報収集、助言をもとに、都道府県・市区町村を対象に障害者の生涯学習に関する基盤整備や取組の状況、課題等を把握する「地方公共団体への調査」、障害者を対象に生涯学習の取組状況やニーズ等を把握する「障害者本人等への調査」を実施した。

図表 1-1 事業の全体構成



3. 各調査の実施概要

(1) 有識者等ヒアリング

調査設計・分析について専門的観点から助言を得られるよう、有識者や自治体をアドバイザーとして、2回のヒアリングを行った。

① 対象者、実施日、実施方法

ヒアリングの対象となった有識者等は、以下の通りである。第1回は個別、第2回は合同で実施した。

図表 1-2 ヒアリング対象者、実施日、実施方法

(五十音順、敬称略)

氏名	所属・肩書	実施日	実施方法
梶野光信	東京都教育庁地域教育支援部 主任社会教育主事	令和4年10月20日、 令和5年3月7日	Web
小林繁	明治大学文学部 教授	令和4年10月25日、 令和5年3月7日	Web
津田英二	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	令和4年10月24日、 令和5年3月7日	Web

② 主なヒアリング内容

主なヒアリング内容は以下の通りである。聴取事項は調査の実施、分析において参考にした。

図表 1-3 主なヒアリング内容

1 回目	<p>1. 障害者の生涯学習に関する状況について</p> <p>■本人について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の学習ニーズと実際の取組状況 ・ ライフステージ、障害種や状態像による状況の違い ・ 障害者が生涯学習に取り組むうえでの課題 /等 <p>■地方公共団体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習に係る地方公共団体の体制、庁内連携、取組に対する意識等 ・ 障害者の生涯学習に係る地方公共団体の取組状況、課題 ・ 取組の地域差、取組が進んでいる地域の特徴 /等 <p>■今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような主体で、どのような環境・プログラムを提供できるとよいか ・ 地方公共団体が障害者の生涯学習において果たすべき役割、必要な支援 /等 <p>2. 本事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の調査設計に対する助言 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各調査の目的・調査項目・調査方法について ➤ 地方公共団体のヒアリングの選定基準について /等
2 回目	<p>○調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果から得られる示唆、追加分析の方向性 /等

(2) 地方公共団体を対象とする調査

【アンケート調査】

① 目的

地方公共団体における学校卒業後の障害者への生涯学習の取組について、学習プログラムの提供や体制整備等の実態、現状の課題等について把握・整理することを目的に、都道府県及び市区町村を対象とした調査を実施する。

② 調査対象

全国の47都道府県及び1,741市区町村（悉皆調査）

③ 調査方法

文部科学省担当課よりEメールにて電子媒体の調査票サンプルと回答用WebアンケートのURLを送付し、Web上で回答いただいた。

④ 調査期間

令和5年1月5日（木）～令和5年2月13日（月）

⑤ 回収状況

回収状況は以下のとおり。

図表 1-4 回収状況

対象	対象数	有効回答数	有効回答率
都道府県	47	41	87.2%
市区町村	1,741	892	51.2%

⑥ 主な調査項目

主な調査項目は以下の通りである。

図表 1-5 主な調査項目

<p>1. 基本情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体種別 ・ 障害者手帳保有人数 ・ 社会教育関連施設等 <p>2. 障害者の生涯学習の促進における庁内体制や連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当課 ・ 障害者の生涯学習についての行政計画の作成状況

- ・ 庁内での情報共有・連携の状況
- ・ 庁外との情報共有・連携の状況
- 3. 障害者のニーズの把握状況**
 - ・ ニーズを把握している内容、方法、活用等
- 4. 障害者の生涯学習に関する取組状況**
 - ・ コーディネーターの配置状況
 - ・ 障害者向けの講座・プログラムの実施状況
 - ・ 一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおける合理的配慮の状況
 - ・ 域内の生涯学習活動に関する把握、情報提供の状況
 - ・ 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況
- 5. 自治体における支援状況**
 - ・ 職員を対象にした理解を深める取組の実施状況
 - ・ 市区町村支援の状況（都道府県のみ）
- 6. その他の工夫、課題等**
 - ・ 障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組
 - ・ 課題

【ヒアリング調査】

① 目的

学校卒業後の障害者への生涯学習プログラムの提供や、そのための体制整備等を積極的に行っている地方公共団体について、取組の実態（実施に至った経緯、工夫した点、苦労した点）や課題等について把握、整理することを目的として実施した。

② 調査対象、実施日、実施方法

アンケート調査にて回答が得られた地方公共団体のうち、積極的に障害者の生涯学習推進に取り組む地方公共団体3か所（都道府県1か所、市区町村2か所）を対象とした。対象先の設定にあたっては、計画等に位置付けた基盤整備の状況、庁内外の連携状況、個別ニーズを踏まえた学びの実践、都道府県については管内市区町村への支援状況等を考慮して選定した。

調査方法は、Web 又は訪問による聞き取りとした。

図表 1-6 調査対象と実施日

種別	調査対象	実施日	実施方法
都道府県	大分県	令和5年3月2日	Web
市区町村	東京都足立区	令和5年2月22日	訪問
	千葉県船橋市	令和5年2月28日	訪問

③ 主なヒアリング内容

主なヒアリング内容は以下の通りである。

図表 1-7 主なヒアリング内容

テーマ	聴取項目
1.基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課、取組体制 ・ 自治体としての「障害者の生涯学習」の考え方・位置付け /等
2.体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との連携状況（庁内／庁外）、体制構築における工夫・課題 ・ 人材育成に関する取組状況、課題 ・ 当事者のニーズ把握の状況 /等
2.取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者向けプログラムの取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習として提供しているプログラムの内容、工夫 ・ プログラムを提供するに至った背景、当時の課題 ②既存の場等の活用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 合理的配慮の状況 ・ 地域団体等への支援状況 /等 ③（都道府県）市区町村支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習に関する市区町村への支援内容 /等
4.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習に係る取組における課題 ・ 障害者の生涯学習の拡充に向けて必要な支援 /等

（3）障害者本人を対象とする調査

① 目的

障害者の生涯学習活動への参加状況、参加場所や手段、生涯学習に期待していることや今後のニーズ等を把握し、共生社会における障害者の学習環境、学習機会提供のあり方検討に向けた基礎情報の収集、整理を行う。

② 調査対象

18歳以上の以下の障害者

※障害が重複する場合はいずれかの障害種として割付を行った。

図表 1-8 対象者の障害種別、年齢別の人数

障害種	年齢区分	内容・程度	割付件数
1.身体障害	全体に対して 割り付け ・18-20歳 ・20-30歳 ・30-40歳	視覚障害	600件
		聴覚障害	600件
		肢体不自由	600件
		内臓機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、その他	600件
2.知的障害	・40-50歳		600件

3.精神障害	・60歳以上		600件
4.発達障害			600件
			4,200件

③ 調査方法

対象となる18歳以上の障害者および障害者を持つ家族をモニターとして有しているインターネット調査会社を選定し、調査会社を通じたWeb調査を実施

④ 調査期間

令和5年1月13日（金）～令和5年1月17日（火）

⑤ 回収状況

回収件数は以下の通りである。

※あくまでも各障害種及び各年齢区分の回答者を一定確保することを目的としており、障害が重複する場合はいずれかの障害種として割付を行い、回収数としている。そのため、知的障害の回答数としてカウントされている回答であっても、知的障害以外に例えば身体障害があるなどのケースも含まれる。

※なお、集計を行う際には、障害種別の設問回答に従い、図表1-10に示す障害種別に再設定した上で集計を行った。

図表 1-9 対象者別の回収数（割り付け上の整理）

障害種別	年齢区分	内容	割付数	回収数
1.身体障害	全体に対して 割り付け ・18-20歳 ・20-30歳 ・30-40歳	視覚障害	600件	618件
		聴覚障害	600件	618件
		肢体不自由	600件	618件
		内臓機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、その他	600件	618件
2.知的障害	・40-50歳		600件	618件
3.精神障害	・60歳以上		600件	618件
4.発達障害			600件	618件
			4,200件	4,326件

図表 1-10 対象者別の回収数（集計上の整理）

	障害種別	回収数
1	身体障害_視覚障害のみ	385件
2	身体障害_聴覚障害のみ	422件
3	身体障害_肢体不自由のみ	416件
4	身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555件
5	知的障害のみ	206件
6	精神障害のみ、精神障害+発達障害	623件

7	発達障害のみ	433 件
8	身体障害 + 知的障害	158 件
9	身体障害 + 精神障害（発達障害含む）	258 件
10	身体障害 + 知的障害 + 精神障害（発達障害含む）	453 件
11	知的障害 + 精神障害（発達障害含む）	417 件
		4,326 件

⑥ 主な調査項目

主な調査項目は以下の通りである。

図表 1-11 主な調査項目

<p>1. 本人・家族の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回答者 ・ 住まいの状況 ・ 家族の状況 ・ 本人の状況 ・ 本人の心身の状況 <p>2. 現在の生涯学習の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 充足度、意欲 ・ 取組状況 ・ 本人の意思の反映 ・ オンライン学習やデジタル教材等の活用状況 <p>3. 過去の生涯学習の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組状況 <p>4. 今後の生涯学習のニーズ、課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の生涯学習のニーズ、取組内容 ・ 生涯学習において重要視すること、取組における課題 ・ 生涯学習に取り組む上でとよい支援や仕組み <p>5. 生涯学習に関する情報収集、相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集の状況 ・ 相談状況 ・ 団体と学校との情報連携 <p>6. 生涯学習の機会に対する意見</p>

第2章 地方公共団体を対象とする調査結果

【アンケート調査結果】

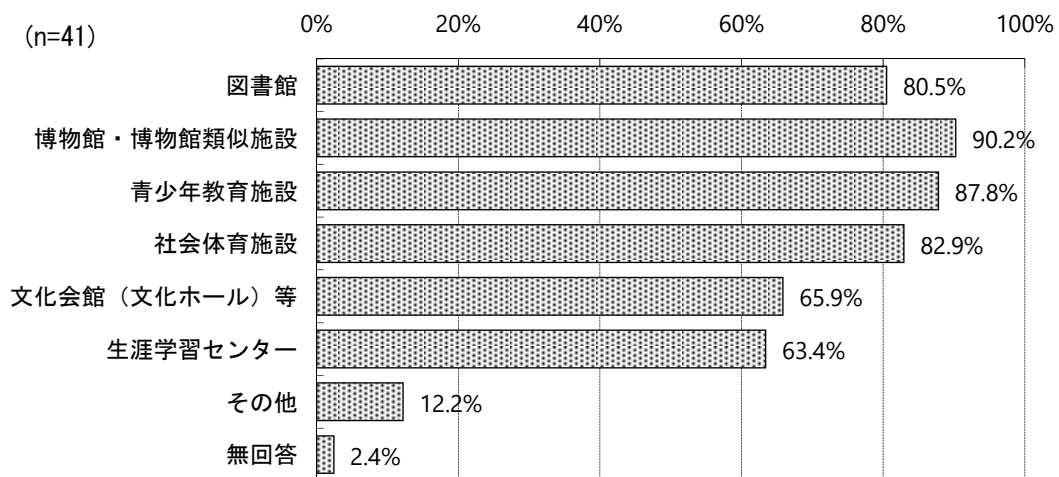
1. 都道府県調査

(1) 基本情報

① 管内の社会教育関連施設

「博物館・博物館類似施設」の割合が最も高く 90.2%となっている。次いで、「青少年教育施設（87.8%）」、「社会体育施設（82.9%）」となっている。

図表 2-1 管内の社会教育関連施設（複数選択）



(注)「その他」として、「社会教育施設」、「障害者芸術文化活動センター」、「視覚障害者情報提供施設(点字図書館)」等の回答があった。

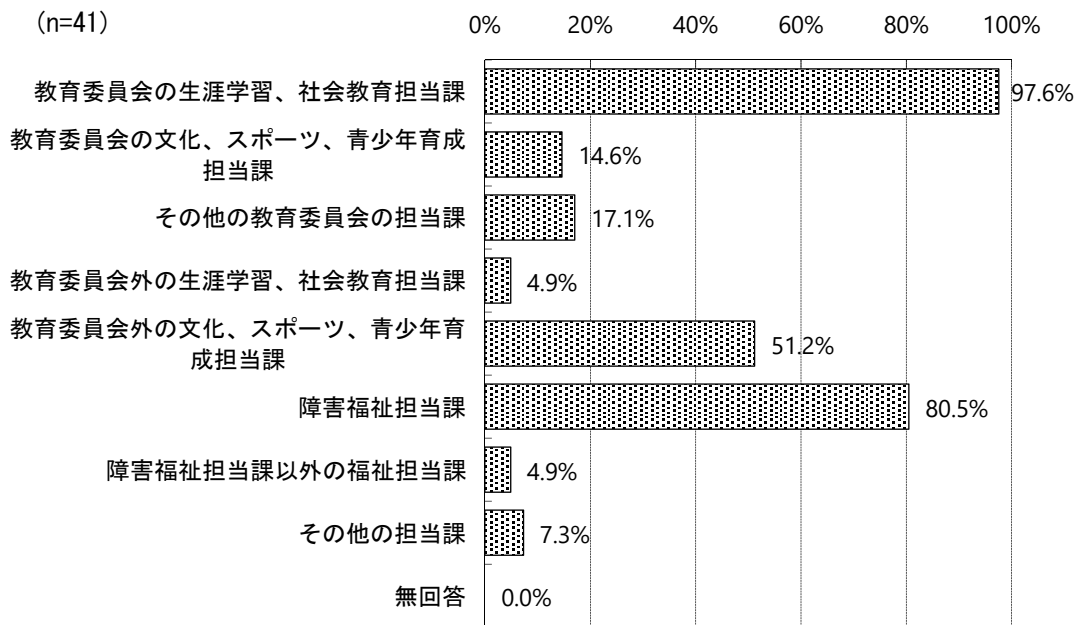
(2) 障害者の生涯学習の促進における庁内体制や連携状況

① 「障害者の生涯学習」担当課

1) 担当課

「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課」の割合が最も高く 97.6%となっている。次いで、「障害福祉担当課 (80.5%)」、「教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 (51.2%)」となっている。

図表 2-2「障害者の生涯学習」担当課（複数選択）

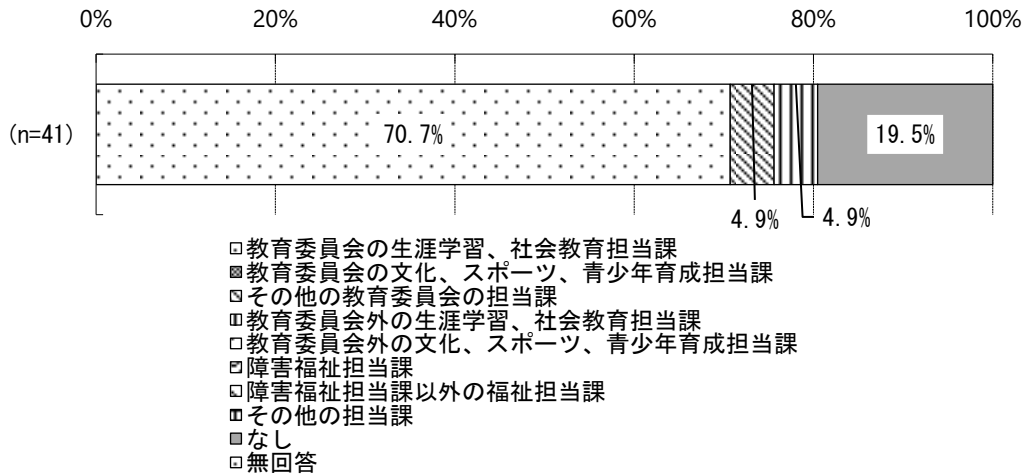


(注)障害者の生涯学習に関する取組のある所管課全般を「担当」として回答を求めた。

2) 主担当課

「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課」の割合が最も高く 70.7%となっている。次いで、「なし (19.5%)」、「その他の教育委員会の担当課 (4.9%)」、「教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 (4.9%)」となっている。

図表 2-3「障害者の生涯学習」主担当課 (単数選択)



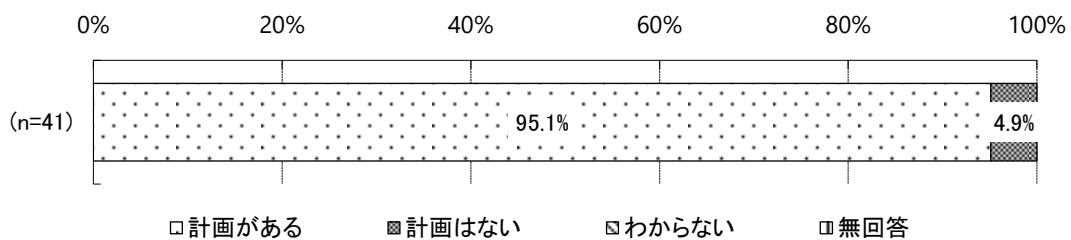
(注) 担当が1か所の場合、主担当も同じ選択肢を回答、複数の担当課が担当し担当と主担当が分かれていない場合は、「なし」を回答いただくよう求めた。

② 障害者の生涯学習について記載している行政計画

1) 障害者の生涯学習について記載している行政計画の有無

「計画がある」の割合が最も高く 95.1%となっている。次いで、「計画はない (4.9%)」となっている。

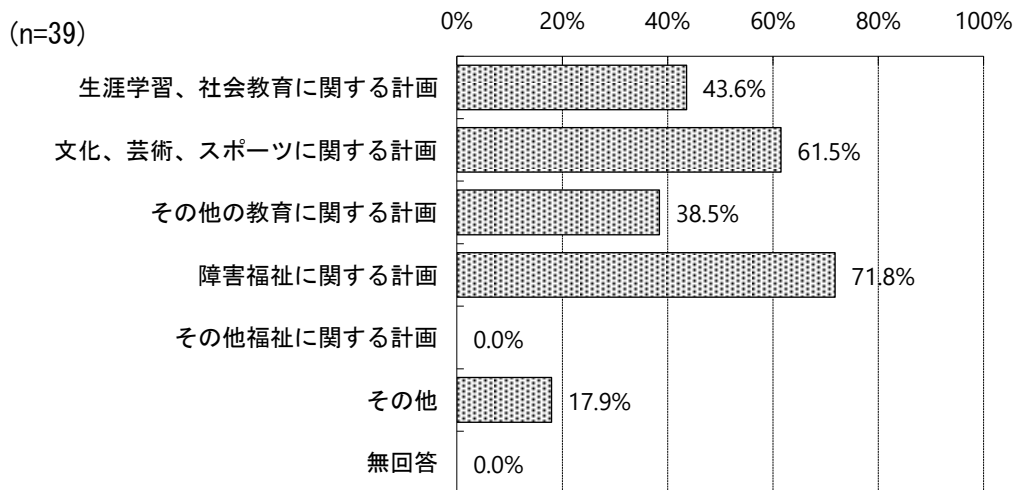
図表 2-4 障害者の生涯学習について記載している行政計画の有無 (単数選択)



2) (計画がある場合) 計画の種類

「障害福祉に関する計画」の割合が最も高く 71.8%となっている。次いで、「文化、芸術、スポーツに関する計画 (61.5%)」、「生涯学習、社会教育に関する計画 (43.6%)」となっている。

図表 2-5 (計画がある場合) 計画の種類 (複数選択)



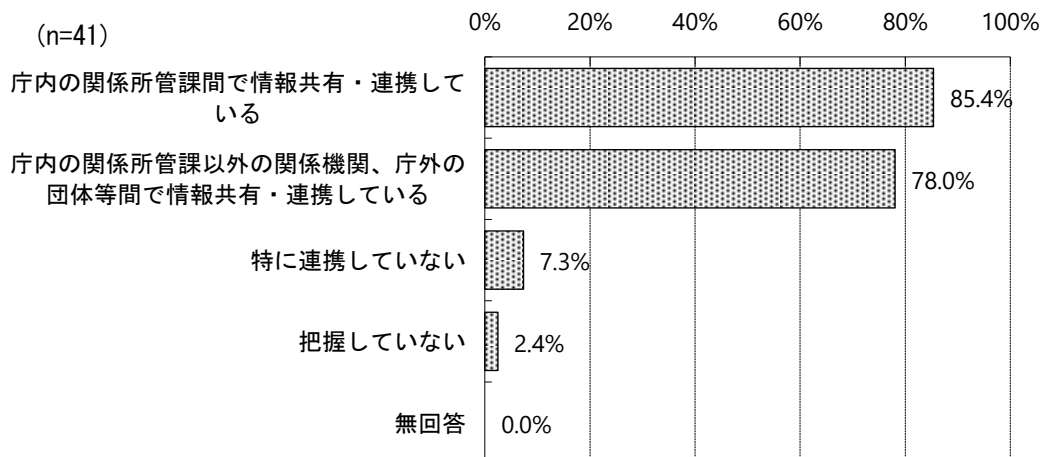
(注1)「その他」として、「人権施策の推進に関する計画」「職業能力に関する計画」等の回答があった。

③ 障害者の生涯学習活動に関する連携状況

1) 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況

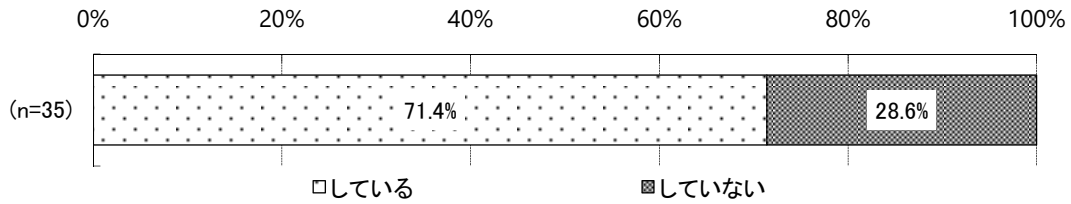
「庁内の関係所管課間で情報共有・連携している」の割合が最も高く 85.4%となっている。次いで、「庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している (78.0%)」、「特に連携していない (7.3%)」となっている。

図表 2-6 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況 (複数選択)



【参考】平成 29 年度調査結果_障害者の生涯学習活動に関する連携の状況【都道府県】

図表 2-7 障害者の生涯学習活動に関する連携の状況【都道府県】



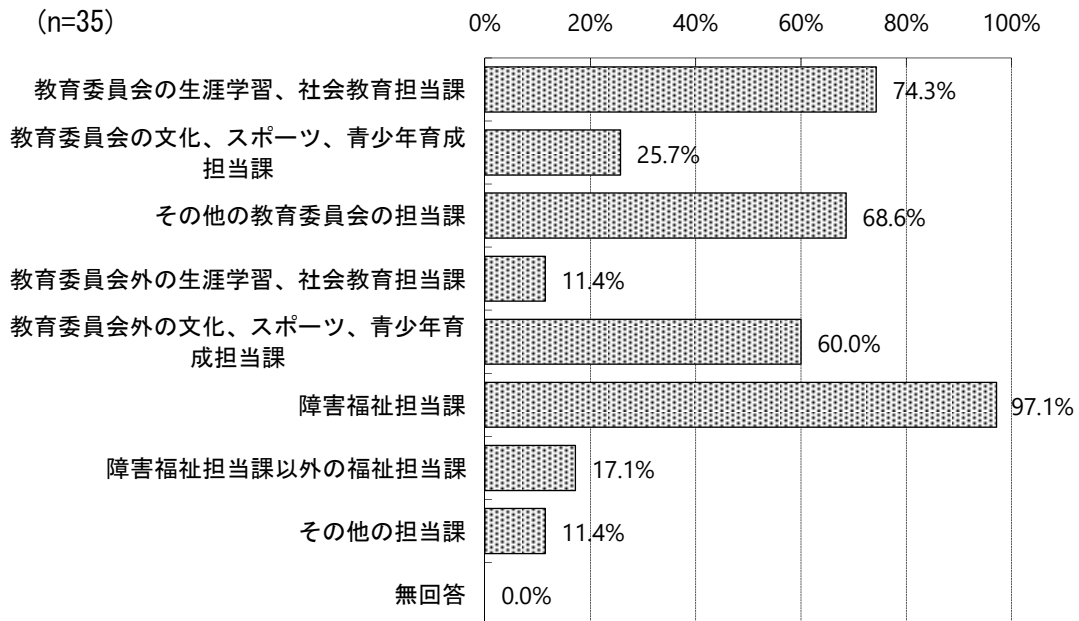
(出所)独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.11 を基に作成

2) 庁内の関係所管課間での連携状況 (n=35)

a) (庁内の関係所管課間で連携している場合) 主に情報共有・連携している所管課

「障害福祉担当課」の割合が最も高く 97.1%となっている。次いで、「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 (74.3%)」、「その他の教育委員会の担当課 (68.6%)」となっている。

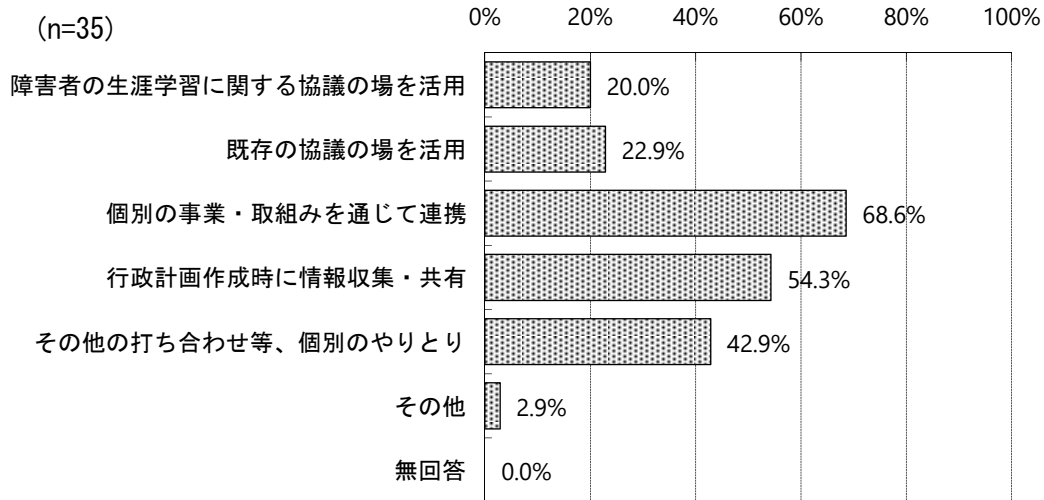
図表 2-8 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 主に情報共有・連携している所管課 (複数選択)



b) (庁内の関係所管課間で連携している場合) 連携方法

「個別の事業・取組みを通じて連携」の割合が最も高く 68.6%となっている。次いで、「行政計画作成時に情報収集・共有 (54.3%)」、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり (42.9%)」となっている。

図表 2-9 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 連携方法 (複数選択)



c) (既存の場を活用している場合) 主な場所

既存の場を活用している場合、検討している主な場所は以下のとおり。

図表 2-10 (既存の場を活用している場合) 主な場所 (複数選択、n=8)

項目	件数
生涯学習・社会教育に関する協議の場	3
学校教育や児童福祉に関する協議の場	0
障害福祉に関する協議の場	2
その他福祉に関する協議の場	0
その他	3
無回答	0

(注)「その他」として、「障がい者スポーツ・障がい者文化芸術に関する協議の場」「パラスポーツ関係機関連絡会議」の回答があった。

d) (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容

これまでの主な検討内容は以下のとおり。

図表 2-11 (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容 (自由記述式)

■ 障害者の生涯学習に関する協議の場での検討内容 (n=7)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習の支援体制づくりについて ・ 文化芸術、スポーツ分野における障がい者の活躍の場、障がい者理解の促進につながる取組について ・ 地域共生社会の実現に向けた福祉部局での取組 ・ 障がい者理解の促進に向けた研修会について ・ 特別支援教育における生涯学習意欲を高めるための取組について ・ 県下で取組を普及させるための方策について ・ 講座・プログラムの開発について ・ ボランティア・支援者の育成について ・ 読書バリアフリー ・ 市町村における持続可能な生涯学習の在り方について ・ 調査・実践研究・人材発掘育成・普及啓発
■ 既存の協議の場での検討内容 (n=8)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習の場を継続的なものとしていくための方策についてなど ・ 障がい者の生涯学習支援の講座内容 ・ 障がい者スポーツの推進 ・ 県内におけるパラスポーツの振興 ・ 読書バリアフリー計画策定に向けた協議 ・ 視覚障害者情報提供施設の運営協議会において、バリアフリー図書の利用促進等に関する取組を協議

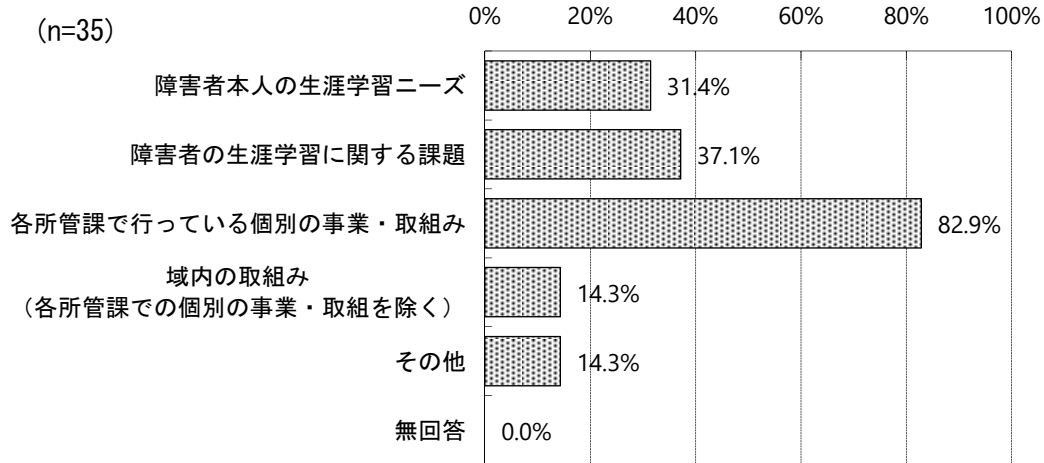
(注1)n は、連携方法について、「障害者の生涯学習に関する協議の場」「既存の協議の場」を回答した件数。

(注2)1団体で複数の内容を検討している場合がある。

e) (庁内の関係所管課間で連携している場合) 共有している内容

「各所管課で行っている個別の事業・取組み」の割合が最も高く 82.9%となっている。次いで、「障害者の生涯学習に関する課題 (37.1%)」、「障害者本人の生涯学習ニーズ (31.4%)」となっている。

図表 2-12 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 共有している内容 (複数選択)



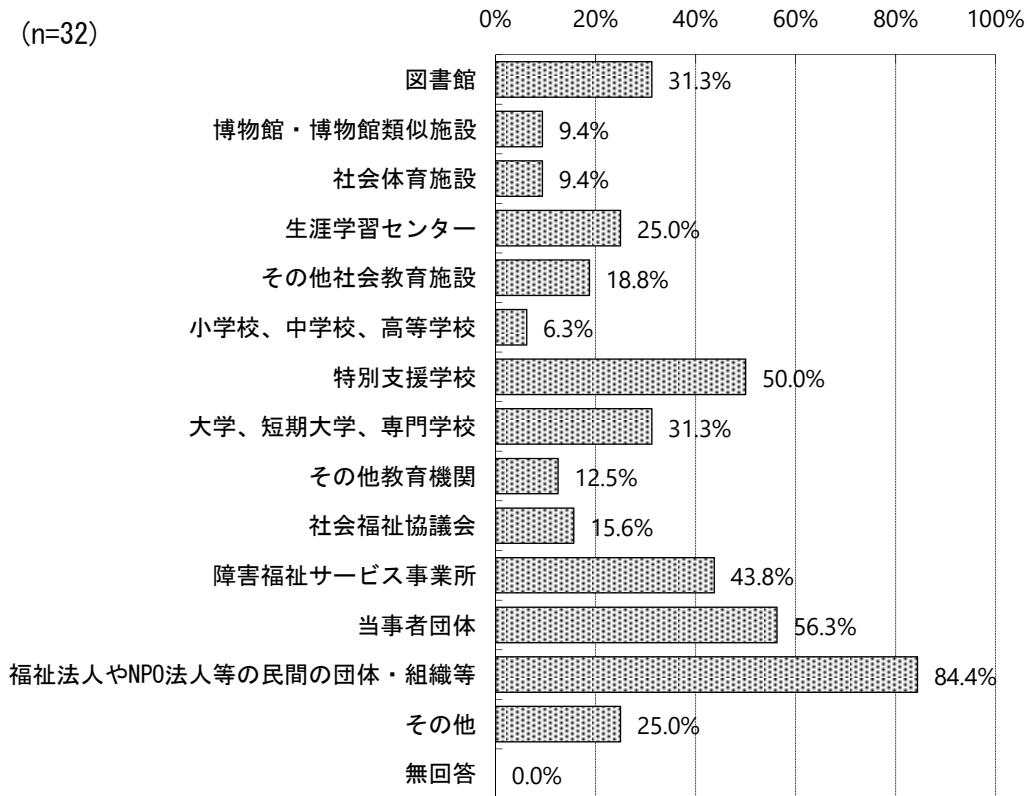
(注)「その他」として、「文部科学省関連事業の情報提供」との回答があった。

3) 関係所管課以外の関係機関、庁外団体等との連携状況 (n=32)

a) (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 主に情報共有・連携している関係機関・団体

「福祉法人や NPO 法人等の民間の団体・組織等」の割合が最も高く 84.4%となっている。次いで、「当事者団体 (56.3%)」、「特別支援学校 (50.0%)」となっている。

図表 2-13 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 主に情報共有・連携している関係機関・団体
(複数選択)

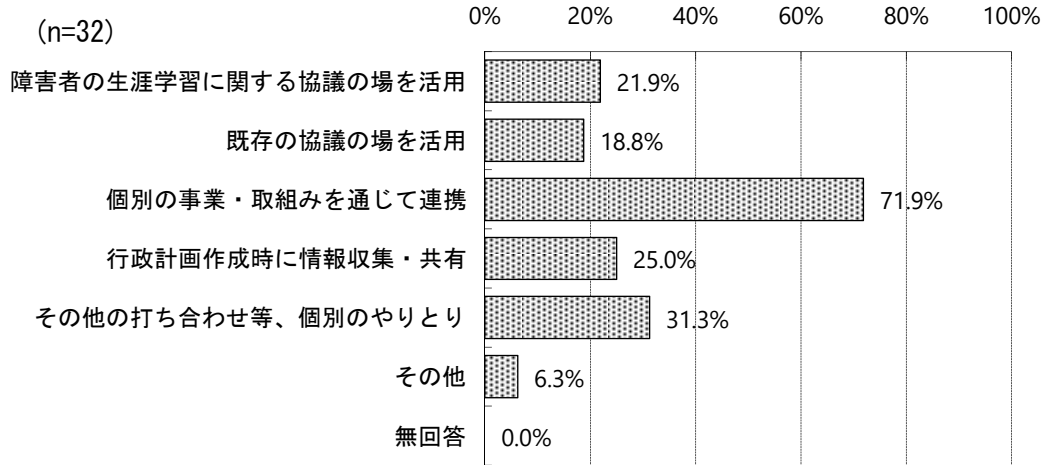


(注)「その他」として、「障害者スポーツ協会」「公共職業安定所」「出版社(読書バリアフリー協議会委員)」「点字図書館」「競技団体等」等の回答があった。

b) (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法

「個別の事業・取組みを通じて連携」の割合が最も高く 71.9%となっている。次いで、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり (31.3%)」、「行政計画作成時に情報収集・共有 (25.0%)」となっている。

図表 2-14 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法 (複数選択)



(注)「その他」として、「委託」「指定管理」との回答があった。

c) (既存の場を活用している場合) 主な場所

既存の場を活用している場合、検討している主な場所は以下のとおり。

図表 2-15 (既存の場を活用している場合) 主な場所 (複数選択、n=6)

項目	件数
生涯学習・社会教育に関する協議の場	5
学校教育や児童福祉に関する協議の場	0
障害福祉に関する協議の場	0
その他福祉に関する協議の場	1
その他	1
無回答	0

(注)「その他」として、「表彰検討会議」との回答があった。

d) (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容

これまでの主な検討内容は以下のとおり。

図表 2-16 (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容 (自由記述式)

<p>■ 障害者の生涯学習に関する協議の場での検討内容 (n=7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の学びを広げるためにできることについて ・ 障害者の生涯学習の支援体制づくり ・ 県全体の推進方策検討との情報交換 ・ 市町村における持続可能な生涯学習の在り方について ・ 読書バリアフリー、芸術活動など社会参加 ・ 県内におけるパラスポーツ ・ 振興調査・実践研究・人材発掘育成・普及啓発
<p>■ 既存の協議の場での検討内容 (n=6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の学びの場を継続的なものとしていくための方策についてなど ・ 事業計画及び実施状況、成果・課題等 ・ 障がい者の生涯学習に係る周知事項の共有 県におけるスポーツや文化芸術に係る取組内容の共有 ・ インクルーシブな学びの機会を広げていくための方策の検討 ・ 表彰候補者の検討

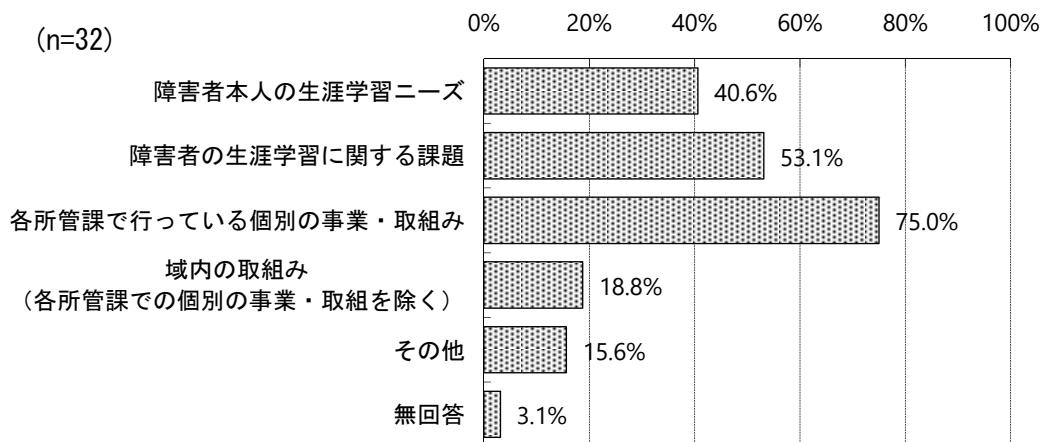
(注1)n は、連携方法について、「障害者の生涯学習に関する協議の場」「既存の協議の場」を回答した件数。

(注2)1団体で複数の内容を検討している場合がある。

e) (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 共有している内容

「各所管課で行っている個別の事業・取組み」の割合が最も高く 75.0%となっている。次いで、「障害者の生涯学習に関する課題 (53.1%)」、「障害者本人の生涯学習ニーズ (40.6%)」となっている。

図表 2-17 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 共有している内容 (複数選択)



(注)「その他」として、「生涯学習センターの事業・取組」「団体が行っている個別の取組」「環境調整のあり方」「国の情報等」「障害者スポーツ・レクリエーションセンターの利用状況」との回答があった。

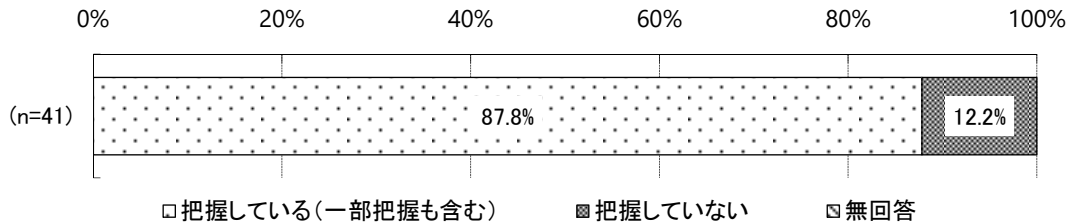
(3) 障害者のニーズの把握状況

① 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無

1) 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無

「把握している（一部把握も含む）」の割合が最も高く 87.8%となっている。次いで、「把握していない（12.2%）」となっている。

図表 2-18 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無（単数選択）



2) (把握していない場合) その理由

把握していない理由は以下のとおり。

図表 2-19 把握していない理由（自由記述式、n=5）

- ・ 事業構築等の機会がなく、ニーズを把握するための調査を実施していない
- ・ ニーズ把握の手法がないため
- ・ これまで調査研究していないため
- ・ 県内の生涯学習講座全体として捉えている
- ・ 十分な回答結果を得られるような調査をするための予算措置がない

(注1) n は、障害者の生涯学習ニーズの把握の有無について、「把握していない」を回答した件数。

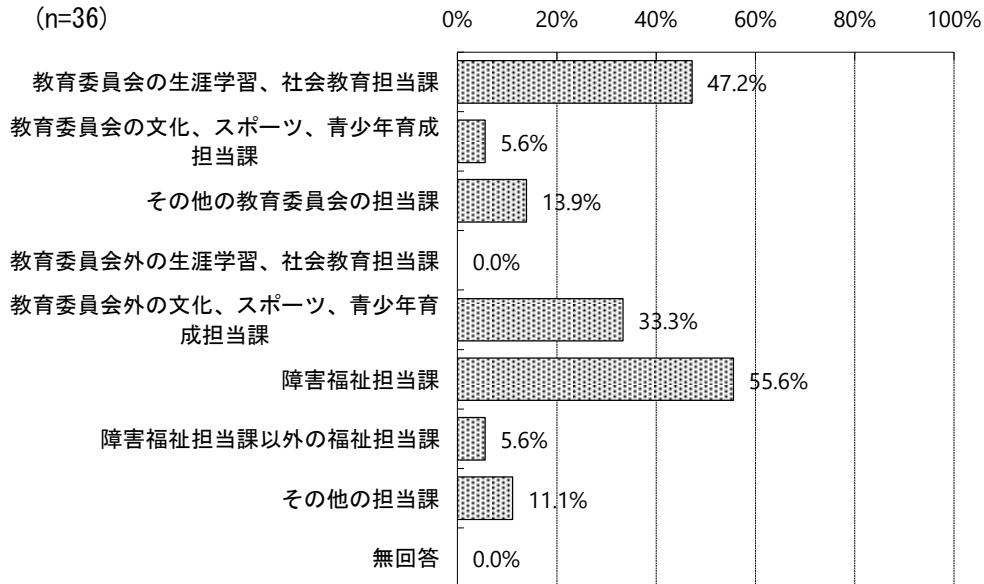
(注2) 1団体で複数の内容を記載している場合がある。

② (把握している場合) ニーズの把握状況 (n=36)

1) ニーズを把握している部署

「障害福祉担当課」の割合が最も高く 55.6%となっている。次いで、「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 (47.2%)」、「教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 (33.3%)」となっている。

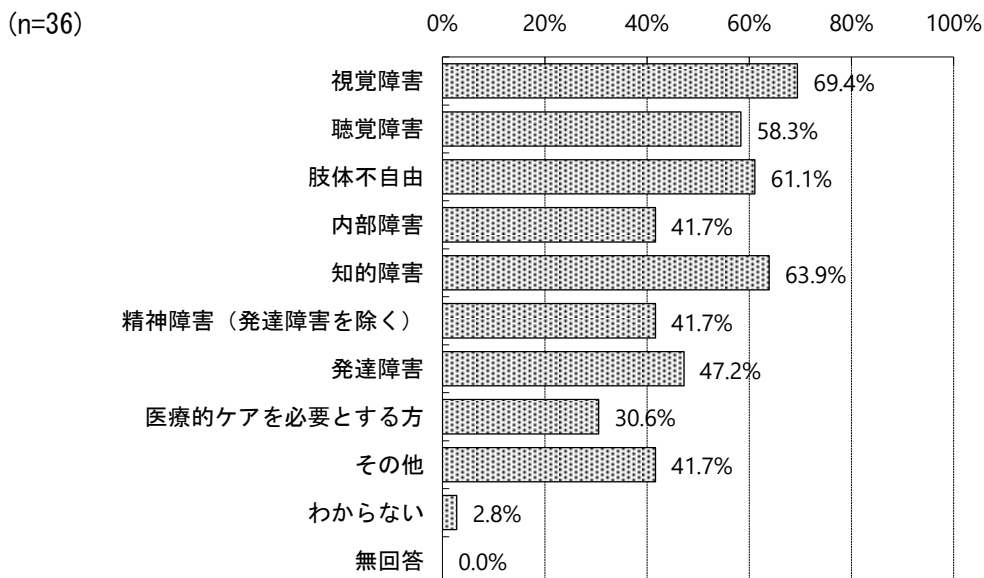
図表 2-20 ニーズを把握している部署 (複数選択)



2) ニーズを把握している障害種

「視覚障害」の割合が最も高く 69.4%となっている。次いで、「知的障害 (63.9%)」、「肢体不自由 (61.1%)」となっている。

図表 2-21 ニーズを把握している障害種 (複数選択)

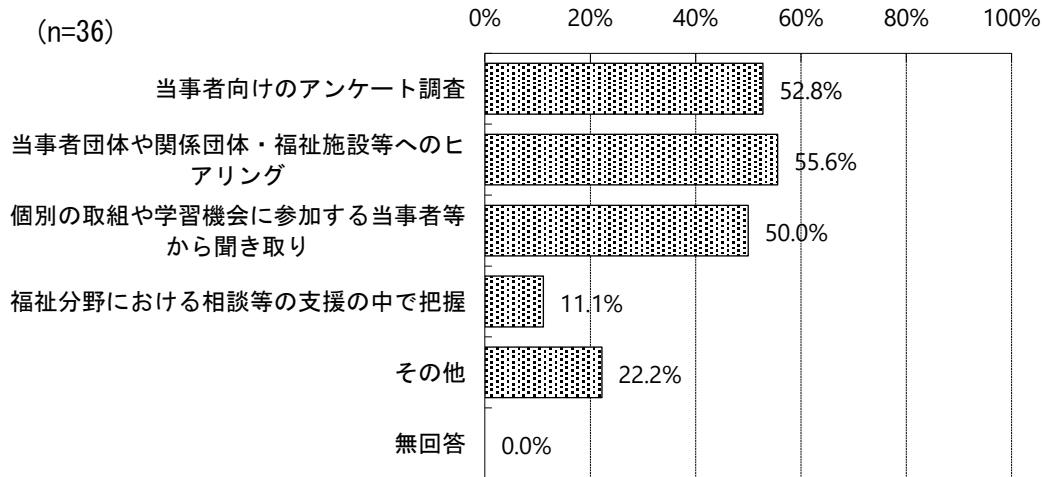


(注)「その他」として、「難病」「障害種別によらず意見等を伺っている」「施設利用者」「障害者大会出場選手等」「一般就労を目指す障がい者」等の回答があった。

3) 障害者の生涯学習ニーズを把握するために行なった（いる）こと

「当事者団体や関係団体・福祉施設等へのヒアリング」の割合が最も高く 55.6%となっている。次いで、「当事者向けのアンケート調査（52.8%）」、「個別の取組や学習機会に参加する当事者等から聞き取り（50.0%）」となっている。

図表 2-22 障害者の生涯学習ニーズを把握するために行なった（いる）こと（複数選択）

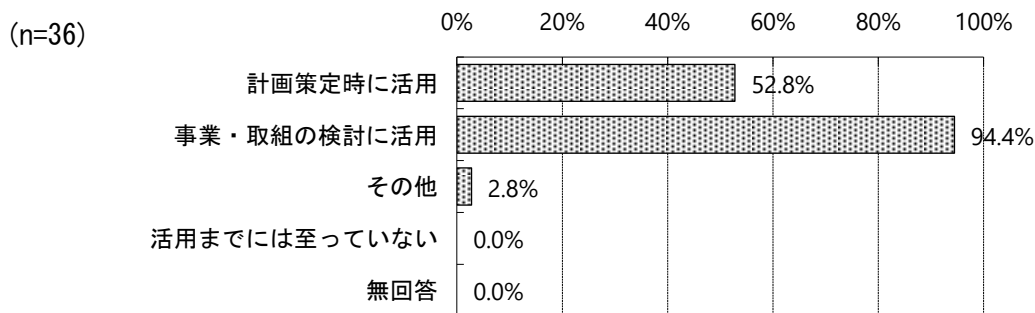


(注)「その他」として、「読書バリアフリー協議会」「障がい者スポーツを専門とするスポーツ協会の設置」「障害者職業能力開発校運営懇話会での関係者からの意見聴取」「公立学校への就労支援コーディネーターの派遣」「各市町に照会」等の回答があった。

4) 把握したニーズの活用状況

「事業・取組の検討に活用」の割合が最も高く 94.4%となっている。次いで、「計画策定時に活用（52.8%）」、「その他（2.8%）」となっている。

図表 2-23 把握したニーズの活用状況（複数選択）



(注)「その他」として、「社会教育委員会議の協議に活用」との回答があった。

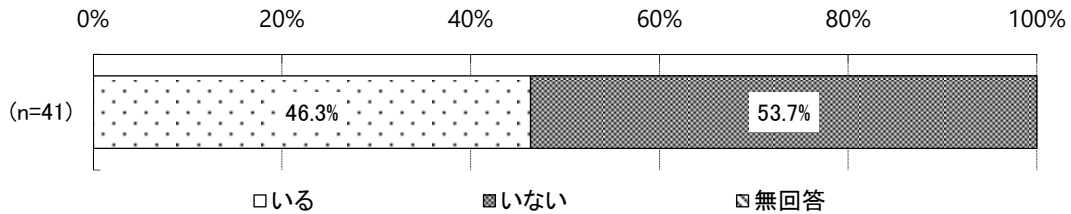
(4) 障害者の生涯学習に関する取組状況

① コーディネーターの配置状況

1) コーディネーターの配置の有無

「いない」の割合が 53.7%、「いる」の割合は 46.3%となっている。

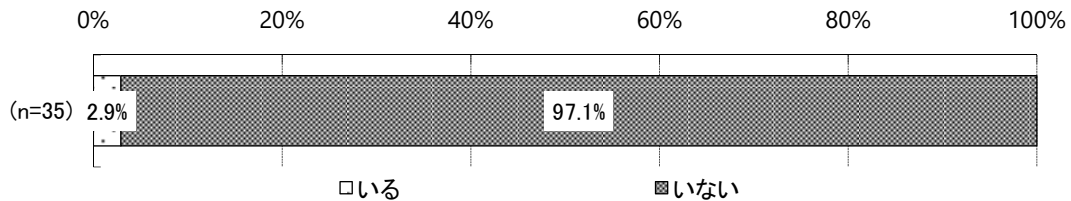
図表 2-24 コーディネーターの配置の有無 (単数選択)



(注) 回答にあたって、コーディネーターの定義を次のとおりお示しした:「コーディネーター的な役割を担っている人」とは、障害者の生涯学習の企画や調整、実施を担う人のこと。個別のニーズに対して学習機会等を紹介・コーディネートを行う場合も含む。想定される担い手としては、社会教育主事、公民館主事、図書館司書、博物館学芸員、その他の社会教育施設職員、特別支援学校教職員、大学教職員、社会福祉協議会職員、障害福祉サービス事業所職員、NPO職員等。また、障害者の生涯学習活動のために配置していなくても、実態として当該機能を果たしている場合も「いる」を回答いただいた。

【参考】平成 29 年度調査結果_専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担う人の有無【都道府県】

図表 2-25 専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担う人の有無【都道府県】



(出所) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.13 を基に作成

(注) 当該調査におけるコーディネーターの定義は次のとおり:「障害者の生涯学習活動を企画・実施するにあたって、特別支援教育や障害者福祉等の専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担っている人」

2) (いる場合) コーディネーターの職種、果たしている機能・役割

コーディネーターの職種、果たしている機能・役割は以下のとおり。

図表 2-26 コーディネーターの職種、果たしている機能・役割 (自由記述式)

職種	果たしている機能・役割
社会教育主事	生涯学習活動の企画・実施
司書、指導主事	読書バリアフリーに係る事業の企画・調整・実施
①図書館司書 ②事務職	①点字図書の貸出やレファレンス等 ②障がい者の芸術文化を支援する人材育成及び確保
①大学教職員 ②(一社)県障がい者スポーツ協会職員 ③障害者芸術文化活動支援センター職員	①障害者の生涯学習への助言・調整 ②パラスポーツの指導・体験会の実施調整 ③芸術文化活動の支援(企画実施を含む)
(一社)県障害者スポーツ協会	障害者スポーツに関する相談窓口
博物館学芸員/教育企画員	個別ニーズに応じて解説や資料を用意/企画・実施
大学教職員	パラスポーツの普及
就労支援コーディネーター	公立学校において障害のある生徒の就労について支援している
障害者職業訓練コーディネーター、障害者職業訓練支援員	障害者職業訓練の実施、会社訓練に係る相談、指導、就職支援
コンソーシアム形成コーディネーター・身体障害者社会学級コーディネーター	ニーズ把握・事業連携先との連絡調整・講座の企画調整
施設職員、障害者職業訓練コーディネーター、職業訓練指導員、PSW、CW	スポーツに係る相談や指導等、訓練実施機関や公共職業安定所等との連絡調整、職場定着支援、就労支援 等

(注) 職種と果たしている機能・役割の両方の記載があったものから主なものを掲載した。

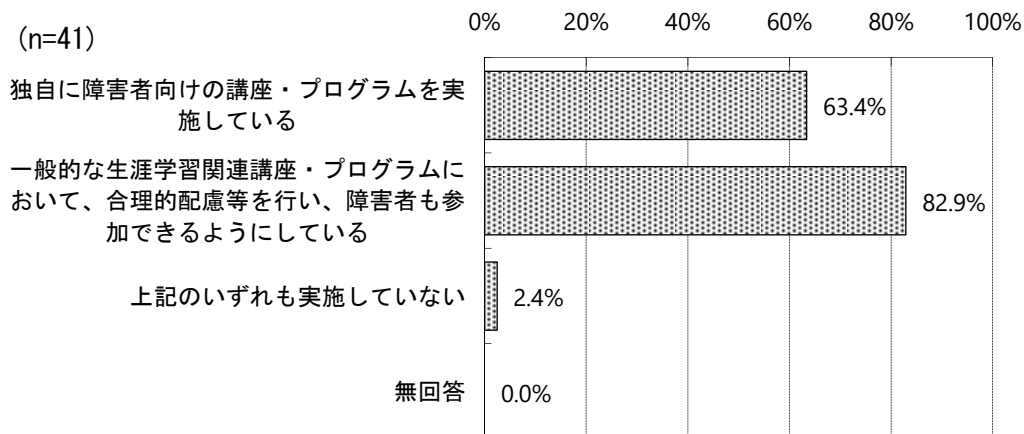
② 障害者の生涯学習活動に関する取組状況

1) 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況

a) 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況

「一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている」の割合が最も高く 82.9%となっている。次いで、「独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している (63.4%)」、「上記のいずれも実施していない (2.4%)」となっている。

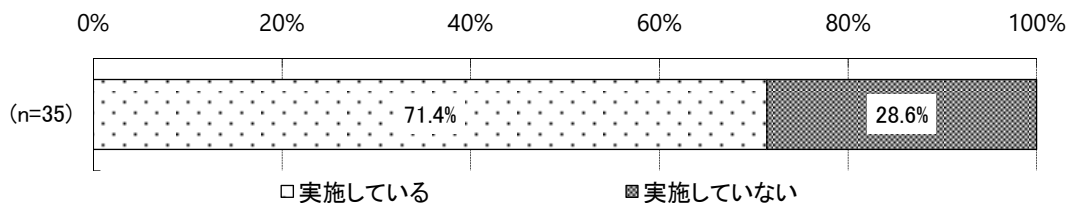
図表 2-27 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況 (複数選択)



(注) 本調査では、「合理的配慮等」とは、「事前に障害者が参加することを想定し、情報保障やアクセシビリティ(年齢や障害の有無に関係なく、誰でも必要とする情報・活動に簡単にたどり着け、利用できること)等が配慮されていること」として、回答を求めた。

【参考】平成 29 年度調査結果_学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無【都道府県】

図表 2-28 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無【都道府県】



(出所)独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.13 を基に作成

b) いずれかもしくはいずれも実施していない理由

実施していない理由は以下のとおり。

図表 2-29 実施していない理由（自由記述式）

<p>■ いずれかを実施していない（n=20）</p> <p>< 独自に障害者向けの講座等の実施を選択しなかった場合 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ 今年度は検討中であり、職員研修等を行いながら実施する予定・ 障害当事者向けの講座・プログラムを実施するにあたっての、個別の障害に対応した合理的配慮に基づく支援体制が不十分であるため・ 現在行っている講演会や講座にプラスして、障害者向けの講座等を行うことは予算的に厳しいことから、一般的な講座等のみ開催し、希望があれば個別に対応する・ 従来 of 講座・プログラムに、可能な限り障害者が参加できるよう取り組むことで対応している・ 独自に障がい者向けの講座・プログラムを実施できる人員・予算が確保できないため・ 障がい者の生涯学習のニーズを十分に把握できていないため。また、専門の指導者等の確保や予算措置等ができていないため・ プログラム開発のノウハウがない / 等 <p>< 合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにする取組の実施を選択しなかった場合 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ 障がい者をメインターゲットにした講座（体験会、ワークショップ等）であるため・ 合理的な配慮を適切に行うことが可能な体制作りが整っていないため・ 県内の一般的な生涯学習関連講座プログラムにおいては、合理的な配慮がなされていると聞いているが、全ての事例において把握していない / 等
<p>■ いずれも実施していない（n=1）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 検討中

(注1) n 数は、実施状況について、いずれかを実施していない、もしくは「いずれも実施していない」を回答した件数。

(注2) 1 団体で複数の内容を記載している場合がある。

2) 自治体独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している場合 (n=26)

a) 講座・プログラム数

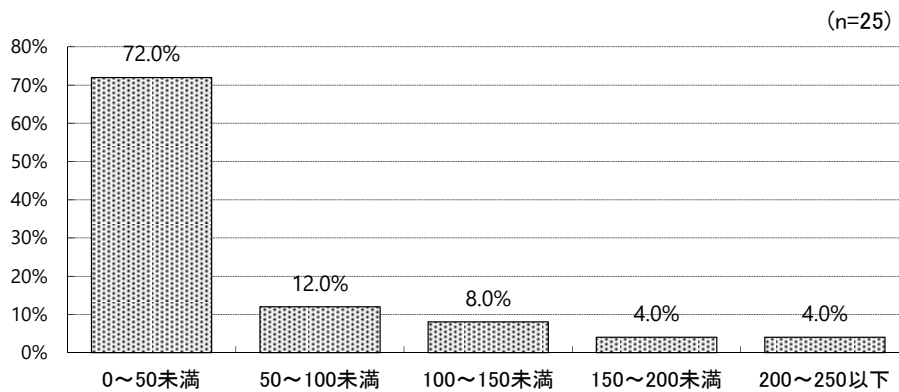
平均値 40.76、標準偏差 57.18、中央値 13.00 となっている。

図表 2-30 講座・プログラム数 (数値入力)

回答数 (n)	平均値	標準偏差	中央値
25	40.76	57.18	13.00

(注)数値の回答があったものを集計の対象とした。

図表 2-31 講座・プログラム数の分布 (数値入力)

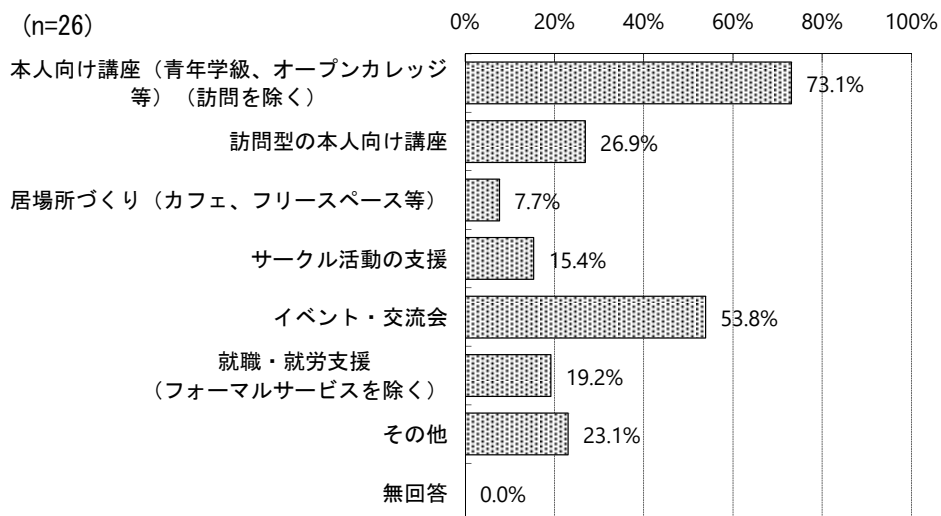


(注)4か所の都道府県で、100件以上の講座・プログラム数の回答があった。

b) 講座・プログラムの種別

「本人向け講座 (青年学級、オープンカレッジ等) (訪問を除く)」の割合が最も高く73.1%となっている。次いで、「イベント・交流会 (53.8%)」、「訪問型の本人向け講座 (26.9%)」となっている。

図表 2-32 講座・プログラムの種別 (複数選択)

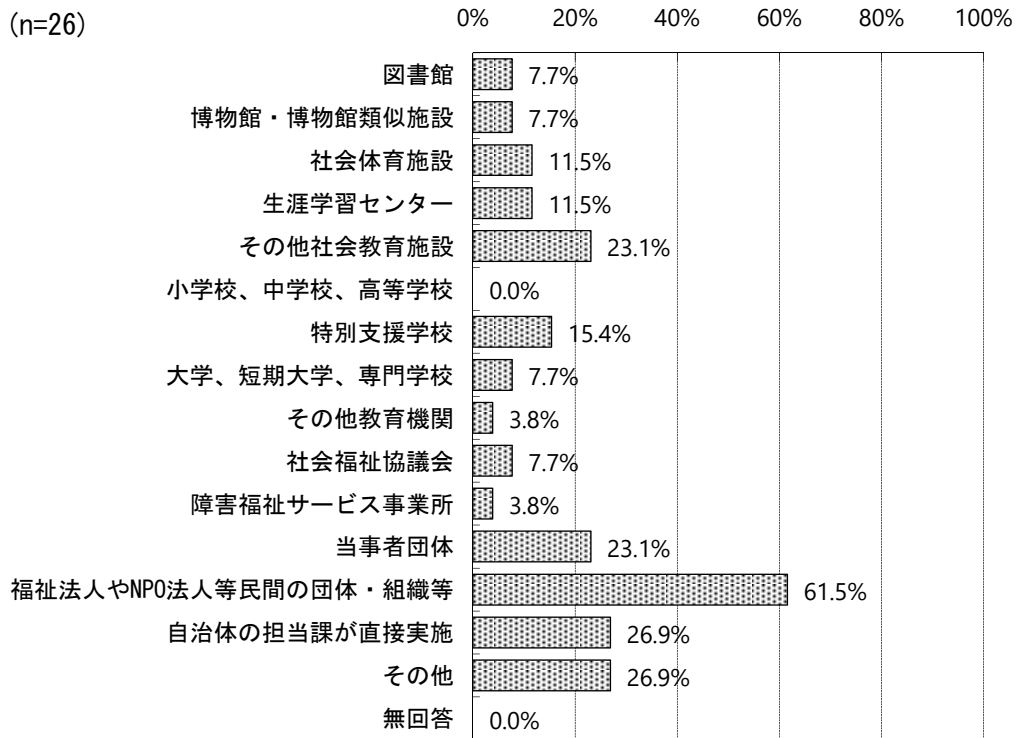


(注)「その他」として、「障害者スポーツ大会」「障害者文化芸術祭応募作品展」「各種スポーツ教室」「宿泊型自然体験活動」「スキルアップ講座」「資料の無料郵送貸出サービス」「対面朗読」「舞台芸術への参加機会の提供」等の回答があった。

c) 講座・プログラムの実施主体

「福祉法人や NPO 法人等民間の団体・組織等」の割合が最も高く 61.5%となっている。次いで、「自治体の担当課が直接実施 (26.9%)」、「その他 (26.9%)」、「その他社会教育施設 (23.1%)」、「当事者団体 (23.1%)」となっている。

図表 2-33 講座・プログラムの実施主体 (複数選択)

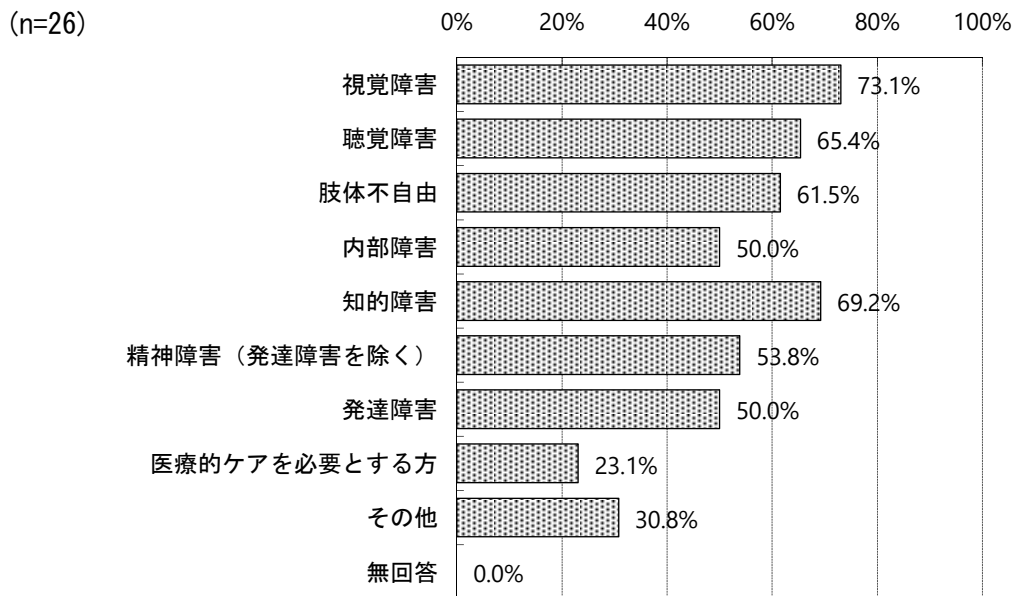


(注)「その他」として、「障害者文化芸術活動支援センター」「障害者スポーツ協会」「県視覚障害者福祉センター」「職業訓練施設」等の回答があった。

d) 取組の対象としている主な障害種別

「視覚障害」の割合が最も高く 73.1%となっている。次いで、「知的障害（69.2%）」、「聴覚障害（65.4%）」となっている。

図表 2-34 取組の対象としている主な障害種別（複数選択）



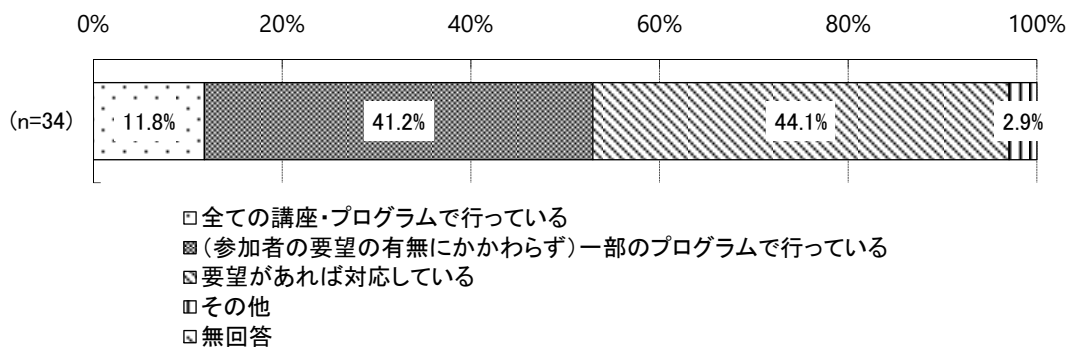
(注)「その他」として、「特定の障害によらない」「難病」等の回答があった。

3) 一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている場合 (n=34)

a) 合理的配慮等を行う講座・プログラム等の実施状況

「要望があれば対応している」の割合が最も高く 44.1%となっている。次いで、「（参加者の要望の有無にかかわらず）一部のプログラムで行っている（41.2%）」、「全ての講座・プログラムで行っている（11.8%）」となっている。

図表 2-35 合理的配慮等を行う講座・プログラム等の実施状況（単数選択）

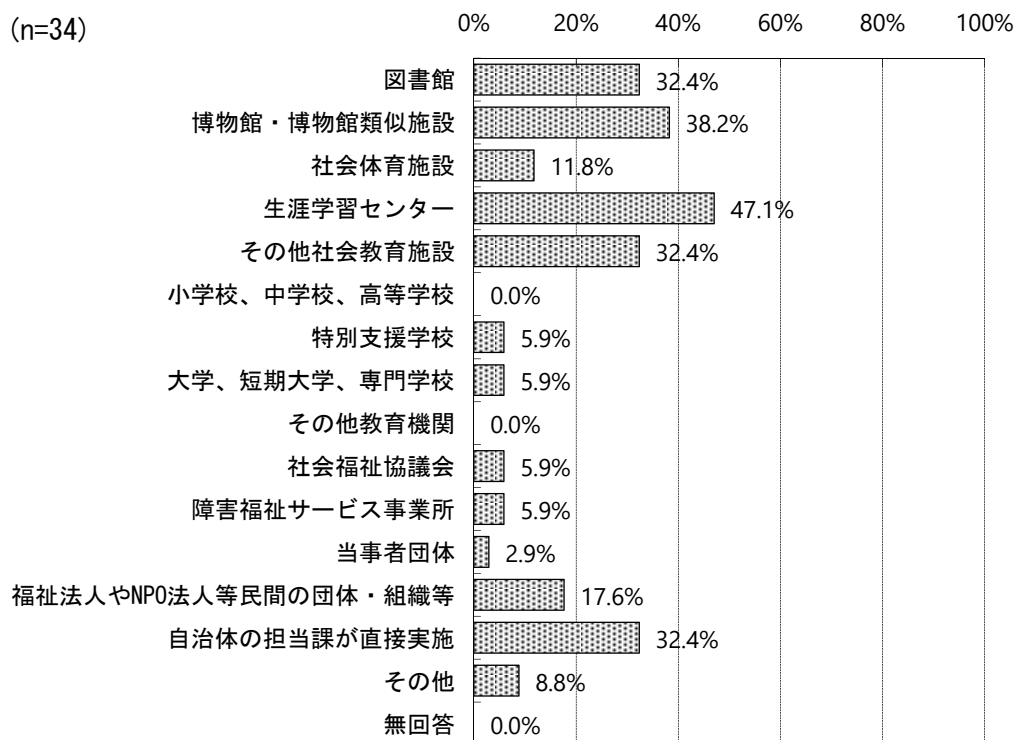


(注)「その他」として、「要望の有無にかかわらず一部のプログラムで行っている課もあれば、要望があれば対応という課もある」等の回答があった。

b) 講座・プログラムの実施主体

「生涯学習センター」の割合が最も高く 47.1%となっている。次いで、「博物館・博物館類似施設 (38.2%)」、「図書館 (32.4%)」、「その他社会教育施設 (32.4%)」、「自治体の担当課が直接実施 (32.4%)」となっている。

図表 2-36 講座・プログラムの実施主体 (複数選択)

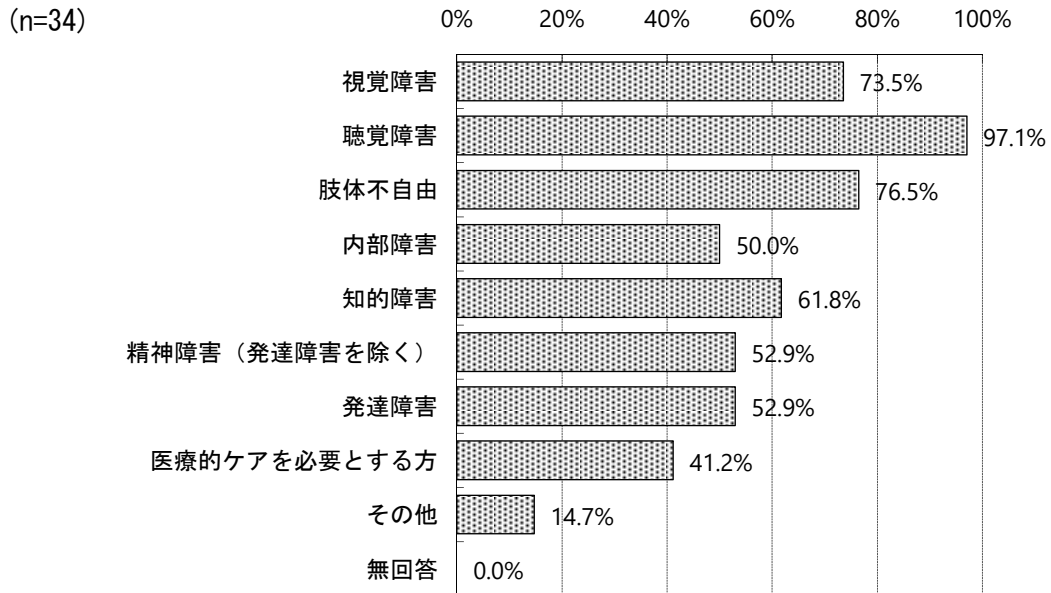


(注)「その他」として、「職業訓練施設」「公共職業能力開発施設」との回答があった。

c) 配慮している障害種別

「聴覚障害」の割合が最も高く 97.1%となっている。次いで、「肢体不自由（76.5%）」、「視覚障害（73.5%）」となっている。

図表 2-37 配慮している障害種別（複数選択）



(注)「その他」として、「障害の有無によらない」「状況に応じて対応」等の回答があった。

d) 行なっている主な合理的配慮等の内容・工夫

行なっている主な合理的配慮等の内容・工夫は以下のとおり。

図表 2-38 行っている主な合理的配慮等の内容・工夫（自由記述式）

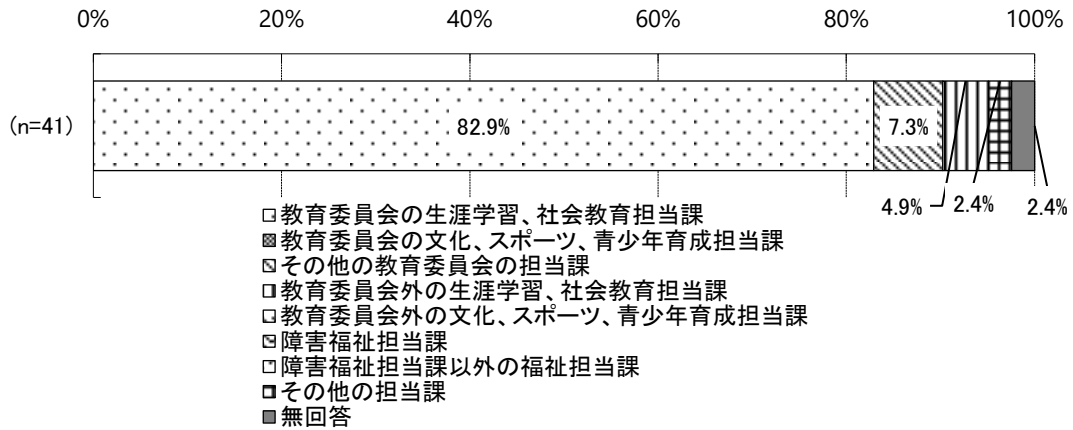
■ 障害種別に応じた対応
<p><視覚障害></p> <ul style="list-style-type: none">・ 拡大読書器を設置。展示について、スマートフォンで解説音声の再生が可能なアプリケーションを導入。常時ではないが触覚による展覧会・ワークショップを実施。画像だけでなく、言葉でも説明・ パンフレットやイベントチラシにユニボイスを挿入（アプリで読み込みできる音声コードを記載） <p><聴覚障害></p> <ul style="list-style-type: none">・ 集団補聴システムの導入・ 受講者の希望に応じて手話通訳者や要約筆記者を派遣、磁気ループの使用・ 手話通訳。要約筆記。展示解説動画に字幕。キャプション、作品リストによる案内。言葉だけでなく、文字や画像等でも説明。受付に筆談ボードを配備 <p><肢体不自由></p> <ul style="list-style-type: none">・ 屋外での学習プログラムにおいて、車いすの方も参加できるよう、医療従事者や介助者等の配置や、福祉バスの借上げなどを行っている・ 車椅子用座席を用意・ オストメイト対応トイレ、サンタリーボックスの設置。館内・展示内容の案内補助 <p><知的障害・発達障害></p> <ul style="list-style-type: none">・ パンフレットや資料等にフリガナを振る・ 知的障害：造形美術教材を用意。発達障害：職員を増員して対応。造形美術教材を用意・ 他の団体を入れないなど予約調整（自閉症等）・ 知的障害・発達障害のある児童・生徒の見学：子どもの発達段階や当日の様子に合わせ、見学方法を柔軟に変更。見学を中断してしまった子どもに対し、心を落ち着けるための別室や静かな場所の用意（提案） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療的ケアが必要な場合の個別スペース（同行する看護師によるケア、排泄、給水等）やクールダウンのための休憩場所を提供・ 医療的ケアを必要とする方には、授乳室と救護室を開放し、ご利用いただく
■ 特定の障害種別によらない対応
<ul style="list-style-type: none">・ ユニバーサルデザインによる施設環境の整備（段差の解消、ピクトグラムを活用した施設案内等）・ 団体の要望や障がいの度合いに応じて指導員を増やして対応・ 障害の有無に関わらず参加できるスポーツプログラムを作成し、障害者スポーツ指導員等の協力を得ながら、さまざまな障害の種別や度合いに配慮した体制を取っている・ 広報時に「車いす来場可」、「補助券同伴可」等、アクセシビリティアイコンを表示している / 等

③ 障害者の生涯学習活動に関する把握・情報提供の状況

1) 回答部署

「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課」の割合が最も高く 82.9%となっている。次いで、「その他の教育委員会の担当課（7.3%）」、「教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課（4.9%）」となっている。

図表 2-39 回答部署（単数選択）



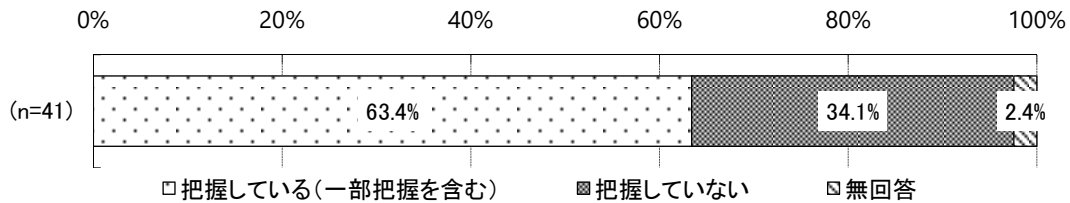
(注)③障害者の生涯学習活動に関する把握・情報提供の状況については、障害者の生涯学習主担当課もしくは回答可能な担当課から代表1か所の所管課に回答を求めた。

2) 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握状況

a) 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無

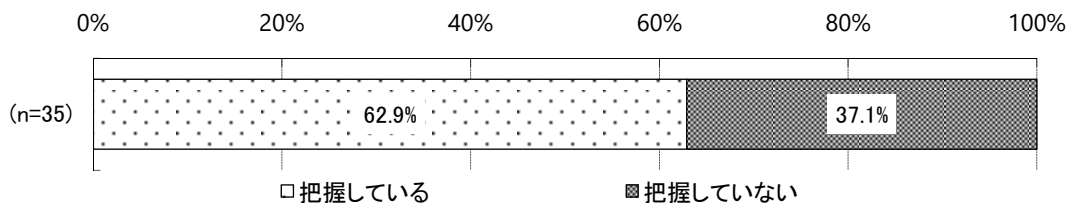
「把握している（一部把握を含む）」の割合が最も高く 63.4%となっている。次いで、「把握していない（34.1%）」となっている。

図表 2-40 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無（単数選択）



【参考】平成 29 年度調査結果_障害者の生涯学習活動に関する取組の状況の把握【都道府県】

図表 2-41 障害者の生涯学習活動に関する取組の状況の把握【都道府県】



(出所) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.9 を基に作成

b) (把握していない場合) その理由

域内の障害者の生涯学習活動に関する取組を把握していない理由は以下のとおり。

図表 2-42 把握していない理由（自由記述式）（n=14）

<把握が困難>

- ・ 障害者の生涯学習活動について全庁的な情報共有ができていないため把握が困難である
- ・ 庁内連携体制がなく、主担当課が各課の取組を把握する調査を実施していないため
- ・ 把握する手段がないため
- ・ ニーズを把握しているのは市町村であるが、極めて個人的な情報であるため、県として調査をすることに難しさがある
- ・ 域内において取組に係る調査等を行っていない

<その他>

- ・ 障害者の文化芸術的活動やスポーツ活動については、担当課において一定把握しているため / 等

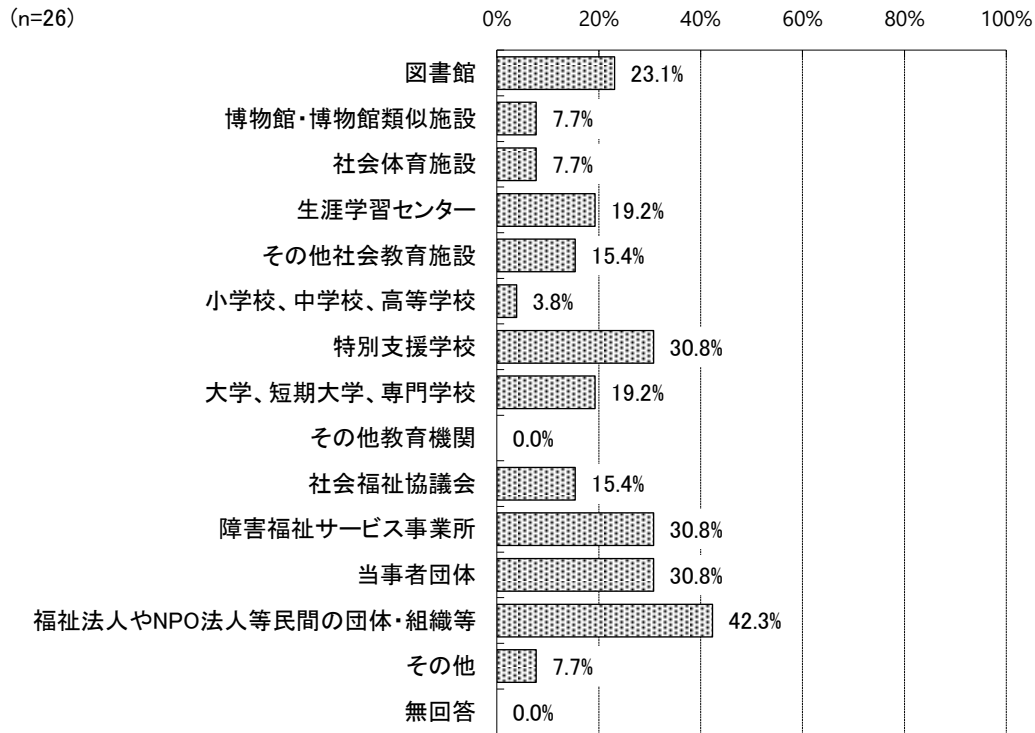
(注1)n は、域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無について、「把握していない」を回答した件数。

(注2)1 団体で複数の内容を記載している場合がある。

3) 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体

「福祉法人や NPO 法人等民間の団体・組織等」の割合が最も高く 42.3%となっている。次いで、「特別支援学校 (30.8%)」、「障害福祉サービス事業所 (30.8%)」、「当事者団体 (30.8%)」、「図書館 (23.1%)」となっている。

図表 2-43 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体 (複数選択)



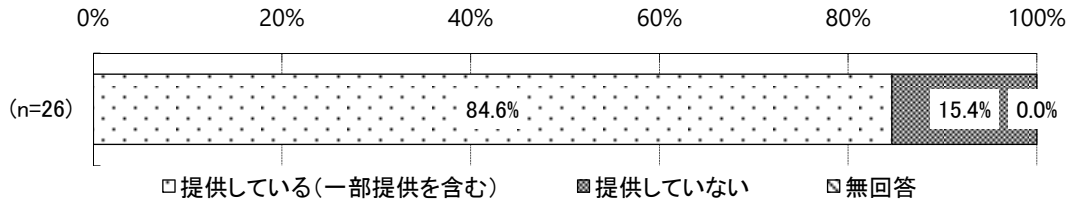
(注)「その他」として、「市町」「公民館」との回答があった。

4) 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況

a) 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無

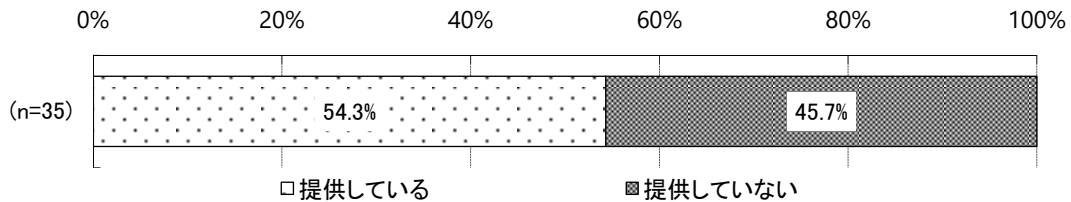
「提供している（一部提供を含む）」の割合が最も高く 84.6%となっている。次いで、「提供していない（15.4%）」となっている。

図表 2-44 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無（単数選択）



【参考】平成 29 年度調査結果_障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況【都道府県】

図表 2-45 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況【都道府県】

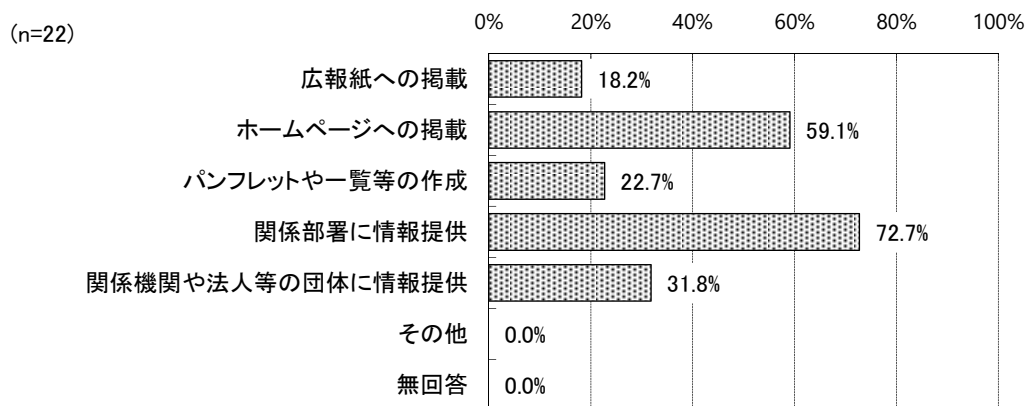


(出所)独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成29年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.10を基に作成

b) (情報提供している場合) 提供方法

「関係部署に情報提供」の割合が最も高く 72.7%となっている。次いで、「ホームページへの掲載（59.1%）」、「関係機関や法人等の団体に情報提供（31.8%）」となっている。

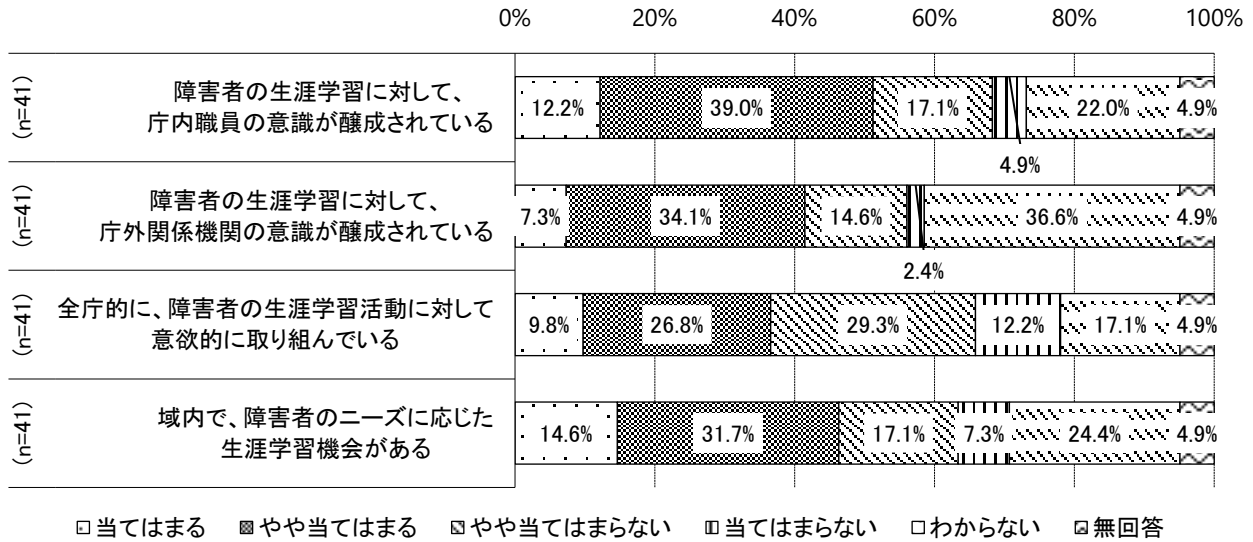
図表 2-46 (情報提供している場合) 提供方法（複数選択）



5) 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「当てはまる」「やや当てはまる」に着目すると、「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」が51.2%と半数を超えるが、その他の項目については、30%は超えるものの半数に満たない。

図表 2-47 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況（各項目単数選択）

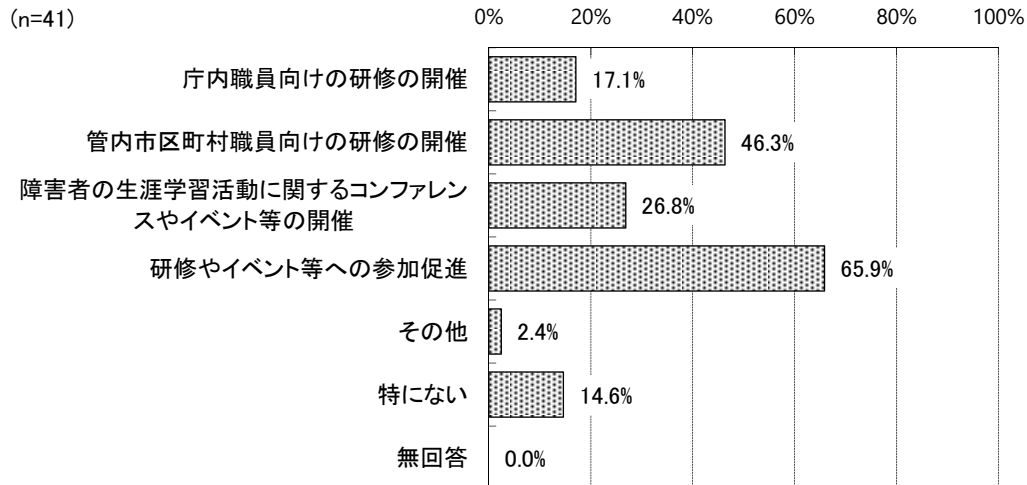


(5) 自治体における支援状況

① 生涯学習活動に関わる職員を対象に、障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況

「研修やイベント等への参加促進」の割合が最も高く65.9%となっている。次いで、「管内市区町村職員向けの研修の開催（46.3%）」、「障害者の生涯学習活動に関するコンファレンスやイベント等の開催（26.8%）」となっている。

図表 2-48 障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況（複数選択）

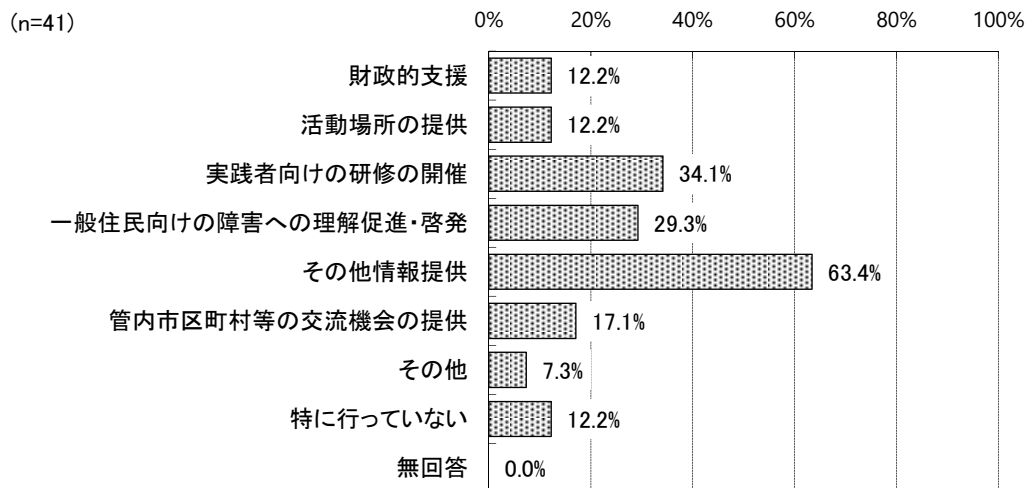


(注)「その他」として、「研修会への講師派遣」との回答があった。

② 障害者の生涯学習推進において、管内の市区町村に対して行っている支援

「その他情報提供」の割合が最も高く63.4%となっている。次いで、「実践者向けの研修の開催（34.1%）」、「一般住民向けの障害への理解促進・啓発（29.3%）」となっている。

図表 2-49 管内の市区町村に対して行っている支援（複数選択）

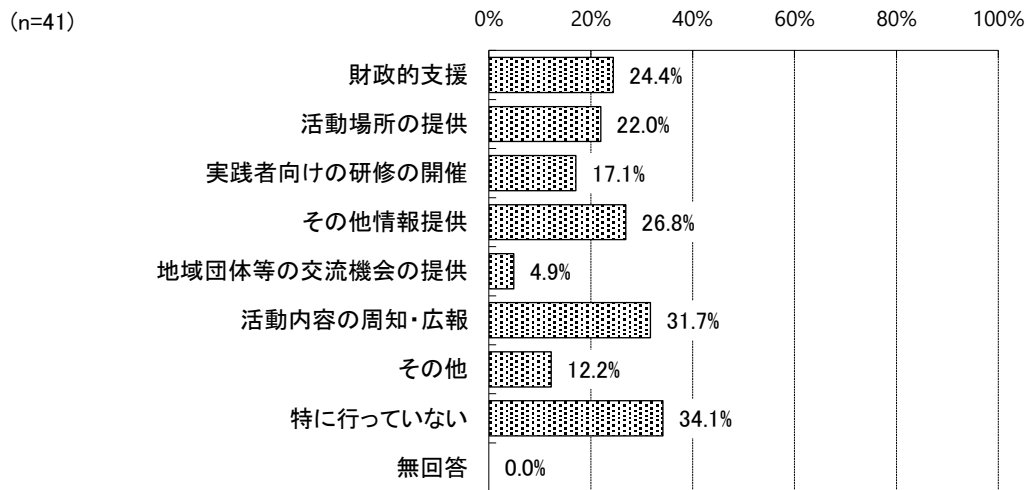


(注)「その他」として、「民間団体との協働したモデル開発支援」「パラスポーツ用具の貸し出し、市町村等が実施するスポーツ教室への講師派遣」「各種研修会等への参加促進」との回答があった。

③ 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援

「特に行っていない」の割合が最も高く 34.1%となっている。次いで、「活動内容の周知・広報（31.7%）」、「その他情報提供（26.8%）」となっている。

図表 2-50 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援（複数選択）



(注)「その他」として、「障害者差別解消に関する出前講座の実施」「パラスポーツ用具の貸し出し、市町村等が実施するスポーツ教室等への講師派遣」「後援名義の付与」「あいサポート運動」との回答があった。

(6) その他の工夫や課題等

① 障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組

障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組は以下のとおり。

図表 2-51 障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組 (自由記述式)

<p>■ 基盤整備に関すること (庁内体制の構築、人材育成等) (回答数 11 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 庁内での情報共有を密にする・ 障害者のための生涯学習支援連絡協議会・ 各市町村生涯学習担当部局関係職員対象の研修会の実施・ 障害者芸術文化活動支援センターにおいて、障害者の芸術文化活動を支援する人材育成を行っている・ 支援者対象研修の実施。障害特性をふまえた学びの調査研究 (身体障害者社会学級の実施により、支援体制の充実方策や効果的な学習プログラムを充実している) / 等
<p>■ 障害者本人への相談支援に関すること (回答数 3 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 庁外機関によるコーディネーターの拡充・ 障害者芸術文化活動支援センターにおいて、障害者本人・家族からの相談受付等の支援を行っている・ 講習前にヒアリングを行い、本人の特性にあったペースで進めている
<p>■ 障害者の生涯学習機会拡充に関すること (回答数 12 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 福祉事業所と連携し、福祉事業所の利用者の参加を得て一般参加者との交流を図る事業を展開・ 各事業の広報と相談体制の強化、県障害者文化芸術活動支援センターによる訪問型体験活動の提供・ 障がい者スポーツ団体や総合型地域スポーツクラブに障がい者スポーツ教室を開催してもらっている・ 地域連携コンソーシアム、「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」の実施・ 実態調査をもとにした社会教育施設の利用促進に関する取組を実施・ 学びの場検索アプリを作成し啓発 / 等
<p>■ その他 (回答数 1 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県民へ「障がい者の生涯学習」についての周知・啓発を図るための特別番組・啓発 CM の放送

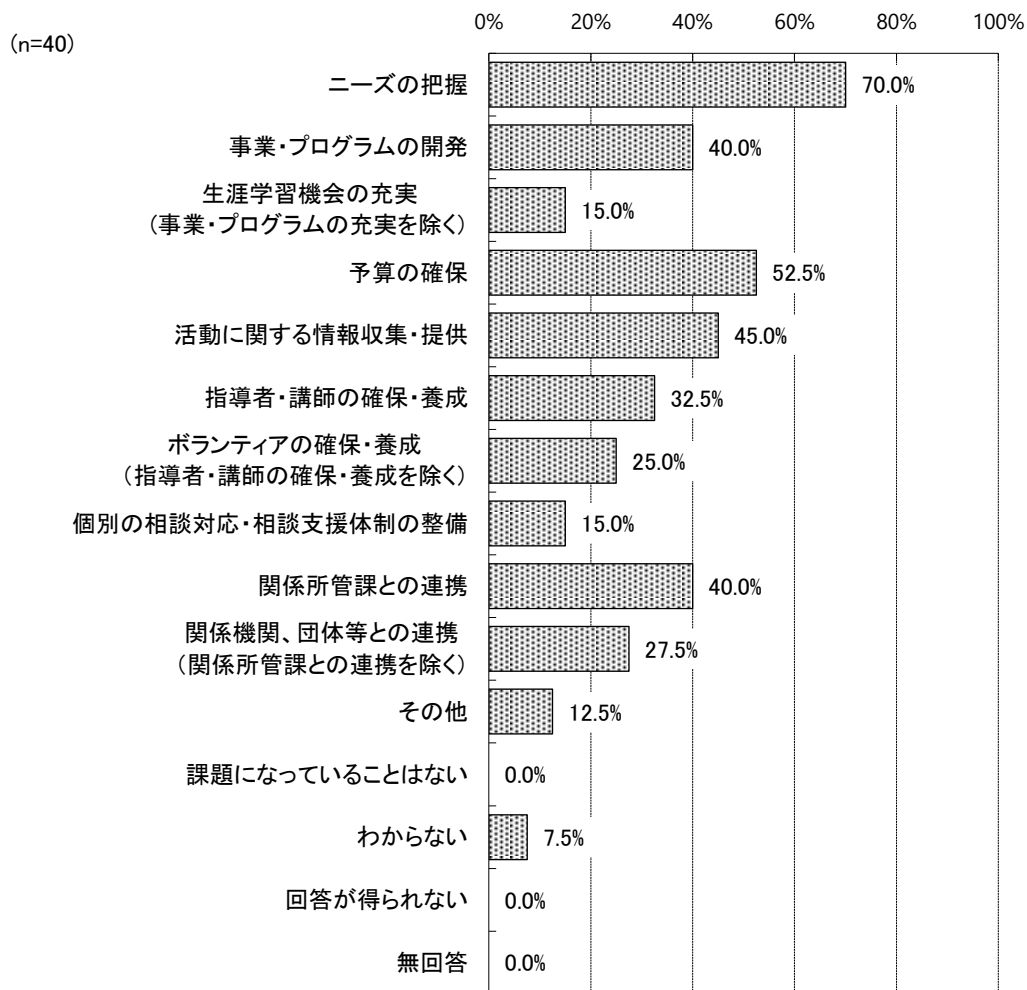
(注)本設問に回答があった件数。1団体で複数の内容を記載している場合がある。

② 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題

1) 教育委員会の生涯学習、社会教育担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 70.0%となっている。次いで、「予算の確保（52.5%）」、「活動に関する情報収集・提供（45.0%）」となっている。

図表 2-52 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会の生涯学習、社会教育担当課
(複数選択)



図表 2-53 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 (自由記述式)

<ニーズ把握から事業化>

- ・ ニーズ把握のための調査方法の検討
- ・ 参加者アンケート以外のニーズの把握の仕方
- ・ ニーズをもとにした事業・プログラムの開発と予算付け
- ・ 学習方法の開発、公民館等における事業実施の支援
- ・ ニーズの把握が難しい。専門の職員がいないので、事業やプログラムの開発が難しい

<情報収集・提供>

- ・ 障がい当事者団体、障がい当事者への情報提供や生涯学習講座等学びの問い合わせについての積極的な周

知

- ・ 県内で様々な団体が障がい者の生涯学習に関する取組を取り組んでおり、それを県民に情報提供したいと考えているが、すべてを把握することが難しい
- ・ 生涯学習講座の一元的な情報提供
- ・ 文科省からの情報提供が主な情報源となっており、市町村の活動等は把握できていない

<連携>

- ・ 生涯学習担当部局、福祉関係部局それぞれに対し、障がい者の生涯学習推進について理解の促進
- ・ 庁内関係課や市町担当課と障害者の生涯学習推進における課題意識の共有することが難しい
- ・ 当課が社会教育を進めていく中で、障がい者の学習活動を推進するにはマンパワーが不足している
- ・ 連携の在り方について、目指す方向について、各関係課で共通意識をもって取り組むまでの調整

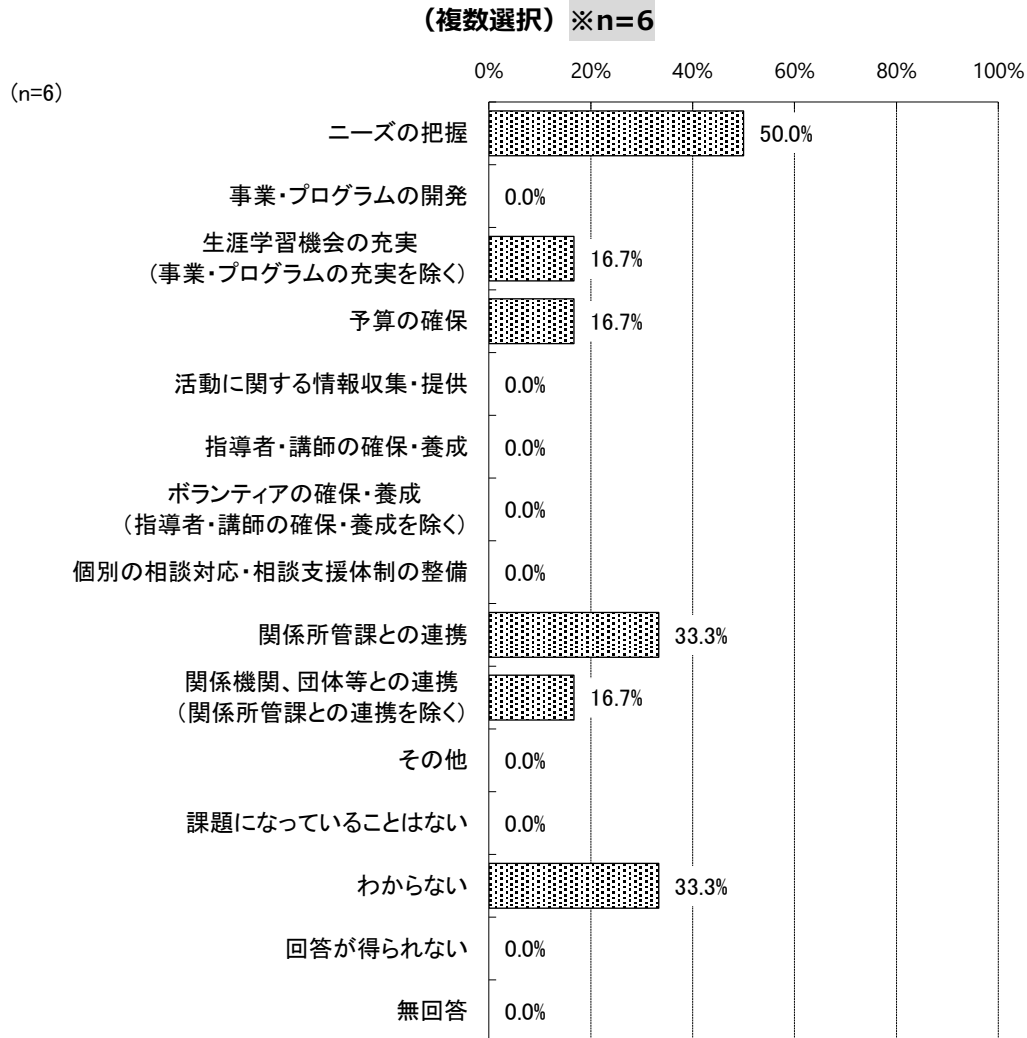
<その他>

- ・ 指導者の高齢化等により確保が難しく、固定化している
- ・ 一般書籍から点訳、音訳等を行う製作ボランティア等が不足
- ・ 県民への「障がい者の生涯学習」についての理解が不十分である / 等

2) 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 50.0%となっている。次いで、「関係所管課との連携 (33.3%)」、「わからない (33.3%)」となっている。

図表 2-54 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課



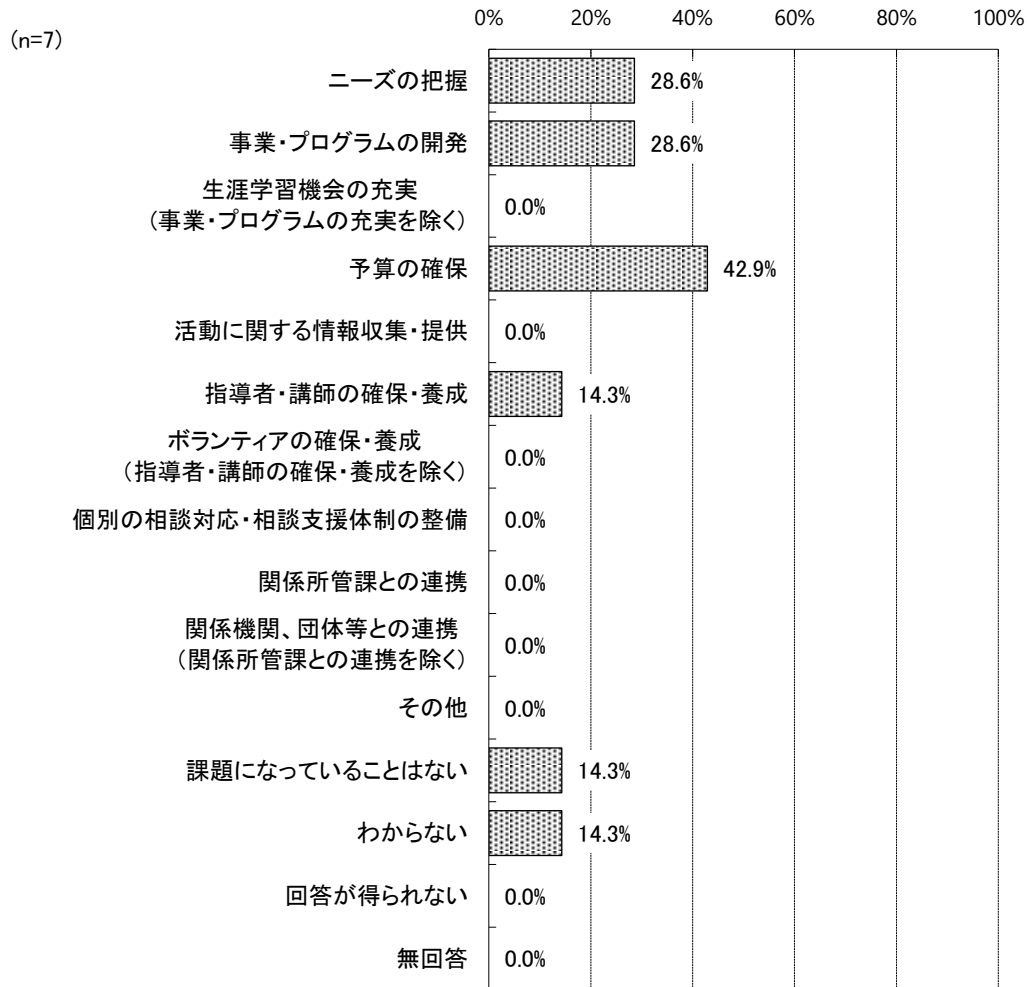
図表 2-55 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 (自由記述式)

・ ニーズの把握 予算確保

3) その他の教育委員会の担当課

「予算の確保」の割合が最も高く 42.9%となっている。次いで、「ニーズの把握 (28.6%)」、「事業・プログラムの開発 (28.6%)」、となっている。

図表 2-56 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_その他の教育委員会の担当課 (複数選択) ※n=7



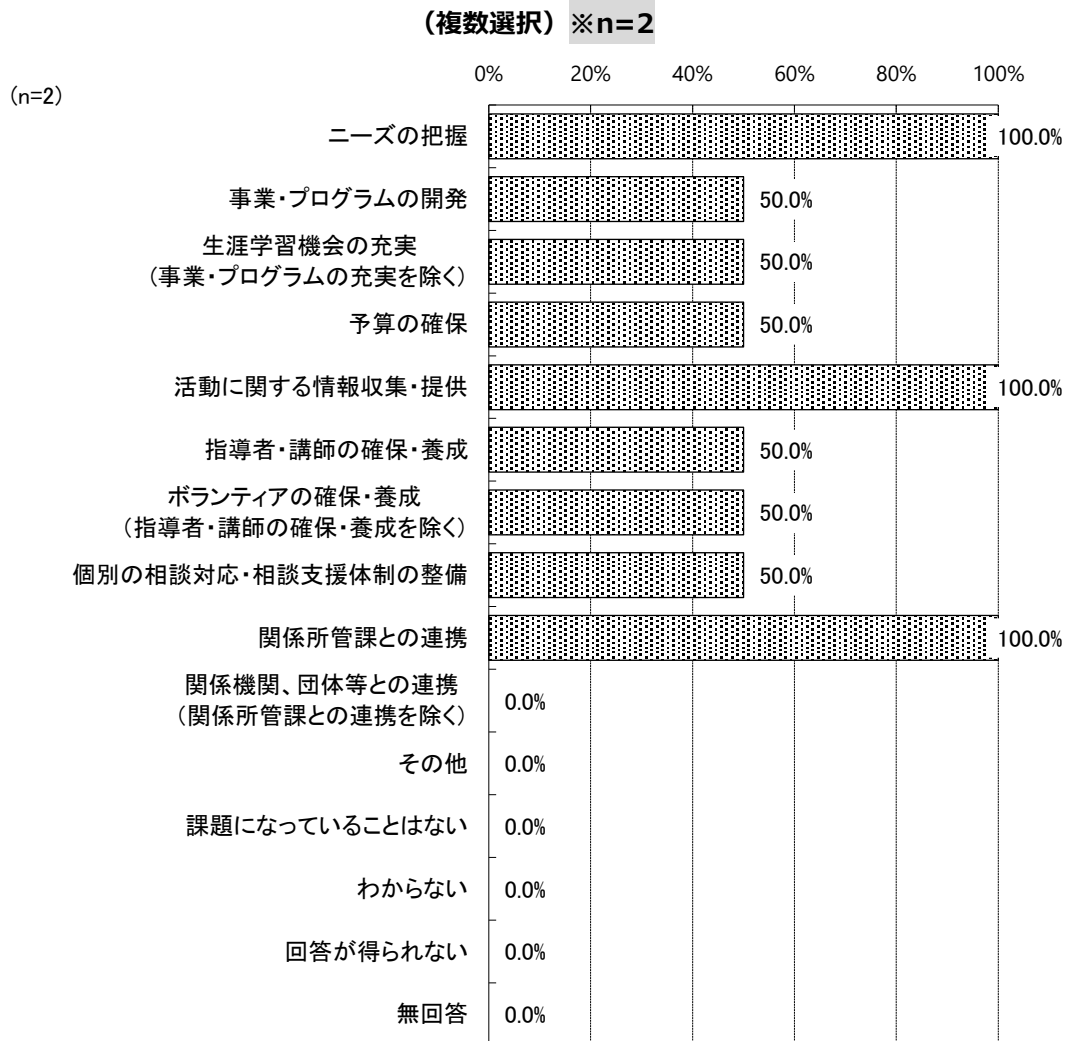
図表 2-57 (課題がある場合) 具体的な内容_その他の教育委員会の担当課 (自由記述式)

- ・ 県の特別支援教育担当で実施している、特別支援教育サポーター制度で登録したサポーターの生涯学習に関わる事業へ参加できる体制整備
- ・ 事業プログラムの開発のノウハウがない。予算の確保が難しい
- ・ 特別支援学校の生徒、保護者が生涯学習にどこまで関心があるのか把握できていない。予算が確保できないため、今年度をもって予算事業が廃止となった

4) 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課

「ニーズの把握」、「活動に関する情報収集・提供」、「関係所管課との連携」の割合が高く、それぞれ 100.0%となっている。

図表 2-58 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課



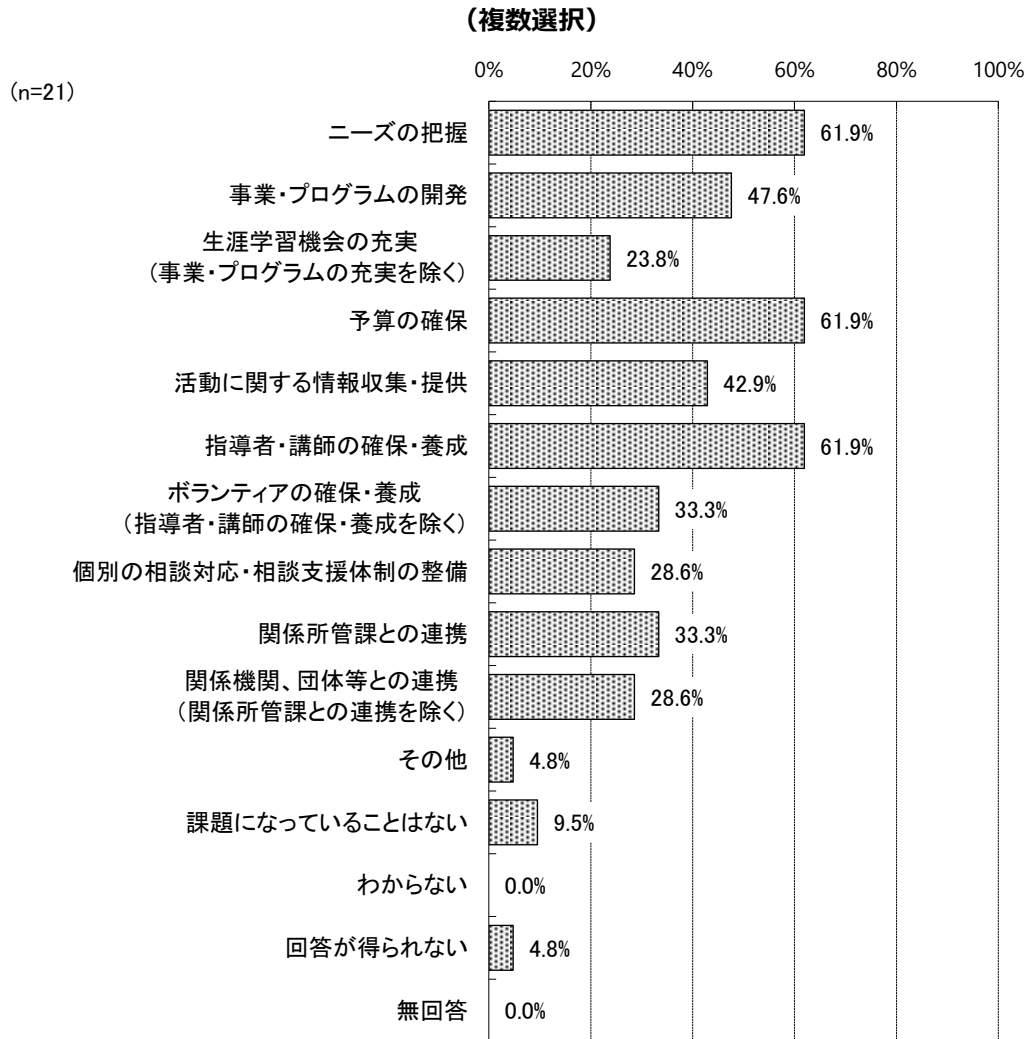
図表 2-59 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 (自由記述式)

- ・ 生涯学習担当課 (生涯学習推進計画) として、「障害者の生涯学習」主管課となっているが、実態把握をする機会を十分に確保できていない
- ・ 庁内関係課との連携・情報共有

5) 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課

「ニーズの把握」、「予算の確保」、「指導者・講師の確保・養成」の割合が高く、それぞれ61.9%となっている。

図表 2-60 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課



図表 2-61 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課

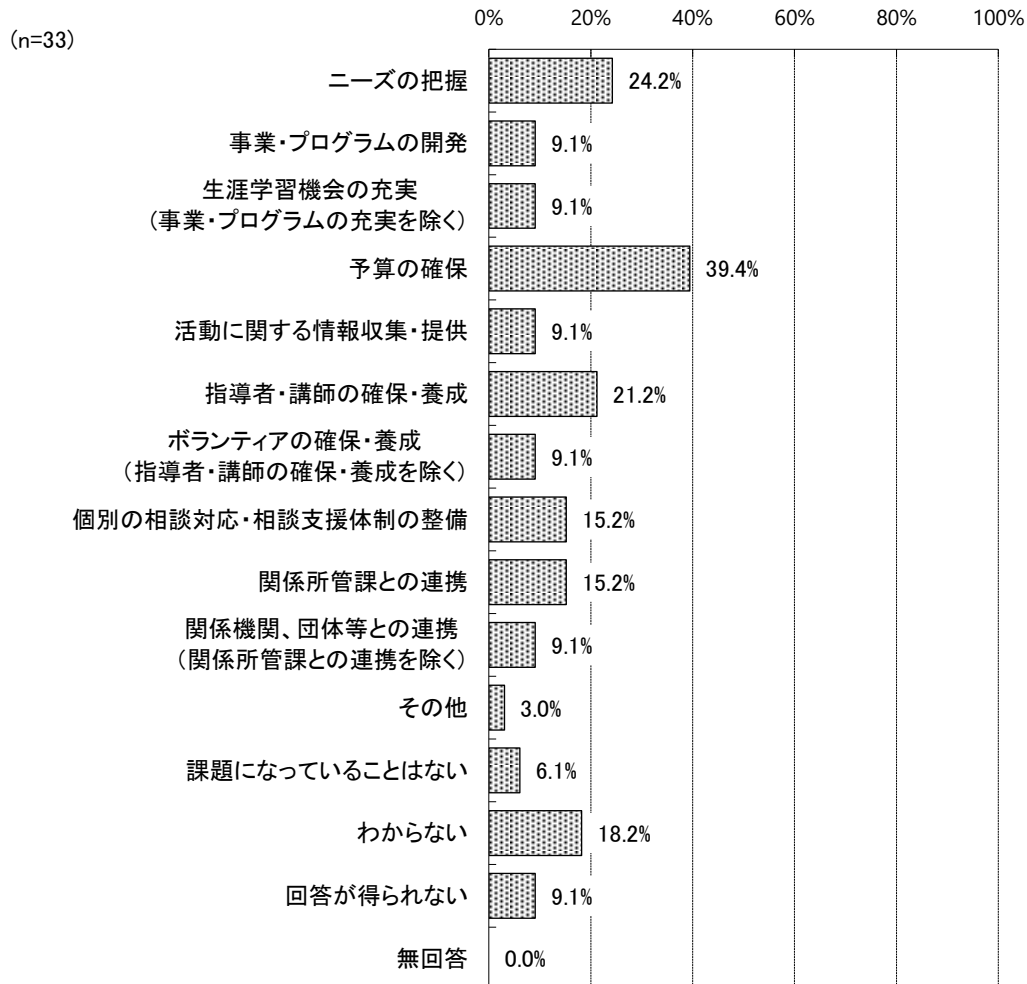
(自由記述式)

- ・ 県内の活動状況及びニーズが把握できていない
- ・ 障害者がスポーツを始めるきっかけの把握
- ・ 障害のある方の文化芸術に関するニーズの把握が難しく、どんな文化芸術プログラムに関心があるのか把握できない
- ・ 予算が年々縮小傾向。指導者・講師の高齢化や新型コロナの影響による活動委縮（ボランティアも同様）。関係団体からは、ソーシャル・インクルージョンの視点を持った取組を求められている一方で、予算の拡充が難しく、限りある予算の中でより効果的な事業を企画・運営する必要がある
- ・ 文化及び福祉の知見を持つ人材を確保できていない
- ・ 障がい者の方にも対応したワークショップやイベント等を企画・運営できる人材の育成
- ・ 基礎疾患のある方が多く、コロナ禍に応じた対応が難しい / 等

6) 障害福祉担当課

「予算の確保」の割合が最も高く 39.4%となっている。次いで、「ニーズの把握 (24.2%)」、「指導者・講師の確保・養成 (21.2%)」となっている。

図表 2-62 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_障害福祉担当課 (複数選択)



図表 2-63 (課題がある場合) 具体的な内容_障害福祉担当課 (自由記述式)

<ニーズの把握>

- ・ 事業所に対して、ニーズ調査を行っても回収率が低く真のニーズが把握できない。また、障害当事者に調査を実施するのが困難
- ・ 前提として、県は障害者健常者関係なく生涯学習を推進している。その中で、障害者特有の生涯学習に関するニーズは特段把握していない

<情報収集・提供>

- ・ 障害の特性に合わせた周知ができておらず、展覧会などのイベント情報を当事者が入手できない
- ・ 各課で行っている事業について、共有が出来ていない部分がある
- ・ 生涯学習施設・担当者とのつながりが不十分であるため、必要な情報を十分に届けられていない

<生涯学習機会の提供>

- ・ 関係する行政機関や事業者等が、障害特性や合理的配慮の提供方法などの理解が不十分なことが多いため、周知啓発等の取組を促進する必要がある
- ・ 芸術分野における鑑賞サポートが不十分なために、障害のある方が芸術鑑賞を愉しむことが出来ない
- ・ 一部の障害福祉サービス事業所について、生涯学習に関する活動を行いたいという気持ちはあるが、やり方がわからない

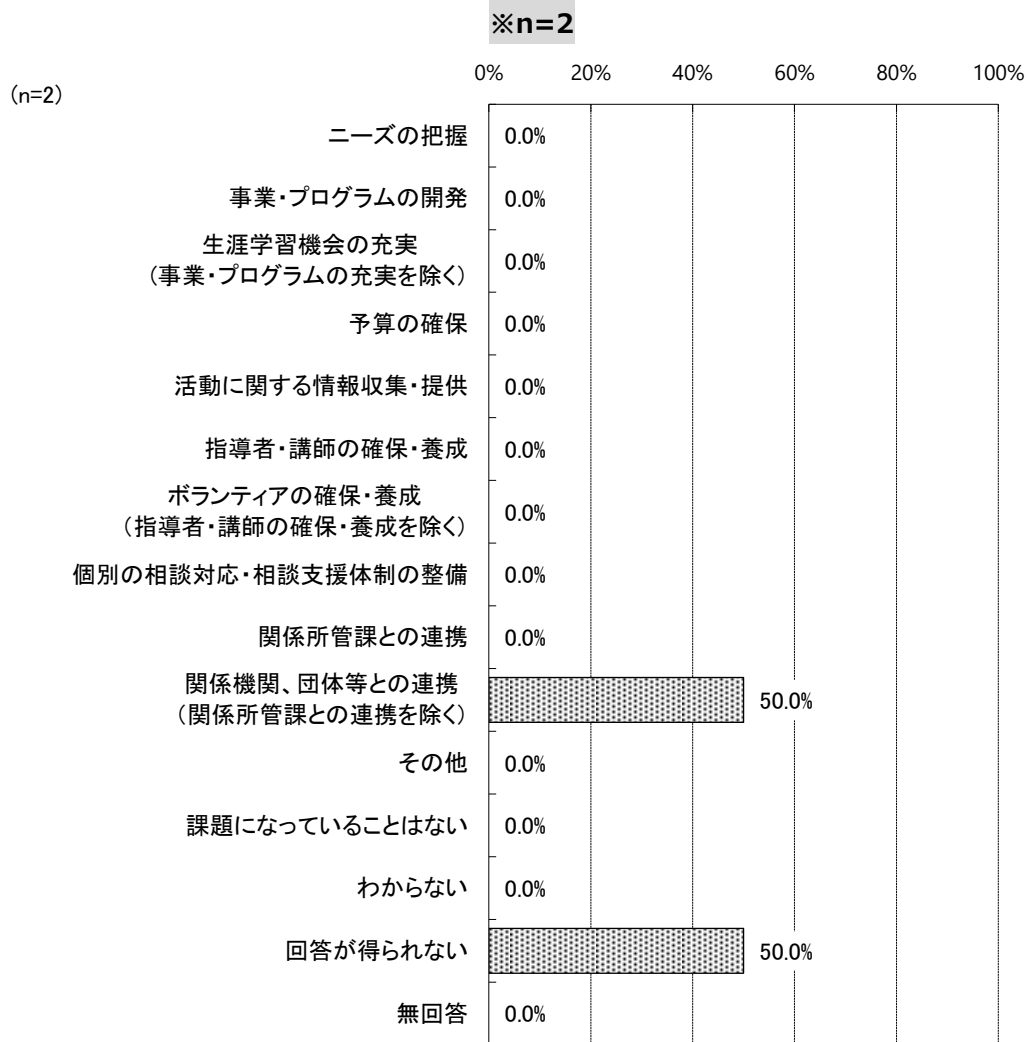
<体制整備>

- ・ 県の財政状況に応じた予算の確保となるため、事業規模縮小等の見直しを要する
- ・ 財政状況が厳しい折、予算確保ができない。障害者支援センターのスポーツ指導員の人材確保に苦慮している。障害者への対応能力とスポーツ技能の両方が求められるため
- ・ 現スタッフは既存業務に忙殺されており、(新たに)生涯学習関連とのコーディネートや人材発掘を行うだけのマンパワー的な余裕がない
- ・ 指導方法について、一般的な研修・ワークショップを異なる手法・技術が必要であり、指導者、講師及びボランティアの確保が困難
- ・ スポーツや芸術に係る専門的な技能・知識をもつ支援人材の確保が難しい
- ・ 相談対応において、著作権に係る法的問題に関する助言を行う人材の確保が困難である / 等

7) 障害福祉担当課以外の福祉担当課

「関係機関、団体等との連携」、「回答が得られない」の割合が、それぞれ 50.0%となっている。

図表 2-64 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_障害福祉担当課以外の福祉担当課 (複数選択)



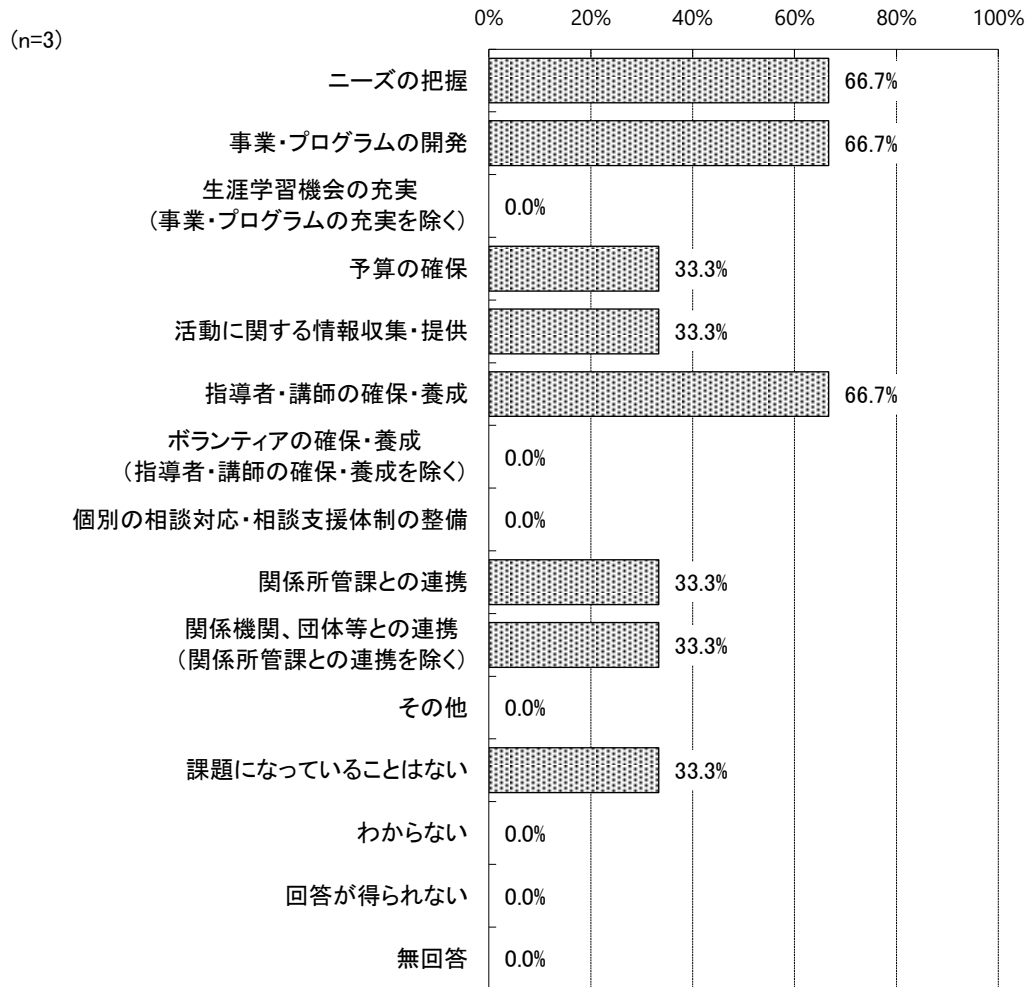
図表 2-65 (課題がある場合) 具体的な内容_障害福祉担当課以外の福祉担当課 (自由記述式)

- ・ 新たな団体の発掘

8) その他の担当課

「ニーズの把握」、「事業・プログラムの開発」、「指導者・講師の確保・養成」の割合が高く、それぞれ 66.7%となっている。

図表 2-66 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_その他の担当課 (複数選択) ※n=3



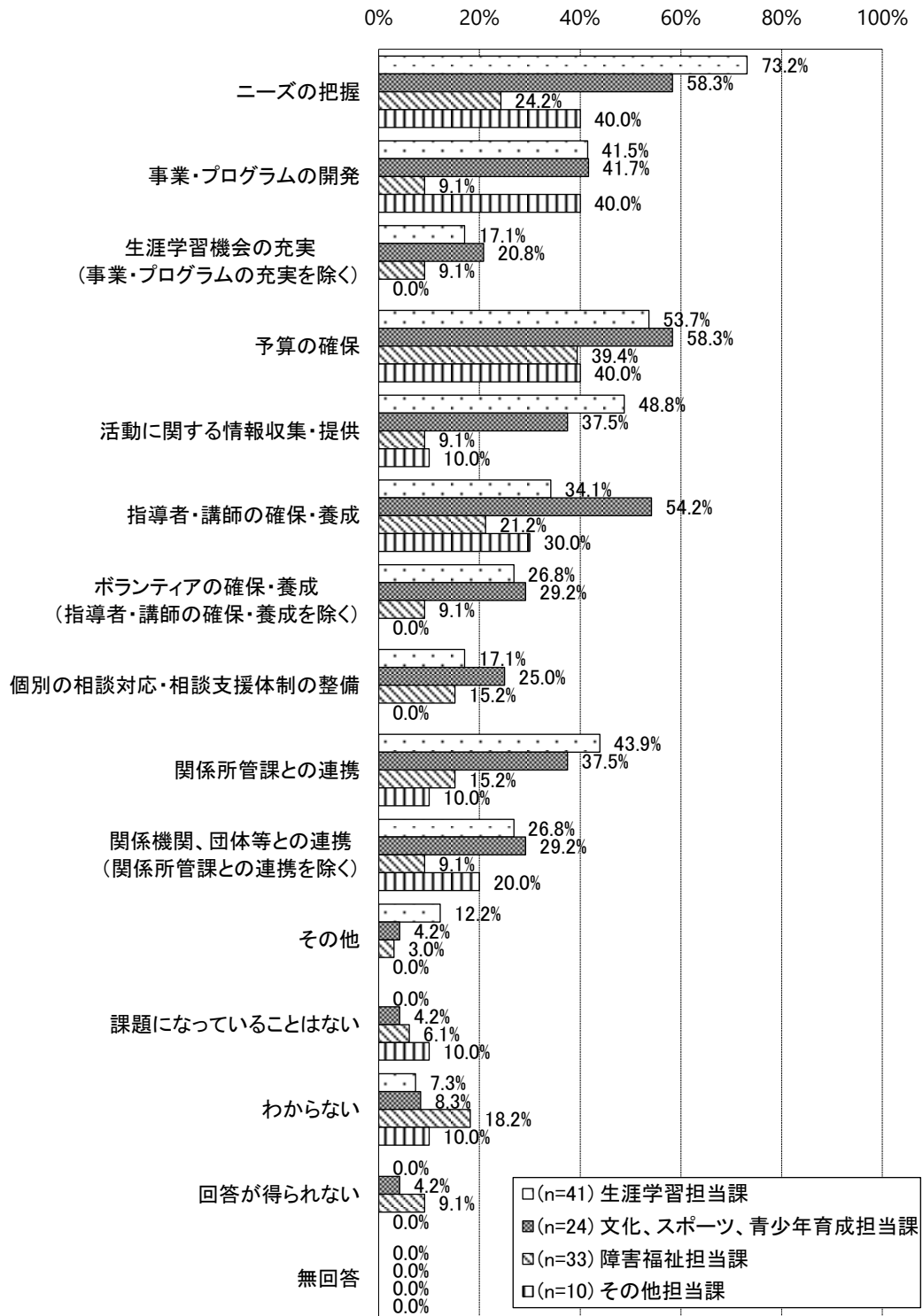
図表 2-67 (課題がある場合) 具体的な内容_その他の担当課 (自由記述式)

- ・ 技能訓練(職業訓練)の為、職員は専門職(職業訓練指導員)である。その為、障がいの専門科目への配置転換に限度がある。また、非常勤講師も専門性を要するため、採用の応募は集まりにくい状況である
- ・ 職業訓練を受講しても職業に結びつかないケースもある

③【統合】障害者の生涯学習活動を推進する上での課題

各所管課の回答を分野ごと（教育委員会内外の「生涯学習担当課」、教育委員会内外の「文化、スポーツ、青少年育成担当課」、「障害福祉担当課」、左記以外の「その他担当課」）に再整理し、集計を行った。

図表 2-68 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題（複数選択）（担当課別）



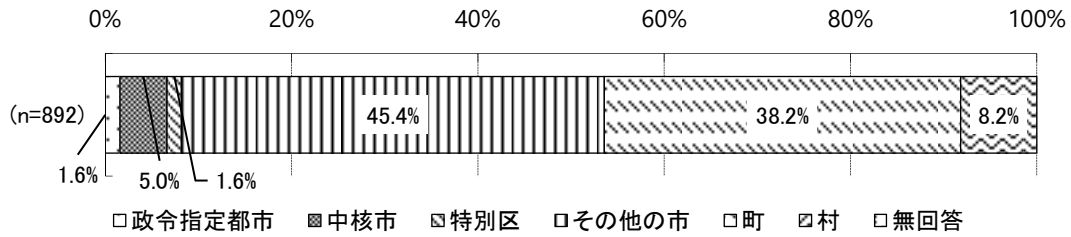
2. 市区町村調査

(1) 基本情報

① 自治体種別

「その他の市」の割合が最も高く45.4%となっている。次いで、「町（38.2%）」、「村（8.2%）」となっている。

図表 2-69 自治体種別（単数選択）



② 障害者手帳保有人数（令和3年度末時点）

「身体障害者手帳」は、平均値 3,649.62、標準偏差 8,581.41、中央値 1,414.00 となっている。

「療育手帳」は、平均値 909.89、標準偏差 2,112.27、中央値 347.00 となっている。

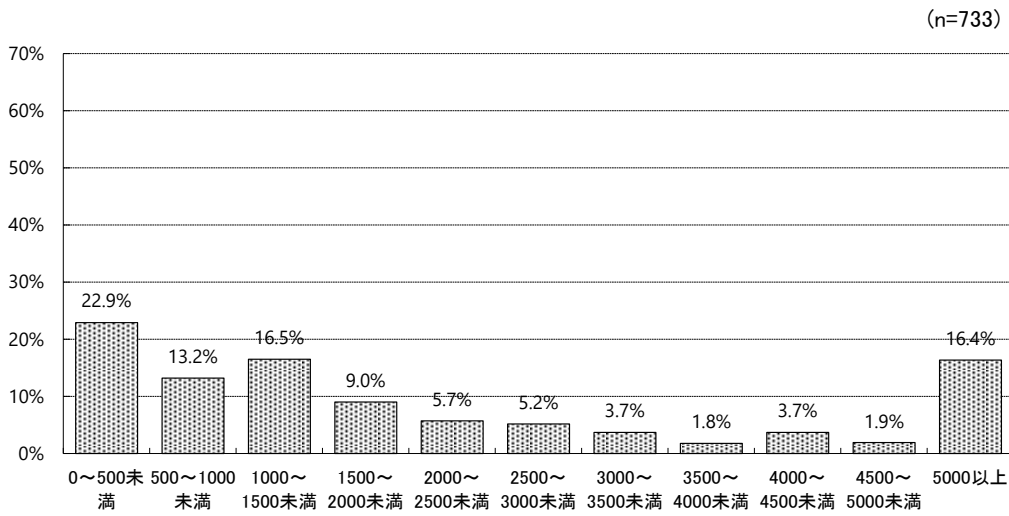
「精神障害者保健福祉手帳」は、平均値 1,044.15、標準偏差 2,921.22、中央値 289.00 となっている。

図表 2-70 障害者手帳保有人数（令和3年度末時点）（数値入力）

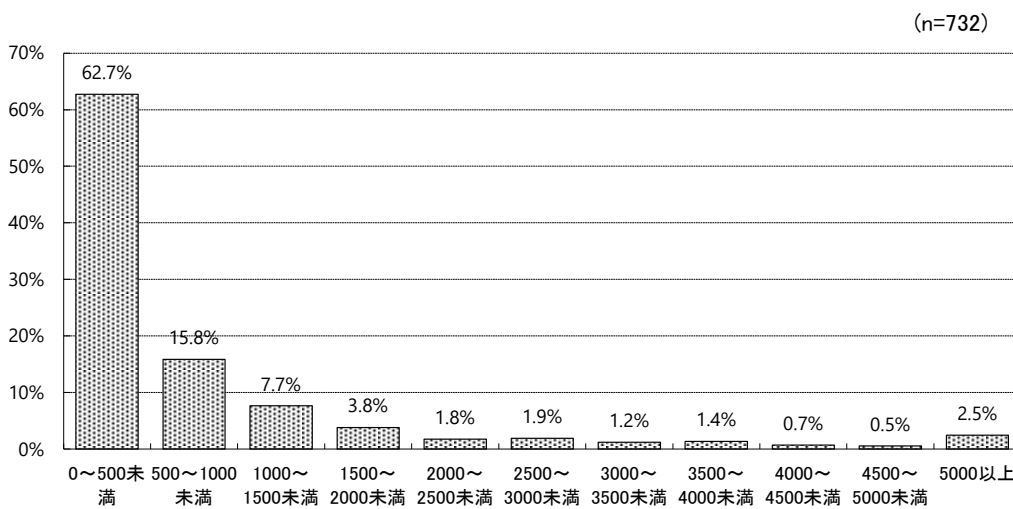
	回答数 (n)	平均値	標準偏差	中央値
身体障害者手帳	733	3649.62	8581.41	1414.00
療育手帳	732	909.89	2112.27	347.00
精神障害者保健福祉手帳	731	1044.15	2921.22	289.00

(注)数値の回答があったものを集計の対象とした。

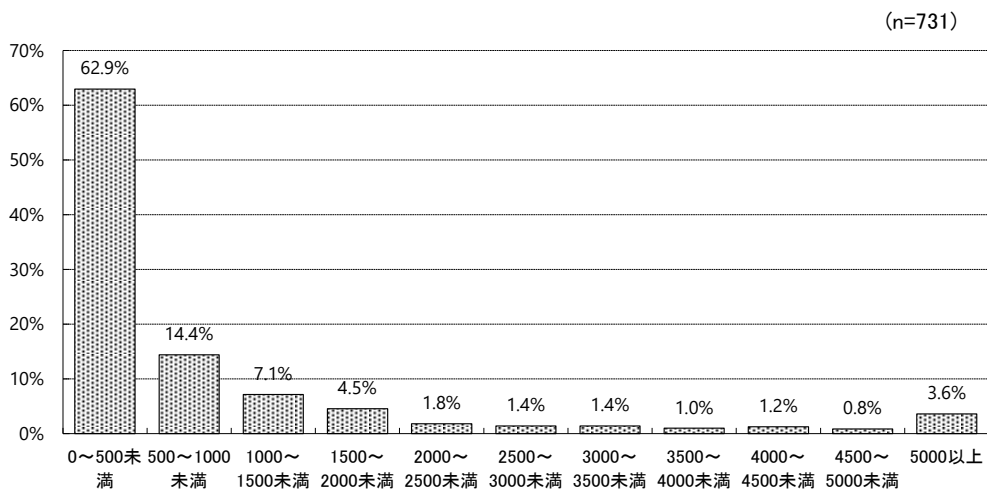
図表 2-71 障害者手帳保有人数の分布（令和3年度末時点）_身体障害者手帳（数値入力）



図表 2-72 障害者手帳保有人数の分布（令和3年度末時点）_療育手帳（数値入力）



図表 2-73 障害者手帳保有人数の分布（令和3年度末時点）_精神障害者保健福祉手帳（数値入力）



図表 2-74 障害者手帳保有人数（令和3年度末時点）（数値入力）（自治体種別）

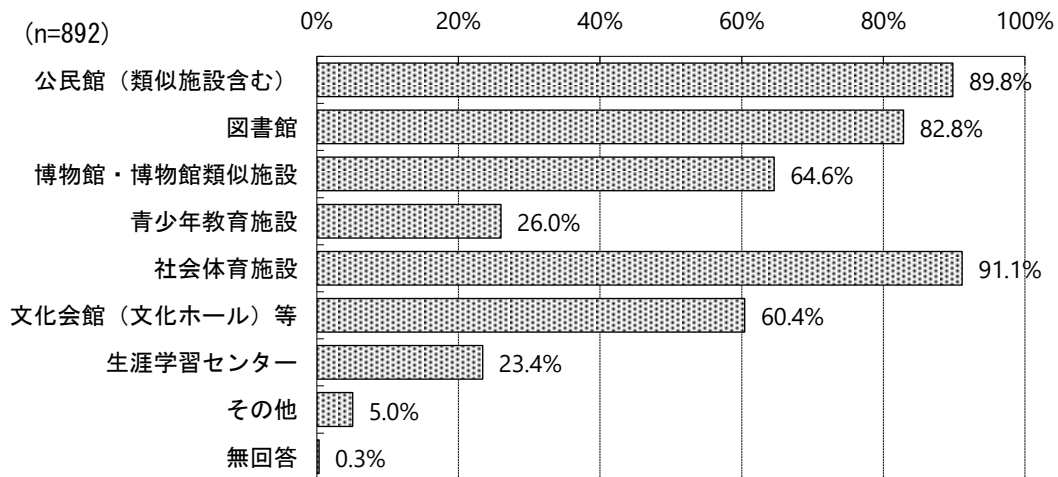
		回答数 (n)	平均値	標準偏差	中央値
身体障害者 手帳	政令指定都市	14	49,051.79	32,555.99	36,518.50
	中核市	40	14,233.93	4,548.60	13,491.50
	特別区	12	11,429.33	6,887.91	10,039.50
	その他の市	361	3,081.74	2,132.19	2,368.00
	町	256	626.63	372.70	548.50
	村	50	180.30	171.73	134.50
療育手帳	政令指定都市	14	12,516.79	7,293.20	9,691.50
	中核市	40	3,418.43	1,047.13	3,243.00
	特別区	12	2,619.58	1,871.64	1,939.50
	その他の市	361	782.54	582.25	595.00
	町	255	148.55	100.56	127.00
	村	50	45.04	57.04	29.00
精神障害者 保健福祉手 帳	政令指定都市	14	16,918.21	11,282.19	11,232.00
	中核市	39	4,020.03	1,253.10	4,020.00
	特別区	12	3,910.00	2,482.10	3,311.00
	その他の市	359	805.80	715.86	585.00
	町	256	122.79	103.31	92.00
	村	51	39.29	54.55	20.00

(注)数値の回答があったものを集計の対象とした。

③ 管内の社会教育関連施設

「社会体育施設」の割合が最も高く 91.1%となっている。次いで、「公民館（類似施設含む）（89.8%）」、「図書館（82.8%）」となっている。

図表 2-75 管内の社会教育関連施設（複数選択）



(注)「その他」として、「コミュニティセンター」「市民活動センター」「歴史資料館」等の回答があった。

図表 2-76 管内の社会教育関連施設（複数選択）（自治体種別）

		合計	公民館（類似施設含む）	図書館	博物館・博物館類似施設	青少年教育施設	社会体育施設	文化会館（文化ホール）等	生涯学習センター	その他	無回答
自治体種別	Total	892	801	739	576	232	813	539	209	45	3
		100.0%	89.8%	82.8%	64.6%	26.0%	91.1%	60.4%	23.4%	5.0%	0.3%
	政令指定都市	14	11	14	14	14	14	14	8	2	0
		100.0%	78.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	14.3%	0.0%
	中核市	45	42	43	41	33	40	41	20	4	0
		100.0%	93.3%	95.6%	91.1%	73.3%	88.9%	91.1%	44.4%	8.9%	0.0%
	特別区	14	5	14	13	6	10	11	8	1	0
		100.0%	35.7%	100.0%	92.9%	42.9%	71.4%	78.6%	57.1%	7.1%	0.0%
	その他の市	405	380	396	296	136	378	319	126	23	0
	100.0%	93.8%	97.8%	73.1%	33.6%	93.3%	78.8%	31.1%	5.7%	0.0%	
町	341	300	236	180	38	313	136	40	14	1	
	100.0%	88.0%	69.2%	52.8%	11.1%	91.8%	39.9%	11.7%	4.1%	0.3%	
村	73	63	36	32	5	58	18	7	1	2	
	100.0%	86.3%	49.3%	43.8%	6.8%	79.5%	24.7%	9.6%	1.4%	2.7%	

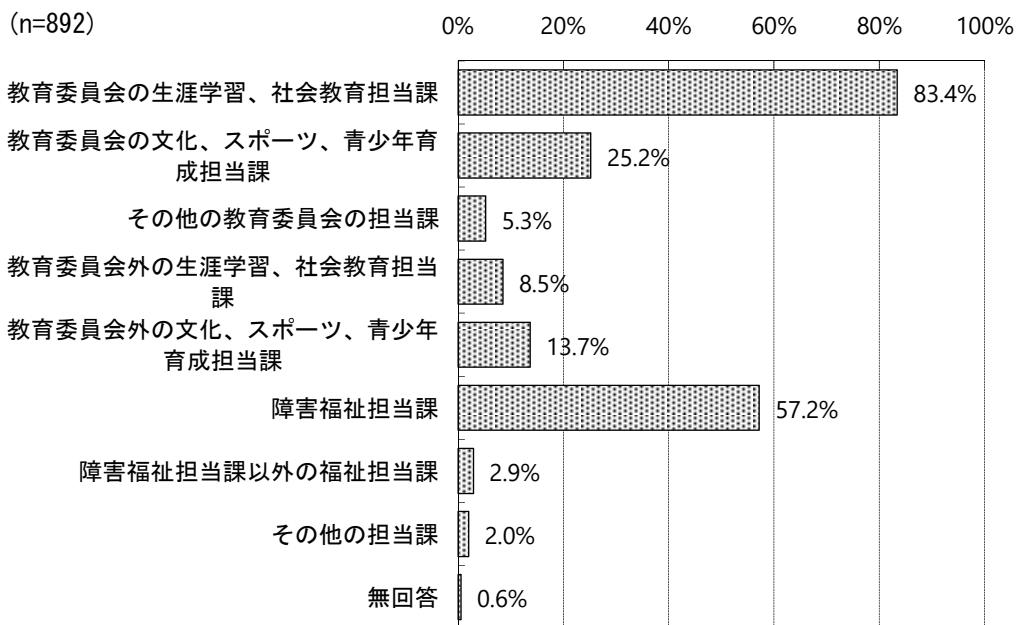
(2) 障害者の生涯学習の促進における庁内体制や連携状況

① 「障害者の生涯学習」担当課

1) 担当課

「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課」の割合が最も高く 83.4%となっている。次いで、「障害福祉担当課 (57.2%)」、「教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 (25.2%)」、「教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 (25.2%)」となっている。

図表 2-77「障害者の生涯学習」担当課（複数選択）



(注)障害者の生涯学習に関する取組のある所管課全般を「担当」として回答を求めた。

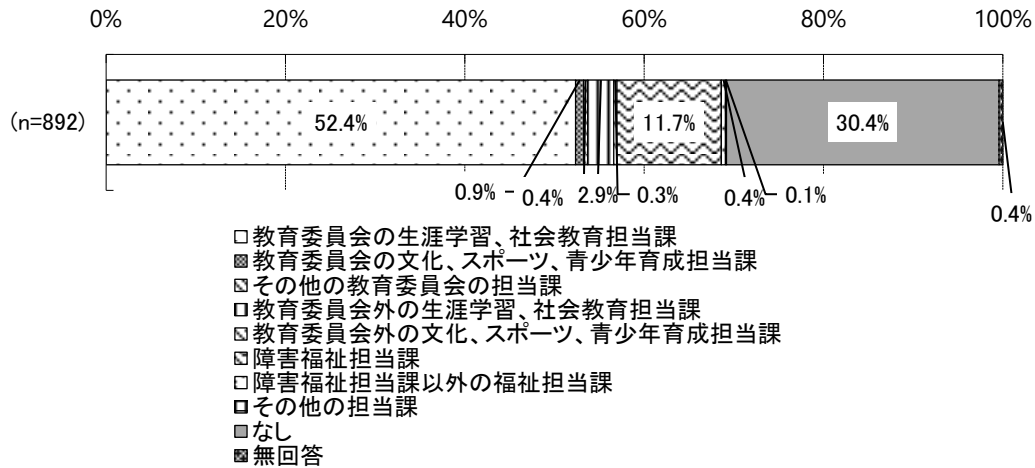
図表 2-78「障害者の生涯学習」担当課（複数選択）（自治体種別）

自治体種別	Total	合計	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	その他の教育委員会の担当課	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	障害福祉担当課	障害福祉担当課以外の福祉担当課	その他の担当課	無回答
		人数	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
自治体種別	Total	892	744	225	47	76	122	510	26	18	5
		100.0%	83.4%	25.2%	5.3%	8.5%	13.7%	57.2%	2.9%	2.0%	0.6%
	政令指定都市	14	9	0	3	3	10	13	2	1	0
		100.0%	64.3%	0.0%	21.4%	21.4%	71.4%	92.9%	14.3%	7.1%	0.0%
	中核市	45	34	9	4	8	21	35	0	1	0
		100.0%	75.6%	20.0%	8.9%	17.8%	46.7%	77.8%	0.0%	2.2%	0.0%
	特別区	14	8	6	1	7	10	13	1	0	0
	100.0%	57.1%	42.9%	7.1%	50.0%	71.4%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	
その他の市	405	325	119	30	52	75	265	12	11	2	
	100.0%	80.2%	29.4%	7.4%	12.8%	18.5%	65.4%	3.0%	2.7%	0.5%	
町	341	305	79	7	6	5	158	8	5	0	
	100.0%	89.4%	23.2%	2.1%	1.8%	1.5%	46.3%	2.3%	1.5%	0.0%	
村	73	63	12	2	0	1	26	3	0	3	
	100.0%	86.3%	16.4%	2.7%	0.0%	1.4%	35.6%	4.1%	0.0%	4.1%	

2) 主担当課

「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課」の割合が最も高く 52.4%となっている。次いで、「なし (30.4%)」、「障害福祉担当課 (11.7%)」となっている。

図表 2-79「障害者の生涯学習」主担当課 (単数選択)



(注) 担当が1か所の場合、主担当も同じ選択肢を回答、複数の担当課が担当し担当と主担当が分かれていない場合は、「なし」を回答いただくよう求めた。

図表 2-80「障害者の生涯学習」主担当課 (単数選択) (自治体種別)

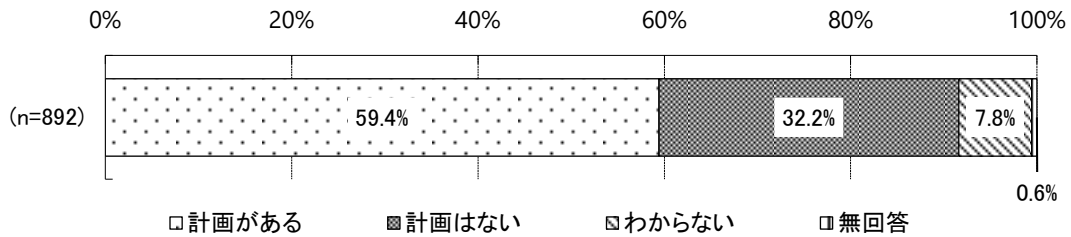
自治体種別	Total	合計	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	その他の教育委員会の担当課	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	障害福祉担当課	障害福祉担当課以外の福祉担当課	その他の担当課	なし	無回答
		人数	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
自治体種別	Total	892	467	8	4	26	3	104	4	1	271	4
		100.0%	52.4%	0.9%	0.4%	2.9%	0.3%	11.7%	0.4%	0.1%	30.4%	0.4%
	政令指定都市	14	5	0	0	2	0	1	0	0	6	0
		100.0%	35.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
	中核市	45	16	0	0	3	0	4	0	0	22	0
		100.0%	35.6%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	8.9%	0.0%	0.0%	48.9%	0.0%
	特別区	14	2	0	0	1	1	2	0	0	8	0
		100.0%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
その他の市	405	181	6	1	18	1	50	1	1	144	2	
	100.0%	44.7%	1.5%	0.2%	4.4%	0.2%	12.3%	0.2%	0.2%	35.6%	0.5%	
町	341	215	2	2	2	1	39	2	0	76	2	
	100.0%	63.0%	0.6%	0.6%	0.6%	0.3%	11.4%	0.6%	0.0%	22.3%	0.6%	
村	73	48	0	1	0	0	8	1	0	15	0	
	100.0%	65.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	11.0%	1.4%	0.0%	20.5%	0.0%	

② 障害者の生涯学習について記載している行政計画

1) 障害者の生涯学習について記載している行政計画の有無

「計画がある」の割合が最も高く 59.4%となっている。次いで、「計画はない (32.2%)」、「わからない (7.8%)」となっている。

図表 2-81 障害者の生涯学習について記載している行政計画の有無 (単数選択)



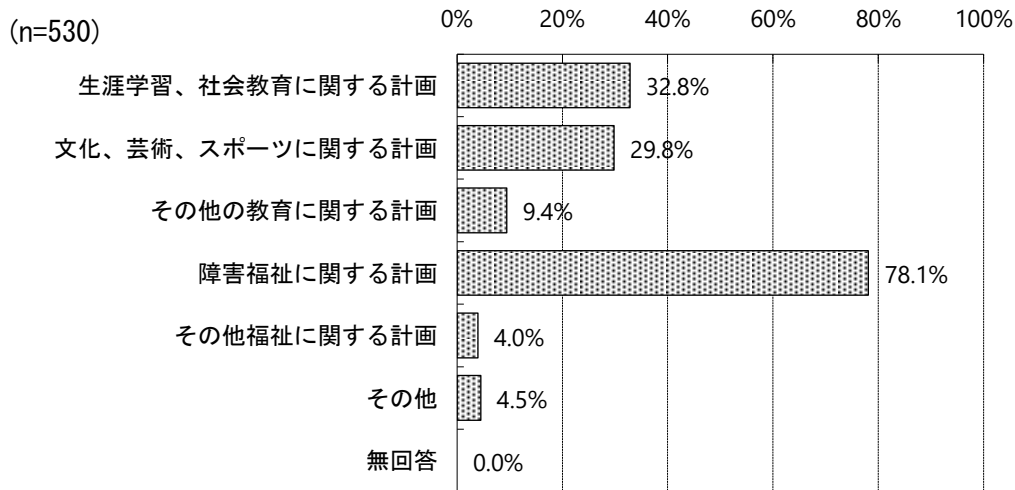
図表 2-82 障害者の生涯学習について記載している行政計画の有無 (単数選択) (自治体種別)

		合計	計画がある	計画はない	わからない	無回答
自治体種別	Total	892	530	287	70	5
		100.0%	59.4%	32.2%	7.8%	0.6%
	政令指定都市	14	13	1	0	0
		100.0%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	中核市	45	39	3	3	0
		100.0%	86.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	特別区	14	13	1	0	0
		100.0%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
その他の市	405	298	82	23	2	
	100.0%	73.6%	20.2%	5.7%	0.5%	
町	341	145	156	38	2	
	100.0%	42.5%	45.7%	11.1%	0.6%	
村	73	22	44	6	1	
	100.0%	30.1%	60.3%	8.2%	1.4%	

2) (計画がある場合) 計画の種類

「障害福祉に関する計画」の割合が最も高く 78.1%となっている。次いで、「生涯学習、社会教育に関する計画 (32.8%)」、「文化、芸術、スポーツに関する計画 (29.8%)」となっている。

図表 2-83 (計画がある場合) 計画の種類 (複数選択)



(注)「その他」として、「総合計画」「スポーツ環境整備方針」「子ども・若者計画」等の回答があった。

図表 2-84 (計画がある場合) 計画の種類 (複数選択) (自治体種別)

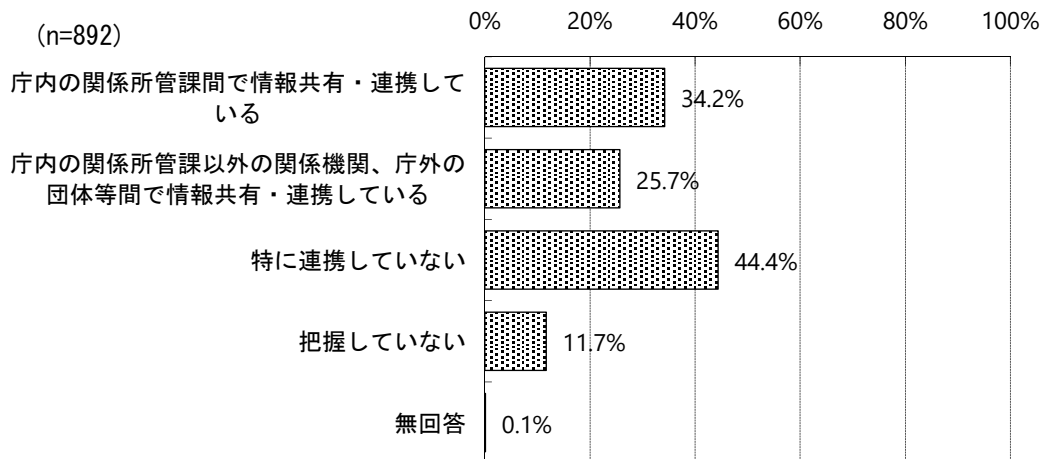
		合計	生涯学習、 社会教育に 関する計画	文化、芸術、 スポーツに 関する 計画	その他の教育 に関する 計画	障害福祉に 関する計画	その他福祉 に関する計 画	その他	無回答
自治体 種別	Total	530	174	158	50	414	21	24	0
		100.0%	32.8%	29.8%	9.4%	78.1%	4.0%	4.5%	0.0%
	政令指定都市	13	7	7	3	12	1	2	0
		100.0%	53.8%	53.8%	23.1%	92.3%	7.7%	15.4%	0.0%
	中核市	39	20	23	8	31	1	1	0
		100.0%	51.3%	59.0%	20.5%	79.5%	2.6%	2.6%	0.0%
	特別区	13	6	7	1	11	1	3	0
		100.0%	46.2%	53.8%	7.7%	84.6%	7.7%	23.1%	0.0%
その他の市	298	99	106	32	239	11	6	0	
	100.0%	33.2%	35.6%	10.7%	80.2%	3.7%	2.0%	0.0%	
町	145	38	14	6	104	6	10	0	
	100.0%	26.2%	9.7%	4.1%	71.7%	4.1%	6.9%	0.0%	
村	22	4	1	0	17	1	2	0	
	100.0%	18.2%	4.5%	0.0%	77.3%	4.5%	9.1%	0.0%	

③ 障害者の生涯学習活動に関する連携状況

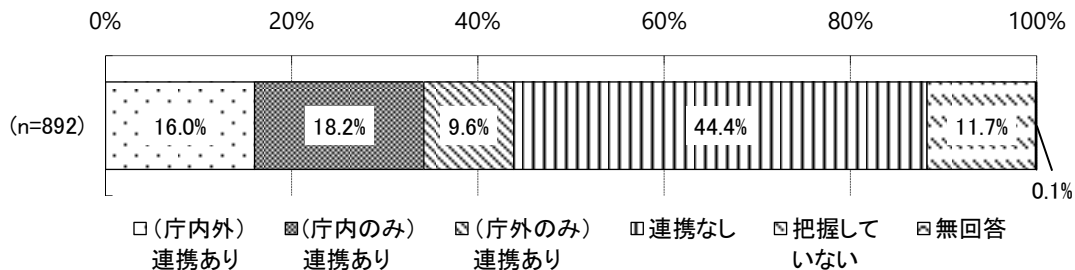
1) 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況

「特に連携していない」の割合が最も高く 44.4%となっている。次いで、「庁内の関係所管課間で情報共有・連携している（34.2%）」、「庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している（25.7%）」となっている。

図表 2-85 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況（複数選択）

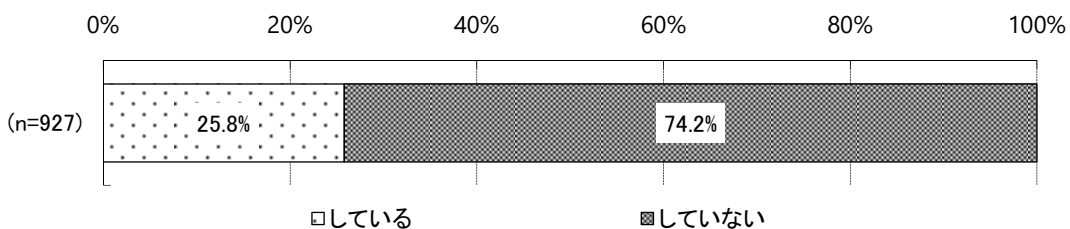


図表 2-86 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の有無



【参考】平成 29 年度調査結果_障害者の生涯学習活動に関する連携の状況【市区町村】

図表 2-87 障害者の生涯学習活動に関する連携の状況【市区町村】



(出所)独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.24 を基に作成

図表 2-88 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況（複数選択）（自治体種別）

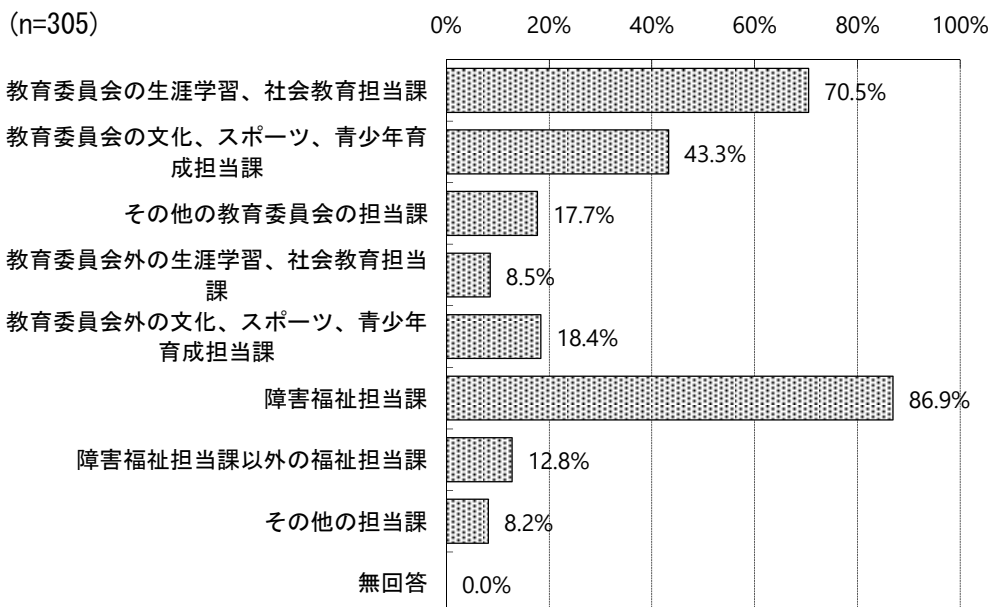
		合計	庁内の関係所管課間で情報共有・連携している	庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している	特に連携していない	把握していない	無回答
自治体種別	Total	892	305	229	396	104	1
		100.0%	34.2%	25.7%	44.4%	11.7%	0.1%
	政令指定都市	14	10	7	3	1	0
		100.0%	71.4%	50.0%	21.4%	7.1%	0.0%
	中核市	45	20	22	11	6	0
		100.0%	44.4%	48.9%	24.4%	13.3%	0.0%
	特別区	14	9	10	2	1	0
		100.0%	64.3%	71.4%	14.3%	7.1%	0.0%
その他の市	405	161	133	148	45	0	
	100.0%	39.8%	32.8%	36.5%	11.1%	0.0%	
町	341	84	50	188	44	1	
	100.0%	24.6%	14.7%	55.1%	12.9%	0.3%	
村	73	21	7	44	7	0	
	100.0%	28.8%	9.6%	60.3%	9.6%	0.0%	

2) 庁内の関係所管課間での連携状況（n=305）

a) （庁内の関係所管課間で連携している場合）主に情報共有・連携している所管課

「障害福祉担当課」の割合が最も高く 86.9%となっている。次いで、「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課（70.5%）」、「教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課（43.3%）」となっている。

図表 2-89（庁内の関係所管課間で連携している場合）主に情報共有・連携している所管課（複数選択）



図表 2-90 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 主に情報共有・連携している所管課 (複数選択)

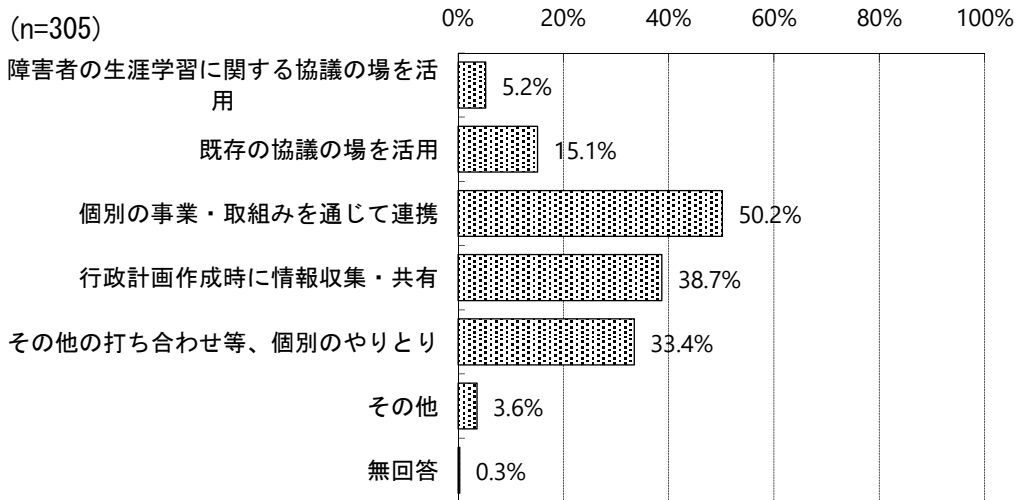
(自治体種別)

		合計	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	その他の教育委員会の担当課	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	障害福祉担当課	障害福祉担当課以外の福祉担当課	その他の担当課	無回答
自治体種別	Total	305	215	132	54	26	56	265	39	25	0
		100.0%	70.5%	43.3%	17.7%	8.5%	18.4%	86.9%	12.8%	8.2%	0.0%
	政令指定都市	10	6	4	5	5	7	8	2	3	0
		100.0%	60.0%	40.0%	50.0%	50.0%	70.0%	80.0%	20.0%	30.0%	0.0%
	中核市	20	12	8	7	3	9	20	10	6	0
		100.0%	60.0%	40.0%	35.0%	15.0%	45.0%	100.0%	50.0%	30.0%	0.0%
	特別区	9	2	1	2	2	5	9	2	1	0
		100.0%	22.2%	11.1%	22.2%	22.2%	55.6%	100.0%	22.2%	11.1%	0.0%
その他の市	161	116	72	27	15	32	138	14	8	0	
	100.0%	72.0%	44.7%	16.8%	9.3%	19.9%	85.7%	8.7%	5.0%	0.0%	
町	84	63	42	10	1	3	72	8	2	0	
	100.0%	75.0%	50.0%	11.9%	1.2%	3.6%	85.7%	9.5%	2.4%	0.0%	
村	21	16	5	3	0	0	18	3	5	0	
	100.0%	76.2%	23.8%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	23.8%	0.0%	

b) (庁内の関係所管課間で連携している場合) 連携方法

「個別の事業・取組みを通じて連携」の割合が最も高く 50.2%となっている。次いで、「行政計画作成時に情報収集・共有 (38.7%)」、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり (33.4%)」となっている。

図表 2-91 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 連携方法 (複数選択)



(注)「その他」として、「国・県からの情報共有」「事業実績報告」「庁内照会」等の回答があった。

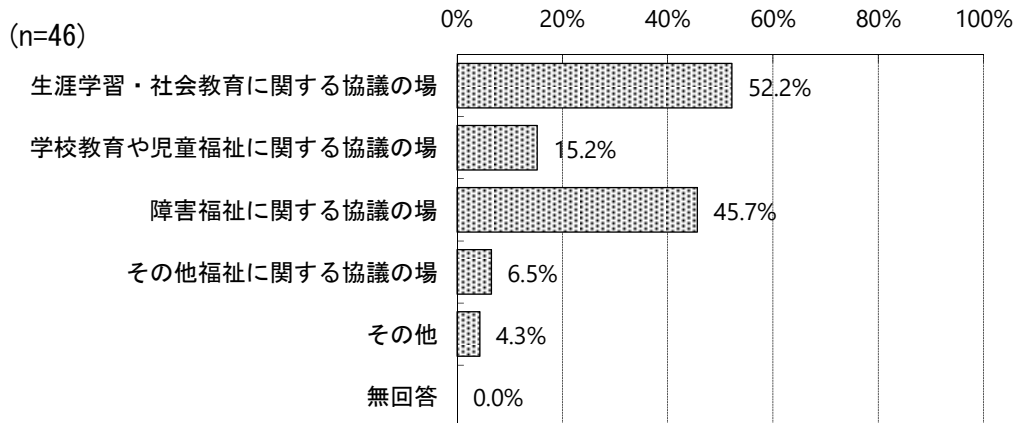
図表 2-92 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 連携方法 (複数選択) (自治体種別)

		合計	障害者の生涯学習に関する協議の場を活用	既存の協議の場を活用	個別の事業・取組みを通じて連携	行政計画作成時に情報収集・共有	その他の打ち合わせ等、個別のやりとり	その他	無回答
自治体種別	Total	305	16	46	153	118	102	11	1
		100.0%	5.2%	15.1%	50.2%	38.7%	33.4%	3.6%	0.3%
	政令指定都市	10	0	1	6	7	2	2	0
		100.0%	0.0%	10.0%	60.0%	70.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	中核市	20	1	6	14	8	2	2	0
		100.0%	5.0%	30.0%	70.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	特別区	9	2	1	5	5	1	0	0
		100.0%	22.2%	11.1%	55.6%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%
その他の市	161	6	27	84	72	54	7	0	
	100.0%	3.7%	16.8%	52.2%	44.7%	33.5%	4.3%	0.0%	
町	84	6	10	33	20	33	0	1	
	100.0%	7.1%	11.9%	39.3%	23.8%	39.3%	0.0%	1.2%	
村	21	1	1	11	6	10	0	0	
	100.0%	4.8%	4.8%	52.4%	28.6%	47.6%	0.0%	0.0%	

c) (既存の場を活用している場合) 主な場所

「生涯学習・社会教育に関する協議の場」の割合が最も高く 52.2%となっている。次いで、「障害福祉に関する協議の場 (45.7%)」、「学校教育や児童福祉に関する協議の場 (15.2%)」となっている。

図表 2-93 (既存の場を活用している場合) 主な場所 (複数選択)



(注)「その他」として、「スポーツ推進審議会」「小学校」との回答があった。

d) (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容

これまでの主な検討内容は以下のとおり。

図表 2-94 (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容 (自由記述式)

<p>■ 障害者の生涯学習に関する協議の場での検討内容 (n=16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状把握と今後の課題について ・ 学校卒業後における障害者の生涯学習プログラムの開発 ・ 障害福祉担当課：障害者スポーツの推進 ・ 町障がい者スポーツ事業等 ・ 障害のある方が日常的にスポーツ・運動に取り組める環境の整備（障害者向けのスポーツ教室・イベント、指導員養成、運動相談等） ・ レク、芸術活動、福祉サービス等について情報提供 ・ 就労に関する事案 ・ 各施設の障害者向けイベントの情報共有、実施連携 / 等 <p>■ 既存の協議の場での検討内容 (n=46)</p> <p><事業計画の検討や事業進捗の共有></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画及び事業実績 ・ 生涯学習推進計画の主要事業等 ・ 障害者施策を含めた生涯学習全体の情報共有 ・ 障害者の生涯学習に係る事業の進捗状況の共有 ・ 共生社会の実現に向けた学習の推進（生涯学習計画策定に係る検討の一環） ・ 学習ニーズの把握方法について等 <p><スポーツ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉策定計画委員会でスポーツ大会等 ・ 障害者を健常者がともに参加できるスポーツイベントの企画 ・ スポーツ・レクリエーション・文化活動の推進 ・ 障害者を含む市民のスポーツ活動の推進について ・ 障害者スポーツ事業の検討に関すること ・ 障害スポーツ活動の啓発、振興 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容の検討や合理的配慮の方法等 ・ 発達障害者に対する支援プログラムの企画・実施 ・ 性と余暇について ・ 障がい者の作品展等を開催し、障がい者の活動の場を広げるとともに、市民へ障がいへの理解・周知を図る ・ 子どもの読書活動推進計画 ・ 生涯学習・趣味活動の充実のための取組 / 等
--

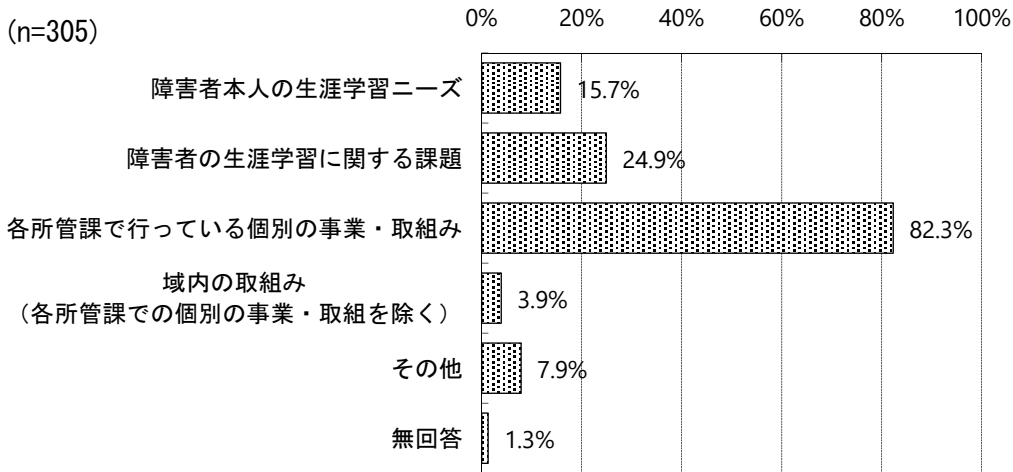
(注1)n は、連携方法について、「障害者の生涯学習に関する協議の場」「既存の協議の場」を回答した件数。

(注2)1 団体で複数の内容を検討している場合がある。

e) (庁内の関係所管課間で連携している場合) 共有している内容

「各所管課で行っている個別の事業・取組み」の割合が最も高く 82.3%となっている。次いで、「障害者の生涯学習に関する課題 (24.9%)」、「障害者本人の生涯学習ニーズ (15.7%)」となっている。

図表 2-95 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 共有している内容 (複数選択)



(注)「その他」として、「国や県からの情報共有」「公民館等の職員へ向けた研修の実施」「全庁的に取り組む市民向け出前講座の実施プログラムを通じて情報共有」「オンライン配信の講演等」「相談や困りごと等があれば随時情報共有及び連携している」等の回答があった。

図表 2-96 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 共有している内容 (複数選択) (自治体種別)

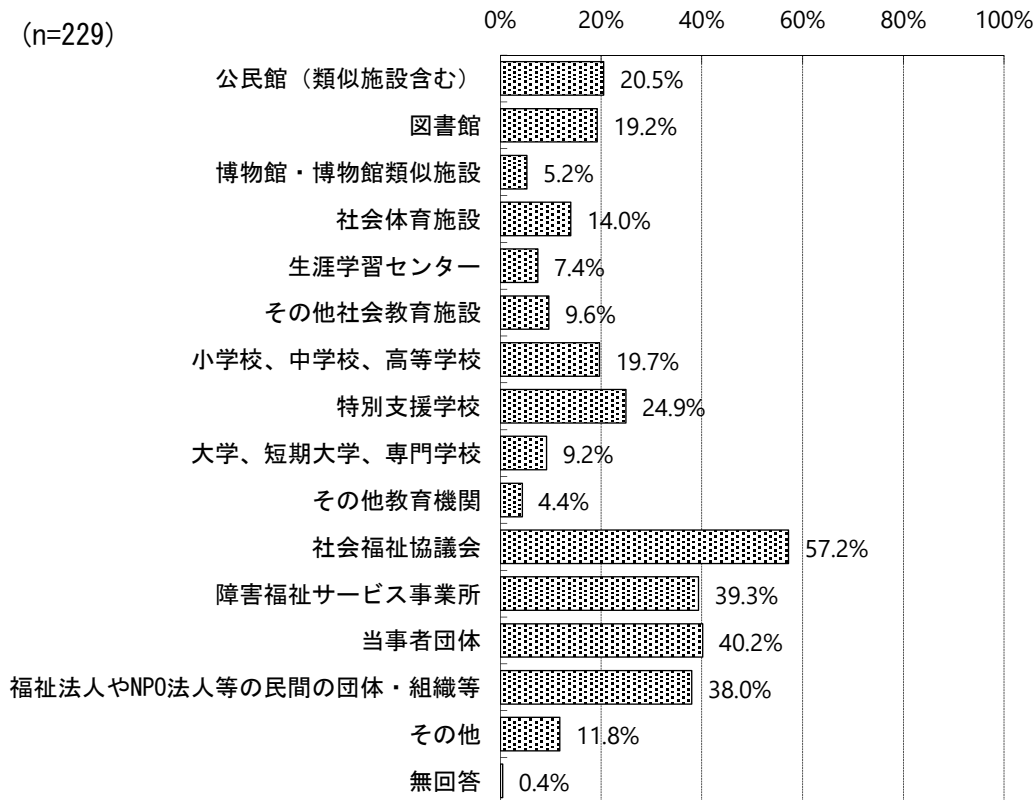
自治体種別		共有している内容 (複数選択)						
		合計	障害者本人の生涯学習ニーズ	障害者の生涯学習に関する課題	各所管課で行っている個別の事業・取組み	域内の取組み (各所管課での個別の事業・取組を除く)	その他	無回答
自治体種別	Total	305	48	76	251	12	24	4
		100.0%	15.7%	24.9%	82.3%	3.9%	7.9%	1.3%
	政令指定都市	10	1	2	9	0	1	0
		100.0%	10.0%	20.0%	90.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	中核市	20	2	2	19	0	2	0
		100.0%	10.0%	10.0%	95.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	特別区	9	2	3	8	1	0	0
		100.0%	22.2%	33.3%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
その他の市	161	22	42	140	4	17	3	
	100.0%	13.7%	26.1%	87.0%	2.5%	10.6%	1.9%	
町	84	14	21	61	5	3	1	
	100.0%	16.7%	25.0%	72.6%	6.0%	3.6%	1.2%	
村	21	7	6	14	2	1	0	
	100.0%	33.3%	28.6%	66.7%	9.5%	4.8%	0.0%	

3) 関係所管課以外の関係機関、庁外団体等との連携状況 (n=229)

a) (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 主に情報共有・連携している関係機関・団体

「社会福祉協議会」の割合が最も高く 57.2%となっている。次いで、「当事者団体 (40.2%)」、「障害福祉サービス事業所 (39.3%)」となっている。

図表 2-97 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 主に情報共有・連携している関係機関・団体
(複数選択)



(注)「その他」として、「県障害者スポーツ協会」「自立支援協議会」「基幹相談支援センター」「ボランティア」等の回答があった。

図表 2-98 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 主に情報共有・連携している関係機関・団体
(複数選択) (自治体種別)

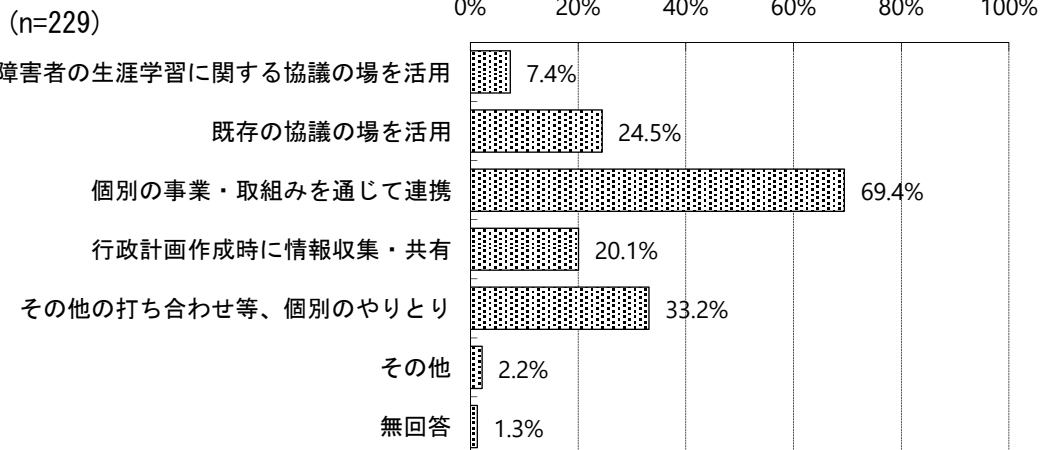
		合計	公民館(類似施設含む)	図書館	博物館・博物館類似施設	社会体育施設	生涯学習センター	その他社会教育施設	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校
自治体種別	Total	229	47	44	12	32	17	22	45	57
		100.0%	20.5%	19.2%	5.2%	14.0%	7.4%	9.6%	19.7%	24.9%
	政令指定都市	7	2	2	1	1	2	2	2	3
		100.0%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	42.9%
	中核市	22	2	5	0	2	3	1	3	4
		100.0%	9.1%	22.7%	0.0%	9.1%	13.6%	4.5%	13.6%	18.2%
	特別区	10	1	0	1	3	0	1	2	4
		100.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	40.0%
その他の市	133	30	30	9	15	9	13	23	35	
	100.0%	22.6%	22.6%	6.8%	11.3%	6.8%	9.8%	17.3%	26.3%	
町	50	11	7	1	10	2	4	13	10	
	100.0%	22.0%	14.0%	2.0%	20.0%	4.0%	8.0%	26.0%	20.0%	
村	7	1	0	0	1	1	1	2	1	
	100.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	

		合計	大学、短期大学、専門学校	その他教育機関	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	当事者団体	福祉法人やNPO法人等の民間の団体・組織等	その他	無回答
自治体種別	Total	229	21	10	131	90	92	87	27	1
		100.0%	9.2%	4.4%	57.2%	39.3%	40.2%	38.0%	11.8%	0.4%
	政令指定都市	7	2	0	2	2	3	5	2	0
		100.0%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	71.4%	28.6%	0.0%
	中核市	22	3	1	9	8	12	8	3	0
		100.0%	13.6%	4.5%	40.9%	36.4%	54.5%	36.4%	13.6%	0.0%
	特別区	10	1	0	5	8	7	4	2	0
		100.0%	10.0%	0.0%	50.0%	80.0%	70.0%	40.0%	20.0%	0.0%
その他の市	133	14	8	76	59	62	58	14	1	
	100.0%	10.5%	6.0%	57.1%	44.4%	46.6%	43.6%	10.5%	0.8%	
町	50	1	1	33	11	7	10	6	0	
	100.0%	2.0%	2.0%	66.0%	22.0%	14.0%	20.0%	12.0%	0.0%	
村	7	0	0	6	2	1	2	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	85.7%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	

b) (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法

「個別の事業・取組みを通じて連携」の割合が最も高く 69.4%となっている。次いで、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり(33.2%)」、「既存の協議の場を活用(24.5%)」となっている。

図表 2-99 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法 (複数選択)



(注)「その他」として、「スポーツ大会の案内送付」「子ども読書活動推進連絡会議」等の回答があった。

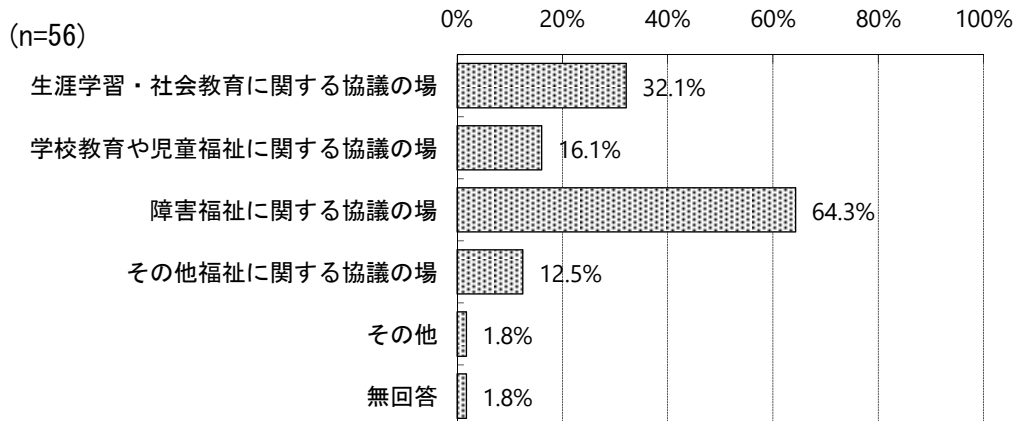
図表 2-100 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法 (複数選択) (自治体種別)

		合計	障害者の生涯学習に関する協議の場を活用	既存の協議の場を活用	個別の事業・取組みを通じて連携	行政計画作成時に情報収集・共有	その他の打ち合わせ等、個別のやりとり	その他	無回答
自治体種別	Total	229	17	56	159	46	76	5	3
		100.0%	7.4%	24.5%	69.4%	20.1%	33.2%	2.2%	1.3%
	政令指定都市	7	0	0	6	2	2	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	85.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%
	中核市	22	2	7	17	6	7	1	0
		100.0%	9.1%	31.8%	77.3%	27.3%	31.8%	4.5%	0.0%
	特別区	10	2	1	7	2	2	0	0
		100.0%	20.0%	10.0%	70.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
その他の市	133	8	36	97	28	42	3	1	
	100.0%	6.0%	27.1%	72.9%	21.1%	31.6%	2.3%	0.8%	
町	50	4	11	27	6	20	1	2	
	100.0%	8.0%	22.0%	54.0%	12.0%	40.0%	2.0%	4.0%	
村	7	1	1	5	2	3	0	0	
	100.0%	14.3%	14.3%	71.4%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	

c) (既存の場を活用している場合) 主な場所

「障害福祉に関する協議の場」の割合が最も高く64.3%となっている。次いで、「生涯学習・社会教育に関する協議の場 (32.1%)」、「学校教育や児童福祉に関する協議の場 (16.1%)」となっている。

図表 2-101 (既存の場を活用している場合) 主な場所 (複数選択)



(注)「その他」として、「市のスポーツ分野と福祉分野の関係者による協議体」との回答があった。

d) (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容

これまでの主な検討内容は以下のとおり。

図表 2-102 (協議の場がある場合) これまでの主な検討内容 (自由記述式)

■ 障害者の生涯学習に関する協議の場での検討内容 (n=17)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある方が日常的にスポーツ・運動に取り組める環境の整備 (障害者向けのスポーツ教室・イベント、指導員養成、運動相談等) ・ 障がい者を含めた誰でも参加できる公民館講座の開設について ・ レク、芸術活動、福祉サービス等について情報提供 ・ 各施設の障害者向けイベントの情報共有、実施連携 ・ ケース会議などにおける社会参加の場などの情報共有 ・ 地域での持続可能な学習機会提供のための仕組みづくり など ・ 図書館障害者サービス部会 (近隣市の図書館の担当者会) で、障害者等の図書館利用を支援のため、各市のハンディキャップサービスについて情報交換・相談するほか、先行自治体の視察などを行っている。情報交換・相談の内容は、音訳ボランティアの新規募集方法や研修内容、宅配貸出、ハンディキャップサービスの周知方法など / 等
■ 既存の協議の場での検討内容 (n=56)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の生涯学習に係る事業の進捗状況の共有 ・ 本市の生涯学習の今後の推進方法等を協議 ・ 雇用、就労の場の確保 ・ 移動支援等社会参加に向けた福祉サービスの充実 ・ 障がい者フェスティバル、障がい者スポーツ大会、余暇活動ワーキング ・ アダプテッドスポーツの大会の開催、中高生ボランティアと障がい者の交流機会 ・ スポーツ・レクリエーション・文化活動の推進 ・ 就労継続支援に関するアセスメント表、面接対策動画 ・ 福祉施設で実施できる運動プログラムの提案等 ・ 障がい者週間での取組活動の検討 ・ 例年開催されているレクリエーション大会の内容の検討 / 等

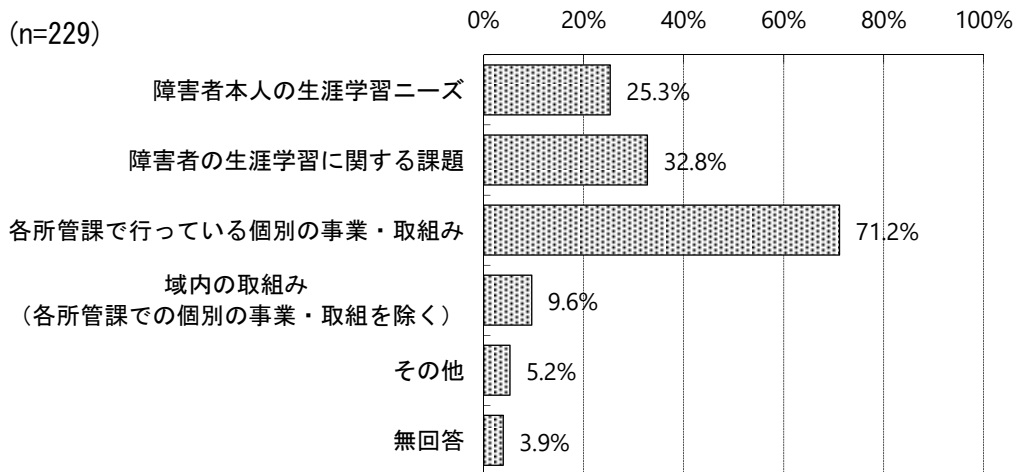
(注1) n は、連携方法について、「障害者の生涯学習に関する協議の場」「既存の協議の場」を回答した件数。

(注2) 1団体で複数の内容を検討している場合がある。

e) (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 共有している内容

「各所管課で行っている個別の事業・取組み」の割合が最も高く 71.2%となっている。次いで、「障害者の生涯学習に関する課題 (32.8%)」、「障害者本人の生涯学習ニーズ (25.3%)」となっている。

図表 2-103 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 共有している内容 (複数選択)



(注)「その他」として、「地域課題」「国・県からの情報」「生涯学習の場の提供」等の回答があった。

図表 2-104 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 共有している内容 (複数選択)

(自治体種別)

		合計	障害者本人の生涯学習ニーズ	障害者の生涯学習に関する課題	各所管課で行っている個別の事業・取組み	域内の取組み (各所管課での個別の事業・取組を除く)	その他	無回答
自治体種別	Total	229	58	75	163	22	12	9
		100.0%	25.3%	32.8%	71.2%	9.6%	5.2%	3.9%
	政令指定都市	7	4	4	6	0	0	0
		100.0%	57.1%	57.1%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	中核市	22	3	4	20	0	0	1
		100.0%	13.6%	18.2%	90.9%	0.0%	0.0%	4.5%
	特別区	10	3	3	9	2	1	0
		100.0%	30.0%	30.0%	90.0%	20.0%	10.0%	0.0%
その他の市	133	36	41	96	13	9	6	
	100.0%	27.1%	30.8%	72.2%	9.8%	6.8%	4.5%	
町	50	11	19	29	5	2	2	
	100.0%	22.0%	38.0%	58.0%	10.0%	4.0%	4.0%	
村	7	1	4	3	2	0	0	
	100.0%	14.3%	57.1%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	

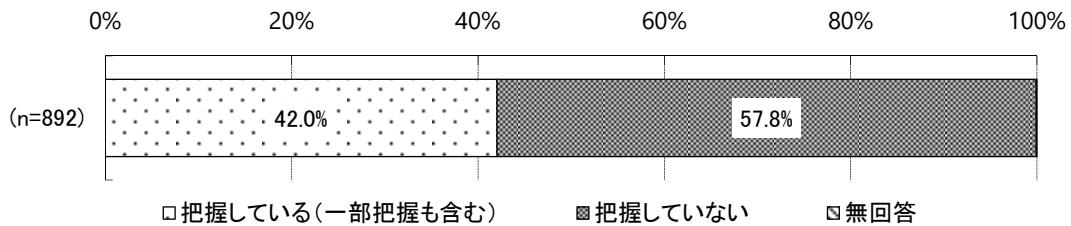
(3) 障害者のニーズの把握状況

① 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無

1) 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無

「把握していない」の割合が最も高く 57.8%となっている。次いで、「把握している（一部把握も含む）（42.0%）」となっている。

図表 2-105 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無（単数選択）



図表 2-106 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無（単数選択）（自治体種別）

		合計	把握している（一部把握も含む）	把握していない	無回答
自治体種別	Total	892	375	516	1
		100.0%	42.0%	57.8%	0.1%
	政令指定都市	14	11	3	0
		100.0%	78.6%	21.4%	0.0%
	中核市	45	31	14	0
		100.0%	68.9%	31.1%	0.0%
	特別区	14	13	1	0
		100.0%	92.9%	7.1%	0.0%
その他の市	405	200	205	0	
	100.0%	49.4%	50.6%	0.0%	
町	341	95	245	1	
	100.0%	27.9%	71.8%	0.3%	
村	73	25	48	0	
	100.0%	34.2%	65.8%	0.0%	

図表 2-107 障害者の生涯学習ニーズの把握の有無（単数選択）（連携状況別）

		合計	把握している（一部把握も含む）	把握していない	無回答
連携状況別	Total	892	375	516	1
		100.0%	42.0%	57.8%	0.1%
	(庁内外) 連携あり	143	116	27	0
		100.0%	81.1%	18.9%	0.0%
	(庁内のみ) 連携あり	162	78	84	0
		100.0%	48.1%	51.9%	0.0%
	(庁外のみ) 連携あり	86	55	31	0
		100.0%	64.0%	36.0%	0.0%
連携なし	396	102	293	1	
	100.0%	25.8%	74.0%	0.3%	
把握していない	104	24	80	0	
	100.0%	23.1%	76.9%	0.0%	

2) (把握していない場合) その理由

把握していない理由は以下のとおり。

図表 2-108 把握していない理由 (自由記述式、n=516)

<ニーズを把握する機会がない>

- ・ 障害者やその家族との接点や交流する機会が少ない
- ・ 対象者が非常に少なく、ニーズを把握する機会がない
- ・ ニーズ調査を実施していないため
- ・ アンケートや直接聞き取り等で細かなニーズを把握するところまでは至っていない
- ・ 障害者を対象とした事業がなく、障害者のニーズを把握する機会がない
- ・ 現在までに要望・相談等が出ていないため、全体としてニーズ把握等の作業は実施してきていない

<ニーズを把握する方法・仕組みが不十分>

- ・ ニーズを把握する具体的な方法がわからないため。関係する場所(団体や施設)などとのネットワークが確立しておらず、情報がつかみづらい
- ・ ニーズ把握の調査等を実施していないため。また、調査を実施する場合、調査対象の範囲の設定が難しい
- ・ 関係機関・団体との連携や意見交換の機会がないため
- ・ 主に業務としての担当(課)が明確になっていない。ニーズ要望など把握する手法、機会がない
- ・ 障害福祉担当課では福祉サービス・生活支援を優先しており、生涯学習担当課では受入れに余力がなく部署間の連携がまだないためニーズの把握に至っていない

<障害者に限定したニーズ把握は行っていない>

- ・ ニーズは障害のある・なしに関わらず把握するよう努めているため、障害者に特化したニーズは把握していない
- ・ 現在のところは、障害者と健常者とを区別しての生涯学習の推進は行っていないことから、ニーズ把握の取組を行っていない

<ニーズ把握の取組はあるが、不十分>

- ・ 3年に1回、障がいの計画作成時に調査しているが、回数が少ないため、把握していないとして回答した
- ・ アンケートでは「地域活動」に参加していない理由の項目しかないため
- ・ アンケート調査では、障がい者は将来の支援の不安や就労に対し関心が高い。生涯学習への関心はまだ低く、ニーズが把握できない状況にある

<その他>

- ・ (障がい福祉担当課) 地域活動支援センター(業務委託)において生産活動やレクリエーション、地域交流活動等を行っているが、ニーズまでは把握できていない
- ・ ニーズ把握の前に、まずは参加機会の拡大に重きを置いているため
- ・ 今まで具体的な事業・プログラムの検討を行っていく検討課題となっていなかったため
- ・ 今年度実施中の障がい者計画等策定における当事者アンケートに設問を新たに加えた。令和5年度に集計し、ニーズを把握する予定 / 等

(注1)nは、障害者の生涯学習ニーズの把握の有無について、「把握していない」を回答した件数。

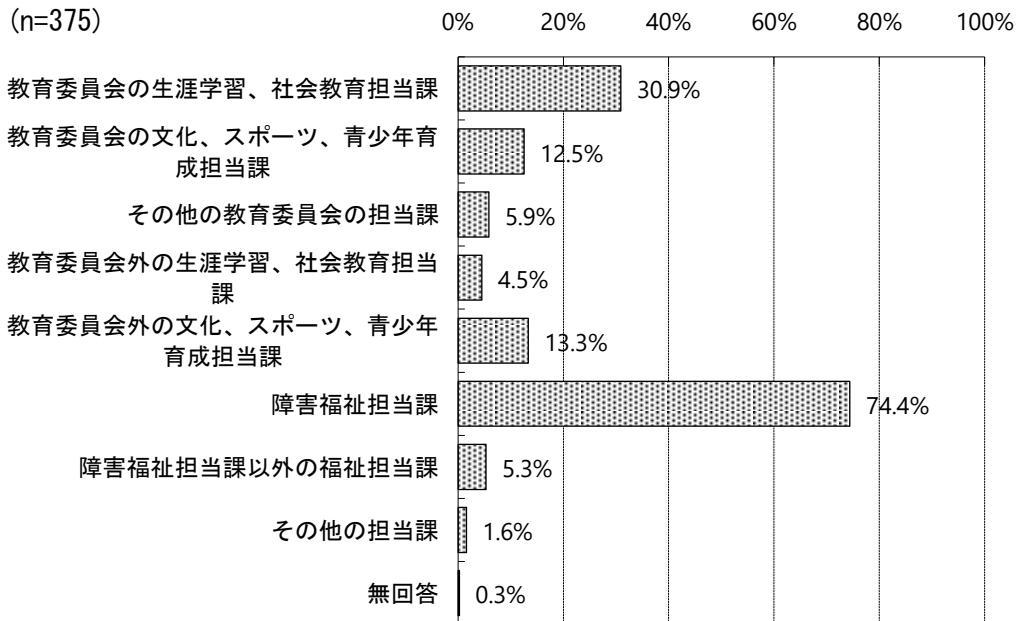
(注2)1団体で複数の内容を記載している場合がある。

② (把握している場合) ニーズの把握状況 (n=375)

1) ニーズを把握している部署

「障害福祉担当課」の割合が最も高く 74.4%となっている。次いで、「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 (30.9%)」、「教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 (13.3%)」となっている。

図表 2-109 ニーズを把握している部署 (複数選択)



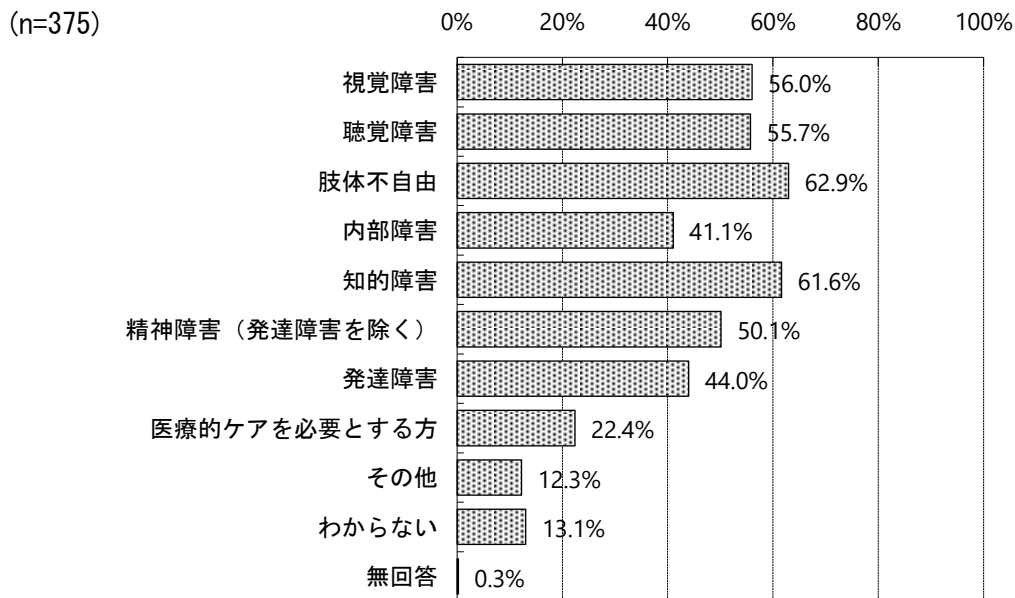
図表 2-110 ニーズを把握している部署 (複数選択) (自治体種別)

		合計	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	その他の教育委員会の担当課	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	障害福祉担当課	障害福祉担当課以外の福祉担当課	その他の担当課	無回答
自治体種別	Total	375	116	47	22	17	50	279	20	6	1
		100.0%	30.9%	12.5%	5.9%	4.5%	13.3%	74.4%	5.3%	1.6%	0.3%
	政令指定都市	11	5	0	2	0	4	8	1	0	0
		100.0%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%	36.4%	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%
	中核市	31	12	3	4	2	11	18	0	0	0
		100.0%	38.7%	9.7%	12.9%	6.5%	35.5%	58.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	特別区	13	1	2	0	3	10	10	1	0	0
		100.0%	7.7%	15.4%	0.0%	23.1%	76.9%	76.9%	7.7%	0.0%	0.0%
	その他の市	200	51	29	15	12	24	156	9	4	1
	100.0%	25.5%	14.5%	7.5%	6.0%	12.0%	78.0%	4.5%	2.0%	0.5%	
町	95	37	12	1	0	1	68	6	1	0	
	100.0%	38.9%	12.6%	1.1%	0.0%	1.1%	71.6%	6.3%	1.1%	0.0%	
村	25	10	1	0	0	0	19	3	1	0	
	100.0%	40.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.0%	12.0%	4.0%	0.0%	

2) 把握しているニーズの障害種別

「肢体不自由」の割合が最も高く62.9%となっている。次いで、「知的障害（61.6%）」、「視覚障害（56.0%）」となっている。

図表 2-111 把握しているニーズの障害種別（複数選択）



(注)「その他」として、「難病」「障害全般(種別を問わない)」「障害福祉サービス利用者」「言語に障害のある方」等の回答があった。

図表 2-112 把握しているニーズの障害種別（複数選択）（自治体種別）

		合計	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害
自治体種別	Total	375	210	209	236	154	231
		100.0%	56.0%	55.7%	62.9%	41.1%	61.6%
	政令指定都市	11	10	10	10	7	11
		100.0%	90.9%	90.9%	90.9%	63.6%	100.0%
	中核市	31	21	20	21	14	19
		100.0%	67.7%	64.5%	67.7%	45.2%	61.3%
	特別区	13	9	9	11	9	11
		100.0%	69.2%	69.2%	84.6%	69.2%	84.6%
その他の市	200	126	121	131	91	123	
	100.0%	63.0%	60.5%	65.5%	45.5%	61.5%	
町	95	36	42	48	29	53	
	100.0%	37.9%	44.2%	50.5%	30.5%	55.8%	
村	25	8	7	15	4	14	
	100.0%	32.0%	28.0%	60.0%	16.0%	56.0%	

		合計	精神障害 (発達障害を除く)	発達障害	医療的ケア を必要とする方	その他	わからない	無回答
自治体種別	Total	375	188	165	84	46	49	1
		100.0%	50.1%	44.0%	22.4%	12.3%	13.1%	0.3%
	政令指定都市	11	9	9	5	3	0	0
		100.0%	81.8%	81.8%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%
	中核市	31	14	12	6	7	3	0
		100.0%	45.2%	38.7%	19.4%	22.6%	9.7%	0.0%
	特別区	13	9	7	8	4	0	0
		100.0%	69.2%	53.8%	61.5%	30.8%	0.0%	0.0%
その他の市	200	102	87	46	24	31	1	
	100.0%	51.0%	43.5%	23.0%	12.0%	15.5%	0.5%	
町	95	40	42	13	7	11	0	
	100.0%	42.1%	44.2%	13.7%	7.4%	11.6%	0.0%	
村	25	14	8	6	1	4	0	
	100.0%	56.0%	32.0%	24.0%	4.0%	16.0%	0.0%	

図表 2-113 把握しているニーズの障害種別（複数選択）（連携状況別）

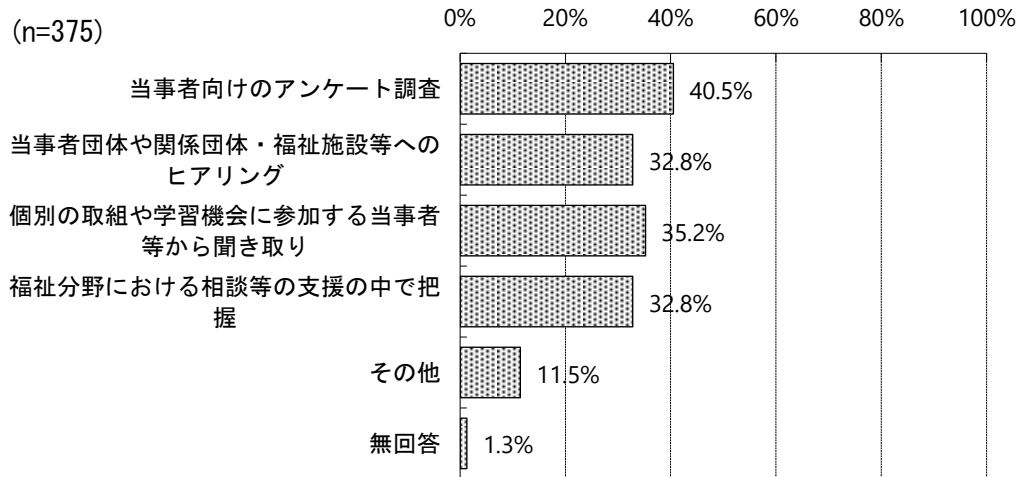
		合計	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害
連携状況別	Total	375	210	209	236	154	231
		100.0%	56.0%	55.7%	62.9%	41.1%	61.6%
	(庁内外)	116	85	81	86	62	87
	連携あり	100.0%	73.3%	69.8%	74.1%	53.4%	75.0%
	(庁内のみ)	78	44	43	50	30	48
	連携あり	100.0%	56.4%	55.1%	64.1%	38.5%	61.5%
	(庁外のみ)	55	31	29	36	23	37
	連携あり	100.0%	56.4%	52.7%	65.5%	41.8%	67.3%
連携なし	102	44	48	56	35	52	
	100.0%	43.1%	47.1%	54.9%	34.3%	51.0%	
把握していない	24	6	8	8	4	7	
	100.0%	25.0%	33.3%	33.3%	16.7%	29.2%	

		合計	精神障害 (発達障害を除く)	発達障害	医療的ケア を必要とする方	その他	わからない	無回答
連携状況別	Total	375	188	165	84	46	49	1
		100.0%	50.1%	44.0%	22.4%	12.3%	13.1%	0.3%
	(庁内外)	116	72	64	39	15	9	1
	連携あり	100.0%	62.1%	55.2%	33.6%	12.9%	7.8%	0.9%
	(庁内のみ)	78	41	33	14	6	11	0
	連携あり	100.0%	52.6%	42.3%	17.9%	7.7%	14.1%	0.0%
	(庁外のみ)	55	27	29	13	5	7	0
	連携あり	100.0%	49.1%	52.7%	23.6%	9.1%	12.7%	0.0%
連携なし	102	42	32	16	17	17	0	
	100.0%	41.2%	31.4%	15.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
把握していない	24	6	7	2	3	5	0	
	100.0%	25.0%	29.2%	8.3%	12.5%	20.8%	0.0%	

3) 障害者の生涯学習ニーズを把握するために行なった(いる)こと

「当事者向けのアンケート調査」の割合が最も高く 40.5%となっている。次いで、「個別の取組や学習機会に参加する当事者等から聞き取り(35.2%)」、「当事者団体や関係団体・福祉施設等へのヒアリング(32.8%)」、「福祉分野における相談等の支援の中で把握(32.8%)」となっている。

図表 2-114 障害者の生涯学習ニーズを把握するために行なった(いる)こと(複数選択)



(注)「その他」として、「当事者からの要望」「障害者福祉計画等の策定に伴う調査」「スポーツ推進審議会」等の回答があった。

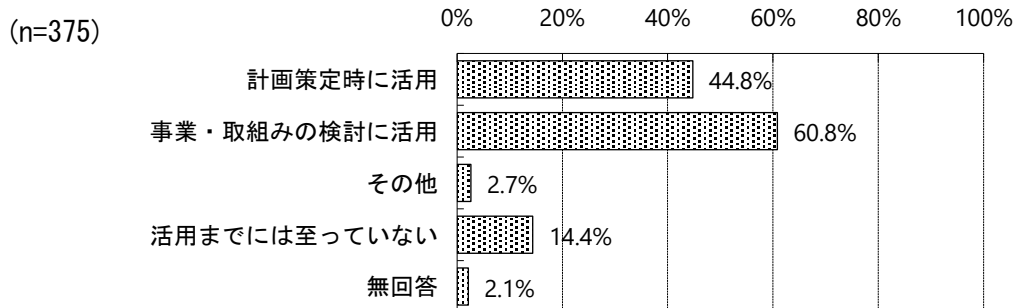
図表 2-115 障害者の生涯学習ニーズを把握するために行なった(いる)こと(複数選択)(自治体種別)

		合計	当事者向けのアンケート調査	当事者団体や関係団体・福祉施設等へのヒアリング	個別の取組や学習機会に参加する当事者等から聞き取り	福祉分野における相談等の支援の中で把握	その他	無回答
自治体種別	Total	375	152	123	132	123	43	5
		100.0%	40.5%	32.8%	35.2%	32.8%	11.5%	1.3%
	政令指定都市	11	7	3	5	1	1	0
		100.0%	63.6%	27.3%	45.5%	9.1%	9.1%	0.0%
	中核市	31	12	15	15	3	4	0
		100.0%	38.7%	48.4%	48.4%	9.7%	12.9%	0.0%
	特別区	13	8	9	10	0	3	0
		100.0%	61.5%	69.2%	76.9%	0.0%	23.1%	0.0%
その他の市	200	93	77	76	63	26	2	
	100.0%	46.5%	38.5%	38.0%	31.5%	13.0%	1.0%	
町	95	26	13	21	41	7	2	
	100.0%	27.4%	13.7%	22.1%	43.2%	7.4%	2.1%	
村	25	6	6	5	15	2	1	
	100.0%	24.0%	24.0%	20.0%	60.0%	8.0%	4.0%	

4) 把握したニーズの活用状況

「事業・取組みの検討に活用」の割合が最も高く60.8%となっている。次いで、「計画策定時に活用（44.8%）」、「活用までには至っていない（14.4%）」となっている。

図表 2-116 把握したニーズの活用状況（複数選択）



(注)「その他」として、「個別対応」「調査結果の活用は各部署にて行っている」等の回答があった。

図表 2-117 把握したニーズの活用状況（複数選択）（自治体種別）

		合計	計画策定時に活用	事業・取組みの検討に活用	その他	活用までには至っていない	無回答
自治体種別	Total	375	168	228	10	54	8
		100.0%	44.8%	60.8%	2.7%	14.4%	2.1%
	政令指定都市	11	7	10	1	1	0
		100.0%	63.6%	90.9%	9.1%	9.1%	0.0%
	中核市	31	12	26	1	4	0
		100.0%	38.7%	83.9%	3.2%	12.9%	0.0%
	特別区	13	9	13	0	0	0
		100.0%	69.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の市	200	99	119	6	19	7	
	100.0%	49.5%	59.5%	3.0%	9.5%	3.5%	
町	95	32	46	2	23	1	
	100.0%	33.7%	48.4%	2.1%	24.2%	1.1%	
村	25	9	14	0	7	0	
	100.0%	36.0%	56.0%	0.0%	28.0%	0.0%	

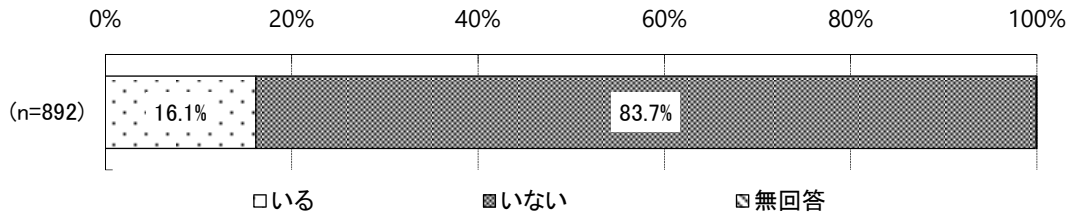
(4) 障害者の生涯学習に関する取組状況

① コーディネーターの配置状況

1) コーディネーターの配置の有無

「いない」の割合が最も高く83.7%となっている。次いで、「いる(16.1%)」となっている。

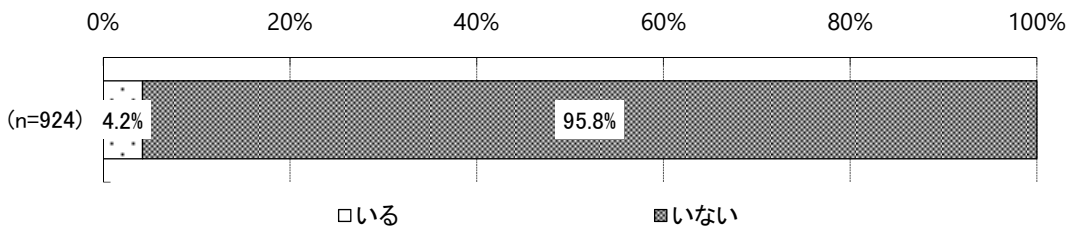
図表 2-118 コーディネーターの配置の有無(単数選択)



(注) 回答にあたって、コーディネーターの定義を次のとおり示した:「コーディネーター的な役割を担っている人」とは、障害者の生涯学習の企画や調整、実施を担う人のこと。個別のニーズに対して学習機会等を紹介・コーディネートを行う場合も含む。想定される担い手としては、社会教育主事、公民館主事、図書館司書、博物館学芸員、その他の社会教育施設職員、特別支援学校教職員、大学教職員、社会福祉協議会職員、障害福祉サービス事業所職員、NPO職員等。また、障害者の生涯学習活動のために配置していなくても、実態として当該機能を果たしている場合も「いる」を回答いただいた。

【参考】平成29年度調査結果_専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担う人の有無【市区町村】

図表 2-119 専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担う人の有無【市区町村】



(出所) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成29年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.26を基に作成

(注) 当該調査におけるコーディネーターの定義は次のとおり:「障害者の生涯学習活動を企画・実施するにあたって、特別支援教育や障害者福祉等の専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担っている人」

図表 2-120 コーディネーターの配置の有無(単数選択)(自治体種別)

		合計	いる	いない	無回答
自治体種別	Total	892	144	747	1
		100.0%	16.1%	83.7%	0.1%
	政令指定都市	14	4	10	0
		100.0%	28.6%	71.4%	0.0%
	中核市	45	13	32	0
		100.0%	28.9%	71.1%	0.0%
	特別区	14	8	6	0
		100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
その他の市	405	76	328	1	
	100.0%	18.8%	81.0%	0.2%	
町	341	33	308	0	
	100.0%	9.7%	90.3%	0.0%	
村	73	10	63	0	
	100.0%	13.7%	86.3%	0.0%	

2) (いる場合) コーディネーターの職種、果たしている機能・役割

コーディネーターの職種、果たしている機能・役割に関する主な回答は以下のとおり。

図表 2-121 コーディネーターの職種、果たしている機能・役割 (自由記述式)

職種	果たしている機能・役割
社会教育主事	学習の企画・ボランティアとの調整
スポーツ推進員、図書館司書	ニュースポーツ教育の企画・実施 図書資料の選択・レファレンスなどの業務
スポーツ推進員の中に障害スポーツ指導員を配置	障害がある方のスポーツ参加のきっかけ作りをサポートする
①図書館司書 ②スポーツ相談窓口 ③児童厚生員 ④事業委託業者	①ハンディキャップサービス担当として、窓口及びサービスを展開 ②相談者(障害の有無を問わない)の要望に合ったスポーツ活動(教室、イベント、団体等)を紹介する ③個別の要望への対応・調整 ④障害者スポーツの運営等
会計年度任用職員(社会教育)、生活介護事業所等の支援員、美術館学芸員	企画立案や調整、本人の希望をふまえてサービス利用計画を作成し支援、講師紹介、展覧会、美術ワークショップ、コーディネート
福祉職、図書館司書、作業所施設長	福祉職(運動・スポーツできる場の紹介・参加調整)、図書館司書(生涯学習機会の紹介・実施)、作業所施設長(交流会としてのレクリエーション・余暇活動の企画・運営)
教員等、地区社会福祉協議会職員、図書館司書、司書補	【図書館】図書館司書は高齢者・障害者福祉担当部局職員と連携・意見交換しながら読書バリアフリー推進のための事業を実施し、地区社協職員は来館困難者と図書館の橋渡しを行っている。【図書館】図書館司書、司書補：生涯学習の企画・調整・実施。【発達障害支援センター】教員等：生涯学習プログラム運営
図書館司書、相談員(市障がい者福祉相談センター)	(図書館司書)障がい者サービスの受付やサービスの実施 (相談員)学習機会等の相談・紹介
相談支援専門員	個別のニーズに対して福祉サービス等を紹介・コーディネートを行う
障害福祉サービス事業所職員	サロン活動の実施
障害福祉サービス事業所職員	就労等の日中活動支援
社会福祉協議会職員	障がい者スポーツの広報・体験講座の開催等
1 NPO 法人職員 2 社会福祉法人職員 3 大学教授等	1 障がい者アートリンク事業の企画・運営 2 身体障害者福祉センター事業における講座等の企画・運営 3 知的障がい者青年教室の企画・運営についての助言等
委託事業 障害者訪問学級講師・スタッフ	障害者訪問学級の受講希望者(学級生)からのオーダーを受け、それに合致した講師役を決定、学びの場を実現する

(注)職種と果たしている機能・役割の両方の記載があったものから主なものを掲載した。

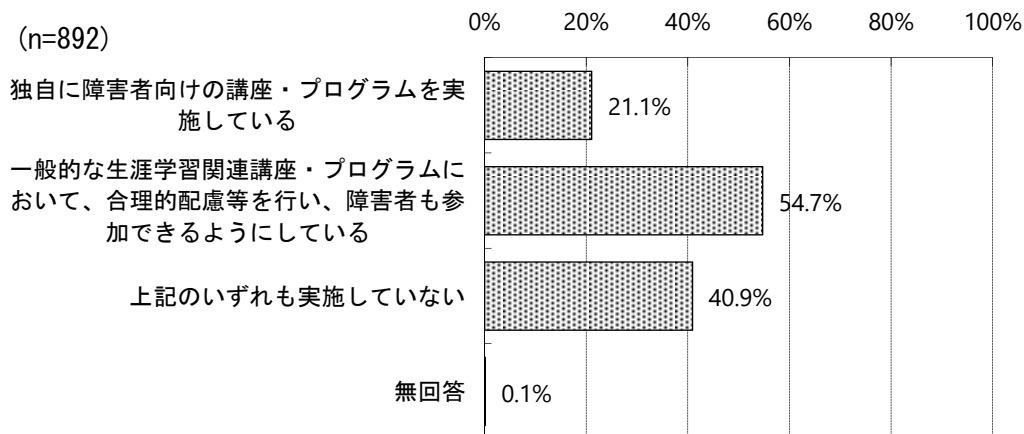
② 障害者の生涯学習活動に関する取組状況

1) 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況

a) 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況

「一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている」の割合が最も高く 54.7%となっている。次いで、「上記のいずれも実施していない（40.9%）」、「独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している（21.1%）」となっている。

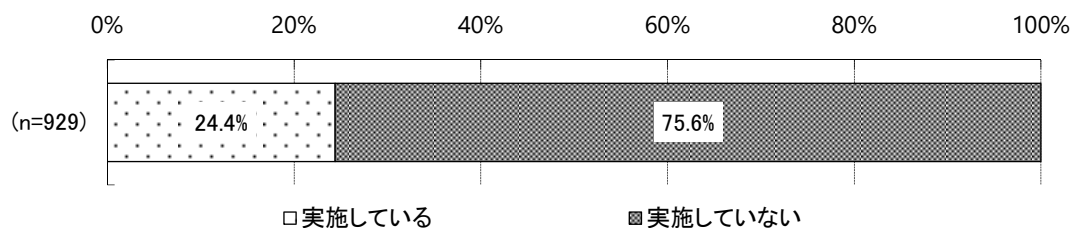
図表 2-122 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況（複数選択）



(注) 本調査では、「合理的配慮等」とは、「事前に障害者が参加することを想定し、情報保障やアクセシビリティ(年齢や障害の有無に関係なく、誰でも必要とする情報・活動に簡単にたどり着け、利用できること)等が配慮されていること」として、回答を求めた。

【参考】平成 29 年度調査結果_学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無【市区町村】

図表 2-123 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無【市区町村】



(出所) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.26 を基に作成

図表 2-124 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況（複数選択）
(自治体種別)

		合計	独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している	一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている	上記のいずれも実施していない	無回答
自治体種別	Total	892	188	488	365	1
		100.0%	21.1%	54.7%	40.9%	0.1%
	政令指定都市	14	10	14	0	0
		100.0%	71.4%	100.0%	0.0%	0.0%
	中核市	45	25	38	4	0
		100.0%	55.6%	84.4%	8.9%	0.0%
	特別区	14	14	13	0	0
		100.0%	100.0%	92.9%	0.0%	0.0%
	その他の市	405	113	254	126	0
		100.0%	27.9%	62.7%	31.1%	0.0%
町	341	22	143	189	1	
	100.0%	6.5%	41.9%	55.4%	0.3%	
村	73	4	26	46	0	
	100.0%	5.5%	35.6%	63.0%	0.0%	

b) いずれかもしくはいずれも実施していない理由

実施していない理由は以下のとおり。

図表 2-125 実施していない理由（自由記述式）

<p>■ いずれかを実施していない (n=376)</p> <p><独自に障害者向けの講座等の実施を選択しなかった場合></p> <p>(ニーズがない・把握していない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座や講演時の手話通訳を依頼したり、所管する文化施設内には、段差がある場合にスロープ等などで誰もが利用しやすい環境づくりを実施しているが、障害者向けの講座やプログラムは明確な要望を聞いておらず、実施していない (スポーツ課) ニーズが分からない。ノウハウがない。担い手がいない 詳細なニーズを把握できていないため、独自の講座・プログラムを実施をする段階に至っていない 障害種別は個人情報のため、担当課において障害種別の把握が困難 <p>(体制上の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者のみを対象とした講座等は障害者ニーズの把握や指導者の確保など実施が難しいため 専門知識を有する職員がいないため 実施するための必要な知識・スキルを習得している人材、予算が不足している 障害者向けの講座となると、講座に参加する方々をその場で支援する行政職員や事業所職員等の人数が足りないため、実施していない <p>(障害の有無によらず学習機会を提供する方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害の有無に関わらず、市民の誰もが利用できる学習機会の提供を目的とした事業であるため ダイバーシティ推進を目的とする事業のため障害の有無に関わらず参加してもらいたい 基本的に、生涯学習講座において健常者と障害者の区別はつけておらず、いつでもだれでも学べる仕組みとなっ

ている。障害がある方が参加する場合は、その都度聞き取りをしながら、受講者に寄り添いながら講座の開催ができるように努めているから

(その他)

- ・ 自治体の規模が小さく、障害者向け専用講座では十分な参加者数が集まらないため
- ・ 障害者限定となると参加者が集まらず、事業が成り立たない可能性があるため
- ・ 市内の公民館等の社会教育施設で、各コミュニティ団体が指定管理者制度によりその施設の管理運営を行っている状況。実施する社会教育事業についても、当該地域向けの内容となっており、地域内の障害者を対象としても対象者が少なく事業として成り立たない
- ・ 現時点では要望が無い。また、事業を実施した際に新たな問題も出てくると思われるため（例：障害者であることを知られたくない、参加者が一名のみとなった時に孤独感が増す、等の生きづらさを感じてしまうのではないか？）

<合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにする取組の実施を選択しなかった場合>

- ・ 障害者の参加を制限しているわけではなく、個別に相談があれば対応している
- ・ 講座の参加者から要望がないため
- ・ 一般的な生涯学習関連講座・プログラムの参加に特段の制限はないが、障がい者参加実績はないのが現状。問い合わせや参加申込みがあれば、合理的配慮の提供を検討し、障がい者の生涯学習機会の確保を図る
- ・ 一般的な生涯学習は教育委員会が担当であり、特に実施していないため
- ・ 個別の事案による。例えば、大規模な講演会では手話通訳を確保して対応しているが、地区単位での講座等では行っていない
- ・ そのほかの庁内の所管部署で、そのような講座を実施しているか把握しておらず、合理的配慮の相談等を受けていないため不明

■ いずれも実施していない (n=365)

(ニーズがない・把握していない)

- ・ ニーズの把握ができていない（障がい者の参加を拒否しているわけではない。現在行っている講座等への参加希望があればできるだけの対応は行う）
- ・ これまでに事例はないが、参加希望があれば受入し、合理的配慮を検討し、だれもが参加できるプログラムを実施する
- ・ 独自の障害者向け講座等については、ニーズを把握していないことや予算が確保できないことから実施していない。一般的な生涯学習講座等については、個別の問い合わせがあった場合に対応している

(体制上の課題)

- ・ 必要性は感じるが、村全体としての役割分担や具体的な計画等が未定なため
- ・ 必要性は感じているが、人員不足及びノウハウ不足等のため実施できない
- ・ 独自の講座、プログラムが組めるほど専門知識もなく、事前に参加が想定した内容、対応が出来ているかと言われればそうとも言えないため
- ・ まずニーズ把握を行っていない。バリアフリー等のハード面では少しずつ対応してきているが、その他の配慮については人員、予算、専門性（点字・手話等）の面から小規模自治体には困難な面が多い

- ・ 障害者に向けた講座の実施については、障害種別・程度によって需要や範囲の内容も多岐にわたると考えられ、一般的な生涯学習講座の他に、それらのニーズの把握や対応を行うことのできる職員の確保、施設の設備や開催に係る予算の確保が難しい状況である
 - ・ 一部施設については、スロープや多目的トイレ、管内用車いすを設置しているが、古い施設については不十分
- (その他)**
- ・ 一般的な配慮はしているが、特別に障害者の方に対して行っていることはない
 - ・ 参加対象者については、障害者も健常者も区別なく受け入れることとしており、また会場については施設にスロープ等が整備されていることから、特別な配慮等は行っていない /等

(注1) n 数は、実施状況について、いずれかを実施していない、もしくは「いずれも実施していない」を回答した件数。

(注2) 1団体で複数の内容を記載している場合がある。

2) 自治体独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している場合 (n=188)

a) 講座・プログラム数

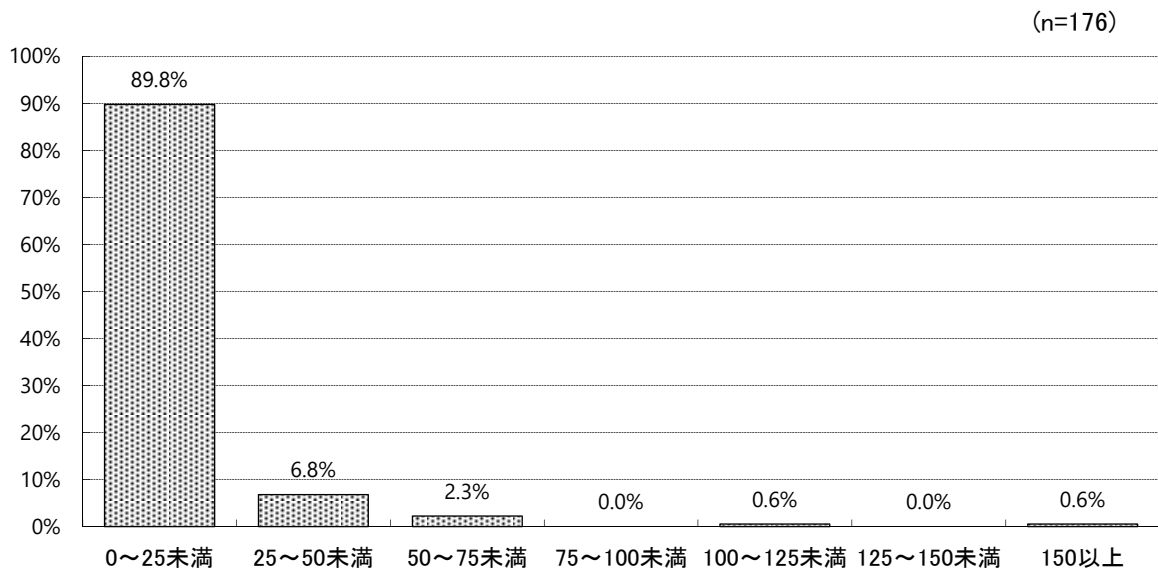
平均値 9.81、標準偏差 17.59、中央値 4.00 となっている。

図表 2-126 講座・プログラム数 (数値入力)

回答数 (n)	平均値	標準偏差	中央値
176	9.81	17.59	4.00

(注) 数値の回答があったものを集計の対象とした。

図表 2-127 講座・プログラム数の分布 (数値入力)



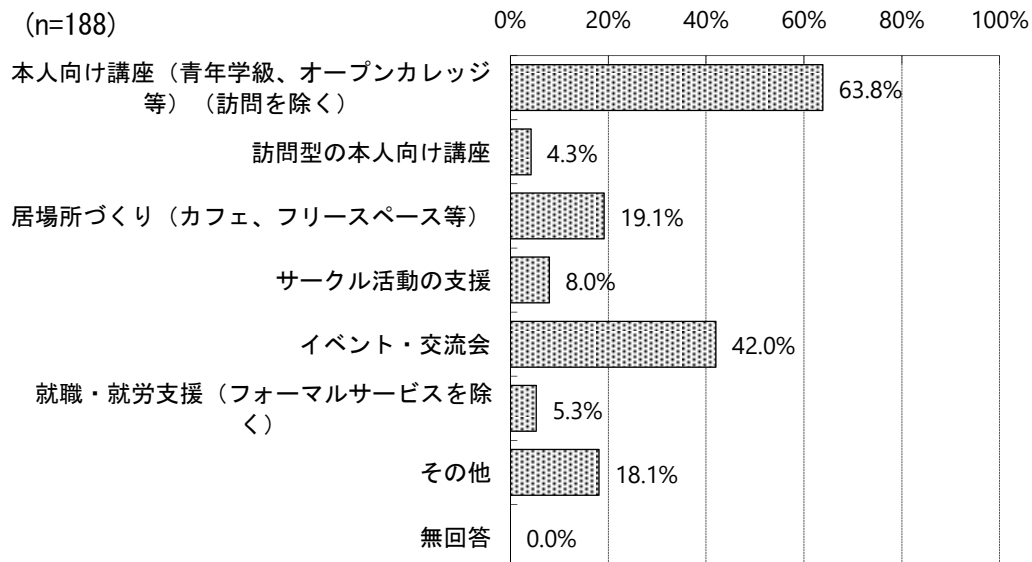
図表 2-128 講座・プログラム数（数値入力）（自治体種別）

	回答数 (n)	平均値	標準偏差	中央値
政令指定都市	10	18.40	24.49	7.00
中核市	22	23.68	33.40	11.00
特別区	14	23.64	25.85	18.00
その他の市	107	5.83	7.34	3.00
町	19	3.00	4.93	1.00
村	4	2.25	1.26	2.00

b) 講座・プログラムの種別

「本人向け講座（青年学級、オープンカレッジ等）（訪問を除く）」の割合が最も高く63.8%となっている。次いで、「イベント・交流会（42.0%）」、「居場所づくり（カフェ、フリースペース等）（19.1%）」となっている。

図表 2-129 講座・プログラムの種別（複数選択）



(注)「その他」として、「スポーツ教室」「パラアートの展示会」「社会見学」「障害者の芸術活動の発表の場」等の回答があった。

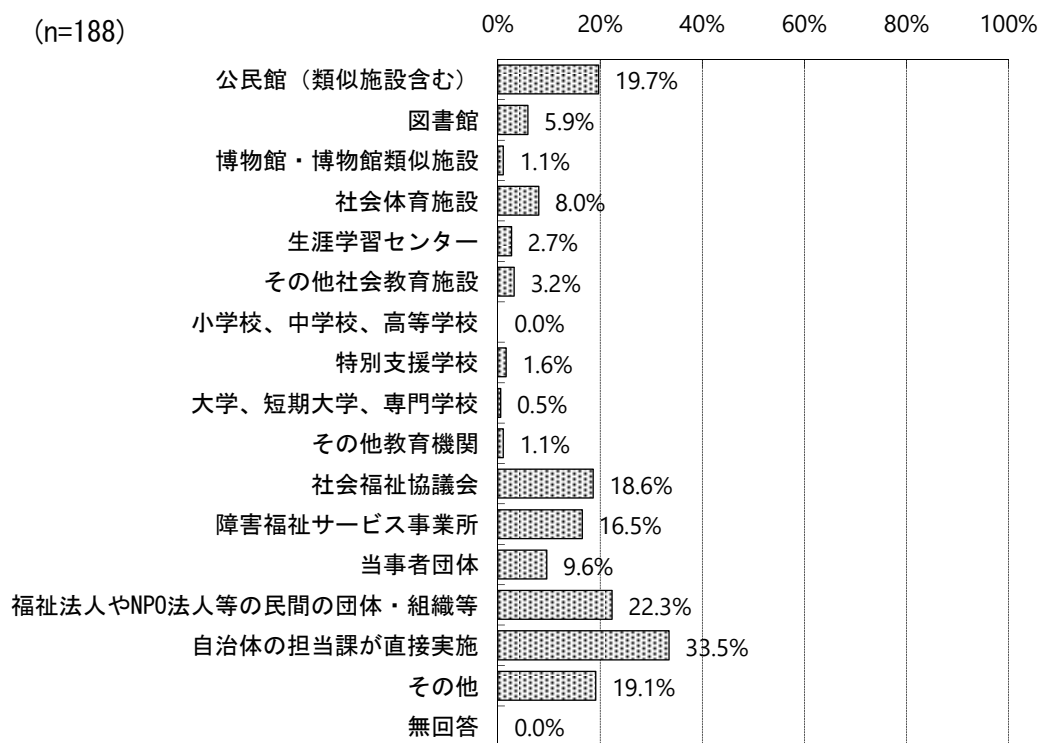
図表 2-130 講座・プログラムの種別（複数選択）（自治体種別）

		合計	本人向け講座 (青年学級、オープンカレッジ等) (訪問を除く)	訪問型の本人向け講座	居場所づくり (カフェ、フリースペース等)	サークル活動の支援	イベント・交流会	就職・就労支援 (フォーマルサービスを除く)	その他	無回答
自治体種別	Total	188	120	8	36	15	79	10	34	0
		100.0%	63.8%	4.3%	19.1%	8.0%	42.0%	5.3%	18.1%	0.0%
	政令指定都市	10	8	1	1	1	5	0	4	0
		100.0%	80.0%	10.0%	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	中核市	25	22	1	3	2	13	2	5	0
		100.0%	88.0%	4.0%	12.0%	8.0%	52.0%	8.0%	20.0%	0.0%
	特別区	14	13	1	5	1	7	1	2	0
		100.0%	92.9%	7.1%	35.7%	7.1%	50.0%	7.1%	14.3%	0.0%
その他の市	113	64	5	24	10	43	7	19	0	
	100.0%	56.6%	4.4%	21.2%	8.8%	38.1%	6.2%	16.8%	0.0%	
町	22	12	0	2	1	8	0	4	0	
	100.0%	54.5%	0.0%	9.1%	4.5%	36.4%	0.0%	18.2%	0.0%	
村	4	1	0	1	0	3	0	0	0	
	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

c) 講座・プログラムの実施主体

「自治体の担当課が直接実施」の割合が最も高く 33.5%となっている。次いで、「福祉法人や NPO 法人等の民間の団体・組織等（22.3%）」、「公民館（類似施設含む）（19.7%）」となっている。

図表 2-131 講座・プログラムの実施主体（複数選択）



(注)「その他」として、「指定管理者」「自立支援協議会」「障害者スポーツ協会」「外郭団体」「県委託事業として近隣市が輪番で実施」等の回答があった。

図表 2-132 講座・プログラムの実施主体（複数選択）（自治体種別）

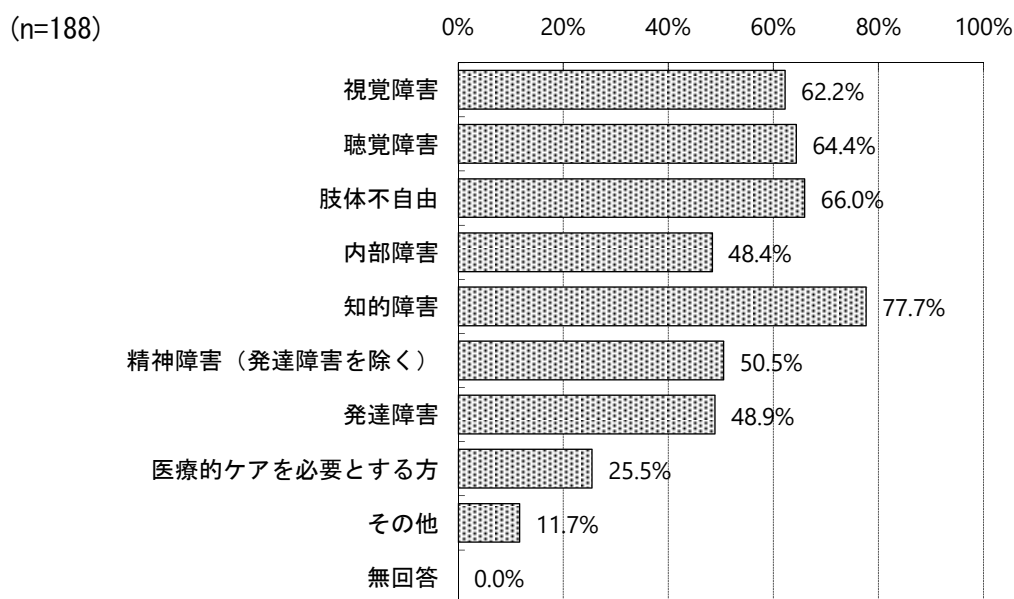
		合計	公民館（類似施設含む）	図書館	博物館・博物館類似施設	社会体育施設	生涯学習センター	その他社会教育施設	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校
自治体種別	Total	188	37	11	2	15	5	6	0	3
		100.0%	19.7%	5.9%	1.1%	8.0%	2.7%	3.2%	0.0%	1.6%
	政令指定都市	10	1	1	0	1	3	1	0	2
		100.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	20.0%
	中核市	25	4	3	1	1	0	0	0	0
		100.0%	16.0%	12.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特別区	14	2	1	1	4	0	2	0	0
	100.0%	14.3%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	
その他の市	113	26	6	0	8	2	2	0	1	
	100.0%	23.0%	5.3%	0.0%	7.1%	1.8%	1.8%	0.0%	0.9%	
町	22	4	0	0	1	0	1	0	0	
	100.0%	18.2%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	
村	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

		合計	大学、短期大学、専門学校	その他教育機関	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	当事者団体	福祉法人やNPO法人等の民間の団体・組織等	自治体の担当が直接実施	その他	無回答
自治体種別	Total	188	1	2	35	31	18	42	63	36	0
		100.0%	0.5%	1.1%	18.6%	16.5%	9.6%	22.3%	33.5%	19.1%	0.0%
	政令指定都市	10	1	0	0	0	0	1	4	1	3
		100.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	10.0%	30.0%
	中核市	25	0	0	7	4	4	5	6	9	0
		100.0%	0.0%	0.0%	28.0%	16.0%	16.0%	20.0%	24.0%	36.0%	0.0%
	特別区	14	0	0	1	3	0	6	8	3	0
	100.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	0.0%	42.9%	57.1%	21.4%	0.0%	
その他の市	113	0	2	21	21	11	24	40	17	0	
	100.0%	0.0%	1.8%	18.6%	18.6%	9.7%	21.2%	35.4%	15.0%	0.0%	
町	22	0	0	4	3	2	2	8	3	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	18.2%	13.6%	9.1%	9.1%	36.4%	13.6%	0.0%	
村	4	0	0	2	0	0	1	1	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	

d) 取組の対象としている主な障害種別

「知的障害」の割合が最も高く77.7%となっている。次いで、「肢体不自由（66.0%）」、「聴覚障害（64.4%）」となっている。

図表 2-133 取組の対象としている主な障害種別（複数選択）



(注)「その他」として、「特定の障害によらない」「難病」「言語機能障害」等の回答があった。

図表 2-134 取組の対象としている主な障害種別（複数選択）（自治体種別）

		合計	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害
自治体種別	Total	188	117	121	124	91	146
		100.0%	62.2%	64.4%	66.0%	48.4%	77.7%
	政令指定都市	10	6	6	5	3	8
		100.0%	60.0%	60.0%	50.0%	30.0%	80.0%
	中核市	25	21	21	20	17	21
		100.0%	84.0%	84.0%	80.0%	68.0%	84.0%
	特別区	14	10	10	11	9	13
		100.0%	71.4%	71.4%	78.6%	64.3%	92.9%
その他の市	113	72	73	75	57	89	
	100.0%	63.7%	64.6%	66.4%	50.4%	78.8%	
町	22	5	9	9	2	12	
	100.0%	22.7%	40.9%	40.9%	9.1%	54.5%	
村	4	3	2	4	3	3	
	100.0%	75.0%	50.0%	100.0%	75.0%	75.0%	

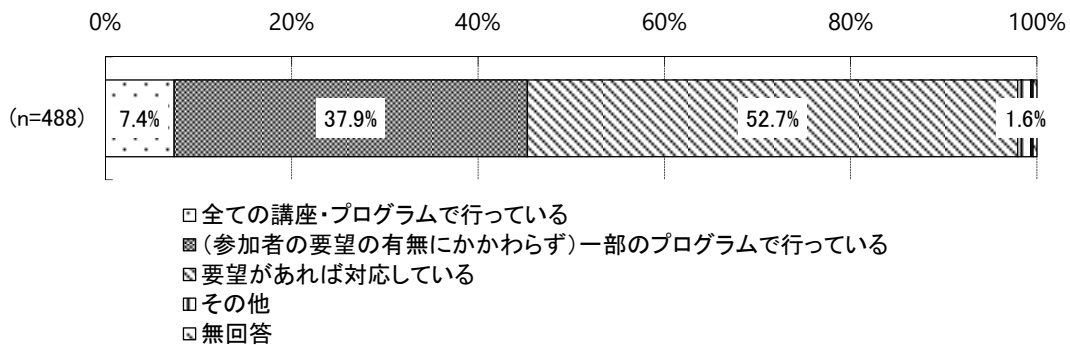
		合計	精神障害 (発達障害を除く)	発達障害	医療的ケアを必要とする方	その他	無回答
自治体種別	Total	188	95	92	48	22	0
		100.0%	50.5%	48.9%	25.5%	11.7%	0.0%
	政令指定都市	10	4	5	3	2	0
		100.0%	40.0%	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%
	中核市	25	13	16	8	2	0
		100.0%	52.0%	64.0%	32.0%	8.0%	0.0%
	特別区	14	9	9	7	1	0
		100.0%	64.3%	64.3%	50.0%	7.1%	0.0%
その他の市	113	60	58	26	16	0	
	100.0%	53.1%	51.3%	23.0%	14.2%	0.0%	
町	22	6	3	2	1	0	
	100.0%	27.3%	13.6%	9.1%	4.5%	0.0%	
村	4	3	1	2	0	0	
	100.0%	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

3) 一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている場合 (n=488)

a) 合理的配慮等を行う講座・プログラム等の実施状況

「要望があれば対応している」の割合が最も高く 52.7%となっている。次いで、「（参加者の要望の有無にかかわらず）一部のプログラムで行っている（37.9%）」、「全ての講座・プログラムで行っている（7.4%）」となっている。

図表 2-135 合理的配慮等を行う講座・プログラム等の実施状況（単数選択）



(注)「その他」として、「施設等によって実施状況が異なっている(全ての講座・プログラムで行っている施設もあれば、要望に応じて実施している施設もある)」「対面講座では「要望があれば対応している」が、動画配信での事業実施の場合は不特定多数の方が閲覧することを想定し、希望の有無問わず、公開用の動画には手話通訳をつけている。(※限定公開の場合は希望があったときのみ対応)」等の回答があった。

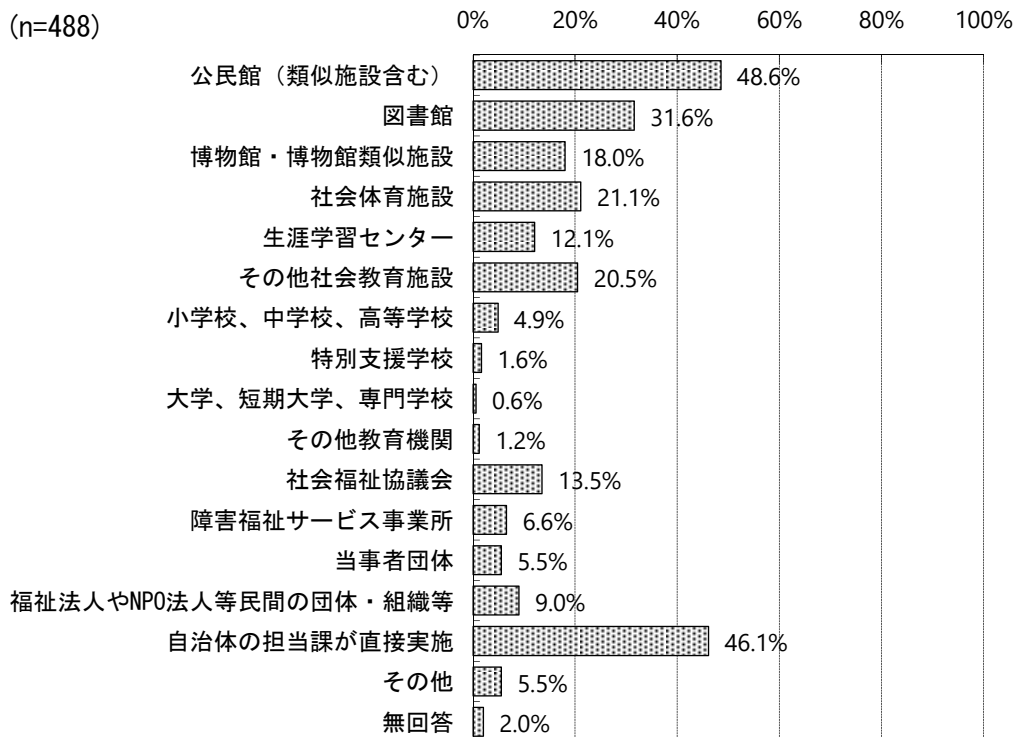
図表 2-136 合理的配慮等を行う講座・プログラム等の実施状況（単数選択）（自治体種別）

		合計	全ての講座・プログラムで行っている	(参加者の要望の有無にかかわらず)一部のプログラムで行っている	要望があれば対応している	その他	無回答
自治体種別	Total	488	36	185	257	8	2
		100.0%	7.4%	37.9%	52.7%	1.6%	0.4%
	政令指定都市	14	1	5	6	2	0
		100.0%	7.1%	35.7%	42.9%	14.3%	0.0%
	中核市	38	4	16	17	1	0
		100.0%	10.5%	42.1%	44.7%	2.6%	0.0%
	特別区	13	1	5	5	2	0
		100.0%	7.7%	38.5%	38.5%	15.4%	0.0%
その他の市	254	16	115	120	1	2	
	100.0%	6.3%	45.3%	47.2%	0.4%	0.8%	
町	143	10	39	92	2	0	
	100.0%	7.0%	27.3%	64.3%	1.4%	0.0%	
村	26	4	5	17	0	0	
	100.0%	15.4%	19.2%	65.4%	0.0%	0.0%	

b) 講座・プログラムの実施主体

「公民館（類似施設含む）」の割合が最も高く 48.6%となっている。次いで、「自治体の担当課が直接実施（46.1%）」、「図書館（31.6%）」となっている。

図表 2-137 講座・プログラムの実施主体（複数選択）



(注)「その他」として、「実行委員会」「地域スポーツクラブ」等の回答があった。

図表 2-138 講座・プログラムの実施主体（複数選択）（自治体種別）

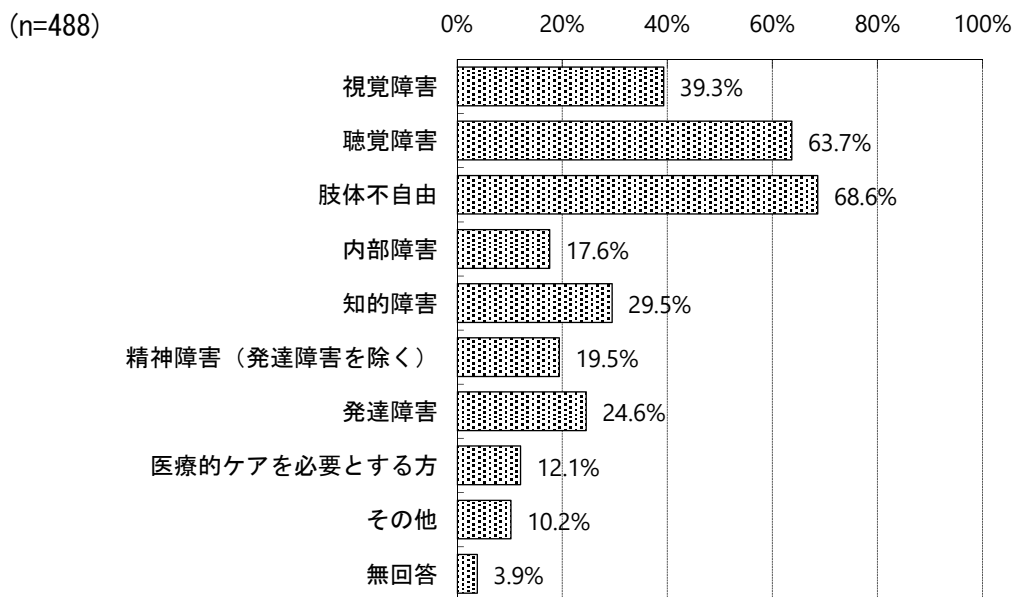
		合計	公民館（類似施設含む）	図書館	博物館・博物館類似施設	社会体育施設	生涯学習センター	その他社会教育施設	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校
自治体種別	Total	488	237	154	88	103	59	100	24	8
		100.0%	48.6%	31.6%	18.0%	21.1%	12.1%	20.5%	4.9%	1.6%
	政令指定都市	14	6	6	5	2	4	4	0	0
		100.0%	42.9%	42.9%	35.7%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%
	中核市	38	17	14	13	2	10	9	0	0
		100.0%	44.7%	36.8%	34.2%	5.3%	26.3%	23.7%	0.0%	0.0%
	特別区	13	2	2	0	4	3	6	0	0
		100.0%	15.4%	15.4%	0.0%	30.8%	23.1%	46.2%	0.0%	0.0%
その他の市	254	118	85	52	50	31	55	10	6	
	100.0%	46.5%	33.5%	20.5%	19.7%	12.2%	21.7%	3.9%	2.4%	
町	143	76	43	17	38	11	23	14	1	
	100.0%	53.1%	30.1%	11.9%	26.6%	7.7%	16.1%	9.8%	0.7%	
村	26	18	4	1	7	0	3	0	1	
	100.0%	69.2%	15.4%	3.8%	26.9%	0.0%	11.5%	0.0%	3.8%	

		合計	大学、短期大学、専門学校	その他教育機関	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	当事者団体	福祉法人やNPO法人等民間の団体・組織等	自治体の担当が直接実施	その他	無回答
自治体種別	Total	488	3	6	66	32	27	44	225	27	10
		100.0%	0.6%	1.2%	13.5%	6.6%	5.5%	9.0%	46.1%	5.5%	2.0%
	政令指定都市	14	0	0	1	0	0	3	3	3	0
		100.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%
	中核市	38	0	1	1	1	1	3	18	7	1
		100.0%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	7.9%	47.4%	18.4%	2.6%
	特別区	13	0	0	0	2	1	3	8	3	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	23.1%	61.5%	23.1%	0.0%
その他の市	254	2	5	34	19	16	27	130	12	5	
	100.0%	0.8%	2.0%	13.4%	7.5%	6.3%	10.6%	51.2%	4.7%	2.0%	
町	143	1	0	26	9	9	6	60	2	4	
	100.0%	0.7%	0.0%	18.2%	6.3%	6.3%	4.2%	42.0%	1.4%	2.8%	
村	26	0	0	4	1	0	2	6	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	15.4%	3.8%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	

c) 配慮している障害種別

「肢体不自由」の割合が最も高く68.6%となっている。次いで、「聴覚障害（63.7%）」、「視覚障害（39.3%）」となっている。

図表 2-139 配慮している障害種別（複数選択）



(注)「その他」として、「障害の有無によらない」「プログラムによる」「相談があれば個別に対応」「難病」等の回答があった。

図表 2-140 配慮している障害種別（複数選択）（自治体種別）

		合計	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害
自治体種別	Total	488	192	311	335	86	144
		100.0%	39.3%	63.7%	68.6%	17.6%	29.5%
	政令指定都市	14	7	11	7	3	4
		100.0%	50.0%	78.6%	50.0%	21.4%	28.6%
	中核市	38	24	34	29	10	14
		100.0%	63.2%	89.5%	76.3%	26.3%	36.8%
	特別区	13	10	12	11	8	12
		100.0%	76.9%	92.3%	84.6%	61.5%	92.3%
その他の市	254	114	184	167	48	78	
	100.0%	44.9%	72.4%	65.7%	18.9%	30.7%	
町	143	29	60	101	13	28	
	100.0%	20.3%	42.0%	70.6%	9.1%	19.6%	
村	26	8	10	20	4	8	
	100.0%	30.8%	38.5%	76.9%	15.4%	30.8%	

		合計	精神障害 (発達障害を除く)	発達障害	医療的ケア を必要とする方	その他	無回答
自治体種別	Total	488	95	120	59	50	19
		100.0%	19.5%	24.6%	12.1%	10.2%	3.9%
	政令指定都市	14	3	3	2	6	0
		100.0%	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%	0.0%
	中核市	38	9	13	7	3	0
		100.0%	23.7%	34.2%	18.4%	7.9%	0.0%
	特別区	13	8	9	7	1	0
		100.0%	61.5%	69.2%	53.8%	7.7%	0.0%
その他の市	254	49	57	28	24	11	
	100.0%	19.3%	22.4%	11.0%	9.4%	4.3%	
町	143	18	31	12	14	8	
	100.0%	12.6%	21.7%	8.4%	9.8%	5.6%	
村	26	8	7	3	2	0	
	100.0%	30.8%	26.9%	11.5%	7.7%	0.0%	

d) 行なっている主な合理的配慮等の内容・工夫

行なっている主な合理的配慮等の内容・工夫は以下のとおり。

図表 2-141 行っている主な合理的配慮等の内容・工夫（自由記述式）

■ 障害種別に応じた対応
<p><視覚障害></p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者のためにパンフレットに音声コードを付けた 手話講座において視覚障がい者への説明等、通訳者が常時対応している 図書館資料において点字・録音・大活字本・電子書籍(電子図書館)を所蔵。館内に対面朗読室、拡大読書器を常備 HPの内容(表示・文章)を音声読み上げアプリ等でも対応できるように注意している 大人向けの朗読会を実施し、視覚障害がある方も耳からの読書を楽しめるようにしている <p><聴覚障害></p> <ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害者向けに、手話通訳者及び要約筆記者の派遣を行っている 手話通訳や要約筆記のための予算計上を行っている (図書館)カウンターに筆談ボードを常備 一般公開でのオンラインセミナー(動画配信)を実施する際に、希望の有無を問わず、手話通訳者が映り込むように動画撮影を行い、当該動画を配信している

<肢体不自由・内部障害>

- ・ 施設・設備：施設入り口に近い場所に身体障害者用駐車場を設置している。施設内の通路の色分けや、自由に使える車椅子を設置し、移動しやすいようにしている。肢体不自由の方に対する入口付近のスロープの活用や、階段使用時の職員による補助を行っている
- ・ 車いす利用者の移動を踏まえた座席の配置、動線の確保
- ・ 一部の社会体育施設にオストメイトの設置
- ・ コンサート等で、車いすや医療的ケアを必要とされる方の座席の確保
- ・ 肢体不自由者に配慮し、各施設設置の車椅子の利用をサポートしている
- ・ 社会福祉協議会と連携して車いすの貸し出しを行う

<知的障害・発達障害>

- ・ ハンディキャップスイムデー実施時に、知的障害者専用レーンを設定
- ・ スポーツ大会において知的障がい等の特性により、パニックに陥った際にクールダウンできる部屋を確保した
- ・ 御朱印帳づくり講座において、発達障害の子どもも取り組めるよう職員の人員体制を充実させている
- ・ 発達障害の方には、総ルビのテキストを用意する（発達障害）
- ・ 知的・精神障害の方のための親子室等、個室の準備など要望に応じた対応

■ 特定の障害種別によらない対応

- ・ 市民大学において、点訳した募集パンフレットを用意して参加の機会を設けるとともに、希望に応じて手話通訳や点字資料を提供するなどの学習環境の整備に努めている
- ・ 障害者も参加できるプラネタリウム投影にて、視覚障害者・聴覚障害者に対応するため、字幕・ヒアリンググループ・ナレーション手話を実施
- ・ 博物館：音声・字幕入りの展示解説動画を YouTube で公開し、展示解説会の代替としている。聴覚障がい者団体や特別支援学校からの要望に応じ、出前講座や展示案内を実施している
- ・ 図書館では、障害者支援施設の入所者が定期的に来館する。来館時には、読みたい本と出会えるまで図書館員が要望を聞きながら本を探す手伝い（レファレンスサービス）を実施している。また、視覚障害の利用者から要望があれば、朗読も行う。図書館では、特別支援学校からの依頼で、高校生のインターンシップも受け入れ、ひとりひとりの発達の障害に応じた対応で体験をサポートしている
- ・ 美術館のタッチアートコーナーにおいて、触れることのできる作品を展示している
- ・ 来館困難者へのボランティアによる資料の宅配
- ・ 一部のパラスポーツ教室や体験会について、障がい者が優先的に申込み予約できるようにしている
- ・ 講座等の運営：配慮を要する人への対応を行えるよう複数人で対応している。参加者に配慮した会場の選定を行っている。また、館内の移動が難しい障害者向けの導線を確保している
- ・ 映画会においてバリアフリー対応の（音声ガイド、字幕付き）作品を上映している
- ・ 野外散策等で足の調子が悪い参加者がいる場合に備え、対応職員の数を多く調整する場合がある
- ・ 個々のご希望を確認しての対応。各課が講座・プログラム等を実施する場合は、参加者に配慮した会場のレイアウトにしたり、意思疎通手段の確保を行う等、参加者に応じた合理的配慮等を行うよう周知・啓発している
- ・ 公民館の講座において、参加者に配慮した座席の位置を、参加者や介助者と相談しながら決めている / 等

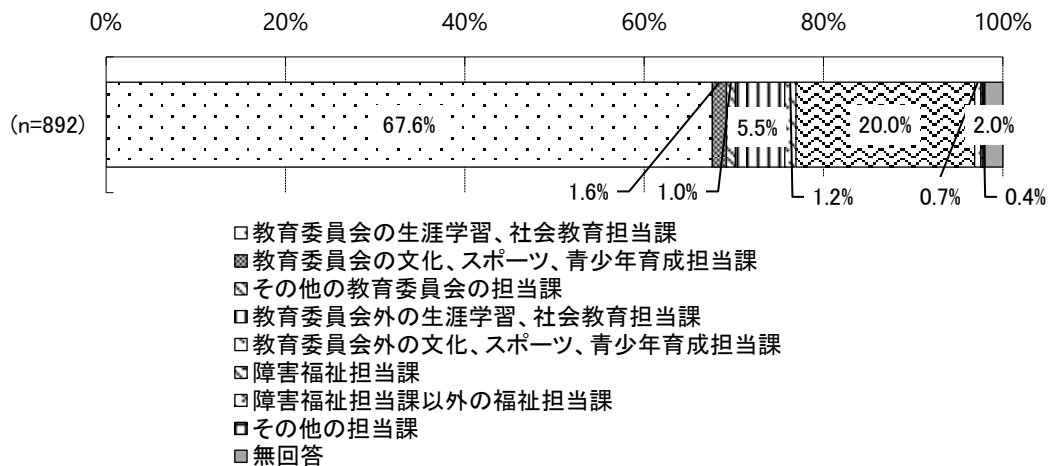
③ 障害者の生涯学習活動に関する把握・情報提供の状況

③障害者の生涯学習活動に関する把握・情報提供の状況については、障害者の生涯学習担当課もしくは回答可能な担当課から代表1か所の所管課に回答を求めた。

1) 回答部署

「教育委員会の生涯学習、社会教育担当課」の割合が最も高く 67.6%となっている。次いで、「障害福祉担当課 (20.0%)」、「教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 (5.5%)」となっている。

図表 2-142 回答部署 (単数選択)



図表 2-143 回答部署 (単数選択) (自治体種別)

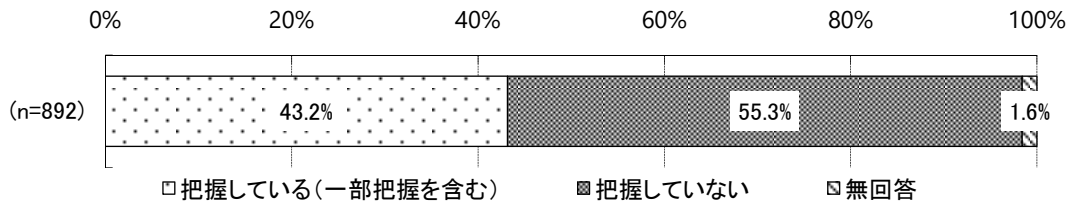
		合計	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	その他の教育委員会の担当課	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	障害福祉担当課	障害福祉担当課以外の福祉担当課	その他の担当課	無回答
自治体種別	Total	892	603 (67.6%)	14 (1.6%)	9 (1.0%)	49 (5.5%)	11 (1.2%)	178 (20.0%)	6 (0.7%)	4 (0.4%)	18 (2.0%)
	政令指定都市	14	8 (57.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	中核市	45	22 (48.9%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	4 (8.9%)	2 (4.4%)	13 (28.9%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	2 (4.4%)
	特別区	14	3 (21.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)
	その他の市	405	251 (62.0%)	11 (2.7%)	2 (0.5%)	33 (8.1%)	6 (1.5%)	91 (22.5%)	1 (0.2%)	2 (0.5%)	8 (2.0%)
	町	341	260 (76.2%)	3 (0.9%)	4 (1.2%)	4 (1.2%)	1 (0.3%)	59 (17.3%)	4 (1.2%)	0 (0.0%)	6 (1.8%)
	村	73	59 (80.8%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (13.7%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)

2) 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握状況

a) 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無

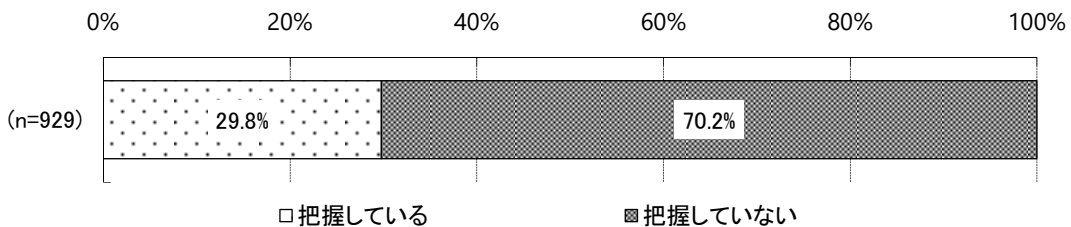
「把握していない」の割合が最も高く 55.3%となっている。次いで、「把握している（一部把握を含む）（43.2%）」となっている。

図表 2-144 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無（単数選択）



【参考】平成 29 年度調査結果_障害者の生涯学習活動に関する取組の状況の把握【市区町村】

図表 2-145 障害者の生涯学習活動に関する取組の状況の把握【市区町村】



(出所)独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.22 を基に作成

図表 2-146 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無（単数選択）（自治体種別）

		合計	把握している (一部把握を含む)	把握していない	無回答
自治体種別	Total	892	385	493	14
		100.0%	43.2%	55.3%	1.6%
	政令指定都市	14	8	6	0
		100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
	中核市	45	25	20	0
		100.0%	55.6%	44.4%	0.0%
	特別区	14	10	3	1
		100.0%	71.4%	21.4%	7.1%
その他の市	405	180	217	8	
	100.0%	44.4%	53.6%	2.0%	
町	341	131	206	4	
	100.0%	38.4%	60.4%	1.2%	
村	73	31	41	1	
	100.0%	42.5%	56.2%	1.4%	

図表 2-147 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無（単数選択）（連携状況別）

		合計	把握している（一部把握を含む）	把握していない	無回答
連携状況別	Total	892	385	493	14
		100.0%	43.2%	55.3%	1.6%
	(庁内外)	143	101	38	4
	連携あり	100.0%	70.6%	26.6%	2.8%
	(庁内のみ)	162	86	72	4
	連携あり	100.0%	53.1%	44.4%	2.5%
	(庁外のみ)	86	54	32	0
	連携あり	100.0%	62.8%	37.2%	0.0%
連携なし	396	117	274	5	
	100.0%	29.5%	69.2%	1.3%	
把握していない	104	27	76	1	
	100.0%	26.0%	73.1%	1.0%	

図表 2-148 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無（単数選択）（回答部署別）

		合計	把握している（一部把握を含む）	把握していない	無回答
回答部署	Total	892	385	493	14
		100.0%	43.2%	55.3%	1.6%
	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	603	221	375	7
		100.0%	36.7%	62.2%	1.2%
	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	14	4	9	1
		100.0%	28.6%	64.3%	7.1%
	その他の教育委員会の担当課	9	3	6	0
		100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	49	21	28	0
		100.0%	42.9%	57.1%	0.0%
	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	11	8	3	0
		100.0%	72.7%	27.3%	0.0%
障害福祉担当課	178	120	56	2	
	100.0%	67.4%	31.5%	1.1%	
障害福祉担当課以外の福祉担当課	6	4	2	0	
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	
その他の担当課	4	0	4	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

b)（把握していない場合）その理由

域内の障害者の生涯学習活動に関する取組を把握していない理由は以下のとおり。

図表 2-149 把握していない理由（自由記述式）（n=493）

<p><ニーズがない・把握していない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズがない。申し出がない ・ ニーズの把握や情報収集のノウハウがない ・ ニーズを把握する具体的な方法がわからないため。関係する場所（団体や施設）などとのネットワークが確立しておらず、情報がつかみづらい ・ 特別に調査を行っていない。申し出等も無い <p><障害者に特化した情報収集をしていない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「障害者」の 카테고리を設け情報収集を行っていない ・ 「障害者」に限定した取組は把握していない ・ 健常者、障害者と特段分けた講座を実施していない

<活動がない・把握していない>

- ・ 活動をしている団体がない
- ・ 公的に事業として実施しているものはないが、任意団体等で実施されている場合の把握はできていない
- ・ 障害者の生涯学習活動に関する取組実績がないため
- ・ 調査をしたことがない

<体制上の課題>

- ・ 主担当課が決まっていないため
- ・ 主担当課への報告、連絡のシステムがないため
- ・ 情報が入ってきておらず、どこに照会すれば良いかわからないため

<関係機関との連携における課題>

- ・ 関係機関・団体との連携や意見交換等の機会がないため
- ・ 関係各課と連携していないことや担当課で障がい者の生涯学習に関する事業を行っていないため

<小規模自治体>

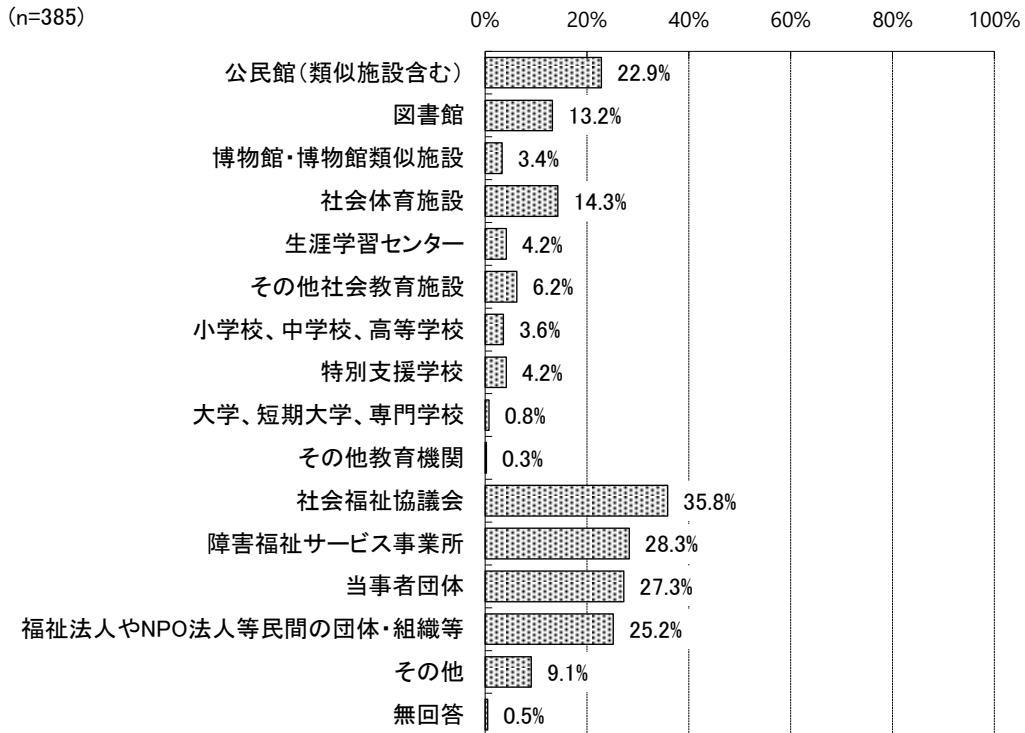
- ・ 小規模の町村であり、広範囲の取組の把握はなかなか難しいと感じる
- ・ 小規模自治体のため、ニーズが少なく、障害者施設に任せている
- ・ 人口が少ない為、障がい者として別くりでの対応は都度行っていない。参加者に障害のある方がいる場合には都度対応している / 等

(注)nは、域内の障害者の生涯学習活動に関する取組の把握の有無について、「把握していない」を回答した件数。

3) 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体

「社会福祉協議会」の割合が最も高く 35.8%となっている。次いで、「障害福祉サービス事業所 (28.3%)」、「当事者団体 (27.3%)」となっている。

図表 2-150 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体 (複数選択)



(注)「その他」として、「自立支援協議会」「障害福祉担当課」等の回答があった。

図表 2-151 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体（複数選択）（自治体種別）

		合計	公民館（類似施設含む）	図書館	博物館・博物館類似施設	社会体育施設	生涯学習センター	その他社会教育施設	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校
自治体種別	Total	385	88	51	13	55	16	24	14	16
		100.0%	22.9%	13.2%	3.4%	14.3%	4.2%	6.2%	3.6%	4.2%
	政令指定都市	8	2	0	0	1	3	0	0	0
		100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	中核市	25	6	4	1	7	2	5	1	3
		100.0%	24.0%	16.0%	4.0%	28.0%	8.0%	20.0%	4.0%	12.0%
	特別区	10	1	1	1	2	0	1	0	0
		100.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
その他の市	180	40	30	5	27	7	11	2	6	
	100.0%	22.2%	16.7%	2.8%	15.0%	3.9%	6.1%	1.1%	3.3%	
町	131	32	16	6	17	4	6	10	7	
	100.0%	24.4%	12.2%	4.6%	13.0%	3.1%	4.6%	7.6%	5.3%	
村	31	7	0	0	1	0	1	1	0	
	100.0%	22.6%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	

		合計	大学、短期大学、専門学校	その他教育機関	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	当事者団体	福祉法人やNPO法人等民間の団体・組織等	その他	無回答
自治体種別	Total	385	3	1	138	109	105	97	35	2
		100.0%	0.8%	0.3%	35.8%	28.3%	27.3%	25.2%	9.1%	0.5%
	政令指定都市	8	0	0	0	0	3	3	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%
	中核市	25	2	0	10	8	10	8	5	0
		100.0%	8.0%	0.0%	40.0%	32.0%	40.0%	32.0%	20.0%	0.0%
	特別区	10	0	0	1	3	3	4	1	1
		100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%
その他の市	180	1	1	56	52	54	47	17	0	
	100.0%	0.6%	0.6%	31.1%	28.9%	30.0%	26.1%	9.4%	0.0%	
町	131	0	0	56	35	31	31	8	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	42.7%	26.7%	23.7%	23.7%	6.1%	0.0%	
村	31	0	0	15	11	4	4	3	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	48.4%	35.5%	12.9%	12.9%	9.7%	3.2%	

図表 2-152 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体（複数選択）（回答部署別）

		合計	公民館（類似施設含む）	図書館	博物館・博物館類似施設	社会体育施設	生涯学習センター	その他社会教育施設	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校
回答部署	Total	385	88	51	13	55	16	24	14	16
		100.0%	22.9%	13.2%	3.4%	14.3%	4.2%	6.2%	3.6%	4.2%
	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	221	62	33	10	37	10	18	10	9
		100.0%	28.1%	14.9%	4.5%	16.7%	4.5%	8.1%	4.5%	4.1%
	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	4	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他の教育委員会の担当課	3	1	1	0	0	0	0	1	1
		100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%
	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	21	4	3	0	1	1	0	0	0
		100.0%	19.0%	14.3%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	8	4	2	0	5	1	1	1	0	
	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	
障害福祉担当課	120	15	10	3	11	4	5	1	5	
	100.0%	12.5%	8.3%	2.5%	9.2%	3.3%	4.2%	0.8%	4.2%	
障害福祉担当課以外の福祉担当課	4	1	0	0	1	0	0	1	1	
	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	

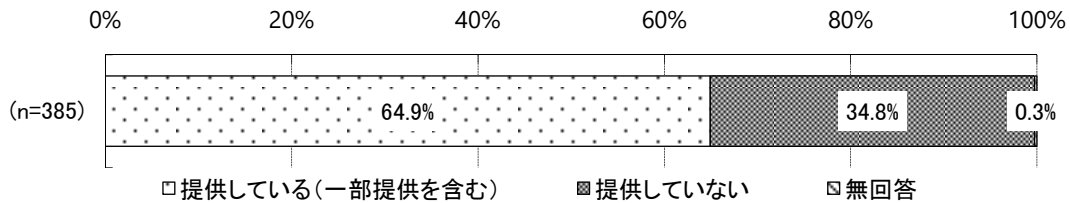
		合計	大学、短期大学、専門学校	その他教育機関	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	当事者団体	福祉法人やNPO法人等民間の団体・組織等	その他	無回答
回答部署	Total	385	3	1	138	109	105	97	35	2
		100.0%	0.8%	0.3%	35.8%	28.3%	27.3%	25.2%	9.1%	0.5%
	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	221	1	0	78	40	48	50	23	1
		100.0%	0.5%	0.0%	35.3%	18.1%	21.7%	22.6%	10.4%	0.5%
	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	4	0	0	0	0	1	2	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	その他の教育委員会の担当課	3	0	0	1	1	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	21	0	0	3	6	8	7	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	38.1%	33.3%	9.5%	0.0%
教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	8	0	0	2	1	1	1	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	
障害福祉担当課	120	1	1	51	60	46	33	8	1	
	100.0%	0.8%	0.8%	42.5%	50.0%	38.3%	27.5%	6.7%	0.8%	
障害福祉担当課以外の福祉担当課	4	1	0	1	1	0	2	0	0	
	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

4) 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況

a) 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無

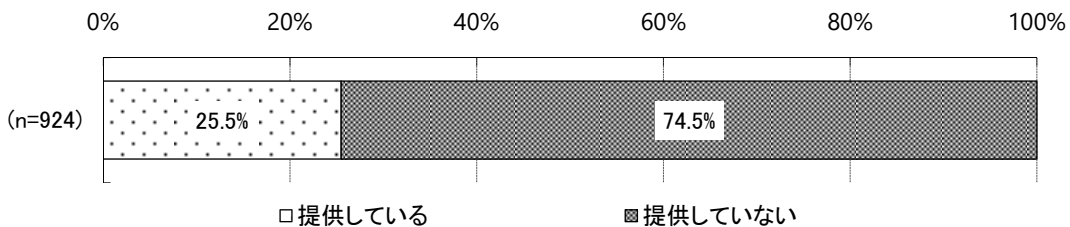
「提供している（一部提供を含む）」の割合が最も高く 64.9%となっている。次いで、「提供していない（34.8%）」となっている。

図表 2-153 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無（単数選択）



【参考】平成 29 年度調査結果_障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況【市区町村】

図表 2-154 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況【市区町村】



(出所)独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書(平成29年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」).P.23を基に作成

図表 2-155 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無（単数選択）（自治体種別）

		合計	提供している (一部提供を含む)	提供していない	無回答
自治体種別	Total	385	250	134	1
		100.0%	64.9%	34.8%	0.3%
	政令指定都市	8	8	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	中核市	25	22	2	1
		100.0%	88.0%	8.0%	4.0%
	特別区	10	10	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他の市	180	132	48	0	
	100.0%	73.3%	26.7%	0.0%	
町	131	70	61	0	
	100.0%	53.4%	46.6%	0.0%	
村	31	8	23	0	
	100.0%	25.8%	74.2%	0.0%	

図表 2-156 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無（単数選択）（連携状況別）

		合計	提供している（一部提供を含む）	提供していない	無回答
連携状況別	Total	385	250	134	1
		100.0%	64.9%	34.8%	0.3%
	(庁内外)	101	87	14	0
	連携あり	100.0%	86.1%	13.9%	0.0%
	(庁内のみ)	86	54	32	0
	連携あり	100.0%	62.8%	37.2%	0.0%
	(庁外のみ)	54	40	14	0
	連携あり	100.0%	74.1%	25.9%	0.0%
連携なし	117	55	62	0	
	100.0%	47.0%	53.0%	0.0%	
把握していない	27	14	12	1	
	100.0%	51.9%	44.4%	3.7%	

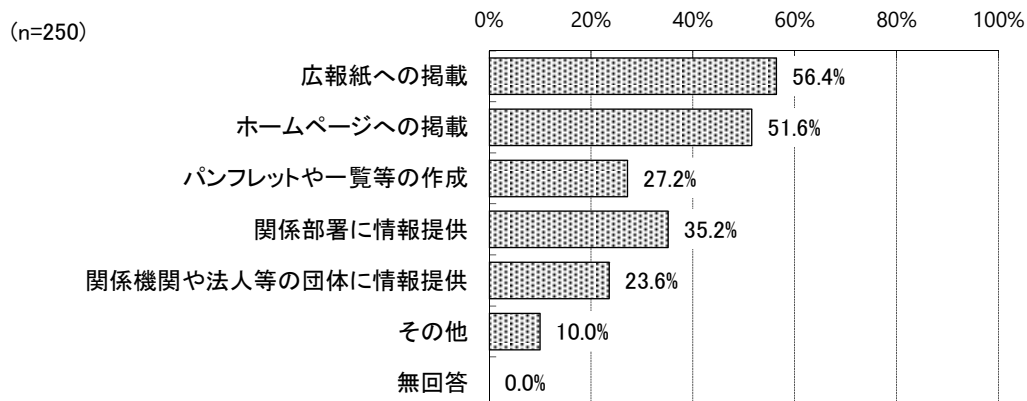
図表 2-157 障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無（単数選択）（回答部署別）

		合計	提供している（一部提供を含む）	提供していない	無回答
回答部署	Total	385	250	134	1
		100.0%	64.9%	34.8%	0.3%
	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	221	119	102	0
		100.0%	53.8%	46.2%	0.0%
	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	4	4	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	その他の教育委員会の担当課	3	3	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	21	16	5	0
		100.0%	76.2%	23.8%	0.0%
教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	8	7	1	0	
	100.0%	87.5%	12.5%	0.0%	
障害福祉担当課	120	97	22	1	
	100.0%	80.8%	18.3%	0.8%	
障害福祉担当課以外の福祉担当課	4	2	2	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

b) (情報提供している場合) 提供方法

「広報紙への掲載」の割合が最も高く56.4%となっている。次いで、「ホームページへの掲載（51.6%）」、「関係部署に情報提供（35.2%）」となっている。

図表 2-158 (情報提供している場合) 提供方法（複数選択）



(注)「その他」として、「チラシ等の配布」「SNSでの情報提供」等の回答があった。

図表 2-159 (情報提供している場合) 提供方法 (複数選択) (自治体種別)

		合計	広報紙への掲載	ホームページへの掲載	パンフレットや一覧等の作成	関係部署に情報提供	関係機関や法人等の団体に情報提供	その他	無回答
自治体種別	Total	250	141	129	68	88	59	25	0
		100.0%	56.4%	51.6%	27.2%	35.2%	23.6%	10.0%	0.0%
	政令指定都市	8	3	5	1	3	2	2	0
		100.0%	37.5%	62.5%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%
	中核市	22	13	17	6	8	2	3	0
		100.0%	59.1%	77.3%	27.3%	36.4%	9.1%	13.6%	0.0%
	特別区	10	8	8	7	4	2	1	0
		100.0%	80.0%	80.0%	70.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%
その他の市	132	78	75	41	42	39	6	0	
	100.0%	59.1%	56.8%	31.1%	31.8%	29.5%	4.5%	0.0%	
町	70	34	23	12	28	12	13	0	
	100.0%	48.6%	32.9%	17.1%	40.0%	17.1%	18.6%	0.0%	
村	8	5	1	1	3	2	0	0	
	100.0%	62.5%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	

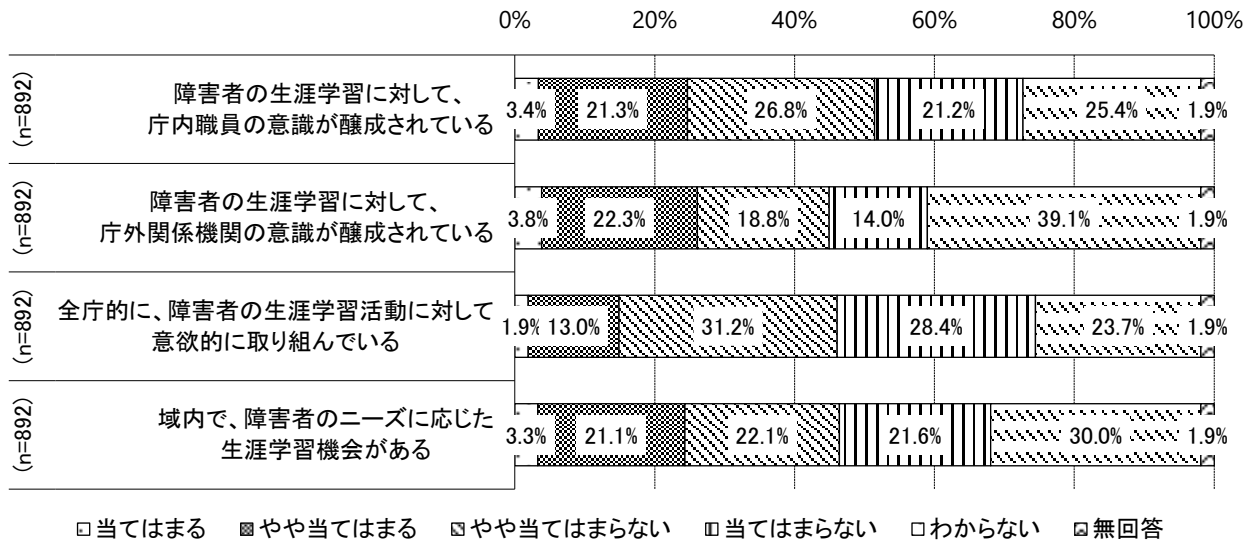
図表 2-160 (情報提供している場合) 提供方法 (複数選択) (回答部署別)

		合計	広報紙への掲載	ホームページへの掲載	パンフレットや一覧等の作成	関係部署に情報提供	関係機関や法人等の団体に情報提供	その他	無回答
回答部署	Total	250	141	129	68	88	59	25	0
		100.0%	56.4%	51.6%	27.2%	35.2%	23.6%	10.0%	0.0%
	教育委員会の生涯学習、社会教育担当課	119	69	62	28	45	23	12	0
		100.0%	58.0%	52.1%	23.5%	37.8%	19.3%	10.1%	0.0%
	教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課	4	2	2	1	0	0	1	0
		100.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	その他の教育委員会の担当課	3	3	3	0	2	0	0	0
		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課	16	12	12	6	5	2	2	0
		100.0%	75.0%	75.0%	37.5%	31.3%	12.5%	12.5%	0.0%
	教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課	7	5	5	4	3	2	0	0
		100.0%	71.4%	71.4%	57.1%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
障害福祉担当課	97	47	43	27	31	29	9	0	
	100.0%	48.5%	44.3%	27.8%	32.0%	29.9%	9.3%	0.0%	
障害福祉担当課以外の福祉担当課	2	1	0	0	0	1	0	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

5) 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「当てはまる」「やや当てはまる」に着目すると、「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」で2割超、「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」は、2割に満たない。

図表 2-161 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況（各項目単数選択）



図表 2-162 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」(単数選択) (自治体種別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
自治体種別	Total	892	30	190	239	189	227	17
		100.0%	3.4%	21.3%	26.8%	21.2%	25.4%	1.9%
	政令指定都市	14	2	3	3	2	4	0
		100.0%	14.3%	21.4%	21.4%	14.3%	28.6%	0.0%
	中核市	45	3	10	14	7	10	1
		100.0%	6.7%	22.2%	31.1%	15.6%	22.2%	2.2%
	特別区	14	2	6	1	1	3	1
		100.0%	14.3%	42.9%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%
その他の市	405	10	86	114	65	121	9	
	100.0%	2.5%	21.2%	28.1%	16.0%	29.9%	2.2%	
町	341	10	69	88	96	73	5	
	100.0%	2.9%	20.2%	25.8%	28.2%	21.4%	1.5%	
村	73	3	16	19	18	16	1	
	100.0%	4.1%	21.9%	26.0%	24.7%	21.9%	1.4%	

図表 2-163 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」(単数選択) (連携状況別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
連携状況別	Total	892	30	190	239	189	227	17
		100.0%	3.4%	21.3%	26.8%	21.2%	25.4%	1.9%
	(庁内外) 連携あり	143	12	52	31	16	27	5
		100.0%	8.4%	36.4%	21.7%	11.2%	18.9%	3.5%
	(庁内のみ) 連携あり	162	8	44	52	22	32	4
		100.0%	4.9%	27.2%	32.1%	13.6%	19.8%	2.5%
	(庁外のみ) 連携あり	86	2	25	21	12	25	1
		100.0%	2.3%	29.1%	24.4%	14.0%	29.1%	1.2%
連携なし	396	6	55	113	111	105	6	
	100.0%	1.5%	13.9%	28.5%	28.0%	26.5%	1.5%	
把握していない	104	2	14	22	27	38	1	
	100.0%	1.9%	13.5%	21.2%	26.0%	36.5%	1.0%	

図表 2-164 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」(単数選択) (回答部署別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
回答部署	Total	892	30	190	239	189	227	17
		100.0%	3.4%	21.3%	26.8%	21.2%	25.4%	1.9%
	教育委員会の生涯学習、社会 教育担当課	603	15	128	158	143	151	8
		100.0%	2.5%	21.2%	26.2%	23.7%	25.0%	1.3%
	教育委員会の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	14	0	4	2	4	3	1
		100.0%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	21.4%	7.1%
	その他の教育委員会の担当課	9	1	2	3	0	2	1
		100.0%	11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	22.2%	11.1%
	教育委員会外の生涯学習、社会 教育担当課	49	2	12	12	11	12	0
		100.0%	4.1%	24.5%	24.5%	22.4%	24.5%	0.0%
	教育委員会外の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	11	2	2	4	2	1	0
	100.0%	18.2%	18.2%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	
障害福祉担当課	178	9	39	52	24	51	3	
	100.0%	5.1%	21.9%	29.2%	13.5%	28.7%	1.7%	
障害福祉担当課以外の福祉担 当課	6	0	0	2	3	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	
その他の担当課	4	0	0	1	1	2	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	

図表 2-165 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」(単数選択) (自治体種別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
自治体種別	Total	892	34	199	168	125	349	17
		100.0%	3.8%	22.3%	18.8%	14.0%	39.1%	1.9%
	政令指定都市	14	1	6	2	1	4	0
		100.0%	7.1%	42.9%	14.3%	7.1%	28.6%	0.0%
	中核市	45	4	9	7	5	19	1
		100.0%	8.9%	20.0%	15.6%	11.1%	42.2%	2.2%
	特別区	14	1	7	0	1	4	1
		100.0%	7.1%	50.0%	0.0%	7.1%	28.6%	7.1%
その他の市	405	15	89	76	33	183	9	
	100.0%	3.7%	22.0%	18.8%	8.1%	45.2%	2.2%	
町	341	10	76	67	69	114	5	
	100.0%	2.9%	22.3%	19.6%	20.2%	33.4%	1.5%	
村	73	3	12	16	16	25	1	
	100.0%	4.1%	16.4%	21.9%	21.9%	34.2%	1.4%	

図表 2-166 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」(単数選択) (連携状況別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
連携状況別	Total	892	34	199	168	125	349	17
		100.0%	3.8%	22.3%	18.8%	14.0%	39.1%	1.9%
	(庁内外) 連携あり	143	10	57	22	8	41	5
		100.0%	7.0%	39.9%	15.4%	5.6%	28.7%	3.5%
	(庁内のみ) 連携あり	162	10	38	41	11	58	4
		100.0%	6.2%	23.5%	25.3%	6.8%	35.8%	2.5%
	(庁外のみ) 連携あり	86	6	32	11	5	31	1
		100.0%	7.0%	37.2%	12.8%	5.8%	36.0%	1.2%
連携なし	396	6	59	77	86	162	6	
	100.0%	1.5%	14.9%	19.4%	21.7%	40.9%	1.5%	
把握していない	104	2	13	17	14	57	1	
	100.0%	1.9%	12.5%	16.3%	13.5%	54.8%	1.0%	

図表 2-167 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」(単数選択) (回答部署別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
回答部署	Total	892	34	199	168	125	349	17
		100.0%	3.8%	22.3%	18.8%	14.0%	39.1%	1.9%
	教育委員会の生涯学習、社会 教育担当課	603	14	119	121	104	237	8
		100.0%	2.3%	19.7%	20.1%	17.2%	39.3%	1.3%
	教育委員会の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	14	0	6	1	0	6	1
		100.0%	0.0%	42.9%	7.1%	0.0%	42.9%	7.1%
	その他の教育委員会の担当課	9	1	2	2	0	3	1
		100.0%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%
	教育委員会外の生涯学習、社会 教育担当課	49	3	13	4	4	25	0
		100.0%	6.1%	26.5%	8.2%	8.2%	51.0%	0.0%
教育委員会外の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	11	2	3	3	0	3	0	
	100.0%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	27.3%	0.0%	
障害福祉担当課	178	13	53	31	14	64	3	
	100.0%	7.3%	29.8%	17.4%	7.9%	36.0%	1.7%	
障害福祉担当課以外の福祉担 当課	6	0	2	2	2	0	0	
	100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
その他の担当課	4	0	0	1	0	3	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	

図表 2-168 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」(単数選択) (自治体種別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
自治体種別	Total	892	17	116	278	253	211	17
		100.0%	1.9%	13.0%	31.2%	28.4%	23.7%	1.9%
	政令指定都市	14	1	4	3	2	4	0
		100.0%	7.1%	28.6%	21.4%	14.3%	28.6%	0.0%
	中核市	45	3	10	11	8	12	1
		100.0%	6.7%	22.2%	24.4%	17.8%	26.7%	2.2%
	特別区	14	0	4	4	3	2	1
		100.0%	0.0%	28.6%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%
その他の市	405	7	52	136	89	112	9	
	100.0%	1.7%	12.8%	33.6%	22.0%	27.7%	2.2%	
町	341	4	39	102	123	68	5	
	100.0%	1.2%	11.4%	29.9%	36.1%	19.9%	1.5%	
村	73	2	7	22	28	13	1	
	100.0%	2.7%	9.6%	30.1%	38.4%	17.8%	1.4%	

図表 2-169 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」(単数選択) (連携状況別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
連携状況別	Total	892	17	116	278	253	211	17
		100.0%	1.9%	13.0%	31.2%	28.4%	23.7%	1.9%
	(庁内外) 連携あり	143	8	34	45	21	30	5
		100.0%	5.6%	23.8%	31.5%	14.7%	21.0%	3.5%
	(庁内のみ) 連携あり	162	3	25	63	38	29	4
		100.0%	1.9%	15.4%	38.9%	23.5%	17.9%	2.5%
	(庁外のみ) 連携あり	86	2	14	33	19	17	1
		100.0%	2.3%	16.3%	38.4%	22.1%	19.8%	1.2%
連携なし	396	4	36	110	143	97	6	
	100.0%	1.0%	9.1%	27.8%	36.1%	24.5%	1.5%	
把握していない	104	0	7	27	31	38	1	
	100.0%	0.0%	6.7%	26.0%	29.8%	36.5%	1.0%	

図表 2-170 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」(単数選択) (回答部署別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
回答部署	Total	892	17	116	278	253	211	17
		100.0%	1.9%	13.0%	31.2%	28.4%	23.7%	1.9%
	教育委員会の生涯学習、社会 教育担当課	603	7	76	185	187	140	8
		100.0%	1.2%	12.6%	30.7%	31.0%	23.2%	1.3%
	教育委員会の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	14	0	2	2	5	4	1
		100.0%	0.0%	14.3%	14.3%	35.7%	28.6%	7.1%
	その他の教育委員会の担当課	9	1	1	3	1	2	1
		100.0%	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	22.2%	11.1%
	教育委員会外の生涯学習、社会 教育担当課	49	1	9	14	10	15	0
		100.0%	2.0%	18.4%	28.6%	20.4%	30.6%	0.0%
	教育委員会外の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	11	2	2	4	2	1	0
	100.0%	18.2%	18.2%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	
障害福祉担当課	178	5	25	62	41	42	3	
	100.0%	2.8%	14.0%	34.8%	23.0%	23.6%	1.7%	
障害福祉担当課以外の福祉担 当課	6	0	0	1	4	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	
その他の担当課	4	0	0	1	1	2	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	

図表 2-171 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」(単数選択) (自治体種別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
自治体種別	Total	892	29	188	197	193	268	17
		100.0%	3.3%	21.1%	22.1%	21.6%	30.0%	1.9%
	政令指定都市	14	1	7	3	0	3	0
		100.0%	7.1%	50.0%	21.4%	0.0%	21.4%	0.0%
	中核市	45	2	15	7	3	17	1
		100.0%	4.4%	33.3%	15.6%	6.7%	37.8%	2.2%
	特別区	14	2	7	0	1	3	1
		100.0%	14.3%	50.0%	0.0%	7.1%	21.4%	7.1%
その他の市	405	16	98	88	50	144	9	
	100.0%	4.0%	24.2%	21.7%	12.3%	35.6%	2.2%	
町	341	5	54	79	112	86	5	
	100.0%	1.5%	15.8%	23.2%	32.8%	25.2%	1.5%	
村	73	3	7	20	27	15	1	
	100.0%	4.1%	9.6%	27.4%	37.0%	20.5%	1.4%	

図表 2-172 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」(単数選択) (連携状況別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
連携状況別	Total	892	29	188	197	193	268	17
		100.0%	3.3%	21.1%	22.1%	21.6%	30.0%	1.9%
	(庁内外) 連携あり	143	9	52	30	9	38	5
		100.0%	6.3%	36.4%	21.0%	6.3%	26.6%	3.5%
	(庁内のみ) 連携あり	162	5	38	49	26	40	4
		100.0%	3.1%	23.5%	30.2%	16.0%	24.7%	2.5%
	(庁外のみ) 連携あり	86	7	29	14	13	22	1
		100.0%	8.1%	33.7%	16.3%	15.1%	25.6%	1.2%
連携なし	396	8	59	80	121	122	6	
	100.0%	2.0%	14.9%	20.2%	30.6%	30.8%	1.5%	
把握していない	104	0	10	24	23	46	1	
	100.0%	0.0%	9.6%	23.1%	22.1%	44.2%	1.0%	

図表 2-173 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」(単数選択) (回答部署別)

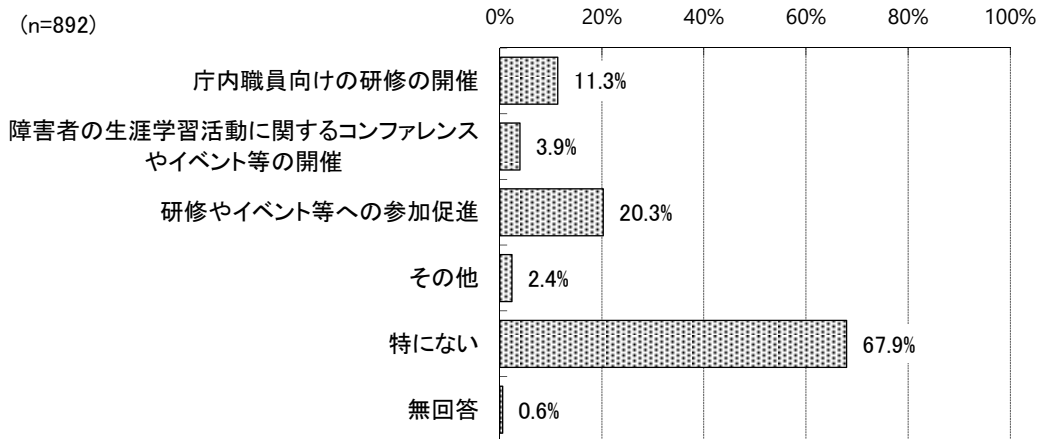
		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
回答部署	Total	892	29	188	197	193	268	17
		100.0%	3.3%	21.1%	22.1%	21.6%	30.0%	1.9%
	教育委員会の生涯学習、社会 教育担当課	603	12	106	135	154	188	8
		100.0%	2.0%	17.6%	22.4%	25.5%	31.2%	1.3%
	教育委員会の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	14	1	4	2	1	5	1
		100.0%	7.1%	28.6%	14.3%	7.1%	35.7%	7.1%
	その他の教育委員会の担当課	9	0	2	1	2	3	1
		100.0%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%
	教育委員会外の生涯学習、社会 教育担当課	49	1	15	7	4	22	0
		100.0%	2.0%	30.6%	14.3%	8.2%	44.9%	0.0%
	教育委員会外の文化、スポー ツ、青少年育成担当課	11	1	6	2	0	2	0
	100.0%	9.1%	54.5%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	
障害福祉担当課	178	12	51	46	24	42	3	
	100.0%	6.7%	28.7%	25.8%	13.5%	23.6%	1.7%	
障害福祉担当課以外の福祉担 当課	6	1	0	1	4	0	0	
	100.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	
その他の担当課	4	0	1	0	1	2	0	
	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	

(5) 自治体における支援状況

① 生涯学習活動に関わる職員を対象に、障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況

「特にない」の割合が最も高く 67.9%となっている。次いで、「研修やイベント等への参加促進（20.3%）」、「庁内職員向けの研修の開催（11.3%）」となっている。

図表 2-174 障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況（複数選択）



(注)「その他」として、「人権研修」「施設管理者への研修」等の回答があった。

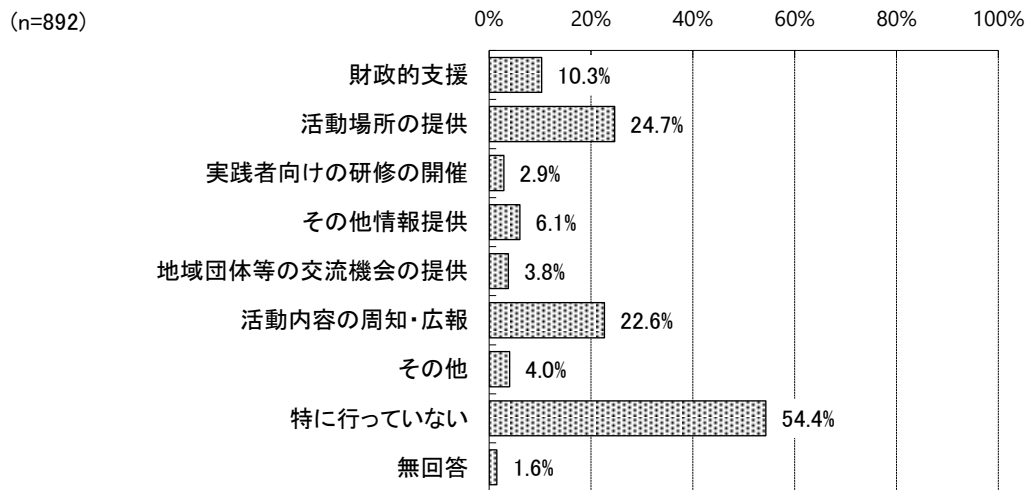
図表 2-175 障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況（複数選択）（自治体種別）

		合計	庁内職員向けの研修の開催	障害者の生涯学習活動に関するコンファレンスやイベント等の開催	研修やイベント等への参加促進	その他	特にない	無回答
自治体種別	Total	892	101	35	181	21	606	5
		100.0%	11.3%	3.9%	20.3%	2.4%	67.9%	0.6%
	政令指定都市	14	5	2	3	2	7	0
		100.0%	35.7%	14.3%	21.4%	14.3%	50.0%	0.0%
	中核市	45	13	2	12	1	21	0
		100.0%	28.9%	4.4%	26.7%	2.2%	46.7%	0.0%
	特別区	14	2	2	4	0	7	0
		100.0%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	50.0%	0.0%
その他の市	405	48	18	85	11	267	5	
	100.0%	11.9%	4.4%	21.0%	2.7%	65.9%	1.2%	
町	341	28	11	62	7	250	0	
	100.0%	8.2%	3.2%	18.2%	2.1%	73.3%	0.0%	
村	73	5	0	15	0	54	0	
	100.0%	6.8%	0.0%	20.5%	0.0%	74.0%	0.0%	

② 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援

「特に行っていない」の割合が最も高く 54.4%となっている。次いで、「活動場所の提供（24.7%）」、「活動内容の周知・広報（22.6%）」となっている。

図表 2-176 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援（複数選択）



(注)「その他」として、「手話通訳士の派遣」「施設利用料の減免」「職員派遣」等の回答があった。

図表 2-177 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援（複数選択）（自治体種別）

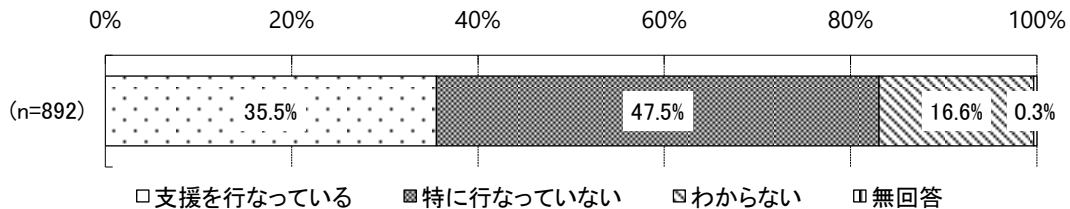
		合計	財政的支援	活動場所の提供	実践者向けの研修の開催	その他情報提供	地域団体等の交流機会の提供	活動内容の周知・広報	その他	特に行っていない	無回答
自治体種別	Total	892	92	220	26	54	34	202	36	485	14
		100.0%	10.3%	24.7%	2.9%	6.1%	3.8%	22.6%	4.0%	54.4%	1.6%
	政令指定都市	14	3	4	1	3	1	5	2	4	0
		100.0%	21.4%	28.6%	7.1%	21.4%	7.1%	35.7%	14.3%	28.6%	0.0%
	中核市	45	4	10	2	2	3	12	5	24	0
		100.0%	8.9%	22.2%	4.4%	4.4%	6.7%	26.7%	11.1%	53.3%	0.0%
	特別区	14	3	6	1	2	2	5	1	6	0
		100.0%	21.4%	42.9%	7.1%	14.3%	14.3%	35.7%	7.1%	42.9%	0.0%
その他の市	405	52	98	14	28	20	110	20	208	6	
	100.0%	12.8%	24.2%	3.5%	6.9%	4.9%	27.2%	4.9%	51.4%	1.5%	
町	341	23	83	6	15	8	54	6	201	8	
	100.0%	6.7%	24.3%	1.8%	4.4%	2.3%	15.8%	1.8%	58.9%	2.3%	
村	73	7	19	2	4	0	16	2	42	0	
	100.0%	9.6%	26.0%	2.7%	5.5%	0.0%	21.9%	2.7%	57.5%	0.0%	

③ 障害者が生涯学習活動に参加するために、本人に対して行っている支援状況

1) 本人に対して行っている支援の有無

「特に行っていない」の割合が最も高く 47.5%となっている。次いで、「支援を行なっている（35.5%）」、「わからない（16.6%）」となっている。

図表 2-178 本人に対して行っている支援の有無（単数選択）



図表 2-179 本人に対して行っている支援の有無（単数選択）（自治体種別）

		合計	支援を行 なっている	特に行なっ ていない	わからない	無回答
自治体 種別	Total	892	317	424	148	3
		100.0%	35.5%	47.5%	16.6%	0.3%
	政令指定都市	14	11	1	2	0
		100.0%	78.6%	7.1%	14.3%	0.0%
	中核市	45	28	13	4	0
		100.0%	62.2%	28.9%	8.9%	0.0%
	特別区	14	10	4	0	0
		100.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
	その他の市	405	171	165	67	2
	100.0%	42.2%	40.7%	16.5%	0.5%	
町	341	78	198	64	1	
	100.0%	22.9%	58.1%	18.8%	0.3%	
村	73	19	43	11	0	
	100.0%	26.0%	58.9%	15.1%	0.0%	

2) 行なっている支援の内容

行なっている支援の内容は以下のとおり。

図表 2-180 本人に対して行っている支援の内容（自由記述式）（n=317）

<個別に情報提供、サービス等の調整・対応>

- ・ 個別のニーズに応じた活動（講座等開催）の情報提供
- ・ 個別のニーズ（就労のためにパソコンの技能を身につけたい等）に応じた情報の提供等
- ・ 相談に応じて目的が達成できるように福祉用具を調整
- ・ 相談に応じて目的が達成できるよう障害福祉サービスを調整
- ・ 車いすスペースの確保や移動に伴う支援のほか、可能な範囲で相談や要望に関係機関と連携し応じている

<移動支援>

- ・ 移動が困難な方に対して、外出の際に円滑な移動を支援する移動支援事業
- ・ レクリエーションや研修会などの社会活動に参加できるよう、車椅子のまま乗車できる福祉バスの運行（在宅障害者支援事業）
- ・ 県障害者スポーツ大会時に貸切バス運行

- ・ 視覚障害者へのガイドヘルパー派遣
 - ・ 手帳所持者に対して、町内路線バス乗車パスを交付
- <障害種別に応じた支援>**
- ・ 手話通訳者や要約筆記者の派遣委託
 - ・ 聴覚障害者であれば、意思疎通支援として手話通訳士の派遣を行っている。また、視覚障害者であれば、同行援護にてガイドヘルパーの利用等を調整している
- <図書館>**
- ・ 図書館で次の支援を行っている：在宅障害者等図書サービス、対面朗読サービス、録音資料作成サービス、活字読書支援機器の設置や貸出
 - ・ 図書館：①視覚障がい者に館内でボランティアによる対面朗読の実施 ②視覚障がい者向けに録音図書・点字図書の作成・貸し出し・郵送貸出の実施 ③肢体不自由等で来館困難な方への資料宅配の実施 ④大活字本、LLブロック（やさしく読みやすい本）等の収集・貸出
 - ・ 図書館の設備として対面朗読室を設置し、音声読み上げ機等ハンディキャップのある方のための機器や、録音・点字資料を整備し、活字の読めない方、読みにくい方が読書を行えるよう個別のニーズに応じたサービスを提供
- <その他>**
- ・ 生涯学習センター：青年学級活動では、トイレ介助・食事介助など実施
 - ・ 施設へのスロープや多目的トイレの設置など
 - ・ パラスポーツを行える場所や施設、パラスポーツの競技団体や支援団体等に関する情報を掲載した「パラスポーツ情報集」を市内施設に配布し、希望に応じて、専門的な理学療法士や作業療法士を紹介 / 等

(注1)n は、本人に対して行っている支援の有無について、「支援を行っている」を回答した件数。

(注2)1団体で複数の内容を記載している場合がある。

(6) 【参考】進捗状況別の主な取組状況

① 庁内外意識の有無別

障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況に関する項目のうち、「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」への回答状況から、庁内職員と庁外関係機関の意識についての変数を作成し、取組状況等に関する主な項目についてクロス集計を行った。

【回答の組み合わせ】

図表 2-181 庁内職員と庁外関係機関の意識クロス

庁内職員の意識が醸成されている	庁外関係機関の意識が醸成されている	項目	n数	
当てはまる	当てはまる	庁内外の意識あり	18	160
当てはまる	やや当てはまる		6	
やや当てはまる	当てはまる		5	
やや当てはまる	やや当てはまる		131	
当てはまる	やや当てはまらない	庁内のみ意識あり	1	60
当てはまる	当てはまらない		0	
当てはまる	わからない		5	
やや当てはまる	やや当てはまらない		21	
やや当てはまる	当てはまらない	庁外のみ意識あり	7	73
やや当てはまる	わからない		26	
やや当てはまらない	当てはまる		8	
やや当てはまらない	やや当てはまる		38	
当てはまらない	当てはまる	庁内外意識なし	1	375
当てはまらない	やや当てはまる		10	
わからない	当てはまる		2	
わからない	やや当てはまる		14	
やや当てはまらない	やや当てはまらない	わからない	135	207
やや当てはまらない	当てはまらない		8	
やや当てはまらない	わからない		50	
当てはまらない	やや当てはまらない		8	
当てはまらない	当てはまらない	わからない	109	207
当てはまらない	わからない		61	
わからない	やや当てはまらない		3	
わからない	当てはまらない		1	
わからない	わからない	わからない	207	207

【クロス集計結果】

図表 2-182 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況（複数選択）（庁内外意識の有無別）

		合計	庁内の関係所管課間で情報共有・連携している	庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している	特に連携していない	把握していない	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	892	305	229	396	104	1
		100.0%	34.2%	25.7%	44.4%	11.7%	0.1%
	庁内外の意識あり	160	88	73	38	11	0
		100.0%	55.0%	45.6%	23.7%	6.9%	0.0%
	庁内のみ意識あり	60	28	18	23	5	0
		100.0%	46.7%	30.0%	38.3%	8.3%	0.0%
	庁外のみ意識あり	73	27	32	27	4	0
		100.0%	37.0%	43.8%	37.0%	5.5%	0.0%
庁内外意識なし	375	101	58	206	45	1	
	100.0%	26.9%	15.5%	54.9%	12.0%	0.3%	
わからない	207	52	42	96	38	0	
	100.0%	25.1%	20.3%	46.4%	18.4%	0.0%	

図表 2-183 (庁内の関係所管課間で連携している場合) 連携方法(複数選択) (庁内外意識の有無別)

		合計	障害者の生涯学習に関する協議の場を活用	既存の協議の場を活用	個別の事業・取組みを通じて連携	行政計画作成時に情報収集・共有	その他の打ち合わせ等、個別のやりとり	その他	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	305 100.0%	16 5.2%	46 15.1%	153 50.2%	118 38.7%	102 33.4%	11 3.6%	1 0.3%
	庁内外の意識あり	88 100.0%	6 6.8%	16 18.2%	50 56.8%	44 50.0%	18 20.5%	3 3.4%	1 1.1%
	庁内のみ意識あり	28 100.0%	2 7.1%	4 14.3%	17 60.7%	11 39.3%	10 35.7%	0 0.0%	0 0.0%
	庁外のみ意識あり	27 100.0%	1 3.7%	4 14.8%	13 48.1%	10 37.0%	10 37.0%	0 0.0%	0 0.0%
	庁内外意識なし	101 100.0%	5 5.0%	15 14.9%	46 45.5%	32 31.7%	38 37.6%	5 5.0%	0 0.0%
	わからない	52 100.0%	1 1.9%	4 7.7%	24 46.2%	20 38.5%	22 42.3%	3 5.8%	0 0.0%

図表 2-184 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法(複数選択)
(庁内外意識の有無別)

		合計	障害者の生涯学習に関する協議の場を活用	既存の協議の場を活用	個別の事業・取組みを通じて連携	行政計画作成時に情報収集・共有	その他の打ち合わせ等、個別のやりとり	その他	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	229 100.0%	17 7.4%	56 24.5%	159 69.4%	46 20.1%	76 33.2%	5 2.2%	3 1.3%
	庁内外の意識あり	73 100.0%	7 9.6%	16 21.9%	51 69.9%	17 23.3%	23 31.5%	1 1.4%	0 0.0%
	庁内のみ意識あり	18 100.0%	2 11.1%	5 27.8%	16 88.9%	2 11.1%	8 44.4%	1 5.6%	0 0.0%
	庁外のみ意識あり	32 100.0%	3 9.4%	8 25.0%	20 62.5%	5 15.6%	9 28.1%	1 3.1%	1 3.1%
	庁内外意識なし	58 100.0%	2 3.4%	17 29.3%	40 69.0%	13 22.4%	20 34.5%	0 0.0%	1 1.7%
	わからない	42 100.0%	2 4.8%	8 19.0%	28 66.7%	9 21.4%	13 31.0%	2 4.8%	1 2.4%

図表 2-185 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」(単数選択) (庁内外意識の有無別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	892 100.0%	17 1.9%	116 13.0%	278 31.2%	253 28.4%	211 23.7%	17 1.9%
	庁内外の意識あり	160 100.0%	13 8.1%	82 51.2%	53 33.1%	7 4.4%	5 3.1%	0 0.0%
	庁内のみ意識あり	60 100.0%	4 6.7%	20 33.3%	18 30.0%	7 11.7%	11 18.3%	0 0.0%
	庁外のみ意識あり	73 100.0%	0 0.0%	5 6.8%	38 52.1%	20 27.4%	10 13.7%	0 0.0%
	庁内外意識なし	375 100.0%	0 0.0%	5 1.3%	152 40.5%	199 53.1%	19 5.1%	0 0.0%
	わからない	207 100.0%	0 0.0%	4 1.9%	17 8.2%	20 9.7%	166 80.2%	0 0.0%

図表 2-186 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」(単数選択) (庁内外意識の有無別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	892	29	188	197	193	268	17
		100.0%	3.3%	21.1%	22.1%	21.6%	30.0%	1.9%
	庁内外の意識あり	160	14	85	33	11	17	0
		100.0%	8.7%	53.1%	20.6%	6.9%	10.6%	0.0%
	庁内のみ意識あり	60	2	20	18	4	16	0
		100.0%	3.3%	33.3%	30.0%	6.7%	26.7%	0.0%
	庁外のみ意識あり	73	7	24	20	11	11	0
	100.0%	9.6%	32.9%	27.4%	15.1%	15.1%	0.0%	
庁内外意識なし	375	3	35	119	139	79	0	
	100.0%	0.8%	9.3%	31.7%	37.1%	21.1%	0.0%	
わからない	207	3	24	7	28	145	0	
	100.0%	1.4%	11.6%	3.4%	13.5%	70.0%	0.0%	

図表 2-187 障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況(複数選択) (庁内外意識の有無別)

		合計	庁内職員向けの研修の開催	管内市区町村職員向けの研修の開催	障害者の生涯学習活動に関するコンファレンスやイベント等の開催	研修やイベント等への参加促進	その他	特にない	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	892	101	0	35	181	21	606	5
		100.0%	11.3%	0.0%	3.9%	20.3%	2.4%	67.9%	0.6%
	庁内外の意識あり	160	37	0	10	46	4	77	1
		100.0%	23.1%	0.0%	6.3%	28.7%	2.5%	48.1%	0.6%
	庁内のみ意識あり	60	6	0	5	16	3	33	0
		100.0%	10.0%	0.0%	8.3%	26.7%	5.0%	55.0%	0.0%
	庁外のみ意識あり	73	4	0	3	19	0	49	0
	100.0%	5.5%	0.0%	4.1%	26.0%	0.0%	67.1%	0.0%	
庁内外意識なし	375	39	0	11	70	9	272	1	
	100.0%	10.4%	0.0%	2.9%	18.7%	2.4%	72.5%	0.3%	
わからない	207	14	0	6	24	5	166	2	
	100.0%	6.8%	0.0%	2.9%	11.6%	2.4%	80.2%	1.0%	

図表 2-188 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援(複数選択) (庁内外意識の有無別)

		合計	財政的支援	活動場所の提供	実践者向けの研修の開催	その他情報提供	地域団体等の交流機会の提供	活動内容の周知・広報	その他	特に行っていない	無回答
庁内外の意識の有無別	Total	892	92	220	26	54	34	202	36	485	14
		100.0%	10.3%	24.7%	2.9%	6.1%	3.8%	22.6%	4.0%	54.4%	1.6%
	庁内外の意識あり	160	24	72	8	12	12	55	5	59	0
		100.0%	15.0%	45.0%	5.0%	7.5%	7.5%	34.4%	3.1%	36.9%	0.0%
	庁内のみ意識あり	60	8	11	1	6	2	16	6	26	3
		100.0%	13.3%	18.3%	1.7%	10.0%	3.3%	26.7%	10.0%	43.3%	5.0%
	庁外のみ意識あり	73	12	20	2	6	3	29	3	27	1
	100.0%	16.4%	27.4%	2.7%	8.2%	4.1%	39.7%	4.1%	37.0%	1.4%	
庁内外意識なし	375	29	81	10	24	13	68	13	227	4	
	100.0%	7.7%	21.6%	2.7%	6.4%	3.5%	18.1%	3.5%	60.5%	1.1%	
わからない	207	16	32	5	6	3	29	8	137	5	
	100.0%	7.7%	15.5%	2.4%	2.9%	1.4%	14.0%	3.9%	66.2%	2.4%	

② 進捗状況別の主な取組状況_域内のニーズに応じた生涯学習機会の有無別

障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況のうち、「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」への回答別に、取組状況等に関する主な調査項目について、クロス集計を行った。

【クロス集計結果】

図表 2-189 障害者の生涯学習について記載している行政計画の有無（単数選択）（生涯学習機会の有無別）

		合計	計画がある	計画はない	わからない	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	530 59.4%	287 32.2%	70 7.8%	5 0.6%
	当てはまる	29	23 79.3%	3 10.3%	3 10.3%	0 0.0%
	やや当てはまる	188	147 78.2%	28 14.9%	13 6.9%	0 0.0%
	やや当てはま らない	197	112 56.9%	69 35.0%	14 7.1%	2 1.0%
	当てはまらない	193	75 38.9%	105 54.4%	12 6.2%	1 0.5%
	わからない	268	161 60.1%	78 29.1%	28 10.4%	1 0.4%

図表 2-190 庁内の関係部局や関係機関との情報共有・連携の状況（複数選択）（生涯学習機会の有無別）

		合計	庁内の関係所 管課間で情報 共有・連携し ている	庁内の関係所 管課以外の関 係機関、庁外 の団体等間で 情報共有・連 携している	特に連携して いない	把握していな い	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	305 34.2%	229 25.7%	396 44.4%	104 11.7%	1 0.1%
	当てはまる	29	14 48.3%	16 55.2%	8 27.6%	0 0.0%	0 0.0%
	やや当てはまる	188	90 47.9%	81 43.1%	59 31.4%	10 5.3%	0 0.0%
	やや当てはま らない	197	79 40.1%	44 22.3%	80 40.6%	24 12.2%	0 0.0%
	当てはまらない	193	35 18.1%	22 11.4%	121 62.7%	23 11.9%	1 0.5%
	わからない	268	78 29.1%	60 22.4%	122 45.5%	46 17.2%	0 0.0%

図表 2-191（庁内の関係所管課間で連携している場合）連携方法（複数選択）（生涯学習機会の有無別）

		合計	障害者の生 涯学習に関 する協議の 場を活用	既存の協議 の場を活用	個別の事 業・取組み を通じて連 携	行政計画作 成時に情報 収集・共有	その他の打 ち合わせ 等、個別の やりとり	その他	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	305	16 5.2%	46 15.1%	153 50.2%	118 38.7%	102 33.4%	11 3.6%	1 0.3%
	当てはまる	14	2 14.3%	4 28.6%	8 57.1%	7 50.0%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%
	やや当てはまる	90	4 4.4%	14 15.6%	55 61.1%	39 43.3%	20 22.2%	4 4.4%	1 1.1%
	やや当てはま らない	79	8 10.1%	11 13.9%	31 39.2%	27 34.2%	31 39.2%	2 2.5%	0 0.0%
	当てはまらない	35	0 0.0%	3 8.6%	16 45.7%	7 20.0%	14 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない	78	1 1.3%	11 14.1%	40 51.3%	37 47.4%	30 38.5%	5 6.4%	0 0.0%

図表 2-192 (関係所管課以外の関係機関等と連携している場合) 連携方法 (複数選択)
(生涯学習機会の有無別)

		合計	障害者の生涯学習に関する協議の場を活用	既存の協議の場を活用	個別の事業・取組みを通じて連携	行政計画作成時に情報収集・共有	その他の打ち合わせ等、個別のやりとり	その他	無回答
域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会の有無別	Total	229	17	56	159	46	76	5	3
		100.0%	7.4%	24.5%	69.4%	20.1%	33.2%	2.2%	1.3%
	当てはまる	16	0	4	12	4	3	0	0
		100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	25.0%	18.8%	0.0%	0.0%
	やや当てはまる	81	9	19	55	15	26	3	1
		100.0%	11.1%	23.5%	67.9%	18.5%	32.1%	3.7%	1.2%
	やや当てはまらない	44	6	13	30	8	14	0	2
		100.0%	13.6%	29.5%	68.2%	18.2%	31.8%	0.0%	4.5%
当てはまらない	22	0	4	8	4	12	1	0	
	100.0%	0.0%	18.2%	36.4%	18.2%	54.5%	4.5%	0.0%	
わからない	60	1	14	50	15	18	1	0	
	100.0%	1.7%	23.3%	83.3%	25.0%	30.0%	1.7%	0.0%	

図表 2-193 コーディネーターの配置の有無 (単数選択) (生涯学習機会の有無別)

		合計	いる	いない	無回答
域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会の有無別	Total	892	144	747	1
		100.0%	16.1%	83.7%	0.1%
	当てはまる	29	9	20	0
		100.0%	31.0%	69.0%	0.0%
	やや当てはまる	188	54	134	0
		100.0%	28.7%	71.3%	0.0%
	やや当てはまらない	197	34	163	0
		100.0%	17.3%	82.7%	0.0%
当てはまらない	193	8	185	0	
	100.0%	4.1%	95.9%	0.0%	
わからない	268	34	233	1	
	100.0%	12.7%	86.9%	0.4%	

図表 2-194 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況 (複数選択)
(生涯学習機会の有無別)

		合計	独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している	一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている	いずれも実施していない	無回答
域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会の有無別	Total	892	188	488	365	1
		100.0%	21.1%	54.7%	40.9%	0.1%
	当てはまる	29	13	21	8	0
		100.0%	44.8%	72.4%	27.6%	0.0%
	やや当てはまる	188	81	128	41	0
		100.0%	43.1%	68.1%	21.8%	0.0%
	やや当てはまらない	197	29	122	70	1
		100.0%	14.7%	61.9%	35.5%	0.5%
当てはまらない	193	9	69	123	0	
	100.0%	4.7%	35.8%	63.7%	0.0%	
わからない	268	53	140	115	0	
	100.0%	19.8%	52.2%	42.9%	0.0%	

図表 2-195 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」(単数選択) (生涯学習機会の有無別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	30	190	239	189	227	17
		100.0%	3.4%	21.3%	26.8%	21.2%	25.4%	1.9%
	当てはまる	29	11	5	5	3	5	0
		100.0%	37.9%	17.2%	17.2%	10.3%	17.2%	0.0%
	やや当てはまる	188	10	95	43	8	32	0
		100.0%	5.3%	50.5%	22.9%	4.3%	17.0%	0.0%
	やや当てはまらない	197	1	50	114	23	9	0
	100.0%	0.5%	25.4%	57.9%	11.7%	4.6%	0.0%	
当てはまらない	193	3	12	41	105	32	0	
	100.0%	1.6%	6.2%	21.2%	54.4%	16.6%	0.0%	
わからない	268	5	28	36	50	149	0	
	100.0%	1.9%	10.4%	13.4%	18.7%	55.6%	0.0%	

図表 2-196 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」(単数選択) (生涯学習機会の有無別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	34	199	168	125	349	17
		100.0%	3.8%	22.3%	18.8%	14.0%	39.1%	1.9%
	当てはまる	29	12	9	2	2	4	0
		100.0%	41.4%	31.0%	6.9%	6.9%	13.8%	0.0%
	やや当てはまる	188	12	97	29	7	43	0
		100.0%	6.4%	51.6%	15.4%	3.7%	22.9%	0.0%
	やや当てはまらない	197	3	50	96	15	33	0
	100.0%	1.5%	25.4%	48.7%	7.6%	16.8%	0.0%	
当てはまらない	193	2	20	29	85	57	0	
	100.0%	1.0%	10.4%	15.0%	44.0%	29.5%	0.0%	
わからない	268	5	23	12	16	212	0	
	100.0%	1.9%	8.6%	4.5%	6.0%	79.1%	0.0%	

図表 2-197 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」(単数選択) (生涯学習機会の有無別)

		合計	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	17	116	278	253	211	17
		100.0%	1.9%	13.0%	31.2%	28.4%	23.7%	1.9%
	当てはまる	29	7	5	8	5	4	0
		100.0%	24.1%	17.2%	27.6%	17.2%	13.8%	0.0%
	やや当てはまる	188	7	79	65	16	21	0
		100.0%	3.7%	42.0%	34.6%	8.5%	11.2%	0.0%
	やや当てはまらない	197	0	15	137	33	12	0
	100.0%	0.0%	7.6%	69.5%	16.8%	6.1%	0.0%	
当てはまらない	193	0	5	27	142	19	0	
	100.0%	0.0%	2.6%	14.0%	73.6%	9.8%	0.0%	
わからない	268	3	12	41	57	155	0	
	100.0%	1.1%	4.5%	15.3%	21.3%	57.8%	0.0%	

図表 2-198 障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況(複数選択) (生涯学習機会の有無別)

		合計	庁内職員向けの研修の開催	管内市区町村職員向けの研修の開催	障害者の生涯学習活動に関するコンファレンスやイベント等の開催	研修やイベント等への参加促進	その他	特になし	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	101	0	35	181	21	606	5
		100.0%	11.3%	0.0%	3.9%	20.3%	2.4%	67.9%	0.6%
	当てはまる	29	8	0	5	10	1	13	0
		100.0%	27.6%	0.0%	17.2%	34.5%	3.4%	44.8%	0.0%
	やや当てはまる	188	33	0	11	54	3	103	0
		100.0%	17.6%	0.0%	5.9%	28.7%	1.6%	54.8%	0.0%
	やや当てはまらない	197	19	0	7	45	8	132	0
	100.0%	9.6%	0.0%	3.6%	22.8%	4.1%	67.0%	0.0%	
当てはまらない	193	13	0	3	27	3	151	0	
	100.0%	6.7%	0.0%	1.6%	14.0%	1.6%	78.2%	0.0%	
わからない	268	27	0	9	39	6	198	4	
	100.0%	10.1%	0.0%	3.4%	14.6%	2.2%	73.9%	1.5%	

図表 2-199 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援（複数選択）（生涯学習機会の有無別）

		合計	財政的支援	活動場所の提供	実践者向けの研修の開催	その他情報提供	地域団体等の交流機会の提供	活動内容の周知・広報	その他	特に行っていない	無回答
域内で、 障害者の ニーズに 応じた生 涯学習機 会の有無 別	Total	892	92	220	26	54	34	202	36	485	14
		100.0%	10.3%	24.7%	2.9%	6.1%	3.8%	22.6%	4.0%	54.4%	1.6%
	当てはまる	29	7	15	3	6	6	13	1	8	0
		100.0%	24.1%	51.7%	10.3%	20.7%	20.7%	44.8%	3.4%	27.6%	0.0%
	やや当てはまる	188	30	70	9	18	12	66	7	65	4
		100.0%	16.0%	37.2%	4.8%	9.6%	6.4%	35.1%	3.7%	34.6%	2.1%
	やや当てはまらない	197	23	58	8	15	8	50	5	95	1
		100.0%	11.7%	29.4%	4.1%	7.6%	4.1%	25.4%	2.5%	48.2%	0.5%
	当てはまらない	193	8	27	2	5	1	23	6	139	4
		100.0%	4.1%	14.0%	1.0%	2.6%	0.5%	11.9%	3.1%	72.0%	2.1%
わからない	268	21	46	4	10	6	45	16	169	4	
	100.0%	7.8%	17.2%	1.5%	3.7%	2.2%	16.8%	6.0%	63.1%	1.5%	

(7) その他の工夫や課題等

① 障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組

障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組は以下のとおり。

図表 2-200 障害者の生涯学習活動を推進する上でやっている工夫・その他の取組 (自由記述式)

■ 基盤整備に関すること (庁内体制の構築、人材育成等) (回答数 30 件)

<人材育成>

- ・ 合理的配慮の研修を行った (全ての主査級の職員を対象としたもの)
- ・ 各スポーツセンターの指定管理者を対象とした研修会の実施
- ・ 教師の専門性を高めるための研修会の実施
- ・ 近隣市と連携し、初級障害者スポーツ指導員養成講習会を開催
- ・ 全職員を対象としたあいさポーター研修 (障がい理解、合理的配慮提供にかかる研修) を実施している

<その他>

- ・ 施設設備のユニバーサルデザイン化
- ・ 障がい者専用駐車場や、障がい者トイレの設置、エレベーター、点字ブロックの設置
- ・ ユニバーサル資料の充実
- ・ 障がい者スポーツ指導員資格取得への助成、障がい者スポーツ教室の実施
- ・ 電子図書館にて、テキスト版サイト (視覚障がい者向け利用支援サイト。視覚に障がいのある方も使いやすい音声読み上げソフトに対応している) 内で読み上げ可能な資料を購入している
- ・ 行事等、社会参加のための通訳者の派遣に対する庁内通知
- ・ 生涯学習センター：青年学級支援者確保のため、近隣大学などに出向き、事業の PR を実施 / 等

■ 障害者本人への相談支援に関すること (回答数 23 件)

- ・ 運動・スポーツ相談窓口の設置
- ・ 計画相談支援事業所の相談支援専門員に、ケアプランを策定する際、障害福祉サービスの利用だけでなく、スポーツや文化的な活動も視点に加え、QOL の向上を意識してほしいと、研修会等で周知している
- ・ スポーツを行うことによって生じる障害への影響や不安に対する相談、自身の障害に合わせて道具の加工に関する相談など
- ・ 就労支援ネットワーク会議で協議している / 等

■ 障害者の生涯学習機会拡充に関すること (回答数 38 件)

- ・ Web やデジタル機器を活用し、「学びたいときに学べる環境」を目指して準備している
- ・ 音訳ボランティア対象の読書バリアフリー推進研修
- ・ 障がい者関連施設に対して、創作活動などの発表機会を提供することを目的に、町民文化祭への出展するよう呼びかけ、実際に出展・展示している
- ・ 障がいのある人もない人も一緒に活動する機会を提供するために市民ボランティアを募っている。その内、市内高校にもボランティア活動の一環として協力依頼し、参加した生徒に対してボランティア活動の証明書を交付している

- ・ NPO 法人に委託し、障害者の社会参画への市民の理解を深める内容の講演会や交流イベントを実施
- ・ 県のモデル事業の地域連絡会に参画し、イベント会場（市施設）の無料使用、指導者や講座メニューの紹介・提供を行っている
- ・ 対象者を限定せずニュースポーツに関するイベントを開催し、市民の理解を促している。家庭教育支援チームや生涯学習奨励員事業で障害者スポーツの体験や、特別支援学校との連携を行っている
- ・ 公立図書館と点字図書館で互いの事業や設備等について情報交換を行い、視覚に障害のある人がより利用しやすい環境づくりのための取組を行っている / 等

■その他（回答数 23 件）

- ・ ワーキングを設けニーズを把握しながら実施メニューを決定し、企画運営を行っている
- ・ 一般市民向けの障害への理解促進・啓発
- ・ 市民が学びを記録し、楽しみながら学びを継続できるよう生涯学習手帳を発行しており、知的障がい者向けに表現を柔らかくしたデザインも発行している
- ・ 生涯学習推進計画を策定。「『共生社会』実現のための取り組みの充実」をリーディングプロジェクトに設定し、先導的に全庁的に取り組んでいる
- ・ 専門学校や公民館利用団体への講師依頼、特別支援学校教諭を講師としたボランティア研修の実施
- ・ オリンピックを契機として、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、キャッチフレーズを掲げ、さまざまな分野で取組を展開している。キャッチフレーズの周知には、ロゴマークのほか、市内福祉作業所通所者と市民が共同で作製したアートデザインを使用することで、障害者の芸術活動に関する理解を広めている。また、関連する取組をまとめた冊子を発行し、より一層の周知を図っている / 等

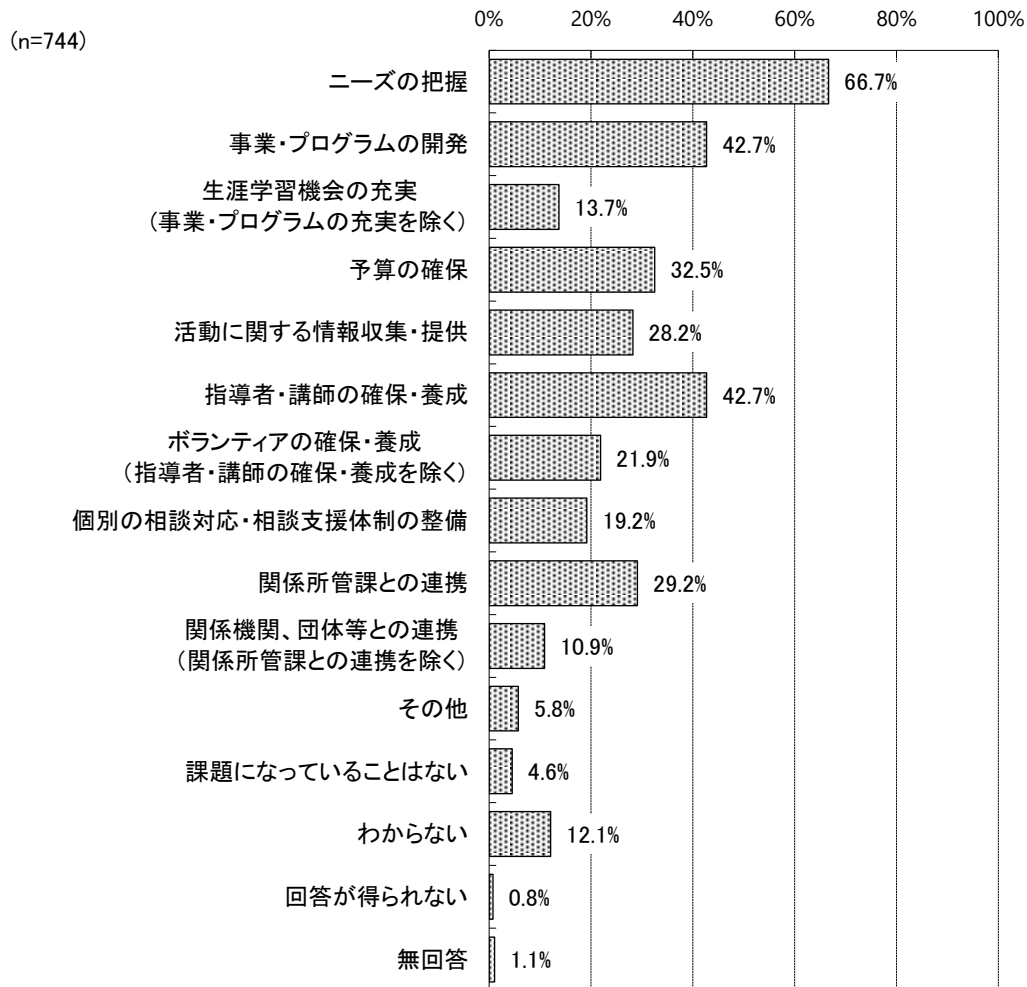
(注) 本設問に回答があった件数。1団体で複数の内容を記載している場合がある。

② 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題

1) 教育委員会の生涯学習、社会教育担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 66.7%となっている。次いで、「事業・プログラムの開発 (42.7%)」、「指導者・講師の確保・養成 (42.7%)」、「予算の確保 (32.5%)」となっている。

図表 2-201 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会の生涯学習、社会教育担当課
(複数選択)



図表 2-202 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会の生涯学習、社会教育担当課
(複数選択) (自治体種別)

		合計	ニーズの把握	事業・プログラムの開発	生涯学習機会の充実 (事業・プログラムの充実を除く)	予算の確保	活動に関する情報収集・提供	指導者・講師の確保・養成	ボランティアの確保・養成 (指導者・講師の確保・養成を除く)
自治体種別	Total	744	496	318	102	242	210	318	163
		100.0%	66.7%	42.7%	13.7%	32.5%	28.2%	42.7%	21.9%
	政令指定都市	9	8	4	1	4	3	4	3
		100.0%	88.9%	44.4%	11.1%	44.4%	33.3%	44.4%	33.3%
	中核市	34	21	13	6	9	10	16	10
		100.0%	61.8%	38.2%	17.6%	26.5%	29.4%	47.1%	29.4%
	特別区	8	2	2	1	1	0	2	2
		100.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%
その他の市	325	218	136	48	114	94	120	66	
	100.0%	67.1%	41.8%	14.8%	35.1%	28.9%	36.9%	20.3%	
町	305	209	139	39	92	82	147	70	
	100.0%	68.5%	45.6%	12.8%	30.2%	26.9%	48.2%	23.0%	
村	63	38	24	7	22	21	29	12	
	100.0%	60.3%	38.1%	11.1%	34.9%	33.3%	46.0%	19.0%	

		合計	個別の相談対応・相談支援体制の整備	関係所管課との連携	関係機関、団体等との連携 (関係所管課との連携を除く)	その他	課題になっていることはない	わからない	回答が得られない	無回答
自治体種別	Total	744	143	217	81	43	34	90	6	8
		100.0%	19.2%	29.2%	10.9%	5.8%	4.6%	12.1%	0.8%	1.1%
	政令指定都市	9	1	3	3	1	0	0	0	0
		100.0%	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中核市	34	6	9	5	3	1	4	0	2
		100.0%	17.6%	26.5%	14.7%	8.8%	2.9%	11.8%	0.0%	5.9%
	特別区	8	2	0	0	0	3	0	0	0
		100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の市	325	61	94	36	18	14	40	3	2	
	100.0%	18.8%	28.9%	11.1%	5.5%	4.3%	12.3%	0.9%	0.6%	
町	305	59	98	36	14	8	39	3	4	
	100.0%	19.3%	32.1%	11.8%	4.6%	2.6%	12.8%	1.0%	1.3%	
村	63	14	13	1	7	8	7	0	0	
	100.0%	22.2%	20.6%	1.6%	11.1%	12.7%	11.1%	0.0%	0.0%	

図表 2-203 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 (自由記述式)

<ニーズの把握>

- ・ 地域の障害者が不明で、ニーズ等が不明であること
- ・ これまで、障がい者の方の参加について問い合わせ等がある場合は個別に対応していたが、ニーズの把握やいつでも参加できるような体制を整備する必要がある
- ・ どういった内容を学びたいのか(講義のレベルを含めて)、また、学習会を実施する場合のスタッフ等の確保が難しい
- ・ 市町村ごとに取り組むだけのニーズがあるのか、どのような講座・プログラムの希望があり、どのような予算と準備で提供できるのか、職員の研修も含めた情報が必要である(県の取組事例などがあると良い)
- ・ 障害者の就労施設や障害者の団体など、組織に所属していれば組織あてにニーズ調査をすることはできると思うが、組織に属していない障害をもつ個々人のニーズを把握するのは、連絡先などが不明なため困難である
- ・ 障害者の方が公民館を学びの場として、求められているのかが不明である。また、どのような学習機会を提供したらよいか、学習環境(手話や筆談)を整備するなど検討する必要がある。障害者の利用が少なく接する機会もないため、潜在的に公民館事業に参加したいと思っている方がどのくらいいらっしゃるのかわからない

<連携>

- ・ 障害者向けの生涯学習活動を実施するには関係所管課、外部の支援団体との連携が不足していること
- ・ 社会福祉協議会と行政福祉担当部署が協議する場があることを承知しているが、その場に同席できていないこと。また、社会福祉協議会と行政福祉担当部署に対し、教育委員会も障害者への生涯学習に関し、協働できることを十分に伝えきれていないこと
- ・ 学校教育との連携は見通しがあるが、卒業後の社会教育ではハードルが高い。福祉担当との調整が取れておらず、実施する体制になっていない
- ・ 障害者の生涯学習を生涯学習担当課が主管しており、福祉的な事業運営を行うノウハウや人員が不足している。障害の種類が多岐にわたる中で、障害者の生涯学習の裾野を広げていくことは、予算人員ノウハウが膨大に必要であり、難しい

<体制>

- ・ 関係機関・団体との意見交換やニーズ把握のための協議調整の機会がないため、取組の方向性が確立されていない
- ・ ノウハウの蓄積がない。また、予算、人員の確保が困難である
- ・ 障がい者に特化した取組を実施していない。そのためノウハウもない。必要性をあまり感じていなかった。そういった事例を視察したり、学ぶ機会が必要（オンライン研修などで良い）
- ・ 新しい若年層ボランティアの確保が難しく、募集してもなかなか集まらず、技術の継承が難しくなっていること
- ・ 現在の人員体制では、障害者の生涯学習に関する取組をすることが困難。人員不足のため、プログラム開発までに至らない
- ・ ニーズを得る場が他の事業を実施していく際に得られる情報といった限られた場所でしかなく、そもそも障がい者の生涯学習に専従して行う部署があやふや、そして県の担当からの情報提供も少ないように思える
- ・ 障害者への合理的配慮が必要であることは重々承知しているが、個々の障害特性に応じるための人員確保や施設整備が困難
- ・ 障害の程度により複雑な事情で特別な設備や備品が必要である場合の予算の検討がつかない点が課題である。障害の種類や特性に関する基本的な知識を研修する場が生涯学習課職員にはないため、事業の中で知識不足に伴う障害者への対応力不足が懸念される

<障害者の生涯学習推進の方法>

- ・ 障害のある方の困り感の内容やその程度は人それぞれであって、社会参加等へのニーズも多様である。そのため「障害者の生涯学習の推進」としても対象や実施内容の設定は難しい
- ・ 「障害がある方対象」としてしまうとそのこと自体が差別につながりかねず、「どなたでも参加できます」と謳うと当事者には届かない懸念もあり、推進方法については検討が必要
- ・ 講座に対してどのような障害を持つ人がどのくらい申し込んでくるかが読めない。障害を持つ人に対しての講座だということをアピールしすぎるのもあまりよくないように感じる。障害を持つ人からのニーズに対して、公民館活動団体が受け入れてくれるかが不明なうえ、こちらが団体に適切な説明ができるかも不明

<個別の取組に関する課題>

- ・ 図書館としてディスレクシアの方の潜在的なニーズに何かアプローチできることがあると思うのだが、関係所管課との連携、ニーズ把握、新たな事業の拡大等をするための人的な余裕がない
- ・ 余暇活動の多様化による知的障害者青年学級事業への参加者の減少や指導する人材の確保が課題

- ・ 視覚障害者向けに対面朗読や録音図書の貸出などのサービスを提供しているが、今後、様々な理由により読書に支援が必要な方に対し、ニーズに合わせた多様な資料収集や読書補助ツールの案内などを整備することが課題である
- ・ スポーツ推進委員への障害者スポーツの研修の推奨や障害者スポーツの周知などは行っているが、障害者自身への生涯学習の機会の提供にはつなげていない。ニーズの把握が出来ていない面がある

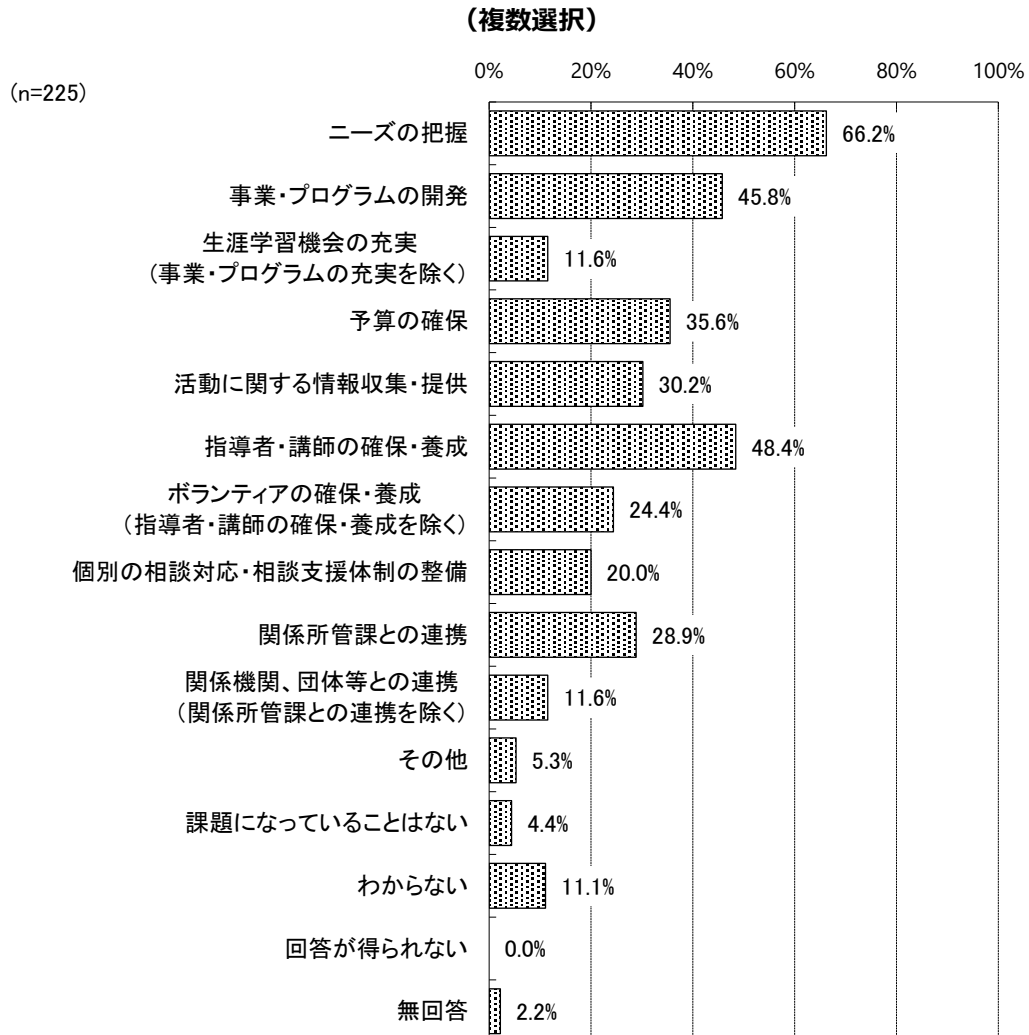
<その他>

- ・ 何から手をつけて良いのかわからない。
- ・ 参加対象者が少ないために村内の開催は難しく、当事者が他市町村での活動に参加されるケースへの移動支援（タクシー券・同行）の補助は行っているが、利用実績はあまりない状況にある /等

2) 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 66.2%となっている。次いで、「指導者・講師の確保・養成 (48.4%)」、「事業・プログラムの開発 (45.8%)」となっている。

図表 2-204 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課



図表 2-205 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課
(複数選択)

		合計	ニーズの把握	事業・プログラムの開発	生涯学習機会の充実 (事業・プログラムの充実を除く)	予算の確保	活動に関する情報収集・提供	指導者・講師の確保・養成	ボランティアの確保・養成 (指導者・講師の確保・養成を除く)
自治体種別	Total	225	149	103	26	80	68	109	55
		100.0%	66.2%	45.8%	11.6%	35.6%	30.2%	48.4%	24.4%
	中核市	9	4	2	1	3	4	3	1
		100.0%	44.4%	22.2%	11.1%	33.3%	44.4%	33.3%	11.1%
	特別区	6	3	3	0	0	1	3	3
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	50.0%
	その他の市	119	85	52	14	44	34	53	29
	100.0%	71.4%	43.7%	11.8%	37.0%	28.6%	44.5%	24.4%	
町	79	49	42	10	28	22	42	19	
	100.0%	62.0%	53.2%	12.7%	35.4%	27.8%	53.2%	24.1%	
村	12	8	4	1	5	7	8	3	
	100.0%	66.7%	33.3%	8.3%	41.7%	58.3%	66.7%	25.0%	

		合計	個別の相談対応・相談支援体制の整備	関係所管課との連携	関係機関、団体等との連携 (関係所管課との連携を除く)	その他	課題になっていることはない	わからない	回答が得られない	無回答
自治体種別	Total	225	45	65	26	12	10	25	0	5
		100.0%	20.0%	28.9%	11.6%	5.3%	4.4%	11.1%	0.0%	2.2%
	中核市	9	1	2	1	0	0	2	0	1
		100.0%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%
	特別区	6	0	1	0	1	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他の市	119	25	35	13	3	7	9	0	3
	100.0%	21.0%	29.4%	10.9%	2.5%	5.9%	7.6%	0.0%	2.5%	
町	79	16	25	11	7	3	12	0	1	
	100.0%	20.3%	31.6%	13.9%	8.9%	3.8%	15.2%	0.0%	1.3%	
村	12	3	2	1	1	0	2	0	0	
	100.0%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	

(注) 政令指定都市の回答はなかった。

図表 2-206 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課
(自由記述式)

<p><ニーズ把握・取組等への反映></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そもそもニーズを把握していないため、事業をするには調査が必要である。しかし、近年、市の財政は逼迫しており、なかなか予算がとれない ・ 障害の状況が異なり全体的な把握が難しく、また、個別の状況に応じた丁寧な支援体制の構築が困難 ・ 講座の担当となる各職員が研修等を通じて、障害者への理解を高め、どのような講座にニーズがあるか把握すること ・ 教室内容の充実が課題である。何を望まれているか、他区の情報・他区との連携の無さなど、今のままであり、これまで何も変えずに継続してきたことが課題となっている ・ 具体的なニーズの把握手段がなく、また、具体的なプログラム開発の手法がない。本市は、財政的に厳しく、補助金等の特定財源がなければ、新規事業の採択は困難 <p><取組を検討するにあたっての情報収集></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の企画運営に伴う合理的配慮の先進事例を調査・評価すること ・ 課題についての好事例等、モデルになるものの情報を収集することが難しい

<連携>

- ・ 障害者の生涯活動推進に関わる事業をどの年齢層やどの障害種別に合わせたものを、どの程度の規模・頻度で実施すべきか、具体的な方針を全体で共有すること
- ・ 「生涯学習」と「障害」でセクションが分かれており、協議や情報共有の場がほとんどないため、生涯学習における障害者対応へのニーズを拾いづらい
- ・ スポーツ振興課でスポーツ教室及び行事を開催する際に、障害者福祉担当課と連携が取れないため、ニーズの把握や対応が困難である

<体制>

- ・ 現在の活動予算も十分に確保できていない中、障害者スポーツのために大きな予算を加えることは難しい
- ・ 現在の活動のほとんどがスポーツ推進委員の協力により成り立っているが、スポーツ推進委員も年々減少し、定員に満たない状況にある。また、障害者への対応、コミュニケーションの取り方等に精通した人材は少ない
- ・ 企画案を評価できる専門知識を有するコーディネーターを庁内外で確保すること
- ・ 講座補助を行うボランティアに障害者への理解を促すこと
- ・ 活動の支援者が慢性的に不足している。障がいに対して一定の知識を理解が必要であり、簡単に担い手が務まるわけではない。活動のために移動手段を確保しなければならず、車両送迎の担い手が必要になる

<施設整備>

- ・ 障害者向けの生涯学習活動を実施するための設備が不足していること
- ・ 市の体育施設等は障害者でもその他の方でも誰でも利用していただくことができますが、施設によっては段差や体育施設までの導線等で利用において不便な施設がある。対応や改修に費用を要するため予算も課題
- ・ スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

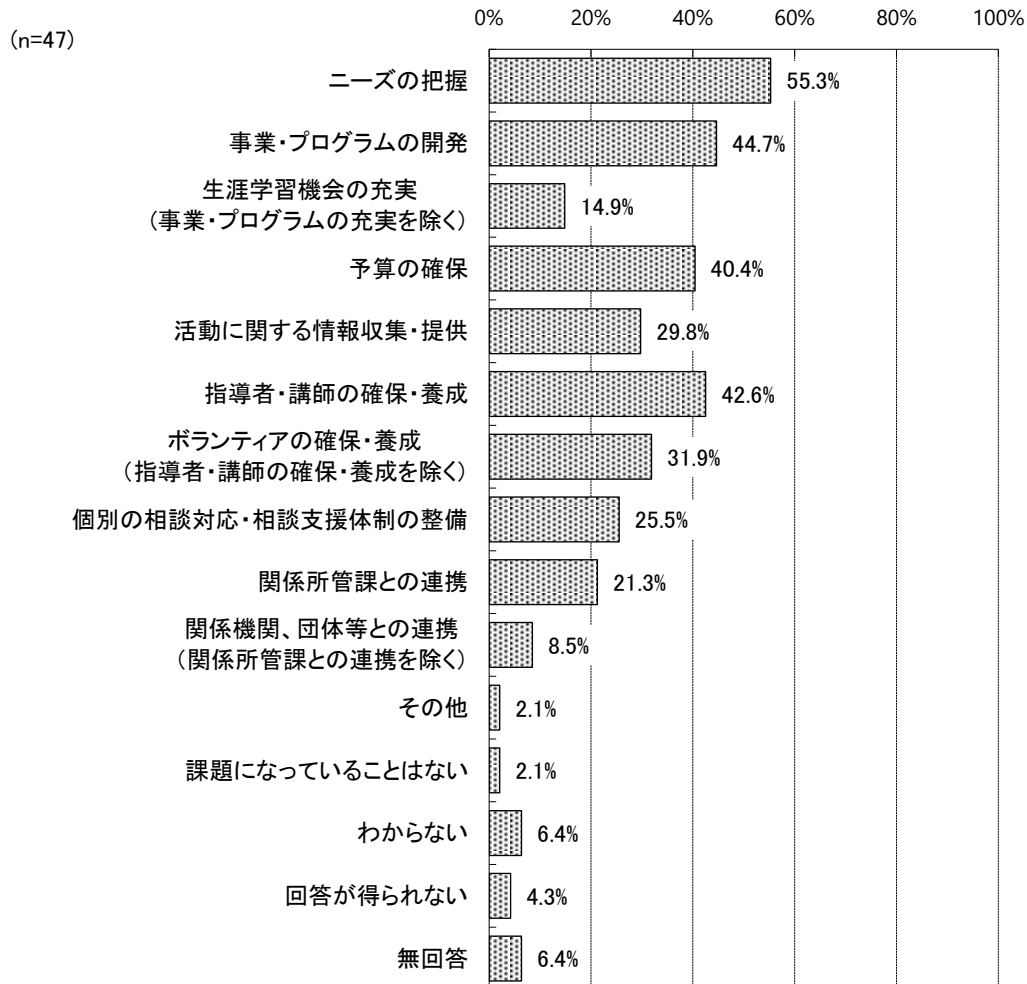
<その他>

- ・ (美術館) 現在の企画展とイベント開催の状況では、新たに障害者向けの生涯学習活動を実施するための予算確保が難しいこと。障害者を対象にした講座やプログラムを受け持ってもらえる美術家を探すのが困難
- ・ 障害者団体での自主活動が主なため、個人で活動しているボランティアを探すことが困難である / 等

3) その他の教育委員会の担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 55.3%となっている。次いで、「事業・プログラムの開発 (44.7%)」、「指導者・講師の確保・養成 (42.6%)」となっている。

図表 2-207 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_その他の教育委員会の担当課 (複数選択)



図表 2-208 (課題がある場合) 具体的な内容_その他の教育委員会の担当課 (自由記述式)

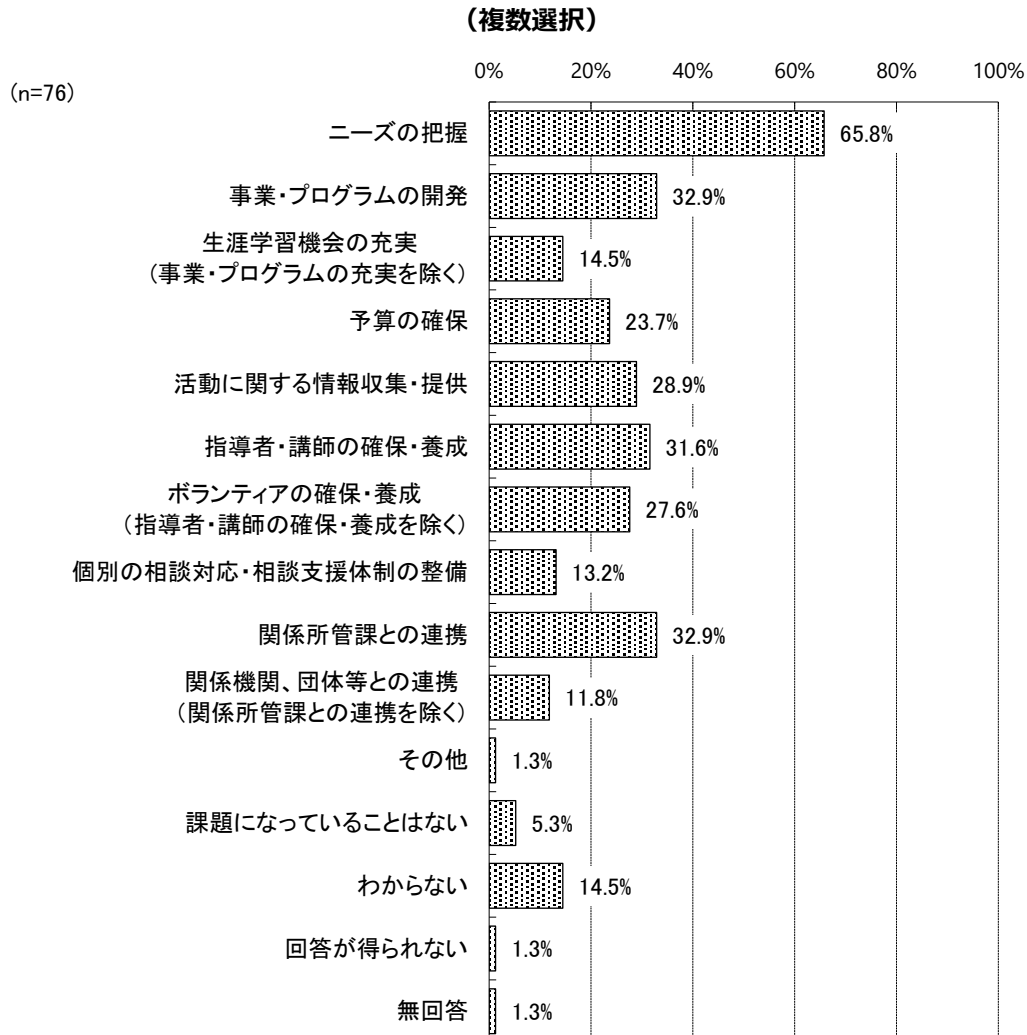
- ・ 障害者の生涯学習について規定した計画も特になく、また事業についても特に実施していないため、仮に実施するとした場合、全てにおいて一から構築していく必要がある
- ・ 視覚・聴覚障がい者の学級において、生涯学習ニーズの把握を行っているが、あくまで参加者のみのニーズ把握であり、参加していない多くの人のニーズを把握しているわけではなく、参加者を増やすためにどうすれば良いか、見えていない。また、県身体障害者学級運営事業として委託費で行っているため、十分な予算確保が困難であるとともに、年4回の開催をすることがやっとであり、1年間を通して事業実施は不可能である。さらには、より良い学級活動とするために内容の充実を図る必要があるが、他地域の学級との会議もリモート会議しか行われておらず、活動に関する情報を収集することが難しくなっている
- ・ ニーズの把握が困難 (事業を実施するには、予算とマンパワーが必要となる。年齢、障害が異なる中で、どのようなニーズがどれくらいあり、どのようなことができるのかが課題と思われる。)

- ・ 障害者と直接交流できる機会がないためニーズの把握が難しい。これについては障害者と関係のある部署との連携が必要である。また、施設の改修・必要物品の購入等にあてる予算の確保、サービス拡充に伴う人員の確保が難しい
- ・ 単独の公民館では障害者の生涯学習ニーズを把握する機会が乏しく、企画がしにくい
- ・ 公民館職員は講座の企画・運営以外の業務もこなしているが、限られた人員では合理的配慮がなかなかできない。公民館で障害者の生涯学習の推進をするには教育委員会や他団体の協力、連携を図ることが必須
- ・ 新型コロナウイルス感染症により、対象者、ボランティアが講座に不参加の意向がある
- ・ 図書館司書が手話等のサービスができない。また、それぞれの利用者の障害の程度により、どういったサービスまでを合理的配慮により行うかの判断が難しい
- ・ 財源を伴わない独自の事業予算の確保は難しい状況である
- ・ 現在、各種障害者団体へ委託する形で事業を実施しているが、団体に所属していない人のニーズの把握が困難なこと、自治体予算全体が不足しているため、予算の確保が困難 / 等

4) 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く65.8%となっている。次いで、「事業・プログラムの開発（32.9%）」、「関係所管課との連携（32.9%）」、「指導者・講師の確保・養成（31.6%）」となっている。

図表 2-209 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課



図表 2-210 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 (自由記述式)

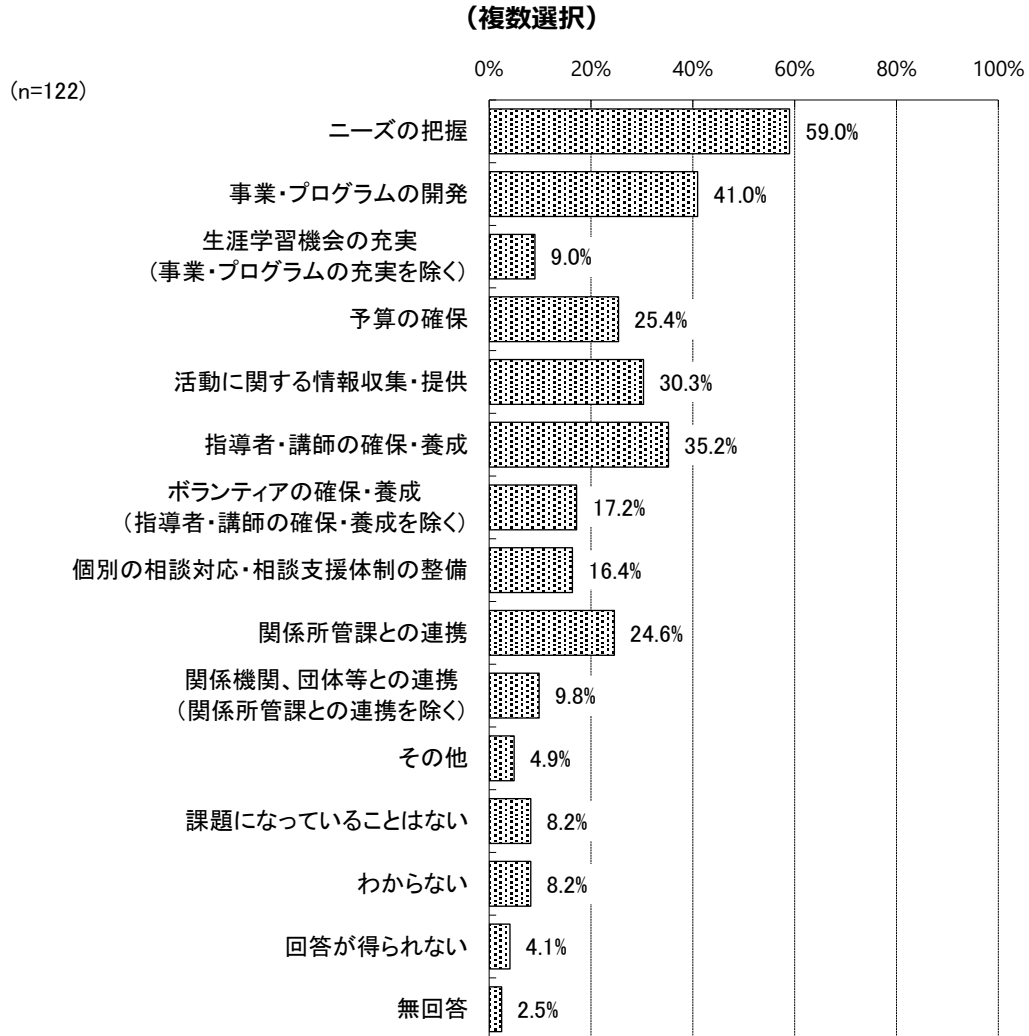
- ・ 障害者が参加可能なイベントを検討する場合、所管が違うためニーズの把握が難しい
- ・ どのようなニーズがあるか把握しにくい、情報共有の場がない
- ・ 障がいの特性に合わせた講座内容の検討や来場時の対応など、生涯学習施設の担当職員だけでは難しい。障がいに関する知識や対応にたけたボランティア等の協力が必要である
- ・ ボランティアの確保ができなければ、事業の実施が難しい
- ・ 対面朗読ボランティアの確保
- ・ ボランティアの高齢化
- ・ スポーツ協会にパラスポーツ協会は入っておらず、地区ごとのスポーツ協会でも障害者のスポーツ人口や障害の種類・程度を把握していないため、体育祭に種目を増やしたり参加したりできる体制を整えることが難しい

- ・ ニュースポーツをメインとした、イベント（スポーツチャレンジデイ）を実施したが、障害者の参加はなかった
- ・ 電子図書館導入に関する予算措置、運営体制
- ・ コロナ禍で活動ができていない（令和5年度から再開予定） /等

5) 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 59.0%となっている。次いで、「事業・プログラムの開発 (41.0%)」、「指導者・講師の確保・養成 (35.2%)」となっている。

図表 2-211 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課



図表 2-212 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課
(複数選択) (自治体種別)

		合計	ニーズの把握	事業・プログラムの開発	生涯学習機会の充実 (事業・プログラムの充実を除く)	予算の確保	活動に関する情報収集・提供	指導者・講師の確保・養成	ボランティアの確保・養成 (指導者・講師の確保・養成を除く)
自治体種別	Total	122	72	50	11	31	37	43	21
		100.0%	59.0%	41.0%	9.0%	25.4%	30.3%	35.2%	17.2%
	政令指定都市	10	5	4	1	3	3	4	3
		100.0%	50.0%	40.0%	10.0%	30.0%	30.0%	40.0%	30.0%
	中核市	21	11	8	1	9	7	6	2
		100.0%	52.4%	38.1%	4.8%	42.9%	33.3%	28.6%	9.5%
	特別区	10	4	8	1	2	2	4	2
		100.0%	40.0%	80.0%	10.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
その他の市	75	48	27	6	14	23	25	12	
	100.0%	64.0%	36.0%	8.0%	18.7%	30.7%	33.3%	16.0%	
町	5	3	2	1	2	1	3	2	
	100.0%	60.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	40.0%	
村	1	1	1	1	1	1	1	0	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

		合計	個別の相談対応・相談支援体制の整備	関係所管課との連携	関係機関、団体等との連携 (関係所管課との連携を除く)	その他	課題になっていることはない	わからない	回答が得られない	無回答
自治体種別	Total	122	20	30	12	6	10	10	5	3
		100.0%	16.4%	24.6%	9.8%	4.9%	8.2%	8.2%	4.1%	2.5%
	政令指定都市	10	1	3	2	1	3	0	1	0
		100.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	中核市	21	3	4	2	1	1	4	0	0
		100.0%	14.3%	19.0%	9.5%	4.8%	4.8%	19.0%	0.0%	0.0%
	特別区	10	3	1	0	1	1	0	0	0
		100.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の市	75	12	19	7	3	5	5	4	3	
	100.0%	16.0%	25.3%	9.3%	4.0%	6.7%	6.7%	5.3%	4.0%	
町	5	1	2	0	0	0	1	0	0	
	100.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
村	1	0	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 2-213 (課題がある場合) 具体的な内容_教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課
(自由記述式)

<p><ニーズや団体等の把握・情報提供></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者と直接関わる機会が少ないため、ニーズを把握する機会が少ない スポーツ教室は開催しているが、ニーズの把握が不十分である 障がい者のニーズは広く把握すること、また、全てのニーズに応えることはできていない。障がいの種別に関係なく、利用者が安全で快適に利用できる施設の整備を目指しているが、予算の限りがあるため、優先順位をつけて整備を進めている 課としては障害者に特化した文化芸術振興を行っていないが、結果的に障害者の文化芸術活動推進ができていない。しかしながら、障害者が障害を理由に文化芸術活動を控えたり、触れる機会がなかったり、そもそも文化芸術活動を知らないといった問題が潜んでいることも考えられ、より細やかなニーズの把握や情報の収集・提供及びそれらに基づく予算確保が課題である 障害者向けの文化芸術活動を開催している文化芸術団体の情報収集 <p><連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校と文化事業や意見交換の機会を持ちたいがコロナの影響で困難な面がある

- ・ 障がい者の方達だけの文化政策の推進というわけではなく、一般の文化事業の中で障がいを持った方達に対して、いかに参加しやすい機会を提供できるか

<体制>

- ・ 障がい者スポーツのニーズに対する市内の指導者の数が少ない
- ・ 音点訳ボランティアグループの年齢層が高くなることで、障害者サービス水準の維持のため、以前よりもグループへの負担を軽くし、あわせて養成等の支援のニーズが高まっている
- ・ 障がい者スポーツを気軽に楽しめる場所の確保が難しい
- ・ スポーツ施設のバリアフリー化等の予算確保が難しい
- ・ パラスポーツの場合、ポッチャ以外の体験イベントをする際の道具の確保（スポーツ用車いすなどの専門用具が大変。また、競技を始めたいときに道具が高額であること）

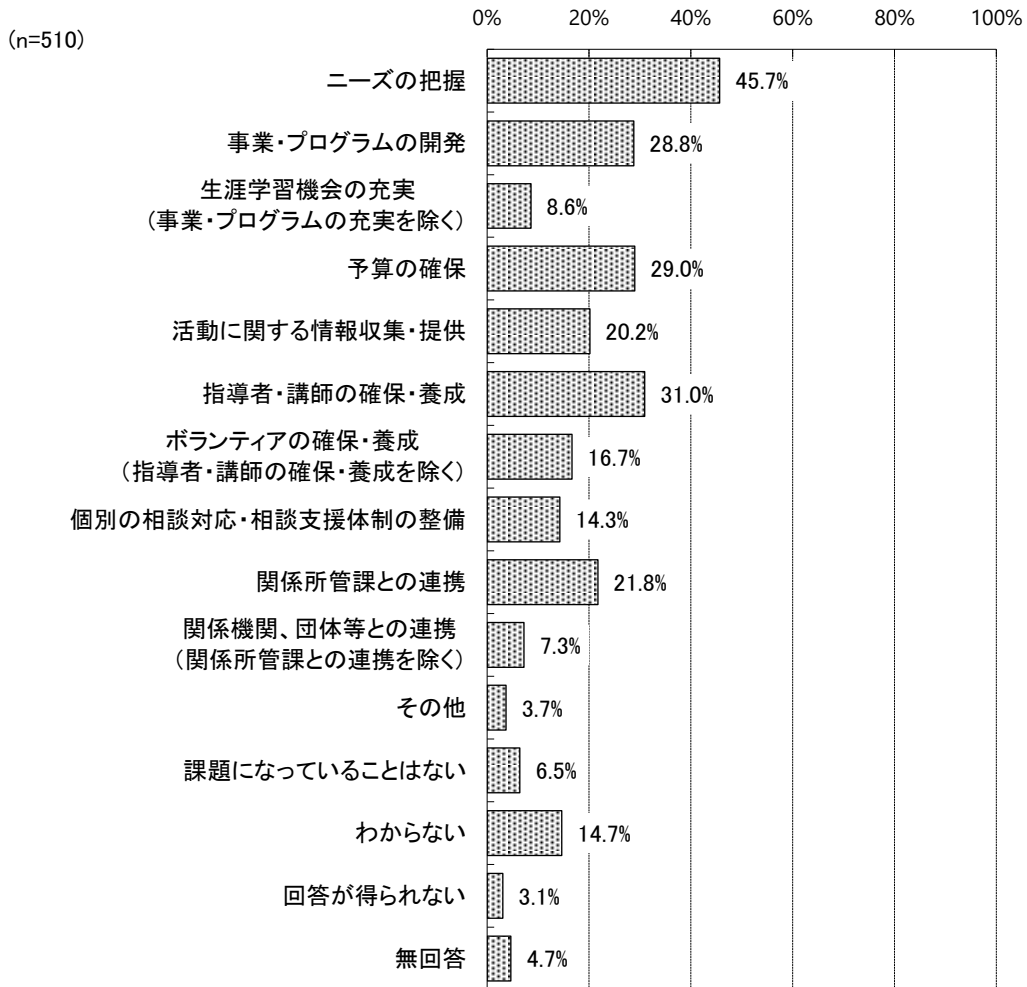
<その他>

- ・ 障害者が、スポーツを通じて地域社会とのつながりや学ぶ場をつくっていくことは非常に重要なことと考えるが、障害の種類や程度は一人一人違いがあり、その理解や学習対象者への配慮について、どのような関係機関へ相談及び連携を図っていくのが良いか判断が難しい
- ・ コロナ感染拡大が心配なので積極的に活動することが難しい / 等

6) 障害福祉担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 45.7%となっている。次いで、「指導者・講師の確保・養成 (31.0%)」、「予算の確保 (29.0%)」となっている。

図表 2-214 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_障害福祉担当課 (複数選択)



図表 2-215 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_障害福祉担当課（複数選択）（自治体種別）

		合計	ニーズの把握	事業・プログラムの開発	生涯学習機会の充実 (事業・プログラムの充実を除く)	予算の確保	活動に関する情報収集・提供	指導者・講師の確保・養成	ボランティアの確保・養成 (指導者・講師の確保・養成を除く)
自治体種別	Total	510	233	147	44	148	103	158	85
		100.0%	45.7%	28.8%	8.6%	29.0%	20.2%	31.0%	16.7%
	政令指定都市	13	5	2	0	2	3	2	1
		100.0%	38.5%	15.4%	0.0%	15.4%	23.1%	15.4%	7.7%
	中核市	35	15	4	4	12	6	14	8
		100.0%	42.9%	11.4%	11.4%	34.3%	17.1%	40.0%	22.9%
	特別区	13	6	6	2	5	2	3	2
		100.0%	46.2%	46.2%	15.4%	38.5%	15.4%	23.1%	15.4%
その他の市	265	115	71	22	81	55	71	43	
	100.0%	43.4%	26.8%	8.3%	30.6%	20.8%	26.8%	16.2%	
町	158	79	55	13	41	30	59	27	
	100.0%	50.0%	34.8%	8.2%	25.9%	19.0%	37.3%	17.1%	
村	26	13	9	3	7	7	9	4	
	100.0%	50.0%	34.6%	11.5%	26.9%	26.9%	34.6%	15.4%	

		合計	個別の相談対応・相談支援体制の整備	関係所管課との連携	関係機関、団体等との連携 (関係所管課との連携を除く)	その他	課題になっていることはない	わからない	回答が得られない	無回答
自治体種別	Total	510	73	111	37	19	33	75	16	24
		100.0%	14.3%	21.8%	7.3%	3.7%	6.5%	14.7%	3.1%	4.7%
	政令指定都市	13	0	5	1	2	1	1	1	0
		100.0%	0.0%	38.5%	7.7%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%
	中核市	35	4	5	2	0	1	5	4	1
		100.0%	11.4%	14.3%	5.7%	0.0%	2.9%	14.3%	11.4%	2.9%
	特別区	13	0	4	3	2	1	0	0	1
		100.0%	0.0%	30.8%	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
その他の市	265	33	52	20	13	16	39	8	14	
	100.0%	12.5%	19.6%	7.5%	4.9%	6.0%	14.7%	3.0%	5.3%	
町	158	30	41	11	2	9	28	2	8	
	100.0%	19.0%	25.9%	7.0%	1.3%	5.7%	17.7%	1.3%	5.1%	
村	26	6	4	0	0	5	2	1	0	
	100.0%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	19.2%	7.7%	3.8%	0.0%	

図表 2-216（課題がある場合）具体的な内容_障害福祉担当課（自由記述式）

<ニーズ把握、取組等への反映>

- ・ ニーズの把握：ニーズを把握しても、以下「関係所管課」に記載してある内容により、推進が妨げられている。関係所管課との連携：どこの課が所管課として実施するのか（例：障害者スポーツ＝スポーツ担当課 or 障害者担当課など）を決定するのが困難なことから連携することができておらず、推進を妨げる要因となっている
- ・ ニーズを把握できておらず、具体的にどのような指針を打ち出せばいいかわからない
- ・ 障害は多様であるため、障害者の生涯学習に対するニーズ把握は容易ではない
- ・ ニーズの把握が難しく、本町地域活動支援センターにおいて数年利用者が変わっておらず固定されている
- ・ 就労、社会参加に向けての訓練等の支援が主であり、生涯学習のニーズの把握や情報収集をする視点が欠けていることが課題

<連携>

- ・ 障害福祉担当課と生涯学習担当課でそれぞれの分野のノウハウを持っているが、連携が十分でないために、障害者の生涯学習活動に関する取組が不十分になっている
- ・ 生涯学習という視点での庁内連携は、スポーツ以外では進んでいない
- ・ 各機関でどのような活動が行われているかすべて把握し、情報提供することは難しい。生涯学習の推進をしたくても、各関係所管課の連携なく進めていくことは難しい

<体制整備>

- ・ 指導者・講師の確保・養成：障害者団体加入率の低下や高齢化に伴い、依頼先や人員の養成、確保が困難になっている
- ・ スポーツ参加の希望や余暇活動等、相談支援事業所等を通じて相談されることはあるが、既存の団体を相談時に紹介する程度。新規事業を検討する余力がない
- ・ 事業開発や、指導者育成につながる予算の確保が困難であり、事業の展開に困難な点がある
- ・ 財政状況の逼迫により、基本的な障害福祉サービスの予算の確保をすることで精一杯の状況であり、国からの100%の予算の支援がない限り、新たな事業の構築が難しい。また、障害種別や状態によりニーズが異なる（例えば、身体障害の中でも視覚障害と聴覚障害では、ニーズが異なり、全盲なのか弱視なのか、生まれたときから耳が聞こえないのか、中途失聴なのか等の本人の状態によっても異なる）ことからそれに対応する形で生涯学習の場を提供することは、理想的ではあるが、対応できる人員体制や予算を確保することができない
- ・ 障がい者の生涯学習事業等に係る専門的知識を有する職員の不在、及び、講師派遣等に係る予算確保が厳しい財政状況

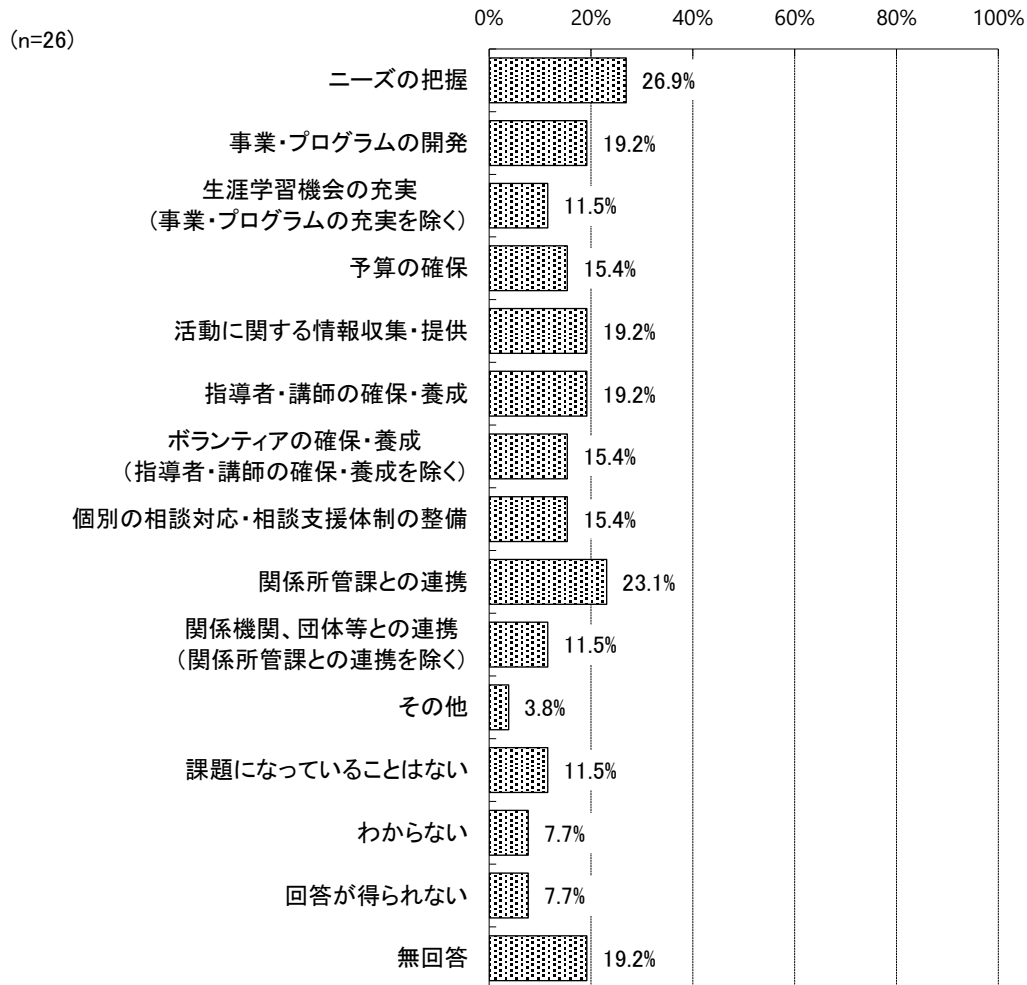
<その他>

- ・ そもそも人口が少ないため、障害者独自のイベントなどを行う機会が少ない
- ・ 移動に必要な市のバスの確保が困難であり（保有は1台のみ、予算に制限あり）、民間会社のバス借用では高額となるため他市での学習や活動、社会参加に制限が生じている / 等

7) 障害福祉担当課以外の福祉担当課

「ニーズの把握」の割合が最も高く 26.9%となっている。次いで、「関係所管課との連携 (23.1%)」、「事業・プログラムの開発 (19.2%)」、「活動に関する情報収集・提供 (19.2%)」、「指導者・講師の確保・養成 (19.2%)」となっている。

図表 2-217 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_障害福祉担当課以外の福祉担当課 (複数選択)



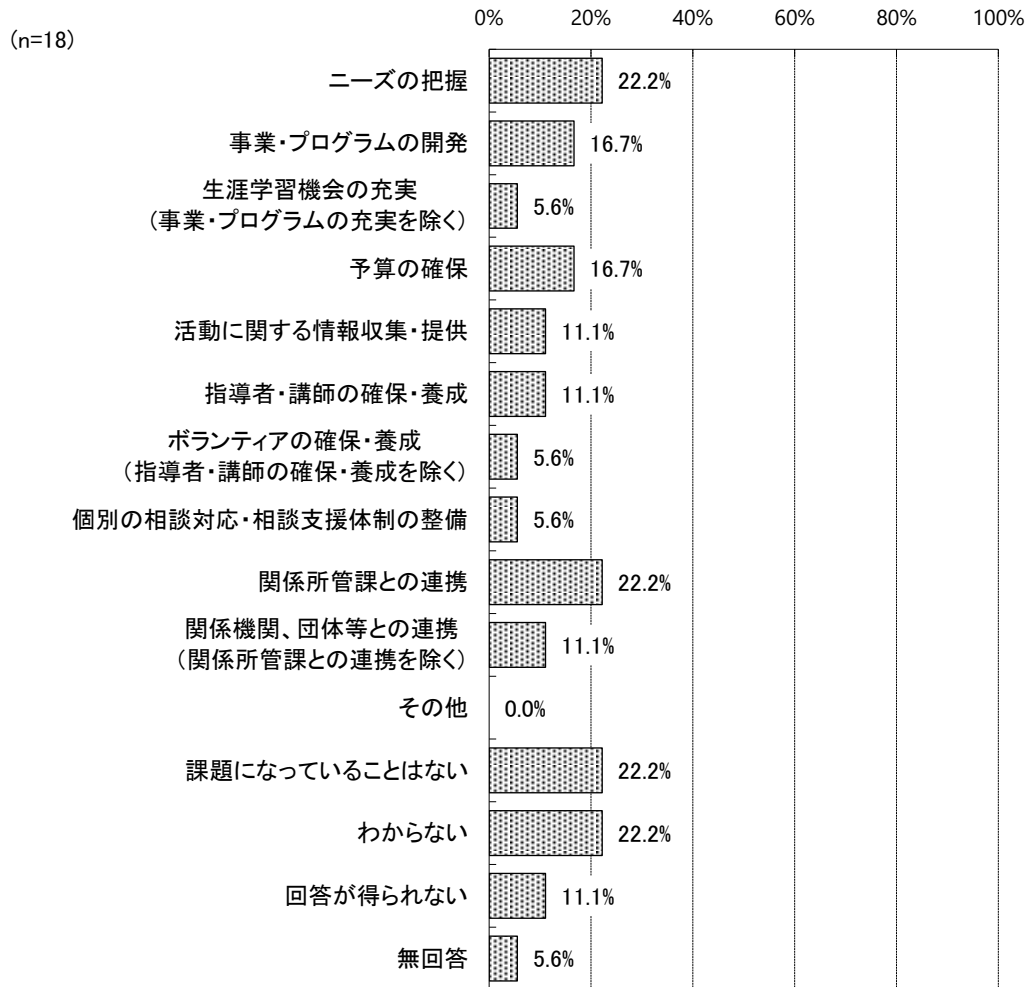
図表 2-218 (課題がある場合) 具体的な内容_障害福祉担当課以外の福祉担当課 (自由記述式)

- ・ 行った事業において利用者の減少があったため
- ・ 特別支援学校への進学は島外に居住される。島内とは状況が異なる為、一人一人に対しての都度の対応を迫られる
- ・ 就労に関するニーズをアンケート調査しているが、そのニーズを満たす支援ができていないため
- ・ 日常的な情報共有及び事業連携

8) その他の担当課

「ニーズの把握」、「関係所管課との連携」、「課題になっていることはない」、「わからない」の割合が高く、それぞれ22.2%となっている。

図表 2-219 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題_その他の担当課 (複数選択)



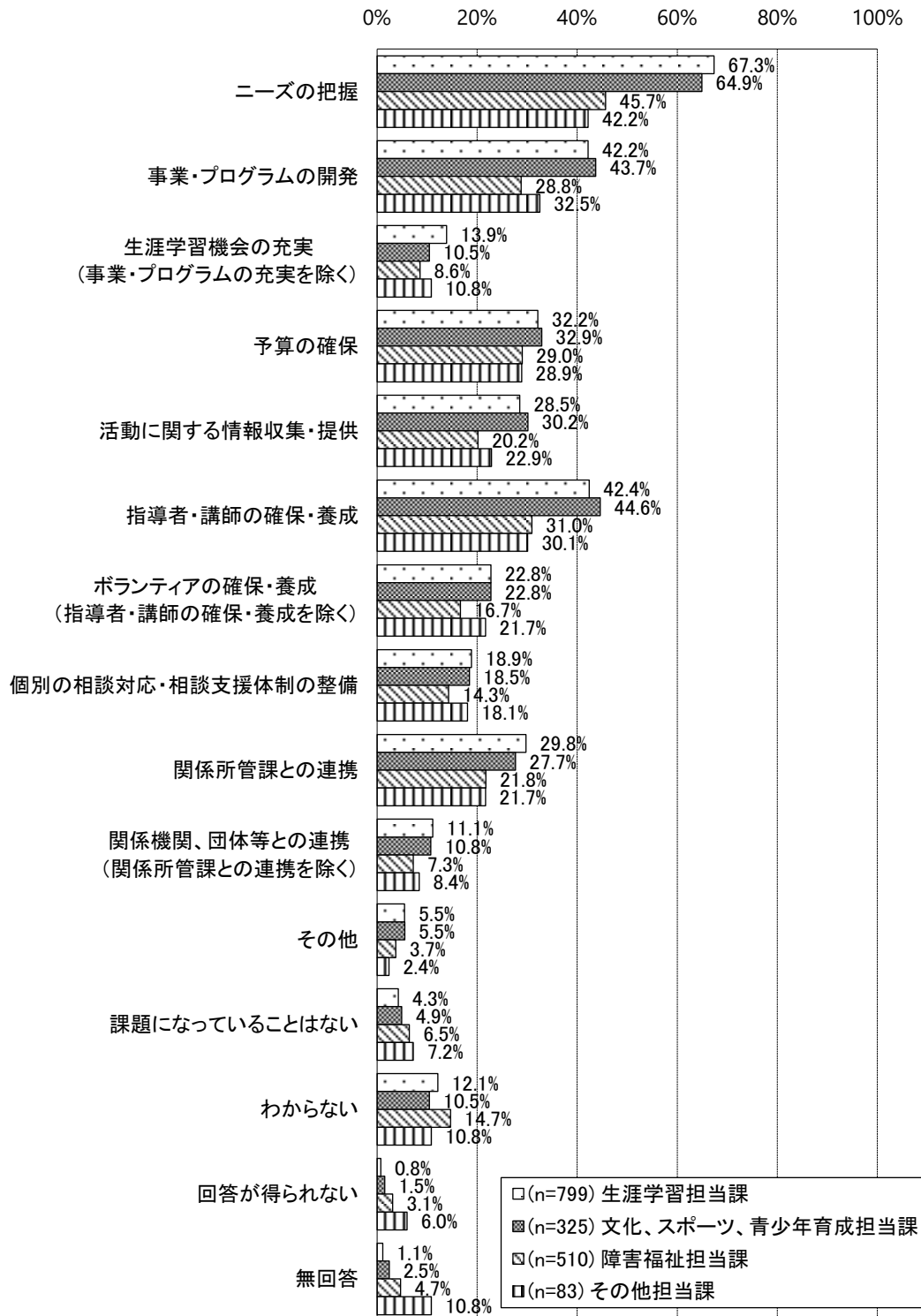
図表 2-220 (課題がある場合) 具体的な内容_その他の担当課 (自由記述式)

- ・ 障害者の生涯学習推進について議論する場が少ないため、関係所管課との連携が進まない
- ・ 障がい者の生涯学習に特化した担当課が決まっていない

③【統合】障害者の生涯学習活動を推進する上での課題

各所管課の回答を分野ごと（教育委員会内外の「生涯学習担当課」、教育委員会内外の「文化、スポーツ、青少年育成担当課」、「障害福祉担当課」、左記以外の「その他担当課」）に再整理し、集計を行った。

図表 2-221 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題（複数選択）（担当課別）



【ヒアリング調査結果】

積極的に障害者の生涯学習推進に取り組む地方公共団体3か所（都道府県1か所、市区町村2か所）の調査結果を以下に示す。

図表 2-222 事例、所在地、特徴、ページ数

種別	対象	特徴	ページ
都道府県	大分県	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より文部科学省の委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」を受託 教育庁社会教育課が庁内外の関係部署・機関と協力してコンソーシアムを立ち上げ、実態把握調査や障害者向けプログラムの実施、障害者の生涯学習に関するホームページ作成等を行う 	p. 139
市区町村	東京都足立区	<ul style="list-style-type: none"> 区長部局である地域のちから推進部が、障がい福祉課等と連携をしながら取組を推進 障害者へのスポーツ紹介を行うスポーツコンシェルジュ（障がい福祉課に所属していた職員が、障害者や事業所からの相談に応じて情報提供や取組の定着までを支援）や障害者向けの運動・スポーツ教室等を実施 	p. 144
	千葉県船橋市	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の社会教育課、生涯スポーツ課、図書館、公民館と障害福祉課が担当 「第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）」で優先的に取り組むべき内容として設定したリーディングプロジェクトとして、各課が障害者の生涯学習に取り組む 	p. 150

(1) 大分県

1. 基本情報

①所管課、庁内の取組体制

- 障害者の生涯学習の所管課は、教育庁社会教育課。他に関わっているのは、教育庁特別支援教育課、福祉保健部の障害者社会参加推進室。
- 大分県では、令和4年度より、文部科学省の委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」（以下、実践研究事業）を受託している。社会教育課が担当し、「生涯を通じた障がい者の学び支援事業」として、全体の企画・運営を行っている。事業を推進するため、庁内外の関係者を構成員とする「地域連携コンソーシアム」（以下、「コンソーシアム」）を立ち上げており、庁内からは特別支援教育課、障害者社会参加推進室の参加も得ている。
- 特別支援教育課は、在学中の生徒への働きかけ、ニーズ把握、特別支援学校との連携で協力がある。在学中のニーズ把握が重要なので、特別支援教育課を通じて特別支援学校への協力依頼や調整を行っている。
- 障害者社会参加推進室は、地域生活支援・芸術文化スポーツ推進班があり、車いすマラソンのような大分県スポーツ協会等の取組が多くある。スポーツや芸術分野での取組で連携している。
- 社会教育課が事業所とつながりを持ちたい際に、障害者社会参加推進室や障害福祉課に間に入ってもらうことがある。

②障害者の生涯学習について、計画での位置付け

- ・ 大分県障がい者計画はあるが、これまでに、障害者の生涯学習を盛り込んだ計画は策定されていない。

③実践研究事業に参加した経緯

- ・ 障害者スポーツ・芸術分野では、様々な取組（車いすマラソンやおおいた障がい者芸術文化支援センターのオープンカレッジ等）があったが、社会教育・生涯学習の分野では、公民館講座や青少年教育の取組において、障害者を排除してきたわけではないが、実際には障害のある方の参加が得られていなかった。昨年度、特別支援学校の勤務経験がある職員から、特別支援学校卒業後に学びの場や、ふらっと立ち寄れる場所がないという声があがった。また、国の第3期教育振興基本計画にある「障害者の生涯学習の推進」について、これまで本県は取り組んでこなかったという問題意識もあった。卒業後の居場所づくりや余暇支援の事業を立案できないか検討していた際に、文部科学省の実践研究事業を見つけて、活用することになった。
- ・ 予算要求の段階で、特別支援教育課や障害者社会参加推進室と打合せを行った。その時点では、教育委員会が福祉保健部と連携することはほとんどなかったため、事業の目的や社会教育として推進する意味等を丁寧に説明して、協調の雰囲気作りから行う必要があった。障害者社会参加推進室は、既に障害者によるスポーツや芸術文化活動に注力していたので、手探り状態で協議を重ね、協力を仰いだ。
- ・ 昨年夏ごろから事業の組み立てを始め、11月頃に予算審議、3月に文部科学省への申請という流れで事業の内容を具体化していった。

2.体制整備の状況について

①庁内での連携状況

- ・ 実践研究事業をきっかけに、各課が相互に連携するようになってきている。例えば、障害者社会参加推進室が県のスポーツ大会を開催する際に、特別支援教育課に周知依頼を行う等の動きが見られた。
- ・ 社会教育課としては、2つの所管課には、コンソーシアムへの参加だけでなく、ホームページの作成、コンファレンスの開催、特別支援学校への出前講座等で協力を得ている。また、公民館での講座開催に際して講師を紹介してもらったり、障害福祉事業所との仲立ちをしてもらったりしている。
- ・ 県立図書館とは、公民館向けの研修の運営、障害者の生涯学習に関するホームページの作成で協働した。

②庁外との連携状況

- ・ 社会教育課は、特別支援学校や障害福祉の事業所への伝手を持っていなかったため、庁外資源との連携にあたっては、各所管課、コンソーシアムの委員¹が紹介、調整の役割を担ってくれた。例えば、青少年の家で行うワンデイキャンプで事業所の協力を得た際には、県の障害福祉課が会議の場を設定するなど“つなぎ”の役割を果たしてくれた。
- ・ 社会教育課が市町村と連携を取る際の窓口は、教育委員会になる。市町村の障害福祉担当部署と直接連携はすることは難しい。県の社会教育課、障害福祉課と話すときに、市の障害福祉課が同席するような形になる。

(コンソーシアム)

- ・ コンソーシアムの立ち上げにあたっては、構成員を集めることが最も大変だった。社会教育課で構成員のたたき台をつくり、特別支援教育課と障害者社会参加推進室に意見をもらった。障害種ごとに意見をもらえるように当事者団体は3団体入ってもらった方が良いという助言や、熱心に取組を行っている芸術・文化・スポーツ団体等の推薦を受

¹ 構成員は、県教育委員会（社会教育課、特別支援教育課）県福祉保健部、特別支援学校、大分大学、大分市・別府市教委、県社会福祉協議会、企業、当事者団体、芸術文化・スポーツ団体

けて修正した。その後、一人一人に対して、上司と一緒に対面をお願いに行った。

- ・ 依頼した方たちは、概ね好意的に受け止めてくださり、「自分たちも取り組まないといけないと感じていたので良い機会になる」、「卒業後の学び・居場所の拡大のために協力したい」という言葉もらった。中には、「既に取組は進んでいるのに、いまさらなぜ行のか。公民館での取組に参加してもらえればいいのではないか」という指摘もあった。実態としては公民館等での参加が進んでいないので、障害者に焦点を当てた講座を開発していきたいという話をした。
- ・ コンソーシアムは、何かを決定したり諮問したりする場ではなく、知恵を借りる場、意見や助言をもらう場だと認識している。そのため、構成員のバランス、多様性が重要であり、様々な分野、性別の人に参加してもらうことがポイントか。

(個別の取組での連携)

- ・ コンソーシアムをきっかけに、構成員間での個別の連携が広がっている。公民館の講座では、おおいた障がい者芸術文化支援センターから講師派遣を受けたり、実践研究事業の一環として開催した「ともに学び、生きる共生社会コンファレンス」では、障害者の余暇活動を支援する団体「ヨカたの」に演奏してもらったりした。あすびあおおいた（大分県身体障害者福祉センター）には講師が多く登録されているので、特別支援学校への出前講座の派遣に協力していただいた。大分大学には、青少年の家、公民館を視察して、プログラムへの助言をいただくことがあった。このような連携は、社会教育課を通じて行われているわけではなく、各団体が相互に声を掛け合って動いている。

③人材育成の取組

- ・ 県内市町村公民館の関係職員を対象に、年2回研修を行った。県の社会教育課が企画し、県立図書館の学校・地域支援課が運営を行っている。教育委員会での人材育成講座は、今年度から始めたので、同じく文部科学省の実践研究事業を受託している愛知県春日井市のように体系的、継続的にできているわけではない。
- ・ 千歳公民館（豊後大野市）のひょうたんカレッジという取組（詳細は後述）の中では、協力者養成講座を1回実施した。
- ・ 現在は、講義というよりも、障害者向けのプログラムを企画・運営する中で、現場の専門性のある関係者の助言や実際の参加者の反応から、学んでもらっている。大分大学でも知的障害向けの講座をする中で、言葉だけでなく視覚的な伝達が大事といった学びを得ていた。ボランティアと指導者の育成については、実践的な取組が研修の場になっているように思う。
- ・ 社会福祉協議会ではボランティア講座等が以前から行われている。
- ・ 点字図書館が点訳・音訳ボランティア養成を行っているが、現段階では活動の場は点字図書館となっており、県立図書館での資料製作や対面朗読等は行われていない。なお、大分県立図書館では、点字図書館と大分県立図書館協議会（県立図書館の取組について協議をする場）を通じて連携しており、来年度以降、県としてどのように読書バリアフリーを推進するか検討する予定になっている。

④ニーズの把握

- ・ 障害者の余暇活動についての取組は、大分市・別府市以外の地域では、あまり行われていないのではないかと認識があり、具体的な実態（行政・社会教育施設の取組状況、課題等）とニーズ把握を基にした講座・プログラム開発を目的に、アンケート調査を行った。調査対象は、①特別支援学校高等部3年生・保護者・教職員、②公立社会教育関係施設、③市町村の生涯学習担当課、④障がい者就労支援施設である。
- ・ 調査結果では、当事者と支援者でニーズが異なる点、社会教育関連施設は障害者の学びに取り組みたいが、人的配置・予算、物理的にバリアが多い建物等により実施できない点などが印象に残った。行政の取組状況としては、臼杵市、国東市など、一部の自治体や公民館で障害者の学びについての取組が見られた。課題としては、予算確保、職員配置やスタッフ・ボランティアの確保、施設が古く、多目的トイレや段差などで指摘があった。
- ・ 調査結果は今後の施策反映に活かす予定である。千歳公民館で行ったスマートフォン講座が好評であり、アップデ

ートの頻度が高い機器については、卒業後も学び続ける必要性を感じた。社会的なスキル・生活の上でのスキルに関する講座の開発が必要である。アンケートの回答では、家族・職員・支援者があるとよい活動として、社会生活に必要な知識や技術に関する学習が多かった。

- ・ コンソーシアムでは、障害のある人と障害のない人が一緒に取り組めるといいが、障害特性によってニーズが異なり、柔軟に対応を変えないといけなくともあると指摘があった。一緒に行える講座と、障害者のスキルを伸ばすための講座の2つがあると良い。スマートフォン講座では、個々人でスキルや行いたいことが異なり、一斉対応が難しかった。手探りで進めていくものと認識している。

3.取組内容

- ・ 障害者向けのプログラムは、他の課が所管する年度内の大会・イベントを全て集めると、約100件以上ある。
- ・ 社会教育課で行っているプログラムは、実践研究事業で行う、①大分大学の生涯学習講座、②県立香々地・九重青少年の家のワンデイキャンプ、③千歳公民館のひょうたんカレッジ、④特別支援学校への出前講座の4つである。

①大分大学の生涯学習講座

- ・ 知的障害者を対象に5回の講座を実施。今年はニーズをつかむことが目的だったので、2時間プログラムで、前半は太極拳やダンス等の体を動かす内容、後半は学生ボランティアと一緒に取り組む、得意なことや好きなこと、やりたいことを考えるワークショップとした。企画は、大分大学の岡田正彦教授（コンソーシアムの構成員）。

②県立香々地・九重青少年の家のワンデイキャンプ

- ・ 香々地青少年の家は3回、九重青少年の家は1回、障害福祉サービス事業所単位で参加してもらう日帰りキャンプを実施。
- ・ 青少年の家が事業所と事前に打ち合わせを行い、プラネタリウム、創作活動、ペタンクなどニーズに合わせて実施内容を調整した。県立青少年の家は社会教育課が所管しているので、企画は、青少年の所長と社会教育課の担当者が中心となって進めた。最初は県・市がつなぎ役を務め、その後、事業所と青少年の家が直接やりとりをした。
- ・ 対象の障害種は特に定めず、希望した事業所にいる方が対象になる。知的障害者の参加が多く、1回あたり約40人が参加した。今回は事業所職員も参加したので、一人ひとり特性に応じたケアができていたが、青少年の家のスタッフだけでの対応はまだ難しいように感じた。
- ・ 今後は通常利用してもらうようになることが目標である。家族単位、企業、学校単位でも利用できる施設なので、利用希望に応じて利用できるようなると良いと思う。
- ・ 青少年施設については、非日常を体験してもらうということで、不便なところがある。自力で来てもらうことは難しく、社会教育課がバスを手配した。建物的にもバリアが多く、段差がある点、多目的トイレが各階にない点、車いす利用者はトイレのために施設間で移動が必要な点等が課題としてあった。実施場所や導線、休憩時間の確保等で工夫が必要である。移動・トイレの時間も20分程度は必要だった。怖くてバスからすぐ下りられない人もいた。

③千歳公民館のひょうたんカレッジ

- ・ 社会教育課から千歳公民館に依頼をして実施。全5回の開催で、第1回は協力者養成講座、第2回は卓球バレーとボッチャ、第3回はお金に関する講義と琴の演奏体験、第4回は門松とおやつづくり、第5回はスマートフォン教室とVR・ドローン体験。
- ・ 公民館の代表者が、地域の社会福祉協議会、事業所、特別支援学校等に足を運び、ニーズを確認しながら企画・運営した。公民館は、これまでにこれらの団体とつながりはなく、市の障害福祉所管課経由で声をかけて連携を

始めた。

- 千歳公民館のある豊後大野市では、複数の公民館があり、プログラムを横展開していく可能性もあるが、職員確保で課題がある。ひょうたんカレッジ実施時も他の公民館から職員を集めて実施しており、横展開は難しそうである。

④特別支援学校高等部3年生および保護者対象の出前講座

- 社会教育課の職員が講師となり、3つの特別支援学校で出前講座を実施。高等部3年生を対象に、卒業後にしたいことをテーマにした簡単なワークショップを行い、ホームページの紹介、卓球バレー、フライングディスク、絵手紙講座等を実施した。反省点は、卒業前の忙しい時に開催したことと、3年生に限定せず1～2年生にもしてよかったこと。授業参観の時間を出前講座にあててくれた学校もあり、保護者の関心の高さが印象的だった。卒業後、こういう場があると良いという話を伺えてよかった。

⑤その他の情報提供・支援

- 「ともに学び、生きる共生社会コンファレンス」（九州・沖縄ブロック）を実施。参加者は、参集が73名、オンラインが最大64名であった。行政職員だけでなく、福祉関係者、事業所の職員、特別支援学校の教員、一般の保護者等が参加していた。2月はイベントが多い時期なので、もう少し早くできると良かったかもしれない。別府市民会館のような歴史ある建物を押し出す等、もっとPRすればよかった、九州沖縄ブロック大会なので、九州の他の県の事例を紹介できると良かった等の思いがある。
- 障害者の生涯学習に関するホームページ「かたろうえ大分」（<https://www.kataroue-oita.jp/>）を開設。主に、コンソーシアムの構成員に情報提供を依頼して作成した。県からの教育だよりやFacebookなどで情報提供を呼び掛けている。ホームページをみた人から連絡をもらって情報を追加している。情報収集はもう少し頑張りたい。コンソーシアムの構成員を探すときに、インターネット上では情報がなく苦労をした経験から、情報が整理されているサイトがあると良いと考えた。閲覧数は1200回超であり、お褒めの声はいただくが、ホームページ経由で参加があったかは把握できていない。参加までつながる事例を増やしていけると良いと思う。
- 市町村に対しては、県が、会場選定や啓発、競技紹介等で支援している。また、地域の団体には、補助金等による物心両面からの支援を行っている。

4.その他、課題等

- 学校卒業前にこの事業を知ってもらうことと、障害福祉事業所等を通じて広く周知することが課題。SNSを使った情報発信を提案されたが、ホームページの更新ですら週1回も難しい状況にある。広報は今後の課題である。
- 障害理解が深まっていないので、人材をどのように育てるか。18市町村それぞれで、年1～2回でも障害のある人が集まって、語らう場を公的施設で作れると良いと思っている。事業に取り組む中で、参加者の喜ぶ顔を見ることが幸せだった。限られた地域でしか取り組めていないので、全県で取り組めると良いと思う。
- 県としては、市町村に、講師の紹介や派遣はいくらでもすると話している。事業に協力する公民館は、次年度は3つに増やしたい。今年度の協力者は、「やってみたらなんてことなかった」と言ってくれているが、初めの一歩を踏み出すことは怖さがあり、踏み出すまでに時間がかかる。千歳公民館の事例で、できそうだなと感じた公民館1～2か所出てきている。事例を積み重ねることで、ハードルを下げて、取組の輪を少しずつ広げていく必要があるだろう。

(2) 東京都足立区

1. 基本情報

①所管課、庁内の取組体制

- ・ 以前は、教育委員会で生涯学習を所管していたが、組織改編があり、現在は、区長部局である地域のちから推進部でその一部を担っている。地域のちから推進部内の生涯学習支援室として、地域文化課、生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館がある。
- ・ 地域文化課：文化団体の支援や文化施設の管理等を行う部署。特徴的な施設として、郷土博物館やこども未来創造館（ギャラクシティ）があり、当該施設の管理も行っている。コロナ禍で活動が制限される中での文化活動の活性化を考えながら、日々の業務にあたっている。
- ・ 生涯学習支援課：区内 13 か所の地域学習センターや、地域学習センターを基幹する生涯学習センター（1 か所）を所管している。地域学習センターでは、地域団体の支援や、交流会等への支援、趣味等の講座の開催等を行っている。各センターの運営は民間事業者の指定管理者が行っており、区としては、指定管理者の選定と管理運営に対する評価を行っている。
- ・ スポーツ振興課：区内のスポーツ施設の管理や、区内小・中学校を開放して地域住民・団体が活動できる取組を行っており、当該活動の管理などを所管している。その他、スポーツ振興の一環で、年間通してきっかけづくりとしてのイベントを開催している。また、スポーツ振興課では、障害者の運動・スポーツに関する相談窓口として、あだちスポーツコンシェルジュがある（詳細は後述）。
- ・ 福祉部障がい福祉課：障害施策全般を所管する。
- ・ 教育委員会子ども家庭部青少年課：生涯学習に関する取組を行っている。当該課では、社会教育という文脈で地域団体への支援や、地域の子どもへの社会教育を担っている。

②障害者の生涯学習について、計画での位置付け

- ・ 足立区障がい者計画（平成 30 年度から令和 5 年度）では、基本理念を実現する 4 つの視点を掲げており、視点 2「くらし」の中に、柱立て（4）「障がい者が身近な地域で芸術・文化・スポーツを楽しめる仕組みづくり」を位置付けている。活動指標としては、障がい者アート展の入場者数・出展応募者数、東京都障害者総合スポーツセンターに登録する区内障がい者数、障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者数を設定している。
- ・ また、足立区第 6 期障がい福祉計画・足立区第 2 期障がい児福祉計画（令和 3 年度から令和 5 年度）でも障がい者計画と同様の柱立てとしている²。
- ・ 生涯学習の視点では、令和 2 年に、足立区文化・読書・スポーツ分野計画として、足立区文化芸術推進計画、足立区読書活動推進計画、足立区運動・スポーツ推進計画の 3 つの計画をそれぞれ策定した。令和 2 年から計画期間 6 年の現在 3 年目になり、計画の中間見直しの時期となっている。今後、障害者へのスポーツコンシェルジュ等の視点を盛り込む等、中間の見直しを図っている。
- ・ 中間の見直しでは、スポーツに関する計画の推進委員会で、視覚障害のある方が参加している。
- ・ また、スポーツの場合、計画に障害者の視点を位置付けるきっかけに、オリンピック・パラリンピックがあった。
- ・ なお、文化・読書・スポーツ推進計画策定以前にも、生涯学習に関する計画（第二次生涯学習推進計画（平成 12 年度から平成 19 年度））があった。

² 補足：活動指標については、東京都障害者総合スポーツセンターに登録する区内障がい者数から、あだちスポーツコンシェルジュ利用者数となっている。（出所）足立区第 6 期障がい福祉計画第 2 期障がい児福祉計画【概要版】
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/documents/37141/6syogai-2syogaiji-gaiyou-1.pdf>

2. 体制整備の状況について

①庁内での連携状況

- ・ 障がい福祉課との連携については、足立区文化・読書・スポーツ分野計画では様々な事業を掲載しているが、その中の1つに「障がい者アート展」を掲載している。その他、現行の計画では、障害者を視点として明確な事業や方針までは掲載していないものの、例えば、文化を軸に、シティプロモーション課や青少年課（音楽での連携）、生涯学習支援課等、他部署間での連携をしている。また、公益財団法人足立区生涯学習振興公社との連携もある。スポーツや読書も同様に他部署等との連携がある。
- ・ 障がい福祉課では手話通訳者・要約筆記者の派遣を行っていて、講座・講演会等で手話通訳などが必要な場合は、障がい福祉課に相談し、委託事業者から通訳者を派遣してもらうという連携もある。
- ・ また、障がい福祉課では、ヒアリンググループの貸出を行っているが、区役所での受け取り・返却が必要だったため、昨年3月から現場で利用できるヒアリンググループを公共施設でも1台導入している。
- ・ スポーツコンシェルジュの取組では、スポーツの関係者（指導者、団体等）との関わりはあるが、障害者や障害者施設とのつながりが弱かったため、最初は障がい福祉課を通じて、施設の情報などを得ていた。
- ・ 生涯学習支援室は区長部局、青少年課は教育委員会と、組織が分かれているが、区長が組織を横ぐした連携を進めているので、教育委員会とも連携をしやすく、やりづらさはないと思う。
- ・ 連携における課題として、スポーツ振興課でのスポーツコンシェルジュの取組からスポーツでは広がりが見られるが、その他の文化等の分野では、「どなたでも」という認識で事業展開している。今後は区民・参加者に認識していただけるような取組が必要と考えている。

②庁外との連携状況

- ・ 生涯学習支援課が所管する施設の指定管理者が、障害者が外出する機会が少ないことを背景に、近隣の障害者施設と連携しながら、講座や体験プログラム等を行うことがある。
- ・ スポーツに関しては、スポーツ推進委員が80名ほどいる。パラスポーツ体験会を定期的に開催しており、その運営をスポーツ推進員が担っている。2月はパラスポーツ推進月間として取り組んでおり、毎週末にパラスポーツ関連のイベントを開催しており、その点での連携もある。また、障害福祉サービス事業所との連携として、事業所の利用者向けに楽しめる運動・スポーツを紹介してほしい等の照会もあり、イベントがあったときに利用者に情報提供している。また、区が主催する障害者スポーツ指導員の講習を受けた方にボランティア登録をもらい、障害者スポーツ関連のボランティアを依頼している。
- ・ 特別支援学校との連携については、スポーツコンシェルジュは区役所内に設置された窓口だが、出張相談のような形で特別支援学校の文化祭にブースを出したり、ポッチャのイベント時に審判ができる人を紹介したりしている。また、2月のパラスポーツイベントでは、招待選手として特別支援学校の生徒にも参加してもらった。スポーツを軸に様々な団体等に声がけしている。

③人材育成の取組

- ・ 足立区では、障がい者スポーツ指導員の養成講習会を開催している。当該講習は、日本パラスポーツ協会が認定するもの。養成講習会は、年1回（全4日間）。年間20名ほどが参加する。令和元年度の参加者が28名と最も多い。
- ・ 平成25年からパラスポーツの取組（イベント）、平成27年から障がい者スポーツ指導員の講習がそれぞれ開始。パラスポーツのきっかけを作るだけでなく、支援者を増やすことを目的として、講習会が開始された。今後は講習を受けた方がボランティアや活動に結びつけられるようにしていきたい。

- ・ なお、スポーツ推進委員（非常勤職員）は、地域とスポーツを繋ぐ役割を担っているが、前述の障がい者スポーツ指導員とは別組織という立て付けである。ただし、スポーツ推進委員が障害者スポーツ指導員の養成講習会に参加することはある。
- ・ 障がい福祉課では、小・中学校を対象に、障害理解促進の取組として、障がい福祉課職員が学校に出向いて特別授業をしたり、車いす体験教室等を実施していると聞いている。また、手話通訳は登録制であるが、障がい福祉課で区民向けの手話講習会を開催している。

④ニーズの把握

- ・ スポーツでは、イベント開催時に参加者にアンケートを実施している。また、スポーツコンシェルジュが直接様々な相談を受けるので、その中でニーズを聞き取っている。なお、スポーツコンシェルジュの周知のため、障害者施設を訪問し、ニーズを聞き取ることもある。
- ・ 足立区文化・読書・スポーツ分野計画策定時（平成30年度）には、一般区民向けアンケートと小・中学生向けアンケートを実施した。令和3年度には、令和4年度から令和5年度に取り組む3分野計画の中間検証に向けた基礎調査としての「文化・読書・スポーツに関するアンケート調査」において、平成30年度時の対象に加えて、障がい者を対象とする実態調査を行った³。

3. 具体的な取組内容

①スポーツコンシェルジュ

(背景)

- ・ オリンピック・パラリンピック東京大会が決まったが、足立区での競技の開催がなく、区としてできることを検討していた。その際に、スポーツ振興センターから、オランダからパラスポーツを通じて社会を変えるプロジェクトを立ち上げたいとの申し出があると紹介があり、江戸川区・西東京市との協働プロジェクトが開始された。障害者に対してスポーツに関する紹介窓口があるというオランダの事例を聞き、オリンピック・パラリンピックのレガシーにもなるだろうと、障害者へのスポーツ紹介を行うスポーツコンシェルジュの立ち上げに至った。
- ・ また、推進するにあたって、地域のスポーツ団体や、障害者施設の事業者との意見交換の場を設け、障害側からの意見を踏まえ、どのくらいのニーズがあるかは分からなかったが、ニーズはあるという前提に立った。

(内容)

- ・ あだちスポーツコンシェルジュは、障害者の運動・スポーツに関する相談窓口。令和2年9月から開始。相談担当1名体制でスタートし、現在に至っている。
- ・ 現在、担当係長1人で担当。当該係長は、スポーツ振興課が5年目、コンシェルジュ担当になって2年目。異動前は障がい福祉課で日常生活支援を担当していたため、障害者の日常生活のイメージがついていた。現在の担当係長は事務職だが、コンシェルジュ担当は福祉職の配置など福祉の知識が必要である。
- ・ 相談を受ける障害の種類としては、身体障害者からの相談はほぼなく、知的障害や精神障害者からの相談が多い。
- ・ 相談内容としては、障害者個人からは、特定の競技を行いたいという相談が多い。区内に様々な競技団体はあるが、障害のない方だけの団体が多数を占める。障害者を断っているわけではないので、そうした団体を紹介するが、体験には行くもののその後に繋がらないケースがある。時折、区内の障害者向けのトランポリンクラブや知的障害のサッカー団体等を紹介して続くケースもある。また、時折、どのようなことができるか分からないという抽象的な相談もある。

³（ヒアリング後別途回答分）調査対象としては、足立区障害者団体連合会の加盟団体を含む9団体。肢体不自由や心身障害、視覚障害などの団体を通じて調査を依頼した。調査方法としては、郵送またはWebで200件配布し、うち98件の回答を得た。調査結果は「文化・読書・スポーツに関するアンケート調査報告書（令和4年3月）」に掲載している。

https://www.city.adachi.tokyo.jp/documents/47153/20221121anke-to_houkokusyo.pdf

- ・ 相談対応としては、質問に対して回答するまででよいが、その後も支援が必要かを相談者に確認し、先方が希望した場合、定着するまで支援できるように心がけている。
- ・ 令和2年度9月から開始し、現在まで2年半ほどになるが、相談件数としては累計90件ほど。コロナ禍でのスタートだったこともあり、当初の想定よりも相談件数が伸びなかった。最近では、コロナによる制限が緩和されつつあるので、相談が増えてきた。個人の相談を想定していたが、施設からの相談も増えている。平均して全体で月3~4件程度の相談がある。
- ・ コンシェルジュとして、直接顔を合わせて関係性づくりを行うことを心掛けている。事業所を訪問し、顔見知りの関係になっていると、相談してもらえたり、先方の反応も違うように思う。個別に事業所を回ることで、それが次の仕事に繋がることが多い。

(資源の把握)

- ・ 現在は、相談がある度に様々な手段を使って受け入れ先を探しながら紹介先を開拓している。東京都障害者総合スポーツセンターに問い合わせることもある。区内には障害者が運動・スポーツする場が少なく、場づくりをどのように行っていくかが課題。区が運動教室を開けばよいということでもないように思う。
- ・ その他に、東京都障害者スポーツ協会からは、情報提供や、障がい者スポーツ指導員の養成講習会での講師派遣の協力を受けている。東京都の障害者スポーツ部局と、都内の各自治体とのブロックごとの情報連絡会が今年度から開始しており、各自治体での取組の情報共有を行っている。

②障害者向けの運動・スポーツ教室

(区主催の教室)

- ・ 足立区では、特に障害者スポーツの推進に向けて、令和4年3月に東京ヴェルディと運動・スポーツに関する基本協定を締結し、東京ヴェルディに運動・スポーツ教室を委託している。活動内容として、週末に行なう個人向けと、平日に行なう事業者・団体向けの2種類がある。
- ・ 当該教室は、区主催。
- ・ 事業者向けの教室は令和2年度から、個人向けの教室は今年度から開始した。区の総合スポーツセンターに、スペシャルクライフコートというバリアフリーのコートがあり、障害者が優先的に利用できる。平日の利用率が低かったため、事業所や特別支援学校等が団体で利用できるよう、事業者向けの教室を平日に開催した。その後、障害者の運動・スポーツに取り組みたいニーズが見えてくるなかで、土日に取り組みたい方がいるのではと考え、個人向けの教室も開始した。
- ・ 負荷をかける運動・スポーツではなく、ハードルを下げた楽しめるように、ノウハウを持った東京ヴェルディの講師が上手く取り組んでいる。また、事前に東京ヴェルディから参加する事業者や個人に連絡し、参加者の状態を把握しているので、障害種別に応じたプログラムの調整ができています。

(区施設の指定管理者主催の教室)

- ・ その他に、例えば、区内のスポーツ施設では、障がい者向けの水泳教室や、障がい児向けのトランポリン教室がある。後者のトランポリン教室については、トランポリンクラブを運営している民間団体があり、区の施設まで出張してもらい、区講座として開催している。
- ・ また、ハンディキャップヨガとして、区の施設で障害者向けのヨガ教室もある。
- ・ これらは指定管理者が企画・運営している取組。

③その他の事業・取組内容 (ヒアリング後、別途後日回答分)

- ・ 中央図書館では、活字を読むことが困難な方や、図書館へ来館することが困難な方のためのハンディキャップサービスを行っている。活字を読むことが困難な方へのサービスとしては、録音・点字図書の郵送貸出、録音図書（デジ

一版)と点字図書に関する定期的な情報提供(人気のある図書の情報や図書館からのお知らせを収録した足立区立中央図書館発行の「声のおたより」や、都立中央図書館発行の「新着図書のお知らせ」を、録音図書(デジタル版)の形式で郵送)、録音図書再生機の貸出、読み上げソフトや点字プリンタが使えるインターネットパソコンの利用、図書館で所蔵している図書や雑誌を音訳者が読み上げる対面朗読、図書館への来館が困難な方へのサービスとしては、図書資料の郵送貸し出し(郵送にかかる費用や図書館が負担)を行っている。

- ・ また、図書館イベントとして、地域学習センター等を会場として、定期的な朗読会を行っている。「障がい者のしおり2021」の「10 社会参加⁴」では、都内の各種講習会として、東京都教育庁が窓口となっている視覚障害者教養講座や、視覚障害者音楽教室、日本点字図書館が窓口となっている視覚障がい者のためのIT教室、中途視覚障がい者のためのIT教室といった情報が掲載されている。また、足立区のウェブサイトでは、「朗読(音訳)奉仕員指導者の養成」として、東京都や点字図書館を問い合わせ先とする講習会の開催に関する案内を掲載している。
- ・ 教育委員会の青少年課では、特別支援学級または特別支援学校を卒業した16歳から29歳まで(新規申込の受講生)を対象に、生涯学習の一環として仲間づくりや学び・レクリエーション等を行う場として「あだち日曜教室」を実施している。受講生の余暇活動であり、学生は対象としていない。

④合理的配慮の状況

- ・ 例えば、公共施設等で講座を行う際に、障害者に対する割引の設定や、ヒアリングループの設置、Wi-Fiの活用等を行っている。
- ・ アンケート調査では、次の内容の合理的配慮の内容・工夫を回答した。これらは指定管理者で対応しているものになる。
 - 太極拳講座において、車いすの方でも上半身のみを使い楽しめる内容に工夫している。
 - 御朱印帳づくり講座において、発達障害の子どもも取り組めるよう職員の人員体制を充実させている。
 - 一部のパラスポーツ教室や体験会について、障がい者が優先的に申込み予約できるようにしている。
 - 手話通訳が必要な方が参加する場合、事前に申し出いただくことで手話通訳を手配するようにしている。
- ・ ハード面では、公共整備の設置基準に基づき、今後改修する施設には、オストメイト、音声誘導装置等の設置も検討している。

⑤本人に対する支援

- ・ 本人に対する支援内容として、「ガイドヘルパーの派遣」をアンケートでは回答した。これは、地域生活支援事業における移動支援のことで、余暇活動(映画等)に対しても利用可能としている。
- ・ また、障がい福祉課で、計画相談支援事業所の相談支援専門員に、ケアプランを策定する際、障害福祉サービスの利用だけでなく、スポーツや文化的な活動も視点に加え、QOLの向上を意識してほしいと、研修会等で周知している。

4. その他、課題等

- ・ 障害者への合理的配慮を行うには、障害者のニーズや声を的確に把握する必要がある。
- ・ 障害の程度や種別が多様なので、どの程度きめ細かく対応できるか。区としては、できることとできないことがあるが、障がい者がパラスポーツをするうえで支援者に必要なスキルをコンシェルジュが情報収集し、継続的に実施できる取組みを展開していくことが大事である。地域学習センター等での展開については、指定管理者と連携しながら進めていきたい。

⁴ (出所) 足立区.障がい者のしおり2021. <https://www.city.adachi.tokyo.jp/documents/45871/100shakaisanka.pdf>

- ・ 障害者は卒業後に運動できる場が少ないと感じており、そういった場を増やしていくことが必要。そのような中でも地域で活動している方たちもおられるので、このような「点」と「点」を「線」にし、さらに「面」に繋げることができれば、もっと広がりが見えてくると思う。そのための仕組みづくりが必要と考えている。
- ・ また、支え手となる障害のない方の意識啓発も必要だと思う。そのためには、教育が鍵だと思う。大人になってから価値観を変えることは難しく、幼少期から日常的に障害者がいて当たり前環境になることが必要。障害の有無にかかわらず一緒に過ごす場面があると良いと思う。そのためにスポーツは一つの手段だと思う。

(3) 千葉県船橋市

1. 基本情報

①所管課、庁内の取組体制

- ・ 生涯学習部社会教育課：生涯学習の推進、個別計画の策定。障害者の生涯学習についてもこの中で計画し進捗管理等を行っている。
- ・ 生涯学習部生涯スポーツ課：令和4年3月に第二次船橋市生涯スポーツ推進計画を策定。その中に重点施策として障害者のスポーツ振興が施策として挙げられている。従前から取り組んでいるパラスポーツ協議会（詳細は後述）と合わせて、パラスポーツの普及にも取り組んでいる。
- ・ 福祉サービス部障害福祉課：第4次船橋市障害者施策に関する計画（計画期間：令和4年度～8年度）に「教育、文化芸術活動・スポーツ、国際交流等」という章があり、その中の「文化芸術活動・スポーツ等の振興」の項目の一つとして「生涯学習への参加の促進」も記載している。障害福祉団体が公民館利用の際に使用料の減免が受けられるよう登録手続きを行うなど、参加の推進を行っている。
- ・ 生涯学習部西図書館：第二次船橋市図書館サービス推進計画があり、基本的運営方針の一つとして「市民の「調べると学ぶ」をサポートする図書館」を掲げており、それに合わせた施策「情報提供の多様化」の中で、「ハンディキャップサービスの周知」に取り組むこととしている（ハンディキャップサービスについては後述。市内にあるすべての図書館（4館）でハンディキャップサービスを実施）。
- ・ 所属としては、教育委員会の中に、社会教育課、生涯スポーツ課、西図書館（他の3館は指定管理者が運営）、公民館がある。

②障害者の生涯学習について、計画での位置付け

（生涯学習計画の位置付け）

- ・ 各課で個別計画を持っているが、体系的には、第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）が障害者の生涯学習の方針等の大元となる。ふなばし一番星プランと連携する形で、生涯スポーツ推進計画や図書館サービス推進計画が位置付けられている（上下関係というものではない）。
- ・ 生涯学習の主担当は社会教育課となる。障害福祉課は障害福祉サービスを基軸として生涯学習に関わっている位置付けであり、計画の中で生涯学習に係る項目は多岐に渡っている。特に生涯学習をメインに取り組んでいるというよりは、各事業等の中にある、という位置付けになるか。

（ふなばし一番星プランの計画策定）

- ・ 第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）では、基本理念として、「生涯をとおして自分らしく学び続け、学びの成果を活かすことができる社会の実現を目指します」を掲げている。
- ・ 障害者の生涯学習としては、推進計画の基本施策Ⅰとして、「多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供」としており、基本施策Ⅰの施策2に、「充実した学習機会の提供」として、「3. 人権尊重・多文化共生のための学習機会の提供」がある。取組としては、人権に関する学習の推進、心のバリアフリーのための学習の推進などがあり、障害者の方への理解を深めることを目的としたものとなっている。
- ・ また、施策3の「充実した学習のための環境の整備」として、「4. 生涯学習施設の充実」があり、障害の有無にかかわらず学習できる環境の整備等が位置付けられている。
- ・ 直近5年間に優先的に取り組むべき内容として各施策・取組を横断的に関連付けて整理した「リーディングプロジェクト」があり、「3. 共生社会の実現のための取組の充実」の中で、インクルーシブな地域・社会の実現に向けた取組を行っている。

2. 体制整備の状況について

①庁内での連携状況

(日常的な組織間の連携)

- ・ 日常業務では業務のかかわりがあるため、生涯学習部内ではよく連絡を取っている。福祉サービス部の障害福祉課とは日常的な連絡のやりとりは無いが、必要に応じて連携している。
- ・ 計画策定のときは、各課担当者との打合せや実績値など進捗管理のための照会などのやり取りを行っている。

(計画策定に向けた連携)

- ・ 検討委員会では生涯学習の有識者や学識経験者がメンバーとなっている。障害の専門家等へのヒアリング等は実施していない。
- ・ 計画を策定するに当たっては、文部科学省の障害者の生涯学習推進プラン等を参考としている。
- ・ 事業への落とし込みについては、各課で各施策対応事業管理表を作成し、毎年進捗管理を実施している。その中に点検対象事業があり、毎年実績値を図っている。それ以外の事業は推進するが、実績は取らない事業となっている。
- ・ 具体的な事業としては、例えば、施策 2 の「充実した学習機会の提供」、「3. 人権尊重・多文化共生のための学習機会の提供」の取組の中に、福祉体験講座（障害福祉課実施）や、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発事業（地域保健課）、発達障害に関する市民のための講座（療育支援課）などがある。

②庁外との連携状況

(生涯学習に関する協議の場)

- ・ パラスポーツ協議会はスポーツ基本法に基づいて設置されているような法定の審議会ではなく、教育委員会が障害者のスポーツ振興を進めていくための会議体として、平成 30 年 4 月に設置したもの。
- ・ パラスポーツ協議会の立ち上げ当時はオリンピック・パラリンピックに向けて、パラスポーツを市民にどう普及するか、子どもから高齢者まで普及するには知る機会が必要ということで立ち上がった。
- ・ 協議会は年 3 回程度、年間を通じてパラスポーツをどう普及していくのかを協議している。例えば、ボッチャの交流大会を 1 度だけの開催ではなく、基幹公民館にボッチャセットがあることから、そこで予選会を実施し中央大会を開催する流れにしてはどうか、であったり、障害者の枠をマラソン大会に設定してはどうか、多種目の普及であったり、「知らない」を解消するための広報活動等について協議している。
- ・ パラスポーツ協議会以外に生涯学習について議論できる会議体としては、社会教育委員会議があり、社会教育全般に関して協議する場はある。現時点で障害者の生涯学習について議論しているわけではないが、今後、社会教育の推進の観点から議題として扱われる可能性はある。
- ・ 障害福祉部門では自立支援協議会があるが、生涯学習のことをメインで協議しているわけではなく、障害者施策全般を協議している。

(庁外の関係者との連携)

- ・ 西図書館では、社会福祉法人と連携を行うという話が出ていたが、コロナ禍でまだ事業としては実現できていない。社会福祉法人では、IT サポートボランティア養成研修会など障害者のサポートを行っており、図書館と連携してイベントをできればと検討していた。内容としては、図書館として障害者の利用が増えない部分が課題となっていたため、何かイベント的なものを実施し、発達障害、視覚障害などのある方にマルチメディアデジの活用を広げるための講演会のようなものができたら、と話をしていた。
- ・ 連携先の社会福祉法人については、職員向けの研修で講師に図書館利用の推進について相談をした際に、当事者団体と連携して情報交換したほうがよい、と言われ、講師が知っている団体につないでもらった。
- ・ 生涯スポーツ課では、市内の小中学校、特別支援学校でパラスポーツに関する取組を実施している。取組実施に

あたっては、プロバスケットボールチームの千葉ジェッツふなばしや他企業と連携することもある。

- ・ 社会福祉協議会にてボランティアの登録を行っているが、現時点で連携は行っていない。今後連携の可能性はある。

③人材育成の取組

- ・ 障害者の生涯学習に特化した人材育成や研修等は実施していない。障害福祉課にて実施している福祉体験講座等は、障害者全般について学べるものである。
- ・ 当事者を講師等として障害理解を促進する取組としては、庁内連絡会があり、一部の職員が集まったときに当事者を呼んで話す機会はある。また、新人研修の際に、障害のある方に講話を依頼している（毎回ではない）。一般向けの取組としては、年に1回、記念事業を実施しており、障害者団体や事業所の方が合同で販売会を実施したり作品展をおこなったり、交流を図っている（障害福祉課担当）。
- ・ また、スポーツ推進委員（障害の有無に関わらずスポーツ推進に携わる方。市内に約200人）を対象にした研修会では、ポッチャもテーマの一つになっている。また、パラスポーツ協議会にて障害者スポーツ指導員の養成をしようか、という話があり、初級障害者スポーツ指導員の資格をスポーツ推進委員の方に取得してもらっている（市にて予算を取って実施）。そういった資格を取った推進委員がポッチャなどの審判やボランティアとして手伝ってもらっている。
- ・ 市独自に年に何回か公民館職員を対象とした研修を実施しているが、その中で障害者への生涯学習をテーマとした研修を今後実施する可能性はある（現時点では実施はしていない）。

④ニーズの把握

- ・ ポッチャ交流大会の開催時に障害のある参加者向けにアンケートを実施している。
- ・ 「令和元年度 船橋市生涯スポーツ推進計画策定に関するアンケート（障害者）」（第二次船橋市生涯スポーツ推進計画に掲載）を障害のある市民を対象として行い、スポーツの実施状況、スポーツ活動や情報のニーズ、市営スポーツ施設への要望や市のスポーツ推進施策に期待すること、パラスポーツへの意識等を調査している。
- ・ 令和元年度に行った「図書館サービスに関する市民意識調査」（第二次船橋市図書館サービス推進計画に掲載）では、「ハンディキャップサービスの充実」の要望が高いと分析している。

3. 具体的な取組内容

①図書館

- ・ ハンディキャップサービスとして、カセットブックや朗読CD、デイジー図書（サピエにも登録）、大活字本、LLブック、拡大読書器等を用意し、郵送貸出サービス（視覚障害者）や宅配サービス（図書館への来館が困難な方）を行うといった、図書館利用に障害のある方を支援するサービスを行っている。
- ・ バリアフリー映画会を開催している。字幕が入っている、聴覚障害のある方も見られるような映画の上映会である。今年度は3回実施。
- ・ 対面朗読室を設置しているが、あまり利用はない状況であり、音訳者を利用者にご用意いただくことが基本となっている。音訳者については、身体障害者福祉センター等で音訳を行っているボランティアグループがあることから、希望があればコンタクトを取ってつなぐことは可能であり、図書館のウェブサイトでも音訳者を紹介することができる旨の案内を掲載している。

②パラスポーツ体験会、ポッチャ交流大会等

- ・ 生涯スポーツ課では、ポッチャの貸出しやパラスポーツ体験会等の活動を実施。市内の小中学校に声掛けし、希望

のあった学校でパラスポーツ体験会（ボッチャに限らず、ゴールボールやシッティングバレー等）や、特別支援学校でオンラインボッチャの実施がある。また、プロバスケットボールチームの千葉ジェッツふなばしと連携して、ホームゲームで市民向けにボッチャコーナーを設置するなどの取組を行った。

- ・ イベント・交流会として、ボッチャ交流大会も開催している。市内在中、在勤在学であれば誰でも参加できるイベント。主催は教育委員会だが、地域のスポーツリーダーであるスポーツ推進委員に手伝ってもらい、審判は船橋障がい者スポーツ協会に依頼している。ボッチャ交流大会は、公民館で行う予選会に 12～13 チームが出場し、勝ち抜いたチームで中央大会を開催している。

③身体障害者福祉センター、地域活動支援センター

- ・ 身体障害者福祉センターや地域活動支援センターにて文化活動や体操教室を実施している。
- ・ 身体障害者福祉センターでは、身体障害者手帳を持っている人向けに体操、創作活動、ワード（簡単なパソコン文書作成等）やペン習字等の実用的な活動を実施している。
- ・ 障害福祉課にて所管している地域活動支援センターは民間の事業所であり、目的として創作的活動や社会との交流促進を掲げ取り組んでいる。地域活動支援センター「ひなたぼっこ」は、NPO 法人が運営。コミュニティカフェ、アロマ教室やアート展、ライブなどのイベントを実施しており、創作活動や生産活動の機会を提供している。

④公民館

- ・ 東部公民館では、令和 5 年度に船橋市聴覚障害者協会、市内の手話サークル、公益財団法人船橋市福祉サービス公社と連携して、「手話で遊ぼう」という講座を実施予定。障害者向けの講座は、今年度初めての実施となる。
- ・ 手話サークルと聴覚障害者協会はもともと東部公民館を利用しており、卒業後の学びの場が足りていない課題がある中で、公民館から一緒になにか事業ができないかと声掛けしたことから始まった。公民館職員だけでは障害者のニーズや課題が分からないため、企画から障害者の方と一緒に考えている。
- ・ 取組は東部公民館のみで実施。市の年間の事業計画では、令和 5 年度事業として公民館にて 1 つ以上、共生社会に向けた事業をすることになっており、東部公民館で講座を企画した。
- ・ 特別支援学校の卒業生の仲間同士の交流と、自立への活力の場となるよう、「若草の会」が、中央公民館で活動している。公民館は、会場支援が中心で、講師は運営委員が必要に応じ依頼している。

⑤その他取組

- ・ 地域生活支援事業（障害福祉課）として、スポーツ活動又は文化活動に参加する際の移動支援を実施。手話通訳者の派遣等も実施している。
- ・ 情報提供としては、障害に関係なく生涯学習に関する情報を発信している。年間 3 回活動を取りまとめた冊子を出しており、ホームページや学校などに広報している。障害者が活動に参加したいとなった場合は、基本的にはそれぞれの活動主体等に問い合わせることになるが、福祉サービス公社に依頼すると手話通訳や公民館職員のサポートが受けられる。障害福祉団体に対しては、障害福祉課から、千葉県が実施する障害者のスポーツ大会については案内を行っている。
- ・ 今年度、中央公民館で、千葉県の生涯学習を所管する担当課と連携して、共生に関する連携事業を実施した。

4. その他、課題等

- ・ 自立支援の観点から、学習機会があることは大事だが、意思決定支援も含め、障害者が自身で学習計画を立てていく部分も重要になってくるか。

- ・ 図書館では、なかなか障害者の利用が増えないという課題があり、やはり周知・広報が必要。コロナ禍が落ち着けばイベント等の開催を検討していきたい。
- ・ 公民館でも、障害者の利用が多くないのが課題となっている。公民館の利用について、聴覚障害のある方に話を聞いてみたが、一人でいくにはハードルが高いという意見があった。職員がサポートできる環境が必要か。
- ・ 障害福祉課では、単独での情報量に限度があるところが課題。他部門との情報共有を行い、発信できるようにすることが必要ではないか。
- ・ パラスポーツを実施しているが、ボランティアの高齢化が進んでいるので人員の確保が課題。また、用具にも財政負担があるので、財政支援などがあるとよいか。

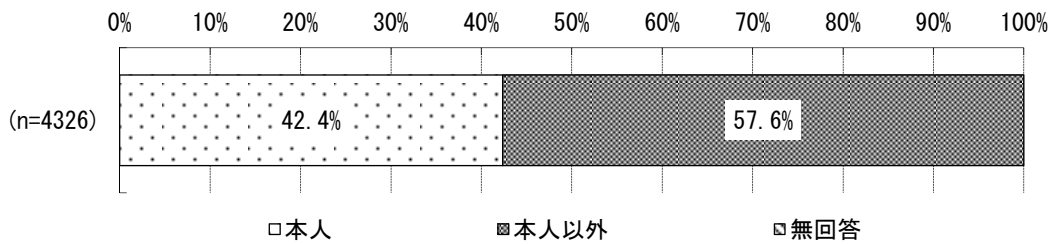
第3章 障害者本人を対象とする調査結果

1. 回答者

(1) 回答者（本人／本人以外）

本調査の回答者の状況は以下の通りである。

図表 3-1 回答者（単数選択）



(クロス集計_障害種別)

図表 3-2 障害種別_回答者

	合計	本人	本人以外	無回答
Total	4326	1833	2493	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	196	189	0
	100.0%	50.9%	49.1%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	189	233	0
	100.0%	44.8%	55.2%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	181	235	0
	100.0%	43.5%	56.5%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	276	279	0
	100.0%	49.7%	50.3%	0.0%
知的障害のみ	206	23	183	0
	100.0%	11.2%	88.8%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	406	217	0
	100.0%	65.2%	34.8%	0.0%
発達障害のみ	433	179	254	0
	100.0%	41.3%	58.7%	0.0%
身体障害+知的障害	158	27	131	0
	100.0%	17.1%	82.9%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	132	126	0
	100.0%	51.2%	48.8%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	168	285	0
	100.0%	37.1%	62.9%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	56	361	0
	100.0%	13.4%	86.6%	0.0%

2. 本人・家族の状況

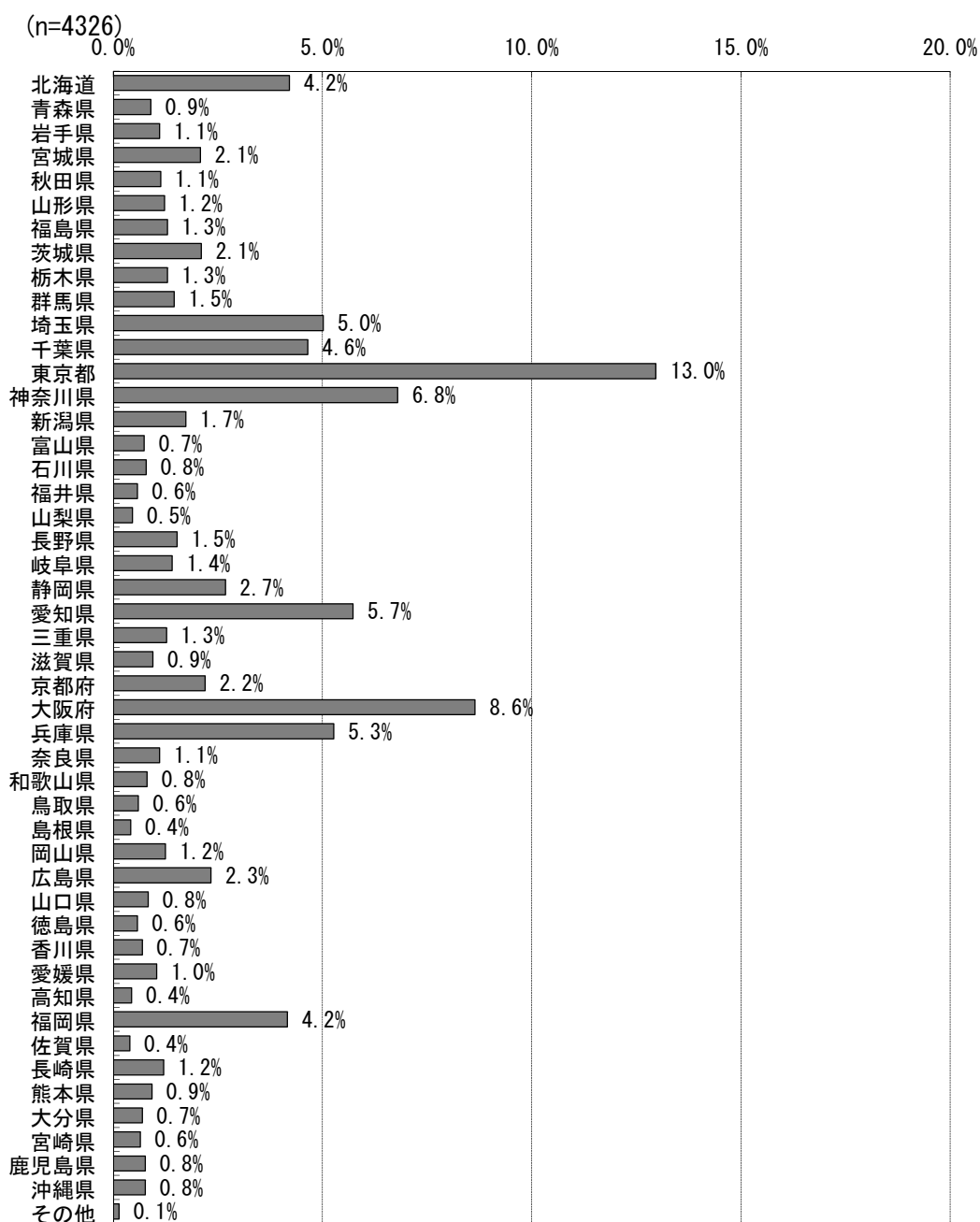
(1) 所在地、住まいの状況

① 所在地_都道府県

所在地は以下の通りである。

「東京都」の割合が最も高く13.0%となっている。次いで、「大阪府（8.6%）」、「神奈川県（6.8%）」となっている。

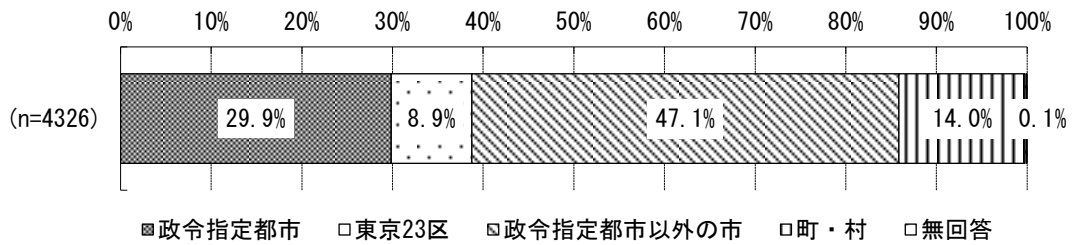
図表 3-3 所在地_都道府県（単数選択）



② 市区町村区分

「政令指定都市以外の市」の割合が最も高く47.1%となっている。次いで、「政令指定都市（29.9%）」、「町・村（14.0%）」となっている。

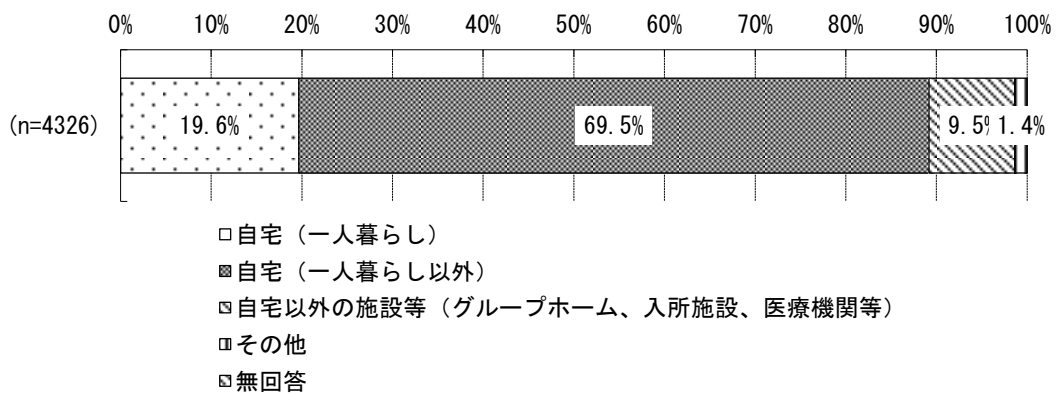
図表 3-4 市区町村区分（単数選択）



③ 障害のある方の現在の住まい方

「自宅（一人暮らし以外）」の割合が最も高く 69.5%となっている。次いで、「自宅（一人暮らし）（19.6%）」、「自宅以外の施設等（グループホーム、入所施設、医療機関等）（9.5%）」となっている。

図表 3-5 障害のある方の現在の住まい方（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-6 年齢区分別_障害のある方の現在の住まい方

	合計	自宅（一人暮らし）	自宅（一人暮らし以外）	自宅以外の施設等（グループホーム、入所施設、医療機関等）	その他	無回答
Total	4326	850	3008	409	59	0
	100.0%	19.6%	69.5%	9.5%	1.4%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	118	527	68	8	0
	100.0%	16.4%	73.1%	9.4%	1.1%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	148	514	47	12	0
	100.0%	20.5%	71.3%	6.5%	1.7%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	133	523	51	14	0
	100.0%	18.4%	72.5%	7.1%	1.9%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	134	527	49	11	0
	100.0%	18.6%	73.1%	6.8%	1.5%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	182	478	55	6	0
	100.0%	25.2%	66.3%	7.6%	0.8%	0.0%
60歳以上	721	135	439	139	8	0
	100.0%	18.7%	60.9%	19.3%	1.1%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-7 障害種別_障害のある方の現在の住まい方

	合計	自宅（一人暮らし）	自宅（一人暮らし以外）	自宅以外の施設等（グループホーム、入所施設、医療機関等）	その他	無回答
Total	4326	850	3008	409	59	0
	100.0%	19.6%	69.5%	9.5%	1.4%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	94	260	28	3	0
	100.0%	24.4%	67.5%	7.3%	0.8%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	80	323	13	6	0
	100.0%	19.0%	76.5%	3.1%	1.4%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	72	309	30	5	0
	100.0%	17.3%	74.3%	7.2%	1.2%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	147	367	36	5	0
	100.0%	26.5%	66.1%	6.5%	0.9%	0.0%
知的障害のみ	206	19	144	38	5	0
	100.0%	9.2%	69.9%	18.4%	2.4%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	147	448	16	12	0
	100.0%	23.6%	71.9%	2.6%	1.9%	0.0%
発達障害のみ	433	73	339	16	5	0
	100.0%	16.9%	78.3%	3.7%	1.2%	0.0%
身体障害+知的障害	158	25	105	26	2	0
	100.0%	15.8%	66.5%	16.5%	1.3%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	59	171	23	5	0
	100.0%	22.9%	66.3%	8.9%	1.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	88	274	86	5	0
	100.0%	19.4%	60.5%	19.0%	1.1%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	46	268	97	6	0
	100.0%	11.0%	64.3%	23.3%	1.4%	0.0%

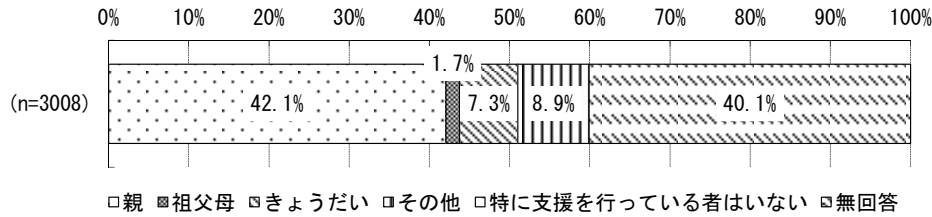
(2) 家族の状況

【自宅（一人暮らし以外）の場合（n=3,008）】

① 日常的な支援を主に行っている方

「親」の割合が最も高く 42.1%となっている。次いで、「特に支援を行っている者はいない（40.1%）」、「その他（8.9%）」となっている。

図表 3-8 日常的な支援を主に行っている方（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-9 年齢区分別_日常的な支援を主に行っている方

	合計	親	祖父母	きょうだい	その他	特に支援を行っている者はいない	無回答
Total	3008	1265	51	219	267	1206	0
	100.0%	42.1%	1.7%	7.3%	8.9%	40.1%	0.0%
18歳以上20歳未満	527	330	19	56	23	99	0
	100.0%	62.6%	3.6%	10.6%	4.4%	18.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	514	294	6	31	26	157	0
	100.0%	57.2%	1.2%	6.0%	5.1%	30.5%	0.0%
30歳以上40歳未満	523	245	6	36	27	209	0
	100.0%	46.8%	1.1%	6.9%	5.2%	40.0%	0.0%
40歳以上50歳未満	527	183	5	29	52	258	0
	100.0%	34.7%	0.9%	5.5%	9.9%	49.0%	0.0%
50歳以上60歳未満	478	111	4	21	50	292	0
	100.0%	23.2%	0.8%	4.4%	10.5%	61.1%	0.0%
60歳以上	439	102	11	46	89	191	0
	100.0%	23.2%	2.5%	10.5%	20.3%	43.5%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-10 障害種別_日常的な支援を主に行っている方

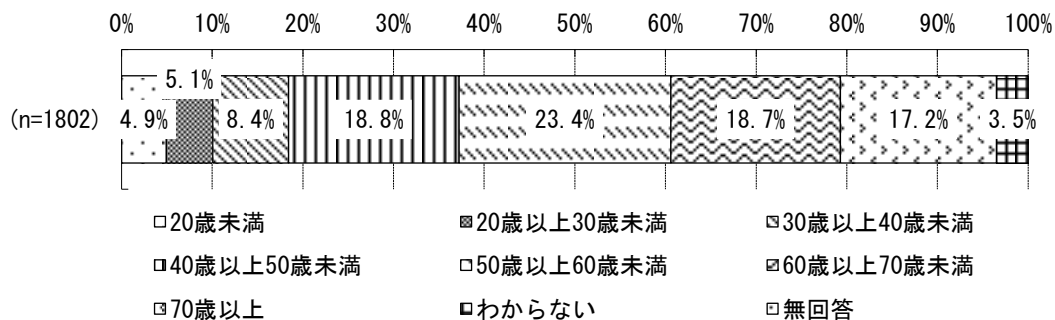
	合計	親	祖父母	きょうだい	その他	特に支援を行っている者はいない	無回答
Total	3008	1265	51	219	267	1206	0
	100.0%	42.1%	1.7%	7.3%	8.9%	40.1%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	260	69	7	16	25	143	0
	100.0%	26.5%	2.7%	6.2%	9.6%	55.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	323	76	1	21	26	199	0
	100.0%	23.5%	0.3%	6.5%	8.0%	61.6%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	309	111	0	17	49	132	0
	100.0%	35.9%	0.0%	5.5%	15.9%	42.7%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	367	97	6	19	34	211	0
	100.0%	26.4%	1.6%	5.2%	9.3%	57.5%	0.0%
知的障害のみ	144	91	4	17	9	23	0
	100.0%	63.2%	2.8%	11.8%	6.3%	16.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	448	173	4	19	49	203	0
	100.0%	38.6%	0.9%	4.2%	10.9%	45.3%	0.0%
発達障害のみ	339	121	3	16	20	179	0
	100.0%	35.7%	0.9%	4.7%	5.9%	52.8%	0.0%
身体障害+知的障害	105	81	1	8	6	9	0
	100.0%	77.1%	1.0%	7.6%	5.7%	8.6%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	171	89	4	9	12	57	0
	100.0%	52.0%	2.3%	5.3%	7.0%	33.3%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	274	171	17	48	20	18	0
	100.0%	62.4%	6.2%	17.5%	7.3%	6.6%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	268	186	4	29	17	32	0
	100.0%	69.4%	1.5%	10.8%	6.3%	11.9%	0.0%

【日常的な支援を行っている人がいる場合 (n=1,802)】

1) 主に支援を行っている方の年齢

「50歳以上60歳未満」の割合が最も高く23.4%となっている。次いで、「40歳以上50歳未満(18.8%)」、「60歳以上70歳未満(18.7%)」となっている。

図表 3-11 主に支援を行っている方の年齢 (単数選択)



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-12 年齢区分別_主に支援を行っている方の年齢

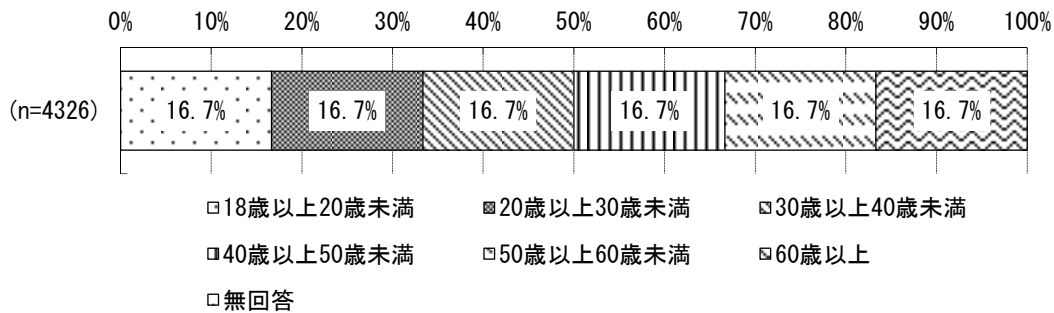
	合計	20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上	わからない	無回答
Total	1802	89	92	151	339	421	337	310	63	0
	100.0%	4.9%	5.1%	8.4%	18.8%	23.4%	18.7%	17.2%	3.5%	0.0%
18歳以上20歳未満	428	79	17	39	142	114	17	5	15	0
	100.0%	18.5%	4.0%	9.1%	33.2%	26.6%	4.0%	1.2%	3.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	357	3	59	15	68	140	51	9	12	0
	100.0%	0.8%	16.5%	4.2%	19.0%	39.2%	14.3%	2.5%	3.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	314	4	7	75	16	53	129	24	6	0
	100.0%	1.3%	2.2%	23.9%	5.1%	16.9%	41.1%	7.6%	1.9%	0.0%
40歳以上50歳未満	269	2	2	9	84	17	53	84	18	0
	100.0%	0.7%	0.7%	3.3%	31.2%	6.3%	19.7%	31.2%	6.7%	0.0%
50歳以上60歳未満	186	1	6	4	9	59	20	78	9	0
	100.0%	0.5%	3.2%	2.2%	4.8%	31.7%	10.8%	41.9%	4.8%	0.0%
60歳以上	248	0	1	9	20	38	67	110	3	0
	100.0%	0.0%	0.4%	3.6%	8.1%	15.3%	27.0%	44.4%	1.2%	0.0%

(3) 本人の状況

① 障害のある方の年齢

「18歳以上20歳未満」、「20歳以上30歳未満」、「30歳以上40歳未満」、「40歳以上50歳未満」、「50歳以上60歳未満」、「60歳以上」いずれも16.7%となっている。

図表 3-13 障害のある方の年齢（単数選択）



(クロス集計_障害種別)

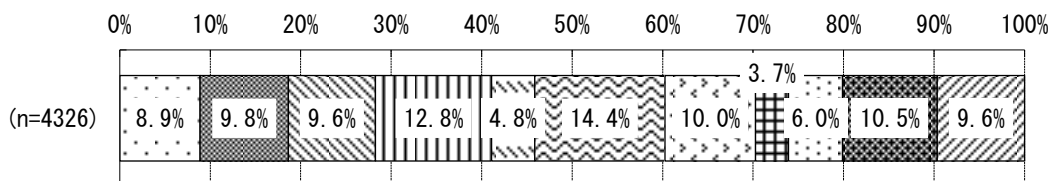
図表 3-14 障害種別_障害のある方の年齢

	合計	18歳以上20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上	無回答
Total	4326	721	721	721	721	721	721	0
	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	36	59	64	61	85	80	0
	100.0%	9.4%	15.3%	16.6%	15.8%	22.1%	20.8%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	46	58	68	81	83	86	0
	100.0%	10.9%	13.7%	16.1%	19.2%	19.7%	20.4%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	42	46	68	82	91	87	0
	100.0%	10.1%	11.1%	16.3%	19.7%	21.9%	20.9%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	78	72	82	103	100	120	0
	100.0%	14.1%	13.0%	14.8%	18.6%	18.0%	21.6%	0.0%
知的障害のみ	206	27	40	37	44	29	29	0
	100.0%	13.1%	19.4%	18.0%	21.4%	14.1%	14.1%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	91	105	123	121	105	78	0
	100.0%	14.6%	16.9%	19.7%	19.4%	16.9%	12.5%	0.0%
発達障害のみ	433	81	73	70	66	74	69	0
	100.0%	18.7%	16.9%	16.2%	15.2%	17.1%	15.9%	0.0%
身体障害+知的障害	158	28	44	27	22	16	21	0
	100.0%	17.7%	27.8%	17.1%	13.9%	10.1%	13.3%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	51	43	41	41	43	39	0
	100.0%	19.8%	16.7%	15.9%	15.9%	16.7%	15.1%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	158	91	70	44	35	55	0
	100.0%	34.9%	20.1%	15.5%	9.7%	7.7%	12.1%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	83	90	71	56	60	57	0
	100.0%	19.9%	21.6%	17.0%	13.4%	14.4%	13.7%	0.0%

② 障害種別

「精神障害のみ、精神障害＋発達障害」の割合が最も高く 14.4%となっている。次いで、「身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複（12.8%）」、「身体障害＋知的障害＋精神障害（発達障害含む）（10.5%）」となっている。

図表 3-15 障害種別（単数選択）



- 身体障害_視覚障害のみ
- 身体障害_聴覚障害のみ
- ▨ 身体障害_肢体不自由のみ
- ▩ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複
- 知的障害のみ
- ▨ 精神障害のみ、精神障害＋発達障害
- 発達障害のみ
- ▩ 身体障害＋知的障害
- ▨ 身体障害＋精神障害（発達障害含む）
- 身体障害＋知的障害＋精神障害（発達障害含む）
- ▩ 知的障害＋精神障害（発達障害含む）

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-16 年齢区分別_障害種別

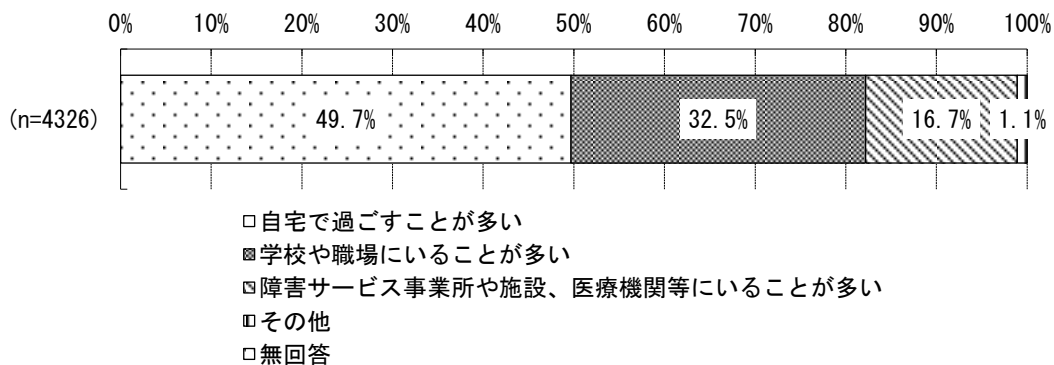
	合計	身体障害_視覚障害のみ	身体障害_聴覚障害のみ	身体障害_肢体不自由のみ	身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	知的障害のみ	精神障害のみ、精神障害+発達障害
Total	4326	385	422	416	555	206	623
	100.0%	8.9%	9.8%	9.6%	12.8%	4.8%	14.4%
18歳以上20歳未満	721	36	46	42	78	27	91
	100.0%	5.0%	6.4%	5.8%	10.8%	3.7%	12.6%
20歳以上30歳未満	721	59	58	46	72	40	105
	100.0%	8.2%	8.0%	6.4%	10.0%	5.5%	14.6%
30歳以上40歳未満	721	64	68	68	82	37	123
	100.0%	8.9%	9.4%	9.4%	11.4%	5.1%	17.1%
40歳以上50歳未満	721	61	81	82	103	44	121
	100.0%	8.5%	11.2%	11.4%	14.3%	6.1%	16.8%
50歳以上60歳未満	721	85	83	91	100	29	105
	100.0%	11.8%	11.5%	12.6%	13.9%	4.0%	14.6%
60歳以上	721	80	86	87	120	29	78
	100.0%	11.1%	11.9%	12.1%	16.6%	4.0%	10.8%

	合計	発達障害のみ	身体障害+知的障害	身体障害+精神障害（発達障害含む）	身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	知的障害+精神障害（発達障害含む）	無回答
Total	4326	433	158	258	453	417	0
	100.0%	10.0%	3.7%	6.0%	10.5%	9.6%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	81	28	51	158	83	0
	100.0%	11.2%	3.9%	7.1%	21.9%	11.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	73	44	43	91	90	0
	100.0%	10.1%	6.1%	6.0%	12.6%	12.5%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	70	27	41	70	71	0
	100.0%	9.7%	3.7%	5.7%	9.7%	9.8%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	66	22	41	44	56	0
	100.0%	9.2%	3.1%	5.7%	6.1%	7.8%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	74	16	43	35	60	0
	100.0%	10.3%	2.2%	6.0%	4.9%	8.3%	0.0%
60歳以上	721	69	21	39	55	57	0
	100.0%	9.6%	2.9%	5.4%	7.6%	7.9%	0.0%

③ 日中の過ごし方

「自宅で過ごすことが多い」の割合が最も高く 49.7%となっている。次いで、「学校や職場にすることが多い（32.5%）」、「障害サービス事業所や施設、医療機関等にすることが多い（16.7%）」となっている。

図表 3-17 日中の過ごし方（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-18 年齢区分別_日中の過ごし方

	合計	自宅で過ごすことが多い	学校や職場にすることが多い	障害サービス事業所や施設、医療機関等にすることが多い	その他	無回答
Total	4326	2150	1405	724	47	0
	100.0%	49.7%	32.5%	16.7%	1.1%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	290	300	129	2	0
	100.0%	40.2%	41.6%	17.9%	0.3%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	304	269	142	6	0
	100.0%	42.2%	37.3%	19.7%	0.8%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	349	247	114	11	0
	100.0%	48.4%	34.3%	15.8%	1.5%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	352	272	89	8	0
	100.0%	48.8%	37.7%	12.3%	1.1%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	373	254	86	8	0
	100.0%	51.7%	35.2%	11.9%	1.1%	0.0%
60歳以上	721	482	63	164	12	0
	100.0%	66.9%	8.7%	22.7%	1.7%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

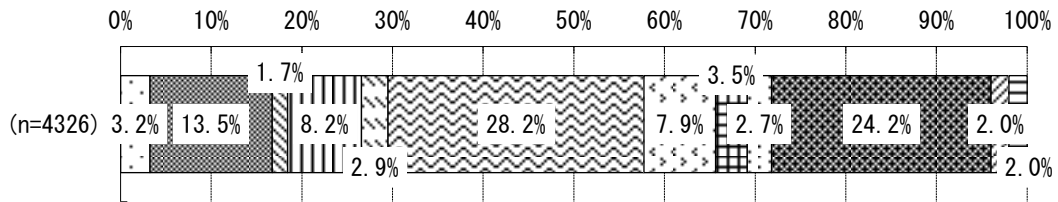
図表 3-19 障害種別_日中の過ごし方

	合計	自宅で過ごすことが多い	学校や職場にすることが多い	障害サービス事業所や施設、医療機関等にすることが多い	その他	無回答
Total	4326	2150	1405	724	47	0
	100.0%	49.7%	32.5%	16.7%	1.1%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	207	139	37	2	0
	100.0%	53.8%	36.1%	9.6%	0.5%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	175	211	25	11	0
	100.0%	41.5%	50.0%	5.9%	2.6%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	223	136	51	6	0
	100.0%	53.6%	32.7%	12.3%	1.4%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	301	191	57	6	0
	100.0%	54.2%	34.4%	10.3%	1.1%	0.0%
知的障害のみ	206	75	58	71	2	0
	100.0%	36.4%	28.2%	34.5%	1.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	420	165	33	5	0
	100.0%	67.4%	26.5%	5.3%	0.8%	0.0%
発達障害のみ	433	193	202	32	6	0
	100.0%	44.6%	46.7%	7.4%	1.4%	0.0%
身体障害+知的障害	158	64	27	66	1	0
	100.0%	40.5%	17.1%	41.8%	0.6%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	144	78	34	2	0
	100.0%	55.8%	30.2%	13.2%	0.8%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	208	97	146	2	0
	100.0%	45.9%	21.4%	32.2%	0.4%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	140	101	172	4	0
	100.0%	33.6%	24.2%	41.2%	1.0%	0.0%

④ 最終学歴

「高等学校卒」の割合が最も高く 28.2%となっている。次いで、「大学卒（24.2%）」、「特別支援学校 高等部卒（13.5%）」となっている。

図表 3-20 最終学歴（単数選択）



- 特別支援学校 中学部卒
- 特別支援学校 高等部卒
- ▨ 特別支援学校 専攻科卒
- 中学校 一般学級卒
- ▨ 中学校 特別支援学級卒
- ▨ 高等学校卒
- ▨ 専修学校（専門学校）卒
- ▨ 短期大学卒
- 高等専門学校卒
- 大学卒
- ▨ 大学院修了
- その他
- ▨ 無回答

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-21 年齢区分別_最終学歴

	合計	特別支援学校 中学部卒	特別支援学校 高等部卒	特別支援学校 専攻科卒	中学校 一般学級卒	中学校 特別支援学級卒	高等学校卒
Total	4326	140	583	74	353	126	1222
	100.0%	3.2%	13.5%	1.7%	8.2%	2.9%	28.2%
18歳以上20歳未満	721	34	156	26	80	34	223
	100.0%	4.7%	21.6%	3.6%	11.1%	4.7%	30.9%
20歳以上30歳未満	721	15	188	16	40	24	171
	100.0%	2.1%	26.1%	2.2%	5.5%	3.3%	23.7%
30歳以上40歳未満	721	16	115	10	42	14	161
	100.0%	2.2%	16.0%	1.4%	5.8%	1.9%	22.3%
40歳以上50歳未満	721	20	57	13	42	17	210
	100.0%	2.8%	7.9%	1.8%	5.8%	2.4%	29.1%
50歳以上60歳未満	721	22	47	7	42	17	222
	100.0%	3.1%	6.5%	1.0%	5.8%	2.4%	30.8%
60歳以上	721	33	20	2	107	20	235
	100.0%	4.6%	2.8%	0.3%	14.8%	2.8%	32.6%

	合計	専修学校（専門学校）卒	短期大学卒	高等専門学校卒	大学卒	大学院修了	その他	無回答
Total	4326	341	151	117	1047	85	87	0
	100.0%	7.9%	3.5%	2.7%	24.2%	2.0%	2.0%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	25	13	27	75	4	24	0
	100.0%	3.5%	1.8%	3.7%	10.4%	0.6%	3.3%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	49	18	17	163	10	10	0
	100.0%	6.8%	2.5%	2.4%	22.6%	1.4%	1.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	78	23	24	209	21	8	0
	100.0%	10.8%	3.2%	3.3%	29.0%	2.9%	1.1%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	76	30	16	211	24	5	0
	100.0%	10.5%	4.2%	2.2%	29.3%	3.3%	0.7%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	79	33	18	206	14	15	0
	100.0%	10.8%	4.6%	2.5%	28.6%	1.9%	2.1%	0.0%
60歳以上	721	35	34	15	183	12	25	0
	100.0%	4.9%	4.7%	2.1%	25.4%	1.7%	3.5%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_障害種別)

図表 3-22 障害種別_最終学歴

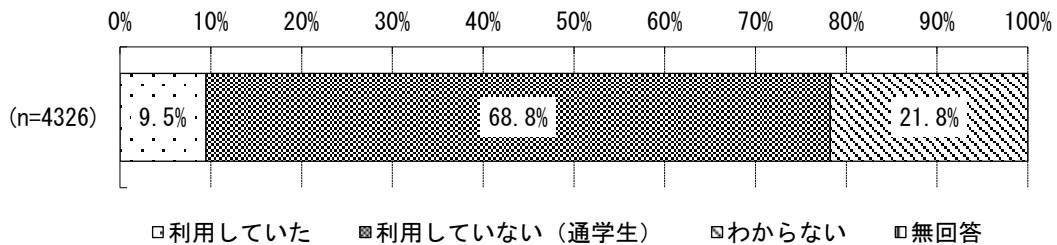
	合計	特別支援学校 中学部卒	特別支援学校 高等部卒	特別支援学校 専攻科卒	中学校 一般学 級卒	中学校 特別支 援学級卒	高等学校卒
Total	4326	140	583	74	353	126	1222
	100.0%	3.2%	13.5%	1.7%	8.2%	2.9%	28.2%
身体障害_視覚障害のみ	385	5	22	12	21	5	103
	100.0%	1.3%	5.7%	3.1%	5.5%	1.3%	26.8%
身体障害_聴覚障害のみ	422	3	35	6	35	3	135
	100.0%	0.7%	8.3%	1.4%	8.3%	0.7%	32.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	6	28	2	32	4	152
	100.0%	1.4%	6.7%	0.5%	7.7%	1.0%	36.5%
身体障害_内臓機能障害、その他	555	4	17	4	44	8	190
身体障害、身体障害の重複	100.0%	0.7%	3.1%	0.7%	7.9%	1.4%	34.2%
知的障害のみ	206	15	89	3	16	11	42
	100.0%	7.3%	43.2%	1.5%	7.8%	5.3%	20.4%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	623	4	5	0	64	9	229
	100.0%	0.6%	0.8%	0.0%	10.3%	1.4%	36.8%
発達障害のみ	433	6	16	2	35	6	144
	100.0%	1.4%	3.7%	0.5%	8.1%	1.4%	33.3%
身体障害+知的障害	158	11	58	2	11	13	28
	100.0%	7.0%	36.7%	1.3%	7.0%	8.2%	17.7%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	258	8	25	5	21	5	68
	100.0%	3.1%	9.7%	1.9%	8.1%	1.9%	26.4%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	453	43	119	30	28	38	66
	100.0%	9.5%	26.3%	6.6%	6.2%	8.4%	14.6%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	417	35	169	8	46	24	65
	100.0%	8.4%	40.5%	1.9%	11.0%	5.8%	15.6%

	合計	専修学校（専門 学校）卒	短期大学卒	高等専門学校卒	大学卒	大学院修了	その他	無回答
Total	4326	341	151	117	1047	85	87	0
	100.0%	7.9%	3.5%	2.7%	24.2%	2.0%	2.0%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	36	16	11	135	10	9	0
	100.0%	9.4%	4.2%	2.9%	35.1%	2.6%	2.3%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	37	15	14	125	12	2	0
	100.0%	8.8%	3.6%	3.3%	29.6%	2.8%	0.5%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	43	22	5	105	11	6	0
	100.0%	10.3%	5.3%	1.2%	25.2%	2.6%	1.4%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他	555	54	18	23	165	19	9	0
身体障害、身体障害の重複	100.0%	9.7%	3.2%	4.1%	29.7%	3.4%	1.6%	0.0%
知的障害のみ	206	10	2	1	8	0	9	0
	100.0%	4.9%	1.0%	0.5%	3.9%	0.0%	4.4%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	623	62	34	19	178	13	6	0
	100.0%	10.0%	5.5%	3.0%	28.6%	2.1%	1.0%	0.0%
発達障害のみ	433	38	23	12	132	10	9	0
	100.0%	8.8%	5.3%	2.8%	30.5%	2.3%	2.1%	0.0%
身体障害+知的障害	158	4	1	3	20	1	6	0
	100.0%	2.5%	0.6%	1.9%	12.7%	0.6%	3.8%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	258	29	10	14	65	3	5	0
	100.0%	11.2%	3.9%	5.4%	25.2%	1.2%	1.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	453	15	5	9	83	4	13	0
	100.0%	3.3%	1.1%	2.0%	18.3%	0.9%	2.9%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	417	13	5	6	31	2	13	0
	100.0%	3.1%	1.2%	1.4%	7.4%	0.5%	3.1%	0.0%

⑤ 在学中の訪問教育の利用の有無

「利用していない（通学生）」の割合が最も高く 68.8%となっている。次いで、「わからない（21.8%）」、「利用していた（9.5%）」となっている。

図表 3-23 在学中の訪問教育の利用の有無（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-24 年齢区分別_在学中の訪問教育の利用の有無

	合計	利用していた	利用していない (通学生)	分からない	無回答
Total	4326	410	2975	941	0
	100.0%	9.5%	68.8%	21.8%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	150	419	152	0
	100.0%	20.8%	58.1%	21.1%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	78	474	169	0
	100.0%	10.8%	65.7%	23.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	77	523	121	0
	100.0%	10.7%	72.5%	16.8%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	51	532	138	0
	100.0%	7.1%	73.8%	19.1%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	30	569	122	0
	100.0%	4.2%	78.9%	16.9%	0.0%
60歳以上	721	24	458	239	0
	100.0%	3.3%	63.5%	33.1%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-25 障害種別_在学中の訪問教育の利用の有無

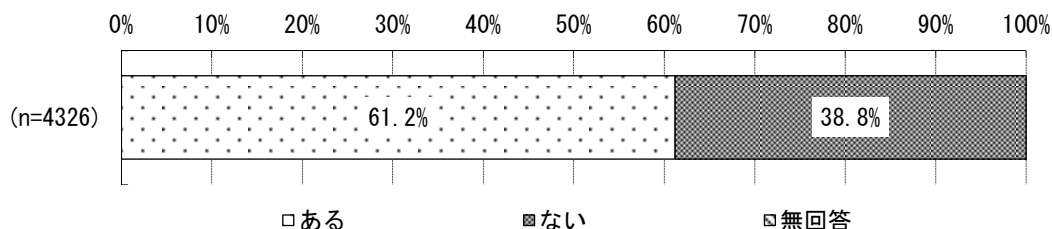
	合計	利用していた	利用していない (通学生)	分からない	無回答
Total	4326	410	2975	941	0
	100.0%	9.5%	68.8%	21.8%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	21	274	90	0
	100.0%	5.5%	71.2%	23.4%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	22	294	106	0
	100.0%	5.2%	69.7%	25.1%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	13	328	75	0
	100.0%	3.1%	78.8%	18.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	22	381	152	0
	100.0%	4.0%	68.6%	27.4%	0.0%
知的障害のみ	206	11	123	72	0
	100.0%	5.3%	59.7%	35.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	17	500	106	0
	100.0%	2.7%	80.3%	17.0%	0.0%
発達障害のみ	433	17	337	79	0
	100.0%	3.9%	77.8%	18.2%	0.0%
身体障害+知的障害	158	32	95	31	0
	100.0%	20.3%	60.1%	19.6%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	37	178	43	0
	100.0%	14.3%	69.0%	16.7%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	196	182	75	0
	100.0%	43.3%	40.2%	16.6%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	22	283	112	0
	100.0%	5.3%	67.9%	26.9%	0.0%

(4) 本人の心身の状況

① 身体障害の有無

「ある」の割合が 61.2%、「ない」の割合が 38.8%となっている。

図表 3-26 身体障害の有無（単数選択）

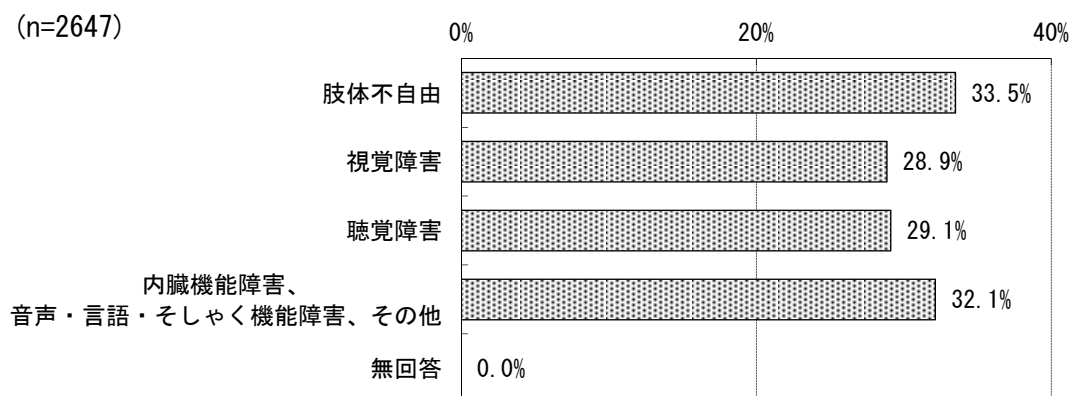


【身体障害がある場合】

1) 身体障害の状況

「肢体不自由」の割合が最も高く 33.5%となっている。次いで、「内臓機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、その他（32.1%）」、「聴覚障害（29.1%）」、「視覚障害（28.9%）」となっている。

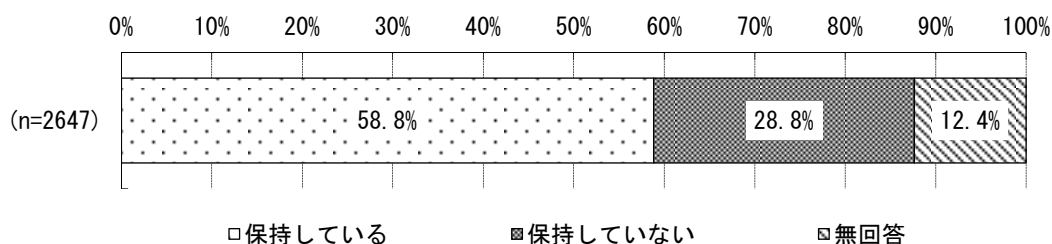
図表 3-27 身体障害の状況（複数選択）



2) 身体障害者手帳の有無

身体障害がある場合、手帳を「保持している」の割合が最も高く 58.8%となっている。次いで、「保持していない（28.8%）」となっている。

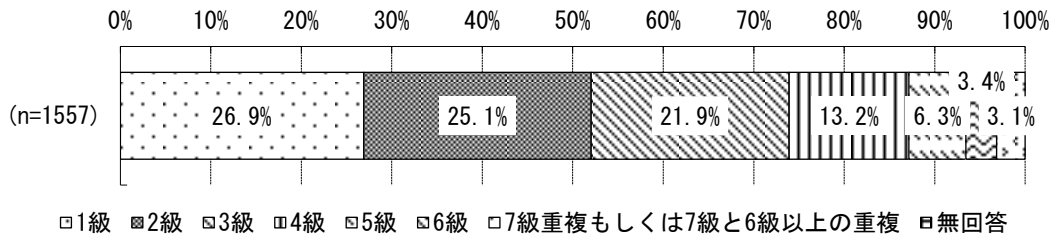
図表 3-28 身体障害者手帳の有無（単数選択）



3) 身体障害手帳の等級

「1 級」の割合が最も高く 26.9%となっている。次いで、「2 級 (25.1%)」、「3 級 (21.9%)」となっている。

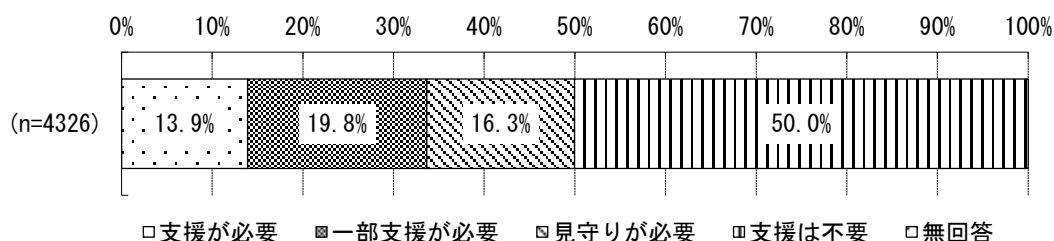
図表 3-29 身体障害者手帳の等級 (単数選択)



② 移動支援の必要性

「支援は不要」の割合が最も高く 50.0%となっている。次いで、「一部支援が必要（19.8%）」、「見守りが必要（16.3%）」となっている。

図表 3-30 移動支援の必要性（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-31 年齢区分別_移動支援の必要性

	合計	支援が必要	一部支援が必要	見守りが必要	支援は不要	無回答
Total	4326	601	856	705	2164	0
	100.0%	13.9%	19.8%	16.3%	50.0%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	128	186	152	255	0
	100.0%	17.8%	25.8%	21.1%	35.4%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	108	144	131	338	0
	100.0%	15.0%	20.0%	18.2%	46.9%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	96	132	119	374	0
	100.0%	13.3%	18.3%	16.5%	51.9%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	64	145	86	426	0
	100.0%	8.9%	20.1%	11.9%	59.1%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	62	94	102	463	0
	100.0%	8.6%	13.0%	14.1%	64.2%	0.0%
60歳以上	721	143	155	115	308	0
	100.0%	19.8%	21.5%	16.0%	42.7%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

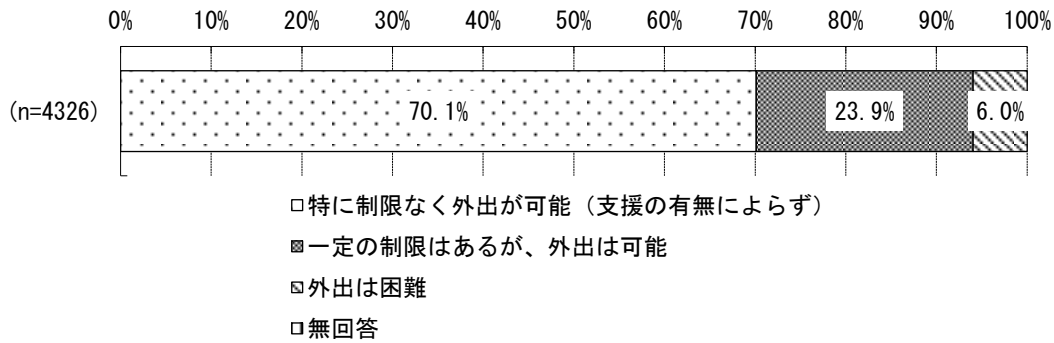
図表 3-32 障害種別_移動支援の必要性

	合計	支援が必要	一部支援が必要	見守りが必要	支援は不要	無回答
Total	4326	601	856	705	2164	0
	100.0%	13.9%	19.8%	16.3%	50.0%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	41	76	51	217	0
	100.0%	10.6%	19.7%	13.2%	56.4%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	8	58	60	296	0
	100.0%	1.9%	13.7%	14.2%	70.1%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	78	113	43	182	0
	100.0%	18.8%	27.2%	10.3%	43.8%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	45	88	66	356	0
	100.0%	8.1%	15.9%	11.9%	64.1%	0.0%
知的障害のみ	206	27	35	62	82	0
	100.0%	13.1%	17.0%	30.1%	39.8%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	21	62	113	427	0
	100.0%	3.4%	10.0%	18.1%	68.5%	0.0%
発達障害のみ	433	7	23	81	322	0
	100.0%	1.6%	5.3%	18.7%	74.4%	0.0%
身体障害+知的障害	158	65	43	24	26	0
	100.0%	41.1%	27.2%	15.2%	16.5%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	36	87	47	88	0
	100.0%	14.0%	33.7%	18.2%	34.1%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	190	169	66	28	0
	100.0%	41.9%	37.3%	14.6%	6.2%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	83	102	92	140	0
	100.0%	19.9%	24.5%	22.1%	33.6%	0.0%

③ 外出の制限状況

「特に制限なく外出が可能（支援の有無によらず）」の割合が最も高く 70.1%となっている。次いで、「一定の制限はあるが、外出は可能（23.9%）」、「外出は困難（6.0%）」となっている。

図表 3-33 外出の制限状況（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-34 年齢区分別_外出の制限状況

	合計	特に制限なく外出が可能（支援の有無によらず）	一定の制限はあるが、外出は可能	外出は困難	無回答
Total	4326	3034	1034	258	0
	100.0%	70.1%	23.9%	6.0%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	460	215	46	0
	100.0%	63.8%	29.8%	6.4%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	538	157	26	0
	100.0%	74.6%	21.8%	3.6%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	528	156	37	0
	100.0%	73.2%	21.6%	5.1%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	544	149	28	0
	100.0%	75.5%	20.7%	3.9%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	558	132	31	0
	100.0%	77.4%	18.3%	4.3%	0.0%
60歳以上	721	406	225	90	0
	100.0%	56.3%	31.2%	12.5%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-35 障害種別_外出の制限状況

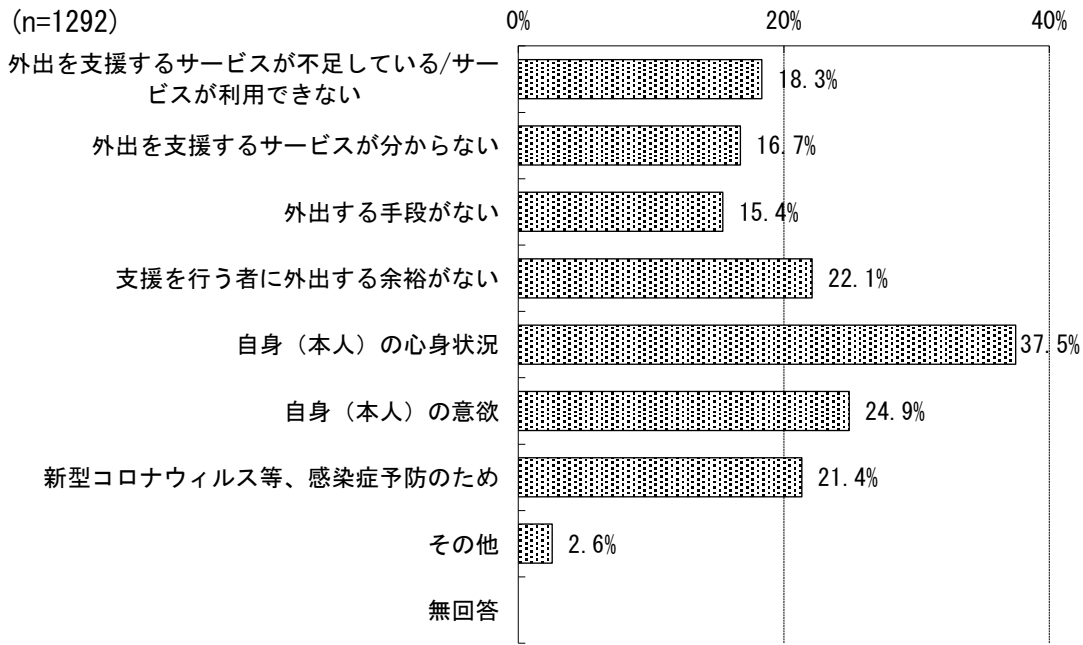
	合計	特に制限なく外出が可能（支援の有無によらず）	一定の制限はあるが、外出は可能	外出は困難	無回答
Total	4326 100.0%	3034 70.1%	1034 23.9%	258 6.0%	0 0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385 100.0%	277 71.9%	97 25.2%	11 2.9%	0 0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422 100.0%	371 87.9%	46 10.9%	5 1.2%	0 0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416 100.0%	261 62.7%	122 29.3%	33 7.9%	0 0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555 100.0%	408 73.5%	103 18.6%	44 7.9%	0 0.0%
知的障害のみ	206 100.0%	140 68.0%	47 22.8%	19 9.2%	0 0.0%
精神障害のみ、精神障害＋発達障害	623 100.0%	504 80.9%	99 15.9%	20 3.2%	0 0.0%
発達障害のみ	433 100.0%	381 88.0%	48 11.1%	4 0.9%	0 0.0%
身体障害＋知的障害	158 100.0%	79 50.0%	63 39.9%	16 10.1%	0 0.0%
身体障害＋精神障害（発達障害含む）	258 100.0%	149 57.8%	89 34.5%	20 7.8%	0 0.0%
身体障害＋知的障害＋精神障害（発達障害含む）	453 100.0%	208 45.9%	190 41.9%	55 12.1%	0 0.0%
知的障害＋精神障害（発達障害含む）	417 100.0%	256 61.4%	130 31.2%	31 7.4%	0 0.0%

【外出に一定の制限がある、もしくは外出は困難とした場合】

④ 外出に制限がある理由、外出が困難な理由

「自身（本人）の心身状況」の割合が最も高く 37.5%となっている。次いで、「自身（本人）の意欲（24.9%）」、「支援を行う者に外出する余裕がない（22.1%）」となっている。

図表 3-36 外出に制限がある理由、外出が困難な理由（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-37 年齢区分別_外出に制限がある理由、外出が困難な理由

	合計	外出を支援するサービスが不足している/サービスが利用できない	外出を支援するサービスが分からない	外出する手段がない	支援を行う者に外出する余裕がない	自身（本人）の心身状況	自身（本人）の意欲	新型コロナウイルス等、感染症予防のため	その他	無回答
Total	1292	237	216	199	286	484	322	276	33	0
	100.0%	18.3%	16.7%	15.4%	22.1%	37.5%	24.9%	21.4%	2.6%	0.0%
18歳以上20歳未満	261	58	56	60	63	80	51	42	4	0
	100.0%	22.2%	21.5%	23.0%	24.1%	30.7%	19.5%	16.1%	1.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	183	36	34	26	41	59	47	37	5	0
	100.0%	19.7%	18.6%	14.2%	22.4%	32.2%	25.7%	20.2%	2.7%	0.0%
30歳以上40歳未満	193	38	32	28	43	81	51	49	5	0
	100.0%	19.7%	16.6%	14.5%	22.3%	42.0%	26.4%	25.4%	2.6%	0.0%
40歳以上50歳未満	177	36	37	28	37	82	54	34	5	0
	100.0%	20.3%	20.9%	15.8%	20.9%	46.3%	30.5%	19.2%	2.8%	0.0%
50歳以上60歳未満	163	22	16	16	39	76	34	30	5	0
	100.0%	13.5%	9.8%	9.8%	23.9%	46.6%	20.9%	18.4%	3.1%	0.0%
60歳以上	315	47	41	41	63	106	85	84	9	0
	100.0%	14.9%	13.0%	13.0%	20.0%	33.7%	27.0%	26.7%	2.9%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_障害種別)

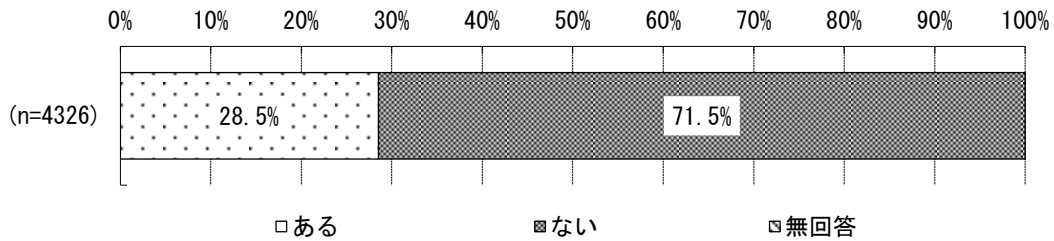
図表 3-38 障害種別_外出に制限がある理由、外出が困難な理由

	合計	外出を支援するサービスが不足している/サービスが利用できない	外出を支援するサービスが分からない	外出する手段がない	支援を行う者に外出する余裕がない	自身(本人)の心身状況	自身(本人)の意欲	新型コロナウイルス等、感染症予防のため	その他	無回答
Total	1292	237	216	199	286	484	322	276	33	0
	100.0%	18.3%	16.7%	15.4%	22.1%	37.5%	24.9%	21.4%	2.6%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	108	23	18	15	22	28	30	19	3	0
	100.0%	21.3%	16.7%	13.9%	20.4%	25.9%	27.8%	17.6%	2.8%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	51	5	11	6	13	16	13	14	0	0
	100.0%	9.8%	21.6%	11.8%	25.5%	31.4%	25.5%	27.5%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	155	36	20	23	28	51	38	38	7	0
	100.0%	23.2%	12.9%	14.8%	18.1%	32.9%	24.5%	24.5%	4.5%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	147	21	17	12	22	50	29	37	6	0
	100.0%	14.3%	11.6%	8.2%	15.0%	34.0%	19.7%	25.2%	4.1%	0.0%
知的障害のみ	66	11	11	11	11	14	16	10	2	0
	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	21.2%	24.2%	15.2%	3.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	119	6	11	16	16	82	44	16	1	0
	100.0%	5.0%	9.2%	13.4%	13.4%	68.9%	37.0%	13.4%	0.8%	0.0%
発達障害のみ	52	1	11	7	9	20	21	10	0	0
	100.0%	1.9%	21.2%	13.5%	17.3%	38.5%	40.4%	19.2%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	79	17	11	6	25	18	16	20	6	0
	100.0%	21.5%	13.9%	7.6%	31.6%	22.8%	20.3%	25.3%	7.6%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	109	19	27	19	25	52	35	24	2	0
	100.0%	17.4%	24.8%	17.4%	22.9%	47.7%	32.1%	22.0%	1.8%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	245	67	57	60	75	88	49	53	2	0
	100.0%	27.3%	23.3%	24.5%	30.6%	35.9%	20.0%	21.6%	0.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	161	31	22	24	40	65	31	35	4	0
	100.0%	19.3%	13.7%	14.9%	24.8%	40.4%	19.3%	21.7%	2.5%	0.0%

⑤ 知的障害の有無

「ない」の割合が71.5%、「ある」の割合が28.5%となっている。

図表 3-39 知的障害の有無（単数選択）

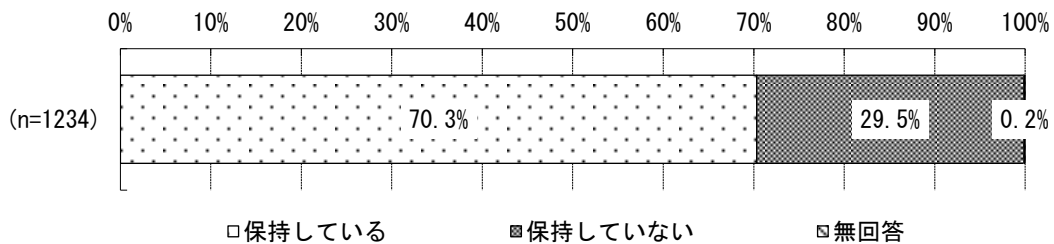


【知的障害がある場合】

1) 療育手帳の有無

知的障害が「ある」の場合、療育手帳は「保持している」の割合が最も高く70.3%となっている。次いで、「保持していない（29.5%）」となっている。

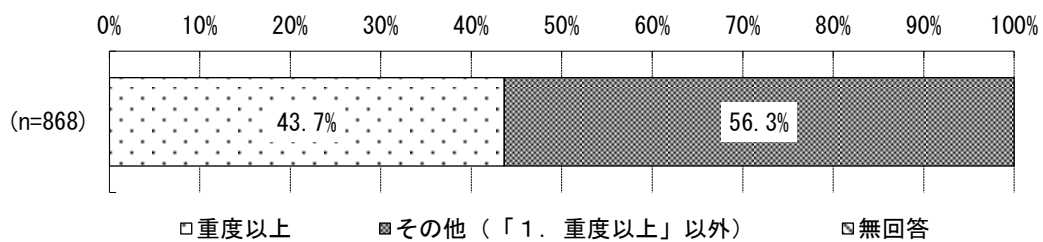
図表 3-40 療育手帳の有無（単数選択）



2) 療育手帳の等級

療育手帳を保持している場合、等級は「その他（「1. 重度以上」以外）」の割合が最も高く56.3%となっている。次いで、「重度以上（43.7%）」となっている。

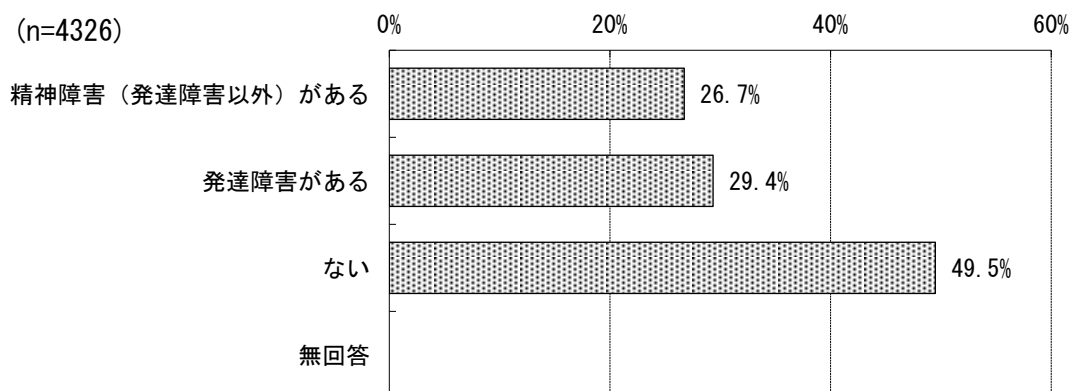
図表 3-41 療育手帳の等級（単数選択）



⑥ 精神障害の有無

「ない」の割合が最も高く 49.5%となっている。次いで、「発達障害がある（29.4%）」、「精神障害（発達障害以外）がある（26.7%）」となっている。

図表 3-42 精神障害の有無（複数選択）

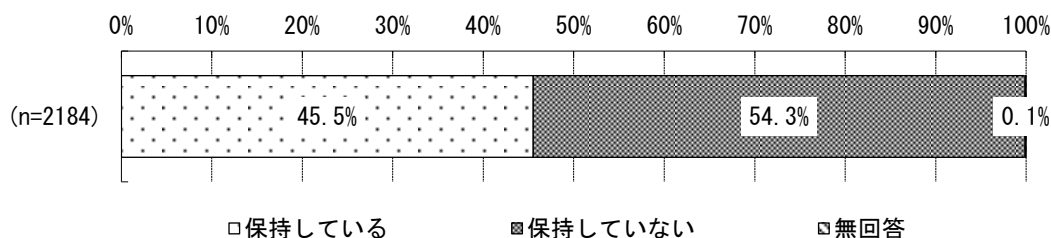


【精神障害がある場合】

1) 精神障害者保健福祉手帳の有無

精神障害が「ある」の場合、精神障害者手帳は「保持していない」の割合が最も高く 54.3%となっている。次いで、「保持している（45.5%）」となっている。

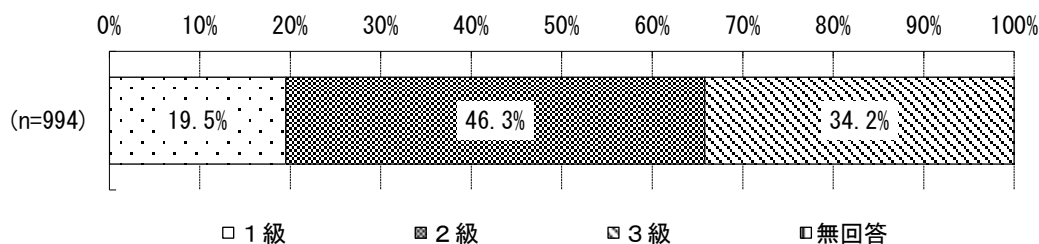
図表 3-43 精神障害者手帳の有無（単数選択）



2) 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害が「ある」場合、精神障害者保健福祉手帳の等級は「2級」の割合が最も高く 46.3%となっている。次いで、「3級（34.2%）」、「1級（19.5%）」となっている。

図表 3-44 精神障害者保健福祉手帳の等級（単数選択）

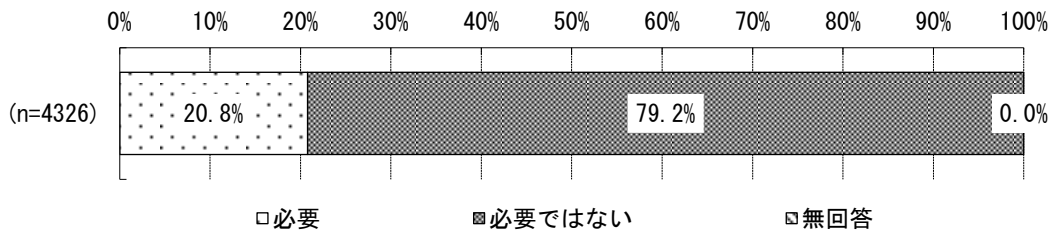


⑦ 医療的ケアの必要の有無

「必要ではない」の割合が 79.2%、「必要」の割合が 20.8%となっている。

※医療的ケアの内容として「その他」を選択しているが、服薬管理や通院等、在宅等で日常的に行われている医行為ではない回答については、「必要ではない」として計上した。

図表 3-45 医療的ケアの必要の有無（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-46 年齢区分別_医療的ケアの必要の有無

	合計	必要	必要ではない	無回答
Total	4326	899	3427	0
	100.0%	20.8%	79.2%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	228	493	0
	100.0%	31.6%	68.4%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	134	587	0
	100.0%	18.6%	81.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	144	577	0
	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	104	617	0
	100.0%	14.4%	85.6%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	102	619	0
	100.0%	14.1%	85.9%	0.0%
60歳以上	721	187	534	0
	100.0%	25.9%	74.1%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-47 障害種別_医療的ケアの必要の有無

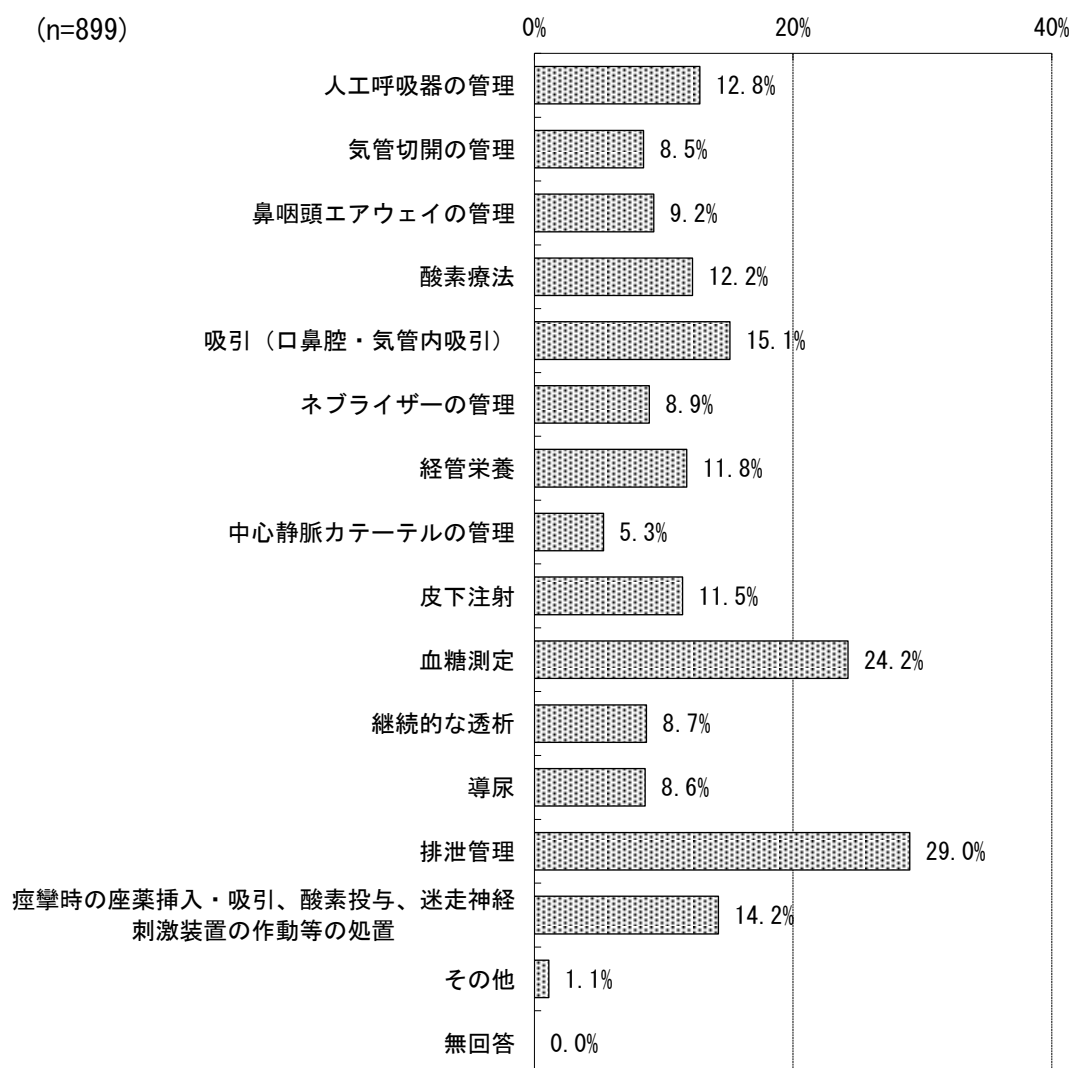
	合計	必要	必要ではない	無回答
Total	4326	899	3427	0
	100.0%	20.8%	79.2%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	30	355	0
	100.0%	7.8%	92.2%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	25	397	0
	100.0%	5.9%	94.1%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	73	343	0
	100.0%	17.5%	82.5%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	92	463	0
	100.0%	16.6%	83.4%	0.0%
知的障害のみ	206	26	180	0
	100.0%	12.6%	87.4%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	82	541	0
	100.0%	13.2%	86.8%	0.0%
発達障害のみ	433	30	403	0
	100.0%	6.9%	93.1%	0.0%
身体障害+知的障害	158	57	101	0
	100.0%	36.1%	63.9%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	75	183	0
	100.0%	29.1%	70.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	311	142	0
	100.0%	68.7%	31.3%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	98	319	0
	100.0%	23.5%	76.5%	0.0%

【医療的ケアがある場合】

1) 医療的ケアの種類

医療的ケアが必要な場合、「排泄管理」の割合が最も高く 29.0%となっている。次いで、「血糖測定（24.2%）」、「吸引（15.1%）」となっている。

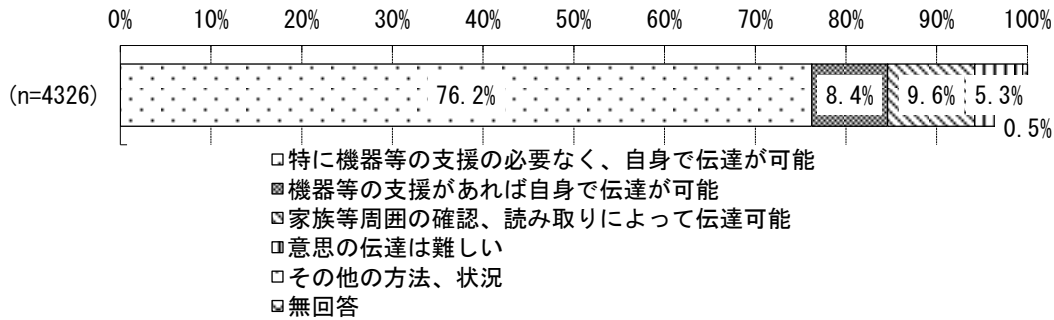
図表 3-48 医療的ケアの種類（複数選択）



⑧ 自身（本人）の意思の伝達

「特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能」の割合が最も高く76.2%となっている。次いで、「家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能（9.6%）」、「機器等の支援があれば自身で伝達が可能（8.4%）」となっている。

図表 3-49 自身（本人）の意思の伝達（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-50 年齢区分別_自身（本人）の意思の伝達

	合計	特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	機器等の支援があれば自身で伝達が可能	家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	意思の伝達は難しい	その他の方法、状況	無回答
Total	4326	3297	362	416	229	22	0
	100.0%	76.2%	8.4%	9.6%	5.3%	0.5%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	453	101	107	59	1	0
	100.0%	62.8%	14.0%	14.8%	8.2%	0.1%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	535	63	86	34	3	0
	100.0%	74.2%	8.7%	11.9%	4.7%	0.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	561	58	61	35	6	0
	100.0%	77.8%	8.0%	8.5%	4.9%	0.8%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	582	61	52	25	1	0
	100.0%	80.7%	8.5%	7.2%	3.5%	0.1%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	619	30	38	27	7	0
	100.0%	85.9%	4.2%	5.3%	3.7%	1.0%	0.0%
60歳以上	721	547	49	72	49	4	0
	100.0%	75.9%	6.8%	10.0%	6.8%	0.6%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_障害種別)

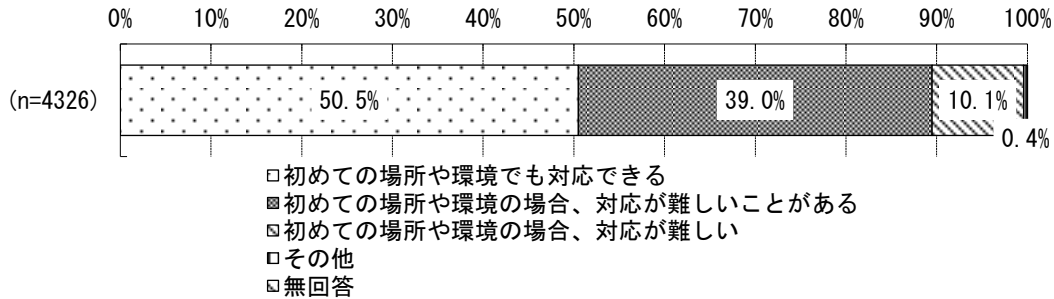
図表 3-51 障害種別_自身(本人)の意思の伝達

	合計	特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	機器等の支援があれば自身で伝達が可能	家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	意思の伝達は難しい	その他の方法、状況	無回答
Total	4326	3297	362	416	229	22	0
	100.0%	76.2%	8.4%	9.6%	5.3%	0.5%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	337	26	16	6	0	0
	100.0%	87.5%	6.8%	4.2%	1.6%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	292	81	39	5	5	0
	100.0%	69.2%	19.2%	9.2%	1.2%	1.2%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	384	11	13	6	2	0
	100.0%	92.3%	2.6%	3.1%	1.4%	0.5%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	454	28	31	38	4	0
	100.0%	81.8%	5.0%	5.6%	6.8%	0.7%	0.0%
知的障害のみ	206	140	8	35	22	1	0
	100.0%	68.0%	3.9%	17.0%	10.7%	0.5%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	578	11	21	11	2	0
	100.0%	92.8%	1.8%	3.4%	1.8%	0.3%	0.0%
発達障害のみ	433	382	15	22	14	0	0
	100.0%	88.2%	3.5%	5.1%	3.2%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	158	85	13	26	32	2	0
	100.0%	53.8%	8.2%	16.5%	20.3%	1.3%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	178	46	24	9	1	0
	100.0%	69.0%	17.8%	9.3%	3.5%	0.4%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	179	102	116	53	3	0
	100.0%	39.5%	22.5%	25.6%	11.7%	0.7%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	288	21	73	33	2	0
	100.0%	69.1%	5.0%	17.5%	7.9%	0.5%	0.0%

⑨ 環境変化への対応

「初めての場所や環境でも対応できる」の割合が最も高く 50.5%となっている。次いで、「初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある（39.0%）」、「初めての場所や環境の場合、対応が難しい（10.1%）」となっている。

図表 3-52 環境変化への対応（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-53 年齢区分別_環境変化への対応

	合計	初めての場所や環境でも対応できる	初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	初めての場所や環境の場合、対応が難しい	その他	無回答
Total	4326	2185	1686	437	18	0
	100.0%	50.5%	39.0%	10.1%	0.4%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	314	325	81	1	0
	100.0%	43.6%	45.1%	11.2%	0.1%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	315	335	68	3	0
	100.0%	43.7%	46.5%	9.4%	0.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	358	287	72	4	0
	100.0%	49.7%	39.8%	10.0%	0.6%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	393	271	55	2	0
	100.0%	54.5%	37.6%	7.6%	0.3%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	425	224	68	4	0
	100.0%	58.9%	31.1%	9.4%	0.6%	0.0%
60歳以上	721	380	244	93	4	0
	100.0%	52.7%	33.8%	12.9%	0.6%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-54 障害種別_環境変化への対応

	合計	初めての場所や環境でも対応できる	初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	初めての場所や環境の場合、対応が難しい	その他	無回答
Total	4326	2185	1686	437	18	0
	100.0%	50.5%	39.0%	10.1%	0.4%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	255	110	19	1	0
	100.0%	66.2%	28.6%	4.9%	0.3%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	298	110	13	1	0
	100.0%	70.6%	26.1%	3.1%	0.2%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	314	88	12	2	0
	100.0%	75.5%	21.2%	2.9%	0.5%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	375	137	39	4	0
	100.0%	67.6%	24.7%	7.0%	0.7%	0.0%
知的障害のみ	206	56	112	37	1	0
	100.0%	27.2%	54.4%	18.0%	0.5%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	287	268	67	1	0
	100.0%	46.1%	43.0%	10.8%	0.2%	0.0%
発達障害のみ	433	199	203	31	0	0
	100.0%	46.0%	46.9%	7.2%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	158	73	60	20	5	0
	100.0%	46.2%	38.0%	12.7%	3.2%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	86	139	33	0	0
	100.0%	33.3%	53.9%	12.8%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	145	234	72	2	0
	100.0%	32.0%	51.7%	15.9%	0.4%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	97	225	94	1	0
	100.0%	23.3%	54.0%	22.5%	0.2%	0.0%

3. 現在の生涯学習の状況

※「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習活動を指す言葉として用いられる（文部科学白書）。本アンケートでは、以下の点に留意して回答を依頼した。

【 回答に当たって 】

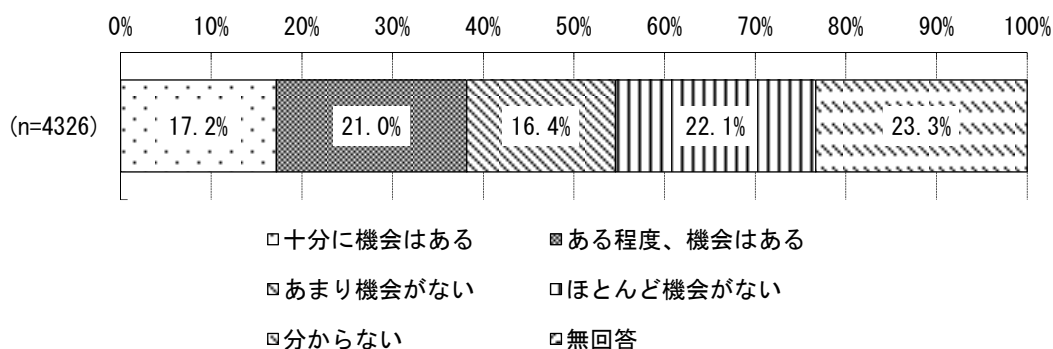
- 上記の生涯学習活動のうち、ご自身（本人）の学校教育課程（授業等）以外での学習や活動の機会、社会参加の機会全般についてお伺いします。
- ここでいう生涯学習（学習や活動、社会参加の機会）とは、ご自宅でのテレビやインターネットを活用した学びや、民間サービスやボランティアによる訪問カレッジ等における学び、生活介護や施設入所支援といった障害福祉サービス利用時の余暇活動やレクリエーション活動の機会、公民館や生涯学習センター、カルチャー教室などの講座や活動、学校・大学等での公開講座への参加や、図書館・博物館等の利用といった、学習の機会全般を指します。
- ただし、医師や看護師、理学療法士や作業療法士など専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除いてください。

(1) 充足度、意欲

① 現在の生涯学習の機会の充足度（※実際に取り組んでいるかどうか、参加しているかどうかは不問）

「分からない」の割合が最も高く 23.3%となっている。次いで、「ほとんど機会がない（22.1%）」、「ある程度、機会はある（21.0%）」となっている。

図表 3-55 現在の生涯学習の機会の充足度（単数選択）



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-56 市区町村区分別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
東京23区	384	77	87	56	64	100	0
	100.0%	20.1%	22.7%	14.6%	16.7%	26.0%	0.0%
政令指定都市	1292	265	261	193	297	276	0
	100.0%	20.5%	20.2%	14.9%	23.0%	21.4%	0.0%
政令指定都市以外の市	2038	315	438	369	459	457	0
	100.0%	15.5%	21.5%	18.1%	22.5%	22.4%	0.0%
町・村	606	85	122	92	133	174	0
	100.0%	14.0%	20.1%	15.2%	21.9%	28.7%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-57 年齢区分別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	169	218	119	94	121	0
	100.0%	23.4%	30.2%	16.5%	13.0%	16.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	127	181	130	122	161	0
	100.0%	17.6%	25.1%	18.0%	16.9%	22.3%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	117	165	114	167	158	0
	100.0%	16.2%	22.9%	15.8%	23.2%	21.9%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	118	122	129	168	184	0
	100.0%	16.4%	16.9%	17.9%	23.3%	25.5%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	127	108	109	191	186	0
	100.0%	17.6%	15.0%	15.1%	26.5%	25.8%	0.0%
60歳以上	721	85	114	109	214	199	0
	100.0%	11.8%	15.8%	15.1%	29.7%	27.6%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-58 障害種別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	96	65	51	81	92	0
	100.0%	24.9%	16.9%	13.2%	21.0%	23.9%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	78	78	61	82	123	0
	100.0%	18.5%	18.5%	14.5%	19.4%	29.1%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	93	81	55	97	90	0
	100.0%	22.4%	19.5%	13.2%	23.3%	21.6%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その 他身体障害、身体障害の重複	555	118	88	83	116	150	0
	100.0%	21.3%	15.9%	15.0%	20.9%	27.0%	0.0%
知的障害のみ	206	15	29	41	48	73	0
	100.0%	7.3%	14.1%	19.9%	23.3%	35.4%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	623	81	104	105	172	161	0
	100.0%	13.0%	16.7%	16.9%	27.6%	25.8%	0.0%
発達障害のみ	433	78	76	70	81	128	0
	100.0%	18.0%	17.6%	16.2%	18.7%	29.6%	0.0%
身体障害+知的障害	158	25	38	34	34	27	0
	100.0%	15.8%	24.1%	21.5%	21.5%	17.1%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害 含む)	258	33	68	57	64	36	0
	100.0%	12.8%	26.4%	22.1%	24.8%	14.0%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 (発達障害含む)	453	91	182	69	63	48	0
	100.0%	20.1%	40.2%	15.2%	13.9%	10.6%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害 含む)	417	35	99	84	118	81	0
	100.0%	8.4%	23.7%	20.1%	28.3%	19.4%	0.0%

(クロス集計_日中の過ごし方別)

図表 3-59 日中の過ごし方別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
自宅で過ごすことが 多い	2150	352	409	359	530	500	0
	100.0%	16.4%	19.0%	16.7%	24.7%	23.3%	0.0%
学校や職場にいた ることが多い	1405	319	322	194	231	339	0
	100.0%	22.7%	22.9%	13.8%	16.4%	24.1%	0.0%
障害サービス事業所 や施設、医療機関等	724	66	169	154	186	149	0
	100.0%	9.1%	23.3%	21.3%	25.7%	20.6%	0.0%
その他	47	6	8	3	9	21	0
	100.0%	12.8%	17.0%	6.4%	19.1%	44.7%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-60 移動支援の状況別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
支援が必要	601	95	128	100	173	105	0
	100.0%	15.8%	21.3%	16.6%	28.8%	17.5%	0.0%
一部支援が必要	856	90	292	186	155	133	0
	100.0%	10.5%	34.1%	21.7%	18.1%	15.5%	0.0%
見守りが必要	705	77	183	159	147	139	0
	100.0%	10.9%	26.0%	22.6%	20.9%	19.7%	0.0%
支援は不要	2164	481	305	265	481	632	0
	100.0%	22.2%	14.1%	12.2%	22.2%	29.2%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-61 外出の状況別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
特に制限なく外出が可能 (支援の有無によらず)	3034	645	572	416	631	770	0
	100.0%	21.3%	18.9%	13.7%	20.8%	25.4%	0.0%
一定の制限はあるが、外出 は可能	1034	80	305	248	234	167	0
	100.0%	7.7%	29.5%	24.0%	22.6%	16.2%	0.0%
外出は困難	258	18	31	46	91	72	0
	100.0%	7.0%	12.0%	17.8%	35.3%	27.9%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-62 意思の伝達状況別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
特に機器等の支援の必要 なく、自身で伝達が可能	3297	645	601	484	742	825	0
	100.0%	19.6%	18.2%	14.7%	22.5%	25.0%	0.0%
機器等の支援があれば自 身で伝達が可能	362	43	168	75	34	42	0
	100.0%	11.9%	46.4%	20.7%	9.4%	11.6%	0.0%
家族等周囲の確認、読み 取りによって伝達可能	416	36	108	107	102	63	0
	100.0%	8.7%	26.0%	25.7%	24.5%	15.1%	0.0%
意思の伝達は難しい	229	18	30	43	71	67	0
	100.0%	7.9%	13.1%	18.8%	31.0%	29.3%	0.0%
その他の方法、状況	22	1	1	1	7	12	0
	100.0%	4.5%	4.5%	4.5%	31.8%	54.5%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-63 環境への対応状況別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
初めての場所や環境でも対応 できる	2185	588	356	256	385	600	0
	100.0%	26.9%	16.3%	11.7%	17.6%	27.5%	0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しいことがある	1686	132	481	366	411	296	0
	100.0%	7.8%	28.5%	21.7%	24.4%	17.6%	0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しい	437	22	71	86	156	102	0
	100.0%	5.0%	16.2%	19.7%	35.7%	23.3%	0.0%
その他	18	1	0	2	4	11	0
	100.0%	5.6%	0.0%	11.1%	22.2%	61.1%	0.0%

(クロス集計_情報収集活動の有無別)

図表 3-64 情報収集活動の有無別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
情報収集を行っている/行っていた	879	233	364	152	92	38	0
	100.0%	26.5%	41.4%	17.3%	10.5%	4.3%	0.0%
特に情報収集は行っ ていない	3447	510	544	558	864	971	0
	100.0%	14.8%	15.8%	16.2%	25.1%	28.2%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

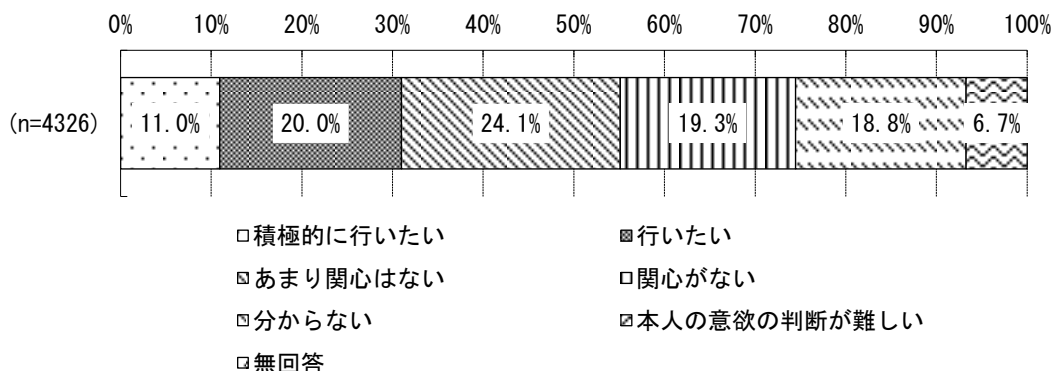
図表 3-65 相談できる人、機関の有無別_現在の生涯学習の機会の充足度

	合計	十分に機会はあ る	ある程度、機 会はあ る	あまり機会がな い	ほとんど機会が ない	分からない	無回答
Total	4326	743	908	710	956	1009	0
	100.0%	17.2%	21.0%	16.4%	22.1%	23.3%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はある	1836	413	557	273	277	316	0
	100.0%	22.5%	30.3%	14.9%	15.1%	17.2%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はない	2490	330	351	437	679	693	0
	100.0%	13.3%	14.1%	17.6%	27.3%	27.8%	0.0%

② 現在の自身（本人）の生涯学習への意欲

「あまり関心はない」の割合が最も高く 24.1%となっている。次いで、「行いたい（20.0%）」、「関心がない（19.3%）」となっている。

図表 3-66 現在の自身（本人）の生涯学習への意欲（単数選択）



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-67 市区町村区分別_現在の自身（本人）の生涯学習への意欲

	合計	積極的にやりたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
東京23区	384	54	81	91	60	75	23	0
	100.0%	14.1%	21.1%	23.7%	15.6%	19.5%	6.0%	0.0%
政令指定都市	1292	169	279	300	234	222	88	0
	100.0%	13.1%	21.6%	23.2%	18.1%	17.2%	6.8%	0.0%
政令指定都市以外の市	2038	199	394	511	425	381	128	0
	100.0%	9.8%	19.3%	25.1%	20.9%	18.7%	6.3%	0.0%
町・村	606	51	113	140	117	134	51	0
	100.0%	8.4%	18.6%	23.1%	19.3%	22.1%	8.4%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-68 年齢区分別_現在の自身（本人）の生涯学習への意欲

	合計	積極的にやりたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	133	181	163	72	131	41	0
	100.0%	18.4%	25.1%	22.6%	10.0%	18.2%	5.7%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	83	178	174	97	138	51	0
	100.0%	11.5%	24.7%	24.1%	13.5%	19.1%	7.1%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	82	167	161	128	137	46	0
	100.0%	11.4%	23.2%	22.3%	17.8%	19.0%	6.4%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	77	127	188	159	136	34	0
	100.0%	10.7%	17.6%	26.1%	22.1%	18.9%	4.7%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	57	108	184	202	139	31	0
	100.0%	7.9%	15.0%	25.5%	28.0%	19.3%	4.3%	0.0%
60歳以上	721	42	106	173	179	133	88	0
	100.0%	5.8%	14.7%	24.0%	24.8%	18.4%	12.2%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-69 障害種別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

	合計	積極的にやりたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	41	68	104	81	72	19	0
	100.0%	10.6%	17.7%	27.0%	21.0%	18.7%	4.9%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	34	85	103	92	91	17	0
	100.0%	8.1%	20.1%	24.4%	21.8%	21.6%	4.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	42	88	108	89	79	10	0
	100.0%	10.1%	21.2%	26.0%	21.4%	19.0%	2.4%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	64	87	138	121	120	25	0
	100.0%	11.5%	15.7%	24.9%	21.8%	21.6%	4.5%	0.0%
知的障害のみ	206	11	30	46	28	62	29	0
	100.0%	5.3%	14.6%	22.3%	13.6%	30.1%	14.1%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	60	111	157	163	107	25	0
	100.0%	9.6%	17.8%	25.2%	26.2%	17.2%	4.0%	0.0%
発達障害のみ	433	46	73	100	98	98	18	0
	100.0%	10.6%	16.9%	23.1%	22.6%	22.6%	4.2%	0.0%
身体障害+知的障害	158	16	40	34	14	30	24	0
	100.0%	10.1%	25.3%	21.5%	8.9%	19.0%	15.2%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	40	59	75	39	37	8	0
	100.0%	15.5%	22.9%	29.1%	15.1%	14.3%	3.1%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	87	142	103	34	47	40	0
	100.0%	19.2%	31.3%	22.7%	7.5%	10.4%	8.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	33	84	75	78	71	76	0
	100.0%	7.9%	20.1%	18.0%	18.7%	17.0%	18.2%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-70 移動支援の状況別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

	合計	積極的にやりたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
支援が必要	601	84	120	116	79	89	113	0
	100.0%	14.0%	20.0%	19.3%	13.1%	14.8%	18.8%	0.0%
一部支援が必要	856	98	246	228	104	134	46	0
	100.0%	11.4%	28.7%	26.6%	12.1%	15.7%	5.4%	0.0%
見守りが必要	705	56	172	176	110	142	49	0
	100.0%	7.9%	24.4%	25.0%	15.6%	20.1%	7.0%	0.0%
支援は不要	2164	236	329	523	544	449	83	0
	100.0%	10.9%	15.2%	24.2%	25.1%	20.7%	3.8%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-71 外出の状況別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

	合計	積極的にやりたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	3034	382	580	720	626	595	131	0
	100.0%	12.6%	19.1%	23.7%	20.6%	19.6%	4.3%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	1034	78	258	283	161	163	91	0
	100.0%	7.5%	25.0%	27.4%	15.6%	15.8%	8.8%	0.0%
外出は困難	258	14	29	40	50	56	69	0
	100.0%	5.4%	11.2%	15.5%	19.4%	21.7%	26.7%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-72 意思の伝達状況別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

	合計	積極的にやりたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	3297	396	609	797	702	647	146	0
	100.0%	12.0%	18.5%	24.2%	21.3%	19.6%	4.4%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	362	44	132	107	28	37	14	0
	100.0%	12.2%	36.5%	29.6%	7.7%	10.2%	3.9%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	416	25	98	99	68	73	53	0
	100.0%	6.0%	23.6%	23.8%	16.3%	17.5%	12.7%	0.0%
意思の伝達は難しい	229	7	27	38	35	49	73	0
	100.0%	3.1%	11.8%	16.6%	15.3%	21.4%	31.9%	0.0%
その他の方法、状況	22	2	1	2	4	8	5	0
	100.0%	9.1%	4.5%	9.1%	18.2%	36.4%	22.7%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-73 環境への対応状況別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

	合計	積極的に行いたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	2185	315	377	530	449	434	80	0
	100.0%	14.4%	17.3%	24.3%	20.5%	19.9%	3.7%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1686	133	424	443	292	289	105	0
	100.0%	7.9%	25.1%	26.3%	17.3%	17.1%	6.2%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	437	24	66	68	96	83	100	0
	100.0%	5.5%	15.1%	15.6%	22.0%	19.0%	22.9%	0.0%
その他	18	2	0	2	0	8	6	0
	100.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%	33.3%	0.0%

(クロス集計_情報収集活動の有無別)

図表 3-74 情報収集活動の有無別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

	合計	積極的に行いたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
情報収集を行っている/行っていた	879	243	352	156	49	57	22	0
	100.0%	27.6%	40.0%	17.7%	5.6%	6.5%	2.5%	0.0%
特に情報収集は行っていない	3447	231	515	887	788	757	269	0
	100.0%	6.7%	14.9%	25.7%	22.9%	22.0%	7.8%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-75 相談できる人、機関の有無別_現在の自身(本人)の生涯学習への意欲

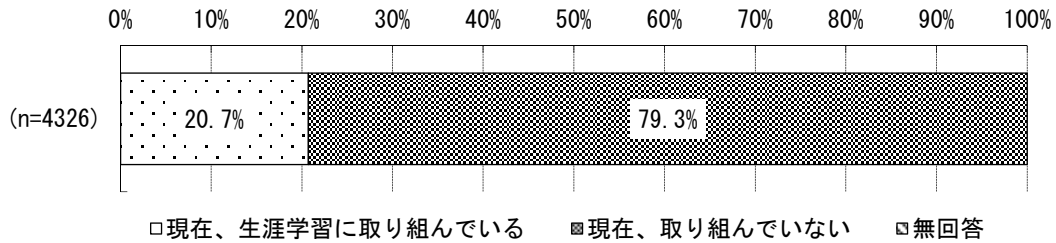
	合計	積極的に行いたい	行いたい	あまり関心はない	関心がない	分からない	本人の意欲の判断が難しい	無回答
Total	4326	474	867	1043	837	814	291	0
	100.0%	11.0%	20.0%	24.1%	19.3%	18.8%	6.7%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はある	1836	314	480	399	231	304	108	0
	100.0%	17.1%	26.1%	21.7%	12.6%	16.6%	5.9%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はない	2490	160	387	644	606	510	183	0
	100.0%	6.4%	15.5%	25.9%	24.3%	20.5%	7.3%	0.0%

(2) 取組状況

① 生涯学習への取組の有無

「現在、取り組んでいない」の割合が79.3%、「現在、生涯学習に取り組んでいる」の割合が20.7%となっている。

図表 3-76 生涯学習への取組の有無（単数選択）



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-77 市区町村区分別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習に取り組んでいる	現在、取り組んでいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
東京23区	384	105	279	0
	100.0%	27.3%	72.7%	0.0%
政令指定都市	1292	308	984	0
	100.0%	23.8%	76.2%	0.0%
政令指定都市以外の市	2038	386	1652	0
	100.0%	18.9%	81.1%	0.0%
町・村	606	96	510	0
	100.0%	15.8%	84.2%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-78 年齢区分別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習に取り組んでいる	現在、取り組んでいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	282	439	0
	100.0%	39.1%	60.9%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	185	536	0
	100.0%	25.7%	74.3%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	158	563	0
	100.0%	21.9%	78.1%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	120	601	0
	100.0%	16.6%	83.4%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	78	643	0
	100.0%	10.8%	89.2%	0.0%
60歳以上	721	73	648	0
	100.0%	10.1%	89.9%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-79 障害種別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	56	329	0
	100.0%	14.5%	85.5%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	61	361	0
	100.0%	14.5%	85.5%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	69	347	0
	100.0%	16.6%	83.4%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その 他身体障害、身体障害の重複	555	75	480	0
	100.0%	13.5%	86.5%	0.0%
知的障害のみ	206	26	180	0
	100.0%	12.6%	87.4%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	623	90	533	0
	100.0%	14.4%	85.6%	0.0%
発達障害のみ	433	78	355	0
	100.0%	18.0%	82.0%	0.0%
身体障害+知的障害	158	43	115	0
	100.0%	27.2%	72.8%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	258	70	188	0
	100.0%	27.1%	72.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	453	250	203	0
	100.0%	55.2%	44.8%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	417	78	339	0
	100.0%	18.7%	81.3%	0.0%

(クロス集計_日中の過ごし方別)

図表 3-80 日中の過ごし方別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
自宅で過ごすことが 多い	2150	404	1746	0
	100.0%	18.8%	81.2%	0.0%
学校や職場にいた ることが多い	1405	311	1094	0
	100.0%	22.1%	77.9%	0.0%
障害サービス事業所 や施設、医療機関等	724	173	551	0
	100.0%	23.9%	76.1%	0.0%
その他	47	8	39	0
	100.0%	17.0%	83.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-81 移動支援の状況別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
支援が必要	601	180	421	0
	100.0%	30.0%	70.0%	0.0%
一部支援が必要	856	261	595	0
	100.0%	30.5%	69.5%	0.0%
見守りが必要	705	153	552	0
	100.0%	21.7%	78.3%	0.0%
支援は不要	2164	302	1862	0
	100.0%	14.0%	86.0%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-82 外出の状況別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326 100.0%	896 20.7%	3430 79.3%	0 0.0%
特に制限なく外出が可能 (支援の有無によらず)	3034 100.0%	598 19.7%	2436 80.3%	0 0.0%
一定の制限はあるが、外出 は可能	1034 100.0%	266 25.7%	768 74.3%	0 0.0%
外出は困難	258 100.0%	32 12.4%	226 87.6%	0 0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-83 意思の伝達状況別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326 100.0%	896 20.7%	3430 79.3%	0 0.0%
特に機器等の支援の必要 なく、自身で伝達が可能	3297 100.0%	580 17.6%	2717 82.4%	0 0.0%
機器等の支援があれば自 身で伝達が可能	362 100.0%	160 44.2%	202 55.8%	0 0.0%
家族等周囲の確認、読み 取りによって伝達可能	416 100.0%	114 27.4%	302 72.6%	0 0.0%
意思の伝達は難しい	229 100.0%	40 17.5%	189 82.5%	0 0.0%
その他の方法、状況	22 100.0%	2 9.1%	20 90.9%	0 0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-84 環境への対応状況別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326 100.0%	896 20.7%	3430 79.3%	0 0.0%
初めての場所や環境でも対応 できる	2185 100.0%	430 19.7%	1755 80.3%	0 0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しいことがある	1686 100.0%	403 23.9%	1283 76.1%	0 0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しい	437 100.0%	61 14.0%	376 86.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	2 11.1%	16 88.9%	0 0.0%

(クロス集計_情報収集活動の有無別)

図表 3-85 情報収集活動の有無別_生涯学習への取組の有無

	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
情報収集を行っている／行っていた	879	541	338	0
	100.0%	61.5%	38.5%	0.0%
特に情報収集は行っていない	3447	355	3092	0
	100.0%	10.3%	89.7%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-86 相談できる人、機関の有無別_生涯学習への取組の有無

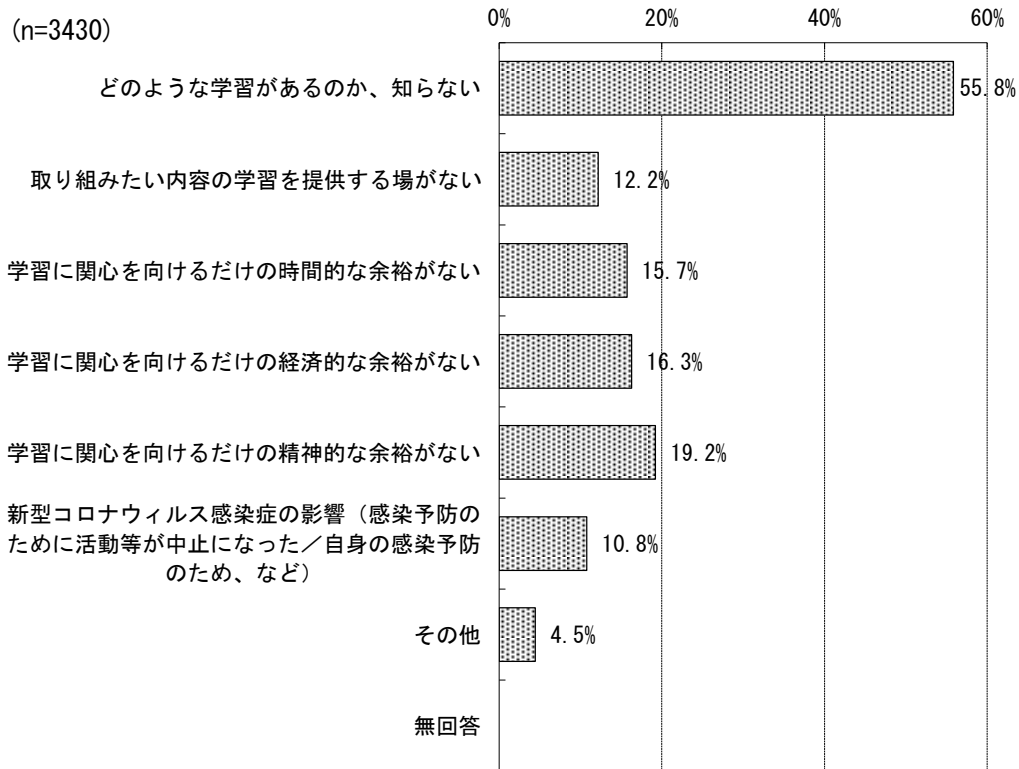
	合計	現在、生涯学習 に取り組んでいる	現在、取り組ん でいない	無回答
Total	4326	896	3430	0
	100.0%	20.7%	79.3%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はある	1836	645	1191	0
	100.0%	35.1%	64.9%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はない	2490	251	2239	0
	100.0%	10.1%	89.9%	0.0%

【生涯学習に取り組んでいない場合】

② 生涯学習に取り組んでいない理由

「どのような学習があるのか、知らない」の割合が最も高く 55.8%となっている。次いで、「学習に関心を向けるだけの精神的な余裕がない（19.2%）」、「学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない（16.3%）」となっている。

図表 3-87 生涯学習に取り組んでいない理由（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-88 年齢区分別_生涯学習に取り組んでいない理由

	合計	どのような学習があるのか、知らない	取り組みたい内容の学習を提供する場がない	学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの精神的な余裕がない	新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった／自身の感染予防のため、など）	その他	無回答
Total	3430	1915	418	539	558	659	370	153	0
	100.0%	55.8%	12.2%	15.7%	16.3%	19.2%	10.8%	4.5%	0.0%
18歳以上20歳未満	439	236	59	82	62	72	49	17	0
	100.0%	53.8%	13.4%	18.7%	14.1%	16.4%	11.2%	3.9%	0.0%
20歳以上30歳未満	536	316	63	80	75	85	54	17	0
	100.0%	59.0%	11.8%	14.9%	14.0%	15.9%	10.1%	3.2%	0.0%
30歳以上40歳未満	563	342	84	84	93	103	64	19	0
	100.0%	60.7%	14.9%	14.9%	16.5%	18.3%	11.4%	3.4%	0.0%
40歳以上50歳未満	601	340	66	98	104	112	61	32	0
	100.0%	56.6%	11.0%	16.3%	17.3%	18.6%	10.1%	5.3%	0.0%
50歳以上60歳未満	643	346	71	110	127	122	45	34	0
	100.0%	53.8%	11.0%	17.1%	19.8%	19.0%	7.0%	5.3%	0.0%
60歳以上	648	335	75	85	97	165	97	34	0
	100.0%	51.7%	11.6%	13.1%	15.0%	25.5%	15.0%	5.2%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-89 障害種別_生涯学習に取り組んでいない理由

	合計	どのような学習があるのか、知らない	取り組みたい内容の学習を提供する場がない	学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの精神的余裕がない	新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった／自身の感染予防のため、など）	その他	無回答
Total	3430	1915	418	539	558	659	370	153	0
	100.0%	55.8%	12.2%	15.7%	16.3%	19.2%	10.8%	4.5%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	329	180	26	56	57	48	31	13	0
	100.0%	54.7%	7.9%	17.0%	17.3%	14.6%	9.4%	4.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	361	205	37	67	42	34	38	24	0
	100.0%	56.8%	10.2%	18.6%	11.6%	9.4%	10.5%	6.6%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	347	193	37	60	48	54	40	23	0
	100.0%	55.6%	10.7%	17.3%	13.8%	15.6%	11.5%	6.6%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	480	265	38	61	67	57	65	19	0
	100.0%	55.2%	7.9%	12.7%	14.0%	11.9%	13.5%	4.0%	0.0%
知的障害のみ	180	106	27	21	27	22	17	9	0
	100.0%	58.9%	15.0%	11.7%	15.0%	12.2%	9.4%	5.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害＋発達障害	533	328	56	63	119	150	36	23	0
	100.0%	61.5%	10.5%	11.8%	22.3%	28.1%	6.8%	4.3%	0.0%
発達障害のみ	355	216	41	55	50	61	25	9	0
	100.0%	60.8%	11.5%	15.5%	14.1%	17.2%	7.0%	2.5%	0.0%
身体障害＋知的障害	115	50	17	21	22	26	18	8	0
	100.0%	43.5%	14.8%	18.3%	19.1%	22.6%	15.7%	7.0%	0.0%
身体障害＋精神障害（発達障害含む）	188	97	39	42	49	61	22	7	0
	100.0%	51.6%	20.7%	22.3%	26.1%	32.4%	11.7%	3.7%	0.0%
身体障害＋知的障害＋精神障害（発達障害含む）	203	82	39	49	32	59	39	13	0
	100.0%	40.4%	19.2%	24.1%	15.8%	29.1%	19.2%	6.4%	0.0%
知的障害＋精神障害（発達障害含む）	339	193	61	44	45	87	39	5	0
	100.0%	56.9%	18.0%	13.0%	13.3%	25.7%	11.5%	1.5%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-90 移動支援の状況別_生涯学習に取り組んでいない理由

	合計	どのような学習があるのか、知らない	取り組みたい内容の学習を提供する場がない	学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの精神的余裕がない	新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった／自身の感染予防のため、など）	その他	無回答
Total	3430	1915	418	539	558	659	370	153	0
	100.0%	55.8%	12.2%	15.7%	16.3%	19.2%	10.8%	4.5%	0.0%
支援が必要	421	188	71	59	64	123	79	27	0
	100.0%	44.7%	16.9%	14.0%	15.2%	29.2%	18.8%	6.4%	0.0%
一部支援が必要	595	293	99	122	110	133	85	22	0
	100.0%	49.2%	16.6%	20.5%	18.5%	22.4%	14.3%	3.7%	0.0%
見守りが必要	552	272	80	96	110	138	60	19	0
	100.0%	49.3%	14.5%	17.4%	19.9%	25.0%	10.9%	3.4%	0.0%
支援は不要	1862	1162	168	262	274	265	146	85	0
	100.0%	62.4%	9.0%	14.1%	14.7%	14.2%	7.8%	4.6%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-91 外出の状況別_生涯学習に取り組んでいない理由

	合計	どのような学習があるのか、知らない	取り組みたい内容の学習を提供する場がない	学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの精神的余裕がない	新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった／自身の感染予防のため、など）	その他	無回答
Total	3430	1915	418	539	558	659	370	153	0
	100.0%	55.8%	12.2%	15.7%	16.3%	19.2%	10.8%	4.5%	0.0%
特に制限なく外出が可能（支援の有無によらず）	2436	1502	267	364	372	355	211	116	0
	100.0%	61.7%	11.0%	14.9%	15.3%	14.6%	8.7%	4.8%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	768	335	126	141	149	216	109	25	0
	100.0%	43.6%	16.4%	18.4%	19.4%	28.1%	14.2%	3.3%	0.0%
外出は困難	226	78	25	34	37	88	50	12	0
	100.0%	34.5%	11.1%	15.0%	16.4%	38.9%	22.1%	5.3%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-92 意思の伝達状況別_生涯学習に取り組んでいない理由

	合計	どのような学習があるのか、知らない	取り組みたい内容の学習を提供する場がない	学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの精神的余裕がない	新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった／自身の感染予防のため、など）	その他	無回答
Total	3430	1915	418	539	558	659	370	153	0
	100.0%	55.8%	12.2%	15.7%	16.3%	19.2%	10.8%	4.5%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	2717	1652	304	392	423	474	247	116	0
	100.0%	60.8%	11.2%	14.4%	15.6%	17.4%	9.1%	4.3%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	202	71	46	60	48	43	24	7	0
	100.0%	35.1%	22.8%	29.7%	23.8%	21.3%	11.9%	3.5%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	302	119	46	66	61	88	51	10	0
	100.0%	39.4%	15.2%	21.9%	20.2%	29.1%	16.9%	3.3%	0.0%
意思の伝達は難しい	189	67	20	21	25	52	46	10	0
	100.0%	35.4%	10.6%	11.1%	13.2%	27.5%	24.3%	5.3%	0.0%
その他の方法、状況	20	6	2	0	1	2	2	10	0
	100.0%	30.0%	10.0%	0.0%	5.0%	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-93 環境への対応状況別_生涯学習に取り組んでいない理由

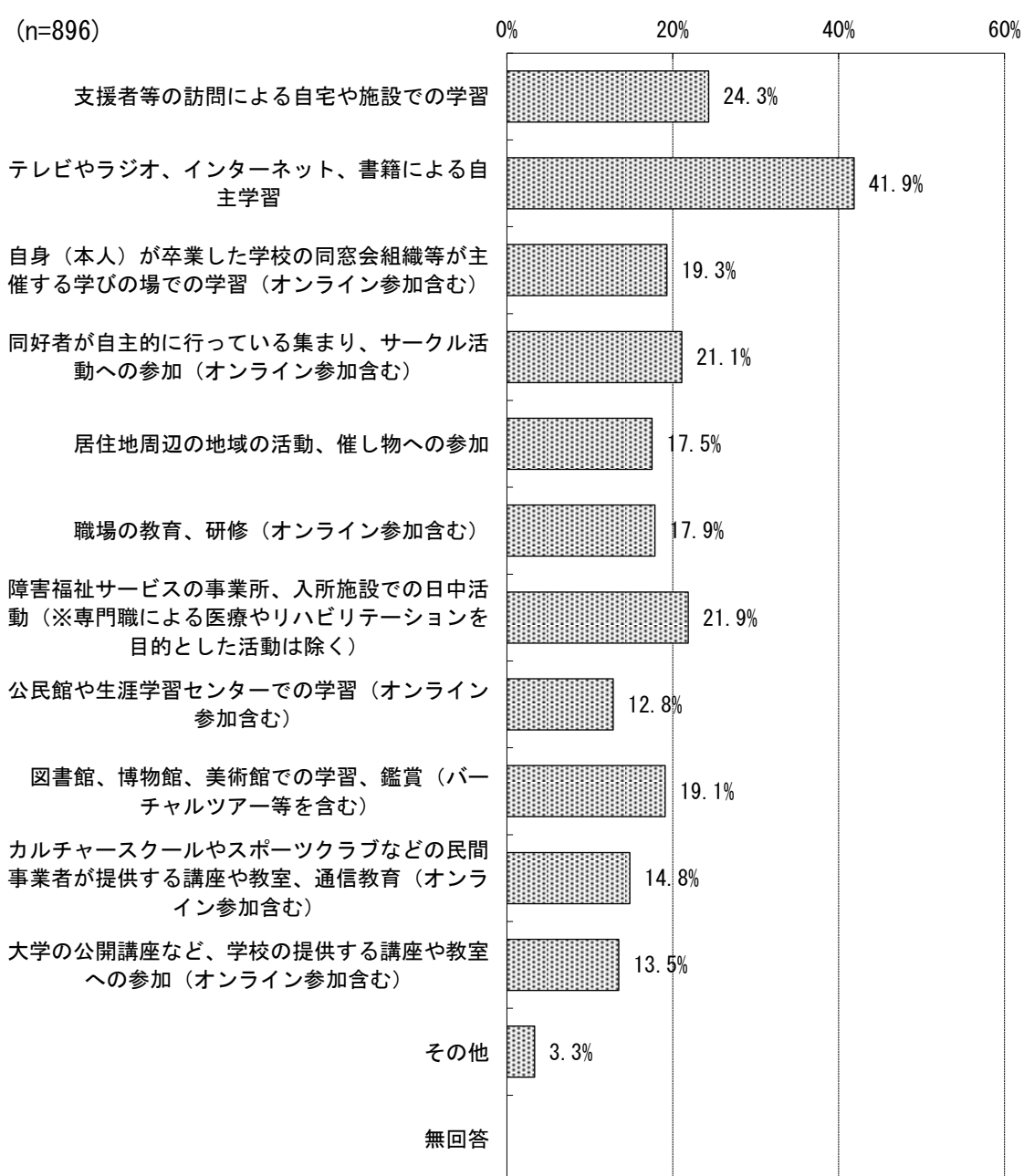
	合計	どのような学習があるのか、知らない	取り組みたい内容の学習を提供する場がない	学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない	学習に関心を向けるだけの精神的余裕がない	新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった／自身の感染予防のため、など）	その他	無回答
Total	3430	1915	418	539	558	659	370	153	0
	100.0%	55.8%	12.2%	15.7%	16.3%	19.2%	10.8%	4.5%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	1755	1073	178	256	220	191	154	90	0
	100.0%	61.1%	10.1%	14.6%	12.5%	10.9%	8.8%	5.1%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1283	663	190	229	268	333	152	38	0
	100.0%	51.7%	14.8%	17.8%	20.9%	26.0%	11.8%	3.0%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	376	176	50	53	68	133	62	15	0
	100.0%	46.8%	13.3%	14.1%	18.1%	35.4%	16.5%	4.0%	0.0%
その他	16	3	0	1	2	2	2	10	0
	100.0%	18.8%	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	12.5%	62.5%	0.0%

【生涯学習に取り組んでいる場合】

③ 生涯学習の手段や場所

現在、生涯学習に取り組んでいる場合、手段や場所は、「テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習」の割合が最も高く 41.9%となっている。次いで、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習（24.3%）」、「障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動（※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く）（21.9%）」となっている。

図表 3-94 生涯学習の手段や場所（複数選択）



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-95 市区町村区分別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)		
Total	896	218	375	173	189	157	160		
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%		
東京23区	105	29	51	29	23	15	17		
	100.0%	27.6%	48.6%	27.6%	21.9%	14.3%	16.2%		
政令指定都市	308	92	139	66	80	66	58		
	100.0%	29.9%	45.1%	21.4%	26.0%	21.4%	18.8%		
政令指定都市以外の市	386	76	148	67	70	64	66		
	100.0%	19.7%	38.3%	17.4%	18.1%	16.6%	17.1%		
町・村	96	21	37	11	15	12	19		
	100.0%	21.9%	38.5%	11.5%	15.6%	12.5%	19.8%		

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
東京23区	105	17	11	20	17	17	5	0
	100.0%	16.2%	10.5%	19.0%	16.2%	16.2%	4.8%	0.0%
政令指定都市	308	88	45	62	47	43	8	0
	100.0%	28.6%	14.6%	20.1%	15.3%	14.0%	2.6%	0.0%
政令指定都市以外の市	386	75	49	74	52	53	13	0
	100.0%	19.4%	12.7%	19.2%	13.5%	13.7%	3.4%	0.0%
町・村	96	15	10	15	17	8	4	0
	100.0%	15.6%	10.4%	15.6%	17.7%	8.3%	4.2%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-96 年齢区分別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	896	218	375	173	189	157	160
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%
18歳以上20歳未満	282	85	103	76	71	52	51
	100.0%	30.1%	36.5%	27.0%	25.2%	18.4%	18.1%
20歳以上30歳未満	185	37	79	32	38	32	38
	100.0%	20.0%	42.7%	17.3%	20.5%	17.3%	20.5%
30歳以上40歳未満	158	40	67	30	30	24	34
	100.0%	25.3%	42.4%	19.0%	19.0%	15.2%	21.5%
40歳以上50歳未満	120	25	67	21	23	19	23
	100.0%	20.8%	55.8%	17.5%	19.2%	15.8%	19.2%
50歳以上60歳未満	78	15	29	6	14	11	9
	100.0%	19.2%	37.2%	7.7%	17.9%	14.1%	11.5%
60歳以上	73	16	30	8	13	19	5
	100.0%	21.9%	41.1%	11.0%	17.8%	26.0%	6.8%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
18歳以上20歳未満	282	60	36	63	46	56	9	0
	100.0%	21.3%	12.8%	22.3%	16.3%	19.9%	3.2%	0.0%
20歳以上30歳未満	185	43	27	30	28	25	3	0
	100.0%	23.2%	14.6%	16.2%	15.1%	13.5%	1.6%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	36	16	31	20	8	4	0
	100.0%	22.8%	10.1%	19.6%	12.7%	5.1%	2.5%	0.0%
40歳以上50歳未満	120	26	14	22	21	16	5	0
	100.0%	21.7%	11.7%	18.3%	17.5%	13.3%	4.2%	0.0%
50歳以上60歳未満	78	14	12	15	9	9	5	0
	100.0%	17.9%	15.4%	19.2%	11.5%	11.5%	6.4%	0.0%
60歳以上	73	17	10	10	9	7	4	0
	100.0%	23.3%	13.7%	13.7%	12.3%	9.6%	5.5%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-97 障害種別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	896	218	375	173	189	157	160	
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%	
身体障害_視覚障害のみ	56	13	34	10	11	6	12	
	100.0%	23.2%	60.7%	17.9%	19.6%	10.7%	21.4%	
身体障害_聴覚障害のみ	61	6	25	6	15	12	7	
	100.0%	9.8%	41.0%	9.8%	24.6%	19.7%	11.5%	
身体障害_肢体不自由のみ	69	7	25	9	14	8	7	
	100.0%	10.1%	36.2%	13.0%	20.3%	11.6%	10.1%	
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	75	21	29	11	16	11	13	
	100.0%	28.0%	38.7%	14.7%	21.3%	14.7%	17.3%	
知的障害のみ	26	4	7	5	4	7	6	
	100.0%	15.4%	26.9%	19.2%	15.4%	26.9%	23.1%	
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	8	45	5	13	11	13	
	100.0%	8.9%	50.0%	5.6%	14.4%	12.2%	14.4%	
発達障害のみ	78	9	32	9	10	11	16	
	100.0%	11.5%	41.0%	11.5%	12.8%	14.1%	20.5%	
身体障害+知的障害	43	11	9	5	7	6	5	
	100.0%	25.6%	20.9%	11.6%	16.3%	14.0%	11.6%	
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	16	41	17	16	15	12	
	100.0%	22.9%	58.6%	24.3%	22.9%	21.4%	17.1%	
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	103	107	87	76	58	58	
	100.0%	41.2%	42.8%	34.8%	30.4%	23.2%	23.2%	
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	20	21	9	7	12	11	
	100.0%	25.6%	26.9%	11.5%	9.0%	15.4%	14.1%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	6	7	10	3	14	1	0
	100.0%	10.7%	12.5%	17.9%	5.4%	25.0%	1.8%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	61	4	5	10	7	8	2	0
	100.0%	6.6%	8.2%	16.4%	11.5%	13.1%	3.3%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	69	10	7	6	4	12	6	0
	100.0%	14.5%	10.1%	8.7%	5.8%	17.4%	8.7%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	75	8	10	22	10	19	3	0
	100.0%	10.7%	13.3%	29.3%	13.3%	25.3%	4.0%	0.0%
知的障害のみ	26	6	4	3	4	0	1	0
	100.0%	23.1%	15.4%	11.5%	15.4%	0.0%	3.8%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	13	7	30	8	13	10	0
	100.0%	14.4%	7.8%	33.3%	8.9%	14.4%	11.1%	0.0%
発達障害のみ	78	6	4	11	12	17	4	0
	100.0%	7.7%	5.1%	14.1%	15.4%	21.8%	5.1%	0.0%
身体障害+知的障害	43	17	2	5	6	3	0	0
	100.0%	39.5%	4.7%	11.6%	14.0%	7.0%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	17	12	12	13	7	1	0
	100.0%	24.3%	17.1%	17.1%	18.6%	10.0%	1.4%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	80	47	57	53	22	1	0
	100.0%	32.0%	18.8%	22.8%	21.2%	8.8%	0.4%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	29	10	5	13	6	1	0
	100.0%	37.2%	12.8%	6.4%	16.7%	7.7%	1.3%	0.0%

(クロス集計_日中の過ごし方別)

図表 3-98 日中の過ごし方別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	896	218	375	173	189	157	160
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%
自宅で過ごすことが多い	404	112	191	79	92	77	64
	100.0%	27.7%	47.3%	19.6%	22.8%	19.1%	15.8%
学校や職場にいたることが多い	311	56	131	62	61	43	75
	100.0%	18.0%	42.1%	19.9%	19.6%	13.8%	24.1%
障害サービス事業所や施設、医療機関等	173	49	47	32	33	35	21
	100.0%	28.3%	27.2%	18.5%	19.1%	20.2%	12.1%
その他	8	1	6	0	3	2	0
	100.0%	12.5%	75.0%	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
自宅で過ごすことが多い	404	69	58	84	66	41	11	0
	100.0%	17.1%	14.4%	20.8%	16.3%	10.1%	2.7%	0.0%
学校や職場にいたることが多い	311	36	31	59	39	60	14	0
	100.0%	11.6%	10.0%	19.0%	12.5%	19.3%	4.5%	0.0%
障害サービス事業所や施設、医療機関等	173	89	24	24	27	18	3	0
	100.0%	51.4%	13.9%	13.9%	15.6%	10.4%	1.7%	0.0%
その他	8	2	2	4	1	2	2	0
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-99 移動支援の状況別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	896	218	375	173	189	157	160
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%
支援が必要	180	81	62	51	45	42	40
	100.0%	45.0%	34.4%	28.3%	25.0%	23.3%	22.2%
一部支援が必要	261	71	132	68	71	53	47
	100.0%	27.2%	50.6%	26.1%	27.2%	20.3%	18.0%
見守りが必要	153	35	46	36	30	31	27
	100.0%	22.9%	30.1%	23.5%	19.6%	20.3%	17.6%
支援は不要	302	31	135	18	43	31	46
	100.0%	10.3%	44.7%	6.0%	14.2%	10.3%	15.2%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
支援が必要	180	71	28	23	28	20	1	0
	100.0%	39.4%	15.6%	12.8%	15.6%	11.1%	0.6%	0.0%
一部支援が必要	261	63	40	58	47	34	4	0
	100.0%	24.1%	15.3%	22.2%	18.0%	13.0%	1.5%	0.0%
見守りが必要	153	29	24	29	27	20	3	0
	100.0%	19.0%	15.7%	19.0%	17.6%	13.1%	2.0%	0.0%
支援は不要	302	33	23	61	31	47	22	0
	100.0%	10.9%	7.6%	20.2%	10.3%	15.6%	7.3%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-100 外出の状況別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	896	218	375	173	189	157	160
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	598	134	257	97	117	101	106
	100.0%	22.4%	43.0%	16.2%	19.6%	16.9%	17.7%
一定の制限はあるが、外出は可能	266	75	109	72	67	52	47
	100.0%	28.2%	41.0%	27.1%	25.2%	19.5%	17.7%
外出は困難	32	9	9	4	5	4	7
	100.0%	28.1%	28.1%	12.5%	15.6%	12.5%	21.9%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	598	106	68	118	90	86	26	0
	100.0%	17.7%	11.4%	19.7%	15.1%	14.4%	4.3%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	266	77	42	47	38	33	4	0
	100.0%	28.9%	15.8%	17.7%	14.3%	12.4%	1.5%	0.0%
外出は困難	32	13	5	6	5	2	0	0
	100.0%	40.6%	15.6%	18.8%	15.6%	6.3%	0.0%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-101 意思の伝達状況別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	896	218	375	173	189	157	160
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	580	129	242	86	112	93	107
	100.0%	22.2%	41.7%	14.8%	19.3%	16.0%	18.4%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	160	45	81	55	47	37	38
	100.0%	28.1%	50.6%	34.4%	29.4%	23.1%	23.7%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	114	33	45	27	25	25	12
	100.0%	28.9%	39.5%	23.7%	21.9%	21.9%	10.5%
意思の伝達は難しい	40	11	7	5	5	2	2
	100.0%	27.5%	17.5%	12.5%	12.5%	5.0%	5.0%
その他の方法、状況	2	0	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	580	104	60	110	72	90	27	0
	100.0%	17.9%	10.3%	19.0%	12.4%	15.5%	4.7%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	160	47	37	43	38	16	0	0
	100.0%	29.4%	23.1%	26.9%	23.7%	10.0%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	114	31	16	16	18	9	1	0
	100.0%	27.2%	14.0%	14.0%	15.8%	7.9%	0.9%	0.0%
意思の伝達は難しい	40	14	2	2	5	6	0	0
	100.0%	35.0%	5.0%	5.0%	12.5%	15.0%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	2	0	0	0	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-102 環境への対応状況別_生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的にしている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	896	218	375	173	189	157	160	
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%	
初めての場所や環境でも対応できる	430	111	181	75	96	75	82	
	100.0%	25.8%	42.1%	17.4%	22.3%	17.4%	19.1%	
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	403	92	171	91	88	74	66	
	100.0%	22.8%	42.4%	22.6%	21.8%	18.4%	16.4%	
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	61	15	23	7	5	8	12	
	100.0%	24.6%	37.7%	11.5%	8.2%	13.1%	19.7%	
その他	2	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	430	79	46	77	58	68	14	0
	100.0%	18.4%	10.7%	17.9%	13.5%	15.8%	3.3%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	403	94	64	82	69	45	14	0
	100.0%	23.3%	15.9%	20.3%	17.1%	11.2%	3.5%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	61	22	5	12	6	8	1	0
	100.0%	36.1%	8.2%	19.7%	9.8%	13.1%	1.6%	0.0%
その他	2	1	0	0	0	0	1	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

(クロス集計_情報収集活動の有無別)

図表 3-103 情報収集活動の有無別_生涯学習の手段や場所

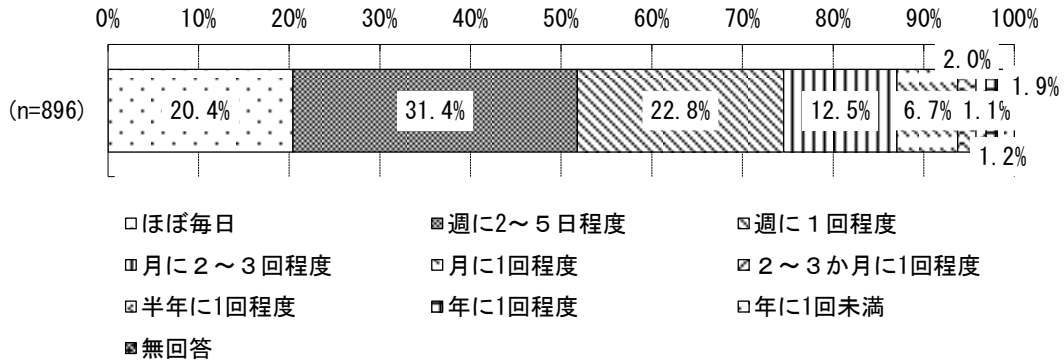
	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的にしている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	896	218	375	173	189	157	160	
	100.0%	24.3%	41.9%	19.3%	21.1%	17.5%	17.9%	
情報収集を行っている/行っていた	541	168	268	150	147	122	112	
	100.0%	31.1%	49.5%	27.7%	27.2%	22.6%	20.7%	
特に情報収集は行っていない	355	50	107	23	42	35	48	
	100.0%	14.1%	30.1%	6.5%	11.8%	9.9%	13.5%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	896	196	115	171	133	121	30	0
	100.0%	21.9%	12.8%	19.1%	14.8%	13.5%	3.3%	0.0%
情報収集を行っている/行っていた	541	138	88	117	103	72	11	0
	100.0%	25.5%	16.3%	21.6%	19.0%	13.3%	2.0%	0.0%
特に情報収集は行っていない	355	58	27	54	30	49	19	0
	100.0%	16.3%	7.6%	15.2%	8.5%	13.8%	5.4%	0.0%

④ 生涯学習の取組頻度

現在、生涯学習に取り組んでいる場合、取組頻度は、「週に 2～5 日程度」の割合が最も高く 31.4%となっている。次いで、「週に 1 回程度（22.8%）」、「ほぼ毎日（20.4%）」となっている。

図表 3-104 生涯学習の取組頻度（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-105 年齢区分別_生涯学習の取組頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	896	183	281	204	112	60	18	10	11	17	0
	100.0%	20.4%	31.4%	22.8%	12.5%	6.7%	2.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%
18歳以上20歳未満	282	65	78	58	44	16	7	3	6	5	0
	100.0%	23.0%	27.7%	20.6%	15.6%	5.7%	2.5%	1.1%	2.1%	1.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	185	29	67	38	25	15	3	3	2	3	0
	100.0%	15.7%	36.2%	20.5%	13.5%	8.1%	1.6%	1.6%	1.1%	1.6%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	30	53	36	12	12	6	4	1	4	0
	100.0%	19.0%	33.5%	22.8%	7.6%	7.6%	3.8%	2.5%	0.6%	2.5%	0.0%
40歳以上50歳未満	120	26	35	35	16	5	1	0	1	1	0
	100.0%	21.7%	29.2%	29.2%	13.3%	4.2%	0.8%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%
50歳以上60歳未満	78	18	28	16	6	6	1	0	1	2	0
	100.0%	23.1%	35.9%	20.5%	7.7%	7.7%	1.3%	0.0%	1.3%	2.6%	0.0%
60歳以上	73	15	20	21	9	6	0	0	0	2	0
	100.0%	20.5%	27.4%	28.8%	12.3%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-106 障害種別_生涯学習の取組頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	896	183	281	204	112	60	18	10	11	17	0
	100.0%	20.4%	31.4%	22.8%	12.5%	6.7%	2.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	12	20	17	3	2	0	1	1	0	0
	100.0%	21.4%	35.7%	30.4%	5.4%	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	61	8	16	17	12	6	0	0	0	2	0
	100.0%	13.1%	26.2%	27.9%	19.7%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	69	13	26	13	9	3	3	0	0	2	0
	100.0%	18.8%	37.7%	18.8%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他	75	17	23	19	9	3	1	1	1	1	0
	100.0%	22.7%	30.7%	25.3%	12.0%	4.0%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%
知的障害のみ	26	7	7	5	2	2	0	2	0	1	0
	100.0%	26.9%	26.9%	19.2%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	18	35	17	4	6	4	0	2	4	0
	100.0%	20.0%	38.9%	18.9%	4.4%	6.7%	4.4%	0.0%	2.2%	4.4%	0.0%
発達障害のみ	78	15	30	12	10	8	1	0	0	2	0
	100.0%	19.2%	38.5%	15.4%	12.8%	10.3%	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
身体障害+知的障害	43	6	13	12	4	4	1	0	1	2	0
	100.0%	14.0%	30.2%	27.9%	9.3%	9.3%	2.3%	0.0%	2.3%	4.7%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	9	20	15	11	9	1	1	2	2	0
	100.0%	12.9%	28.6%	21.4%	15.7%	12.9%	1.4%	1.4%	2.9%	2.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	65	70	59	35	10	5	4	1	1	0
	100.0%	26.0%	28.0%	23.6%	14.0%	4.0%	2.0%	1.6%	0.4%	0.4%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	13	21	18	13	7	2	1	3	0	0
	100.0%	16.7%	26.9%	23.1%	16.7%	9.0%	2.6%	1.3%	3.8%	0.0%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-107 移動支援の状況別_生涯学習の取組頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程	週に1回程度	月に2～3回程	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	896	183	281	204	112	60	18	10	11	17	0
	100.0%	20.4%	31.4%	22.8%	12.5%	6.7%	2.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%
支援が必要	180	59	52	34	20	7	4	2	2	0	0
	100.0%	32.8%	28.9%	18.9%	11.1%	3.9%	2.2%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%
一部支援が必要	261	27	87	75	47	13	5	4	1	2	0
	100.0%	10.3%	33.3%	28.7%	18.0%	5.0%	1.9%	1.5%	0.4%	0.8%	0.0%
見守りが必要	153	21	44	37	21	14	3	2	6	5	0
	100.0%	13.7%	28.8%	24.2%	13.7%	9.2%	2.0%	1.3%	3.9%	3.3%	0.0%
支援は不要	302	76	98	58	24	26	6	2	2	10	0
	100.0%	25.2%	32.5%	19.2%	7.9%	8.6%	2.0%	0.7%	0.7%	3.3%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-108 外出の状況別_生涯学習の取組頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程	週に1回程度	月に2～3回程	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	896	183	281	204	112	60	18	10	11	17	0
	100.0%	20.4%	31.4%	22.8%	12.5%	6.7%	2.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%
特に制限なく外出が可能 (支援の有無によらず)	598	142	190	120	66	39	12	8	8	13	0
	100.0%	23.7%	31.8%	20.1%	11.0%	6.5%	2.0%	1.3%	1.3%	2.2%	0.0%
一定の制限はあるが、外出 は可能	266	32	81	73	46	20	5	2	3	4	0
	100.0%	12.0%	30.5%	27.4%	17.3%	7.5%	1.9%	0.8%	1.1%	1.5%	0.0%
外出は困難	32	9	10	11	0	1	1	0	0	0	0
	100.0%	28.1%	31.3%	34.4%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-109 意思の伝達状況別_生涯学習の取組頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程	週に1回程度	月に2～3回程	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	896	183	281	204	112	60	18	10	11	17	0
	100.0%	20.4%	31.4%	22.8%	12.5%	6.7%	2.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%
特に機器等の支援の必要 なく、自身で伝達が可能	580	146	186	113	60	32	12	7	10	14	0
	100.0%	25.2%	32.1%	19.5%	10.3%	5.5%	2.1%	1.2%	1.7%	2.4%	0.0%
機器等の支援があれば自 身で伝達が可能	160	14	58	47	24	12	2	2	0	1	0
	100.0%	8.7%	36.3%	29.4%	15.0%	7.5%	1.3%	1.3%	0.0%	0.6%	0.0%
家族等周囲の確認、読み 取りによって伝達可能	114	13	33	29	24	9	4	0	1	1	0
	100.0%	11.4%	28.9%	25.4%	21.1%	7.9%	3.5%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%
意思の伝達は難しい	40	9	4	15	4	6	0	1	0	1	0
	100.0%	22.5%	10.0%	37.5%	10.0%	15.0%	0.0%	2.5%	0.0%	2.5%	0.0%
その他の方法、状況	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

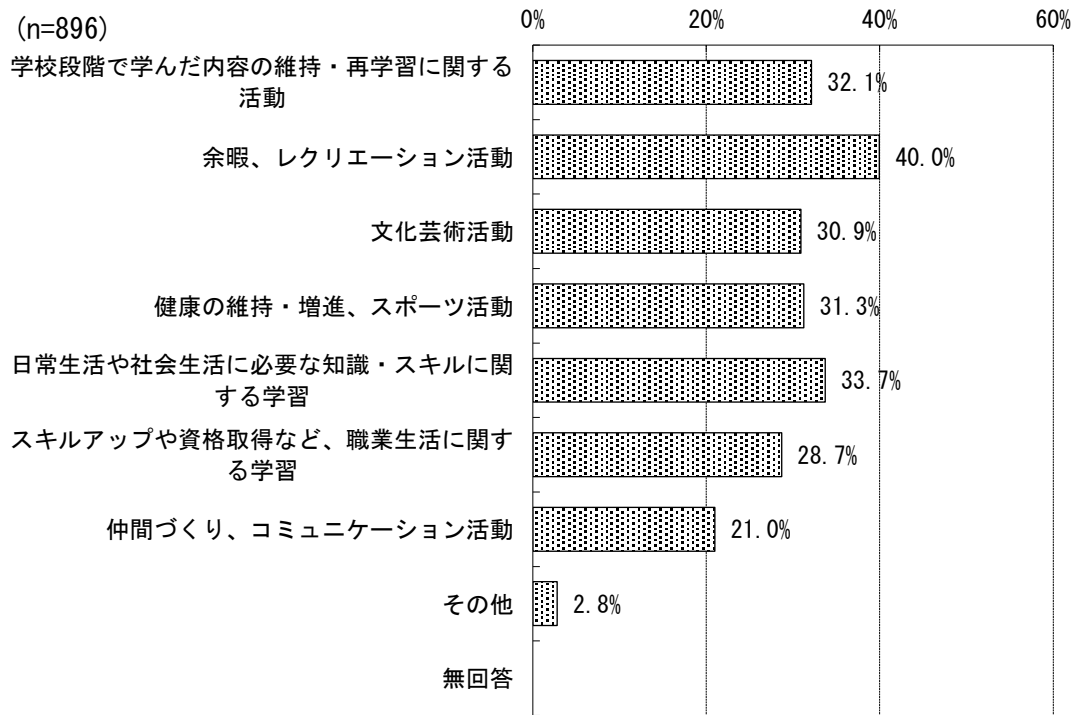
図表 3-110 環境への対応状況別_生涯学習の取組頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程	週に1回程度	月に2～3回程	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	896	183	281	204	112	60	18	10	11	17	0
	100.0%	20.4%	31.4%	22.8%	12.5%	6.7%	2.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%
初めての場所や環境でも対応 できる	430	125	128	77	50	21	10	7	3	9	0
	100.0%	29.1%	29.8%	17.9%	11.6%	4.9%	2.3%	1.6%	0.7%	2.1%	0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しいことがある	403	51	130	110	55	34	7	3	7	6	0
	100.0%	12.7%	32.3%	27.3%	13.6%	8.4%	1.7%	0.7%	1.7%	1.5%	0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しい	61	6	22	17	7	5	1	0	1	2	0
	100.0%	9.8%	36.1%	27.9%	11.5%	8.2%	1.6%	0.0%	1.6%	3.3%	0.0%
その他	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑤ 生涯学習で取り組んでいる（直近1年間で取り組んだ）内容

現在、生涯学習に取り組んでいる場合、取り組んでいる内容は、「余暇、レクリエーション活動」の割合が最も高く40.0%となっている。次いで、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習（33.7%）」、「学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動（32.1%）」となっている。

図表 3-111 生涯学習で取り組んでいる（直近1年間で取り組んだ）内容（複数選択）



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-112 市区町村区分別_生涯学習で取り組んでいる（直近1年間で取り組んだ）内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
東京23区	105	36	46	36	31	33	36	12	4	0
	100.0%	34.3%	43.8%	34.3%	29.5%	31.4%	34.3%	11.4%	3.8%	0.0%
政令指定都市	308	122	118	103	103	107	82	61	6	0
	100.0%	39.6%	38.3%	33.4%	33.4%	34.7%	26.6%	19.8%	1.9%	0.0%
政令指定都市以外の市	386	105	159	120	121	133	119	88	11	0
	100.0%	27.2%	41.2%	31.1%	31.3%	34.5%	30.8%	22.8%	2.8%	0.0%
町・村	96	25	34	18	25	28	20	27	4	0
	100.0%	26.0%	35.4%	18.8%	26.0%	29.2%	20.8%	28.1%	4.2%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-113 年齢区分別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
18歳以上20歳未満	282	117	102	97	94	108	70	51	8	0
	100.0%	41.5%	36.2%	34.4%	33.3%	38.3%	24.8%	18.1%	2.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	185	53	78	47	52	61	60	37	2	0
	100.0%	28.6%	42.2%	25.4%	28.1%	33.0%	32.4%	20.0%	1.1%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	39	77	51	48	55	44	39	5	0
	100.0%	24.7%	48.7%	32.3%	30.4%	34.8%	27.8%	24.7%	3.2%	0.0%
40歳以上50歳未満	120	33	45	36	41	37	50	32	4	0
	100.0%	27.5%	37.5%	30.0%	34.2%	30.8%	41.7%	26.7%	3.3%	0.0%
50歳以上60歳未満	78	26	22	22	29	23	22	9	4	0
	100.0%	33.3%	28.2%	28.2%	37.2%	29.5%	28.2%	11.5%	5.1%	0.0%
60歳以上	73	20	34	24	16	18	11	20	2	0
	100.0%	27.4%	46.6%	32.9%	21.9%	24.7%	15.1%	27.4%	2.7%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-114 障害種別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	21	24	17	13	16	20	7	3	0
	100.0%	37.5%	42.9%	30.4%	23.2%	28.6%	35.7%	12.5%	5.4%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	61	15	16	19	12	15	16	14	0	0
	100.0%	24.6%	26.2%	31.1%	19.7%	24.6%	26.2%	23.0%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	69	20	20	25	19	16	20	12	3	0
	100.0%	29.0%	29.0%	36.2%	27.5%	23.2%	29.0%	17.4%	4.3%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	75	23	24	15	29	23	23	16	4	0
	100.0%	30.7%	32.0%	20.0%	38.7%	30.7%	30.7%	21.3%	5.3%	0.0%
知的障害のみ	26	5	17	4	8	7	7	7	1	0
	100.0%	19.2%	65.4%	15.4%	30.8%	26.9%	26.9%	26.9%	3.8%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	31	23	20	29	33	35	22	5	0
	100.0%	34.4%	25.6%	22.2%	32.2%	36.7%	38.9%	24.4%	5.6%	0.0%
発達障害のみ	78	19	26	17	23	23	33	14	3	0
	100.0%	24.4%	33.3%	21.8%	29.5%	29.5%	42.3%	17.9%	3.8%	0.0%
身体障害+知的障害	43	12	13	12	11	13	7	8	1	0
	100.0%	27.9%	30.2%	27.9%	25.6%	30.2%	16.3%	18.6%	2.3%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	24	42	20	28	29	17	12	2	0
	100.0%	34.3%	60.0%	28.6%	40.0%	41.4%	24.3%	17.1%	2.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	94	115	105	81	103	63	49	2	0
	100.0%	37.6%	46.0%	42.0%	32.4%	41.2%	25.2%	19.6%	0.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	24	38	23	27	24	16	27	1	0
	100.0%	30.8%	48.7%	29.5%	34.6%	30.8%	20.5%	34.6%	1.3%	0.0%

(クロス集計_日中の過ごし方別)

図表 3-115 日中の過ごし方別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
自宅で過ごすことが多い	404	150	139	147	115	129	103	69	9	0
	100.0%	37.1%	34.4%	36.4%	28.5%	31.9%	25.5%	17.1%	2.2%	0.0%
学校や職場にいたことが多い	311	97	120	76	97	98	104	62	11	0
	100.0%	31.2%	38.6%	24.4%	31.2%	31.5%	33.4%	19.9%	3.5%	0.0%
障害サービス事業所や施設、医療機関等	173	39	96	51	64	71	46	53	2	0
	100.0%	22.5%	55.5%	29.5%	37.0%	41.0%	26.6%	30.6%	1.2%	0.0%
その他	8	2	3	3	4	4	4	4	3	0
	100.0%	25.0%	37.5%	37.5%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	37.5%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-116 移動支援の状況別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
支援が必要	180	75	89	66	55	54	46	35	4	0
	100.0%	41.7%	49.4%	36.7%	30.6%	30.0%	25.6%	19.4%	2.2%	0.0%
一部支援が必要	261	81	119	105	95	102	66	54	4	0
	100.0%	31.0%	45.6%	40.2%	36.4%	39.1%	25.3%	20.7%	1.5%	0.0%
見守りが必要	153	44	53	34	49	66	39	41	6	0
	100.0%	28.8%	34.6%	22.2%	32.0%	43.1%	25.5%	26.8%	3.9%	0.0%
支援は不要	302	88	97	72	81	80	106	58	11	0
	100.0%	29.1%	32.1%	23.8%	26.8%	26.5%	35.1%	19.2%	3.6%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-117 外出の状況別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	598	203	226	168	184	192	175	122	17	0
	100.0%	33.9%	37.8%	28.1%	30.8%	32.1%	29.3%	20.4%	2.8%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	266	78	114	100	89	99	76	59	6	0
	100.0%	29.3%	42.9%	37.6%	33.5%	37.2%	28.6%	22.2%	2.3%	0.0%
外出は困難	32	7	18	9	7	11	6	7	2	0
	100.0%	21.9%	56.3%	28.1%	21.9%	34.4%	18.8%	21.9%	6.3%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-118 意思の伝達状況別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	580	201	214	169	178	179	186	124	25	0
	100.0%	34.7%	36.9%	29.1%	30.7%	30.9%	32.1%	21.4%	4.3%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	160	51	76	69	60	64	43	33	0	0
	100.0%	31.9%	47.5%	43.1%	37.5%	40.0%	26.9%	20.6%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	114	29	52	32	34	46	23	24	0	0
	100.0%	25.4%	45.6%	28.1%	29.8%	40.4%	20.2%	21.1%	0.0%	0.0%
意思の伝達は難しい	40	7	16	7	8	13	3	7	0	0
	100.0%	17.5%	40.0%	17.5%	20.0%	32.5%	7.5%	17.5%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

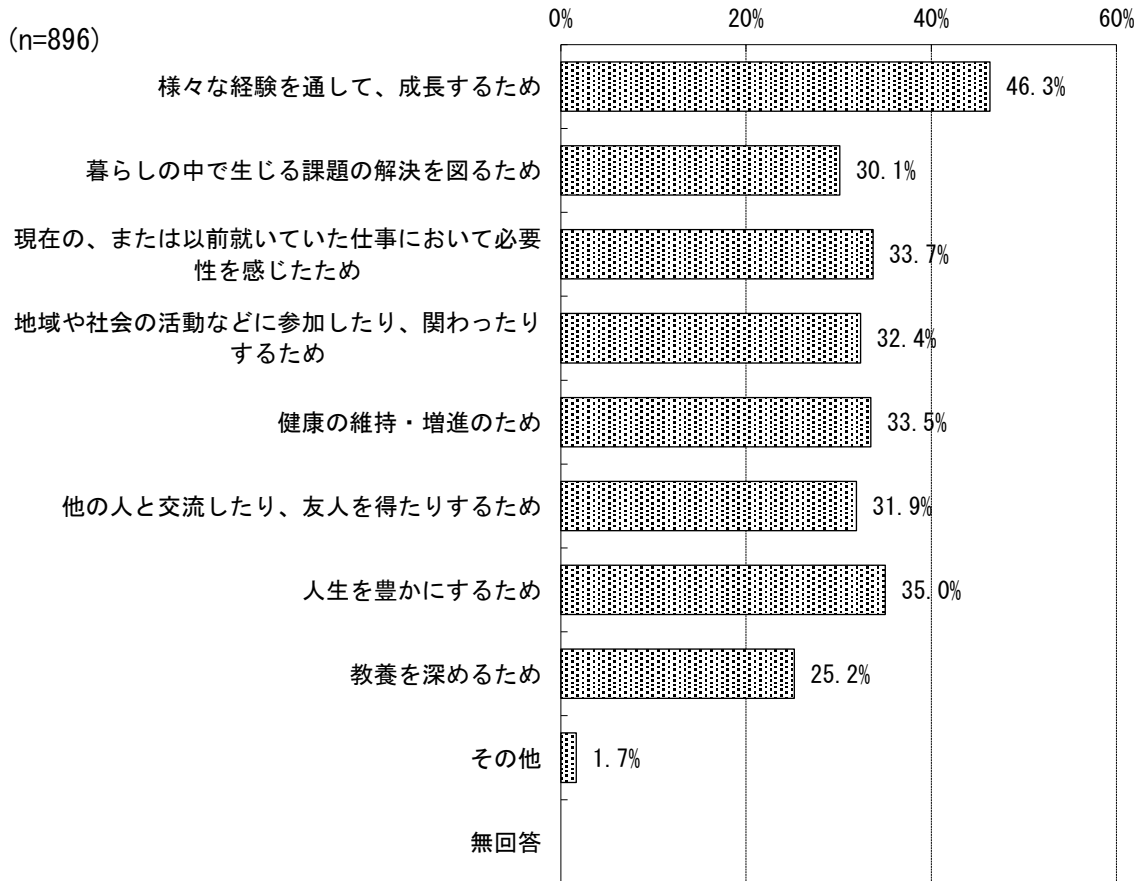
図表 3-119 環境への対応状況別_生涯学習で取り組んでいる(直近1年間で取り組んだ)内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	896	288	358	277	280	302	257	188	25	0
	100.0%	32.1%	40.0%	30.9%	31.3%	33.7%	28.7%	21.0%	2.8%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	430	141	165	134	117	135	128	75	13	0
	100.0%	32.8%	38.4%	31.2%	27.2%	31.4%	29.8%	17.4%	3.0%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	403	131	168	127	146	143	111	97	10	0
	100.0%	32.5%	41.7%	31.5%	36.2%	35.5%	27.5%	24.1%	2.5%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	61	16	24	16	17	24	16	16	2	0
	100.0%	26.2%	39.3%	26.2%	27.9%	39.3%	26.2%	26.2%	3.3%	0.0%
その他	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑥ 生涯学習に取り組んでいる理由

現在、生涯学習に取り組んでいる場合、取り組んでいる理由は、「様々な経験を通して、成長するため」の割合が最も高く 46.3%となっている。次いで、「人生を豊かにするため（35.0%）」、「現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため（33.7%）」となっている。

図表 3-120 生涯学習に取り組んでいる理由（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-121 年齢区分別_生涯学習に取り組んでいる理由

	合計	様々な経験を通して、成長するため	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため	地域や社会の活動などに参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	無回答
Total	896	415	270	302	290	300	286	314	226	15	0
	100.0%	46.3%	30.1%	33.7%	32.4%	33.5%	31.9%	35.0%	25.2%	1.7%	0.0%
18歳以上20歳未満	282	139	97	107	104	89	89	77	59	2	0
	100.0%	49.3%	34.4%	37.9%	36.9%	31.6%	31.6%	27.3%	20.9%	0.7%	0.0%
20歳以上30歳未満	185	81	47	66	62	50	56	69	47	5	0
	100.0%	43.8%	25.4%	35.7%	33.5%	27.0%	30.3%	37.3%	25.4%	2.7%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	73	50	54	44	52	54	52	27	2	0
	100.0%	46.2%	31.6%	34.2%	27.8%	32.9%	34.2%	32.9%	17.1%	1.3%	0.0%
40歳以上50歳未満	120	64	35	41	38	44	37	52	46	3	0
	100.0%	53.3%	29.2%	34.2%	31.7%	36.7%	30.8%	43.3%	38.3%	2.5%	0.0%
50歳以上60歳未満	78	38	22	22	24	32	20	31	23	3	0
	100.0%	48.7%	28.2%	28.2%	30.8%	41.0%	25.6%	39.7%	29.5%	3.8%	0.0%
60歳以上	73	20	19	12	18	33	30	33	24	0	0
	100.0%	27.4%	26.0%	16.4%	24.7%	45.2%	41.1%	45.2%	32.9%	0.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-122 障害種別_生涯学習に取り組んでいる理由

	合計	様々な経験を通して、成長するため	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため	地域や社会の活動などに参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	無回答
Total	896	415	270	302	290	300	286	314	226	15	0
	100.0%	46.3%	30.1%	33.7%	32.4%	33.5%	31.9%	35.0%	25.2%	1.7%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	35	15	17	17	14	14	19	16	0	0
	100.0%	62.5%	26.8%	30.4%	30.4%	25.0%	25.0%	33.9%	28.6%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	61	26	11	14	15	13	23	26	16	0	0
	100.0%	42.6%	18.0%	23.0%	24.6%	21.3%	37.7%	42.6%	26.2%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	69	28	14	18	13	19	18	32	23	0	0
	100.0%	40.6%	20.3%	26.1%	18.8%	27.5%	26.1%	46.4%	33.3%	0.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	75	33	14	21	20	26	19	25	23	1	0
	100.0%	44.0%	18.7%	28.0%	26.7%	34.7%	25.3%	33.3%	30.7%	1.3%	0.0%
知的障害のみ	26	13	4	5	5	8	12	11	5	3	0
	100.0%	50.0%	15.4%	19.2%	19.2%	30.8%	46.2%	42.3%	19.2%	11.5%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	54	31	24	20	33	30	49	42	4	0
	100.0%	60.0%	34.4%	26.7%	22.2%	36.7%	33.3%	54.4%	46.7%	4.4%	0.0%
発達障害のみ	78	38	17	18	19	23	30	31	28	3	0
	100.0%	48.7%	21.8%	23.1%	24.4%	29.5%	38.5%	39.7%	35.9%	3.8%	0.0%
身体障害+知的障害	43	18	16	13	12	11	14	8	5	0	0
	100.0%	41.9%	37.2%	30.2%	27.9%	25.6%	32.6%	18.6%	11.6%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	29	31	31	30	34	19	18	16	2	0
	100.0%	41.4%	44.3%	44.3%	42.9%	48.6%	27.1%	25.7%	22.9%	2.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	98	88	129	115	87	80	63	32	1	0
	100.0%	39.2%	35.2%	51.6%	46.0%	34.8%	32.0%	25.2%	12.8%	0.4%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	43	29	12	24	32	27	32	20	1	0
	100.0%	55.1%	37.2%	15.4%	30.8%	41.0%	34.6%	41.0%	25.6%	1.3%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-123 移動支援の状況別_生涯学習に取り組んでいる理由

	合計	様々な経験を通して、成長するため	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため	地域や社会の活動などに参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	無回答
Total	896	415	270	302	290	300	286	314	226	15	0
	100.0%	46.3%	30.1%	33.7%	32.4%	33.5%	31.9%	35.0%	25.2%	1.7%	0.0%
支援が必要	180	89	58	75	56	69	59	47	34	2	0
	100.0%	49.4%	32.2%	41.7%	31.1%	38.3%	32.8%	26.1%	18.9%	1.1%	0.0%
一部支援が必要	261	104	100	111	111	93	82	86	51	0	0
	100.0%	39.8%	38.3%	42.5%	42.5%	35.6%	31.4%	33.0%	19.5%	0.0%	0.0%
見守りが必要	153	69	43	47	59	49	56	53	33	1	0
	100.0%	45.1%	28.1%	30.7%	38.6%	32.0%	36.6%	34.6%	21.6%	0.7%	0.0%
支援は不要	302	153	69	69	64	89	89	128	108	12	0
	100.0%	50.7%	22.8%	22.8%	21.2%	29.5%	29.5%	42.4%	35.8%	4.0%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-124 外出の状況別_生涯学習に取り組んでいる理由

	合計	様々な経験を通して、成長するため	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため	地域や社会の活動などに参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	無回答
Total	896	415	270	302	290	300	286	314	226	15	0
	100.0%	46.3%	30.1%	33.7%	32.4%	33.5%	31.9%	35.0%	25.2%	1.7%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	598	299	168	186	173	192	187	224	160	13	0
	100.0%	50.0%	28.1%	31.1%	28.9%	32.1%	31.3%	37.5%	26.8%	2.2%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	266	105	93	108	108	94	90	81	61	2	0
	100.0%	39.5%	35.0%	40.6%	40.6%	35.3%	33.8%	30.5%	22.9%	0.8%	0.0%
外出は困難	32	11	9	8	9	14	9	9	5	0	0
	100.0%	34.4%	28.1%	25.0%	28.1%	43.8%	28.1%	28.1%	15.6%	0.0%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-125 意思の伝達状況別_生涯学習に取り組んでいる理由

	合計	様々な経験を通して、成長するため	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため	地域や社会の活動などに参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	無回答
Total	896	415	270	302	290	300	286	314	226	15	0
	100.0%	46.3%	30.1%	33.7%	32.4%	33.5%	31.9%	35.0%	25.2%	1.7%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	580	317	164	166	158	194	190	229	173	14	0
	100.0%	54.7%	28.3%	28.6%	27.2%	33.4%	32.8%	39.5%	29.8%	2.4%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	160	56	60	85	67	55	49	45	31	0	0
	100.0%	35.0%	37.5%	53.1%	41.9%	34.4%	30.6%	28.1%	19.4%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	114	30	41	44	53	36	36	34	18	0	0
	100.0%	26.3%	36.0%	38.6%	46.5%	31.6%	31.6%	29.8%	15.8%	0.0%	0.0%
意思の伝達は難しい	40	12	5	6	12	15	10	8	3	0	0
	100.0%	30.0%	12.5%	15.0%	30.0%	37.5%	25.0%	15.0%	7.5%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-126 環境への対応状況別_生涯学習に取り組んでいる理由

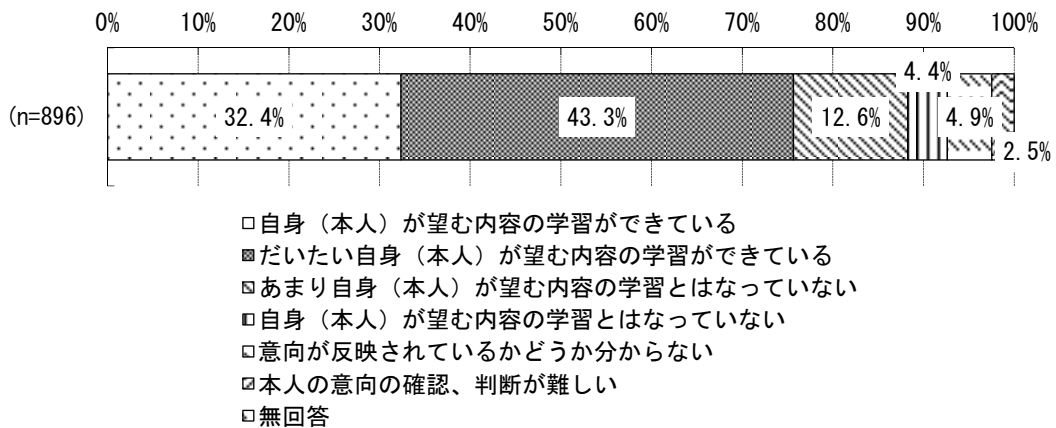
	合計	様々な経験を通して、成長するため	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため	地域や社会の活動などに参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	無回答
Total	896	415	270	302	290	300	286	314	226	15	0
	100.0%	46.3%	30.1%	33.7%	32.4%	33.5%	31.9%	35.0%	25.2%	1.7%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	430	207	119	159	120	136	123	145	121	5	0
	100.0%	48.1%	27.7%	37.0%	27.9%	31.6%	28.6%	33.7%	28.1%	1.2%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	403	184	127	132	150	142	145	145	92	7	0
	100.0%	45.7%	31.5%	32.8%	37.2%	35.2%	36.0%	36.0%	22.8%	1.7%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	61	24	24	11	20	22	18	24	13	1	0
	100.0%	39.3%	39.3%	18.0%	32.8%	36.1%	29.5%	39.3%	21.3%	1.6%	0.0%
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(3) 本人の意思の反映

① 生涯学習における自身（本人）の意向反映状況

現在、生涯学習に取り組んでいる場合、本人の意思の反映は「だいたい自身（本人）が望む内容の学習ができていいる」の割合が最も高く 43.3%となっている。次いで、「自身（本人）が望む内容の学習ができていいる（32.4%）」、「あまり自身（本人）が望む内容の学習とはなっていない（12.6%）」となっている。

図表 3-127 生涯学習における自身（本人）の意向反映状況（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-128 年齢区分別_生涯学習における自身（本人）の意向反映状況

	合計	自身（本人）が望む内容の学習ができていいる	だいたい自身（本人）が望む内容の学習ができていいる	あまり自身（本人）が望む内容の学習とはなっていない	自身（本人）が望む内容の学習とはなっていない	意向が反映されているかどうか分からない	本人の意向の確認、判断が難しい	無回答
Total	896	290	388	113	39	44	22	0
	100.0%	32.4%	43.3%	12.6%	4.4%	4.9%	2.5%	0.0%
18歳以上20歳未満	282	87	102	50	23	13	7	0
	100.0%	30.9%	36.2%	17.7%	8.2%	4.6%	2.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	185	59	89	21	4	9	3	0
	100.0%	31.9%	48.1%	11.4%	2.2%	4.9%	1.6%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	49	77	17	3	7	5	0
	100.0%	31.0%	48.7%	10.8%	1.9%	4.4%	3.2%	0.0%
40歳以上50歳未満	120	41	56	12	4	3	4	0
	100.0%	34.2%	46.7%	10.0%	3.3%	2.5%	3.3%	0.0%
50歳以上60歳未満	78	28	32	7	3	6	2	0
	100.0%	35.9%	41.0%	9.0%	3.8%	7.7%	2.6%	0.0%
60歳以上	73	26	32	6	2	6	1	0
	100.0%	35.6%	43.8%	8.2%	2.7%	8.2%	1.4%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-129 障害種別_生涯学習における自身(本人)の意向反映状況

	合計	自身(本人)が望む内容の学習ができていない	だいたい自身(本人)が望む内容の学習ができていない	あまり自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	意向が反映されているかどうか分からない	本人の意向の確認、判断が難しい	無回答
Total	896	290	388	113	39	44	22	0
	100.0%	32.4%	43.3%	12.6%	4.4%	4.9%	2.5%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	24	23	7	1	1	0	0
	100.0%	42.9%	41.1%	12.5%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	61	22	26	5	2	6	0	0
	100.0%	36.1%	42.6%	8.2%	3.3%	9.8%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	69	30	32	2	1	4	0	0
	100.0%	43.5%	46.4%	2.9%	1.4%	5.8%	0.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	75	28	34	5	3	1	4	0
	100.0%	37.3%	45.3%	6.7%	4.0%	1.3%	5.3%	0.0%
知的障害のみ	26	8	15	0	1	2	0	0
	100.0%	30.8%	57.7%	0.0%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	31	44	9	1	5	0	0
	100.0%	34.4%	48.9%	10.0%	1.1%	5.6%	0.0%	0.0%
発達障害のみ	78	31	34	7	2	4	0	0
	100.0%	39.7%	43.6%	9.0%	2.6%	5.1%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	43	12	17	5	3	3	3	0
	100.0%	27.9%	39.5%	11.6%	7.0%	7.0%	7.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	17	31	12	5	3	2	0
	100.0%	24.3%	44.3%	17.1%	7.1%	4.3%	2.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	64	100	54	18	7	7	0
	100.0%	25.6%	40.0%	21.6%	7.2%	2.8%	2.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	23	32	7	2	8	6	0
	100.0%	29.5%	41.0%	9.0%	2.6%	10.3%	7.7%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-130 移動支援の状況別_生涯学習における自身(本人)の意向反映状況

	合計	自身(本人)が望む内容の学習ができていない	だいたい自身(本人)が望む内容の学習ができていない	あまり自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	意向が反映されているかどうか分からない	本人の意向の確認、判断が難しい	無回答
Total	896	290	388	113	39	44	22	0
	100.0%	32.4%	43.3%	12.6%	4.4%	4.9%	2.5%	0.0%
支援が必要	180	58	66	25	9	8	14	0
	100.0%	32.2%	36.7%	13.9%	5.0%	4.4%	7.8%	0.0%
一部支援が必要	261	56	130	47	16	9	3	0
	100.0%	21.5%	49.8%	18.0%	6.1%	3.4%	1.1%	0.0%
見守りが必要	153	42	69	22	7	9	4	0
	100.0%	27.5%	45.1%	14.4%	4.6%	5.9%	2.6%	0.0%
支援は不要	302	134	123	19	7	18	1	0
	100.0%	44.4%	40.7%	6.3%	2.3%	6.0%	0.3%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-131 外出の状況別_生涯学習における自身(本人)の意向反映状況

	合計	自身(本人)が望む内容の学習ができていない	だいたい自身(本人)が望む内容の学習ができていない	あまり自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	意向が反映されているかどうか分からない	本人の意向の確認、判断が難しい	無回答
Total	896	290	388	113	39	44	22	0
	100.0%	32.4%	43.3%	12.6%	4.4%	4.9%	2.5%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	598	235	250	58	20	28	7	0
	100.0%	39.3%	41.8%	9.7%	3.3%	4.7%	1.2%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	266	49	130	51	15	14	7	0
	100.0%	18.4%	48.9%	19.2%	5.6%	5.3%	2.6%	0.0%
外出は困難	32	6	8	4	4	2	8	0
	100.0%	18.8%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	25.0%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-132 意思の伝達状況別_生涯学習における自身(本人)の意向反映状況

	合計	自身(本人)が望む内容の学習ができていない	だいたい自身(本人)が望む内容の学習ができていない	あまり自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	意向が反映されているかどうか分からない	本人の意向の確認、判断が難しい	無回答
Total	896	290	388	113	39	44	22	0
	100.0%	32.4%	43.3%	12.6%	4.4%	4.9%	2.5%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	580	248	244	44	12	28	4	0
	100.0%	42.8%	42.1%	7.6%	2.1%	4.8%	0.7%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	160	28	84	35	10	3	0	0
	100.0%	17.5%	52.5%	21.9%	6.3%	1.9%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	114	11	48	29	12	9	5	0
	100.0%	9.6%	42.1%	25.4%	10.5%	7.9%	4.4%	0.0%
意思の伝達は難しい	40	2	11	5	5	4	13	0
	100.0%	5.0%	27.5%	12.5%	12.5%	10.0%	32.5%	0.0%
その他の方法、状況	2	1	1	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-133 環境への対応状況別_生涯学習における自身(本人)の意向反映状況

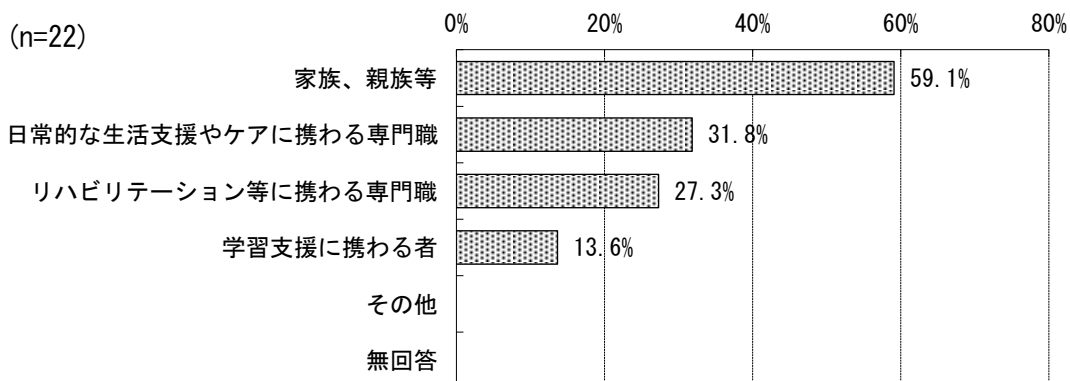
	合計	自身(本人)が望む内容の学習ができていない	だいたい自身(本人)が望む内容の学習ができていない	あまり自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない	意向が反映されているかどうか分からない	本人の意向の確認、判断が難しい	無回答
Total	896	290	388	113	39	44	22	0
	100.0%	32.4%	43.3%	12.6%	4.4%	4.9%	2.5%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	430	207	153	42	11	13	4	0
	100.0%	48.1%	35.6%	9.8%	2.6%	3.0%	0.9%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	403	72	212	63	25	22	9	0
	100.0%	17.9%	52.6%	15.6%	6.2%	5.5%	2.2%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	61	10	23	8	3	8	9	0
	100.0%	16.4%	37.7%	13.1%	4.9%	13.1%	14.8%	0.0%
その他	2	1	0	0	0	1	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

【本人の意思の確認、判断が難しい場合】

1) 取組に関する判断に関わる人

本人の意思の確認、判断が難しい場合、取組に関する判断に関わる人は、「家族、親族等」の割合が最も高く59.1%となっている。次いで、「日常的な生活支援やケアに携わる専門職(31.8%)」、「リハビリテーション等に携わる専門職(27.3%)」となっている。

図表 3-134 取組に関する判断を行う際に関わる人(複数選択)



4. オンライン学習やデジタル教材等の活用状況について

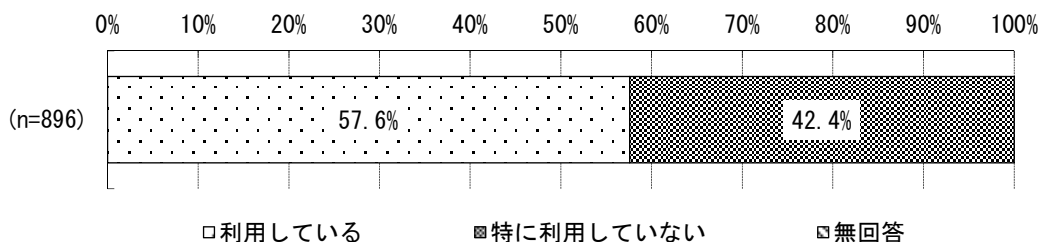
【現在、生涯学習に取り組んでいる場合（n=896）】

（1）活用状況

① 現在（直近1年）の学習を行う際のオンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

「利用している」の割合が最も高く57.6%となっている。次いで、「特に利用していない（42.4%）」となっている。

図表 3-135 オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況（単数選択）



（クロス集計_市区町村区分別）

図表 3-136 市区町村区分別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
東京23区	105	70	35	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
政令指定都市	308	199	109	0
	100.0%	64.6%	35.4%	0.0%
政令指定都市以外の市	386	202	184	0
	100.0%	52.3%	47.7%	0.0%
町・村	96	44	52	0
	100.0%	45.8%	54.2%	0.0%

（クロス集計_年齢区分別）

図表 3-137 年齢区分別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
18歳以上20歳未満	282	184	98	0
	100.0%	65.2%	34.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	185	107	78	0
	100.0%	57.8%	42.2%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	90	68	0
	100.0%	57.0%	43.0%	0.0%
40歳以上50歳未満	120	65	55	0
	100.0%	54.2%	45.8%	0.0%
50歳以上60歳未満	78	42	36	0
	100.0%	53.8%	46.2%	0.0%
60歳以上	73	28	45	0
	100.0%	38.4%	61.6%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-138 障害種別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	35	21	0
	100.0%	62.5%	37.5%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	61	30	31	0
	100.0%	49.2%	50.8%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	69	40	29	0
	100.0%	58.0%	42.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	75	34	41	0
	100.0%	45.3%	54.7%	0.0%
知的障害のみ	26	7	19	0
	100.0%	26.9%	73.1%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	90	41	49	0
	100.0%	45.6%	54.4%	0.0%
発達障害のみ	78	43	35	0
	100.0%	55.1%	44.9%	0.0%
身体障害+知的障害	43	23	20	0
	100.0%	53.5%	46.5%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	70	41	29	0
	100.0%	58.6%	41.4%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	250	203	47	0
	100.0%	81.2%	18.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	78	19	59	0
	100.0%	24.4%	75.6%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-139 移動支援の状況別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
支援が必要	180	124	56	0
	100.0%	68.9%	31.1%	0.0%
一部支援が必要	261	180	81	0
	100.0%	69.0%	31.0%	0.0%
見守りが必要	153	73	80	0
	100.0%	47.7%	52.3%	0.0%
支援は不要	302	139	163	0
	100.0%	46.0%	54.0%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-140 外出の状況別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	598	330	268	0
	100.0%	55.2%	44.8%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	266	171	95	0
	100.0%	64.3%	35.7%	0.0%
外出は困難	32	15	17	0
	100.0%	46.9%	53.1%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-141 意思の伝達状況別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	580	305	275	0
	100.0%	52.6%	47.4%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	160	121	39	0
	100.0%	75.6%	24.4%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	114	71	43	0
	100.0%	62.3%	37.7%	0.0%
意思の伝達は難しい	40	18	22	0
	100.0%	45.0%	55.0%	0.0%
その他の方法、状況	2	1	1	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-142 環境への対応状況別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	430	251	179	0
	100.0%	58.4%	41.6%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	403	238	165	0
	100.0%	59.1%	40.9%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	61	27	34	0
	100.0%	44.3%	55.7%	0.0%
その他	2	0	2	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(クロス集計_情報収集活動の有無別)

図表 3-143 情報収集活動の有無別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
情報収集を行っている／行っていた	541	412	129	0
	100.0%	76.2%	23.8%	0.0%
特に情報収集は行っていない	355	104	251	0
	100.0%	29.3%	70.7%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-144 相談できる人、機関の有無別_オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況

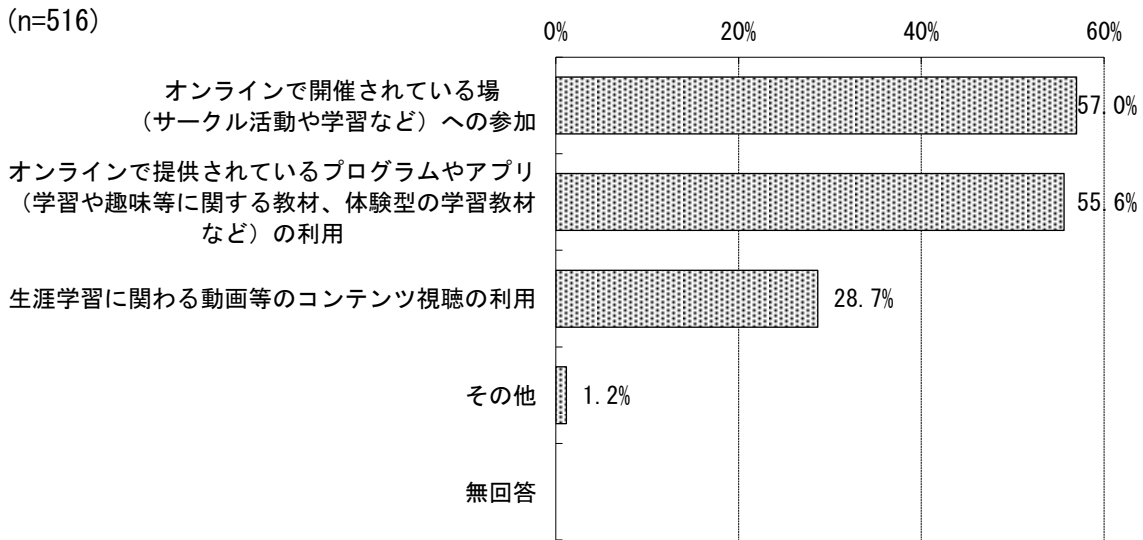
	合計	利用している	特に利用していない	無回答
Total	896	516	380	0
	100.0%	57.6%	42.4%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はある	645	419	226	0
	100.0%	65.0%	35.0%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はない	251	97	154	0
	100.0%	38.6%	61.4%	0.0%

【利用している場合】

1) 利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

「オンラインで開催されている場（サークル活動や学習など）への参加」の割合が最も高く57.0%となっている。次いで、「オンラインで提供されているプログラムやアプリ（学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など）の利用（55.6%）」、「生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用（28.7%）」となっている。

図表 3-145 利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-146 年齢区分別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

	合計	オンラインで開催されている場（サークル活動や学習など）への参加	オンラインで提供されているプログラムやアプリ（学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など）の利用	生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用	その他	無回答
Total	516	294	287	148	6	0
	100.0%	57.0%	55.6%	28.7%	1.2%	0.0%
18歳以上20歳未満	184	111	98	39	2	0
	100.0%	60.3%	53.3%	21.2%	1.1%	0.0%
20歳以上30歳未満	107	64	58	26	0	0
	100.0%	59.8%	54.2%	24.3%	0.0%	0.0%
30歳以上40歳未満	90	52	51	20	0	0
	100.0%	57.8%	56.7%	22.2%	0.0%	0.0%
40歳以上50歳未満	65	30	44	31	3	0
	100.0%	46.2%	67.7%	47.7%	4.6%	0.0%
50歳以上60歳未満	42	21	22	16	1	0
	100.0%	50.0%	52.4%	38.1%	2.4%	0.0%
60歳以上	28	16	14	16	0	0
	100.0%	57.1%	50.0%	57.1%	0.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-147 障害種別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

	合計	オンラインで開催されている場 (サークル活動や学習など)への参加	オンラインで提供されているプログラムやアプリ(学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など)の利用	生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用	その他	無回答
Total	516	294	287	148	6	0
	100.0%	57.0%	55.6%	28.7%	1.2%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	35	19	18	14	0	0
	100.0%	54.3%	51.4%	40.0%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	30	16	16	10	0	0
	100.0%	53.3%	53.3%	33.3%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	40	24	19	9	1	0
	100.0%	60.0%	47.5%	22.5%	2.5%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	34	20	22	13	1	0
	100.0%	58.8%	64.7%	38.2%	2.9%	0.0%
知的障害のみ	7	3	3	2	0	0
	100.0%	42.9%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	41	11	21	19	3	0
	100.0%	26.8%	51.2%	46.3%	7.3%	0.0%
発達障害のみ	43	24	20	19	0	0
	100.0%	55.8%	46.5%	44.2%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	23	14	11	2	0	0
	100.0%	60.9%	47.8%	8.7%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	41	26	24	13	0	0
	100.0%	63.4%	58.5%	31.7%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	203	127	125	38	1	0
	100.0%	62.6%	61.6%	18.7%	0.5%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	19	10	8	9	0	0
	100.0%	52.6%	42.1%	47.4%	0.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-148 移動支援の状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

	合計	オンラインで開催されている場 (サークル活動や学習など)への参加	オンラインで提供されているプログラムやアプリ(学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など)の利用	生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用	その他	無回答
Total	516	294	287	148	6	0
	100.0%	57.0%	55.6%	28.7%	1.2%	0.0%
支援が必要	124	91	61	33	2	0
	100.0%	73.4%	49.2%	26.6%	1.6%	0.0%
一部支援が必要	180	97	121	38	0	0
	100.0%	53.9%	67.2%	21.1%	0.0%	0.0%
見守りが必要	73	41	41	18	0	0
	100.0%	56.2%	56.2%	24.7%	0.0%	0.0%
支援は不要	139	65	64	59	4	0
	100.0%	46.8%	46.0%	42.4%	2.9%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-149 外出の状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

	合計	オンラインで開催されている場 (サークル活動 や学習など)への参加	オンラインで提供されているプログラムやアプリ(学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など)の利用	生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用	その他	無回答
Total	516	294	287	148	6	0
	100.0%	57.0%	55.6%	28.7%	1.2%	0.0%
特に制限なく外出が可能 (支援の有無によらず)	330	199	161	98	4	0
	100.0%	60.3%	48.8%	29.7%	1.2%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	171	84	120	45	1	0
	100.0%	49.1%	70.2%	26.3%	0.6%	0.0%
外出は困難	15	11	6	5	1	0
	100.0%	73.3%	40.0%	33.3%	6.7%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-150 意思の伝達状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

	合計	オンラインで開催されている場 (サークル活動 や学習など)への参加	オンラインで提供されているプログラムやアプリ(学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など)の利用	生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用	その他	無回答
Total	516	294	287	148	6	0
	100.0%	57.0%	55.6%	28.7%	1.2%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	305	187	139	101	5	0
	100.0%	61.3%	45.6%	33.1%	1.6%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	121	67	89	24	0	0
	100.0%	55.4%	73.6%	19.8%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	71	30	50	17	1	0
	100.0%	42.3%	70.4%	23.9%	1.4%	0.0%
意思の伝達は難しい	18	9	9	5	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	27.8%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	1	1	0	1	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

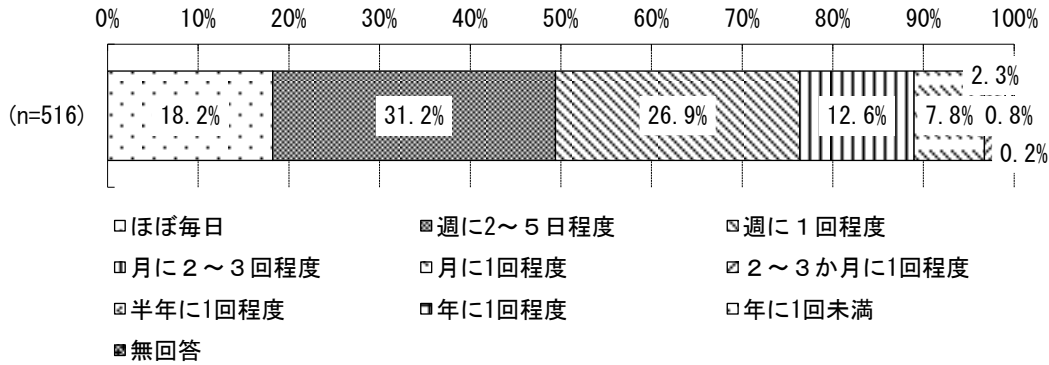
図表 3-151 環境への対応状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の内容

	合計	オンラインで開催されている場 (サークル活動 や学習など)への参加	オンラインで提供されているプログラムやアプリ(学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など)の利用	生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用	その他	無回答
Total	516	294	287	148	6	0
	100.0%	57.0%	55.6%	28.7%	1.2%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	251	160	121	69	4	0
	100.0%	63.7%	48.2%	27.5%	1.6%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	238	121	150	65	1	0
	100.0%	50.8%	63.0%	27.3%	0.4%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	27	13	16	14	1	0
	100.0%	48.1%	59.3%	51.9%	3.7%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2) 利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

「週に2～5日程度」の割合が最も高く31.2%となっている。次いで、「週に1回程度（26.9%）」、「ほぼ毎日（18.2%）」となっている。

図表 3-152 利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-153 年齢区分別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	516	94	161	139	65	40	12	4	1	0	0
	100.0%	18.2%	31.2%	26.9%	12.6%	7.8%	2.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
18歳以上20歳未満	184	40	51	49	23	14	5	1	1	0	0
	100.0%	21.7%	27.7%	26.6%	12.5%	7.6%	2.7%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%
20歳以上30歳未満	107	15	35	29	15	9	4	0	0	0	0
	100.0%	14.0%	32.7%	27.1%	14.0%	8.4%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳以上40歳未満	90	18	30	22	12	3	3	2	0	0	0
	100.0%	20.0%	33.3%	24.4%	13.3%	3.3%	3.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳以上50歳未満	65	10	17	26	8	4	0	0	0	0	0
	100.0%	15.4%	26.2%	40.0%	12.3%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳以上60歳未満	42	7	17	8	6	3	0	1	0	0	0
	100.0%	16.7%	40.5%	19.0%	14.3%	7.1%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳以上	28	4	11	5	1	7	0	0	0	0	0
	100.0%	14.3%	39.3%	17.9%	3.6%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-154 障害種別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	516	94	161	139	65	40	12	4	1	0	0
	100.0%	18.2%	31.2%	26.9%	12.6%	7.8%	2.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	35	7	10	11	4	2	0	0	1	0	0
	100.0%	20.0%	28.6%	31.4%	11.4%	5.7%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	30	3	10	9	6	2	0	0	0	0	0
	100.0%	10.0%	33.3%	30.0%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	40	5	14	9	7	3	2	0	0	0	0
	100.0%	12.5%	35.0%	22.5%	17.5%	7.5%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	34	7	9	8	7	2	1	0	0	0	0
	100.0%	20.6%	26.5%	23.5%	20.6%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障害のみ	7	4	0	1	0	0	2	0	0	0	0
	100.0%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	41	6	16	11	2	4	1	1	0	0	0
	100.0%	14.6%	39.0%	26.8%	4.9%	9.8%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
発達障害のみ	43	6	16	13	5	2	1	0	0	0	0
	100.0%	14.0%	37.2%	30.2%	11.6%	4.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	23	2	6	9	2	1	2	1	0	0	0
	100.0%	8.7%	26.1%	39.1%	8.7%	4.3%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	41	6	13	14	4	4	0	0	0	0	0
	100.0%	14.6%	31.7%	34.1%	9.8%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	203	46	59	51	24	19	3	1	0	0	0
	100.0%	22.7%	29.1%	25.1%	11.8%	9.4%	1.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	19	2	8	3	4	1	0	1	0	0	0
	100.0%	10.5%	42.1%	15.8%	21.1%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-155 移動支援の状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	516	94	161	139	65	40	12	4	1	0	0
	100.0%	18.2%	31.2%	26.9%	12.6%	7.8%	2.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
支援が必要	124	41	35	26	7	11	3	1	0	0	0
	100.0%	33.1%	28.2%	21.0%	5.6%	8.9%	2.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
一部支援が必要	180	17	55	57	32	14	3	2	0	0	0
	100.0%	9.4%	30.6%	31.7%	17.8%	7.8%	1.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
見守りが必要	73	5	24	27	6	7	2	1	1	0	0
	100.0%	6.8%	32.9%	37.0%	8.2%	9.6%	2.7%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%
支援は不要	139	31	47	29	20	8	4	0	0	0	0
	100.0%	22.3%	33.8%	20.9%	14.4%	5.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-156 外出の状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程 度	週に1回程度	月に2～3回程 度	月に1回程度	2～3か月に1 回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	516	94	161	139	65	40	12	4	1	0	0
	100.0%	18.2%	31.2%	26.9%	12.6%	7.8%	2.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
特に制限なく外出が可能 (支援の有無によらず)	330	75	103	81	41	17	9	3	1	0	0
	100.0%	22.7%	31.2%	24.5%	12.4%	5.2%	2.7%	0.9%	0.3%	0.0%	0.0%
一定の制限はあるが、外出 は可能	171	16	52	54	24	22	2	1	0	0	0
	100.0%	9.4%	30.4%	31.6%	14.0%	12.9%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
外出は困難	15	3	6	4	0	1	1	0	0	0	0
	100.0%	20.0%	40.0%	26.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-157 意思の伝達状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程 度	週に1回程度	月に2～3回程 度	月に1回程度	2～3か月に1 回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	516	94	161	139	65	40	12	4	1	0	0
	100.0%	18.2%	31.2%	26.9%	12.6%	7.8%	2.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
特に機器等の支援の必要 なく、自身で伝達が可能	305	76	92	75	32	17	8	4	1	0	0
	100.0%	24.9%	30.2%	24.6%	10.5%	5.6%	2.6%	1.3%	0.3%	0.0%	0.0%
機器等の支援があれば自 身で伝達が可能	121	9	47	37	18	8	2	0	0	0	0
	100.0%	7.4%	38.8%	30.6%	14.9%	6.6%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み 取りによって伝達可能	71	8	18	20	12	12	1	0	0	0	0
	100.0%	11.3%	25.4%	28.2%	16.9%	16.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
意思の伝達は難しい	18	1	4	7	3	2	1	0	0	0	0
	100.0%	5.6%	22.2%	38.9%	16.7%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-158 環境への対応状況別_利用しているオンライン学習やデジタル教材等の利用の頻度

	合計	ほぼ毎日	週に2～5日程 度	週に1回程度	月に2～3回程 度	月に1回程度	2～3か月に1 回程度	半年に1回程度	年に1回程度	年に1回未満	無回答
Total	516	94	161	139	65	40	12	4	1	0	0
	100.0%	18.2%	31.2%	26.9%	12.6%	7.8%	2.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
初めての場所や環境でも対応 できる	251	70	69	58	27	16	8	2	1	0	0
	100.0%	27.9%	27.5%	23.1%	10.8%	6.4%	3.2%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しいことがある	238	21	87	71	35	18	4	2	0	0	0
	100.0%	8.8%	36.6%	29.8%	14.7%	7.6%	1.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しい	27	3	5	10	3	6	0	0	0	0	0
	100.0%	11.1%	18.5%	37.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

② オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材の利用することのメリットや効果、課題

日中活動における学習の機会に関する主な意見は以下の通り。

図表 3-159 オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材の利用することのメリットや効果（自由記述式）

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材のメリットや効果」に関する主な意見
① 身体障害_視覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声で聞くことにより繰り返し反復できる ・ 通学の手間が省ける、移動に伴うリスクが少ない ・ 障害があることで、外出には支援がいる人でも自宅でならできる ・ 周りを気にすることなく学習できる ・ 周りの理解がある ・ 自分のタイミングに合わせやすい ・ 自宅で学習が出来るため、精神的にも落ち着くし、何かあった時でも自宅だから対処ができて、安心して学習に取り組めるから ・ 空いた時間にすぐ学習にとりかかれる ・ 気軽に参加できる ・ 外出せずに学ぶことが出来るので、コロナ感染などの対策にもなり、安全面ではメリットが多い
② 身体障害_聴覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴覚のみの障がいでから見ることに問題が無く取り組める ・ 仲間が助け合って、学び合っている ・ 色んな人と知り合えて知識も豊富になっていく ・ 手話で話せる ・ 手軽に参加できる ・ 自分の興味によって選択ができる ・ 自分のペースで好きな時間に取り組める ・ 自分のペースで学習することが出来る ・ 字幕が出るので好きな時間にオンラインで学んでいる ・ 外出がしにくい障害者が自宅で学べる
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通えなかった学習が気軽に自宅で受けられる ・ 自宅から出るのが難しい人には便利だと思う ・ 体調が悪く外出が困難でも自宅から参加できる ・ 体の負荷が軽減できる ・ 周りの目を気にしない ・ 自宅で簡単に、好きな時間に対応できるため ・ 字が書きにくい場合でも、文字入力できる
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤中や、空き時間に勉強できる ・ 体に負担がない ・ 外出が困難な時でも自宅で気軽に学習できること

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材のメリットや効果」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家にいながら様々な情報をキャッチしたり、情報交換ができる ・ 家で人とコミュニケーションできる ・ いつでも欲しい情報を手に入れることができる
⑤ 知的障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強をする意欲 ・ 自分の興味ある教材を選択できる ・ 時間を気にせずいつでも学習できる ・ 参加がしやすい ・ 経験値を上げる事につながる ・ 感染症対策、スキル向上 ・ 移動が少なくて済む ・ いつでもどこでも学習できる
⑥ 精神障害のみ、精神障害 + 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疲れやすいので外の刺激に左右されない ・ 発達障害は、紙とペンより、アプリの利用に向いていると思う ・ 対面での緊張等がない状況で受けられる ・ 対人関係が苦手な人も参加しやすい ・ 世間の人と関わる窓口にあること ・ 人の目を気にしなくて済む ・ 人と直接対面して活動するのではない分、落ち着ける環境で取り組める ・ 人と接する際に生じるような労力やストレスがなく、気軽に活動が行える ・ つらくなったら休めるので嬉しい ・ 色々な経験の参考になる。社会の動きがわかる ・ 自分にあった教材を選ぶことができること ・ 自分とは違う考え方や価値観が知れる、コミュニケーションが取れる ・ 耳でも眼でも情報を追うことができるところ ・ 会えない距離の人とも交流ができる ・ いつでもどこでも自宅から出たくない気分でも本人の好きな気分で利用できる ・ あまり不安なく受講できる
⑦ 発達障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝起きることが苦手な為、参加しやすい ・ 体調が悪い時に外出しなくてもよい ・ 他人に迷惑をかけない ・ 人に合わせなくて良い ・ 出かける気分でもなくても、動画が始まると取り組めることが多い ・ 自分の好きな時に利用できる ・ 慣れない環境に足を運ばなくて済む

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材のメリットや効果」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家にいながら学習が出来るので落ち着いて出来る ・ 移動のストレスがなく、かつ多様な刺激が得られる ・ わからなくても何度も見直せる ・ コロナで直接指導を受けにくいので便利、また実際の人間関係が苦手なので、メールなどでのやり取りができる
⑧ 身体障害+知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操作を覚えれば、多少手指が不自由でも、自分で操作して、必要な知識を得たり、楽しみを得られる ・ 自宅でも学習出来る ・ 仕事を選ぶ上で幅が広がる ・ 効率化できる ・ 興味深いものに対し、自らが学びたいと他者に発信できるようになった。考えが前向きになり、思考力が増した ・ 一人で落ち着いて学習できる
⑨ 身体障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間作りができる ・ 対面では無いため、話す時の緊張は減っていること ・ 人間関係が広まる ・ 人に接しないので、リラックスしている ・ 新たな場にも積極的に取り組むことができる ・ 場所を選ばず利用できる ・ 周りを気にしないで済む ・ 社会に参加できていると感じられる ・ 孤独感を軽減できる ・ 移動せずとも自宅で学習ができる ・ オンラインだと気軽に始められる。試しに頑張る人もいると思う。オンラインに関しては賛成意見
⑩ 身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同行することがいらない ・ 直接合わなくて良いこと ・ 長距離移動が難しい場合などでも都合に合わせて日時を合わせてもらえる ・ 他人との関わりを持てる ・ 人とのコミュニケーションによって人生を豊かにする ・ 全国のどこにいても学習機会を損失せずに授業を受けられる点は大きなメリット。一人ひとりに合わせた勉強も取り入れられる ・ 前向きになれる ・ 心の安定につながる ・ 社会性が芽生える ・ 自宅でできるため何かあっても安心

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材のメリットや効果」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慣れた環境で取り組める ・ 画面を見ながら繰り返し出来る ・ 家族が教えられないことに触れることができ新鮮さがあると思う ・ 意思の疎通が容易にできる ・ アドバイスを得られる
⑪ 知的障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良い刺激となる。外に出ようという気持ちを促進 ・ 付き添い者がいないために学習に参加できないということが起こりにくくなる ・ 他の方との交流の場になる ・ 色々な人と関わりが出来る ・ 自分の調子に合わせながら見たり、学ぶことができる ・ 自分の学びやすい環境で学べること ・ 視野を広げコミュニケーション出来る ・ 興味を持つことができ、生きがいを感じる ・ 外出せずに行えるので、支援者も楽 ・ 外出しなくてよい、介助者の負担減 ・ 家にいながら参加できること。動画、デジタル教材は繰り返し視聴できること

図表 3-160 オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材の利用することの課題（自由記述式）

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材の課題」に関する主な意見
① 身体障害_視覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微妙なニュアンスが伝えにくい ・ 人とのコミュニケーション能力が伸びにくいかもしれない ・ 集中が続かない ・ 質問ができない ・ 視聴覚に障害があると難しい ・ 機器の価格が高い ・ 慣れに時間がかかる ・ 学べる内容や範囲に限りがあり、さまざま課題に思う ・ 一方的な感じになる ・ リアルな他人とのふれあい ・ すぐに質問のやりとりがしにくい ・ コンテンツが少ない ・ クオリティの高い教材や効率の良い学習方法が見つけない ・ オンライン参加するにあたって設定等、障害があることで他の人の支援はやはり必要。またオンラインでの学習ができるということの情報が入りにくいなど

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材の課題」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインだけでは伝わらないことも多い
② 身体障害_聴覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴覚に障害のある人は、オンラインでの参加などは聞こえないだけではなく声が出せない人もいる。手や口がはっきり見えないと通じないこともあるので難しい時もある、コロナで集まれないなどの時でも参加できるのでそれなりに効果はあるが、それらを使いこなせない人もいるし機器を持っていない人も居る ・ 通訳が必要だが、そのための仲間が必要 ・ 字幕変換がうまく行かないことがある ・ 字幕や手話通訳がなく、内容がわからない ・ 聴覚障害者は字幕等がないとオンラインは難しい。現時点では字幕がないのがほとんど ・ 聴覚障害があると伝わらないことがある ・ 他人から分かり難い聴覚障害は誤解も生みやすい ・ 直接的な質問が出来ない ・ 音声聞き取りにくい時がある、発言や質問しにくい
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面と比べると仲間が出来にくい ・ 対面での実感がない ・ 専用設備が使えない ・ 機器の操作に疲れる ・ 障がい者向けの製品が少なく、価格が高いと思う ・ それなりのスキルが無いと使えない ・ 自分の雰囲気や相手を相手に汲み取ってもらえない ・ 健常者と一緒の場合、進行を乱す ・ 疑問を直ぐに解決しにくい
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨場感がない ・ 理解に時間がかかる ・ 表情やアイコンタクトなどの感情表現が読み取りにくい ・ 対面でないとしぐさだけでと伝わりにくい ・ 教材を活用出来る環境整備 ・ 機器操作の簡略化と、本人の症状に即した機器操作に関するレクチャー ・ 機械の操作は人によって得手不得手があり、差が出やすい ・ コンテンツがまだまだ少ない
⑤ 知的障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人と直接かかわることができない ・ 自己管理 ・ 継続性 ・ 経済状況

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材の課題」に関する主な意見
⑥ 精神障害のみ、精神障害 + 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取りにくさ等はあると思う ・ 内向的な性格のため、より他者と関わるのが難しくなってしまう ・ 直接人とのコミュニケーションが減る ・ 対面できめ細やかな能力に応じた対応が困難 ・ 他人との意見交換の場が少ない ・ 人と関わるリスクを避ける傾向が強まる ・ 計画性が必要 ・ 意志の持続 ・ オンラインは個人に委ねられる部分が多いため、高い効果の獲得や継続が難しいかもしれない
⑦ 発達障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 怠けてしまう ・ 他人との交流機会が減る ・ 生身の人間に触れるほうがより効果的に思うから ・ 視覚や聴覚のみでその他の五感が活かせない ・ わからない部分が解決しにくい ・ わからない時に質問できない ・ コンテンツの内容の充実度 ・ コミュニケーション力が育たない ・ 1人では勉強できない
⑧ 身体障害 + 知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年配の場合、操作がわからない ・ 直接人と触れ合えない ・ 知的障害がある人に合った教材の準備 ・ 知的に障害があると、難しい言葉が分からずつまずいてしまう ・ 自分でセッティングができない。ある程度介助が必要 ・ 気軽に出来る反面、本人のやる気が必要であり、結局継続出来ないと思う。目標や達成感があれば良いか ・ 意思の疎通ができない場合は困難である ・ しっかり学べない ・ コミュニケーションが取りづらい
⑨ 身体障害 + 精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解できないことがあっても聞きにくい ・ 直接対話・質問ができない ・ 対人関係が構築できない ・ いざ対面になると、話せなくなるなどで対面の練習機会の減少 ・ 申込みにハードルを感じる。または、体調によって時間通りの利用が困難な場合がある ・ 新しいデバイスが必要な時、すぐに揃えることができない ・ 実際にはオンラインでは済まない事が多いので、オンラインで分かった

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材の課題」に関する主な意見
	<p>だけでは何も出来ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外出機会が減り、外気や太陽を浴びる機会が減る ・ 課題は自主学习だと継続が難しいかもしれない誰かのサポートなどが必要な時もある ・ やる気の持続性
<p>⑩ 身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曖昧な表現(あそこ等)の正確な伝達や対面ならではの絆の育みが出来ない ・ 利用する液晶画面前で落ち着いて座って参加出来ないことがある。また対面行為自体がづらい日がある ・ 発達障害、視覚障害があるため、「自分が理解できる」スピードや解説の仕方でないと理解が困難だが、やってみないとわからない。そういう解説に当たるかどうか不明。結局、自己流にならざるを得ない ・ 電子機器のお金がかかる。通信費がかかる ・ 伝わっているか確認困難 ・ 相手に感情が伝わりづらい ・ 操作は自分でできないのでサポートが必要。喋るタイミングが被る ・ 精神的な不安定な方、デジタル教材の種類が障害者個々にあっていない ・ 消極的になる ・ 逆に外出の機会が減ってしまうこと ・ コミュニケーション能力の向上に不安がある ・ オンライン授業だけで学校の授業が行われると、友達との人間関係を築きにくく、ストレスになってしまう可能性があること ・ 実体感がわからない ・ 実際に会うことができないこと ・ 質問などのやり取りが難しい ・ 支援がとても薄い ・ 継続性に問題がある ・ デジタル機器の確保が難しい ・ コミュニケーション能力の向上に不安がある ・ 1人での学習は難しい
<p>⑪ 知的障害+精神障害（発達障害含む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いている時なら見たり学んだりできるが、長い時間はちよつと無理な部分も。いかに飽きないようにするかが課題 ・ 飽きっぽいので、学習途中でやめてしまう ・ 直接のコミュニケーションがとれない ・ 正しく理解出来ていない事がある。障害特性上、理解の仕方が独特な場合もあり、そのような場合はやはりオンラインやデジタル教材で

区分	「オンラインによる学びやデジタル教材の課題」に関する主な意見
	<p>はかえて大変なケースも多い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 親が付きっきりでないと困難・ 機材を介助者が用意しないといけない・ 機器に慣れていないから戸惑いがある、何もしなくなる可能性がある・ リアルコミュニケーションの欠落

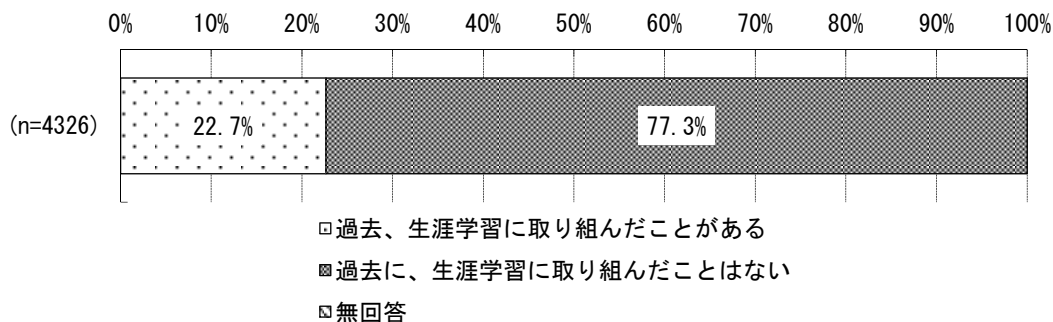
5. 過去の生涯学習の状況

(1) 取組状況

① 過去の生涯学習の経験の有無

「過去に、生涯学習に取り組んだことはない」の割合が 77.3%、「過去、生涯学習に取り組んだことがある」の割合が 22.7%となっている。

図表 3-161 過去の生涯学習の経験の有無（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-162 年齢区分別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習に取り組んだことがある	過去に、生涯学習に取り組んだことはない	無回答
Total	4326	980	3346	0
	100.0%	22.7%	77.3%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	261	460	0
	100.0%	36.2%	63.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	195	526	0
	100.0%	27.0%	73.0%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	189	532	0
	100.0%	26.2%	73.8%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	136	585	0
	100.0%	18.9%	81.1%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	101	620	0
	100.0%	14.0%	86.0%	0.0%
60歳以上	721	98	623	0
	100.0%	13.6%	86.4%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-163 障害種別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326	980	3346	0
	100.0%	22.7%	77.3%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	64	321	0
	100.0%	16.6%	83.4%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	73	349	0
	100.0%	17.3%	82.7%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	83	333	0
	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その 他身体障害、身体障害の重複	555	90	465	0
	100.0%	16.2%	83.8%	0.0%
知的障害のみ	206	24	182	0
	100.0%	11.7%	88.3%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	623	107	516	0
	100.0%	17.2%	82.8%	0.0%
発達障害のみ	433	75	358	0
	100.0%	17.3%	82.7%	0.0%
身体障害+知的障害	158	54	104	0
	100.0%	34.2%	65.8%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	258	75	183	0
	100.0%	29.1%	70.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	453	247	206	0
	100.0%	54.5%	45.5%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	417	88	329	0
	100.0%	21.1%	78.9%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-164 移動支援の状況別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326	980	3346	0
	100.0%	22.7%	77.3%	0.0%
支援が必要	601	197	404	0
	100.0%	32.8%	67.2%	0.0%
一部支援が必要	856	281	575	0
	100.0%	32.8%	67.2%	0.0%
見守りが必要	705	164	541	0
	100.0%	23.3%	76.7%	0.0%
支援は不要	2164	338	1826	0
	100.0%	15.6%	84.4%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-165 外出の状況別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326	980	3346	0
	100.0%	22.7%	77.3%	0.0%
特に制限なく外出が可能 （支援の有無によらず）	3034	650	2384	0
	100.0%	21.4%	78.6%	0.0%
一定の制限はあるが、外出 は可能	1034	287	747	0
	100.0%	27.8%	72.2%	0.0%
外出は困難	258	43	215	0
	100.0%	16.7%	83.3%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-166 意思の伝達状況別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326 100.0%	980 22.7%	3346 77.3%	0 0.0%
特に機器等の支援の必要 なく、自身で伝達が可能	3297 100.0%	638 19.4%	2659 80.6%	0 0.0%
機器等の支援があれば自 身で伝達が可能	362 100.0%	173 47.8%	189 52.2%	0 0.0%
家族等周囲の確認、読み 取りによって伝達可能	416 100.0%	119 28.6%	297 71.4%	0 0.0%
意思の伝達は難しい	229 100.0%	45 19.7%	184 80.3%	0 0.0%
その他の方法、状況	22 100.0%	5 22.7%	17 77.3%	0 0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-167 環境への対応状況別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326 100.0%	980 22.7%	3346 77.3%	0 0.0%
初めての場所や環境でも対応 できる	2185 100.0%	463 21.2%	1722 78.8%	0 0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しいことがある	1686 100.0%	434 25.7%	1252 74.3%	0 0.0%
初めての場所や環境の場合、 対応が難しい	437 100.0%	78 17.8%	359 82.2%	0 0.0%
その他	18 100.0%	5 27.8%	13 72.2%	0 0.0%

(クロス集計_現在の生涯学習の取組の有無別)

図表 3-168 現在の生涯学習の取組の有無別_過去の生涯学習の経験の有無

	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326 100.0%	980 22.7%	3346 77.3%	0 0.0%
現在、生涯学習に取 り組んでいる	896 100.0%	650 72.5%	246 27.5%	0 0.0%
現在、取り組んでい ない	3430 100.0%	330 9.6%	3100 90.4%	0 0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-169 相談できる人、機関の有無別_過去の生涯学習の経験の有無

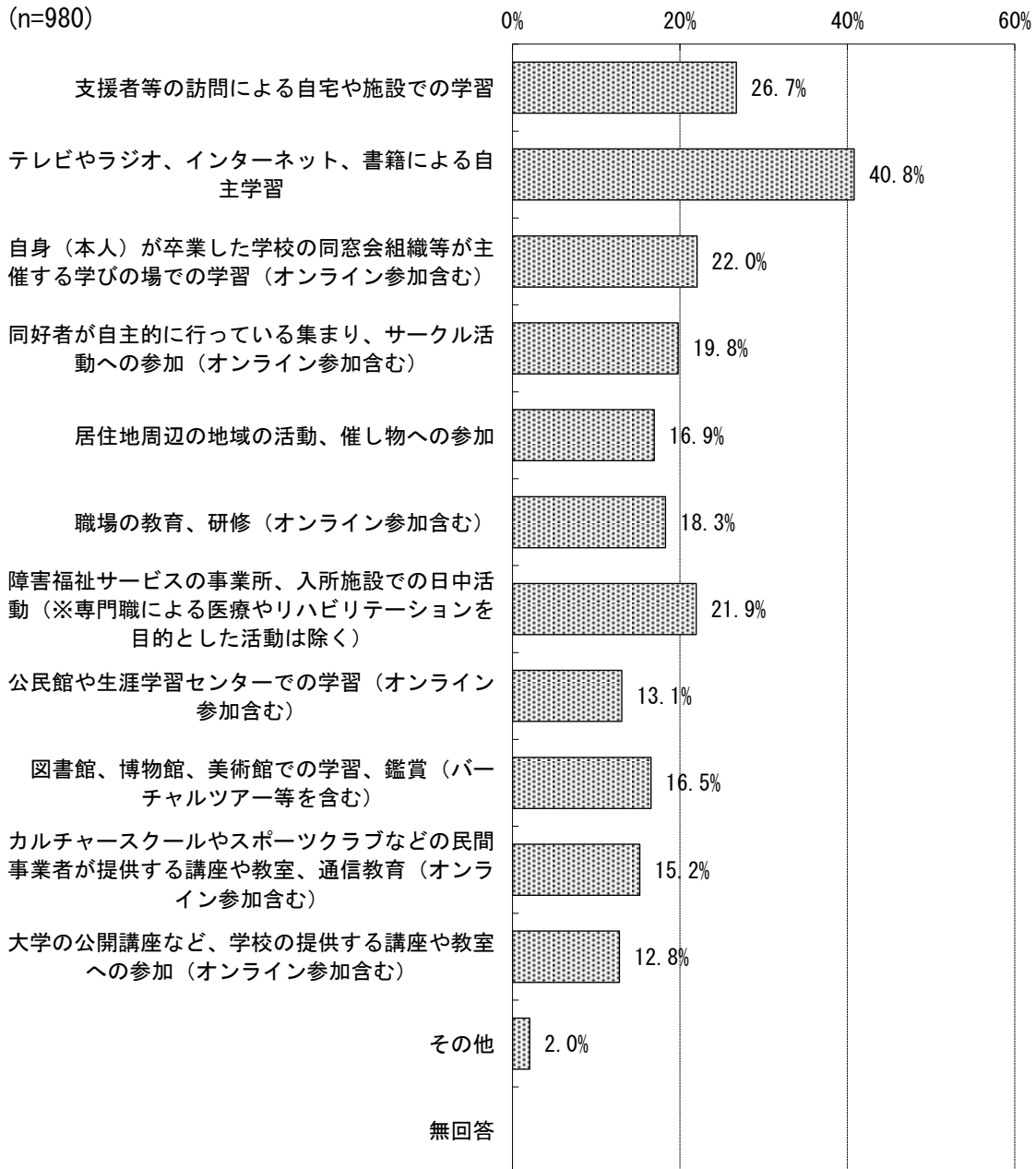
	合計	過去、生涯学習 に取り組んだこ とがある	過去に、生涯学 習に取り組んだ ことはない	無回答
Total	4326 100.0%	980 22.7%	3346 77.3%	0 0.0%
相談できる人、団体 や機関等はある	1836 100.0%	694 37.8%	1142 62.2%	0 0.0%
相談できる人、団体 や機関等はない	2490 100.0%	286 11.5%	2204 88.5%	0 0.0%

【過去に生涯学習を行ったことがある場合】

② 過去に経験したことのある生涯学習の手段や場所

「テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習」の割合が最も高く 40.8%となっている。次いで、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習（26.7%）」、「自身（本人）が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習（オンライン参加含む）（22.0%）」となっている。

図表 3-170 過去に経験したことのある生涯学習の手段や場所（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-171 年齢区分別_過去に経験したことのある生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	980	262	400	216	194	166	179	
	100.0%	26.7%	40.8%	22.0%	19.8%	16.9%	18.3%	
18歳以上20歳未満	261	92	97	83	67	52	50	
	100.0%	35.2%	37.2%	31.8%	25.7%	19.9%	19.2%	
20歳以上30歳未満	195	45	84	47	36	25	41	
	100.0%	23.1%	43.1%	24.1%	18.5%	12.8%	21.0%	
30歳以上40歳未満	189	48	76	37	30	31	33	
	100.0%	25.4%	40.2%	19.6%	15.9%	16.4%	17.5%	
40歳以上50歳未満	136	31	72	26	25	23	22	
	100.0%	22.8%	52.9%	19.1%	18.4%	16.9%	16.2%	
50歳以上60歳未満	101	23	36	11	16	11	18	
	100.0%	22.8%	35.6%	10.9%	15.8%	10.9%	17.8%	
60歳以上	98	23	35	12	20	24	15	
	100.0%	23.5%	35.7%	12.2%	20.4%	24.5%	15.3%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	980	215	128	162	149	125	20	0
	100.0%	21.9%	13.1%	16.5%	15.2%	12.8%	2.0%	0.0%
18歳以上20歳未満	261	66	40	48	36	41	4	0
	100.0%	25.3%	15.3%	18.4%	13.8%	15.7%	1.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	195	46	22	29	23	22	2	0
	100.0%	23.6%	11.3%	14.9%	11.8%	11.3%	1.0%	0.0%
30歳以上40歳未満	189	38	18	33	24	20	2	0
	100.0%	20.1%	9.5%	17.5%	12.7%	10.6%	1.1%	0.0%
40歳以上50歳未満	136	25	23	25	29	13	3	0
	100.0%	18.4%	16.9%	18.4%	21.3%	9.6%	2.2%	0.0%
50歳以上60歳未満	101	17	12	13	22	13	8	0
	100.0%	16.8%	11.9%	12.9%	21.8%	12.9%	7.9%	0.0%
60歳以上	98	23	13	14	15	16	1	0
	100.0%	23.5%	13.3%	14.3%	15.3%	16.3%	1.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-172 障害種別_過去に経験したことのある生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	980	262	400	216	194	166	179
	100.0%	26.7%	40.8%	22.0%	19.8%	16.9%	18.3%
身体障害_視覚障害のみ	64	14	37	12	9	8	9
	100.0%	21.9%	57.8%	18.8%	14.1%	12.5%	14.1%
身体障害_聴覚障害のみ	73	9	21	11	13	14	14
	100.0%	12.3%	28.8%	15.1%	17.8%	19.2%	19.2%
身体障害_肢体不自由のみ	83	11	37	11	11	13	11
	100.0%	13.3%	44.6%	13.3%	13.3%	15.7%	13.3%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	90	18	38	16	11	14	18
	100.0%	20.0%	42.2%	17.8%	12.2%	15.6%	20.0%
知的障害のみ	24	7	7	3	4	4	6
	100.0%	29.2%	29.2%	12.5%	16.7%	16.7%	25.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	107	17	51	7	14	13	14
	100.0%	15.9%	47.7%	6.5%	13.1%	12.1%	13.1%
発達障害のみ	75	10	36	12	9	6	12
	100.0%	13.3%	48.0%	16.0%	12.0%	8.0%	16.0%
身体障害+知的障害	54	13	8	13	13	5	6
	100.0%	24.1%	14.8%	24.1%	24.1%	9.3%	11.1%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	75	21	37	19	20	9	19
	100.0%	28.0%	49.3%	25.3%	26.7%	12.0%	25.3%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	247	118	106	100	80	66	61
	100.0%	47.8%	42.9%	40.5%	32.4%	26.7%	24.7%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	88	24	22	12	10	14	9
	100.0%	27.3%	25.0%	13.6%	11.4%	15.9%	10.2%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	980	215	128	162	149	125	20	0
	100.0%	21.9%	13.1%	16.5%	15.2%	12.8%	2.0%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	64	7	3	10	9	10	0	0
	100.0%	10.9%	4.7%	15.6%	14.1%	15.6%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	73	4	15	14	9	9	2	0
	100.0%	5.5%	20.5%	19.2%	12.3%	12.3%	2.7%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	83	11	6	7	8	17	5	0
	100.0%	13.3%	7.2%	8.4%	9.6%	20.5%	6.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	90	10	11	15	13	16	3	0
	100.0%	11.1%	12.2%	16.7%	14.4%	17.8%	3.3%	0.0%
知的障害のみ	24	7	3	2	2	0	1	0
	100.0%	29.2%	12.5%	8.3%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	107	15	12	29	17	14	3	0
	100.0%	14.0%	11.2%	27.1%	15.9%	13.1%	2.8%	0.0%
発達障害のみ	75	8	8	14	12	21	1	0
	100.0%	10.7%	10.7%	18.7%	16.0%	28.0%	1.3%	0.0%
身体障害+知的障害	54	21	5	3	9	3	0	0
	100.0%	38.9%	9.3%	5.6%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	75	18	8	17	15	7	2	0
	100.0%	24.0%	10.7%	22.7%	20.0%	9.3%	2.7%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	247	77	46	43	46	23	2	0
	100.0%	31.2%	18.6%	17.4%	18.6%	9.3%	0.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	88	37	11	8	9	5	1	0
	100.0%	42.0%	12.5%	9.1%	10.2%	5.7%	1.1%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-173 移動支援の状況別_過去に経験してことのある生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	980	262	400	216	194	166	179	
	100.0%	26.7%	40.8%	22.0%	19.8%	16.9%	18.3%	
支援が必要	197	91	76	62	48	40	43	
	100.0%	46.2%	38.6%	31.5%	24.4%	20.3%	21.8%	
一部支援が必要	281	93	122	85	74	62	55	
	100.0%	33.1%	43.4%	30.2%	26.3%	22.1%	19.6%	
見守りが必要	164	37	55	39	30	24	23	
	100.0%	22.6%	33.5%	23.8%	18.3%	14.6%	14.0%	
支援は不要	338	41	147	30	42	40	58	
	100.0%	12.1%	43.5%	8.9%	12.4%	11.8%	17.2%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	980	215	128	162	149	125	20	
	100.0%	21.9%	13.1%	16.5%	15.2%	12.8%	2.0%	
支援が必要	197	67	29	25	29	17	3	
	100.0%	34.0%	14.7%	12.7%	14.7%	8.6%	1.5%	
一部支援が必要	281	71	43	48	54	34	4	
	100.0%	25.3%	15.3%	17.1%	19.2%	12.1%	1.4%	
見守りが必要	164	33	23	27	21	16	4	
	100.0%	20.1%	14.0%	16.5%	12.8%	9.8%	2.4%	
支援は不要	338	44	33	62	45	58	9	
	100.0%	13.0%	9.8%	18.3%	13.3%	17.2%	2.7%	

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-174 外出の状況別_過去に経験してことのある生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	980	262	400	216	194	166	179	
	100.0%	26.7%	40.8%	22.0%	19.8%	16.9%	18.3%	
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	650	154	274	129	118	110	130	
	100.0%	23.7%	42.2%	19.8%	18.2%	16.9%	20.0%	
一定の制限はあるが、外出は可能	287	90	107	82	70	51	45	
	100.0%	31.4%	37.3%	28.6%	24.4%	17.8%	15.7%	
外出は困難	43	18	19	5	6	5	4	
	100.0%	41.9%	44.2%	11.6%	14.0%	11.6%	9.3%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	980	215	128	162	149	125	20	
	100.0%	21.9%	13.1%	16.5%	15.2%	12.8%	2.0%	
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	650	119	86	115	102	91	15	
	100.0%	18.3%	13.2%	17.7%	15.7%	14.0%	2.3%	
一定の制限はあるが、外出は可能	287	81	35	41	42	30	4	
	100.0%	28.2%	12.2%	14.3%	14.6%	10.5%	1.4%	
外出は困難	43	15	7	6	5	4	1	
	100.0%	34.9%	16.3%	14.0%	11.6%	9.3%	2.3%	

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-175 意思の伝達状況別_過去に経験してことのある生涯学習の手段や場所

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	980	262	400	216	194	166	179
	100.0%	26.7%	40.8%	22.0%	19.8%	16.9%	18.3%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	638	144	283	104	102	100	120
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	173	62	76	66	59	34	39
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	119	39	33	38	27	24	17
意思の伝達は難しい	45	16	8	8	6	7	2
その他の方法、状況	5	1	0	0	0	1	1

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	980	215	128	162	149	125	20	0
	100.0%	21.9%	13.1%	16.5%	15.2%	12.8%	2.0%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	638	118	69	111	96	96	15	0
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	173	40	34	33	32	16	0	0
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	119	42	21	14	18	8	3	0
意思の伝達は難しい	45	15	3	3	3	4	0	0
その他の方法、状況	5	0	1	1	0	1	2	0

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-176 環境への対応状況別_過去に経験してことのある生涯学習の手段や場所

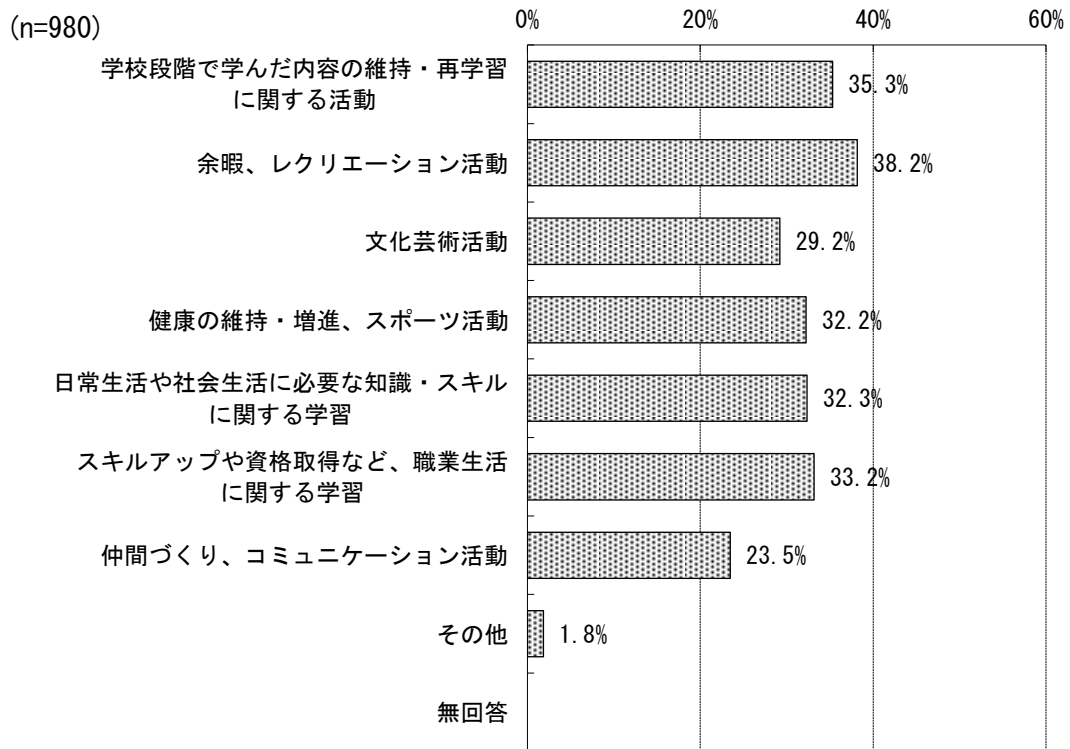
	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	980	262	400	216	194	166	179
	100.0%	26.7%	40.8%	22.0%	19.8%	16.9%	18.3%
初めての場所や環境でも対応できる	463	126	192	104	97	89	97
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	434	110	182	99	85	65	74
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	78	26	25	13	12	12	8
その他	5	0	1	0	0	0	0

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	980	215	128	162	149	125	20	0
	100.0%	21.9%	13.1%	16.5%	15.2%	12.8%	2.0%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	463	82	54	74	70	65	9	0
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	434	100	65	76	71	55	8	0
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	78	31	9	11	8	5	1	0
その他	5	2	0	1	0	0	2	0

③ 過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

「余暇、レクリエーション活動」の割合が最も高く38.2%となっている。次いで、「学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動（35.3%）」、「スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習（33.2%）」となっている。

図表 3-177 過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-178 年齢区分別_過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	980	346	374	286	316	317	325	230	18	0
	100.0%	35.3%	38.2%	29.2%	32.2%	32.3%	33.2%	23.5%	1.8%	0.0%
18歳以上20歳未満	261	118	115	82	81	103	70	52	3	0
	100.0%	45.2%	44.1%	31.4%	31.0%	39.5%	26.8%	19.9%	1.1%	0.0%
20歳以上30歳未満	195	67	66	60	60	58	63	40	3	0
	100.0%	34.4%	33.8%	30.8%	30.8%	29.7%	32.3%	20.5%	1.5%	0.0%
30歳以上40歳未満	189	63	80	52	66	62	74	40	2	0
	100.0%	33.3%	42.3%	27.5%	34.9%	32.8%	39.2%	21.2%	1.1%	0.0%
40歳以上50歳未満	136	37	46	41	46	43	63	41	2	0
	100.0%	27.2%	33.8%	30.1%	33.8%	31.6%	46.3%	30.1%	1.5%	0.0%
50歳以上60歳未満	101	35	33	22	36	28	31	28	5	0
	100.0%	34.7%	32.7%	21.8%	35.6%	27.7%	30.7%	27.7%	5.0%	0.0%
60歳以上	98	26	34	29	27	23	24	29	3	0
	100.0%	26.5%	34.7%	29.6%	27.6%	23.5%	24.5%	29.6%	3.1%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-179 障害種別_過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	980	346	374	286	316	317	325	230	18	0
	100.0%	35.3%	38.2%	29.2%	32.2%	32.3%	33.2%	23.5%	1.8%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	64	20	27	13	17	18	22	14	0	0
	100.0%	31.3%	42.2%	20.3%	26.6%	28.1%	34.4%	21.9%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	73	18	23	18	20	14	19	26	1	0
	100.0%	24.7%	31.5%	24.7%	27.4%	19.2%	26.0%	35.6%	1.4%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	83	20	17	22	24	15	29	16	4	0
	100.0%	24.1%	20.5%	26.5%	28.9%	18.1%	34.9%	19.3%	4.8%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	90	30	21	20	25	23	39	22	2	0
	100.0%	33.3%	23.3%	22.2%	27.8%	25.6%	43.3%	24.4%	2.2%	0.0%
知的障害のみ	24	6	14	3	13	7	7	8	1	0
	100.0%	25.0%	58.3%	12.5%	54.2%	29.2%	29.2%	33.3%	4.2%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	107	43	35	30	29	44	50	27	0	0
	100.0%	40.2%	32.7%	28.0%	27.1%	41.1%	46.7%	25.2%	0.0%	0.0%
発達障害のみ	75	28	21	15	21	23	33	13	2	0
	100.0%	37.3%	28.0%	20.0%	28.0%	30.7%	44.0%	17.3%	2.7%	0.0%
身体障害+知的障害	54	17	18	17	9	12	6	14	3	0
	100.0%	31.5%	33.3%	31.5%	16.7%	22.2%	11.1%	25.9%	5.6%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	75	25	36	26	27	29	36	13	2	0
	100.0%	33.3%	48.0%	34.7%	36.0%	38.7%	48.0%	17.3%	2.7%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	247	116	116	101	100	99	63	46	3	0
	100.0%	47.0%	47.0%	40.9%	40.5%	40.1%	25.5%	18.6%	1.2%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	88	23	46	21	31	33	21	31	0	0
	100.0%	26.1%	52.3%	23.9%	35.2%	37.5%	23.9%	35.2%	0.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-180 移動支援の状況別_過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	980	346	374	286	316	317	325	230	18	0
	100.0%	35.3%	38.2%	29.2%	32.2%	32.3%	33.2%	23.5%	1.8%	0.0%
支援が必要	197	86	87	72	70	65	51	48	4	0
	100.0%	43.7%	44.2%	36.5%	35.5%	33.0%	25.9%	24.4%	2.0%	0.0%
一部支援が必要	281	95	131	104	100	99	80	51	4	0
	100.0%	33.8%	46.6%	37.0%	35.6%	35.2%	28.5%	18.1%	1.4%	0.0%
見守りが必要	164	55	50	45	50	58	49	39	2	0
	100.0%	33.5%	30.5%	27.4%	30.5%	35.4%	29.9%	23.8%	1.2%	0.0%
支援は不要	338	110	106	65	96	95	145	92	8	0
	100.0%	32.5%	31.4%	19.2%	28.4%	28.1%	42.9%	27.2%	2.4%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-181 外出の状況別_過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	980	346	374	286	316	317	325	230	18	0
	100.0%	35.3%	38.2%	29.2%	32.2%	32.3%	33.2%	23.5%	1.8%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	650	239	249	170	210	191	239	151	11	0
	100.0%	36.8%	38.3%	26.2%	32.3%	29.4%	36.8%	23.2%	1.7%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	287	96	107	104	91	112	77	62	5	0
	100.0%	33.4%	37.3%	36.2%	31.7%	39.0%	26.8%	21.6%	1.7%	0.0%
外出は困難	43	11	18	12	15	14	9	17	2	0
	100.0%	25.6%	41.9%	27.9%	34.9%	32.6%	20.9%	39.5%	4.7%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-182 意思の伝達状況別_過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	980	346	374	286	316	317	325	230	18	0
	100.0%	35.3%	38.2%	29.2%	32.2%	32.3%	33.2%	23.5%	1.8%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	638	236	228	177	191	196	242	157	14	0
	100.0%	37.0%	35.7%	27.7%	29.9%	30.7%	37.9%	24.6%	2.2%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	173	57	74	66	64	66	57	31	0	0
	100.0%	32.9%	42.8%	38.2%	37.0%	38.2%	32.9%	17.9%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	119	45	51	28	47	45	22	33	2	0
	100.0%	37.8%	42.9%	23.5%	39.5%	37.8%	18.5%	27.7%	1.7%	0.0%
意思の伝達は難しい	45	8	20	15	13	9	2	9	1	0
	100.0%	17.8%	44.4%	33.3%	28.9%	20.0%	4.4%	20.0%	2.2%	0.0%
その他の方法、状況	5	0	1	0	1	1	2	0	1	0
	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-183 環境への対応状況別_過去に経験したことのある生涯学習で取り組んだ内容

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	980	346	374	286	316	317	325	230	18	0
	100.0%	35.3%	38.2%	29.2%	32.2%	32.3%	33.2%	23.5%	1.8%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	463	167	171	133	143	128	157	104	8	0
	100.0%	36.1%	36.9%	28.7%	30.9%	27.6%	33.9%	22.5%	1.7%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	434	158	169	129	144	160	146	107	4	0
	100.0%	36.4%	38.9%	29.7%	33.2%	36.9%	33.6%	24.7%	0.9%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	78	21	34	22	28	29	21	19	4	0
	100.0%	26.9%	43.6%	28.2%	35.9%	37.2%	26.9%	24.4%	5.1%	0.0%
その他	5	0	0	2	1	0	1	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%

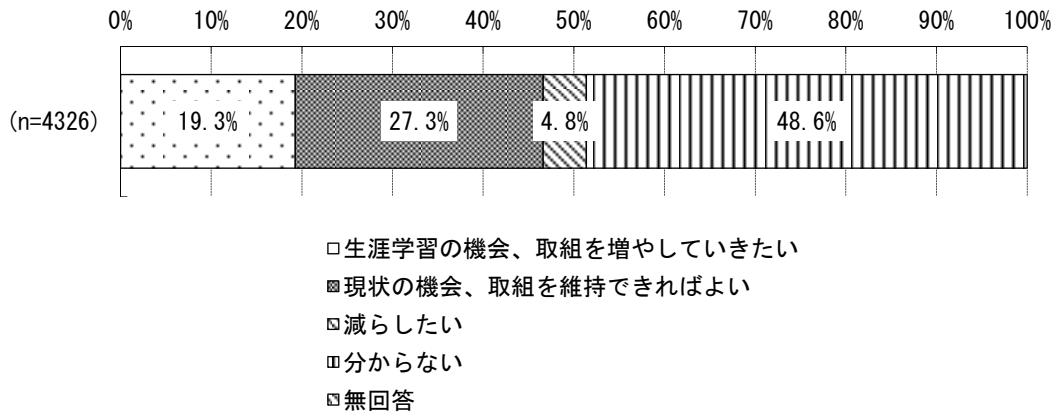
6. 今後の生涯学習のニーズ

(1) 今後の生涯学習のニーズ、取組内容

① 今後の生涯学習のニーズ

「分からない」の割合が最も高く 48.6%となっている。次いで、「現状の機会、取組を維持できればよい (27.3%)」、
「生涯学習の機会、取組を増やしていきたい (19.3%)」となっている。

図表 3-184 今後の生涯学習のニーズ (単数選択)



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-185 年齢区分別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	192	237	48	244	0
	100.0%	26.6%	32.9%	6.7%	33.8%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	157	218	35	311	0
	100.0%	21.8%	30.2%	4.9%	43.1%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	158	195	38	330	0
	100.0%	21.9%	27.0%	5.3%	45.8%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	136	170	30	385	0
	100.0%	18.9%	23.6%	4.2%	53.4%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	105	173	29	414	0
	100.0%	14.6%	24.0%	4.0%	57.4%	0.0%
60歳以上	721	86	189	26	420	0
	100.0%	11.9%	26.2%	3.6%	58.3%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-186 障害種別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	59	108	23	195	0
	100.0%	15.3%	28.1%	6.0%	50.6%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	62	102	12	246	0
	100.0%	14.7%	24.2%	2.8%	58.3%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	81	103	13	219	0
	100.0%	19.5%	24.8%	3.1%	52.6%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	72	124	41	318	0
	100.0%	13.0%	22.3%	7.4%	57.3%	0.0%
知的障害のみ	206	30	48	9	119	0
	100.0%	14.6%	23.3%	4.4%	57.8%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	111	143	30	339	0
	100.0%	17.8%	23.0%	4.8%	54.4%	0.0%
発達障害のみ	433	76	116	18	223	0
	100.0%	17.6%	26.8%	4.2%	51.5%	0.0%
身体障害+知的障害	158	26	53	5	74	0
	100.0%	16.5%	33.5%	3.2%	46.8%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	54	91	17	96	0
	100.0%	20.9%	35.3%	6.6%	37.2%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	162	167	26	98	0
	100.0%	35.8%	36.9%	5.7%	21.6%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	101	127	12	177	0
	100.0%	24.2%	30.5%	2.9%	42.4%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-187 移動支援の状況別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
支援が必要	601	160	159	22	260	0
	100.0%	26.6%	26.5%	3.7%	43.3%	0.0%
一部支援が必要	856	214	310	42	290	0
	100.0%	25.0%	36.2%	4.9%	33.9%	0.0%
見守りが必要	705	134	223	57	291	0
	100.0%	19.0%	31.6%	8.1%	41.3%	0.0%
支援は不要	2164	326	490	85	1263	0
	100.0%	15.1%	22.6%	3.9%	58.4%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-188 外出の状況別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	3034	594	759	113	1568	0
	100.0%	19.6%	25.0%	3.7%	51.7%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	1034	215	372	67	380	0
	100.0%	20.8%	36.0%	6.5%	36.8%	0.0%
外出は困難	258	25	51	26	156	0
	100.0%	9.7%	19.8%	10.1%	60.5%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-189 意思の伝達状況別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	3297	624	828	110	1735	0
	100.0%	18.9%	25.1%	3.3%	52.6%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	362	92	164	24	82	0
	100.0%	25.4%	45.3%	6.6%	22.7%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	416	89	140	38	149	0
	100.0%	21.4%	33.7%	9.1%	35.8%	0.0%
意思の伝達は難しい	229	26	47	32	124	0
	100.0%	11.4%	20.5%	14.0%	54.1%	0.0%
その他の方法、状況	22	3	3	2	14	0
	100.0%	13.6%	13.6%	9.1%	63.6%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-190 環境への対応状況別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	2185	384	512	86	1203	0
	100.0%	17.6%	23.4%	3.9%	55.1%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1686	379	552	90	665	0
	100.0%	22.5%	32.7%	5.3%	39.4%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	437	69	116	30	222	0
	100.0%	15.8%	26.5%	6.9%	50.8%	0.0%
その他	18	2	2	0	14	0
	100.0%	11.1%	11.1%	0.0%	77.8%	0.0%

(クロス集計_現在の生涯学習の取組の有無別)

図表 3-191 現在の生涯学習の取組の有無別_今後の生涯学習のニーズ

	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
現在、生涯学習に取り組んでいる	896	366	410	40	80	0
	100.0%	40.8%	45.8%	4.5%	8.9%	0.0%
現在、取り組んでいない	3430	468	772	166	2024	0
	100.0%	13.6%	22.5%	4.8%	59.0%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-192 相談できる人、機関の有無別_今後の生涯学習のニーズ

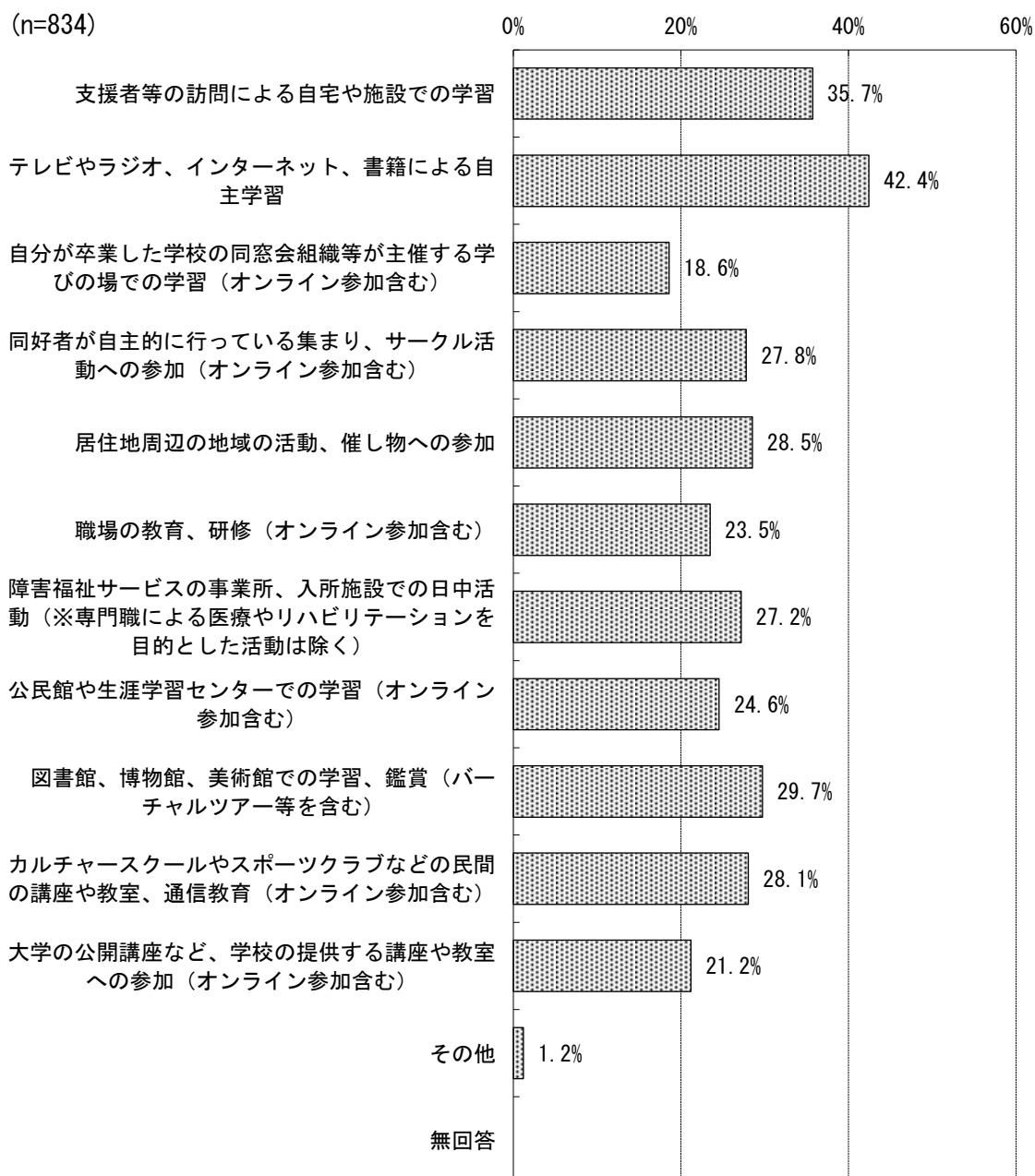
	合計	生涯学習の機会、取組を増やしていきたい	現状の機会、取組を維持できればよい	減らしたい	分からない	無回答
Total	4326	834	1182	206	2104	0
	100.0%	19.3%	27.3%	4.8%	48.6%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はある	1836	477	609	61	689	0
	100.0%	26.0%	33.2%	3.3%	37.5%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はない	2490	357	573	145	1415	0
	100.0%	14.3%	23.0%	5.8%	56.8%	0.0%

【生涯学習の機会、取組を増やしていきたい場合】

② どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

「テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習」の割合が最も高く 42.4%となっている。次いで、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習（35.7%）」、「図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞（バーチャルツアー等を含む）（29.7%）」となっている。

図表 3-193 どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-194 年齢区分別_どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)		
Total	834	298	354	155	232	238	196		
	100.0%	35.7%	42.4%	18.6%	27.8%	28.5%	23.5%		
18歳以上20歳未満	192	91	67	63	64	64	54		
	100.0%	47.4%	34.9%	32.8%	33.3%	33.3%	28.1%		
20歳以上30歳未満	157	47	52	27	42	42	34		
	100.0%	29.9%	33.1%	17.2%	26.8%	26.8%	21.7%		
30歳以上40歳未満	158	49	75	29	47	40	37		
	100.0%	31.0%	47.5%	18.4%	29.7%	25.3%	23.4%		
40歳以上50歳未満	136	45	71	18	36	33	32		
	100.0%	33.1%	52.2%	13.2%	26.5%	24.3%	23.5%		
50歳以上60歳未満	105	33	52	10	20	27	24		
	100.0%	31.4%	49.5%	9.5%	19.0%	25.7%	22.9%		
60歳以上	86	33	37	8	23	32	15		
	100.0%	38.4%	43.0%	9.3%	26.7%	37.2%	17.4%		

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	834	227	205	248	234	177	10	0
	100.0%	27.2%	24.6%	29.7%	28.1%	21.2%	1.2%	0.0%
18歳以上20歳未満	192	66	40	52	52	40	1	0
	100.0%	34.4%	20.8%	27.1%	27.1%	20.8%	0.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	157	55	29	35	34	27	1	0
	100.0%	35.0%	18.5%	22.3%	21.7%	17.2%	0.6%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	41	27	51	41	26	2	0
	100.0%	25.9%	17.1%	32.3%	25.9%	16.5%	1.3%	0.0%
40歳以上50歳未満	136	30	48	48	48	35	2	0
	100.0%	22.1%	35.3%	35.3%	35.3%	25.7%	1.5%	0.0%
50歳以上60歳未満	105	18	29	34	34	23	4	0
	100.0%	17.1%	27.6%	32.4%	32.4%	21.9%	3.8%	0.0%
60歳以上	86	17	32	28	25	26	0	0
	100.0%	19.8%	37.2%	32.6%	29.1%	30.2%	0.0%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_障害種別)

図表 3-195 障害種別_どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的にしている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)	
Total	834	298	354	155	232	238	196	
	100.0%	35.7%	42.4%	18.6%	27.8%	28.5%	23.5%	
身体障害_視覚障害のみ	59	21	33	11	16	16	12	
	100.0%	35.6%	55.9%	18.6%	27.1%	27.1%	20.3%	
身体障害_聴覚障害のみ	62	14	26	10	15	19	15	
	100.0%	22.6%	41.9%	16.1%	24.2%	30.6%	24.2%	
身体障害_肢体不自由のみ	81	27	33	9	22	17	23	
	100.0%	33.3%	40.7%	11.1%	27.2%	21.0%	28.4%	
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	72	21	31	11	19	20	16	
	100.0%	29.2%	43.1%	15.3%	26.4%	27.8%	22.2%	
知的障害のみ	30	12	8	7	10	10	6	
	100.0%	40.0%	26.7%	23.3%	33.3%	33.3%	20.0%	
精神障害のみ、精神障害+発達障害	111	30	59	7	23	26	18	
	100.0%	27.0%	53.2%	6.3%	20.7%	23.4%	16.2%	
発達障害のみ	76	16	40	7	19	15	16	
	100.0%	21.1%	52.6%	9.2%	25.0%	19.7%	21.1%	
身体障害+知的障害	26	9	5	3	9	7	4	
	100.0%	34.6%	19.2%	11.5%	34.6%	26.9%	15.4%	
身体障害+精神障害(発達障害含む)	54	19	32	16	19	16	19	
	100.0%	35.2%	59.3%	29.6%	35.2%	29.6%	35.2%	
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	162	93	69	61	56	63	48	
	100.0%	57.4%	42.6%	37.7%	34.6%	38.9%	29.6%	
知的障害+精神障害(発達障害含む)	101	36	18	13	24	29	19	
	100.0%	35.6%	17.8%	12.9%	23.8%	28.7%	18.8%	

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	834	227	205	248	234	177	10	0
	100.0%	27.2%	24.6%	29.7%	28.1%	21.2%	1.2%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	59	9	11	15	16	14	0	0
	100.0%	15.3%	18.6%	25.4%	27.1%	23.7%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	62	8	20	21	18	14	1	0
	100.0%	12.9%	32.3%	33.9%	29.0%	22.6%	1.6%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	81	14	19	20	23	16	1	0
	100.0%	17.3%	23.5%	24.7%	28.4%	19.8%	1.2%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	72	12	24	23	25	25	1	0
	100.0%	16.7%	33.3%	31.9%	34.7%	34.7%	1.4%	0.0%
知的障害のみ	30	12	7	7	9	3	0	0
	100.0%	40.0%	23.3%	23.3%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	111	16	24	45	35	29	3	0
	100.0%	14.4%	21.6%	40.5%	31.5%	26.1%	2.7%	0.0%
発達障害のみ	76	10	17	21	21	22	0	0
	100.0%	13.2%	22.4%	27.6%	27.6%	28.9%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	26	16	5	5	6	4	0	0
	100.0%	61.5%	19.2%	19.2%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	54	13	18	26	19	19	1	0
	100.0%	24.1%	33.3%	48.1%	42.6%	35.2%	1.9%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	162	66	43	48	40	25	2	0
	100.0%	40.7%	26.5%	29.6%	24.7%	15.4%	1.2%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	101	51	17	17	18	6	1	0
	100.0%	50.5%	16.8%	16.8%	17.8%	5.9%	1.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-196 移動支援の状況別_どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	834	298	354	155	232	238	196
	100.0%	35.7%	42.4%	18.6%	27.8%	28.5%	23.5%
支援が必要	160	94	50	39	47	56	40
	100.0%	58.7%	31.3%	24.4%	29.4%	35.0%	25.0%
一部支援が必要	214	91	99	59	71	70	62
	100.0%	42.5%	46.3%	27.6%	33.2%	32.7%	29.0%
見守りが必要	134	46	52	27	41	37	32
	100.0%	34.3%	38.8%	20.1%	30.6%	27.6%	23.9%
支援は不要	326	67	153	30	73	75	62
	100.0%	20.6%	46.9%	9.2%	22.4%	23.0%	19.0%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	834	227	205	248	234	177	10	0
	100.0%	27.2%	24.6%	29.7%	28.1%	21.2%	1.2%	0.0%
支援が必要	160	69	38	31	33	24	2	0
	100.0%	43.1%	23.7%	19.4%	20.6%	15.0%	1.3%	0.0%
一部支援が必要	214	76	57	67	72	47	3	0
	100.0%	35.5%	26.6%	31.3%	33.6%	22.0%	1.4%	0.0%
見守りが必要	134	37	40	45	38	22	0	0
	100.0%	27.6%	29.9%	33.6%	28.4%	16.4%	0.0%	0.0%
支援は不要	326	45	70	105	91	84	5	0
	100.0%	13.8%	21.5%	32.2%	27.9%	25.8%	1.5%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-197 外出の状況別_どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)
Total	834	298	354	155	232	238	196
	100.0%	35.7%	42.4%	18.6%	27.8%	28.5%	23.5%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	594	185	256	97	153	165	140
	100.0%	31.1%	43.1%	16.3%	25.8%	27.8%	23.6%
一定の制限はあるが、外出は可能	215	98	87	52	72	66	46
	100.0%	45.6%	40.5%	24.2%	33.5%	30.7%	21.4%
外出は困難	25	15	11	6	7	7	10
	100.0%	60.0%	44.0%	24.0%	28.0%	28.0%	40.0%

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	834	227	205	248	234	177	10	0
	100.0%	27.2%	24.6%	29.7%	28.1%	21.2%	1.2%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	594	138	142	181	172	132	7	0
	100.0%	23.2%	23.9%	30.5%	29.0%	22.2%	1.2%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	215	75	56	59	53	39	2	0
	100.0%	34.9%	26.0%	27.4%	24.7%	18.1%	0.9%	0.0%
外出は困難	25	14	7	8	9	6	1	0
	100.0%	56.0%	28.0%	32.0%	36.0%	24.0%	4.0%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-198 意思の伝達状況別_どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的にやっている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)		
Total	834	298	354	155	232	238	196		
	100.0%	35.7%	42.4%	18.6%	27.8%	28.5%	23.5%		
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	624	203	269	94	169	163	148		
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	92	37	51	45	34	38	28		
	100.0%	40.2%	55.4%	48.9%	37.0%	41.3%	30.4%		
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	89	45	26	12	23	28	17		
	100.0%	50.6%	29.2%	13.5%	25.8%	31.5%	19.1%		
意思の伝達は難しい	26	12	7	3	5	7	2		
	100.0%	46.2%	26.9%	11.5%	19.2%	26.9%	7.7%		
その他の方法、状況	3	1	1	1	1	2	1		
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%		

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	834	227	205	248	234	177	10	0
	100.0%	27.2%	24.6%	29.7%	28.1%	21.2%	1.2%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	624	139	146	189	177	139	9	0
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	92	28	33	33	34	25	0	0
	100.0%	30.4%	35.9%	35.9%	37.0%	27.2%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	89	42	23	21	20	8	1	0
	100.0%	47.2%	25.8%	23.6%	22.5%	9.0%	1.1%	0.0%
意思の伝達は難しい	26	17	1	4	2	4	0	0
	100.0%	65.4%	3.8%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	3	1	2	1	1	1	0	0
	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-199 環境への対応状況別_どのような手段や場所での学習の機会を増やしたいか

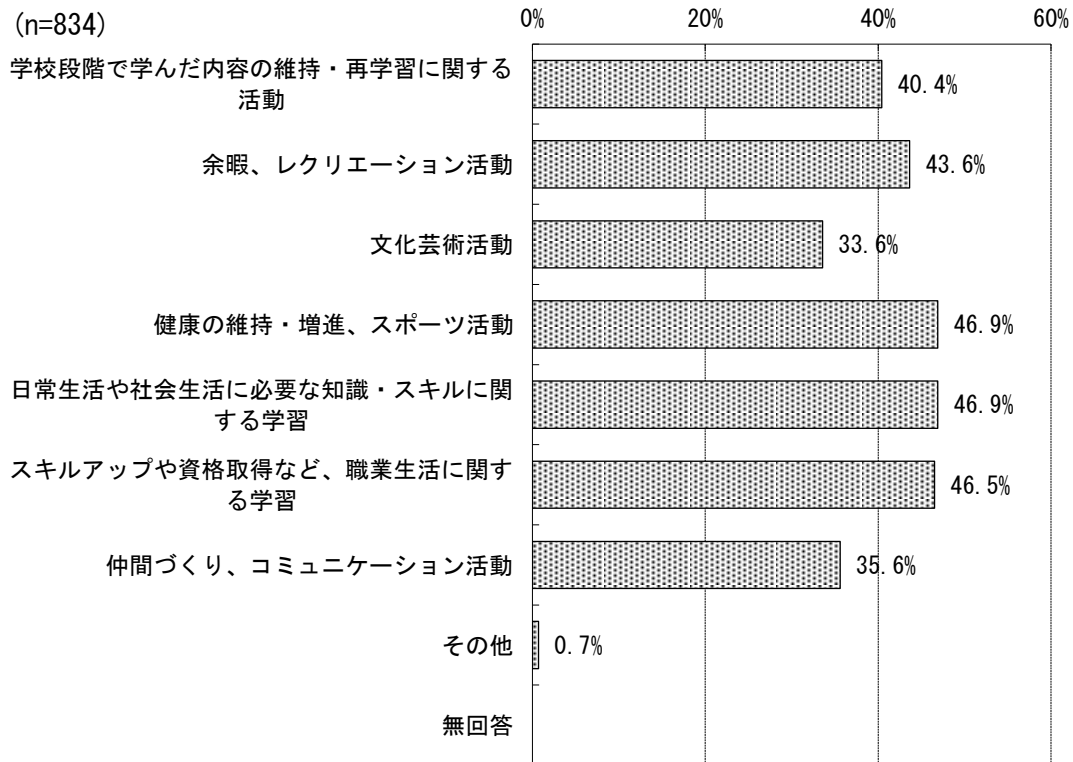
	合計	支援者等の訪問による自宅や施設での学習	テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習	自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む)	同好者が自主的にやっている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む)	居住地周辺の地域の活動、催し物への参加	職場の教育、研修(オンライン参加含む)		
Total	834	298	354	155	232	238	196		
	100.0%	35.7%	42.4%	18.6%	27.8%	28.5%	23.5%		
初めての場所や環境でも対応できる	384	145	174	76	105	96	97		
	100.0%	37.8%	45.3%	19.8%	27.3%	25.0%	25.3%		
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	379	121	156	69	110	118	75		
	100.0%	31.9%	41.2%	18.2%	29.0%	31.1%	19.8%		
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	69	31	23	9	16	22	22		
	100.0%	44.9%	33.3%	13.0%	23.2%	31.9%	31.9%		
その他	2	1	1	1	1	2	2		
	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%		

	合計	障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)	公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む)	図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)	カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む)	大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む)	その他	無回答
Total	834	227	205	248	234	177	10	0
	100.0%	27.2%	24.6%	29.7%	28.1%	21.2%	1.2%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	384	76	87	103	94	77	5	0
	100.0%	19.8%	22.7%	26.8%	24.5%	20.1%	1.3%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	379	121	99	124	118	87	1	0
	100.0%	31.9%	26.1%	32.7%	31.1%	23.0%	0.3%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	69	28	18	20	21	12	4	0
	100.0%	40.6%	26.1%	29.0%	30.4%	17.4%	5.8%	0.0%
その他	2	2	1	1	1	1	0	0
	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

③ どのような内容の学習を増やしたいか

「健康の維持・増進、スポーツ活動」、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」の割合が高く、それぞれ 46.9%となっている。次いで、「スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習（46.5%）」、「余暇、レクリエーション活動（43.6%）」となっている。

図表 3-200 どのような内容の学習を増やしたいか（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-201 年齢区分別_どのような内容の学習を増やしたいか

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	834	337	364	280	391	391	388	297	6	0
	100.0%	40.4%	43.6%	33.6%	46.9%	46.9%	46.5%	35.6%	0.7%	0.0%
18歳以上20歳未満	192	87	86	72	92	103	89	65	2	0
	100.0%	45.3%	44.8%	37.5%	47.9%	53.6%	46.4%	33.9%	1.0%	0.0%
20歳以上30歳未満	157	66	67	42	72	68	69	53	1	0
	100.0%	42.0%	42.7%	26.8%	45.9%	43.3%	43.9%	33.8%	0.6%	0.0%
30歳以上40歳未満	158	66	74	58	64	72	79	47	1	0
	100.0%	41.8%	46.8%	36.7%	40.5%	45.6%	50.0%	29.7%	0.6%	0.0%
40歳以上50歳未満	136	52	54	41	63	70	80	61	0	0
	100.0%	38.2%	39.7%	30.1%	46.3%	51.5%	58.8%	44.9%	0.0%	0.0%
50歳以上60歳未満	105	41	40	35	50	45	46	38	2	0
	100.0%	39.0%	38.1%	33.3%	47.6%	42.9%	43.8%	36.2%	1.9%	0.0%
60歳以上	86	25	43	32	50	33	25	33	0	0
	100.0%	29.1%	50.0%	37.2%	58.1%	38.4%	29.1%	38.4%	0.0%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_障害種別)

図表 3-202 障害種別_どのような内容の学習を増やしたいか

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	834	337	364	280	391	391	388	297	6	0
	100.0%	40.4%	43.6%	33.6%	46.9%	46.9%	46.5%	35.6%	0.7%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	59	27	26	19	28	23	29	18	0	0
	100.0%	45.8%	44.1%	32.2%	47.5%	39.0%	49.2%	30.5%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	62	18	30	21	26	26	27	23	0	0
	100.0%	29.0%	48.4%	33.9%	41.9%	41.9%	43.5%	37.1%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	81	32	26	21	32	28	34	21	0	0
	100.0%	39.5%	32.1%	25.9%	39.5%	34.6%	42.0%	25.9%	0.0%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	72	26	28	26	34	30	36	31	1	0
	100.0%	36.1%	38.9%	36.1%	47.2%	41.7%	50.0%	43.1%	1.4%	0.0%
知的障害のみ	30	12	17	9	19	20	11	16	0	0
	100.0%	40.0%	56.7%	30.0%	63.3%	66.7%	36.7%	53.3%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	111	38	37	42	57	54	69	44	2	0
	100.0%	34.2%	33.3%	37.8%	51.4%	48.6%	62.2%	39.6%	1.8%	0.0%
発達障害のみ	76	28	30	14	24	31	41	28	0	0
	100.0%	36.8%	39.5%	18.4%	31.6%	40.8%	53.9%	36.8%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	26	6	12	6	8	14	7	9	0	0
	100.0%	23.1%	46.2%	23.1%	30.8%	53.8%	26.9%	34.6%	0.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	54	26	30	21	31	29	37	22	0	0
	100.0%	48.1%	55.6%	38.9%	57.4%	53.7%	68.5%	40.7%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	162	97	76	79	79	81	61	51	2	0
	100.0%	59.9%	46.9%	48.8%	48.8%	50.0%	37.7%	31.5%	1.2%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	101	27	52	22	53	55	36	34	1	0
	100.0%	26.7%	51.5%	21.8%	52.5%	54.5%	35.6%	33.7%	1.0%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-203 移動支援の状況別_どのような内容の学習を増やしたいか

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	834	337	364	280	391	391	388	297	6	0
	100.0%	40.4%	43.6%	33.6%	46.9%	46.9%	46.5%	35.6%	0.7%	0.0%
支援が必要	160	77	93	60	71	73	50	49	1	0
	100.0%	48.1%	58.1%	37.5%	44.4%	45.6%	31.3%	30.6%	0.6%	0.0%
一部支援が必要	214	92	102	96	121	113	99	79	1	0
	100.0%	43.0%	47.7%	44.9%	56.5%	52.8%	46.3%	36.9%	0.5%	0.0%
見守りが必要	134	58	53	40	67	70	68	59	0	0
	100.0%	43.3%	39.6%	29.9%	50.0%	52.2%	50.7%	44.0%	0.0%	0.0%
支援は不要	326	110	116	84	132	135	171	110	4	0
	100.0%	33.7%	35.6%	25.8%	40.5%	41.4%	52.5%	33.7%	1.2%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-204 外出の状況別_どのような内容の学習を増やしたいか

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	834	337	364	280	391	391	388	297	6	0
	100.0%	40.4%	43.6%	33.6%	46.9%	46.9%	46.5%	35.6%	0.7%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	594	238	242	185	262	270	286	204	4	0
	100.0%	40.1%	40.7%	31.1%	44.1%	45.5%	48.1%	34.3%	0.7%	0.0%
一定の制限はあるが、外出が可能	215	91	107	85	113	106	91	82	1	0
	100.0%	42.3%	49.8%	39.5%	52.6%	49.3%	42.3%	38.1%	0.5%	0.0%
外出は困難	25	8	15	10	16	15	11	11	1	0
	100.0%	32.0%	60.0%	40.0%	64.0%	60.0%	44.0%	44.0%	4.0%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-205 意思の伝達状況別_どのような内容の学習を増やしたいか

	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	834	337	364	280	391	391	388	297	6	0
	100.0%	40.4%	43.6%	33.6%	46.9%	46.9%	46.5%	35.6%	0.7%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	624	255	252	190	284	286	314	222	5	0
	100.0%	40.9%	40.4%	30.4%	45.5%	45.8%	50.3%	35.6%	0.8%	0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	92	38	45	41	48	47	43	29	0	0
	100.0%	41.3%	48.9%	44.6%	52.2%	51.1%	46.7%	31.5%	0.0%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	89	35	47	36	42	46	27	35	1	0
	100.0%	39.3%	52.8%	40.4%	47.2%	51.7%	30.3%	39.3%	1.1%	0.0%
意思の伝達は難しい	26	7	19	12	15	11	2	9	0	0
	100.0%	26.9%	73.1%	46.2%	57.7%	42.3%	7.7%	34.6%	0.0%	0.0%
その他の方法、状況	3	2	1	1	2	1	2	2	0	0
	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-206 環境への対応状況別_どのような内容の学習を増やしたいか

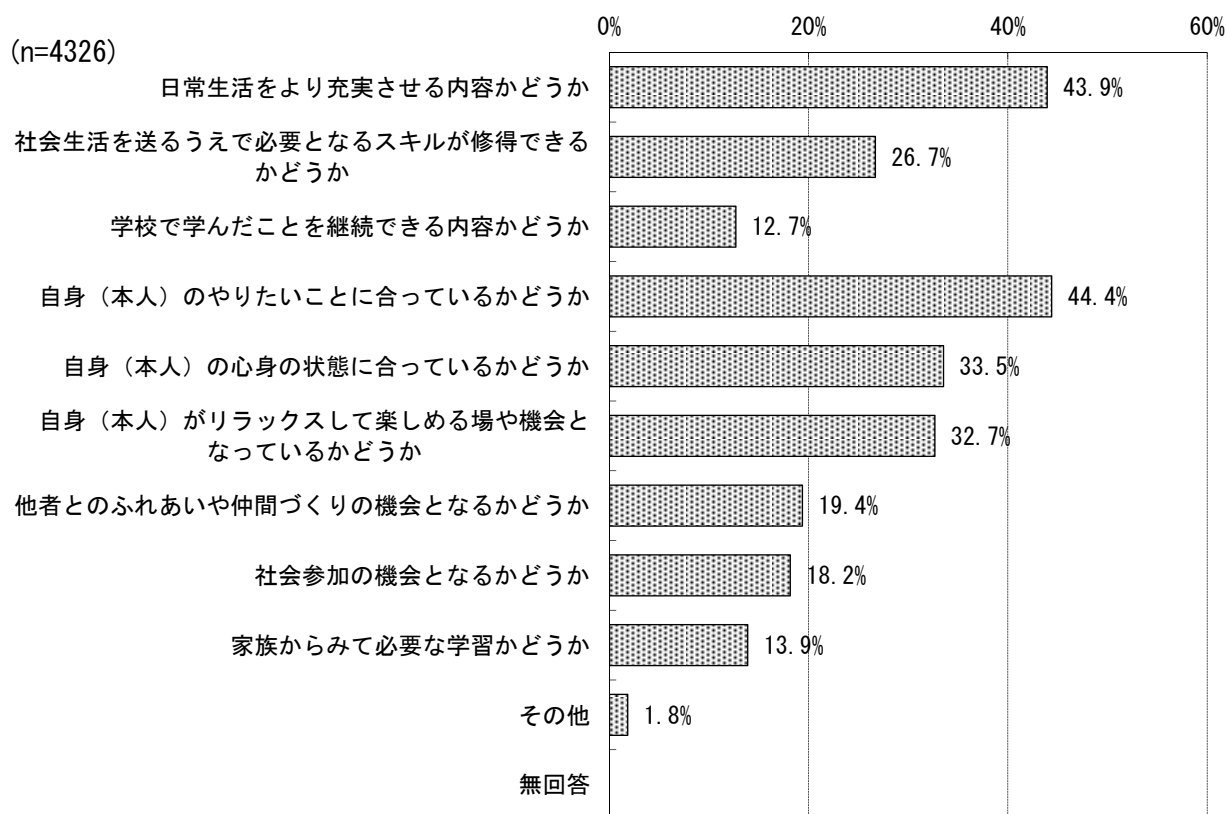
	合計	学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動	余暇、レクリエーション活動	文化芸術活動	健康の維持・増進、スポーツ活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習	仲間づくり、コミュニケーション活動	その他	無回答
Total	834	337	364	280	391	391	388	297	6	0
	100.0%	40.4%	43.6%	33.6%	46.9%	46.9%	46.5%	35.6%	0.7%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	384	165	145	125	154	159	178	107	3	0
	100.0%	43.0%	37.8%	32.6%	40.1%	41.4%	46.4%	27.9%	0.8%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	379	151	185	121	197	196	180	156	1	0
	100.0%	39.8%	48.8%	31.9%	52.0%	51.7%	47.5%	41.2%	0.3%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	69	20	33	34	39	35	29	32	2	0
	100.0%	29.0%	47.8%	49.3%	56.5%	50.7%	42.0%	46.4%	2.9%	0.0%
その他	2	1	1	0	1	1	1	2	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%

(2) 生涯学習において重要視すること、取組における課題

① 生涯学習に取り組む際に重要視すること

「自身（本人）のやりたいことに合っているかどうか」の割合が最も高く44.4%となっている。次いで、「日常生活をより充実させる内容かどうか（43.9%）」、「自身（本人）の心身の状態に合っているかどうか（33.5%）」となっている。

図表 3-207 生涯学習に取り組む際に重要視すること（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-208 年齢区分別_生涯学習に取り組む際に重要視すること

	合計	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか	自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか		
Total	4326	1901	1155	549	1921	1451		
	100.0%	43.9%	26.7%	12.7%	44.4%	33.5%		
18歳以上20歳未満	721	284	249	157	337	256		
	100.0%	39.4%	34.5%	21.8%	46.7%	35.5%		
20歳以上30歳未満	721	309	221	111	321	248		
	100.0%	42.9%	30.7%	15.4%	44.5%	34.4%		
30歳以上40歳未満	721	335	209	100	338	265		
	100.0%	46.5%	29.0%	13.9%	46.9%	36.8%		
40歳以上50歳未満	721	335	206	71	311	230		
	100.0%	46.5%	28.6%	9.8%	43.1%	31.9%		
50歳以上60歳未満	721	340	170	59	307	222		
	100.0%	47.2%	23.6%	8.2%	42.6%	30.8%		
60歳以上	721	298	100	51	307	230		
	100.0%	41.3%	13.9%	7.1%	42.6%	31.9%		

	合計	自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	家族からみて必要な学習かどうか	その他	無回答
Total	4326	1413	838	786	601	80	0
	100.0%	32.7%	19.4%	18.2%	13.9%	1.8%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	253	168	143	84	10	0
	100.0%	35.1%	23.3%	19.8%	11.7%	1.4%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	274	152	142	97	7	0
	100.0%	38.0%	21.1%	19.7%	13.5%	1.0%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	248	157	144	106	7	0
	100.0%	34.4%	21.8%	20.0%	14.7%	1.0%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	220	141	142	95	14	0
	100.0%	30.5%	19.6%	19.7%	13.2%	1.9%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	202	96	114	85	23	0
	100.0%	28.0%	13.3%	15.8%	11.8%	3.2%	0.0%
60歳以上	721	216	124	101	134	19	0
	100.0%	30.0%	17.2%	14.0%	18.6%	2.6%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-209 障害種別_生涯学習に取り組む際に重要視すること

	合計	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか	自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか
Total	4326	1901	1155	549	1921	1451
	100.0%	43.9%	26.7%	12.7%	44.4%	33.5%
身体障害_視覚障害のみ	385	194	78	43	147	80
	100.0%	50.4%	20.3%	11.2%	38.2%	20.8%
身体障害_聴覚障害のみ	422	163	89	39	184	98
	100.0%	38.6%	21.1%	9.2%	43.6%	23.2%
身体障害_肢体不自由のみ	416	191	95	35	187	125
	100.0%	45.9%	22.8%	8.4%	45.0%	30.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	222	89	57	187	119
	100.0%	40.0%	16.0%	10.3%	33.7%	21.4%
知的障害のみ	206	91	59	20	104	71
	100.0%	44.2%	28.6%	9.7%	50.5%	34.5%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	297	171	67	311	290
	100.0%	47.7%	27.4%	10.8%	49.9%	46.5%
発達障害のみ	433	195	122	49	192	142
	100.0%	45.0%	28.2%	11.3%	44.3%	32.8%
身体障害+知的障害	158	66	41	22	69	45
	100.0%	41.8%	25.9%	13.9%	43.7%	28.5%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	119	98	50	130	104
	100.0%	46.1%	38.0%	19.4%	50.4%	40.3%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	173	166	128	207	206
	100.0%	38.2%	36.6%	28.3%	45.7%	45.5%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	190	147	39	203	171
	100.0%	45.6%	35.3%	9.4%	48.7%	41.0%

	合計	自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	家族からみて必要な学習かどうか	その他	無回答
Total	4326	1413	838	786	601	80	0
	100.0%	32.7%	19.4%	18.2%	13.9%	1.8%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	94	57	46	44	4	0
	100.0%	24.4%	14.8%	11.9%	11.4%	1.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	93	70	62	52	11	0
	100.0%	22.0%	16.6%	14.7%	12.3%	2.6%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	100	76	72	46	19	0
	100.0%	24.0%	18.3%	17.3%	11.1%	4.6%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	124	75	73	86	12	0
	100.0%	22.3%	13.5%	13.2%	15.5%	2.2%	0.0%
知的障害のみ	206	92	49	42	42	4	0
	100.0%	44.7%	23.8%	20.4%	20.4%	1.9%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	247	109	127	64	9	0
	100.0%	39.6%	17.5%	20.4%	10.3%	1.4%	0.0%
発達障害のみ	433	144	83	89	60	7	0
	100.0%	33.3%	19.2%	20.6%	13.9%	1.6%	0.0%
身体障害+知的障害	158	65	35	25	30	3	0
	100.0%	41.1%	22.2%	15.8%	19.0%	1.9%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	100	63	57	32	3	0
	100.0%	38.8%	24.4%	22.1%	12.4%	1.2%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	193	115	90	74	6	0
	100.0%	42.6%	25.4%	19.9%	16.3%	1.3%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	161	106	103	71	2	0
	100.0%	38.6%	25.4%	24.7%	17.0%	0.5%	0.0%

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-210 移動支援の状況別_生涯学習に取り組む際に重要視すること

	合計	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか	自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか
Total	4326	1901	1155	549	1921	1451
	100.0%	43.9%	26.7%	12.7%	44.4%	33.5%
支援が必要	601	261	143	93	272	257
	100.0%	43.4%	23.8%	15.5%	45.3%	42.8%
一部支援が必要	856	369	291	157	424	328
	100.0%	43.1%	34.0%	18.3%	49.5%	38.3%
見守りが必要	705	297	209	104	323	264
	100.0%	42.1%	29.6%	14.8%	45.8%	37.4%
支援は不要	2164	974	512	195	902	602
	100.0%	45.0%	23.7%	9.0%	41.7%	27.8%

	合計	自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	家族からみて必要な学習かどうか	その他	無回答
Total	4326	1413	838	786	601	80	0
	100.0%	32.7%	19.4%	18.2%	13.9%	1.8%	0.0%
支援が必要	601	254	158	128	106	11	0
	100.0%	42.3%	26.3%	21.3%	17.6%	1.8%	0.0%
一部支援が必要	856	320	206	165	106	10	0
	100.0%	37.4%	24.1%	19.3%	12.4%	1.2%	0.0%
見守りが必要	705	258	145	146	104	9	0
	100.0%	36.6%	20.6%	20.7%	14.8%	1.3%	0.0%
支援は不要	2164	581	329	347	285	50	0
	100.0%	26.8%	15.2%	16.0%	13.2%	2.3%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-211 外出の状況別_生涯学習に取り組む際に重要視すること

	合計	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか	自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか
Total	4326	1901	1155	549	1921	1451
	100.0%	43.9%	26.7%	12.7%	44.4%	33.5%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	3034	1410	817	354	1351	943
	100.0%	46.5%	26.9%	11.7%	44.5%	31.1%
一定の制限はあるが、外出は可能	1034	415	300	171	475	399
	100.0%	40.1%	29.0%	16.5%	45.9%	38.6%
外出は困難	258	76	38	24	95	109
	100.0%	29.5%	14.7%	9.3%	36.8%	42.2%

	合計	自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	家族からみて必要な学習かどうか	その他	無回答
Total	4326	1413	838	786	601	80	0
	100.0%	32.7%	19.4%	18.2%	13.9%	1.8%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	3034	932	555	534	406	64	0
	100.0%	30.7%	18.3%	17.6%	13.4%	2.1%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	1034	399	238	221	141	9	0
	100.0%	38.6%	23.0%	21.4%	13.6%	0.9%	0.0%
外出は困難	258	82	45	31	54	7	0
	100.0%	31.8%	17.4%	12.0%	20.9%	2.7%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-212 意思の伝達状況別_生涯学習に取り組む際に重要視すること

	合計	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか	自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか
Total	4326	1901	1155	549	1921	1451
	100.0%	43.9%	26.7%	12.7%	44.4%	33.5%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	3297	1548	866	339	1492	1069
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	362	127	133	96	159	126
	100.0%	35.1%	36.7%	26.5%	43.9%	34.8%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	416	163	121	88	200	187
	100.0%	39.2%	29.1%	21.2%	48.1%	45.0%
意思の伝達は難しい	229	55	31	24	62	65
	100.0%	24.0%	13.5%	10.5%	27.1%	28.4%
その他の方法、状況	22	8	4	2	8	4
	100.0%	36.4%	18.2%	9.1%	36.4%	18.2%

	合計	自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	家族からみて必要な学習かどうか	その他	無回答
Total	4326	1413	838	786	601	80	0
	100.0%	32.7%	19.4%	18.2%	13.9%	1.8%	0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	3297	1038	600	591	433	60	0
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	362	125	95	75	42	4	0
	100.0%	34.5%	26.2%	20.7%	11.6%	1.1%	0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	416	177	107	76	75	3	0
	100.0%	42.5%	25.7%	18.3%	18.0%	0.7%	0.0%
意思の伝達は難しい	229	68	34	40	50	7	0
	100.0%	29.7%	14.8%	17.5%	21.8%	3.1%	0.0%
その他の方法、状況	22	5	2	4	1	6	0
	100.0%	22.7%	9.1%	18.2%	4.5%	27.3%	0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-213 環境への対応状況別_生涯学習に取り組む際に重要視すること

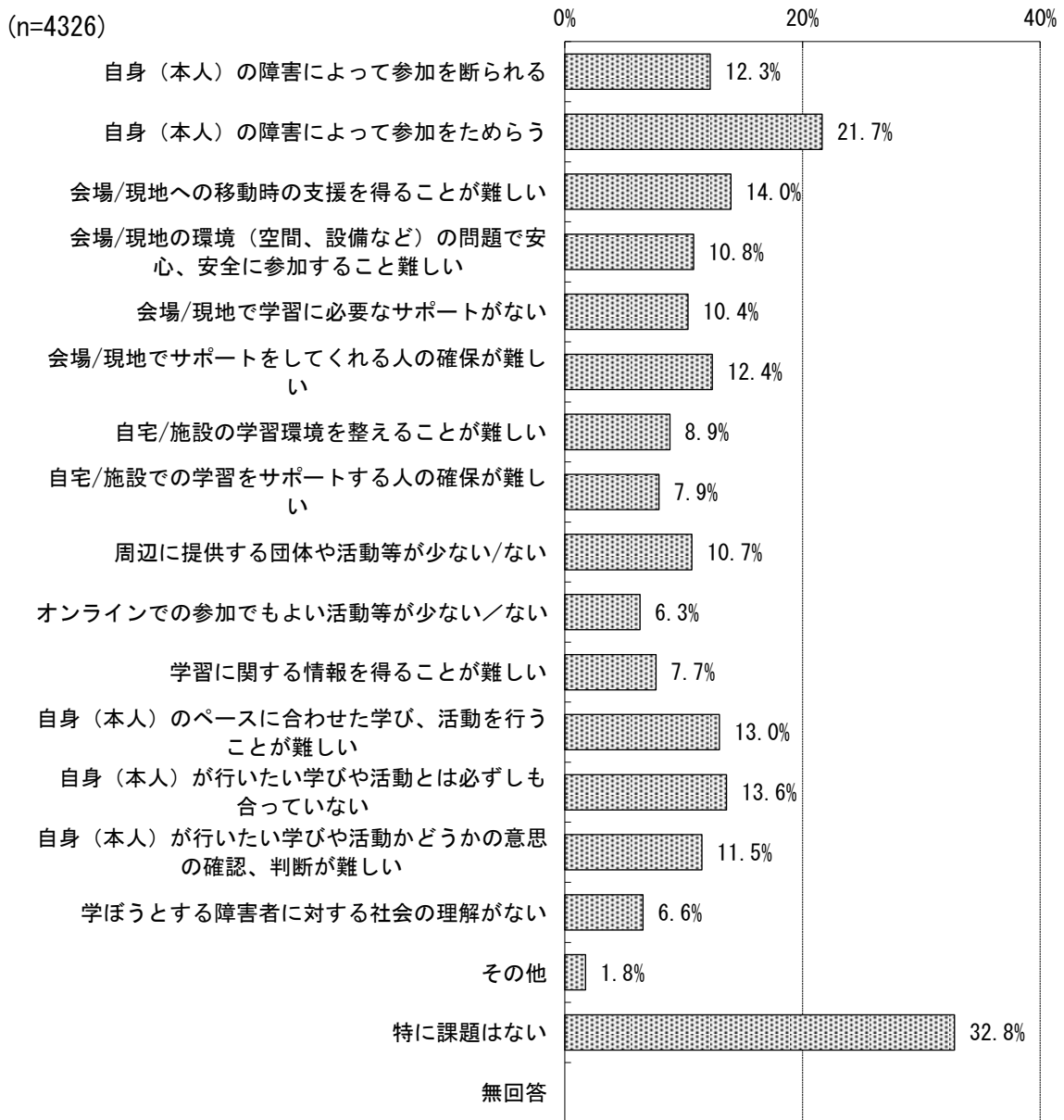
	合計	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか	自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか
Total	4326	1901	1155	549	1921	1451
	100.0%	43.9%	26.7%	12.7%	44.4%	33.5%
初めての場所や環境でも対応できる	2185	1008	476	250	878	557
	100.0%	46.1%	21.8%	11.4%	40.2%	25.5%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1686	716	566	254	851	698
	100.0%	42.5%	33.6%	15.1%	50.5%	41.4%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	437	174	109	44	186	191
	100.0%	39.8%	24.9%	10.1%	42.6%	43.7%
その他	18	3	4	1	6	5
	100.0%	16.7%	22.2%	5.6%	33.3%	27.8%

	合計	自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	家族からみて必要な学習かどうか	その他	無回答
Total	4326	1413	838	786	601	80	0
	100.0%	32.7%	19.4%	18.2%	13.9%	1.8%	0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	2185	529	341	315	288	54	0
	100.0%	24.2%	15.6%	14.4%	13.2%	2.5%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1686	698	408	379	233	11	0
	100.0%	41.4%	24.2%	22.5%	13.8%	0.7%	0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	437	180	88	89	78	8	0
	100.0%	41.2%	20.1%	20.4%	17.8%	1.8%	0.0%
その他	18	6	1	3	2	7	0
	100.0%	33.3%	5.6%	16.7%	11.1%	38.9%	0.0%

② 生涯学習に取り組む際の課題

「特に課題はない」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「自身（本人）の障害によって参加をためらう（21.7%）」、「会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい（14.0%）」となっている。

図表 3-214 生涯学習に取り組む際の課題（複数選択）



第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-215 年齢区分別_生涯学習に取り組む際の課題

	合計	自身(本人)の障害によって参加を断られる	自身(本人)の障害によって参加をためらう	会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場/現地の環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加することが難しい	会場/現地で学習に必要なサポートがない	会場/現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	自宅/施設の学習環境を整えることが難しい	自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい	周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない
Total	4326	530	937	605	469	449	537	383	343	463
	100.0%	12.3%	21.7%	14.0%	10.8%	10.4%	12.4%	8.9%	7.9%	10.7%
18歳以上20歳未満	721	112	175	134	132	119	121	86	75	87
	100.0%	15.5%	24.3%	18.6%	18.3%	16.5%	16.8%	11.9%	10.4%	12.1%
20歳以上30歳未満	721	94	165	98	102	74	110	67	56	85
	100.0%	13.0%	22.9%	13.6%	14.1%	10.3%	15.3%	9.3%	7.8%	11.8%
30歳以上40歳未満	721	101	157	104	83	72	101	68	65	75
	100.0%	14.0%	21.8%	14.4%	11.5%	10.0%	14.0%	9.4%	9.0%	10.4%
40歳以上50歳未満	721	70	160	101	67	73	78	53	59	82
	100.0%	9.7%	22.2%	14.0%	9.3%	10.1%	10.8%	7.4%	8.2%	11.4%
50歳以上60歳未満	721	80	136	85	42	56	57	49	37	65
	100.0%	11.1%	18.9%	11.8%	5.8%	7.8%	7.9%	6.8%	5.1%	9.0%
60歳以上	721	73	144	83	43	55	70	60	51	69
	100.0%	10.1%	20.0%	11.5%	6.0%	7.6%	9.7%	8.3%	7.1%	9.6%

	合計	オンラインでの参加でもよい活動等が少ない/ない	学習に関する情報を得ることが難しい	自身(本人)のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身(本人)が行いたい学びや活動とは必ずしも合っていない	自身(本人)が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない(学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない/など)	その他	特に課題はない	無回答
Total	4326	274	332	563	589	499	285	76	1419	0
	100.0%	6.3%	7.7%	13.0%	13.6%	11.5%	6.6%	1.8%	32.8%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	58	67	96	106	94	56	4	165	0
	100.0%	8.0%	9.3%	13.3%	14.7%	13.0%	7.8%	0.6%	22.9%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	45	51	108	97	93	59	4	212	0
	100.0%	6.2%	7.1%	15.0%	13.5%	12.9%	8.2%	0.6%	29.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	53	50	109	98	82	51	8	229	0
	100.0%	7.4%	6.9%	15.1%	13.6%	11.4%	7.1%	1.1%	31.8%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	49	62	80	95	61	45	15	266	0
	100.0%	6.8%	8.6%	11.1%	13.2%	8.5%	6.2%	2.1%	36.9%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	34	53	80	89	68	42	28	295	0
	100.0%	4.7%	7.4%	11.1%	12.3%	9.4%	5.8%	3.9%	40.9%	0.0%
60歳以上	721	35	49	90	104	101	32	17	252	0
	100.0%	4.9%	6.8%	12.5%	14.4%	14.0%	4.4%	2.4%	35.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-216 障害種別_生涯学習に取り組む際の課題

	合計	自身(本人)の障害によって参加を断られる	自身(本人)の障害によって参加をためらう	会場/現地への移動時の支援が得ることが難しい	会場/現地の環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加することが難しい	会場/現地で学習に必要なサポートがない	会場/現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	自宅/施設の学習環境を整えることが難しい	自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい	周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない
Total	4326	530	937	605	469	449	537	383	343	463
身体障害_視覚障害のみ	385	46	63	51	31	39	47	19	24	30
身体障害_聴覚障害のみ	422	37	67	27	26	40	41	23	21	33
身体障害_肢体不自由のみ	416	50	87	72	45	26	43	29	20	27
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	41	78	55	41	38	34	36	26	33
知的障害のみ	206	30	30	30	14	24	20	18	18	28
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	47	150	51	41	27	48	60	28	64
発達障害のみ	433	43	91	26	28	34	30	23	16	44
身体障害+知的障害	158	19	37	30	30	23	34	17	15	18
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	44	84	54	59	40	46	39	31	39
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	119	150	151	120	104	127	78	95	78
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	54	100	58	34	54	67	41	49	69
合計	4326	274	332	563	589	499	285	76	1419	0
身体障害_視覚障害のみ	385	14	32	25	32	19	15	5	157	0
身体障害_聴覚障害のみ	422	17	20	26	45	21	15	8	196	0
身体障害_肢体不自由のみ	416	25	21	30	40	27	21	9	174	0
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	31	29	40	51	39	24	7	251	0
知的障害のみ	206	4	19	32	37	36	7	4	59	0
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	49	52	113	99	57	50	12	230	0
発達障害のみ	433	26	35	56	61	49	25	5	156	0
身体障害+知的障害	158	9	15	18	17	24	13	5	33	0
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	34	30	51	48	40	35	7	44	0
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	53	43	88	78	91	52	8	36	0
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	12	36	34	81	96	28	6	84	0
合計	4326	274	332	563	589	499	285	76	1419	0
身体障害_視覚障害のみ	385	14	32	25	32	19	15	5	157	0
身体障害_聴覚障害のみ	422	17	20	26	45	21	15	8	196	0
身体障害_肢体不自由のみ	416	25	21	30	40	27	21	9	174	0
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	31	29	40	51	39	24	7	251	0
知的障害のみ	206	4	19	32	37	36	7	4	59	0
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	49	52	113	99	57	50	12	230	0
発達障害のみ	433	26	35	56	61	49	25	5	156	0
身体障害+知的障害	158	9	15	18	17	24	13	5	33	0
身体障害+精神障害(発達障害含む)	258	34	30	51	48	40	35	7	44	0
身体障害+知的障害+精神障害(発達障害含む)	453	53	43	88	78	91	52	8	36	0
知的障害+精神障害(発達障害含む)	417	12	36	34	81	96	28	6	84	0

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_移動支援の状況別)

図表 3-217 移動支援の状況別_生涯学習に取り組む際の課題

合計	自身(本人)の障害によって参加を断られる	自身(本人)の障害によって参加をためらう	会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場/現地の環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加すること難しい	会場/現地で学習に必要なサポートがない	会場/現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	会場/現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	自宅/施設の学習環境を整えることが難しい	自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい	周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない
Total	4326	530	937	605	469	449	537	383	343	463
	100.0%	12.3%	21.7%	14.0%	10.8%	10.4%	12.4%	8.9%	7.9%	10.7%
支援が必要	601	127	166	166	110	108	140	91	90	85
	100.0%	21.1%	27.6%	27.6%	18.3%	18.0%	23.3%	15.1%	15.0%	14.1%
一部支援が必要	856	139	254	202	159	144	174	97	96	129
	100.0%	16.2%	29.7%	23.6%	18.6%	16.8%	20.3%	11.3%	11.2%	15.1%
見守りが必要	705	83	172	106	86	87	102	59	72	80
	100.0%	11.8%	24.4%	15.0%	12.2%	12.3%	14.5%	8.4%	10.2%	11.3%
支援は不要	2164	181	345	131	114	110	121	136	85	169
	100.0%	8.4%	15.9%	6.1%	5.3%	5.1%	5.6%	6.3%	3.9%	7.8%

合計	オンラインでの参加でもよい活動等が少ない/ない	学習に関する情報を得ることが難しい	自身(本人)のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身(本人)が行いたい学びや活動とは必ずしも合っていない	自身(本人)が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない(学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健康者と分け隔てなく学習できる環境へへの理解がない/など)	その他	特に課題はない	無回答	
Total	4326	274	332	563	589	499	285	76	1419	0
	100.0%	6.3%	7.7%	13.0%	13.6%	11.5%	6.6%	1.8%	32.8%	0.0%
支援が必要	601	47	53	96	84	127	54	16	98	0
	100.0%	7.8%	8.8%	16.0%	14.0%	21.1%	9.0%	2.7%	16.3%	0.0%
一部支援が必要	856	83	80	135	141	106	79	10	145	0
	100.0%	9.7%	9.3%	15.8%	16.5%	12.4%	9.2%	1.2%	16.9%	0.0%
見守りが必要	705	41	58	99	94	100	50	13	144	0
	100.0%	5.8%	8.2%	14.0%	13.3%	14.2%	7.1%	1.8%	20.4%	0.0%
支援は不要	2164	103	141	233	270	166	102	37	1032	0
	100.0%	4.8%	6.5%	10.8%	12.5%	7.7%	4.7%	1.7%	47.7%	0.0%

(クロス集計_外出の状況別)

図表 3-218 外出の状況別_生涯学習に取り組む際の課題

合計	自身(本人)の障害によって参加を断られる	自身(本人)の障害によって参加をためらう	会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場/現地の環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加すること難しい	会場/現地で学習に必要なサポートがない	会場/現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	自宅/施設の学習環境を整えることが難しい	自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい	周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない	
Total	4326	530	937	605	469	449	537	383	343	463
	100.0%	12.3%	21.7%	14.0%	10.8%	10.4%	12.4%	8.9%	7.9%	10.7%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	3034	344	588	311	239	271	292	229	181	299
	100.0%	11.3%	19.4%	10.3%	7.9%	8.9%	9.6%	7.5%	6.0%	9.9%
一定の制限はあるが、外出は可能	1034	153	292	237	198	151	198	128	122	146
	100.0%	14.8%	28.2%	22.9%	19.1%	14.6%	19.1%	12.4%	11.8%	14.1%
外出は困難	258	33	57	57	32	27	47	26	40	18
	100.0%	12.8%	22.1%	22.1%	12.4%	10.5%	18.2%	10.1%	15.5%	7.0%

合計	オンラインでの参加でもよい活動等が少ない/ない	学習に関する情報を得ることが難しい	自身(本人)のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身(本人)が行いたい学びや活動とは必ずしも合っていない	自身(本人)が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない(学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健康者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない/など)	その他	特に課題はない	無回答	
Total	4326	274	332	563	589	499	285	76	1419	0
	100.0%	6.3%	7.7%	13.0%	13.6%	11.5%	6.6%	1.8%	32.8%	0.0%
特に制限なく外出が可能(支援の有無によらず)	3034	180	229	357	388	284	176	55	1207	0
	100.0%	5.9%	7.5%	11.8%	12.8%	9.4%	5.8%	1.8%	39.8%	0.0%
一定の制限はあるが、外出は可能	1034	81	86	171	168	154	97	12	167	0
	100.0%	7.8%	8.3%	16.5%	16.2%	14.9%	9.4%	1.2%	16.2%	0.0%
外出は困難	258	13	17	35	33	61	12	9	45	0
	100.0%	5.0%	6.6%	13.6%	12.8%	23.6%	4.7%	3.5%	17.4%	0.0%

(クロス集計_意思の伝達状況別)

図表 3-219 意思の伝達状況別_生涯学習に取り組む際の課題

合計	自身(本人)の障害によって参加を断られる	自身(本人)の障害によって参加をためらう	会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場/現地での環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加すること難しい	会場/現地での学習に必要なサポートがない	会場/現地でのサポートをしてくれる人の確保が難しい	自宅/施設の学習環境を整えることが難しい	自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい	周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない	
Total	4326 100.0%	530 12.3%	937 21.7%	605 14.0%	469 10.8%	449 10.4%	537 12.4%	383 8.9%	343 7.9%	463 10.7%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	3297 100.0%	358 10.9%	667 20.2%	381 11.6%	265 8.0%	266 8.1%	323 9.8%	251 7.6%	185 5.6%	327 9.9%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	362 100.0%	71 19.6%	108 29.8%	95 26.2%	88 24.3%	76 21.0%	78 21.5%	46 12.7%	59 16.3%	47 13.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	416 100.0%	68 16.3%	112 26.9%	97 23.3%	80 19.2%	80 19.2%	104 25.0%	55 13.2%	75 18.0%	68 16.3%
意思の伝達は難しい	229 100.0%	31 13.5%	46 20.1%	31 13.5%	36 15.7%	25 10.9%	30 13.1%	29 12.7%	23 10.0%	17 7.4%
その他の方法、状況	22 100.0%	2 9.1%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	1 4.5%	4 18.2%

合計	オンラインでの参加でもよい活動等が少ない/ない	学習に関する情報を得ることが難しい	自身(本人)のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身(本人)が行いたい学びや活動とは必ずしも合っていない	自身(本人)が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない(学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない/など)	その他	特に課題はない	無回答	
Total	4326 100.0%	274 6.3%	332 7.7%	563 13.0%	589 13.6%	499 11.5%	285 6.6%	76 1.8%	1419 32.8%	0 0.0%
特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能	3297 100.0%	195 5.9%	246 7.5%	416 12.6%	447 13.6%	308 9.3%	191 5.8%	60 1.8%	1278 38.8%	0 0.0%
機器等の支援があれば自身で伝達が可能	362 100.0%	41 11.3%	34 9.4%	42 11.6%	53 14.6%	37 10.2%	35 9.7%	2 0.6%	44 12.2%	0 0.0%
家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能	416 100.0%	26 6.3%	38 9.1%	80 19.2%	68 16.3%	100 24.0%	47 11.3%	6 1.4%	42 10.1%	0 0.0%
意思の伝達は難しい	229 100.0%	12 5.2%	11 4.8%	23 10.0%	18 7.9%	52 22.7%	11 4.8%	3 1.3%	48 21.0%	0 0.0%
その他の方法、状況	22 100.0%	0 0.0%	3 13.6%	2 9.1%	3 13.6%	2 9.1%	1 4.5%	5 22.7%	7 31.8%	0 0.0%

(クロス集計_環境への対応状況別)

図表 3-220 環境への対応状況別_生涯学習に取り組む際の課題

合計	自身(本人)の障害によって参加を断られる	自身(本人)の障害によって参加をためらう	会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場/現地での環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加すること難しい	会場/現地での学習に必要なサポートがない	会場/現地でのサポートをしてくれる人の確保が難しい	自宅/施設の学習環境を整えることが難しい	自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい	周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない	
Total	4326 100.0%	530 12.3%	937 21.7%	605 14.0%	469 10.8%	449 10.4%	537 12.4%	383 8.9%	343 7.9%	463 10.7%
初めての場所や環境でも対応できる	2185 100.0%	239 10.9%	315 14.4%	258 11.8%	182 8.3%	169 7.7%	189 8.6%	145 6.6%	126 5.8%	169 7.7%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1686 100.0%	216 12.8%	485 28.8%	256 15.2%	225 13.3%	218 12.9%	275 16.3%	182 10.8%	161 9.5%	237 14.1%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	437 100.0%	74 16.9%	134 30.7%	89 20.4%	61 14.0%	61 14.0%	73 16.7%	56 12.8%	56 12.8%	56 12.8%
その他	18 100.0%	1 5.6%	3 16.7%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%

合計	オンラインでの参加でもよい活動等が少ない/ない	学習に関する情報を得ることが難しい	自身(本人)のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身(本人)が行いたい学びや活動とは必ずしも合っていない	自身(本人)が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない(学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない/など)	その他	特に課題はない	無回答	
Total	4326 100.0%	274 6.3%	332 7.7%	563 13.0%	589 13.6%	499 11.5%	285 6.6%	76 1.8%	1419 32.8%	0 0.0%
初めての場所や環境でも対応できる	2185 100.0%	122 5.6%	151 6.9%	163 7.5%	207 9.5%	135 6.2%	109 5.0%	33 1.5%	1016 46.5%	0 0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある	1686 100.0%	119 7.1%	150 8.9%	303 18.0%	308 18.3%	260 15.4%	139 8.2%	24 1.4%	330 19.6%	0 0.0%
初めての場所や環境の場合、対応が難しい	437 100.0%	33 7.6%	29 6.6%	95 21.7%	73 16.7%	101 23.1%	37 8.5%	13 3.0%	66 15.1%	0 0.0%
その他	18 100.0%	0 0.0%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%	6 33.3%	7 38.9%	0 0.0%

(3) 生涯学習に取り組む上であるとよい支援や仕組み

生涯学習に取り組む上であるとよい支援や仕組みに関する主な意見は以下の通り。

① 自宅／施設での学習

図表 3-221 自宅／施設での学習（自由記述式）

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅／施設)
① 身体障害_視覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問して指導してくれる ・ 多彩なソフト・教材がオンラインで取得できる ・ 送迎や見守り、コミュニケーションをとる手助け ・ 自宅もしくは自宅から近いところがいい（視覚障害があり、駅や階段などが怖い） ・ 自宅オンラインでも、サポートする人が必要 ・ 視覚障害者でもわかりやすい教材 ・ 健常者も障害者も一緒に学べるプログラム ・ 音声読み上げサービスの充実 ・ パソコンの操作支援 ・ スマートフォンのサイトやアプリをもっと作って欲しい ・ オンラインでの学習環境を整えたり、点字での資料提供、画面の状況を説明したり、周りに写っているものの確認などをしてくれる。サポート役の人を主催者側にセッティングするなどの対応
② 身体障害_聴覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用機器の貸し出し ・ 必要な機器レンタルなど環境構築 ・ 訪問や近所の公的施設で実施してほしい ・ 情報提供サービス ・ 手話通訳や字幕付き ・ 手話や字幕の導入 ・ 字幕や手話通訳をつけ、誰でも参加できるようにしてほしい ・ 意思疎通に必要なサポート(筆談や自動書き起こしなど) ・ オンライン学習 ・ PCで字幕であるといい。通信教育
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人が施設まで送迎してもらえるサービスがあればいい ・ 送迎バスやタクシー、付き添いサポートがあると家族の負担が減って良い ・ 送り迎え ・ 人の手を借りなくても学べる環境 ・ 職員等への研修、施設のバリアフリー化等 ・ 手・足などが自由に動かせる器具の配慮

区分	「生涯学習に取り組む上でであるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅／施設)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅内の手摺設置の補助 ・ 自宅学習環境の整備 ・ 講師派遣 ・ 決められた時間ではなく好きな時にできる仕組み ・ 携帯のアプリや zoom でのオンライン講習などがあつたら家で学習に取り組めると思う ・ 学習環境整備費用や教材の補助の拡充や無償化 ・ オンライン対応、チャット機能
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解してくれる人がいる。分からない点は質問しやすい仕組み。経験不足で、基礎知識がない場合があるので ・ 送り迎え ・ 情報提供を促進して欲しい ・ 受容できるまでの過程の共有を他者で行う方法 ・ マンツーマン指導 ・ ボランティア支援 ・ コロナ対策として、支援者に協力してもらいオンラインでの実施 ・ コロナ禍はかなり人手不足なので正常な状態になったらしっかり人材育成してその人に支援して欲しい ・ オンラインやオフラインでも学習できる環境の構築 ・ バーチャルの大学 ・ 自宅での学習に先生がきてくれる、リモートで対応してくれる、など ・ 教材や、外国人教師とのビデオチャットやユーチューブなどの動画サイトやテレビやラジオの語学学習番組を使った学習 ・ WEB 形式による学習環境の整備 ・ VR を使った旅行体験
⑤ 知的障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の意思がわからないと難しい ・ 本人の意志がわからない ・ 本人のやる気を引き出す方法が知りたい／過去の困難から引きこもっている状態 ・ 訪問があれば ・ 入所先の施設が取り組まないなら、本人が取り組むのは不可能 ・ 知的障害者でも受けられる専門講師からの講義 ・ 青年期プログラムみたいな、活動ができる居場所的などが必要だと考える ・ 社会の理解、家族等のサポート者への教育機会 ・ 自分の希望する内容が時間や場所に制約されずに提供されること

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅/施設)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援者なしでも行いやすいオンライン学習の環境やシステム ・ もっと幅広い範囲で興味が少しでもある人に学びやすくしてほしい ・ pc 操作が難しいので、設定済みのタブレット等の貸与によるリモートイベント
⑥ 精神障害のみ、精神障害 + 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の希望にそった事項の提供 ・ 本人の意思を尊重しすぎず(支援等を拒否するのが病気によるところがあるため)、積極的(多少強引でもいいから)に介入してほしい ・ 本人が興味を持てるような学習内容の取捨選択ができる場 ・ 発達障害専用のきめ細かい学習サポートサービスがあるとありがたい ・ 発達障害の人間が使いやすいように作られたアプリやソフトがたくさん開発されてほしい ・ 送迎 ・ 障害者の日頃の生活の悩みを気軽に相談できる支援員も一緒に生涯学習に参加できるような仕組みがあっても良い ・ 自分の性格に合わせてくれる支援が欲しい ・ 自分のペースで取り組む事が出来るシステム ・ 公民館など行きやすい場所で開催される ・ 気力の低下を理解してくれる教員 ・ 学習キットなどがあり、本人のペースで出来るものがあればいいと思う ・ 自分に合った学習が何か教えてくれる場や自宅学習のやり方を教えてくれる人がいれば安心出来る ・ 何ができるのかが分かりやすくまとめられた一覧があると良いと思う ・ どのようなものがあるかの広報活動をしてほしい ・ 情報が欲しい ・ リマインドメール ・ ハード面で壁は高いと思う ・ スペース面で確保 ・ オンライン等の機器の充実 ・ オンラインで医師や専門家のカウンセリングを受けながら一般の人と関わる ・ オンラインでの生涯学習をする環境を整えることや、それを普及できたら良い ・ オンラインでいろいろな学習が無料でできるとよい
⑦ 発達障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎付き ・ 相談できる方法 ・ 障害者本人だけでなく、親や祖父母が子や孫の障害を受け入れら

区分	「生涯学習に取り組む上でであるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅/施設)
	<p>れるかどうかで、支援を受けるかどうか、支援を継続するかどうかが決まってくる部分もあるので、周囲の者の教育も必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅や施設に専門の指導員が出張してくれるシステムがあったら利用したい ・ 自宅では補助要員が家族しかなく、オンラインで学ぶのであれば家族の負担が少なくなると思う ・ 耳と口を使ったコミュニケーションが不得手なので、目と手で進められるようオンラインでチャット、画面共有などができれば関心がある ・ 行っていることを知ることができる情報提供 ・ 経済的な負担が少なく障害を理解出来るサポート体制 ・ 興味を持つ内容、理解しやすい ・ 興味のあるものを積極的にやらせ範囲を広げて行く ・ 学習への動機付けが出来る仕組み ・ もっともっと軽度の発達障害者が参加できるプログラムがあれば良い ・ まわりの理解があるとよい ・ ボランティア ・ サポート要員の充実 ・ オンライン学習の機会 ・ オンライン学習がより便利にまた充実した内容になること
⑧ 身体障害+知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の身体能力に合わせたものができるとうい。動作をサポートする機器の開発。例：編み物補助機器 ・ 本人の居場所への訪問学習 ・ 本や DVD の貸し出しなど ・ 本の読み聞かせ ・ 訪問学習 ・ 文献の取得が自由にできること ・ 送迎が必要 ・ 困ったときに聞ける人がいる ・ 家庭教師のような人がいると良い ・ ヘルパーの障害者への十分な理解 ・ オンライン学習
⑨ 身体障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役場や行政の講座が増えてほしい ・ 無料のオンライン講座や気軽に参加できるコミュニティができて欲しい ・ 訪問対応できるものを増やす ・ 必要なデバイスが借りられるサービス ・ 必要なタイミングで行けるようになる。手続きの簡易化

区分	「生涯学習に取り組む上でであるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅/施設)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ地域だけでなく、他の地域、自治体等と関わりを持ってみたい ・ 通信講座などにも障害者割引があるといいと思う。障害に合った資格や技能の情報や支援があったらと思う ・ 通信でも無料でやり取りできると助かる ・ 私は発達障害（アスペルガー症候群）なので自分の知りうる限りの意見しか申せませんが、新しい環境、初めて会う人たち、理解できないルール、等で相当ストレスになると思う。一人になる時間を与えつつも、必要な時には声を掛けてあげる（自分から助けてほしいと言わないので察してあげる支援者が必要）環境が必要かと思う ・ 学習過程で障害によるパニックを起こした時に対応のできる専門家のサポートがうけられる ・ 外出支援の充実 ・ 移動の補助 ・ タブレットを使った学習 ・ コミュニケーションが取りにくい、発音がうまくいかない。でも会話ができるような学習や機会があるといい ・ カリキュラムの充実 ・ オンライン講座等 ・ オンライン研修の増加
<p>⑩ 身体障害 + 知的障害 + 精神障害（発達障害含む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の興味や関心のあることにまつわる内容を学習する機会を増やしてほしい ・ 平日の日中は作業所に通っているので、ただそこで時間を過ごすのではなく何か身につく学習が出来るといいと思う ・ 福祉大学や理解ある方にスタッフとして来ていただき、短期間でも支援していただきたい ・ 生涯学習事業に関する啓発・周知、市民に対しての適切で多様な学習機会の提供、相談機能の充実等を図っていくこと ・ 生涯学習の種類や効果の説明。サポートしてくれる指導者がいると助かる。経済的支援 ・ 職業体験しながら給与がもらえる ・ 情報提供 ・ 十分な教材やレベルに応じたものが準備されているか ・ 自宅に学習指導してくれる人が来てくれると良い ・ 施設の職員のサポートが欲しい ・ 支援者人数の確保 ・ 支援者の増員

区分	「生涯学習に取り組む上でであるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅/施設)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援する人員や機器の整備 ・ スタッフの数を増やし、安全安心を確実に確保する必要がある ・ 外部の学習支援サービス ・ 外部からの派遣講師など ・ 運動できる機会を増やしたいが体力的に親も厳しく、家族も時間が確保しにくいのでサポートがあれば嬉しい ・ リモートで受けることができるようにしてほしい ・ デジタル教材の多様性、障害者に合った支援者の適正 ・ オンラインを利用した学習
<p>⑪ 知的障害+精神障害（発達障害含む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人が慣れるまでは何回も通って、人間関係を築き、適性を見極めてくれる支援者が提供してくれるもの ・ 訪問看護師やヘルパーなどの支援を充実させて欲しい ・ マンツーマン指導ができる人員の確保 ・ マンツーマンの教育 ・ フォローしてくれる人材の確保 ・ 親以外に、サポートして下さる人材がより必要 ・ 親などの付き添いがなくてもフォローして頂ける環境 ・ 聞き返す機会を支援してくれる人がほしい ・ 専門家の協力 ・ 専門の支援者が常時付き添うことができるならば行えるかもしれない ・ 障害の程度に合わせた活動であってほしい。周りの方の障害が重度だと本人が行きたがらない ・ 障害の程度に合わせた活動 ・ 周りの理解が大事 ・ 自分のペースで学習できるのであれば魅力的 ・ 自分にあつたカリキュラムの作成 ・ 参加しやすくするための開放的な施設環境づくり ・ 作業施設で実施してほしい ・ 個人を尊重し生涯学習への理解を深めることができる支援 ・ 音声チャットでサポートがあるといいかも ・ 横のつながり、働きかけ(動機づけ) ・ 移動のサポートやインターネットの利用方法 ・ 意思疎通がスムーズにできる環境やサポート ・ 自宅から集団の授業に参加できるオンライン授業 ・ オンラインなどで適切なものがあるかわからない ・ オンラインで楽しく出来る取組

② 自宅外／施設外での学習

図表 3-222 自宅外／施設外での学習

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅外／施設外)
① 身体障害_視覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポーターを頼みやすい仕組み ・ サポートするボランティアの存在 ・ どういったものがあるか情報提供がほしい ・ ネットなどで分かりやすく紹介があると良いと思う ・ わかりやすい案内表示 ・ 移動の援助と外での付き添い ・ 移動手段に恐怖があるので、そこを付き添いなしにすることが出来ない ・ 一人で行く時に援助依頼が必要 ・ 駅やエレベーターなど安全面のサポートが必要 ・ 公共施設での無料受講サービス ・ 支援の場所をより多く開放して欲しい ・ 手すり等の歩きやすさの確保 ・ 障害の有無に関わらず学習仲間との交流の機会 ・ 点字での資料提供はもちろんのこと、会場内の移動を支援するサポートや、障害を理解してもらえ旨の説明などを学習会の冒頭でちゃんと説明してもらえような環境を整える。また、主催者側がセッティングしている。サポートの人だけではなく、参加者自身が積極的にサポートしてくれるような説明をしてくれるとさらにありがたい ・ 部屋の明るさ調整 ・ 歩行の手助け周りにあるものの説明等のガイド ・ 歩行支援も重要だが、街づくりの支援がある程度できていると移動もしやすくなる（例えば、音の出る信号は、近隣住民の賛成を得られにくいから、今なら、単一指向性のスピーカーを採用するか、点字ブロックの、止まれのブロックや信号にQRコードや電波でスマホなどに案内を出せるシステムを構築するなど）
② 身体障害_聴覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ その人が望んだ意思疎通が選べること(手話、筆談、文字情報) ・ ボランティアスタッフの存在 ・ 移動手段 ・ 交通面の安全支援 ・ 公的施設での学習会 ・ 公民館などの行きやすい環境 ・ 字幕や手話通訳をつけ、誰でも参加できるようにしてほしい

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅外/施設外)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会などの支援活動 ・ 手話通訳者の常時手配 ・ 情報を増やす ・ 送迎サービス ・ 聴覚に障害があるので体験学習のようなもの ・ 聴覚障害者に特化したカリキュラム ・ 聴覚障害者でも他人と交流できる場所の提供が可能かどうか ・ 同じような環境下の人たちと楽しめる機会があるといい ・ 同じような障害を持つ子どもたちと活動出来るかどうか ・ 同年代の方が多くいると参加しやすい
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動支援 ・ 学習をサポートできる人材がいればよい ・ 何から取り組むと良いか分からない初心者むけのガイドを市政だよりなどに載せて欲しい ・ 興味があるイベントがある時に知らせてもらえるようなサービスがあればいい ・ 使用施設のバリアフリー化 ・ 施設などのバリアフリー ・ バリアフリー、障害者用駐車場の完備 ・ 障害に対する理解を増やすことが必要 ・ 障害者だけでなく健常者の中で行いやすくする環境 ・ 送迎サービス ・ 通所する際の移動手段 ・ 付き添いの確保
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立地が重要。ある程度の距離にないと通えない ・ 付き添いサポートする人がいる ・ 内部障害なので、こちらがアピールしない限り一般健常者と同じ扱いを受ける ・ 症状が複雑なため理解を得るのが難しい ・ 送迎 ・ 生涯学習を行う場所のバリアフリー化 ・ 介助スタッフによる移動介助の充実 ・ 移動時、移動先でのサポート体制
⑤ 知的障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傍にいて困ったときにナチュラルにサポートしてくれる友人 ・ 年が近い同性との学びと交流の場 ・ 通所事業所における機会の提供

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅外/施設外)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎 ・ 移動手段 ・ 就労移行支援、作業所就労 ・ 周りの人の優しさ
⑥ 精神障害のみ、精神障害 + 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通の学校に通えるようにする訓練の場がほしい。障害者ではなく、健常者の人とコミュニケーションを取る場がほしい。デイケアで行われている内容はもっと内容の濃いものがいい。デイケアに同年代の若い人がいなくて孤立している、コミュニケーションが取りづらい ・ 対面授業とさせて変わらない内容の講義内容 ・ 送迎バスなど通学サービス ・ 精神的な不安を取り除く必要性がある ・ 精神的サポート ・ 精神障害者が大学や大学院の授業を無償で受けられるよう国や自治体が制度化してほしい ・ 生涯学習に参加または学習を行う上での差別、障壁の減少 ・ 障がいオープンにできる雰囲気づくり ・ 社会での職場研修 ・ 芝のある場所で日光浴をしながら体を動かす ・ 実体験の出来る講習 ・ 自然や動物とのふれあい ・ 自治体が主催する文化講座が平日の昼間ばかりであり、定職を持つ者は参加できない ・ なるべく障害者をサポートしたり相談したりできる支援員が常に付き添っている方が安心して学習に参加できる ・ 専門家や有資格者の参加や経歴が分かるようなイベントの告知をSNSなどを通じてもっと活発に行くと参加のきっかけになりやすい ・ どんな事をやっているかを事前に調べられる ・ 情報誌が欲しい ・ どのようなものがあるかの広報活動をしてほしい
⑦ 発達障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信環境の整った、静かに過ごせるフリースペースなどが増えると良い ・ 実際に出向くのが難しい人にも利用しやすい送迎等があると良いと思う ・ 自身で通える範囲にあった場所があるかどうか ・ 自治体の広報誌やホームページ上でもっと宣伝してほしい ・ 経済的な負担が少なく自宅までの送迎があり、障害に理解があり

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅外/施設外)
	<p>専門職がいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 距離の問題・移動するのに時間がかかることで困ってしまう ・ 気軽に出来る相談機関が欲しい ・ 気軽に支援してくれるスタッフ ・ 機会を多く作ってほしい ・ 機会の増加、フレキシビリティ ・ サークルや団体を紹介するホームページ
⑧ 身体障害 + 知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の居場所への訪問学習 ・ 地域と連携できる環境 ・ 送迎のサービス ・ 車椅子による散歩、美術館などへの訪問等、いろいろなことを感じ学ぶ機会 ・ 社会が障害者に対して間違った接し方を出来るだけしないようにする ・ 口頭の指示では理解できない方もいるため、絵や看板など目で見て分かるような案内が欲しい ・ 交通手段 ・ 環境を整える ・ ヘルパーが増えるといいと思う ・ バリアフリーの施設を増やして欲しい
⑨ 身体障害 + 精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解度の確認の支援 ・ 発達や精神面の障害がある人でも安心して利用出来る施設作りをして欲しい ・ 生涯学習を開催する側の障害者に対する理解 ・ 障害のハンデの部分を理解してくれ手助けをしてくれるスタッフなどがいてくれると行きやすくなる。また、学習先と行いたい人の仲介者のような役目の方がいてくれると助かる ・ サポートしてくる人、設備 ・ サポートが当たり前で得られる環境 ・ 移動の為に交通手段の支援、無料タクシー券など ・ 移動のサポートが欲しい ・ どこで、どんなことが学べるのかが知ることのできるサイトの提供 ・ デイサービスなどで、障がい者本人の状況に応じたサービス ・ スポーツジムなどでの障害者向けプログラム ・ VR 体験キットの活用をさせたい
⑩ 身体障害 + 知的障害 + 精神障	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話を聞いてくれる人

区分	「生涯学習に取り組む上であるとよい支援等」に関する主な意見 (自宅外/施設外)
害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習事業に関する啓発・周知、市民に対しての適切で多様な学習機会の提供、相談機能の充実等を図っていくこと ・ 公民館などでの積極的な活動 ・ 公共施設が近くにあまりない ・ 外部へ随行できる介助員の確保、受入先施設の環境整備 ・ 会場までのルートによる（一人暮らしで視覚障害があるため）。解説の仕方や会場の雰囲気にも馴染めるか（発達障害があるため）。なお喘息などの基礎疾患があるので現地へ出向くのもやや困難 ・ 移動のための支援 ・ 地域で障害者が登録している支援機関による積極的な関与やサポートが必要 ・ 旅行の支援(付き添い介助等)を得られやすくしてほしい ・ 支援者の確保 ・ 福祉大学や理解ある方にスタッフとして来ていただき、支援をお願いしたい ・ 移動に関する支援や行きたいと思う気持ちを盛り上げるための施策を増やしてほしい ・ 移動などでの社会の理解 ・ 周りが理解し受け入れてくれる環境になってほしい ・ 赴く施設職員の障害への理解を深めて欲しいので、障害についての講座のようなものが欲しい
⑪ 知的障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の時間的負担がないこと ・ 生涯学習が出来る機会が判らない ・ どのような教育を受けられるのかが分かると嬉しい ・ 時間を気にせずいつでも参加できるカリキュラム ・ 高次脳機能障害で、何時発作が起こるか分からないので、周辺理解が必要 ・ 現地での付き添いが必要なケースがある ・ 協力してくれる支援者 ・ 地域や仲間達のサポートによるもの ・ 移動の支援 ・ 必ず見守ってくれる人がいること ・ 安全に取り組める場所があるかどうか ・ まずは受け入れてもらえる場所と地域を確保し、保護者も支援を受けられるようにしなければならない

区分	「生涯学習に取り組む上でとよい支援等」に関する主な意見 (自宅外／施設外)
	<ul style="list-style-type: none">・ 障害に合っているスキルを要する人の確保すること・ フォローしてくれる人材の確保、大きな声を出しても良い環境・ 周囲の目を気にしなくてよい工夫・ 周囲に迷惑をかけてもよい環境でないと困難

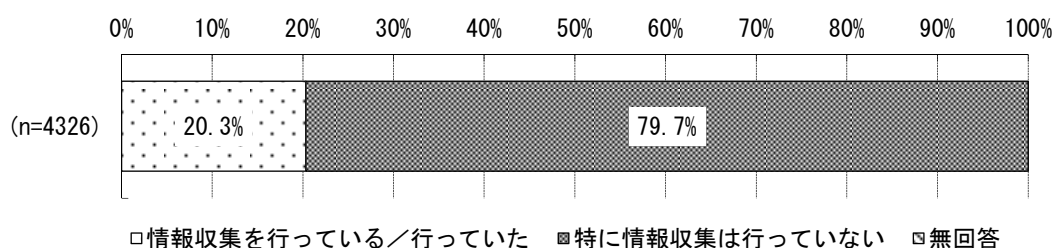
7. 生涯学習に関する情報収集、相談

(1) 情報収集の状況

① 生涯学習に関する情報収集活動

「特に情報収集は行っていない」の割合が最も高く 79.7%となっている。次いで、「情報収集を行っている／行っていた (20.3%)」となっている。

図表 3-223 生涯学習に関する情報収集活動 (単数選択)



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-224 市区町村区分別_生涯学習に関する情報収集活動

	合計	情報収集を行っている／行っていた	特に情報収集は行っていない	無回答
Total	4326	879	3447	0
	100.0%	20.3%	79.7%	0.0%
東京23区	384	95	289	0
	100.0%	24.7%	75.3%	0.0%
政令指定都市	1292	312	980	0
	100.0%	24.1%	75.9%	0.0%
政令指定都市以外の市	2038	376	1662	0
	100.0%	18.4%	81.6%	0.0%
町・村	606	96	510	0
	100.0%	15.8%	84.2%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-225 年齢区分別_生涯学習に関する情報収集活動

	合計	情報収集を行っている／行っていた	特に情報収集は行っていない	無回答
Total	4326	879	3447	0
	100.0%	20.3%	79.7%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	250	471	0
	100.0%	34.7%	65.3%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	170	551	0
	100.0%	23.6%	76.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	171	550	0
	100.0%	23.7%	76.3%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	127	594	0
	100.0%	17.6%	82.4%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	89	632	0
	100.0%	12.3%	87.7%	0.0%
60歳以上	721	72	649	0
	100.0%	10.0%	90.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-226 障害種別_生涯学習に関する情報収集活動

	合計	情報収集を行っている／行っていた	特に情報収集は行っていない	無回答
Total	4326	879	3447	0
	100.0%	20.3%	79.7%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	56	329	0
	100.0%	14.5%	85.5%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	60	362	0
	100.0%	14.2%	85.8%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	58	358	0
	100.0%	13.9%	86.1%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	555	71	484	0
	100.0%	12.8%	87.2%	0.0%
知的障害のみ	206	18	188	0
	100.0%	8.7%	91.3%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	623	93	530	0
	100.0%	14.9%	85.1%	0.0%
発達障害のみ	433	65	368	0
	100.0%	15.0%	85.0%	0.0%
身体障害+知的障害	158	43	115	0
	100.0%	27.2%	72.8%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	258	78	180	0
	100.0%	30.2%	69.8%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	453	265	188	0
	100.0%	58.5%	41.5%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	417	72	345	0
	100.0%	17.3%	82.7%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-227 相談できる人、機関の有無別_生涯学習に関する情報収集活動

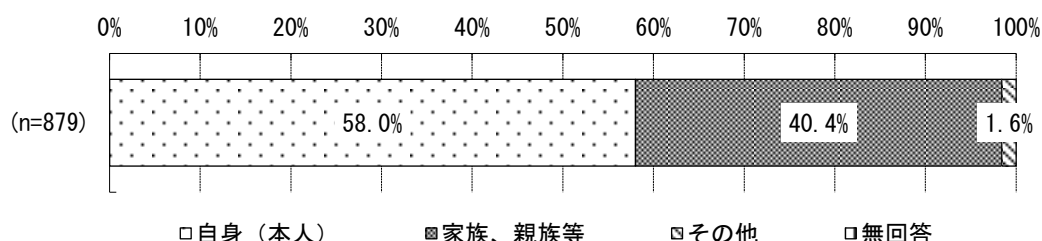
	合計	情報収集を行っている／行っていた	特に情報収集は行っていない	無回答
Total	4326	879	3447	0
	100.0%	20.3%	79.7%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はある	1836	662	1174	0
	100.0%	36.1%	63.9%	0.0%
相談できる人、団体や機関等はない	2490	217	2273	0
	100.0%	8.7%	91.3%	0.0%

【情報収集を行っている／行っていた場合】

1) 主に情報収集を行っている方

情報収集を行っている／行っていた場合、主に情報収集を行っている人は、「自身（本人）」の割合が最も高く58.0%となっている。次いで、「家族、親族等（40.4%）」、「その他（1.6%）」となっている。

図表 3-228 主に情報収集を行っている方（単数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-229 年齢区分別_主に情報収集を行っている方

	合計	自身（本人）	家族、親族等	その他	無回答
Total	879	510	355	14	0
	100.0%	58.0%	40.4%	1.6%	0.0%
18歳以上20歳未満	250	125	125	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20歳以上30歳未満	170	92	72	6	0
	100.0%	54.1%	42.4%	3.5%	0.0%
30歳以上40歳未満	171	113	56	2	0
	100.0%	66.1%	32.7%	1.2%	0.0%
40歳以上50歳未満	127	86	41	0	0
	100.0%	67.7%	32.3%	0.0%	0.0%
50歳以上60歳未満	89	61	23	5	0
	100.0%	68.5%	25.8%	5.6%	0.0%
60歳以上	72	33	38	1	0
	100.0%	45.8%	52.8%	1.4%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

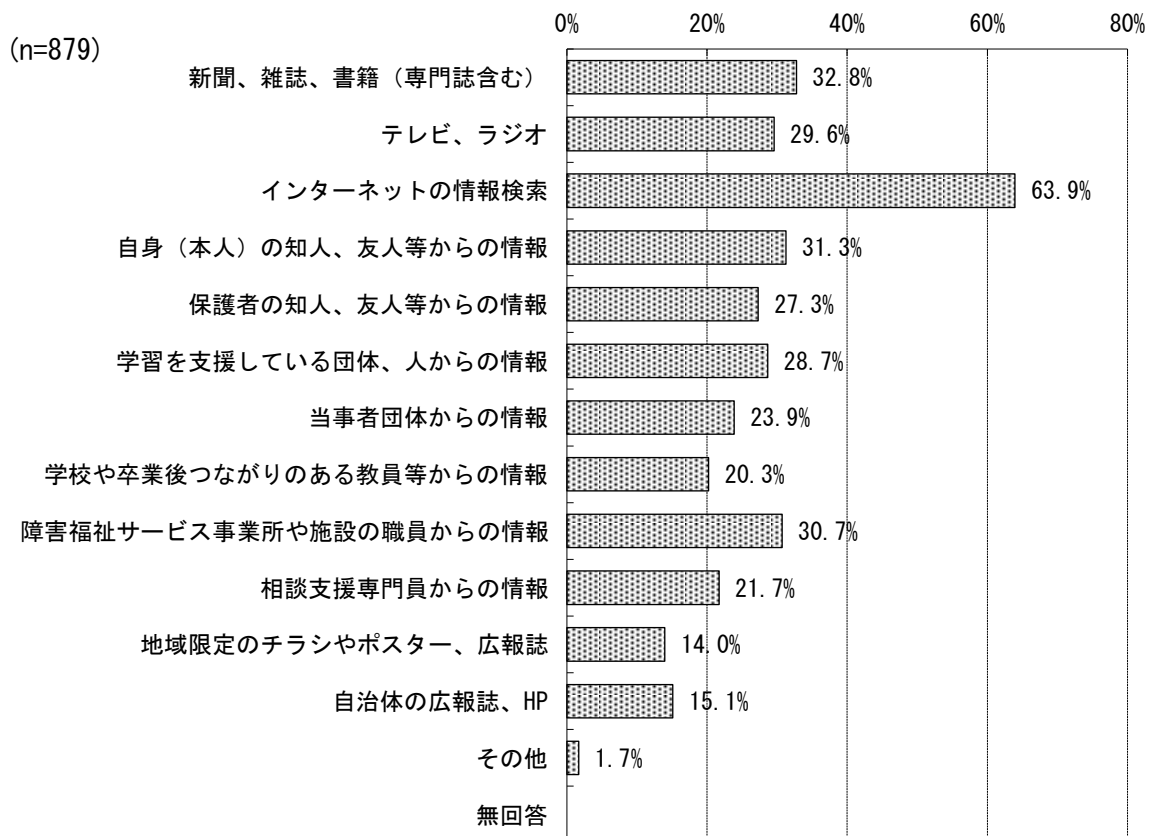
図表 3-230 障害種別_主に情報収集を行っている方

	合計	自身（本人）	家族、親族等	その他	無回答
Total	879	510	355	14	0
	100.0%	58.0%	40.4%	1.6%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	35	20	1	0
	100.0%	62.5%	35.7%	1.8%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	60	32	28	0	0
	100.0%	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	58	43	13	2	0
	100.0%	74.1%	22.4%	3.4%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	71	44	26	1	0
	100.0%	62.0%	36.6%	1.4%	0.0%
知的障害のみ	18	6	12	0	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障害	93	71	21	1	0
	100.0%	76.3%	22.6%	1.1%	0.0%
発達障害のみ	65	32	33	0	0
	100.0%	49.2%	50.8%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害	43	22	20	1	0
	100.0%	51.2%	46.5%	2.3%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害含む）	78	45	31	2	0
	100.0%	57.7%	39.7%	2.6%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	265	155	105	5	0
	100.0%	58.5%	39.6%	1.9%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害含む）	72	25	46	1	0
	100.0%	34.7%	63.9%	1.4%	0.0%

2) 情報収集の手段

情報収集を行っている／行っていた場合、情報収集の手段は「インターネットの情報検索」の割合が最も高く63.9%となっている。次いで、「新聞、雑誌、書籍（専門誌含む）（32.8%）」、「自身（本人）の知人、友人等からの情報（31.3%）」となっている。

図表 3-231 情報収集の手段（複数選択）



第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-232 年齢区分別_情報収集の手段

	合計	新聞、雑誌、書籍 (専門誌含む)	テレビ、ラジオ	インターネット の情報検索	自身(本人)の 知人、友人等か らの情報	保護者の知人、 友人等からの情 報	学習を支援して いる団体、人か らの情報	当事者団体から の情報
Total	879	288	260	562	275	240	252	210
	100.0%	32.8%	29.6%	63.9%	31.3%	27.3%	28.7%	23.9%
18歳以上20歳未満	250	85	75	142	97	101	88	69
	100.0%	34.0%	30.0%	56.8%	38.8%	40.4%	35.2%	27.6%
20歳以上30歳未満	170	48	40	109	56	44	55	36
	100.0%	28.2%	23.5%	64.1%	32.9%	25.9%	32.4%	21.2%
30歳以上40歳未満	171	58	48	109	34	34	43	43
	100.0%	33.9%	28.1%	63.7%	19.9%	19.9%	25.1%	25.1%
40歳以上50歳未満	127	45	52	92	48	33	30	31
	100.0%	35.4%	40.9%	72.4%	37.8%	26.0%	23.6%	24.4%
50歳以上60歳未満	89	23	20	65	16	11	17	16
	100.0%	25.8%	22.5%	73.0%	18.0%	12.4%	19.1%	18.0%
60歳以上	72	29	25	45	24	17	19	15
	100.0%	40.3%	34.7%	62.5%	33.3%	23.6%	26.4%	20.8%

	合計	学校や卒業後つ ながりのある教 員等からの情報	障害福祉サービ ス事業所や施設 の職員からの情 報	相談支援専門員 からの情報	地域限定のチャ ンやポスター、 広報誌	自治体の広報 誌、HP	その他	無回答
Total	879	178	270	191	123	133	15	0
	100.0%	20.3%	30.7%	21.7%	14.0%	15.1%	1.7%	0.0%
18歳以上20歳未満	250	73	77	60	29	21	4	0
	100.0%	29.2%	30.8%	24.0%	11.6%	8.4%	1.6%	0.0%
20歳以上30歳未満	170	44	54	36	18	17	2	0
	100.0%	25.9%	31.8%	21.2%	10.6%	10.0%	1.2%	0.0%
30歳以上40歳未満	171	29	55	40	27	31	5	0
	100.0%	17.0%	32.2%	23.4%	15.8%	18.1%	2.9%	0.0%
40歳以上50歳未満	127	19	37	26	28	33	2	0
	100.0%	15.0%	29.1%	20.5%	22.0%	26.0%	1.6%	0.0%
50歳以上60歳未満	89	6	23	11	8	12	2	0
	100.0%	6.7%	25.8%	12.4%	9.0%	13.5%	2.2%	0.0%
60歳以上	72	7	24	18	13	19	0	0
	100.0%	9.7%	33.3%	25.0%	18.1%	26.4%	0.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-233 障害種別_情報収集の手段

	合計	新聞、雑誌、書籍 (専門誌含む)	テレビ、ラジオ	インターネット の情報検索	自身(本人)の 知人、友人等か らの情報	保護者の知人、 友人等からの情 報	学習を支援して いる団体、人か らの情報	当事者団体から の情報
Total	879	288	260	562	275	240	252	210
	100.0%	32.8%	29.6%	63.9%	31.3%	27.3%	28.7%	23.9%
身体障害_視覚障害のみ	56	21	23	43	20	14	13	16
	100.0%	37.5%	41.1%	76.8%	35.7%	25.0%	23.2%	28.6%
身体障害_聴覚障害のみ	60	15	14	36	18	15	17	10
	100.0%	25.0%	23.3%	60.0%	30.0%	25.0%	28.3%	16.7%
身体障害_肢体不自由のみ	58	11	16	47	20	12	13	9
	100.0%	19.0%	27.6%	81.0%	34.5%	20.7%	22.4%	15.5%
身体障害_内臓機能障害、その他 身体障害、身体障害の重複	71	25	19	45	23	17	15	15
	100.0%	35.2%	26.8%	63.4%	32.4%	23.9%	21.1%	21.1%
知的障害のみ	18	7	1	11	5	5	5	4
	100.0%	38.9%	5.6%	61.1%	27.8%	27.8%	27.8%	22.2%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	93	26	23	72	27	8	18	14
	100.0%	28.0%	24.7%	77.4%	29.0%	8.6%	19.4%	15.1%
発達障害のみ	65	24	19	49	10	14	9	15
	100.0%	36.9%	29.2%	75.4%	15.4%	21.5%	13.8%	23.1%
身体障害+知的障害	43	13	11	20	11	15	13	7
	100.0%	30.2%	25.6%	46.5%	25.6%	34.9%	30.2%	16.3%
身体障害+精神障害(発達障害 含む)	78	27	21	53	33	21	25	20
	100.0%	34.6%	26.9%	67.9%	42.3%	26.9%	32.1%	25.6%
身体障害+知的障害+精神障害 (発達障害含む)	265	98	97	141	92	95	98	85
	100.0%	37.0%	36.6%	53.2%	34.7%	35.8%	37.0%	32.1%
知的障害+精神障害(発達障害 含む)	72	21	16	45	16	24	26	15
	100.0%	29.2%	22.2%	62.5%	22.2%	33.3%	36.1%	20.8%

	合計	学校や卒業後つ ながりのある教 員等からの情報	障害福祉サービ ス事業所や施設 の職員からの情 報	相談支援専門員 からの情報	地域限定のチラ シやポスター、 広報誌	自治体の広報 誌、HP	その他	無回答
Total	879	178	270	191	123	133	15	0
	100.0%	20.3%	31.0%	21.7%	14.0%	15.1%	1.7%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	12	11	8	5	8	0	0
	100.0%	21.4%	20.0%	14.3%	8.9%	14.3%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	60	12	17	11	8	10	2	0
	100.0%	20.0%	28.3%	18.3%	13.3%	16.7%	3.3%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	58	9	14	6	1	10	1	0
	100.0%	15.5%	24.1%	10.3%	1.7%	17.2%	1.7%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他 身体障害、身体障害の重複	71	11	19	14	14	16	2	0
	100.0%	15.5%	27.0%	19.7%	19.7%	22.5%	2.8%	0.0%
知的障害のみ	18	1	10	3	4	1	0	0
	100.0%	5.6%	56.0%	16.7%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	93	9	27	19	15	23	4	0
	100.0%	9.7%	29.1%	20.4%	16.1%	24.7%	4.3%	0.0%
発達障害のみ	65	13	12	8	2	11	3	0
	100.0%	20.0%	18.5%	12.3%	3.1%	16.9%	4.6%	0.0%
身体障害+知的障害	43	9	18	8	3	6	1	0
	100.0%	20.9%	42.1%	18.6%	7.0%	14.0%	2.3%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害 含む)	78	18	21	23	16	12	0	0
	100.0%	23.1%	27.0%	29.5%	20.5%	15.4%	0.0%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 (発達障害含む)	265	70	89	76	45	31	0	0
	100.0%	26.4%	34.0%	28.7%	17.0%	11.7%	0.0%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害 含む)	72	14	32	15	10	5	2	0
	100.0%	19.4%	44.2%	20.8%	13.9%	6.9%	2.8%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-234 相談できる人、機関の有無別_情報収集の手段

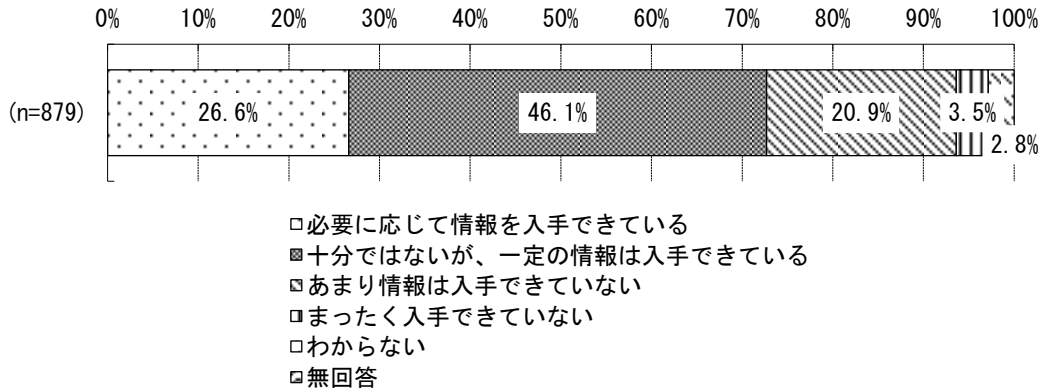
	合計	新聞、雑誌、書籍 (専門誌含む)	テレビ、ラジオ	インターネット の情報検索	自身(本人)の 知人、友人等か らの情報	保護者の知人、 友人等からの情 報	学習を支援して いる団体、人か らの情報	当事者団体から の情報
Total	879	288	260	562	275	240	252	210
	100.0%	32.8%	29.6%	63.9%	31.3%	27.3%	28.7%	23.9%
相談できる人、団体 や機関等はある	662	227	209	414	225	206	221	175
	100.0%	34.3%	31.6%	62.5%	34.0%	31.1%	33.4%	26.4%
相談できる人、団体 や機関等はない	217	61	51	148	50	34	31	35
	100.0%	28.1%	23.5%	68.2%	23.0%	15.7%	14.3%	16.1%

	合計	学校や卒業後つ ながりのある教 員等からの情報	障害福祉サービ ス事業所や施設 の職員からの情 報	相談支援専門員 からの情報	地域限定のチラ シやポスター、 広報誌	自治体の広報 誌、HP	その他	無回答
Total	879	178	270	191	123	133	15	0
	100.0%	20.3%	30.7%	21.7%	14.0%	15.1%	1.7%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はある	662	155	228	166	96	103	14	0
	100.0%	23.4%	34.4%	25.1%	14.5%	15.6%	2.1%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はない	217	23	42	25	27	30	1	0
	100.0%	10.6%	19.4%	11.5%	12.4%	13.8%	0.5%	0.0%

3) 生涯学習に関する情報入手の状況

情報収集を行っている／行っていた場合、情報収集の状況は、「十分ではないが、一定の情報は入手できている」の割合が最も高く46.1%となっている。次いで、「必要に応じて情報を入手できている（26.6%）」、「あまり情報は入手できていない（20.9%）」となっている。

図表 3-235 生涯学習に関する情報入手の状況（単数選択）



(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-236 市区町村区分別_生涯学習に関する情報入手の状況

	合計	必要に応じて情報を入手できている	十分ではないが、一定の情報は入手できている	あまり情報は入手できていない	まったく入手できていない	わからない	無回答
Total	879	234	405	184	31	25	0
	100.0%	26.6%	46.1%	20.9%	3.5%	2.8%	0.0%
東京23区	95	44	39	8	1	3	0
	100.0%	46.3%	41.1%	8.4%	1.1%	3.2%	0.0%
政令指定都市	312	87	155	55	9	6	0
	100.0%	27.9%	49.7%	17.6%	2.9%	1.9%	0.0%
政令指定都市以外の市	376	78	172	100	16	10	0
	100.0%	20.7%	45.7%	26.6%	4.3%	2.7%	0.0%
町・村	96	25	39	21	5	6	0
	100.0%	26.0%	40.6%	21.9%	5.2%	6.3%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-237 年齢区分別_生涯学習に関する情報入手の状況

	合計	必要に応じて情報を入手できている	十分ではないが、一定の情報は入手できている	あまり情報は入手できていない	まったく入手できていない	わからない	無回答
Total	879	234	405	184	31	25	0
	100.0%	26.6%	46.1%	20.9%	3.5%	2.8%	0.0%
18歳以上20歳未満	250	67	112	51	11	9	0
	100.0%	26.8%	44.8%	20.4%	4.4%	3.6%	0.0%
20歳以上30歳未満	170	39	90	33	3	5	0
	100.0%	22.9%	52.9%	19.4%	1.8%	2.9%	0.0%
30歳以上40歳未満	171	49	81	32	4	5	0
	100.0%	28.7%	47.4%	18.7%	2.3%	2.9%	0.0%
40歳以上50歳未満	127	39	48	33	5	2	0
	100.0%	30.7%	37.8%	26.0%	3.9%	1.6%	0.0%
50歳以上60歳未満	89	22	42	18	4	3	0
	100.0%	24.7%	47.2%	20.2%	4.5%	3.4%	0.0%
60歳以上	72	18	32	17	4	1	0
	100.0%	25.0%	44.4%	23.6%	5.6%	1.4%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-238 障害種別_生涯学習に関する情報入手の状況

	合計	必要に応じて情報 を入手できている	十分ではない が、一定の情報 は入手できている	あまり情報は入 手できていない	まったく入手で きていない	わからない	無回答
Total	879	234	405	184	31	25	0
	100.0%	26.6%	46.1%	20.9%	3.5%	2.8%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	56	20	25	9	2	0	0
	100.0%	35.7%	44.6%	16.1%	3.6%	0.0%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	60	11	29	16	3	1	0
	100.0%	18.3%	48.3%	26.7%	5.0%	1.7%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	58	24	21	11	0	2	0
	100.0%	41.4%	36.2%	19.0%	0.0%	3.4%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その 他身体障害、身体障害の重複	71	11	29	21	3	7	0
	100.0%	15.5%	40.8%	29.6%	4.2%	9.9%	0.0%
知的障害のみ	18	3	8	5	1	1	0
	100.0%	16.7%	44.4%	27.8%	5.6%	5.6%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	93	27	38	24	2	2	0
	100.0%	29.0%	40.9%	25.8%	2.2%	2.2%	0.0%
発達障害のみ	65	9	36	14	4	2	0
	100.0%	13.8%	55.4%	21.5%	6.2%	3.1%	0.0%
身体障害+知的障害	43	14	20	6	2	1	0
	100.0%	32.6%	46.5%	14.0%	4.7%	2.3%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	78	20	36	17	4	1	0
	100.0%	25.6%	46.2%	21.8%	5.1%	1.3%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	265	75	131	46	8	5	0
	100.0%	28.3%	49.4%	17.4%	3.0%	1.9%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	72	20	32	15	2	3	0
	100.0%	27.8%	44.4%	20.8%	2.8%	4.2%	0.0%

(クロス集計_生涯学習について相談できる人、機関の有無別)

図表 3-239 相談できる人、機関の有無別_生涯学習に関する情報入手の状況

	合計	必要に応じて情報 を入手できている	十分ではない が、一定の情報 は入手できている	あまり情報は入 手できていない	まったく入手で きていない	わからない	無回答
Total	879	234	405	184	31	25	0
	100.0%	26.6%	46.1%	20.9%	3.5%	2.8%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はある	662	207	339	90	9	17	0
	100.0%	31.3%	51.2%	13.6%	1.4%	2.6%	0.0%
相談できる人、団体 や機関等はない	217	27	66	94	22	8	0
	100.0%	12.4%	30.4%	43.3%	10.1%	3.7%	0.0%

【あまり情報は入手できていない／まったく入手できていない場合】

4) 情報を入手できていない理由

あまり情報は入手できていない/まったく入手できていない場合、情報が入手できていない理由についての主な意見は以下の通り。

図表 3-240 情報を入手できていない理由（自由記述式）

区分	「情報入手できていない理由」に関する主な意見
① 身体障害_視覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 探し方がわからない ・ 情報が溢れすぎていて取捨選択がしにくい ・ 参加はしたいが、どのように探せばよいのかわからないから ・ 時間的制約 ・ 地方なので施設が少ない
② 身体障害_聴覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報量が少ない ・ 情報源がありすぎる ・ 聞こえる人ファーストの社会の為、字幕、手話での情報獲得が非常に少ない ・ どこにあるかわからない ・ 配布場所が分からない ・ 障害者が参加することを想定していない ・ なかなか支援者も仕事があり、時間が取れない
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能動的に集めていないため ・ 教えてくれる所がほとんどない
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田舎のため、施設が少ない ・ 詳しく書いていない ・ 主催者とのコミュニケーション不足 ・ どこに相談したらよいか分からない ・ そもそも情報が少ない
⑤ 知的障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が多忙で子どもにかかわれない ・ 情報量が少ない ・ 育児に忙しいため ・ 本人の意志に任せているのと身近な親が情報収集能力に欠ける
⑥ 精神障害のみ、精神障害+発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害についての情報があまりにもないし、一人一人に見合った情報を提供してほしい ・ 調べ方がわからない ・ 調べてみてもあまり情報が出てこない ・ 相談に行っても情報不足 ・ 信用してよいか分からないから ・ 情報がたくさんありすぎる

区分	「情報入手できていない理由」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのようなサービスか分かりにくい ・ そもそも地域にそういった団体が少ない ・ 私自身に時間的な余裕がないから ・ 家族が提案しても本人の意志が伴わない ・ やっとこれからそういう相談ができそうなところが見つかったところだから。早い段階で医師などから幅広い情報を知らせてほしかった
⑦ 発達障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ どこに相談すればいいのかわからない ・ どこを見たらいいかわからない ・ 時間的に余裕がない ・ そもそも時間が取れていない ・ 自身にマッチした情報が少ない ・ 情報が少ない ・ 調べても答えが出てこない ・ 調べ方に苦戦している
⑧ 身体障害 + 知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり記事がない ・ 時間がない
⑨ 身体障害 + 精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神疾患には症状に幅があり一元的な支援を得られ難い ・ 情報不足 ・ あまり情報が出回っていない ・ あまりHPなどの更新を追えない ・ 時間的に余裕がない ・ そのような環境が全く整備されていない ・ そのようなものが近くに無い
⑩ 身体障害 + 知的障害 + 精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり詳しく見る時間がない ・ どこで情報を得ていいかわからない ・ 施設から情報がなく、実際に件数が少ない ・ 周りに人がいないため ・ 情報が少ない ・ 人脈がない ・ 入手する手段がわからない
⑪ 知的障害 + 精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の希望に合う情報自体が少ない ・ 時間がかかる ・ 近隣に希望するようなものがない ・ どうやって探したらよいかかわからない ・ 本人がまったく前向きではない、協力的でない ・ 活動に関しての意欲の意思疎通ができていない

5) 具体的に不足している情報

あまり情報は入手できていない/まったく入手出来ていない場合、具体的に不足している情報についての主な意見は以下の通り。

図表 3-241 具体的に不足している情報（自由記述式）

区分	「不足している情報」に関する主な意見
① 身体障害_視覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容について ・ 信用できる情報とそうでないものの判別方法 ・ 信用して良いのかわからなく心配なところ ・ 同じ障害のある人の情報
② 身体障害_聴覚障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容・項目 ・ 支援活動の具体性 ・ 手話、字幕など視覚的な情報保障が極めて少ない
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんなことをするのがよいのか
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な制度 ・ 社会参加の案内 ・ 自分と同じ障害を持った人がどのような社会的ケアを受けているかの情報がほとんどない ・ カリキュラムの内容 ・ 学べる機会とその学びが学べるものなのかの判断 ・ 開催している場所や内容
⑤ 知的障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容 ・ 活動している場所、日時、内容 ・ 同じ障害の程度の趣味交流情報
⑥ 精神障害のみ、精神障害 + 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような団体が何をしているのか ・ 自宅近くで学べる場の情報 ・ 自宅近辺の情報 ・ 不安障害等で困っている人の為の仕事情報 ・ 福祉の介入が難しいケースにおける社会参加について ・ 無料で利用できることについての情報 ・ 実績やどんな人が集まっているかなど（特に健常者） ・ 精神疾患でも参加可能か
⑦ 発達障害のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の情報 ・ 相談できるところ ・ 自分が支援してもらえるかどうか ・ 自身にマッチした情報が少ない
⑧ 身体障害 + 知的障害	(回答なし)
⑨ 身体障害 + 精神障害（発達障	・ 雇用者側の意向などが入ってこない

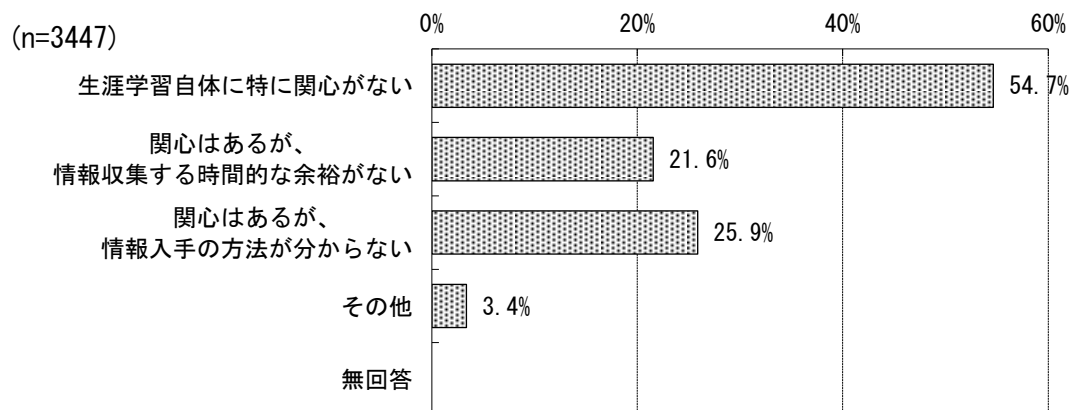
区分	「不足している情報」に関する主な意見
害含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの種類 ・ フォロー体制 ・ 講座開講のお知らせ
⑩ 身体障害+知的障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入手する手段がわからない ・ 新しい科目の情報 ・ 情報源不足 ・ 学習内容 ・ 学習の効果 ・ どのようにして情報提供を受けてよいかわからない
⑪ 知的障害+精神障害（発達障害含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人に合っているもの ・ 公的な取組やしくみの情報 ・ 他の人の実例 ・ 障害者を対象にした余暇活動の情報 ・ ゲーム関連

【情報収集を行っていない場合】

6) 情報収集を行っていない理由

情報収集を行っていない場合、その理由は、「生涯学習自体に特に興味がない」の割合が最も高く 54.7%となっている。次いで、「関心はあるが、情報入手の方法が分からない（25.9%）」、「関心はあるが、情報収集する時間的な余裕がない（21.6%）」となっている。

図表 3-242 情報収集を行っていない理由（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-243 年齢区分別_情報収集を行っていない理由

	合計	生涯学習自体に特に興味がない	関心はあるが、情報収集する時間的な余裕がない	関心はあるが、情報入手の方法が分からない	その他	無回答
Total	3447	1884	743	892	116	0
	100.0%	54.7%	21.6%	25.9%	3.4%	0.0%
18歳以上20歳未満	471	176	146	158	16	0
	100.0%	37.4%	31.0%	33.5%	3.4%	0.0%
20歳以上30歳未満	551	267	136	168	16	0
	100.0%	48.5%	24.7%	30.5%	2.9%	0.0%
30歳以上40歳未満	550	293	127	145	17	0
	100.0%	53.3%	23.1%	26.4%	3.1%	0.0%
40歳以上50歳未満	594	356	114	146	17	0
	100.0%	59.9%	19.2%	24.6%	2.9%	0.0%
50歳以上60歳未満	632	393	107	135	21	0
	100.0%	62.2%	16.9%	21.4%	3.3%	0.0%
60歳以上	649	399	113	140	29	0
	100.0%	61.5%	17.4%	21.6%	4.5%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-244 障害種別_情報収集を行っていない理由

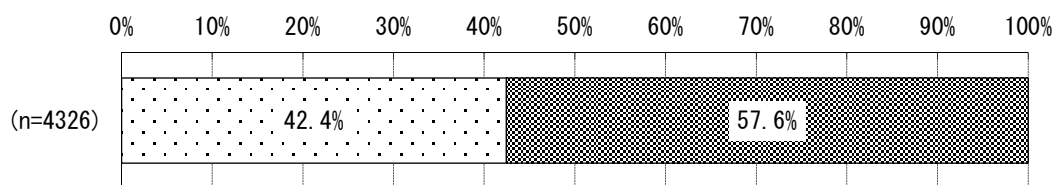
	合計	生涯学習自体に 特に関心がない	関心はあるが、 情報収集する時 間的な余裕がない	関心はあるが、 情報入手の方法 が分からない	その他	無回答
Total	3447 100.0%	1884 54.7%	743 21.6%	892 25.9%	116 3.4%	0 0.0%
身体障害_視覚障害のみ	329 100.0%	198 60.2%	68 20.7%	75 22.8%	5 1.5%	0 0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	362 100.0%	217 59.9%	78 21.5%	76 21.0%	5 1.4%	0 0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	358 100.0%	205 57.3%	77 21.5%	76 21.2%	19 5.3%	0 0.0%
身体障害_内臓機能障害、その 他身体障害、身体障害の重複	484 100.0%	285 58.9%	74 15.3%	134 27.7%	13 2.7%	0 0.0%
知的障害のみ	188 100.0%	97 51.6%	31 16.5%	62 33.0%	9 4.8%	0 0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	530 100.0%	318 60.0%	98 18.5%	124 23.4%	14 2.6%	0 0.0%
発達障害のみ	368 100.0%	207 56.3%	75 20.4%	96 26.1%	10 2.7%	0 0.0%
身体障害+知的障害	115 100.0%	54 47.0%	27 23.5%	30 26.1%	10 8.7%	0 0.0%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	180 100.0%	87 48.3%	63 35.0%	48 26.7%	2 1.1%	0 0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	188 100.0%	76 40.4%	57 30.3%	52 27.7%	15 8.0%	0 0.0%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	345 100.0%	140 40.6%	95 27.5%	119 34.5%	14 4.1%	0 0.0%

(2) 相談状況

① 生涯学習に関して相談できる人や機関の有無

「相談できる人、団体や機関等はない」の割合が57.6%、「相談できる人、団体や機関等はある」の割合が42.4%となっている。

図表 3-245 生涯学習に関して相談できる人や機関の有無（単数選択）



□相談できる人、団体や機関等はある ■相談できる人、団体や機関等はない □無回答

(クロス集計_市区町村区分別)

図表 3-246 市区町村区分別_生涯学習に関して相談できる人や機関の有無

	合計	相談できる人、 団体や機関等 はある	相談できる人、 団体や機関等 はない	無回答
Total	4326	1836	2490	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%
東京23区	384	166	218	0
	100.0%	43.2%	56.8%	0.0%
政令指定都市	1292	594	698	0
	100.0%	46.0%	54.0%	0.0%
政令指定都市以外の	2038	848	1190	0
	100.0%	41.6%	58.4%	0.0%
町・村	606	227	379	0
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%

(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-247 年齢区分別_生涯学習に関して相談できる人や機関の有無

	合計	相談できる人、 団体や機関等 はある	相談できる人、 団体や機関等 はない	無回答
Total	4326	1836	2490	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%
18歳以上20歳未満	721	400	321	0
	100.0%	55.5%	44.5%	0.0%
20歳以上30歳未満	721	336	385	0
	100.0%	46.6%	53.4%	0.0%
30歳以上40歳未満	721	316	405	0
	100.0%	43.8%	56.2%	0.0%
40歳以上50歳未満	721	256	465	0
	100.0%	35.5%	64.5%	0.0%
50歳以上60歳未満	721	254	467	0
	100.0%	35.2%	64.8%	0.0%
60歳以上	721	274	447	0
	100.0%	38.0%	62.0%	0.0%

(クロス集計_障害種別)

図表 3-248 障害種別_生涯学習に関して相談できる人や機関の有無

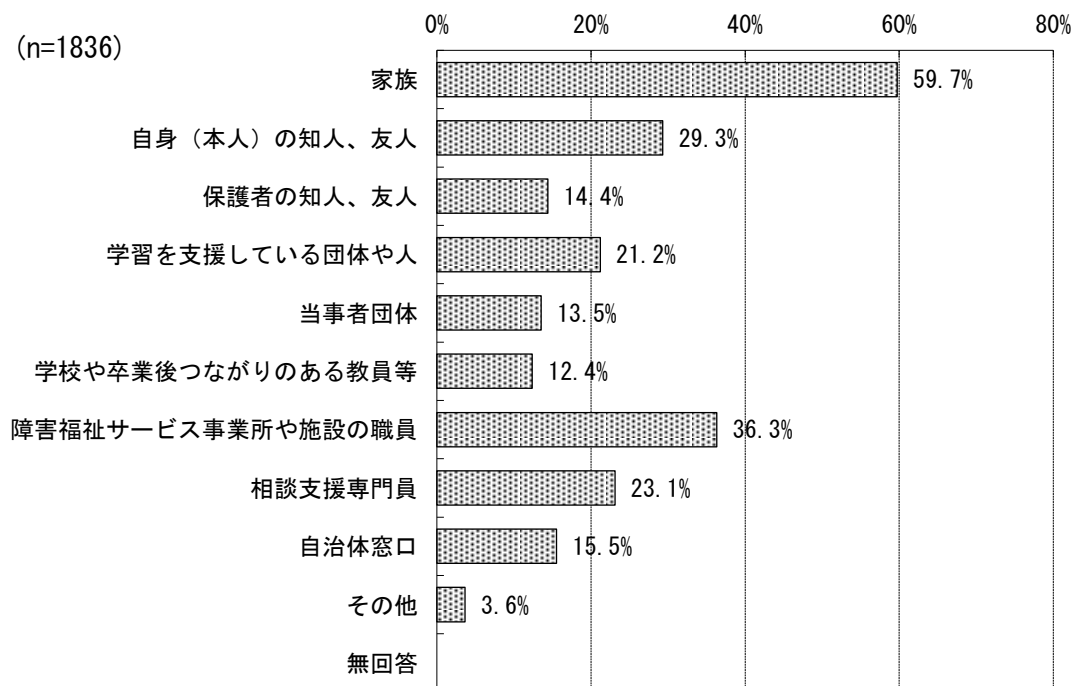
	合計	相談できる人、 団体や機関等 はある	相談できる人、 団体や機関等 はない	無回答
Total	4326	1836	2490	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	385	144	241	0
	100.0%	37.4%	62.6%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	422	158	264	0
	100.0%	37.4%	62.6%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	416	165	251	0
	100.0%	39.7%	60.3%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他 身体障害、身体障害の重複	555	165	390	0
	100.0%	29.7%	70.3%	0.0%
知的障害のみ	206	96	110	0
	100.0%	46.6%	53.4%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達 障害	623	216	407	0
	100.0%	34.7%	65.3%	0.0%
発達障害のみ	433	126	307	0
	100.0%	29.1%	70.9%	0.0%
身体障害+知的障害	158	100	58	0
	100.0%	63.3%	36.7%	0.0%
身体障害+精神障害（発達障害 含む）	258	127	131	0
	100.0%	49.2%	50.8%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 （発達障害含む）	453	330	123	0
	100.0%	72.8%	27.2%	0.0%
知的障害+精神障害（発達障害 含む）	417	209	208	0
	100.0%	50.1%	49.9%	0.0%

【相談できる人や機関がある場合】

1) 相談できる具体的な人、機関

「家族」の割合が最も高く 59.7%となっている。次いで、「障害福祉サービス事業所や施設の職員（36.3%）」、「自身（本人）の知人、友人（29.3%）」となっている。

図表 3-249 相談できる具体的な人、機関（複数選択）



(クロス集計_年齢区分別)

図表 3-250 年齢区分別_相談できる具体的な人、機関

	合計	家族	自身(本人)の 知人、友人	保護者の知人、 友人	学習を支援して いる団体や人	当事者団体	
Total	1836	1097	538	264	389	248	
	100.0%	59.7%	29.3%	14.4%	21.2%	13.5%	
18歳以上20歳未満	400	233	132	94	117	73	
	100.0%	58.2%	33.0%	23.5%	29.2%	18.3%	
20歳以上30歳未満	336	206	108	49	68	44	
	100.0%	61.3%	32.1%	14.6%	20.2%	13.1%	
30歳以上40歳未満	316	195	84	62	72	40	
	100.0%	61.7%	26.6%	19.6%	22.8%	12.7%	
40歳以上50歳未満	256	158	88	29	46	35	
	100.0%	61.7%	34.4%	11.3%	18.0%	13.7%	
50歳以上60歳未満	254	144	63	12	43	27	
	100.0%	56.7%	24.8%	4.7%	16.9%	10.6%	
60歳以上	274	161	63	18	43	29	
	100.0%	58.8%	23.0%	6.6%	15.7%	10.6%	

	合計	学校や卒業後つ ながりのある教 員等	障害福祉サービ ス事業所や施設 の職員	相談支援専門員	自治体窓口	その他	無回答
Total	1836	227	667	424	285	67	0
	100.0%	12.4%	36.3%	23.1%	15.5%	3.6%	0.0%
18歳以上20歳未満	400	109	106	86	37	8	0
	100.0%	27.3%	26.5%	21.5%	9.3%	2.0%	0.0%
20歳以上30歳未満	336	56	144	81	34	7	0
	100.0%	16.7%	42.9%	24.1%	10.1%	2.1%	0.0%
30歳以上40歳未満	316	28	122	74	33	14	0
	100.0%	8.9%	38.6%	23.4%	10.4%	4.4%	0.0%
40歳以上50歳未満	256	18	99	58	55	8	0
	100.0%	7.0%	38.7%	22.7%	21.5%	3.1%	0.0%
50歳以上60歳未満	254	9	84	59	57	12	0
	100.0%	3.5%	33.1%	23.2%	22.4%	4.7%	0.0%
60歳以上	274	7	112	66	69	18	0
	100.0%	2.6%	40.9%	24.1%	25.2%	6.6%	0.0%

第3章 障害者本人調査結果

(クロス集計_障害種別)

図表 3-251 障害種別_相談できる具体的な人、機関

	合計	家族	自身(本人)の 知人、友人	保護者の知人、 友人	学習を支援して いる団体や人	当事者団体
Total	1836	1097	538	264	389	248
	100.0%	59.7%	29.3%	14.4%	21.2%	13.5%
身体障害_視覚障害のみ	144	110	67	18	33	24
	100.0%	76.4%	46.5%	12.5%	22.9%	16.7%
身体障害_聴覚障害のみ	158	114	65	14	28	16
	100.0%	72.2%	41.1%	8.9%	17.7%	10.1%
身体障害_肢体不自由のみ	165	105	54	15	26	10
	100.0%	63.6%	32.7%	9.1%	15.8%	6.1%
身体障害_内臓機能障害、その他身 体障害、身体障害の重複	165	117	48	21	29	21
	100.0%	70.9%	29.1%	12.7%	17.6%	12.7%
知的障害のみ	96	55	17	14	19	12
	100.0%	57.3%	17.7%	14.6%	19.8%	12.5%
精神障害のみ、精神障害+発達障 害	216	134	61	14	32	15
	100.0%	62.0%	28.2%	6.5%	14.8%	6.9%
発達障害のみ	126	72	31	14	25	11
	100.0%	57.1%	24.6%	11.1%	19.8%	8.7%
身体障害+知的障害	100	52	16	16	20	13
	100.0%	52.0%	16.0%	16.0%	20.0%	13.0%
身体障害+精神障害(発達障害含 む)	127	63	37	23	32	20
	100.0%	49.6%	29.1%	18.1%	25.2%	15.7%
身体障害+知的障害+精神障害 (発達障害含む)	330	175	102	86	105	81
	100.0%	53.0%	30.9%	26.1%	31.8%	24.5%
知的障害+精神障害(発達障害含 む)	209	100	40	29	40	25
	100.0%	47.8%	19.1%	13.9%	19.1%	12.0%

	合計	学校や卒業後つ ながりのある教 員等	障害福祉サービ ス事業所や施設 の職員	相談支援専門員	自治体窓口	その他	無回答
Total	1836	227	667	424	285	67	0
	100.0%	12.4%	36.3%	23.1%	15.5%	3.6%	0.0%
身体障害_視覚障害のみ	144	15	27	16	20	5	0
	100.0%	10.4%	18.8%	11.1%	13.9%	3.5%	0.0%
身体障害_聴覚障害のみ	158	22	33	17	21	3	0
	100.0%	13.9%	20.9%	10.8%	13.3%	1.9%	0.0%
身体障害_肢体不自由のみ	165	19	54	39	36	8	0
	100.0%	11.5%	32.7%	23.6%	21.8%	4.8%	0.0%
身体障害_内臓機能障害、その他身 体障害、身体障害の重複	165	15	38	30	23	1	0
	100.0%	9.1%	23.0%	18.2%	13.9%	0.6%	0.0%
知的障害のみ	96	10	58	18	13	0	0
	100.0%	10.4%	60.4%	18.8%	13.5%	0.0%	0.0%
精神障害のみ、精神障害+発達障 害	216	13	70	52	34	25	0
	100.0%	6.0%	32.4%	24.1%	15.7%	11.6%	0.0%
発達障害のみ	126	13	36	25	14	4	0
	100.0%	10.3%	28.6%	19.8%	11.1%	3.2%	0.0%
身体障害+知的障害	100	10	56	32	21	3	0
	100.0%	10.0%	56.0%	32.0%	21.0%	3.0%	0.0%
身体障害+精神障害(発達障害含 む)	127	14	45	35	21	11	0
	100.0%	11.0%	35.4%	27.6%	16.5%	8.7%	0.0%
身体障害+知的障害+精神障害 (発達障害含む)	330	70	140	91	47	6	0
	100.0%	21.2%	42.4%	27.6%	14.2%	1.8%	0.0%
知的障害+精神障害(発達障害含 む)	209	26	110	69	35	1	0
	100.0%	12.4%	52.6%	33.0%	16.7%	0.5%	0.0%

8. 生涯学習の機会に対する意見

- ① 身近な方から見て、学校卒業後の生涯学習の機会として、あるとよいと思われる生涯学習の機会、内容など
生涯学習の機会に対する主な意見は以下の通り。

図表 3-252 あるとよいと思われる生涯学習の機会（自由記述式）

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
① 身体障害_視覚障害のみ	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無料相談 ・ 相談できる場所 <p>(情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報がまとめられているサイト ・ 障害があっても気軽に参加できる場があれば良いと思う <p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ程度の学力や能力の人対象の学習の機会 ・ 同じ障害を持っている人との交流 ・ 同じような障害を持つ人が集まる場 ・ 地域での交流 ・ 団体で勉強できる環境 ・ 他者との交流 ・ 一般の人や、比較的近くの近隣住民との関わりの場 ・ 健常者と共に学べる場所 ・ リアルな人と交流しながらの学び <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字図書館 ・ 書道、卒業した学校の卒業生での学習 ・ 送迎の充実したサークル的サービス ・ 公的なものとかじゃなく気軽に参加できるもの ・ 公共施設での授業 ・ 学習センター等での開催 ・ コミュニティセンターなどでの地域交流 <p>(自宅での学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出張スクール ・ 自宅訪問型の学習 ・ 自宅学習の機会をつくっていただくこと、本人の意欲に任せた内容 ・ 自宅でのウェブセミナー ・ リモートでのコミュニティ
② 身体障害_聴覚障害のみ	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近に相談できる場

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何でも自由に相談できる場所 ・ OBとして自分の経験を今悩んでいる世代の人に話す機会 (情報) ・ 身近に紹介してくれる組織など (交流の場) ・ 周りの人達と交流の輪を広げながら、学習に取り組む事ができる環境がほしい ・ 実際に人と交流できる ・ 健聴者との付き合い方を学べる場、交流の場 (場所、内容) ・ 健常者との付き合い方 ・ 様々な種類の生涯学習のコミュニティを1箇所にまとめたイベントを開催する ・ 学校主催の卒業生向けの学習機会 ・ 模擬社会人 ・ 技術の習得ができる場所がほしい ・ 短い時間で取り組める動画等 ・ 心身をリフレッシュできるスポーツ ・ 職場体験 ・ 手話での教育制度、手話、点字、マナー ・ 社会経験を積める機会 ・ 自治会などの皆が集まる場所で勉強会 ・ 高校でパソコン関係を学んでいたの、継続して学べるような施設が出来ればよいと思える ・ IT系を学ぶ機会が多く開かれると良いと思う (その他) ・ 聴覚障害者でも楽しめて学習できる教材 ・ 地域でどのような障害者も受け入れるといったソフト面の充実をまずは取り組んで欲しい
③ 身体障害_肢体不自由のみ	<ul style="list-style-type: none"> (相談) ・ 相談しやすいこと ・ 身近な相談者 (情報) ・ 同年代の人が多いグループでどんな活動が行われているかを知ることが欲しい ・ 機会の方はもっとPRしてもらいたい (交流の場)

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母校での生涯学習会 ・ 定期的に自治体が、参加者が集える場所を提供する ・ 障害者の就職後の交流 ・ 障がい者向けのコミュニティを増やすべき ・ 一般社会との交流の場 <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動の場としての機会があるとよい ・ 卒業した学校に生涯学習教室が設けられている ・ 職場、学校、もしくは自宅付近で開催されること ・ 障害者本人に直接希望を聞いてそれに沿って叶えてあげられるような学習の機会を設ける ・ 障害者を対象とした職業訓練 ・ 資産形成を学べる、お金にまつわること ・ 公民館などで無料で開催されるもの ・ 健常者を含むボランティアへの参加 ・ パソコンのスキル <p>(自宅での学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所と時間を問わず学習できるシステム（オンデマンド学習等）の普及 ・ オンライン参加可能な勉強会など <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜、本人の意欲などを、把握してのフォロー活動 ・ バリアフリーな会場
④ 身体障害_内臓機能障害、その他身体障害、身体障害の重複	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単に電話繋がる相談窓口 <p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ悩みを抱えるコミュニティ ・ 同じ障害を持つもの同士の対面によるコミュニケーション ・ 人との繋がりが持てる機会 ・ ピアグループ <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業 ・ 年齢に制限がない学習環境 ・ 地域のスーパーや図書館などの施設で開催していれば嬉しい ・ 大学・大学院での聴講・参加の機会 ・ 創業と経営に関する学習 ・ 身近な場所（生涯学習センターなど）で多彩な講座が開催される

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害を負っていても気兼ねなく参加できるような個々障害ごとの学習 ・ 気軽に参加できる雰囲気がある機会 (自宅での学習) ・ 訪問教育 ・ オンラインにおける様々なセミナー等への企画 ・ オンラインでの説明会 ・ オンラインでの生涯学習の機会 ・ WEB形式の学習 (その他) ・ 卒業後の支援
⑤ 知的障害のみ	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な面談 <p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日に仲間と一緒に活動できる環境 ・ 同程度の障害者との集まり ・ 卒業後も仲間と集まって学習できる機会 ・ 学校を卒業し何年経っても毎年集まれるような会 ・ 自立のための体験、交流会 ・ 健常者との交流 <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物練習 ・ 土日の小中学校の解放 ・ 地元の小学校に協力してもらって生活面で困らないよう計算できる力をつける ・ 生活基盤が整う学習 ・ デイサービス・ショートステイのような所 ・ 職場体験 ・ 小さい子への読み聞かせ ・ 施設外で参加できる場があるのは良いと思う ・ 健常者とのコミュニケーションの取り方 ・ お金の管理と買い物の補助 <p>(自宅での学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日にオンラインで自分の望む学習ができる環境 ・ 講師の方が施設へ訪問して教えてくれる機会があれば、参加できるかもしれない
⑥ 精神障害のみ、精神障害＋発達障害	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の相談支援(あるにはあるが一般雇用の場合の充足)

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<p>(情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習についての概要や手引き ・ 障害者向けの生涯学習専門のサイト ・ 手帳や自立支援医療の更新時に案内があると良い ・ いつでも気軽に閲覧出来るホームページ <p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無料で他人とお話できる場所 ・ 同年代の同じ障害を持つ人が集うレクリエーション ・ 同じ境遇の人との交流会 ・ 地域の人とのレクリエーション ・ 健常者、障害者関係なく自分のやりたいことができつつ、仲間も作れる場 ・ 学生ボランティアとの学習の繋がり ・ グループコミュニケーションツール <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センター ・ 病院等と連携して、進めてもらえる場所 ・ 病院に通っているため、そこで学べる場所を作ってくれれば良いかなと思う ・ かかりつけ医との情報の行き来のある学習の機会 ・ 無償で大学や大学院の授業を受けられる事 ・ 小学校 ・ 人間関係や社会適応性を向上させる ・ 人が沢山いる場所は得意では無いので少人数で通いやすいようにして欲しい ・ 就職進路支援 ・ 社会人になってから精神障害に陥る人が多いので、後天的な社会人に対する機会も必要 ・ 自立を促す生涯学習 ・ 仕事につながるイベント ・ 継続的に支援してくれる近隣の場所 ・ 経済的自立や一人暮らしをする際に必要なことの学習 ・ オンラインで定期的に行われる <p>(自宅での学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無料の学習教材やオンライン講座の充実 ・ 自宅から苦勞しないで通える場 ・ リモートでマンツーマンで出来るもの、パソコンで遠隔操作できるもの

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
⑦ 発達障害のみ	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に相談できる、電話窓口 <p>(情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を提供する施設 ・ どのようなカリキュラムがあるのか一目でわかるような場がほしい ・ チラシ、テレビなどの情報提供 <p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の興味のあるものを見つけられるイベントなど ・ 本人が生涯できる仕事を見つけられるようなイベント ・ 同じ障害を持つ方との定期的なミーティング ・ 同じ障害のある人達との交流 ・ 趣味の仲間サークル ・ 軽度の発達障害者がコミュニティを作る学習 ・ おしゃべりをして、コミュニケーション力を身に付けられるような生涯学習の場があるといいなと思う <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適応障害の人間が、障害を気にせず取り組める環境 ・ 地域での学習 ・ 卒業時に学校や自治体の協力した支援 ・ 深夜でも活動できる機会 ・ 県や市町村が無償で学べるカリキュラムを実施して欲しい ・ 軽度障がい者の1人で老後も安心して暮らせる知恵みたいなの ・ 軽度の障害に対する就業支援 ・ 近くの公共施設でのリクレーション ・ 学校などで習慣化する ・ 医療機関 ・ コミュニケーション力を高める学び ・ オープンスクール的なもの。学校のような感じでは無く、障害の有無に関係なく自由に学べる感じ <p>(自宅での学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット学習 ・ オンライン講座の充実
⑧ 身体障害+知的障害	<p>(相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談先が豊富にあると良い ・ 相談できるところがあればよい <p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者同士でも学べる

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとのイベント ・ 他者へのつながりができる <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校が健常児の年齢で終了ではなく長期的に通えれば良いのにと、そのような学校的な場があってほしい ・ 日常生活で必要な事、人との繋がりなど、学べるといい ・ 制限なく参加できる施設 ・ 常に車イスの生活のため、運動不足。また、将来的に就業出来ることを目標とした学習が必要 ・ 障害者支援職員が行う生涯学習 ・ 公共の学び場 ・ 研究会の画像が YouTube で見えるとよい ・ 学校で学んだことを、継続維持できる機会 ・ ルールをゆるくしたスポーツ <p>(自宅での学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の居場所への訪問学習
<p>⑨ 身体障害 + 精神障害 (発達障害含む)</p>	<p>(交流の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ興味関心を持つ人たちと交流しながら、学習だけでなく社会生活を学べるような機会 ・ 地域の人とコミュニケーションを取って行く場所を作る ・ 地域で週一で集まれる機会があるとよい ・ 地域コミュニティの中の当事者交流会 ・ 障害者、健常者が一緒に学ぶ機会 ・ グループミーティング <p>(場所、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な講演会など ・ 無料講習 ・ 本人の意思で自由に参加出来るような内容 ・ 本人に負担の少ない社会活動 ・ 年配者でも気後れなく集まれる場所 ・ 卒業した学校で行われる ・ 常設的な施設で利用時間が自由な所 ・ 気軽に手続きがなく試せるような場所 ・ 障害の程度に関わらない運動 ・ 近隣での会合 ・ 何ができなくて、どう感じているかのレクチャー ・ 異なる障害を持つ人とのコミュニケーションの取り方を知ること

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラマー養成 (自宅での学習) ・ 自宅まで訪問してくれる ・ 訪問でリハビリをしてくれる人 ・ 公開講座のオンライン化 ・ スマホでいつでも学べる環境がある ・ さらに多くのオンラインによる学習の機会 (その他) ・ 定期的な支援
<p>⑩ 身体障害 + 知的障害 + 精神障害 (発達障害含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> (相談) ・ 相談会の開催 ・ あらゆる場面でのアドバイス (情報) ・ 地方公共団体の情報 ・ 生涯学習事業に関する啓発・周知、市民に対しての適切で多様な学習機会の提供、相談機能の充実等を図っていくこと (交流の場) ・ 話し合いの場を持てる交流 ・ 年齢に応じた交流 ・ 同年代の同レベルの障害者が集える ・ 地域内での交流 ・ 地域交流型のイベント ・ 障害のある方、施設の職員以外との関わりの場があると良い (場所、内容) ・ 普通の人と一緒に短大や専門学校に通えたらいいのに ・ 地域住民による学習の機会の提供 ・ 同胞を集めた集合学習の場を設定して欲しい ・ 体を動かす機会、資格を取得する機会 ・ 身近な学校が解放される ・ 学校の休みの間に校舎をかりて学習 ・ 職業訓練 ・ 今後、社会人として生きていける職業訓練 ・ 障害に応じた社会参加方法 ・ 自宅でできる、サポート付きの機会 ・ 持続可能な学習の場 ・ 可能な支援が明確に打ち出されているグループホーム。生活することが障害学習と捉える日中活動の機会

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関 (自宅での学習) ・ ネットでやり取りができる場 ・ オンライン学習 ・ オンラインでの授業 (その他) ・ 付き添ってくれる人 ・ サポートグループ ・ 自治体の活動、理解が不十分。もっと障害者が社会参加出来るようハード面、ソフト面で尽力頂きたい
<p>⑪ 知的障害 + 精神障害 (発達障害含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> (相談) ・ カウンセラーと相談できる (交流の場) ・ 発達障害のある学生同士が集まって意見交換する会 ・ 定期的と同じ仲間と集まれる機会 ・ 社会との繋がりを感じ取れるようなコミュニティ ・ 仕事での出来事を相談したり話し合いできる場所 ・ 休日での職場以外でコミュニティサークル等参加機会 ・ 1人になりがちなので、同じ障害の程度にあった方との交流 (場所、内容) ・ 本人しか持っていない何かを見つける事ができる機会 ・ 本人が通っていた学校等で開催してもらえると、本人が参加しやすい ・ 普通学校卒業し大人になってから診断されたため、途中からでも参加できる機会があればいい ・ 徒歩や自転車で行ける範囲に施設が欲しい ・ 通っている施設の閉所日、通っている作業所でやる機会 ・ 大学でのふれあいの場を作る ・ 卒業生を対象にした催しや、住居地域によるサークルなど余暇活動支援 ・ 学校での教育 ・ 引き続き学校教育の継続 ・ 生活介護施設で時間を取って学習の機会を得る ・ 職場体験 ・ 職場で業務の一環でそのような機会を作ってくれと嬉しい ・ 就労に結びつく学習の機会 ・ 社会参加の場、ボランティア活動等でもいいので社会と接点を持つ場を設けることは大事

区分	「生涯学習の機会」に関する主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自身が学んできたものが応用出来る機会や場所 ・ 高齢者の運動習慣を増やす機会 ・ 学習の場に行くこと自体が、生活圏を広げることにつながると思うので、生活の場以外で学習機会を作りたい ・ オンライン・対面問わず、個人レッスンなどもできるとよい (その他) ・ 専門の方による分かりやすいサポート

第4章 まとめ

1. 結果の整理

(1) 地方公共団体を対象とする調査

① 行政計画の作成状況

- ・ 障害者の生涯学習について記載している行政計画について、「計画がある」の割合は、都道府県で 95.1%、市区町村で 59.4%であった。政令指定都市、特別区が 9 割を超えたのに対し、町は 42.5%、村は 30.1%にとどまった。(図表 2-4、図表 2-82)

② 情報共有・連携の状況

都道府県

- ・ 「庁内の関係所管課間で情報共有・連携している」が 85.4%、「庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している」が 78.0%、「特に連携していない」が 7.3%であった。(図表 2-6)

※平成 29 年度調査⁵：障害者の生涯学習活動に関する連携状況について「している」と回答した割合は 71.4%

- 庁内連携：連携方法は、「個別の事業・取組みを通じて連携（68.6%）」、「行政計画作成時に情報収集・共有（54.3%）」、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり（42.9%）」の順に多く、協議の場を設けている割合は 2 割程度であった。情報共有の内容は、「各所管課で行っている個別の事業・取組み」が 82.9%で最も多く、次いで、「障害者の生涯学習に関する課題（37.1%）」、「障害者本人の生涯学習ニーズ（31.4%）」であった。(図表 2-9、図表 2-12)
- 庁外連携：連携先は、「福祉法人や NPO 法人等の民間の団体・組織等（84.4%）」、「当事者団体（56.3%）」、「特別支援学校（50.0%）」の順に多かった。連携方法は、「個別の事業・取組みを通じて連携」の割合が最も高く 71.9%であった。(図表 2-13、図表 2-14)

市区町村

- ・ 「庁内の関係所管課間で情報共有・連携している」が 34.2%、「庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している」が 25.7%、「特に連携していない」が 44.4%であった。自治体の規模が小さいほど、連携をしていない割合が高かった。(図表 2-85、図表 2-88)

※平成 29 年度調査：障害者の生涯学習活動に関する連携状況について「している」と回答した割合は、25.8%

- 庁内連携：連携方法は、「個別の事業・取組みを通じて連携（50.2%）」、「行政計画作成時に情報収集・共有（38.7%）」、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり（33.4%）」の順に多く、協議の場を設けている割合は低かった。情報共有の内容は、「各所管課で行っている個別の事業・取組み」が 82.3%で最も多く、次いで、「障害者の生涯学習に関する課題（24.9%）」、「障害者本人の生涯学習ニーズ（15.7%）」であった。(図表 2-91、図表 2-95)
- 庁外連携：連携先は、「社会福祉協議会（57.2%）」、「当事者団体（40.2%）」、「障害福祉サービス事業所（39.3%）」の順に多かった。福祉系の団体と比較すると、社会教育関係の施設等との連

⁵ 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（2018）「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書」（平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」）

携する割合は低かった。規模が小さい自治体では社会福祉協議会、規模が大きい自治体では当事者団体や特別支援学校の割合が相対的に高かった。連携方法は、「個別の事業・取組みを通じて連携（69.4%）」、「その他の打ち合わせ等、個別のやりとり（33.2%）」、「既存の協議の場を活用（24.5%）」であった。（図表 2-97、図表 2-98、図表 2-99）

③ 生涯学習ニーズの把握

- ・ 障害者の生涯学習のニーズを「把握している（一部把握も含む）」の割合は、都道府県では 87.8%、市区町村では 42.0%であった。小規模自治体では把握している割合が低く、町・村では約 7 割が把握できていなかった。把握できていない理由としては、対象者が少なくニーズ把握の機会がない、ニーズを把握する方法・仕組みが不十分、障害者に限定したニーズ把握は行っていない等が挙げられた。（図表 2-18、図表 2-105、図表 2-106、図表 2-108）
- ・ 活用状況は、都道府県、市区町村ともに、「事業・取組の検討に活用（それぞれ 94.4%、60.8%）」、「計画策定時に活用（それぞれ 52.8%、44.8%）」が多かった。「活用までには至っていない」は市区町村では 14.4%あった。（図表 2-23、図表 2-116）

④ コーディネーターの配置

- ・ 障害者の生涯学習に関するコーディネーターが「いる」割合は、都道府県では 46.3%、市区町村では 16.1%であった。社会教育主事、図書館司書、博物館の学芸員、スポーツ推進員、社会福祉協議会職員、障害福祉サービス事業所職員、就労支援コーディネーターなど様々な分野の人が、分野の特徴を活かした活動の企画、実施、調整等に従事していた。（図表 2-24、図表 2-26、図表 2-118、図表 2-121）

※平成 29 年度調査：専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担う人の有無について「いる」と回答した割合は、都道府県 2.9%、市区町村 4.2%（コーディネーターの定義が異なることに留意が必要である⁶）

⑤ 講座・プログラムの実施

- ・ 「独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している」割合は、都道府県では 63.4%、市区町村では 21.1%であった。「一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている」割合は、都道府県では 82.9%、市区町村では 54.7%であった。「上記のいずれも実施していない」割合は、都道府県では 2.4%、市区町村では 40.9%であった。「上記のいずれも実施していない」割合は、政令指定都市、特別区では 0.0%であったのに対し、町では 55.4%、村では 63.0%と小規模自治体では実施していない自治体のほうが多い実態が見られた。実施していない理由としては、ニーズがない・把握していない、体制上の課題（予算や人員、専門性等）が挙げられた。（図表 2-27、図表 2-122、図表

⁶ コーディネーターの定義は次のとおり。

平成 29 年度調査：「障害者の生涯学習活動を企画・実施するに当たって、特別支援教育や障害者福祉等の専門的知見を有するコーディネーター的な役割を担っている人」。

本調査：障害者の生涯学習の企画や調整、実施を担う人のこと。個別のニーズに対して学習機会等を紹介・コーディネートを行う場合も含む。想定される担い手としては、社会教育主事、公民館主事、図書館司書、博物館学芸員、その他の社会教育施設職員、特別支援学校教職員、大学教職員、社会福祉協議会職員、障害福祉サービス事業所職員、NPO 職員等。また、障害者の生涯学習活動のために配置していても、実態として当該機能を果たしている場合を含む。

2-124、図表 2-125)

※平成 29 年度調査：学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無について「実施している」と回答した割合は、都道府県 71.4%、市区町村 24.4%

- 障害者向けの講座・プログラム：実施内容は、都道府県、市区町村のいずれも、「本人向け講座（青年学級、オープンカレッジ等）（訪問を除く）」、「イベント・交流会」の順に多かった。（図表 2-32、図表 2-129）
- 合理的配慮等を行う講座・プログラム：実施状況は、都道府県、市区町村のいずれも、「要望があれば対応している」の割合が最も高く、それぞれ 44.1%、52.7%であった。次いで、「（参加者の要望の有無にかかわらず）一部のプログラムで行っている（それぞれ 41.2%、37.9%）」、「全ての講座・プログラムで行っている（それぞれ 11.8%、7.4%）」であった。（図表 2-35、図表 2-135）

⑥ 取組の把握、情報提供

- ・ 域内の障害者の生涯学習活動に関する取組を、「把握している（一部把握を含む）」割合は、都道府県では 63.4%、市区町村では 43.2%であった。庁内外で連携を行っている市区町村では、域内の取組を把握している割合が高かった。（図表 2-40 図表 2-144、図表 2-147）

※平成 29 年度調査：障害者の生涯学習活動に関する取組の状況の把握について「把握している」と回答した割合は、都道府県 62.9%、市区町村 29.8%

- ・ 障害者の生涯学習活動に関する情報を「提供している（一部提供を含む）」の割合は、都道府県では 84.6%、市区町村では 64.9%であった。（図表 2-44、図表 2-153）
 - 情報提供の方法：都道府県では、「関係部署に情報提供（72.7%）」、「ホームページへの掲載（59.1%）」、「関係機関や法人等の団体に情報提供（31.8%）」が多かった。市区町村では、「広報紙への掲載（56.4%）」、「ホームページへの掲載（51.6%）」、「関係部署に情報提供（35.2%）」が多かった。（図表 2-46、図表 2-158）

※平成 29 年度調査：障害者の生涯学習活動に関する情報提供の状況について「提供している」と回答した割合は、都道府県 54.3%、市区町村 25.5%

⑦ 障害者の生涯学習に関する取組の進捗状況

- ・ 取組の進捗状況 4 項目について尋ねたところ、「当てはまる」、「やや当てはまる」を足した割合は、都道府県では、「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」が 51.2%と半数を超えるが、その他の項目については、30%は超えるものの半数に満たなかった。（図表 2-47）
- ・ 市区町村では、「障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている」、「障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている」、「域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある」で 2 割超、「全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる」は、2 割に満たなかった。庁内外の連携がある自治体では、取組の進捗度が高い傾向が見られた。（図表 2-161、図表 2-163、図表 2-166、図表 2-169、図表 2-172）

⑧ 地方公共団体の支援状況

- 生涯学習活動に関わる職員を対象に、障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組状況を見ると、**都道府県**では、「研修やイベント等への参加促進（65.9%）」、「管内市区町村職員向けの研修の開催（46.3%）」、「障害者の生涯学習活動に関するコンファレンスやイベント等の開催（26.8%）」の順に多かった。**市区町村**では、「特になし」の割合が67.9%で最も高く、規模が小さい自治体ほどその割合は高くなっていった。（図表 2-48、図表 2-174、図表 2-175）
- 地域の団体・企業等に対して自治体から行っている支援は、**都道府県**、**市区町村**のいずれも、「特に行っていない」の割合が最も高く、それぞれ34.1%、54.4%であった。支援が行っている場合は、**都道府県**では、「活動内容の周知・広報（31.7%）」、「その他情報提供（26.8%）」、**市区町村**では、「活動場所の提供（24.7%）」、「活動内容の周知・広報（22.6%）」が多かった。（図表 2-50、図表 2-176）
- 都道府県**が管内の市区町村に対して行っている支援は、「その他情報提供（63.4%）」、「実践者向けの研修の開催（34.1%）」、「一般住民向けの障害への理解促進・啓発（29.3%）」の順に多かった。（図表 2-49）
- 市区町村**が本人に対して行っている支援は、「特に行っていない」が47.5%、「支援を行っていない」が35.5%であった。自治体の規模が小さいほど行っていない割合が高く、町・村の約6割は行っていなかった。（図表 2-178、図表 2-179）

⑨ 障害者の生涯学習活動を推進する上での課題

都道府県

- 生涯学習活動を推進するうえでの課題を、担当課別に見ると、「生涯学習担当課」では「ニーズの把握（73.2%）」、「文化、スポーツ、青少年育成担当課」では「ニーズの把握（58.3%）」、「予算の確保（58.3%）」、「障害福祉担当課」では「予算の確保（39.4%）」、「その他担当課」では「ニーズの把握（40.0%）」、「事業・プログラムの開発（40.0%）」、「予算の確保（40.0%）」が最も多かった。（図表 2-68）

市区町村

- いずれの課も「ニーズの把握」が最も多かった。「生涯学習担当課」、「文化、スポーツ、青少年育成担当課」は、次いで「指導者・講師の確保・養成」、「事業・プログラムの開発」が多く、4割を超えていた。「障害福祉担当課」は、次いで、「指導者・講師の確保・養成」、「予算の確保」が多く、約3割程度あった。「その他担当課」では「事業・プログラムの開発」、「指導者・講師の確保・養成」が多く、約3割程度あった。（図表 2-221）
- 具体的な課題として、ニーズの把握方法や取組を検討するうえでの事例情報等の不足、関係機関や団体との連携がなく必要な体制を構築できないこと、障害種や状態が多様な中での対象者や取組内容の設定方法等が挙げられた。特に、教育委員会の課については、ニーズ把握や連携体制の構築についての課題意識が多く見られた。（図表 2-203、図表 2-206、図表 2-208、図表 2-210、図表 2-213、図表 2-216、図表 2-218、図表 2-220）

(2) 障害者本人を対象とする調査

① 生涯学習の取組状況

1) 現在の取組状況

- ・ 「現在、生涯学習に取り組んでいる」が 20.7%、「現在、取り組んでいない」が 79.3%であった。（図表 3-76）
 - 年代：「18 歳以上 20 歳未満」は、他の年代と比較すると、取り組んでいる割合が相対的に高く、39.1%あった。年齢が上がるに伴い、取り組んでいる割合は低下する傾向が見られた。（図表 3-78）
 - 情報収集：生涯学習の情報収集の状況別に見ると、「特に情報収集は行っていない」場合には、生涯学習に取り組んでいない割合が 89.7%であった。（図表 3-85）

2) 取組の手段・場所

- ・ 生涯学習の手段や場所は、「テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習」が 41.9%で最も多く、次いで、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習（24.3%）」、「障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動（※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く）（21.9%）」であった。（図表 3-94）
 - 年代：「18 歳以上 20 歳未満」では、学校の同窓会組織等の取組への参加の割合が相対的に高かった。また、高齢になると職場での学びが減少し、地域の活動等への参加が増加する傾向が見られた。（図表 3-96）
 - 日中の過ごし方：障害サービス事業所や施設、医療機関等で過ごす人は、「障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動（※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く）」が 51.4%、自宅で過ごす人、学校や職場で過ごす人は、「テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習」がそれぞれ 47.3%、42.1%で最も多かった。（図表 3-98）
 - 支援の必要性：移動に支援が必要な場合は、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習（45.0%）」、「障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動（※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く）（39.4%）」が多く、支援者がいる環境での取組が主であった。その他の支援についても必要性が高いほど、障害福祉サービスの事業所や施設での取組が多い傾向があった。（図表 3-99、図表 3-100、図表 3-101、図表 3-102）

3) 取組の内容

- ・ 現在、取り組んでいる内容は、「余暇、レクリエーション活動（40.0%）」、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習（33.7%）」、「学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動（32.1%）」の順に多かった。その他の選択肢についても 2～4 割で回答があり、幅広い取組の状況が見られた。（図表 3-111）
 - 年代：「18 歳以上 20 歳未満」では、「学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動」が 41.5%と、他の年代と比較すると相対的に高かった。（図表 3-113）
 - 日中の過ごし方：障害サービス事業所や施設、医療機関等で過ごす人は、「余暇、レクリエーション活動（55.0%）」を中心としつつ、幅広い取組を行っていた。自宅で過ごす人は、「仲間づくり、コミュニケーション活動」が 17.1%と相対的に低かった。（図表 3-115）

4) 生涯学習に取り組んでいない理由

- ・ 取り組んでいない理由については、「どのような学習があるのか、知らない」の割合が最も高く 55.8%であった。次いで、「学習に関心を向けるだけの精神的な余裕がない (19.2%)」、「学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない (16.3%)」、「学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない (15.7%)」が多かった。(図表 3-87)
- ・ 本調査の選択肢にはなかったが、現在の生活が充実しているが故に取り組んでいない可能性があり、解釈には留意が必要である。

5) 生涯学習の機会の充足度

- ・ 生涯学習の機会の充足度について、「十分に機会はある」、「ある程度、機会はある」を足した割合（機会がある割合）は 38.2%、「あまり機会がない」、「ほとんど機会がない」を足した割合は 38.5%であった。「分からない」は 23.3%であった。(図表 3-55)

※平成 30 年度調査⁷：生涯学習の機会があると思うかを尋ねた設問で、「とてもある」、「ある」を合わせた割合は、34.3%

- 支援の必要性：外出は困難な場合、意思の伝達が難しい場合で、機会がある割合が相対的に低かった。(図表 3-61、図表 3-62)
- 情報収集・相談先：情報収集の状況、相談先の有無の状況で見ると、「情報収集を行っている／行っていた」場合、「相談できる人、団体や機関等はある」場合は、生涯学習の機会がある割合が相対的に高く、それぞれ 67.9%、52.8%であった。(図表 3-64、図表 3-65)

② 情報収集、相談の状況

1) 生涯学習に関する情報収集の状況

- ・ 「情報収集を行っている／行っていた」が 20.3%、「特に情報収集は行っていない」が 79.7%であった。(図表 3-223)
 - 年代：年代別に見ると、情報収集する割合が「18 歳以上 20 歳未満」で最も高く、34.7%であった。年齢が上がるに伴い、情報収集を行う割合は低下する傾向が見られた。(図表 3-225)
 - 障害種：重複障害のある場合は、単独障害と比較すると情報収集を行う割合が高かった。(図表 3-226)
- ・ 情報収集を行っている／行っていた場合、情報収集の手段は「インターネットの情報検索」の割合が最も高く 63.9%であった。次いで、「新聞、雑誌、書籍（専門誌含む） (32.8%)」、「自身（本人）の知人、友人等からの情報 (31.3%)」となっていた。「自治体の広報誌、HP」は 15.1%であった。(図表 3-231)
 - 年代：20 歳代までは、他の年代と比較すると、「学校や卒業後つながりがある教員等からの情報」が相対的に高かった。(図表 3-232)
- ・ 情報収集を行っている／行っていた場合、「十分ではないが、一定の情報は入手できている (46.1%)」、「必要に応じて情報を入手できている (26.6%)」であり、7 割超が情報にアクセスできていた。一方で、「あまり情

⁷ イノベーション・デザイン&テクノロジー株式会社 (2019) 「学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の障害要因・促進要因等に関する調査研究 報告書」(平成 30 年度文部科学省委託事業「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」)

報は入手できていない」が 20.9%、「まったく入手できていない」が 3.5%あり、情報が得られない理由として、情報量の少なさや、調べ方が分からない等が挙げられた。(図表 3-235、図表 3-240)

- ・ 情報収集を行ってない場合の理由は、「生涯学習自体に特に関心がない(54.7%)」、「関心はあるが、情報入手の方法が分からない(25.9%)」、「関心はあるが、情報収集する時間的な余裕がない(21.6%)」の順に多かった。(図表 3-242)

2) 生涯学習に関する相談の状況

- ・ 「相談できる人、団体や機関等はある」が42.4%、「相談できる人、団体や機関等はない」が57.6%であった。相談相手としては、「家族(59.7%)」、「障害福祉サービス事業所や施設の職員(36.3%)」、「自身(本人)の知人、友人(29.3%)」の順に多かった。(図表 3-245、図表 3-249)

③ 生涯学習のニーズ・課題

1) 今後の生涯学習ニーズ

- ・ 「生涯学習の機会、取組を増やしていきたい」は 19.3%、「現状の機会、取組を維持できればよい」は 27.3%、「減らしたい」は 4.8%、「分からない」は 48.6%であった。(図表 3-184)
 - 年代：増やしていきたい割合は、「18 歳以上 20 歳未満」で相対的に高く、年齢が上がるに伴い、各年齢階級における回答割合は低下する傾向が見られた。(図表 3-185)
 - 現在の取組状況：現在、生涯学習に取り組んでいる場合は、「生涯学習の機会、取組を増やしていきたい」は 40.8%、「現状の機会、取組を維持できればよい」は 45.8%であり、「分からない」は 8.9%にとどまった。一方で、現在取り組んでいない場合は、「分からない」が 59.0%で最も多く、生涯学習のニーズや学べる内容を具体的にイメージできていないことが推察された。(図表 3-191)

2) 取組の手段・場所

- ・ 「テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習」の割合が最も高く 42.4%、次いで、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習(35.7%)」、「図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む)(29.7%)」となっていた。現在の取組の手段、場所と比較すると、ほとんどの項目で割合が高く、多様な場での学習の機会が期待されていた。(図表 3-193)
 - 支援の必要性：移動に支援が必要な場合、外出が困難な場合、初めての場所や環境への対応が難しい場合は、「支援者等の訪問による自宅や施設での学習」、「障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く)」が多く、支援者がいる環境での取組ニーズが高かった。(図表 3-196、図表 3-197、図表 3-199)

3) 取組の内容、重要視すること

- ・ 「健康の維持・増進、スポーツ活動(46.9%)」、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習(46.9%)」、「スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習(46.5%)」、「余暇、レクリエーション活動(43.6%)」の順に多かった。全ての選択肢で 3 割を超えており、ニーズは多岐にわたっていた。(図表 3-200)
- ・ 生涯学習に取り組む際に重要視することとしては、「自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか」の割合が最も高く 44.4%となっている。次いで、「日常生活をより充実させる内容かどうか(43.9%)」、「自身(本人)

の心身の状態に合っているかどうか(33.5%)」となっている。(図表 3-207)

- 支援の必要性：移動や外出で支援が必要な人、初めての場所や環境への対応が難しい人ほど、「自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか」、「自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか」の割合が高い傾向が見られた。(図表 3-210、図表 3-211、図表 3-213)

4) 課題

- ・ 「特に課題はない」の割合が最も高く 32.8%であった。次いで、「自身(本人)の障害によって参加をためらう(21.7%)」、「会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい(14.0%)」が多かった。支援の必要性が高い場合、年齢が低い場合、重複障害の場合で、「特に課題はない」の割合が低い傾向が見られており、これらの属性では状態像に応じて様々な課題が挙げられていた。(図表 3-214、図表 3-215、図表 3-216、図表 3-217、図表 3-218、図表 3-220)
- ・ 身近な人が考える必要な支援として、学びの機会として、同じような障害を持つ人との交流、自宅、地域や公的施設、職場、障害福祉サービス事業所等における多様な学びの機会、オンライン等も活用した大学での学びの機会等が挙げられた。また、学びの支援として、情報提供や相談支援の機会、意思確認の支援、ボランティアによる学習支援の充実などが挙げられた。

2. 今後に向けて

本事業では、令和元年に発出された通知「障害者の生涯学習の推進方策について」を受け、地方公共団体が、障害者の生涯学習の重要性を認識し、着実に基盤整備を進める実態が明らかになった。平成 29 年度に行われた調査⁸と比較すると、連携、地域の取組の把握、コーディネーターの配置等の項目で実施率は高まっている。特に、障害者の生涯学習について記載のある行政計画が、都道府県の9割超、市区町村の約6割で作成されており、計画に基づき、今後も継続的に取組が推進されることが推察できる。

このように地方公共団体における取組には、定量的な進捗が見えた一方で、自由記述や詳細な取組状況からは、実効性の観点からその内容について、さらなる取組の深化が必要と考えられた。ここでは、本事業で得られた情報を踏まえ、障害者の生涯学習の推進に向けた今後の課題について取りまとめる。

① 庁内外の連携体制の構築

障害者の生涯学習では、ニーズ把握や支援、ノウハウ共有の観点から、分野の垣根を超えて関係者が協働することが必要不可欠である。連携に取り組む団体の増加は見られたが、庁内連携では、個別の事業・取組の情報共有が主であり、課題やニーズの共有、取組内容の協議等には至っていない。また、庁外連携でも、地域全体の協議の場が設定される例は限られており、一部の団体との個別の連携が中心であった。

庁内連携では、所管課ごとに課題意識が異なっており、分野ごとに強み、弱みがあると考えられる。今後は、情報共有から一歩踏み込み、各所管課の強み、特徴を活かした企画立案や実施につながる連携が期待される（例えば、福祉担当課からのニーズ情報の共有や障害福祉事業所等の紹介、社会教育担当課からの社会教育施設や生涯学習の講師の紹介等）。

庁外連携では、庁内外の関係機関が集まるコンソーシアムの構築で連携の量、質がともに拡大した事例が見られた。各地域において、障害者の生活、労働、教育にかかわる多機関が集まる場を設定し、障害者の生涯学習の周知、取組の検討等を行うことが期待される。

なお、障害者の生涯学習について、庁内職員／庁外関係機関の意識が醸成されている自治体は2割強であり、意識の低さが連携上の課題となることも想定できる。引き続き、社会的気運を高める取組も重要と考えられる。

② ニーズの把握とプログラムの充実

本人調査では、自宅での学習支援、同好者のサークル活動、地域の催しへの参加、社会教育施設や職場、学校での学習など多様なニーズが見られたが、市区町村の取組は講義、イベント・交流会が中心となっていた。今後、地域の団体と協力するなどして、障害者のニーズや希望に対応する事業・プログラムの充実が求められる。

事業・プログラムの実施にあたっては、地方公共団体から、様々な障害種でのニーズ把握や活動の創出、指導者・講師の確保等で課題が挙げられた。本調査で、1か所の公民館が当事者団体と協力して取組をスタートする動きがあったように、関係機関の協力を受けながら小規模に始め、実践を重ねる中で取組の拡大を目指す方向性は十分考えられる。事業を通じてノウハウの習得や人材育成を推進する視点を持ち、把握したニーズからまずは着手することが期待される。

⁸ 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（2018）「「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」報告書」（平成 29 年度文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」）

また、障害分野では対象もニーズも個別性が高いことから、多様なニーズに対応するために、所管課以外の部署や事業も活用することが効果的である。介護保険分野では、地域の活動や担い手を発掘・開発する生活支援コーディネーターといった取組もあり、このような施策との連動も各地域で検討されたい。

一般的な生涯学習の講座・プログラムを、合理的配慮等により障害者も参加できるようにしている地方公共団体は多く見られたが、約半数は要望があれば対応するという状況にある。インクルージョン推進の観点からは、障害の有無にかかわらずともに学び、楽しむ機会の創出は重要である。障害者本人に、合理的配慮の情報が伝達されているか、参加の意思や要望を示せる仕組みがあるか、実効性の観点から確認し、必要に応じて改善することが期待される。

③ 生涯学習に関する普及啓発、情報提供

本人調査によると、現在生涯学習に取り組んでいる人は、情報収集のもと活動に取り組み、今後の活動の維持、増加を望んでいた。一方で、生涯学習に取り組んでいない人（回答者の 79.3%）は、取り組まない理由として「どのような学習があるのか知らない」、今後のニーズとして「分からない」という回答が最も多く、生涯学習のイメージを醸成できていない実態が窺えた。障害児に対しては、学習指導要領に基づき、特別支援学校から情報提供が行われているが、卒業後の障害者に対しても、国、地方公共団体からの普及啓発が必要と考えられる。

また、情報提供の方法については、地方公共団体と障害者本人でミスマッチが生じている。市区町村は主に、広報紙やホームページを活用しているが、情報収集の際にこれらを確認した割合は 15.1%にとどまった。主にインターネット検索で情報収集が行われているが、行政機関の情報は検索エンジンで上位に上がりづらいという課題がある。時間がなくとも容易に情報にたどり着けるよう、情報提供の在り方について検討が必要である。例えば、大分県、兵庫県等で取り組まれている一元化した情報サイトなど、今後は、障害者の生涯学習の一元的な情報収集・情報提供、相談支援を受け付ける窓口の設置等が期待される。

④ 市区町村と都道府県の連携

本調査では、規模の小さい自治体では、予算や人員の確保、専門性のある支援者の不足等の課題により、基盤整備が進んでいない実態が明らかになった。特に、職員向け研修を町、村の 7 割超が行えておらず、人材育成や普及啓発の面での課題は大きいと考えられた。小規模な自治体は地域資源も乏しいことから、取組の実施に向けては広域での支援が必要である。

障害者の生涯学習については、所管課が社会教育分野、福祉分野、生活分野等の多岐にわたることから、都道府県と市区町村の連携は難しい側面がある。しかしながら、未だ独力では取組が行えていない市区町村がある中で、都道府県には、障害者の生涯学習にかかるコーディネーターを積極的に配置し、域内の市区町村に対して重要性の周知、情報提供や人材育成、講師派遣等、専門的な支援や連携の強化をおこなうことが期待される。小規模自治体が近隣自治体と合同で取組を実施する事例もあり、このような連携を都道府県が後方支援することも想定される。

⑤ 今後の調査研究について

地方公共団体を対象とした調査では、障害者の生涯学習の取組状況について網羅的な実態把握を行ったが、量的な調査では詳細な取組内容の把握が困難であった。課題を抱える地方公共団体への示唆を得るため、地方公共団体が主体的に取り組む事例、広域連携で取組を推進する事例等を収集し、体制構築や連携のプロセス等を広く共

有することが必要と考えられる。

また、障害者本人を対象とした調査では、今回の調査で、生涯学習活動への参加経験のある人の状況について回答を得られたが、生涯学習を行っていない人が多い現状においては、その状況把握や取組のない要因分析を行うとともに、生涯学習活動に対するイメージや意欲を創出するためのポイントなど、普及啓発につながる情報収集が重要であると考えられる。

参考資料（調査票）

地方公共団体を対象とする調査 調査票

1. 基本情報

問	設問	形式	選択肢
1	自治体種別	SA	1. 都道府県 2. 政令指定都市 3. 中核市 4. 特別区 5. その他の市 6. 町 7. 村
2	【市区町村のみ】 市区町村名（政令指定都市における区は除く）	FA	（ ） ※都道府県名は最後に設問
3	【市区町村のみ】 障害者手帳保有人数（令和3年度末時点） ※ご回答が難しい場合は空欄 ※数を把握しているが該当する人数がない場合は「0」をご回答	NA	身体障害者手帳（ ）人 療育手帳（ ）人 精神障害者保健福祉手帳（ ）人
4	管内の社会教育関連施設	MA	1. 公民館（類似施設含む）※市区町村のみ 2. 図書館 3. 博物館・博物館類似施設 4. 青少年教育施設 5. 社会体育施設 6. 文化会館（文化ホール）等 7. 生涯学習センター 8. その他（ ）

2. 障害者の生涯学習の促進における庁内体制や連携状況

【本調査における障害者について】

- 本アンケート調査では、視覚障害、聴覚障害、身体障害（内部障害、肢体不自由等を含む）、知的障害、精神障害、発達障害、医療的ケアを必要とする方等、18歳以上の障害者全般を対象としています。

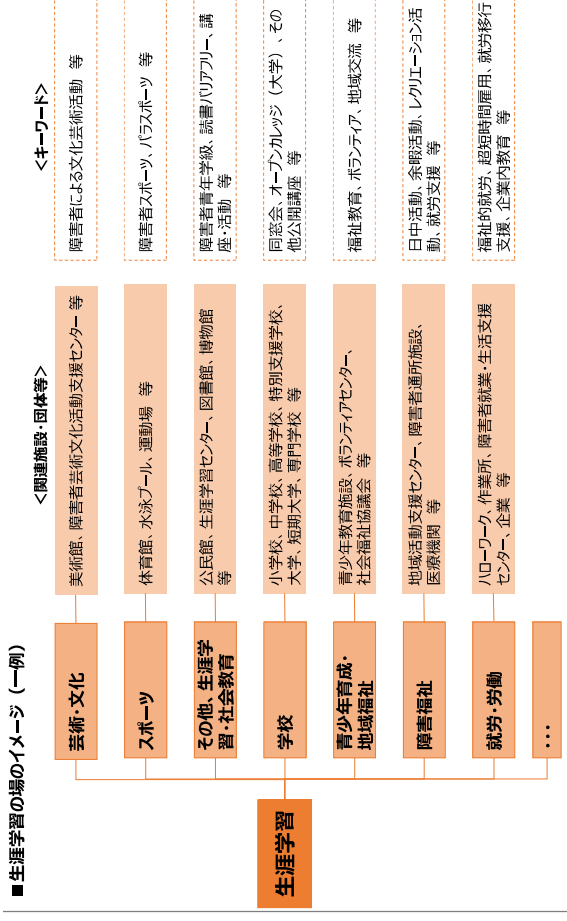
【本調査における生涯学習について】

- 生涯学習とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます（文部科学白書）。
- 以降の「障害者の生涯学習活動」とは、障害者の学校教育課程（授業等）以外での学習文化活動の機会、社会参加の機会全般を想定しております。
- 生涯学習（学習や活動、社会参加の機会）とは、自宅でのテレビやインターネットを活用した学びや、公民館や生涯学習センター、カルチャー教室などの講座や活動、学校・大学等での公開講座への参加や、図書館・博物館

等の利用、生活介護や施設入所支援といった障害福祉サービス利用時の余暇活動やレクリエーション活動の機会といった、学習の機会全般を指します。

- 障害者の生涯学習の場は多岐にわたりますが、一例として以下をお示します。

■ 生涯学習の場のイメージ（一例）



※ただし、医師や看護師、理学療法士、作業療法士などの専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く。

問	設問	形式	選択肢
5	「障害者の生涯学習」の担当課を教えてください ※障害者の生涯学習に関する取組みのある所管課全般を「担当」	MA	1. 教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 2. 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 3. 1, 2, 以外の教育委員会の担当課 4. 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 5. 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 6. 障害福祉担当課 7. 6, 以外の福祉担当課 8. 1, ~7, 以外のその他の担当課
6	Q5 でご回答いただいた担当課のうち、主担当課を教えてください ※障害者の生涯学習に関する取組みを内外で推進・検討する役割を担う部署を「主担当」 ※担当が1か所の場合、主担当に同じ選択肢をご回答いただき、複数の担当課が担当し担当と主担当が分かれていない場合は、「なし」を選択。	SA	1. 教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 2. 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 3. 1, 2, 以外の教育委員会の担当課 4. 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 5. 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 6. 障害福祉担当課 7. 6, 以外の福祉担当課 8. 1, ~7, 以外のその他の担当課 9. なし

※次の Q6 では、Q5 で選択いただいた担当課を表示します。
選択肢欄がないようご留意ください。

問	設問	形式	選択肢
7	※Q5で選択いただいた担当課を表 示しています 障害者の生涯学習について記載して いる行政計画の有無 ※生涯学習推進計画、社会教育計画、教育 振興基本計画、特別支援教育計画、スポー ツ振興計画、文化芸術振興計画、障害者基 本計画、地域福祉計画、読書/バリアフリー 推進計画等、計画の種類は問いません	SA	1. 計画がある 2. 計画はない 3. わからない
8	【Q7で1.を回答した場合（計画が ある場合）】 計画の種類	MA	1. 生涯学習、社会教育に関する計画 2. 上記を除く文化、芸術、スポーツに関する計画 3. 上記を除くその他の教育に関する計画 4. 障害福祉に関する計画 5. 4.を除くその他福祉に関する計画 6. その他（ ）
9	貴自治体において、障害者の生涯学 習活動に関して首長部局及び教育委 員会等の関係部局（生涯学習、教育、 文化、スポーツ、福祉、労働等）や特 別支援学校、大学、企業、社会福祉法 人、NPO法人等の関係機関・団体等 と情報共有・連携しているか ※関係機関、庁外の団体：社会教育施設、 教育機関、障害福祉サービス事業所、社会 福祉協議会、企業等 ※障害者の学び、生涯学習をテーマに、協 議の場で多部門による協議が行われてい る場合も含む	MA	1. 庁内の関係所管課間で情報共有・連携している 2. 庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間 で情報共有・連携している 3. 特に連携していない（同時選択不可） 4. 把握していない（同時選択不可） ※以降のQ10～19は、選択いただいた選択肢に応じて 表示されます。選択漏れがないようにご留意ください。

■Q9で「1. 庁内の関係所管課間で情報共有・連携している」を回答している方にお尋ねします

※Q10～14は、庁内の関係所管課間での情報共有・連携についてご回答ください

問	設問	形式	選択肢
10	【Q9で1.を選んだ場合（関係所管 課間で情報共有・連携している場 合）】 主に情報共有・連携している所管課 ※情報共有・連携している所管課全てを 記載（回答いただいている課が情報共有・ 連携している場合、回答いただいている 課も含めてご回答ください）	MA	1. 教育委員会生涯学習、社会教育担当課 2. 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 3. 1.、2.以外の教育委員会の担当課 4. 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 5. 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 6. 障害福祉担当課 7. 6.以外の福祉担当課 8. 1.～7.以外のその他の担当課
11	【Q9で1.を選んだ場合（関係所管 課間で情報共有・連携している場 合）】 連携方法	MA	1. 障害者の生涯学習に関する協議の場を活用（既存の 会議体に専門部会等の設置を含む） 2. 1を除く既存の協議の場を活用（生涯学習、社会教 育、学校教育、児童福祉、障害福祉等）

問	設問	形式	選択肢
12	※既存の協議の場について、専門部会ま ではないが、障害者の学び、生涯学習をテ ーマに、多部門による協議が行われてい る場合、「2」をご回答ください	MA	3. 個別の事業・取組みを通じて連携 4. 行政計画作成時に情報収集・共有 5. 上記以外の打ち合わせ等、個別のやりとり 6. その他（ ） 1. 生涯学習・社会教育に関する協議の場（例：生涯学習 審議会、社会教育審議会、公民館運営審議会、図書館協議会、 博物館協議会等） 2. 学校教育や児童福祉に関する協議の場（例：特別支援 教育連絡協議会、学校運営協議会、要保護児童対策地域協議会 等） 3. 障害福祉に関する協議の場（例：自立支援協議会、医療 的ケア協議会等） 4. その他福祉に関する協議の場 5. その他（ ）
13	【Q11で1.、2.を回答した場合（協 議の場がある場合）】 これまでの主な検討内容 ※回答欄はQ11の回答に応じて表示	FA	■障害者の生涯学習に関する協議の場での検討内容 （ ） ■上記を除く既存の協議の場での検討内容 （ ）
14	【Q9で1.を回答した場合（関係所 管課間で情報共有・連携している場 合）】 共有している内容	MA	1. 障害者本人の生涯学習二一ズ 2. 障害者の生涯学習に関する課題 3. 各所管課で行っている個別の事業・取組み 4. 3.を除く域内の取組み 5. その他（ ）

■Q9で「2. 庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体等間で情報共有・連携している」を回答している方にお尋
ねします

※Q15～19は、庁内の関係所管課以外の関係機関、庁外の団体間での情報共有・連携についてご回答ください

問	設問	形式	選択肢
15	【Q9で2.を選んだ場合（関係所管 課以外の関係機関、庁外団体等と連 携している場合）】 主に情報共有・連携している関係機 関・団体	MA	1. 公民館（類似施設含む）※市区町村のみ 2. 図書館 3. 博物館・博物館類似施設 4. 社会体育施設 5. 生涯学習センター 6. その他社会教育施設（青少年教育施設、文化会館・ 文化ホール等） 7. 小学校、中学校、高等学校 8. 特別支援学校 9. 大学、短期大学、専門学校 10. その他教育機関 11. 社会福祉協議会 12. 障害福祉サービス事業所 13. 当事者団体（親の会や家族会等を含む） 14. 上記を除く、福祉法人やNPO法人等の民間の団 体・組織等

問	設問	形式	選択肢
16	【Q9で2.を回答した場合（関係所管課以外の関係機関、庁外団体等と連携している場合）】 連携方法 ※既存の協議の場について、専門部会まではないが、障害者の学び・生涯学習をテーマに、多部門による協議が行われている場合、「2」をご回答ください	MA	15. その他（ ） 1. 障害者の生涯学習に関する協議の場を活用（既存の会議体・専門部会等の設置を含む） 2. 1を除く既存の協議の場を活用（生涯学習、社会教育、学校教育、児童福祉、障害福祉等） 3. 個別の事業・取組みを通じて連携 4. 行政計画作成時に情報収集・共有 5. 上記以外の打ち合わせ等、個別のやりとり 6. その他（ ）
17	【Q16で2.を回答した場合（既存の場を活用している場合）】 主な場所	MA	1. 生涯学習・社会教育に関する協議の場（例：生涯学習審議会、社会教育審議会、公民館運営審議会、図書館協議会、博物館協議会等） 2. 学校教育や児童福祉に関する協議の場（例：特別支援教育連携協議会、学校運営協議会、要保護児童対策地域協議会等） 3. 障害福祉に関する協議の場（例：自立支援協議会、医療的ケア児協議会等） 4. その他福祉に関する協議の場 5. その他（ ）
18	【Q16で1, 2.を回答した場合（協議の場がある場合）】 これまでの主な検討内容 ※回答欄はQ16の回答に応じて表示	FA	■障害者の生涯学習に関する協議の場での検討内容（ ） ■上記を除く既存の協議の場での検討内容（ ）
19	【Q9で2.を回答した場合（関係所管課以外の関係機関、庁外団体等と連携している場合）】 共有している内容	MA	1. 障害者本人の生涯学習二一ズ 2. 障害者の生涯学習に関する課題 3. 各所管課で行っている個別の事業・取組み 4. 3.を除く域内の取組み 5. その他（ ）

3. 障害者の二一ズの把握状況

問	設問	形式	選択肢
20	障害者の生涯学習（学習機会、文化、スポーツ、労働等）二一ズを把握しているか ※所管課は問いません	SA	1. 把握している（一部把握も含む） 2. 把握していない
21	【Q20で2.を回答した場合（把握していない場合）】 その理由	FA	
22	【Q20で1.を回答した場合（把握している場合）】 二一ズを把握している部署	MA	1. 教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 2. 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 3. 1, 2.以外の教育委員会の担当課 4. 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 5. 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 6. 障害福祉担当課 7. 6.以外の福祉担当課

問	設問	形式	選択肢
23	【Q20で1.を回答した場合（把握している場合）】 把握している二一ズの障害種別	MA	8. 1.～7.以外のその他の担当課 1. 視覚障害 2. 聴覚障害 3. 肢体不自由 4. 内部障害 5. 知的障害 6. 精神障害（発達障害を除く） 7. 発達障害 8. 医療的ケアを必要とする方 9. その他（ ） 10. わからない（同時選択不可）
24	【Q20で1.を回答した場合（把握している場合）】 障害者の生涯学習二一ズを把握するために行った（いる）こと	MA	1. 当事者向けのアンケート調査（受講者・参加者アンケートを除く） 2. 当事者団体や関係団体・福祉施設等へのヒアリング 3. 上記を除き、個別の取組みや学習機会に参加する当事者等から聞き取り（受講者・参加者アンケートを含む） 4. 福祉分野における相談等の支援の中で把握 5. その他（ ）
25	【Q20で1.を回答した場合（把握している場合）】 把握した二一ズの活用状況	MA	1. 計画策定時に活用 2. 事業・取組みの検討に活用 3. その他（ ） 4. 活用までには至っていない

4. 障害者の生涯学習に関する取組み状況

(1) コーディネーターの配置状況

問	設問	形式	選択肢
26	貴自治体において、障害者の生涯学習活動を企画・実施するにあたって、コーディネーター的な役割を担っている人※がいますか。 ※「コーディネーター的な役割を担っている人」とは、障害者の生涯学習の企画や調整、実施を担う人のこと。個別の二一ズに対して学習機会等を紹介・コーディネートを行う場合も含む。想定される担い手としては、社会教育主事、公民館主事、図書館司書、博物館学芸員、その他の社会教育施設職員、特別支援学校教職員、大学教職員、社会福祉協議会職員、障害福祉サービス事業所職員、NPO職員等。 ※障害者の生涯学習活動のために配置し、いなくても、実態として当該機能を果たしている場合は「1」を回答。	SA	1. いる 2. いない

問	設問	形式	選択肢
27	【いる場合】 コーディネーターの職種、果たしている機能・役割を教えてください	FA	職種：() 果たしている機能・役割：()

(2) 貴自治体における障害者の生涯学習活動に関する取組状況

本節の一部の設問では、貴自治体で行っている「合理的配慮等」についてお尋ねします。

本アンケートにおいて、「合理的配慮等」とは、「事前に障害者が参加することを想定し、情報保障やアクセシビリティ（年齢や障害の有無に関係なく、誰でも必要とする情報・活動に簡単にたどり着け、利用できること）等が配慮されていること」としています。

(例)

・セミナー開催時に、障害者の障害特性に応じて座席を決める（字幕を投影、手話通訳の確保等）

・筆談、読み上げ、手話などを用いて意思疎通する

・電子媒体の資料データを提供する

・パンフレットや資料等にフリガナを振る（概要版を作成する）

・段差がある場合にスロープ等を使って補助する / など

(参考) 内閣府「合理的配慮」を知っていますか? ; 内閣府「障害者差別解消法【合理的配慮の提供等事例集】」

問	設問	形式	選択肢
28	貴自治体において、学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムを実施しているか	MA	1. 独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している 2. 一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できている 3. 上記のいずれも実施していない（同時選択不可） ※以降の Q29～37 は、選択いただいた選択肢に応じて表示されます。選択漏れがないようにご留意ください。
29	【Q28で、1. 2. のいずれか、もしくは両方を実施していない場合】 その理由 ※Q28で「1.」のみを回答した場合は、「2.」を実施していない理由、Q28で「2.」のみを回答した場合は、「1.」を実施していない理由、「3.」を回答した場合は、いずれも実施していない理由をご回答ください	FA	

■ 貴自治体独自に障害者向けの講座・プログラムを実施している場合

問	設問	形式	選択肢
30	【Q28で1.を回答した場合（障害者向けの講座・プログラムを実施している場合）】	NA	() ※数字を入力

問	設問	形式	選択肢
	※連続で開催される講座等の場合、開校・開催回数ではなく、講座・プログラム数をカウント		
31	【Q28で1.を回答した場合（障害者向けの講座・プログラムを実施している場合）】 講座・プログラムの種別	MA	1. 本人向け講座（青年学級、オープンカレッジ等）（訪問を除く） 2. 訪問型の本人向け講座 3. 居場所づくり（カフェ、フリースペース等） 4. 上記を除くサークル活動の支援 5. 上記を除くイベント・交流会 6. 就職・就労支援（フォアマルサービスを除く） 7. その他（) 1. 公民館（類似施設含む）※市区町村のみ 2. 図書館 3. 博物館・博物館類似施設 4. 社会体育施設 5. 生涯学習センター 6. その他社会教育施設（青少年教育施設、文化会館・文化ホール等） 7. 小学校、中学校、高等学校 8. 特別支援学校 9. 大学、短期大学、専門学校 10. その他教育機関 11. 社会福祉協議会 12. 障害福祉サービス事業所 13. 当事者団体（親の会や家族会等を含む） 14. 上記を除く、福祉法人やNPO法人等民間の団体・組織等 15. 自治体の担当課が直接実施 16. その他（)
32	【Q28で1.を回答した場合（障害者向けの講座・プログラムを実施している場合）】 講座・プログラムの実施主体 ※講座・プログラムを委託している場合は委託先を回答	MA	
33	【Q28で1.を回答した場合（障害者向けの事業・プログラムを実施している場合）】 取組みの対象としている主な障害種別 ※主な対象として想定している障害種をご回答ください ※複数の取組みがある場合は当てはまるものすべてに○	MA	1. 視覚障害 2. 聴覚障害 3. 肢体不自由 4. 内部障害 5. 知的障害 6. 精神障害（発達障害を除く） 7. 発達障害 8. 医療的ケアを必要とする方 9. その他（)

■ 一般的な生涯学習関連講座・プログラムにおいて、合理的配慮等を行い、障害者も参加できるようにしている場合

問	設問	形式	選択肢
34	【Q28で2.を回答している場合（合理的配慮等を行う講座・プログラム等の実施状況について、最もあて	SA	1. 全ての講座・プログラムで行っている 2. （参加者の要望の有無にかかわらず）一部のプログラムで行っている 3. 要望があれば対応している

問	設問	形式	選択肢
	はまるもの1つを選択		4. その他 ()
35	【Q28で2.を回答した場合(合理的配慮等を行っている場合)】 講座・プログラムの実施主体	MA	1. 公民館(類似施設含む) ※市区町村のみ 2. 図書館 3. 博物館・博物館類似施設 4. 社会体育施設 5. 生涯学習センター 6. その他社会教育施設(青少年教育施設、文化会館・文化ホール等) 7. 小学校、中学校、高等学校 8. 特別支援学校 9. 大学、短期大学、専門学校 10. その他教育機関 11. 社会福祉協議会 12. 障害福祉サービス事業所 13. 当事者団体(親の会や家族会等を含む) 14. 上記を除く、福祉法人やNPO法人等民間の団体・組織等 15. 自治体の担当課が直接実施 16. その他 ()
36	【Q28で2.を回答した場合(合理的配慮等を行っている場合)】 配慮している障害種別 ※主な対象として想定している障害種を ご回答ください ※複数の取組みがある場合は当てはまる ものをすべてに○	MA	1. 視覚障害 2. 聴覚障害 3. 肢体不自由 4. 内部障害 5. 知的障害 6. 精神障害(発達障害を除く) 7. 発達障害 8. 医療的ケアを必要とする方 9. その他 ()
37	【Q28で2.を回答した場合(合理的配慮等を行っている場合)】 行なっている主な合理的配慮等の内 容・工夫をご回答ください。 (例)①公民館の講座において、参加者に 配慮した会場の選定を行っている。②オ ンラインセミナー時に字幕を付けてい る。③館内の移動が難しい障害者向けの 導線確保している等 ※特定の障害種に対して行っている配慮 等の場合は、配慮している障害種も併せ てご回答ください	FA	

(3) 障害者の生涯学習活動に関する把握・情報提供の状況

本節「(3) 障害者の生涯学習活動に関する把握・情報提供の状況」は、Q6で回答いただいた「障害者の生涯学習」主担当課にお尋ねします。
Q6で「なし」をご回答された自治体の方は、以下の設問(Q39～44)に回答できる担当課よりご回答いただきますようお願いいたします。

問	設問	形式	選択肢
38	【Q6で「なし」を回答した場合】 Q39～44の回答部署	SA	1. 教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 2. 教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 3. 1. 2. 以外の教育委員会の担当課 4. 教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 5. 教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 6. 障害福祉担当課 7. 6. 以外の福祉担当課 8. 1. ～7. 以外のその他の担当課
39	域内の障害者の生涯学習活動に関する取組みを把握しているか	SA	1. 把握している(一部把握を含む) 2. 把握していない
40	【Q39で2.を回答した場合(把握していない場合)】 その理由	FA	
41	【Q39で1.を回答した場合(把握している場合)】 把握している障害者の生涯学習活動の実施主体 ※一部の活動・取組みでも把握している場合、当該選択肢をご回答ください	MA	1. 公民館(類似施設含む) ※市区町村のみ 2. 図書館 3. 博物館・博物館類似施設 4. 社会体育施設 5. 生涯学習センター 6. その他社会教育施設(青少年教育施設、文化会館・文化ホール等) 7. 小学校、中学校、高等学校 8. 特別支援学校 9. 大学、短期大学、専門学校 10. その他教育機関 11. 社会福祉協議会 12. 障害福祉サービス事業所 13. 当事者団体(親の会や家族会等を含む) 14. 上記を除く、福祉法人やNPO法人等民間の団体・組織等 15. その他 ()
42	障害者の生涯学習活動に関する情報提供の有無	SA	1. 提供している(一部提供を含む) 2. 提供していない
43	【Q42で1.を回答した場合(提供している場合)】 提供方法	MA	1. 広報紙への掲載 2. ホームページへの掲載 3. 上記を除くパンフレットや一覧等の作成 4. 関係部署に情報提供 5. 上記を除く関係機関や法人等の団体に情報提供 6. その他 ()
44	障害者の生涯学習に関する取組みの進捗状況とし	SA	【回答欄】 1 2 3 4 5

問	設問	形式	選択肢
	て、各項目について、最も当てはまるもの1つをお選びください。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者の生涯学習に対して、庁内職員の意識が醸成されている 2. 障害者の生涯学習に対して、庁外関係機関の意識が醸成されている 3. 全庁的に、障害者の生涯学習活動に対して意欲的に取り組んでいる 4. 貴自治体の域内で、障害者のニーズに応じた生涯学習機会がある <p>【選択肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当てはまる 2. やや当てはまる 3. やや当てはまらない 4. 当てはまらない 5. わからない

5. 貴自治体における支援状況

問	設問	形式	選択肢
45	生涯学習活動に関わる職員を対象に、障害者の生涯学習活動について理解を図るための取組みについて、当てはまるもの全てを選択※研修の開催について、障害者の生涯学習をテーマとした研修から、既存の研修に障害に関するコマや内容を盛り込んでいる場合も含む※コンファレンスやイベント等について、職員以外の参加対象者を想定している場合でも、対象に職員を含めて開催している場合は回答に含む	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 庁内職員向けの研修の開催 2. 管内市区町村職員向けの研修の開催※都道府県のみ 3. 上記を除く、障害者の生涯学習活動に関するコンファレンスやイベント等の開催 4. 上記のような研修やイベント等への参加促進 5. その他 () 6. 特に行っていない (同時選択不可)
46	【都道府県のみ】 障害者の生涯学習推進において、管内の市区町村に対して行っている支援について、当てはまるもの全てを選択	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 財政的支援 2. 活動場所の提供 3. 実践者向けの研修の開催 4. 一般住民向けの障害者の理解促進・啓発 5. 上記を除く情報提供 6. 管内市区町村等の交流機会の提供 7. その他 () 8. 特に行っていない (同時選択不可)
47	地域の団体や企業、関係機関等が障害者向けの事業・プログラムを実施する場合や、合理的配慮を行う場合等、地域の団体・企業等に対して貴自治体から行っている支援について、当てはまるもの全てを選択	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 財政的支援 2. 活動場所の提供 3. 実践者向けの研修の開催 4. 上記を除く情報提供 5. 地域団体等の交流機会の提供 6. 活動内容の周知・広報

問	設問	形式	選択肢
			<ol style="list-style-type: none"> 7. その他 () 8. 特に行っていない (同時選択不可)
48	【市区町村のみ】 障害者が生涯学習活動に参加するた めに、本人に対して行っている支 援状況 (例：個別の相談対応、移動手 段の確保 等)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援を行っている 2. 特に行っていない 3. わからない
49	【Q48で1.を回答した場合 (支援を 行っている場合)】 行っている主な支援の内容をご回答 ください。 (例) ①障害者スポーツイベント等で、外 出困難者の移動支援を提供。②相談に応 じて目的が達成できよう福祉用具を調 整。③個別のニーズに応じた活動・団体等 を紹介 等	FA	

6. その他の工夫や課題等

問	設問	形式	選択肢
50	貴自治体において、障害者の生涯学 習活動を推進する上で行っている工 夫・その他の取組みがあればご回答 ください。 ※特がない場合は空欄で結構です。 ※複数の項目で共通する内容はいずれか の枠で1度だけご回答いただければ結構 です。	FA	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基盤整備に関すること (庁内体制の構築、人材育成等) ■ 障害者本人への相談支援に関すること ■ 障害者の生涯学習機会拡充に関すること ■ その他

Q51～Q58は、Q5で回答いただいた全ての「担当課」にお尋ねします。

問	設問	形式	選択肢
51	貴自治体において、障害者の生涯学習活動を推進する上で課題となっていること ＜お尋ねする対象＞ Q5で担当と回答したすべての担当課にお尋ねします。(Web上では、Q5でご回答いただいた部署に対する設問のみ表示されます。) 1.教育委員会の生涯学習、社会教育担当課 2.教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課 3.1, 2, 以外の教育委員会の担当課 4.教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課 5.教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課 6.障害福祉担当課 7.6, 以外の福祉担当課 8.1, ~7, 以外のその他の担当課	形式	<p>Q51：教育委員会の生涯学習、社会教育担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備 9. 関係所管課との連携 10. 9.を除く関係機関、団体等との連携 11. その他 () 12. 課題になっていない (同時選択不可) 13. わからない (同時選択不可) 14. 回答が得られない (同時選択不可) <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q52：教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備 9. 関係所管課との連携 10. 9.を除く関係機関、団体等との連携 11. その他 () 12. 課題になっていない (同時選択不可) 13. わからない (同時選択不可) 14. 回答が得られない (同時選択不可) <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q53：1, 2, 以外の教育委員会の担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備
58		形式	<p>Q54：教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備 9. 関係所管課との連携 10. 9.を除く関係機関、団体等との連携 11. その他 () 12. 課題になっていない (同時選択不可) 13. わからない (同時選択不可) 14. 回答が得られない (同時選択不可) <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q55：教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備 9. 関係所管課との連携 10. 9.を除く関係機関、団体等との連携 11. その他 () 12. 課題になっていない (同時選択不可) 13. わからない (同時選択不可) 14. 回答が得られない (同時選択不可) <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q56：障害福祉担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発

問	設問	形式	選択肢
		形式	<p>9. 関係所管課との連携</p> <p>10. 9.を除く関係機関、団体等との連携</p> <p>11. その他 ()</p> <p>12. 課題になっていない (同時選択不可)</p> <p>13. わからない (同時選択不可)</p> <p>14. 回答が得られない (同時選択不可)</p> <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q54：教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備 9. 関係所管課との連携 10. 9.を除く関係機関、団体等との連携 11. その他 () 12. 課題になっていない (同時選択不可) 13. わからない (同時選択不可) 14. 回答が得られない (同時選択不可) <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q55：教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発 3. 2.を除く生涯学習機会の充実 4. 予算の確保 5. 活動に関する情報収集・提供 6. 指導者・講師の確保・養成 7. 6.を除くボランティアの確保・養成 8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備 9. 関係所管課との連携 10. 9.を除く関係機関、団体等との連携 11. その他 () 12. 課題になっていない (同時選択不可) 13. わからない (同時選択不可) 14. 回答が得られない (同時選択不可) <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q56：障害福祉担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズの把握 2. 事業・プログラムの開発

問	設問	形式	選択肢
			<p>3. 2.を除く生涯学習機会の充実</p> <p>4. 予算の確保</p> <p>5. 活動に関する情報収集・提供</p> <p>6. 指導者・講師の確保・養成</p> <p>7. 6.を除くボランティアの確保・養成</p> <p>8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備</p> <p>9. 関係所管課との連携</p> <p>10. 9.を除く関係機関、団体等との連携</p> <p>11. その他 ()</p> <p>12. 課題になっていない (同時選択不可)</p> <p>13. わからない (同時選択不可)</p> <p>14. 回答が得られない (同時選択不可)</p> <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q57：6. 以外の福祉担当課</p> <p>1. ニーズの把握</p> <p>2. 事業・プログラムの開発</p> <p>3. 2.を除く生涯学習機会の充実</p> <p>4. 予算の確保</p> <p>5. 活動に関する情報収集・提供</p> <p>6. 指導者・講師の確保・養成</p> <p>7. 6.を除くボランティアの確保・養成</p> <p>8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備</p> <p>9. 関係所管課との連携</p> <p>10. 9.を除く関係機関、団体等との連携</p> <p>11. その他 ()</p> <p>12. 課題になっていない (同時選択不可)</p> <p>13. わからない (同時選択不可)</p> <p>14. 回答が得られない (同時選択不可)</p> <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>Q58：1. ～7. 以外のその他の担当課</p> <p>1. ニーズの把握</p> <p>2. 事業・プログラムの開発</p> <p>3. 2.を除く生涯学習機会の充実</p> <p>4. 予算の確保</p> <p>5. 活動に関する情報収集・提供</p> <p>6. 指導者・講師の確保・養成</p> <p>7. 6.を除くボランティアの確保・養成</p> <p>8. 個別の相談対応・相談支援体制の整備</p> <p>9. 関係所管課との連携</p> <p>10. 9.を除く関係機関、団体等との連携</p> <p>11. その他 ()</p> <p>12. 課題になっていない (同時選択不可)</p> <p>13. わからない (同時選択不可)</p>

問	設問	形式	選択肢
59	<p>【課題がある場合】 具体的な内容 ※Q51～58 で 1 つ以上課題を回答した たい担当課それぞれ、課題の具体的な 内容についてご回答ください ※回答いただいた全ての担当課で課題が ない場合、空欄で結構です。</p>	FA	<p>14. 回答が得られない (同時選択不可)</p> <p>⇒課題がある場合、Q59へ</p> <p>■教育委員会の生涯学習、社会教育担当課</p> <p>■教育委員会の文化、スポーツ、青少年育成担当課</p> <p>■ 1. 2. 以外の教育委員会の担当課</p> <p>■教育委員会外の生涯学習、社会教育担当課</p> <p>■教育委員会外の文化、スポーツ、青少年育成担当課</p> <p>■障害福祉担当課</p> <p>■6. 以外の福祉担当課</p> <p>■1. ～7. 以外のその他の担当課</p>

F1	<p>回答内容等のご照会先 ※今後特徴的な取組みを行っている団体 に対するインタビュアー調査を予定して おります。 ※ご回答内容を踏まえ、インタビュアーに ご協力いただきたい場合、ご記入いた だいたご連絡先宛てに、あらためて調査事 務局よりご連絡させていただきます。</p>	FA	<p>部署名 () メールアドレス () 電話番号 () 備考欄※ () ※弊社よりご連絡させていただく際に留意すべき事項等があればご教 示ください。</p>
F2	<p>都道府県名 ※市区町村の皆様は、所在する都道府県 名をご回答ください</p>	SA	

障害者本人を対象とする調査 調査票

I. 基本情報

1	調査項目	回答 方法	選択肢等
1	回答者	SA	1. 本人 2. それ以外

II. 障害のある方、ご家族の状況についてお尋ねします

(1) 障害のある方のお住まい、ご家族の状況について

	調査項目	回答 方法	選択肢等
2	障害のある方の現在の住まい方	SA	1. 自宅 (一人暮らし) 2. 自宅 (一人暮らし以外) 3. 自宅以外の施設等 (グループホーム、入所施設、医療機関等) 4. その他 ()
3	〔「1. 自宅で家族、親族等と同居」の場合〕 日常的な支援を主に行っている方	SA	1. 親 2. 祖父母 3. きょうだい 4. その他 () 5. 特に支援を行っている者はいない
4	〔「1. 自宅で家族、親族等と同居」の場合〕 主に支援を行っている方の年齢	SA	1. 20歳未満 2. 20歳以上30歳未満 3. 30歳以上40歳未満 4. 40歳以上50歳未満 5. 50歳以上60歳未満 6. 60歳以上70歳未満 7. 70歳以上 8. わからない

(2) 障害のある方の状況について

	調査項目	回答 方法	選択肢等
5	障害のある方の年齢	NA	() 歳
6	障害のある方の過ごし方 ※現在の状況として最も近いもの	SA	1. 自宅で過ごすことが多い 2. 学校や職場にいることが多い 3. 障害サービス事業所や施設、医療機関等にいる ことが多い 4. その他 ()
7	最終学歴	SA	1. 特別支援学校 中学部卒 2. 特別支援学校 高等部卒 3. 特別支援学校 専攻科卒 4. 中学校 一般学級卒 5. 中学校 特別支援学級卒 6. 高等学校卒

調査項目	回答方法	選択肢等
8	SA	7. 専修学校（専門学校）卒 8. 短期大学卒 9. 高等専門学校卒 10. 大学卒 11. 大学院修了 12. その他（ ） 1. 利用していた 2. 利用していない（通学生） 3. わからない

調査項目	回答方法	選択肢等
9	SA	1. ある 2. ない
10	MA	1. 肢体不自由 2. 視覚障害 3. 聴覚障害 4. 内臓機能障害 5. その他の身体障害（ ）
11	SA	1. 保持している 2. 保持していない
12	SA	1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 7級重複もしくは7級と6級以上の重複
13	SA	1. 支援が必要 2. 一部支援が必要 3. 見守りが必要 4. 支援は不要
14	SA	1. 特に制限なく外出が可能（支援の有無によらず） 2. 一定の制限はあるが、外出は可能 3. 外出は困難
15	MA	1. 外出を支援するサービスが不足している/サービスが利用できない 2. 外出を支援するサービスが分らない 3. 外出する手段がない 4. 支援を行う者に外出する余裕がない 5. 自身（本人）の心身状況 6. 自身（本人）の意欲 7. 新型コロナウイルス等、感染症予防のため 8. その他（ ）

調査項目	回答方法	選択肢等
16	SA	1. ある 2. ない
17	SA	1. 保持している 2. 保持していない
18	SA	1. 重度以上 2. その他（「1. 重度以上」以外）
19	SA	1. 精神障害（発達障害以外）がある 2. 発達障害がある 3. ない
20	SA	1. 保持している 2. 保持していない
21	SA	1. 1級 2. 2級 3. 3級
22	SA	1. 必要 2. 必要ではない
23	MA	1. 人工呼吸器の管理 2. 気管切開の管理 3. 鼻咽喉工アウエイの管理 4. 酸素療法 5. 吸引（口鼻腔・気管内吸引） 6. ネブライザーの管理 7. 経管栄養 8. 中心静脈カテーテルの管理 9. 皮下注射 10. 血糖測定 11. 継続的な透析 12. 導尿 13. 排泄管理 14. 痙攣時の座薬挿入・吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置 15. その他（ ）
24	SA	1. 特に機器等の支援の必要なく、自身で伝達が可能 2. 機器等の支援があれば自身で伝達が可能 3. 家族等周囲の確認、読み取りによって伝達可能 4. 意思の伝達は難しい 5. その他の方法、状況（ ）
25	SA	1. 初めての場所や環境でも対応できる 2. 初めての場所や環境の場合、対応が難しいことがある

調査項目	回答方法	選択枝等
ついてお答えください。		
		3. 初めての場所や環境の場合、対応が難しい 4. その他 ()

Ⅲ.生涯学習（学習や活動、社会参加）の機会、ニーズについて

※障害のある方の考え、状況についてご回答ください

※「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習活動を指す言葉として用いられます（文部科学白書）。本アンケートの回答に当たっては以下の点に留意してください。

【回答に当たって】

- 上記の生涯学習活動のうち、ご自身（本人）の学校教育課程（授業等）以外での学習や活動の機会、社会参加の機会全般についてお伺いします。
- ここでいう生涯学習（学習や活動、社会参加の機会）とは、ご自宅でのテレビやインターネットを活用した学習や民間サービスやボランティアによる訪問カリッジ等における学び、生活介護や施設入所支援といった障害福祉サービス利用時の余暇活動やレクリエーション活動の機会、公民館や生涯学習センター、カルチャー教室などの講座や活動、学校・大学等での公開講座への参加や、図書館・博物館等の利用といった、学習の機会全般を指します。
- ただし、医師や看護師、理学療法士や作業療法士など専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除いてください。

(1) 現在（直近1年）の生涯学習の機会や取組状況について

調査項目	回答方法	選択枝等
26 生涯学習の機会の充足度 ※実際に取組んでいるかどうか、参加しているかどうかは問いません	SA	1. 十分に機会はある 2. ある程度、機会はある 3. あまり機会がない 4. ほとんど機会がない 5. 分らない
27 自身（本人）の生涯学習への意欲	SA	1. 積極的に行いたい 2. 行いたい 3. あまり関心はない 4. 関心がない 5. 分らない 6. 本人の意欲の判断が難しい
28 生涯学習の取組の有無	SA	1. 現在、生涯学習に取り組んでいる 2. 現在、取り組んでいない

29	(「2. 現在、取り組んでいない」の場合) 取組んでいない、取り組んだことがない理由	MA	1. どのような学習があるのか、知らない 2. 取り組みたい内容の学習を提供する場がない 3. 学習に関心を向けるだけの時間的な余裕がない 4. 学習に関心を向けるだけの経済的な余裕がない 5. 学習に関心を向けるだけの精神的な余裕がない 6. 新型コロナウイルス感染症の影響（感染予防のために活動等が中止になった）/自身の感染予防のため、など 7. その他 ()
30	(「1. 取り組んでいる」の場合) 生涯学習の手段や場所 ※障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動の時間に行った生涯学習については、すべて「選択枝7.」を選択してください（例えば、日中活動時には、5. の地域活動に参加した場合は、7. を選択） ※行った学習がどの選択肢に該当するか迷う場合は、主催している側を選択してください（例えば、公民館主催の講座で会場となっている図書館に行った場合は、8. を選択）	MA	1. 支援者等の訪問による自宅や施設での学習 2. テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習 3. 自身（本人）が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習（オンライン参加含む） 4. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加（オンライン参加含む） 5. 居住地周辺の地域の活動、催し物への参加 6. 職場の教育、研修（オンライン参加含む） 7. 障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動（※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く） 8. 公民館や生涯学習センターでの学習（オンライン参加含む） 9. 図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞（バーチャルツアー等を含む） 10. カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育（オンライン参加含む） 11. 大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加（オンライン参加含む） 12. その他 ()
31	(「1. 取り組んでいる」の場合) 生涯学習の取組頻度 ※体調等によって異なる場合は平均値に近い選択肢を回答	SA	1. ほぼ毎日ある 2. 週に2～5日程度 3. 週に1回程度 4. 月に2～3回程度 5. 月に1回程度 6. 2～3か月月に1回程度 7. 半年に1回程度 8. 年に1回程度 9. 年に1回未満
32	(「1. 取り組んでいる」の場合) 生涯学習で取り組んでいる（取り組んだ）内容	MA	1. 学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動 2. 余暇、レクリエーション活動 3. 文化芸術活動 4. 健康の維持・増進、スポーツ活動 5. 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習 6. スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習 7. 仲間づくり、コミュニケーション活動 8. その他 ()

33	(「1. 取り組んでいる」の場合) 生涯学習に取り組んでいる理由	MA	<ol style="list-style-type: none"> 様々な経験を通して、成長するため 暮らしの中で生じる課題の解決を図るため 現在の、または以前就いていた仕事において必要性を感じたため 地域や社会の活動などに参加したり、関わるため 健康の維持・増進のため 他の人と交流したり、友人を得たりするため 人生を豊かにするため 教養を深めるため その他 ()
34	(「1. 取り組んでいる」の場合) 生涯学習における自身(本人)の意向反映状況	SA	<ol style="list-style-type: none"> 自身(本人)が望む内容の学習ができている たいたい自身(本人)が望む内容の学習ができている あまり自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない 自身(本人)が望む内容の学習とはなっていない 意向が反映されているかどうか分からない 本人の意向の確認、判断が難しい
35	(「6. 本人の意向の確認、判断が難しい」の場合) 取組に関する判断をおこなう際に関わる人	MA	<ol style="list-style-type: none"> 家族、親族等 日常的な生活支援やケアに携わる専門職 リハビリテーション等に携わる専門職 学習支援に携わる者 その他 ()

(2) オンライン学習やデジタル教材等の活用状況について

	調査項目	回答方法	選択肢等
36	生涯学習を行う際のオンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材等の利用状況	SA	<ol style="list-style-type: none"> 利用している 特に利用していない
37	(「1. 利用している」の場合) 利用している内容	MA	<ol style="list-style-type: none"> オンラインで開催されている場(サークル活動や学習など)への参加 オンラインで提供されているプログラムやアプリ(学習や趣味等に関する教材、体験型の学習教材など)の利用 生涯学習に関わる動画等のコンテンツ視聴の利用 その他 ()
38	(「1. 利用している」の場合) 利用の頻度	SA	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ毎日ある 週に2~5日程度 週に1回程度 月に2~3回程度 月に1回程度 2~3か月に1回程度 半年に1回程度 年に1回程度 年に1回未満

39	オンラインによる参加や学習、動画やデジタル教材の利用することのメリットや効果、利用していくにあたって課題と感じていること	FA	【メリットや効果】 【課題と感じていること】
----	--	----	-------------------------------

(3) 過去の生涯学習の機会や取組状況について

	調査項目	回答方法	選択肢等
40	過去の生涯学習の経験の有無	SA	<ol style="list-style-type: none"> 過去、生涯学習に取り組んだことがある 過去に、生涯学習に取り組んだことはない
41	(「1. 過去に生涯学習を行ったことがある」の場合) 過去に経験したことのある生涯学習の手段や場所 ※障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動の時間に行った生涯学習については、すべて「選択肢7.」を選択してください(例えば、日中活動時には、の地域活動に参加した場合は、7. を選択) ※行った学習がどの選択肢に該当するか迷う場合は、主催している公民館主催の講座で会場となっている図書館に行った場合は、8. を選択)。	MA	<ol style="list-style-type: none"> 支援者等の訪問による自宅や施設での学習 テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習 自身(本人)が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場での学習(オンライン参加含む) 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む) 居住地周辺の地域の活動、催し物への参加 職場の教育、研修(オンライン参加含む) 障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く) 公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む) 図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルツアー等を含む) 10. カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間事業者が提供する講座や教室、通信教育(オンライン参加含む) 11. 大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む) 12. その他 ()
42	(「1. 過去に生涯学習を行ったことがある」の場合) 過去に経験したことのある生涯学習(学習や活動、社会参加)で取組んだ内容	MA	<ol style="list-style-type: none"> 学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動 余暇、レクリエーション活動 文化芸術活動 健康の維持・増進、スポーツ活動 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習 スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習 仲間づくり、コミュニケーション活動 その他 ()

(4) 生涯学習に対する今後のニーズ、課題

	調査項目	回答方法	選択肢等
43	今後の生涯学習ニーズ	SA	1. 生涯学習の機会、取組を増やしていきたい 2. 現状の機会、取組を維持できればよい 3. 減らしたい 4. 支からない
44	(「1. 生涯学習の機会、取組を増やしていきたいの場合」)のようないずれかの方法や場所での学習の機会を増やしたいか ※障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動の時間は、すべて生涯学習については、すべて「選択肢7.」を選択してください(例えば、日中活動時に5.の地域活動に参加した場合は、7.を選択) ※行った学習がどの選択肢に該当するか迷う場合は、主催している側を選択してください(例えば、公民館主催の講座で会場となっている図書館に行った場合は、8.を選択)。	MA	1. 生涯学習の機会、取組を増やしていきたい 2. テレビやラジオ、インターネット、書籍による自主学習 3. 自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学習の場での学習(オンライン参加含む) 4. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動への参加(オンライン参加含む) 5. 居住地周辺の地域の活動、催し物への参加 6. 職場の教育、研修(オンライン参加含む) 7. 障害福祉サービスの事業所、入所施設での日中活動(※専門職による医療やリハビリテーションを目的とした活動は除く) 8. 公民館や生涯学習センターでの学習(オンライン参加含む) 9. 図書館、博物館、美術館での学習、鑑賞(バーチャルリアリティ等を含む) 10. カルチャースクールやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(オンライン参加含む) 11. 大学の公開講座など、学校の提供する講座や教室への参加(オンライン参加含む) 12. その他()
45	(「1. 生涯学習の機会、取組を増やしていきたいの場合」)のようないずれかの方法や場所での学習の機会を増やしたいですか	MA	1. 学校段階で学んだ内容の維持・再学習に関する活動 2. 余暇、レクリエーション活動 3. 文化芸術活動 4. 健康の維持・増進、スポーツ活動 5. 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習 6. スキルアップや資格取得など、職業生活に関する学習 7. 仲間づくり、コミュニケーション活動 8. その他()
46	生涯学習に取り組む際に重要視すること	MA	1. 日常生活をより充実させる内容かどうか 2. 社会生活を送るうえで必要となるスキルが修得できるかどうか 3. 学校で学んだことを継続できる内容かどうか 4. 自身(本人)のやりたいことに合っているかどうか 5. 自身(本人)の心身の状態に合っているかどうか 6. 自身(本人)がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか 7. 他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか 8. 社会参加の機会となるかどうか 9. 家族からみて必要な学習かどうか 10. その他()

47	生涯学習に取り組む際の障壁となっているもの	MA	1. 自身(本人)の障害によって参加を断られる 2. 自身(本人)の障害によって参加をためらう 3. 会場/現地への移動時の支援を得ることが難しい 4. 会場/現地の環境(空間、設備など)の問題で安心、安全に参加することが難しい 5. 会場/現地で学習に必要なサポートがない 6. 会場/現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい 7. 自宅/施設の学習環境を整えることが難しい 8. 自宅/施設での学習をサポートする人の確保が難しい 9. 周辺に提供する団体や活動等が少ない/ない 10. オンラインでの参加でもよい活動等が少ない/ない 11. 学習に関する情報を得ることが難しい 12. 自身(本人)のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい 13. 自身(本人)が行いたい学びや活動とは必ずしも合っていない 14. 自身(本人)が行いたい学びや活動がどうかの意思の確認、判断が難しい 15. 学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない/など 16. その他() 17. 特に課題はない
48	今後、生涯学習に取り組む上であるとよい支援や仕組み	FA	【自宅や施設(普段の生活の場)での生涯学習】 【自宅や施設の外での生涯学習】

IV. 生涯学習(学習や活動、社会参加など)に関する情報、相談について

	調査項目	回答方法	選択肢等
49	生涯学習に関する情報入手活動	SA	1. 情報収集を行っている/行っていた 2. 特に情報収集は行っていない
50	(「1. 情報収集を行っている/行っていたの場合」)主に情報入手を行っている人	SA	1. 自身(本人) 2. 家族 3. その他()
51	(「1. 情報収集を行っている/行っていたの場合」)情報入手の手段	MA	1. 新聞、雑誌、書籍(専門誌含む) 2. テレビ、ラジオ 3. インターネットの情報検索 4. 自身(本人)の知人、友人等からの情報 5. 保護者の知人、友人等からの情報 6. 学習を支援している団体、人からの情報 7. 当事者団体からの情報 8. 学校や卒業後つながりのある教員等からの情報 9. 障害福祉サービス事業所や施設の職員からの情報

		報	
		10. 相談支援専門員からの情報 11. 地域限定のチラシやポスター、広報誌 12. 自治体の広報誌、HP 13. その他 ()	
52	(「1. 情報収集を行っている／行っていない」の場合) 生涯学習に関する情報入手の状況	SA	1. 必要に応じて情報を入手できている 2. 十分ではないが、一定の情報は入手できている 3. あまり情報は入手できていない 4. まったく入手できていない 5. わからない 【入手できていない理由】 【特に不足している情報】
53	(「3. あまり情報は入手できていない」、「4. まったく入手できていない」の場合) 入手できていない理由 特に不足している情報	FA	1. 生涯学習自体に関心がない 2. 関心はあるが、情報収集する時間的な余裕がない 3. 関心はあるが、情報入手の方法が分からない 4. その他 ()
54	(「2. 特に情報収集は行っていない」の場合) 情報収集を行っていない理由	MA	1. 相談できる人、団体や機関等はある 2. 相談できる人、団体や機関等はない
55	生涯学習に関して、相談できる人、団体や機関等の有無	SA	1. 家族 2. 自身(本人)の知人、友人 3. 保護者の知人、友人 3. 学習を支援している団体や人 4. 当事者団体 5. 学校や卒業後つながりのある教員等 6. 障害福祉サービス事業所や施設の職員 7. 相談支援専門員 8. 自治体窓口 9. その他 ()
56	(「1. 相談できる人、団体や機関等はある」の場合) 具体的な人、団体や機関等	MA	

V. 家族、親族の方にお伺いします (※回答が難しい場合は回答不要です)

調査項目	回答方法	選択肢等
57 学校卒業後の子の生涯学習の機会として、あると良いと思われる機会や内容、その他ご意見	FA	【あるとよいと思われる生涯学習の機会】 【あるとよいと思われる内容】 【その他ご意見】

VI. 居住地

調査項目	回答方法	選択肢等
都道府県名	FA	() 都・道・府・県
市区町村名	FA	() 市・区・町・村

文部科学省委託調査
令和4年度「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」
障害者の生涯学習活動に関する実態調査
～地方公共団体及び障害者本人を対象とした実態調査～
報告書
令和5（2023）年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部
東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー
